

令和5年度
文京区子ども・子育て支援に関する実態調査
報告書

目 次

第1章 調査の概要

1 調査の目的.....	3
2 調査の概要.....	3
3 回収結果.....	4
4 調査結果の見方.....	5

第2章 調査結果の詳細

1 基本属性.....	9
(1)子どもの年齢・年代・学年.....	9
(2)学校の区分.....	11
(3)子どもの人数／末子の年齢／兄弟姉妹中での生まれた順番.....	12
(4)障害者手帳の有無.....	14
(5)家族構成.....	15
(6)介護が必要な高齢の同居親族の有無と介護の程度.....	16
(7)回答者と配偶者の有無.....	16
(8)主に子育てを行っている人.....	17
(9)居住地区.....	17
2 子育ての環境.....	18
(1)日常的に子育て(教育を含む。)に関わっている人.....	18
(2)子育てに最も影響が強いと思われる環境.....	19
(3)子どもをみてもらえる親族・知人の状況.....	19
3 親子のコミュニケーションについて.....	21
(1)家族との会話.....	21
4 保護者の就労状況.....	23
(1)父親の就労状況.....	23
(2)父親－就労者の就労状況.....	25
(3)父親－パート・アルバイト等就労者の就労状況／就労希望.....	26
(4)父親－就労していない人の就労希望.....	26
(5)母親の就労状況.....	27
(6)母親－フルタイム就労者の就労状況.....	30
(7)母親－パート・アルバイト等就労者の就労状況／就労希望.....	31
(8)母親－就労していない人の就労希望.....	34

目 次

5 教育・保育事業について	39
(1)定期的な教育・保育事業の利用状況.....	39
(2)定期的に利用している教育・保育事業の利用日数／利用時間	41
(3)定期的に利用している教育・保育事業の所在地	42
(4)定期的な教育・保育事業を利用している理由.....	42
(5)定期的な教育・保育事業を利用していない理由	43
(6)定期的な教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢.....	43
(7)今後利用したい定期的な教育・保育事業.....	44
(8)利用したい定期的な教育・保育事業の所在地	45
(9)教育・保育事業を選ぶ際に重視するもの.....	45
(10)幼稚園の利用希望	46
(11)土・日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	46
(12)幼稚園の長期休暇期間中の定期的な利用希望	48
6 病児・病後児保育について	49
(1)この1年間に子どもの病気やケガ等で保育園や学校を休んだ経験.....	49
(2)子どもの病気やケガ等の際の対処	50
(3)病児・病後児保育施設の利用希望	53
(4)病児・病後児保育施設を利用する際に希望する事業形態.....	54
(5)病児・病後児保育施設を利用したいと思わなかった理由	55
(6)病児・病後児保育施設を利用して感じたこと	56
(7)仕事を休んでの看護	56
7 一時預かり事業について	58
(1)一時預かり事業の利用状況	58
(2)一時預かり事業を利用していない理由.....	61
(3)一時預かり事業の利用希望.....	61
(4)一時預かり事業の利用希望の目的／利用希望日数	62
(5)一時預かり事業を利用する際に希望する事業形態.....	64
(6)ショートステイの利用希望の有無／預ける必要のある用事／預ける必要のある日数	64
(7)定期的な預かり事業の利用希望の有無／利用希望の日数・時間／利用希望の理由.....	67
8 地域子育て支援拠点事業について	69
(1)地域子育て支援拠点事業等の利用状況	69
(2)地域子育て支援拠点施設・類似施設の利用希望／利用希望回数／利用を増やす 希望回数.....	72

目 次

9 放課後の過ごし方について.....	74
(1)小学校の放課後を過ごさせたい場所・過ごしている場所.....	74
(2)小学校の放課後を過ごす1週間当たりの日数／希望日数.....	75
(3)育成室の利用時間／希望利用時間.....	78
(4)都型学童クラブ・民間の学童保育サービスの利用時間／希望利用時間.....	79
(5)育成室や都型学童クラブ、民間の学童保育サービスの今後の希望利用時間.....	79
(6)育成室や都型学童クラブ等を利用しない理由.....	80
(7)育成室や都型学童クラブ等を利用したい理由.....	80
(8)育成室(学童保育)の平日以外の利用希望.....	81
(9)普段過ごす場所.....	83
(10)普段過ごす場所の利用頻度.....	93
(11)普段の過ごし方.....	94
(12)放課後を過ごす場所の希望.....	105
10 児童館について.....	110
(1)児童館の利用頻度.....	110
(2)児童館として充実してほしい活動.....	111
(3)児童館を利用しない理由.....	111
(4)児童館の利用希望.....	113
11 育児休業制度について.....	115
(1)父母の育児休業制度の取得状況.....	115
(2)育児休業給付の支給・社会保険料免除の認知度.....	117
(3)育児休業後の職場復帰状況.....	117
(4)短時間勤務制度の利用状況.....	121
(5)1歳時に預け先が確保されている場合の職場復帰時期の希望.....	122
12 子育てのイメージ／不安・悩みについて.....	123
(1)子育てをする上で楽しいと感じるとき.....	123
(2)子育てをする上での不安や悩み.....	126
(3)児童虐待や不適切な子育て防止のために最も効果的と思うこと.....	132
(4)子育て(教育を含む。)に関する相談先.....	133
(5)子育てする上で周囲の人や行政担当者などからほしいサポート.....	136
(6)子どもの人数の希望・現実.....	137
(7)現在の不安・悩み／相談相手.....	139

目 次

13	子育て支援サービスについて	141
(1)	子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用希望	141
(2)	子ども食堂の認知度・利用希望／知ったきっかけ／利用状況／利用希望	147
(3)	青少年プラザ(b-lab)の認知度／利用頻度／利用しない理由／望む施設(機能)	152
(4)	子育て支援サービス情報の入手方法	160
(5)	子育て支援サービス情報が入手しやすい方法	160
(6)	役立つ子育て支援の施設・サービス	161
(7)	出産時から4か月健診までの間に受けてたい保健サービス	165
14	近所や地域との関わり方について	166
(1)	近所の人とのあいさつ・会話の程度	166
(2)	地域活動・ボランティア活動の参加状況	168
(3)	参加している・参加してみたい地域活動・ボランティア活動	169
(4)	地域活動・ボランティア活動内容に参加していない理由	173
15	生活の安全・安心について	175
(1)	子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安	175
(2)	子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安を感じる理由	176
(3)	子どもの安全や犯罪防止についての情報入手(収集)方法	178
(4)	災害時の避難所生活に必要な物資	179
16	現在の就学・就労の状況、通学状況、進路に対する考え、困りごと	180
(1)	就学・就労の状況	180
(2)	学校に行きたくないと思ったことの有無	180
(3)	学校に行きたくないと思った理由	181
(4)	卒業後の進路に対する考え方	181
(5)	今後の進路に対する考え方	182
(6)	希望する学校の区分	182
(7)	就学に当たっての困りごと	182
(8)	就労に当たっての困りごと	182
(9)	充実した生活を送れるようになるために必要な取組(支援)	183
17	住環境について	184
(1)	現在の住まい	184
(2)	子育てに重要と思う住宅や住宅周辺環境	184
(3)	子どもの遊び場としての利用場所	185

目 次

18 運動について.....	187
(1)運動する頻度.....	187
(2)運動する理由.....	188
(3)運動をしていない理由.....	189
19 相談窓口について.....	190
(1)相談窓口の認知度/利用状況/利用希望/利用したくない理由.....	190
(2)相談窓口を知ったきっかけ.....	192
20 体験や経済的にできないこと・ないことについて.....	193
(1)過去1年における家庭での体験.....	193
(2)家庭において経済的にできないもの.....	194
(3)家計の状況.....	196
(4)家庭において金銭的理由のためでないもの.....	198
(5)家庭において経済的にできなかったこと.....	199
21 利用している制度について.....	201
(1)児童扶養手当または就学援助の利用状況.....	201
(2)児童扶養手当または就学援助の利用のきっかけ.....	201
(3)児童扶養手当または就学援助の利用条件に該当しない理由.....	202
(4)児童扶養手当または就学援助の満足度.....	202
(5)児童扶養手当および就学援助の満足度の理由.....	203
22 区の事業の利用状況.....	204
(1)利用状況.....	204
(2)区の事業の利用のきっかけ.....	207
(3)学習支援の満足度/満足度の理由/意見.....	210
(4)学習支援・子ども食堂・子ども宅食の利用希望.....	211
(5)事業の利用に該当しない理由.....	212
23 子育て環境や支援への満足度について.....	214

目 次

第3章 自由回答

(1)未就学児の保護者.....	219
(2)小学生の保護者.....	228
(3)中学生の保護者.....	236
(4)高校生世代の保護者.....	240
(5)小学生本人.....	244
(6)中学生本人.....	247
(7)高校生世代本人.....	249
(8)児童扶養手当受給保護者.....	251
(9)就学援助受給世帯保護者.....	254
(10)就学援助受給世帯小学生本人.....	258
(11)就学援助受給世帯中学生本人.....	260

使用した調査票

(1)未就学児の保護者用.....	263
(2)小学生の保護者用.....	297
(3)中学生の保護者用.....	323
(4)高校生世代の保護者用.....	333
(5)小学生本人用.....	341
(6)中学生本人用.....	355
(7)高校生世代本人用.....	367
(8)児童扶養手当受給保護者用.....	381
(9)就学援助受給世帯保護者用.....	397
(10)就学援助受給世帯小学生本人用.....	413
(11)就学援助受給世帯中学生本人用.....	427

第1章 調査の概要

1 調査の目的

文京区に居住する子どもを養育する家庭の生活実態、ニーズ量及び子育ての状況等を把握し、「文京区子育て支援計画(令和7年度～11年度)」の基礎資料等を得ることを目的とする。

2 調査の概要

(1)調査区域:文京区全域

(2)調査対象及び標本数:区内に居住する以下の者

①未就学児の保護者	1,800人
②小学生の保護者	1,500人
③中学生の保護者	700人
④高校生世代の保護者	700人
⑤小学生本人	700人
⑥中学生本人	700人
⑦高校生世代本人	700人
⑧児童扶養手当受給保護者	529人
⑨就学援助受給世帯保護者	586人
⑩就学援助受給世帯小学生本人	376人
⑪就学援助受給世帯中学生本人	431人

(3)抽出方法:①から⑦までは住民基本台帳から無作為抽出、⑧から⑪までは全数調査

(4)調査方法:インターネットによる回答及び自記式調査票による郵送配布、郵送回収

(5)調査時期:令和5年10月25日から令和5年11月30日まで

3 回収結果

	配布数	不在返送数	有効配送数	有効回収数	有効回収率
①未就学児保護者	1,800人	25人	1,775人	769人	43.3%
②小学生保護者	1,500人	2人	1,498人	598人	39.9%
③中学生保護者	700人	2人	698人	352人	50.4%
④高校生世代保護者	700人	4人	696人	334人	48.0%
⑤小学生本人	700人	4人	696人	274人	39.4%
⑥中学生本人	700人	4人	696人	254人	36.5%
⑦高校生世代本人	700人	4人	696人	226人	32.5%
⑧児童扶養手当受給保護者	529人	4人	525人	192人	36.6%
⑨就学援助受給世帯保護者	586人	4人	582人	251人	43.1%
⑩就学援助受給世帯小学生本人	376人	2人	374人	112人	29.9%
⑪就学援助受給世帯中学生本人	431人	3人	428人	93人	21.7%
合計	8,722人	58人	8,664人	3,455人	39.9%

4 調査結果の見方

(1) 図・表中の調査対象の記載は、以下のとおり。

- | | |
|----------------|--------------|
| ①未就学児の保護者 | =「未就学児」 |
| ②小学生の保護者 | =「小学生」 |
| ③中学生の保護者 | =「中学生」 |
| ④高校生世代の保護者 | =「高校生世代」 |
| ⑤小学生本人 | =「小学生本人」 |
| ⑥中学生本人 | =「中学生本人」 |
| ⑦高校生世代本人 | =「高校生世代本人」 |
| ⑧児童扶養手当受給保護者 | =「児童扶養手当」 |
| ⑨就学援助受給世帯保護者 | =「就学援助」 |
| ⑩就学援助受給世帯小学生本人 | =「就学援助小学生本人」 |
| ⑪就学援助受給世帯中学生本人 | =「就学援助中学生本人」 |

(2) 図・表中のnは該当質問での回答者総数を表す。

(3) 複数回答と記載のあるものは質問に対する回答がいくつでもよい質問を表し、特にことわり書きのない場合は質問に対する回答が1つの単数回答を表す。

(4) 回答はnを 100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。

(5) グラフに表示される数値が 0.0 の場合は、回答数 0 件を表す。

(6) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が 100%を超えることがある。

(7) 年齢別、学年別及び地区別のグラフは、年齢、学年及び居住地区無回答者がいるため、合計と一致しない。

第2章 調査結果の詳細

1 基本属性

〔未就学児：問2〕〔小学生：問2〕〔中学生：問2〕〔高校生世代：問2〕
 〔小学生本人：問2〕〔中学生本人：問2〕〔高校生世代本人：問2〕
 〔児童扶養手当：問4〕〔就学援助：問4〕
 〔就学援助小学生本人：問1〕〔就学援助中学生本人：問1〕

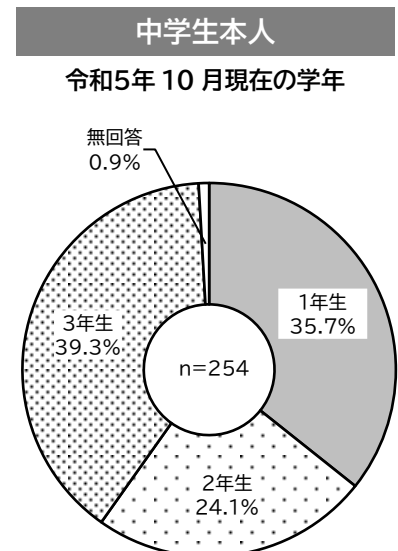
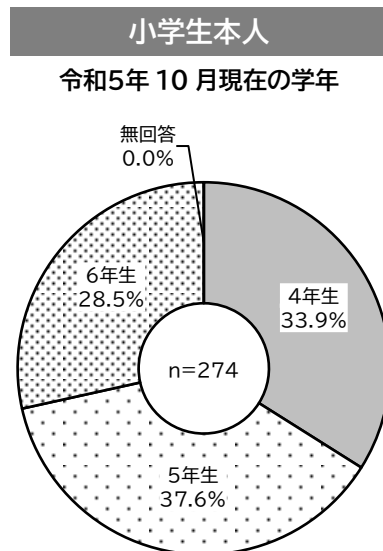
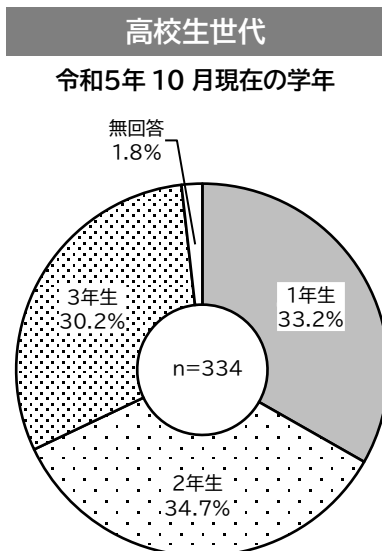
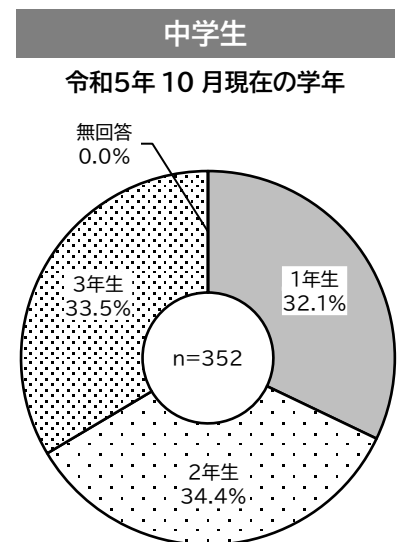
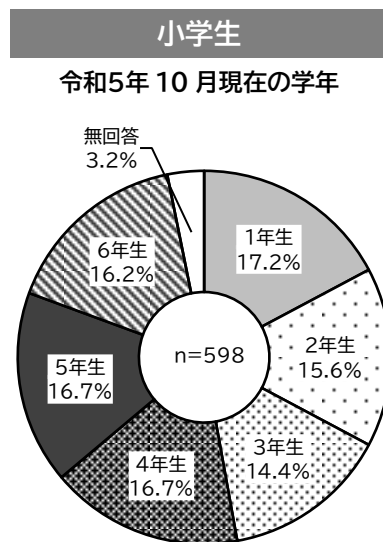
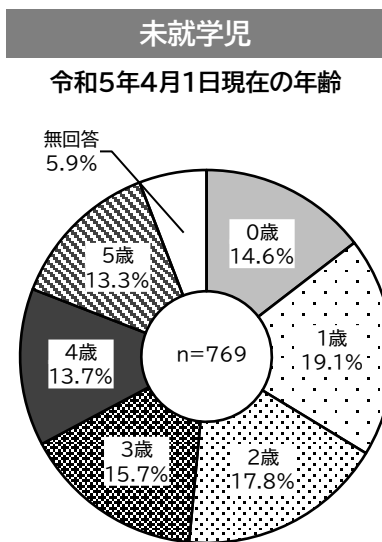
(1)子どもの年齢・年代・学年

子どもの年齢については、未就学児の保護者は学年年齢(令和5年4月1日時点の年齢)で「1歳」が19.1%と他の年齢より割合が多くなっている。小学生の保護者は「1年生」が17.2%と他の学年に比べてやや多くなっている。中学生の保護者は「中学2年生」が34.4%と他の学年よりやや多くなっている。高校生世代の保護者は「2年生」が34.7%と他の学年より多くなっている。

小学生本人は「5年生」が37.6%、中学生本人は「3年生」が39.3%と他の学年より多くなっている。また、高校生世代本人は各学年で3割前半となっている。

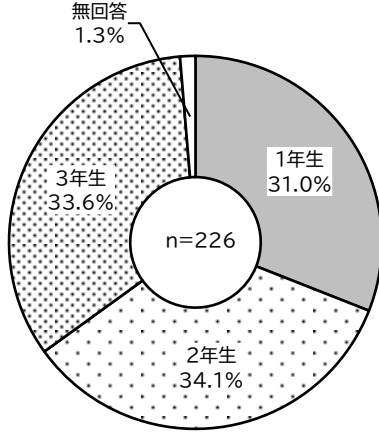
児童扶養手当受給保護者の年代の合計は「高校生世代(高校生世代に該当する年齢)」が33.8%と最も多くなっている。就学援助受給世帯保護者の年代の合計は「小学校低学年(1~3年生)」が49.4%と最も多くなっている。

就学援助小学生本人は「6年生」が39.3%と最も多くなっている。就学援助中学生本人は「中学2年生」が36.6%と最も多くなっている。



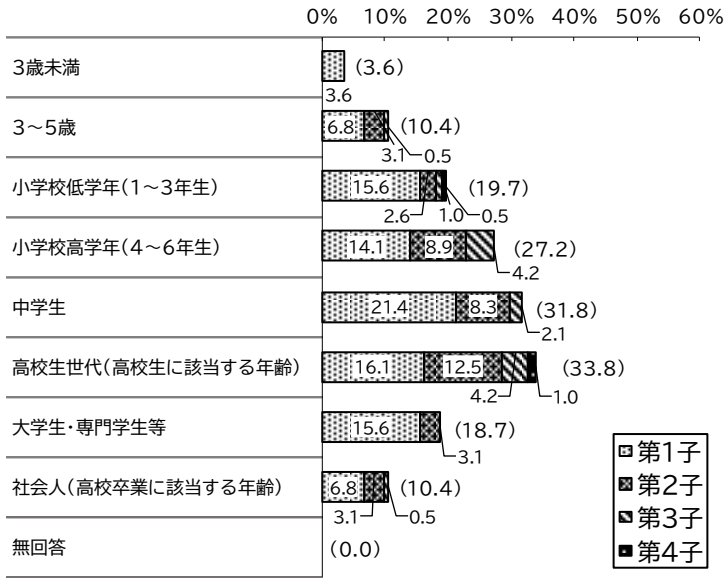
高校生世代本人

令和5年10月現在の学年



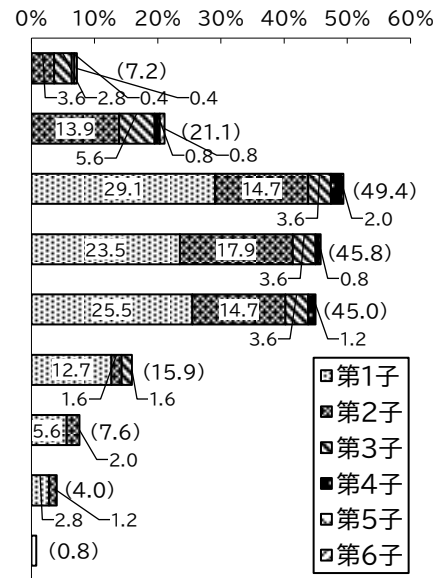
児童扶養手当 n=192

令和5年4月1日現在の年代



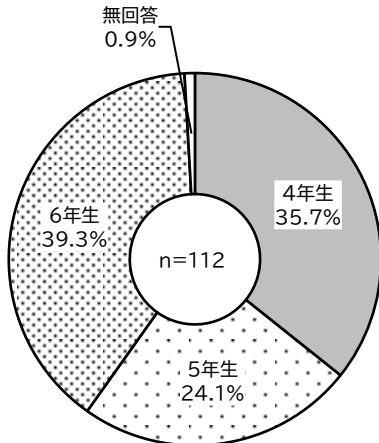
就学援助 n=251

令和5年4月1日現在の年代



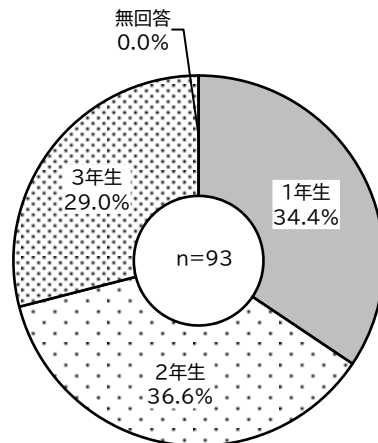
就学援助小学生本人

令和5年10月現在の学年



就学援助中学生本人

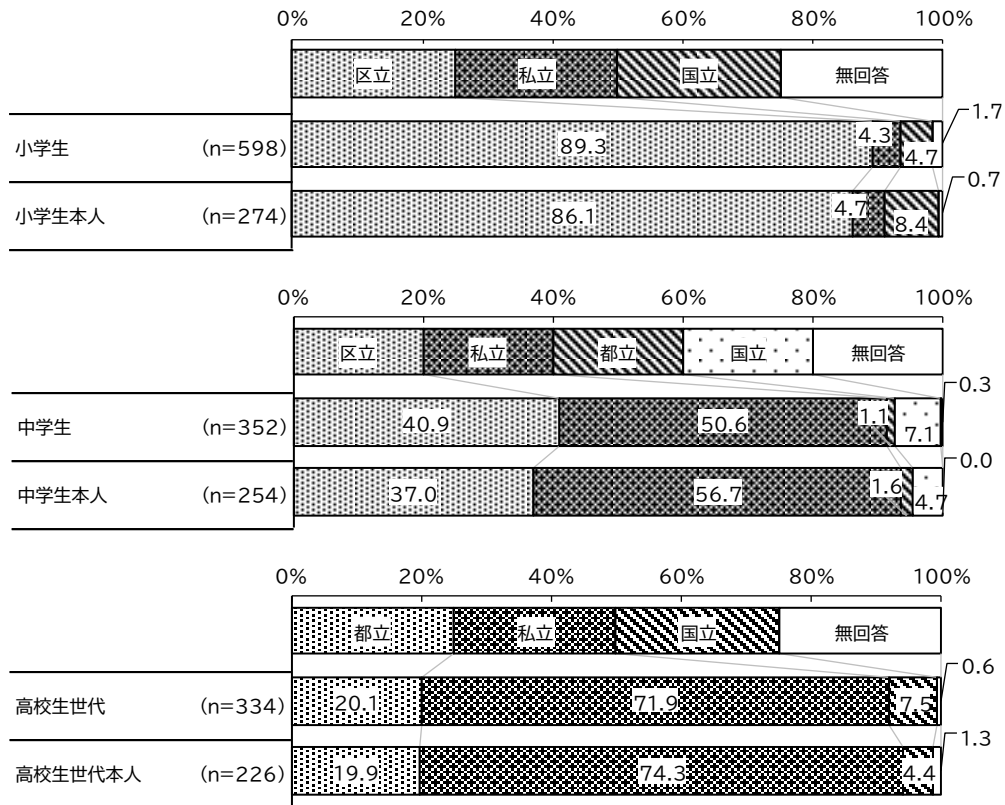
令和5年10月現在の学年



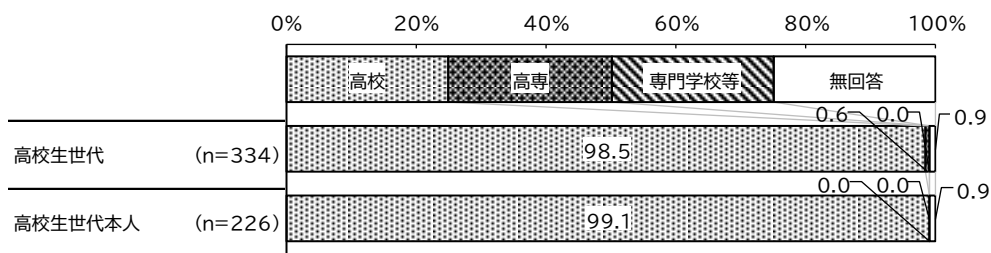
(2)学校の区分

〔小学生：問2〕〔中学生：問2〕〔高校生世代：問2〕
 〔小学生本人：問2〕〔中学生本人：問2〕〔高校生世代本人：問2〕

学校の区分については、小学生の保護者、小学生本人はともに「区立」が8割後半で最も多くなっている。中学生の保護者、中学生本人はともに「私立」が5割台で最も多くなっている。高校生世代の保護者、高校生世代本人はともに「私立」が7割台前半で最も多くなっている。



また、高校生世代の保護者、高校生世代本人では「高校」が9割を超えて最も多くなっている。

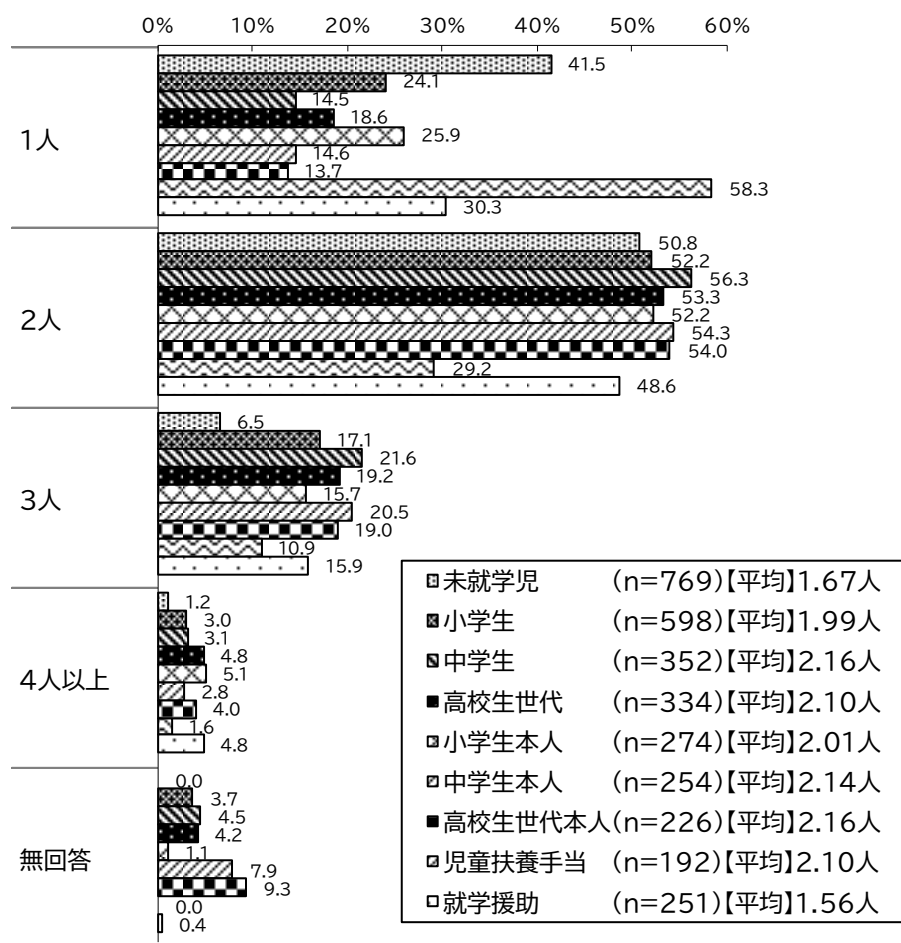


(3)子どもの人数／未子の年齢／兄弟姉妹中での生まれた順番

①子どもの人数

〔未就学児：問3〕〔小学生：問3〕〔中学生：問6〕〔高校生世代：問6〕〔小学生本人：問4〕
〔中学生本人：問4〕〔高校生世代本人：問4〕〔児童扶養手当：問3〕〔就学援助：問3〕

子どもの人数については、未就学児の保護者は「2人」が50.8%と最も多く、次いで「1人」が41.5%となっている。小学生の保護者は「2人」が52.2%と最も多く、次いで「1人」が24.1%となっており、中学生の保護者は「2人」が56.3%と最も多く、次いで「3人」が21.6%となっている。高校生世代の保護者は「2人」が53.3%と最も多く、次いで「3人」が19.2%となっている。小学生本人は「2人」が52.2%と最も多く、次いで「1人」が25.9%となっている。中学生本人は「2人」が54.3%と最も多く、次いで「3人」が20.5%となっている。高校生世代本人は「2人」が54.0%と最も多く、次いで「3人」が19.0%となっている。児童扶養手当受給保護者は「1人」が58.3%と最も多く、次いで「2人」が30.3%となっている。就学援助受給世帯保護者は「2人」が48.6%と最も多く、次いで「1人」が30.3%となっている。

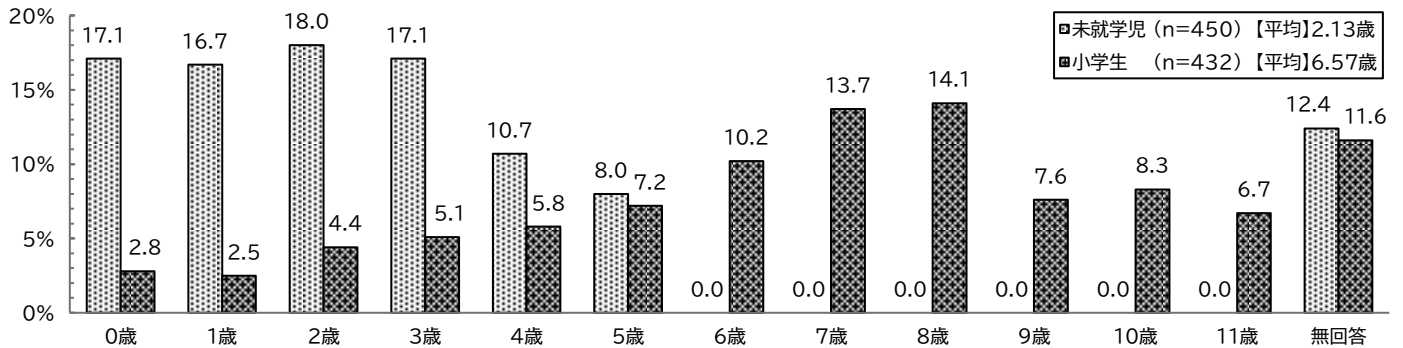


②末子の年齢

〔未就学児：問3〕〔小学生：問3〕

末子の年齢については、未就学児の保護者は「2歳」が18.0%と最も多く、次いで「0歳」及び「3歳」が17.1%となっている。小学生の保護者は「8歳」が14.1%と最も多く、次いで「7歳」が13.7%となっている。

末子の平均年齢は、未就学児の保護者は2.13歳、小学生の保護者は6.57歳となっている。

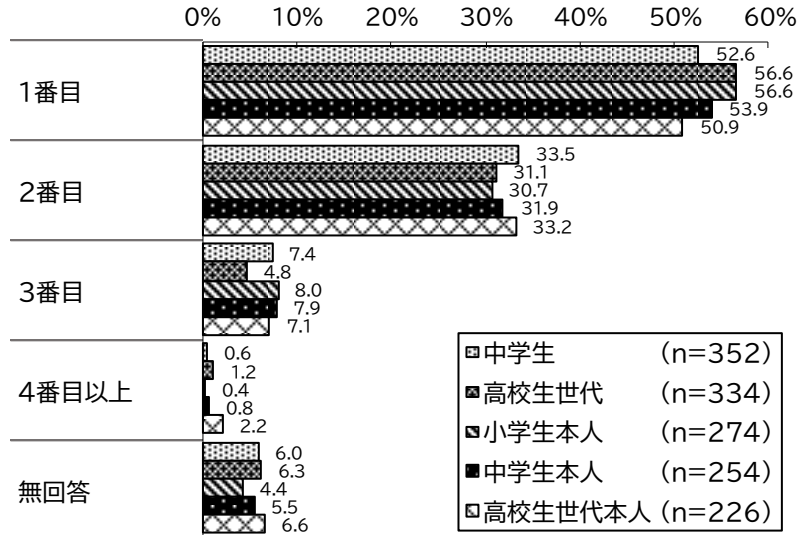


③兄弟姉妹中で生まれた順番

〔中学生：問6〕〔高校生世代：問6〕〔小学生本人：問4〕

〔中学生本人：問4〕〔高校生世代本人：問4〕

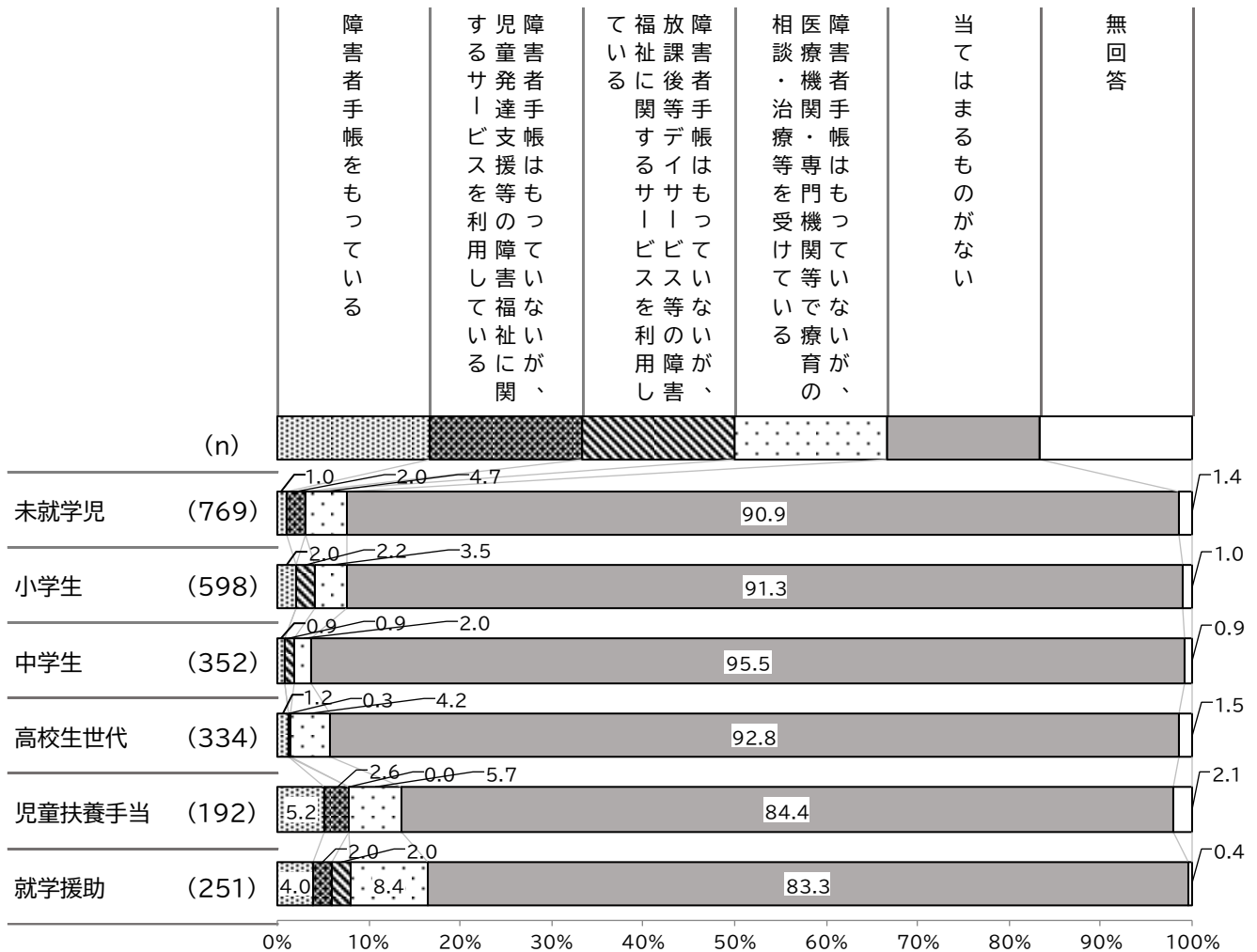
兄弟姉妹中での生まれた順番について、中学生及び高校生世代の保護者、小学生本人、中学生本人及び高校生世代本人に尋ねたところ、「1番目」が最も多く、それぞれ52.6%、56.6%、55.6%、53.9%、50.9%となっている。次いで「2番目」がそれぞれ33.5%、31.1%、30.7%、31.9%、33.2%となっている。



(4)障害者手帳の有無

〔未就学児：問4〕〔小学生：問4〕〔中学生：問3〕
〔高校生世代：問3〕〔児童扶養手当：問5〕〔就学援助：問5〕

障害者手帳の有無について尋ねたところ、「障害者手帳をもっている」は児童扶養手当受給保護者が5.2%、就学援助受給世帯保護者が4.0%、小学生の保護者が2.0%、未就学児、中学生及び高校生世代の保護者が約1%となっている。また、「障害者手帳はもっていないが、医療機関・専門機関等で療育の相談・治療等を受けている」は児童扶養手当受給保護者が5.7%、就学援助受給世帯保護者が8.4%となっている。



※「障害者手帳はもっていないが、児童発達支援等の障害福祉に関するサービスを利用している」は小学生、中学生及び高校生世代の保護者の調査では項目なし。

「障害者手帳はもっていないが、放課後等デイサービス等の障害福祉に関するサービスを利用している」は未就学児の保護者の調査では項目なし。

〔未就学児：問5〕〔小学生：問5〕〔中学生：問4〕〔高校生世代：問4〕

〔小学生本人：問3〕〔中学生本人：問3〕〔高校生世代本人：問3〕

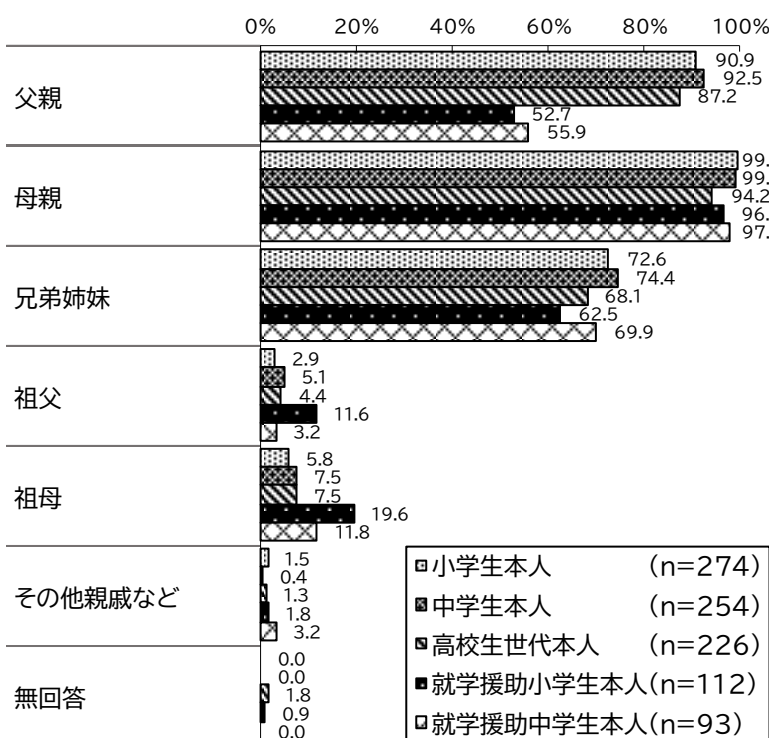
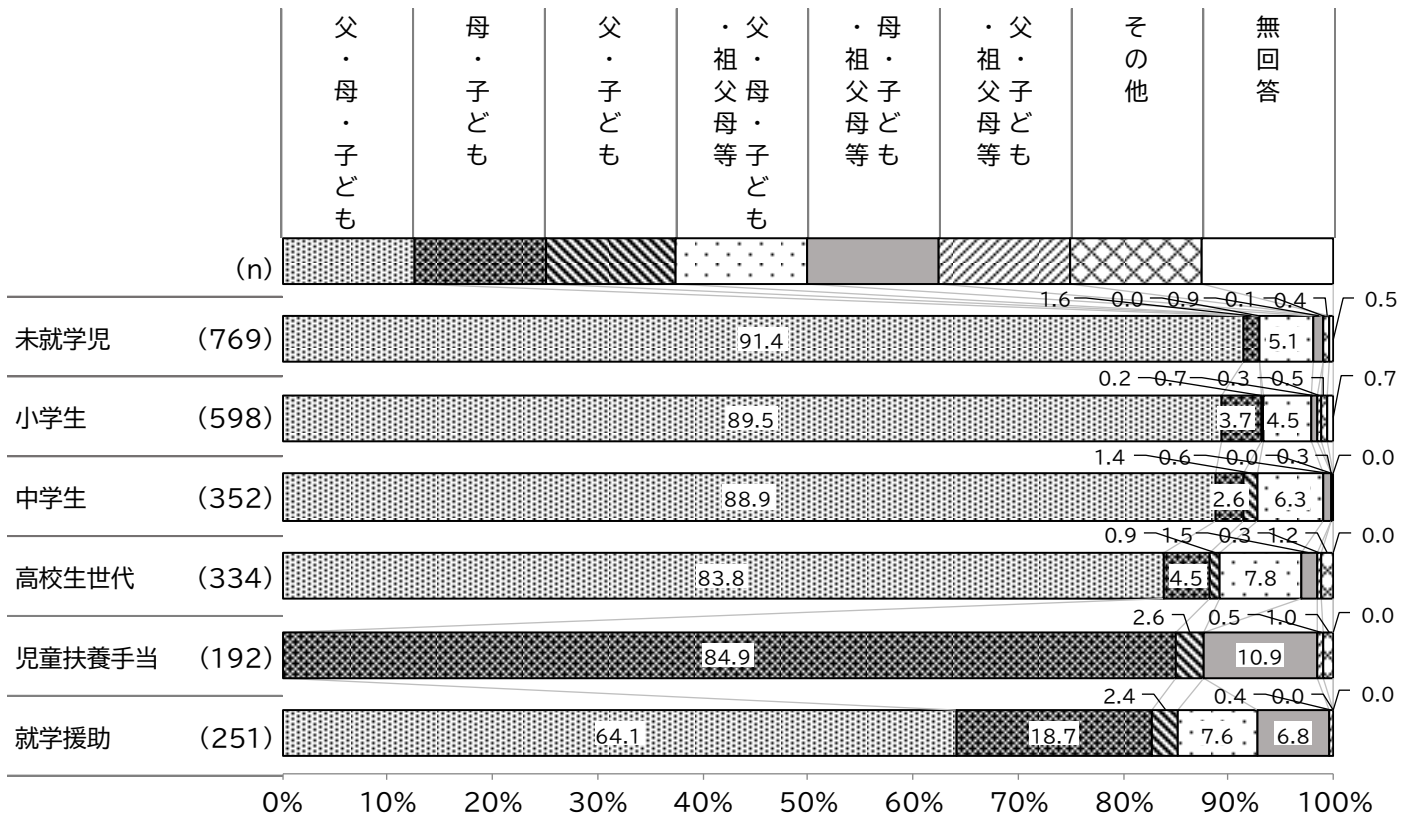
〔児童扶養手当：問6〕〔就学援助：問6〕

〔就学援助小学生本人：問2〕〔就学援助中学生本人：問2〕

(5)家族構成(本人の調査は複数回答)

家族構成について未就学児、小学生、中学生及び高校生世代の保護者に尋ねたところ、「父・母・子ども」は未就学児の保護者が91.4%、小学生の保護者が89.5%、中学生の保護者が88.9%、高校生世代の保護者が83.8%で最も多くなっている。

小学生本人、中学生本人、高校生世代本人、就学援助小学生本人及び就学援助中学生本人は「母親」が9割以上で最も多くなっている。

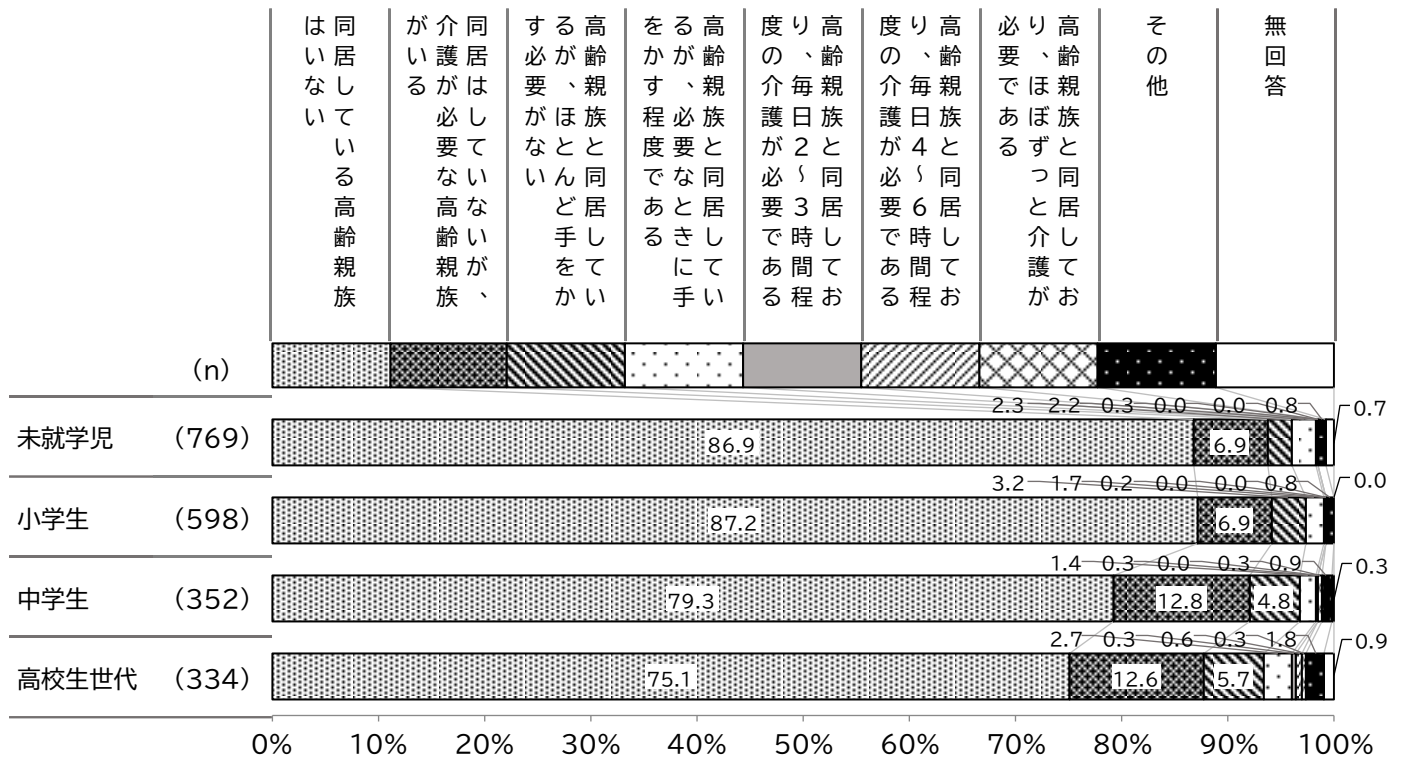


※「父・母・子ども」「父・母・子ども・祖父・母等」は児童扶養手当受給保護者の調査では項目なし。

(6) 介護が必要な高齢の同居親族の有無と介護の程度

〔未就学児：問6〕〔小学生：問6〕
〔中学生：問5〕〔高校生世代：問5〕

介護が必要な高齢の同居親族の有無について、未就学児、小学生、中学生及び高校生世代の保護者に尋ねたところ、「同居している高齢親族はいない」はそれぞれ、86.9%、87.2%、79.3%、75.1%となっている。また、「同居はしていないが、介護が必要な高齢親族がいる」は、中学生の保護者が12.8%、高校生世代の保護者が12.6%となっている。



〔未就学児：問7、問8〕〔小学生：問7、問8〕〔中学生：問7〕
〔高校生世代：問7〕〔児童扶養手当：問2〕〔就学援助：問2〕

(7) 回答者と配偶者の有無

本調査の回答者については、未就学児、小学生、中学生及び高校生世代の保護者では「母親」が約7割から約8割を占めている。児童扶養手当受給保護者では「母親」が95.8%、就学援助受給世帯保護者では「母親」が80.5%となっている。

回答者の配偶者の有無については、「いる」が未就学児の保護者で96.6%、小学生の保護者で94.6%となっている。

	(n)	回答者 (%)					配偶者の有無 (%)		
		父親	母親	祖父母等	その他	無回答	いる	いない	無回答
未就学児	(769)	23.0	75.8	(項目なし)	0.3	0.9	96.6	2.1	1.3
小学生	(598)	23.6	74.7	(項目なし)	0.5	1.2	94.6	4.0	1.3
中学生	(352)	25.3	74.1	(項目なし)	0.0	0.6	(項目なし)		
高校生世代	(334)	23.7	73.1	(項目なし)	2.4	0.9	(項目なし)		
児童扶養手当	(192)	3.1	95.8	0.0	1.0	0.0	(項目なし)		
就学援助	(251)	17.9	80.5	0.4	0.4	0.8	(項目なし)		

(8)主に子育てを行っている人

〔未就学児：問9〕〔小学生：問9〕〔児童扶養手当：問1〕〔就学援助：問1〕

主に子育てを行っている人について尋ねたところ、未就学児、小学生の保護者ともに「父母ともに」が6割を超えて最も多く、次いで「主に母親」が約4割となっている。また、児童扶養手当受給保護者及び就学援助受給世帯保護者ともに「主に母親」が約9割で最も多くなっている。

(%)

	(n)	父母ともに	主に父親	主に母親	主に祖父母	その他	無回答
未就学児	(769)	60.6	0.8	37.8	0.1	0.0	0.7
小学生	(598)	60.9	1.5	36.1	0.0	0.5	1.0
児童扶養手当	(192)	(項目なし)	3.6	95.3	0.5	0.5	0.0
就学援助	(251)	(項目なし)	8.8	87.6	0.8	2.0	0.8

(9)居住地区

〔未就学児：問1〕〔小学生：問1〕〔中学生：問1〕〔高校生世代：問1〕

〔小学生本人：問1〕〔中学生本人：問1〕〔高校生世代本人：問1〕

居住地区については、未就学児、小学生、中学生及び高校生世代の保護者、小学生本人、中学生本人及び高校生世代本人ともに「本駒込」がそれぞれ10%以上を占めている。

(%)

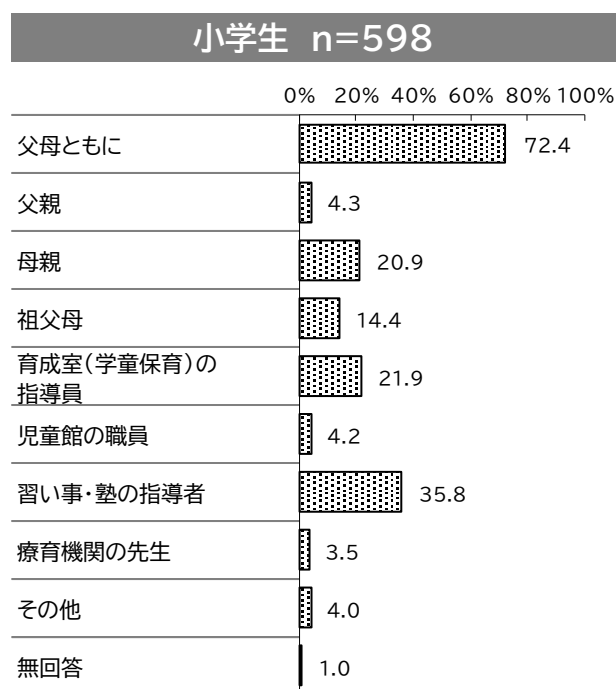
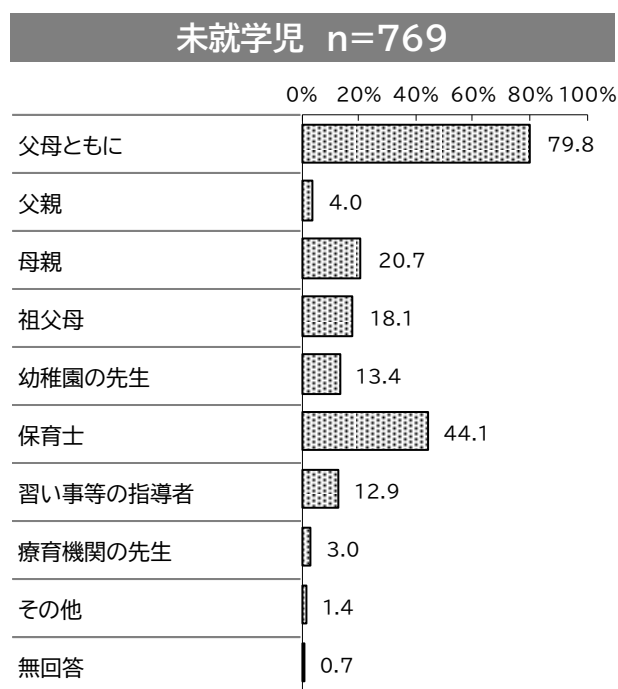
	(n)	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込	無回答
未就学児	(769)	0.7	2.2	15.0	9.1	10.8	3.0	5.2	10.0	3.6	3.1	4.7	6.8	3.8	1.4	1.4	0.4	1.7	5.2	11.3	0.7
小学生	(598)	1.0	2.5	11.4	8.5	10.2	2.0	6.0	6.5	2.7	3.2	1.7	9.2	2.0	4.2	2.7	0.8	3.3	8.9	12.9	0.3
中学生	(352)	1.4	4.0	9.7	9.4	11.4	2.3	4.8	9.9	3.1	3.7	1.1	6.5	0.0	2.3	3.7	0.6	2.6	9.7	13.9	0.0
高校生世代	(334)	0.6	2.7	12.0	7.2	10.8	3.3	4.2	8.7	4.5	4.2	2.1	4.2	0.0	2.7	3.3	1.5	3.3	9.9	14.4	0.6
小学生本人	(274)	0.4	3.3	8.8	12.8	9.5	1.1	5.1	12.8	1.8	1.5	1.1	5.1	0.0	1.8	3.6	0.4	2.2	12.4	16.1	0.4
中学生本人	(254)	0.0	3.1	13.0	7.9	11.8	4.7	5.9	6.7	2.8	2.8	1.6	8.3	2.0	3.1	2.8	1.2	2.4	7.9	12.2	0.0
高校生世代本人	(226)	2.2	3.1	9.3	9.3	14.6	3.1	7.1	8.8	2.2	4.0	1.3	0.4	0.0	3.5	3.1	0.4	2.7	10.6	13.3	0.9

2 子育ての環境

(1)日常的に子育て(教育を含む。)に関わっている人(複数回答)

〔未就学児：問10〕〔小学生：問10〕

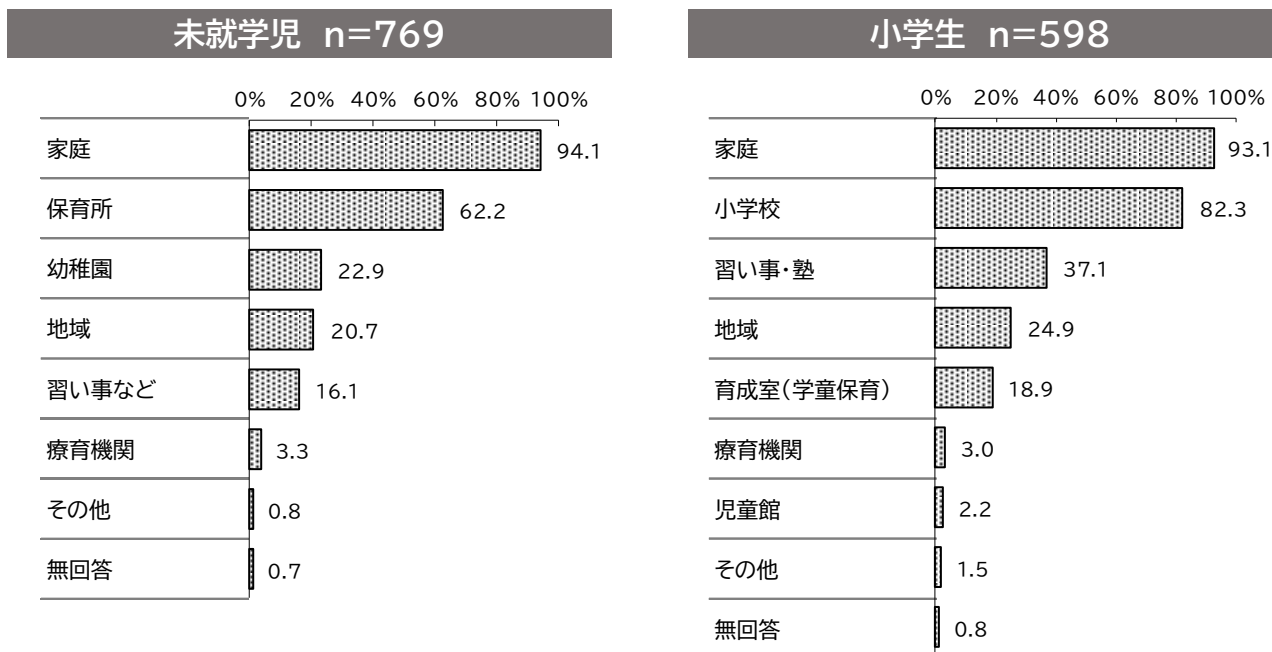
日常的に子育て(教育を含む。)に関わっている人について複数回答で尋ねたところ、「父母ともに」が未就学児の保護者は79.8%、小学生の保護者は72.4%とそれぞれ最も多くなっている。未就学児の保護者は、次いで「保育士」が44.1%、「母親」が20.7%となっている。小学生の保護者は「習い事・塾の指導者」が35.8%と「父母ともに」に次いで多く、「育成室(学童保育)の指導員」が21.9%、「母親」が20.9%となっている。



(2)子育てに最も影響が強いと思われる環境(複数回答)

[未就学児：問11] [小学生：問11]

子育てに影響が強いと思われる環境について尋ねたところ、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「家庭」が90%を超えて最も多くなっている。未就学児の保護者は、次いで「保育所」が62.2%、「幼稚園」が22.9%となっており定期的な教育・保育事業の影響も大きいと考えられている。小学生の保護者は「小学校」が82.3%と家庭に次いで多くなっており、「習い事・塾」が37.1%で続いている。「地域」は未就学児の保護者で20.7%、小学生の保護者で24.9%となっている。



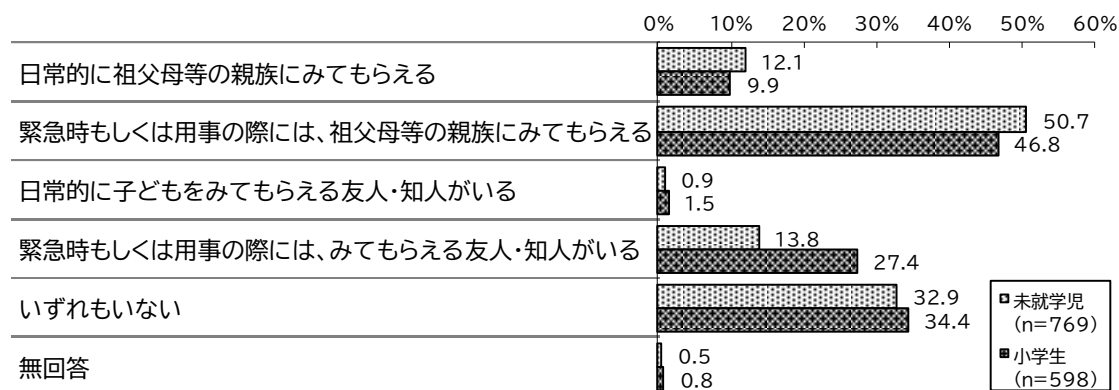
(3)子どもをみてもらえる親族・知人の状況

①子どもをみてもらえる親族・知人の有無(複数回答)

[未就学児：問12] [小学生：問12]

子どもをみてもらえる親族・知人の有無について尋ねたところ、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる」が50%前後で最も多く、未就学児が小学生を上回っている。「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は未就学児の保護者、小学生の保護者ともに10%前後となっており、未就学児が小学生を若干上回っている。

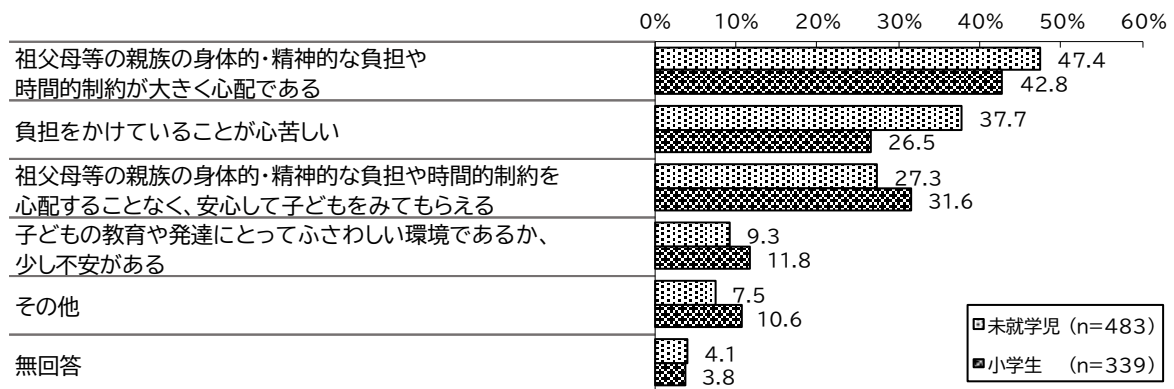
一方、友人・知人にみてもらえる状況については、未就学児に比べ小学生で多くなる傾向となっており、緊急時もしくは用事の際にみてもらえる状況は、未就学児の保護者は13.8%であるのに対し、小学生の保護者では27.4%となっている。



②祖父母等の親族に子どもをみてもらえる状況(複数回答)

〔未就学児：問 12-1〕〔小学生：問 12-1〕

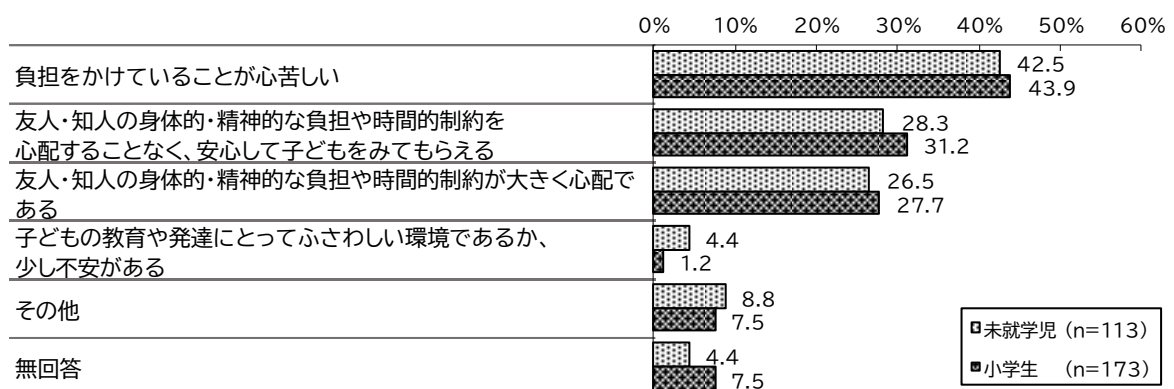
祖父母等の親族に子どもをみてもらえる状況について、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」が最も多くなっている。次いで未就学児では「負担をかけていることが心苦しい」、小学生では「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が続いている。



③友人・知人に子どもをみてもらえる状況(複数回答)

〔未就学児：問 12-2〕〔小学生：問 12-2〕

友人・知人に子どもをみてもらえる状況について、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「負担をかけていることが心苦しい」が4割を超えて最も多く、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が続いている。



3 親子のコミュニケーションについて

(1) 家族との会話

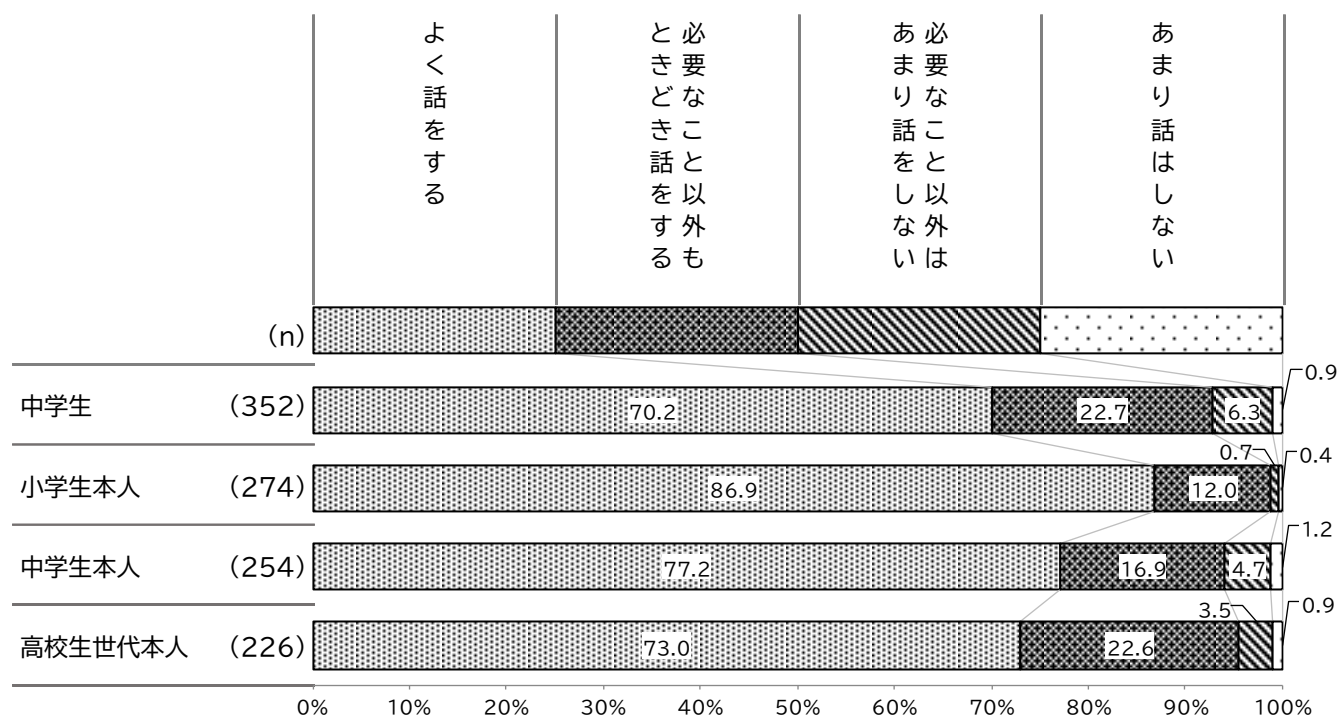
①(子どもが)家族と会話をする頻度

〔中学生：問8〕〔小学生本人：問5〕

〔中学生本人：問5〕〔高校生世代本人：問5〕

家族と会話をする頻度については、小学生本人は、「よく話をする」86.9%、「必要なこと以外もときどき話をする」12.0%となっている。中学生本人では「よく話をする」77.2%、「必要なこと以外もときどき話をする」16.9%となっている。高校生世代本人では「よく話をする」73.0%、「必要なこと以外もときどき話をする」22.6%となっている。

中学生の保護者では、「よく話をする」70.2%、「必要なこと以外もときどき話をする」22.7%であり、「話をする」の計が92.9%となっており、中学生本人の「話をする」の計94.1%より1.2ポイント少なくなっている。



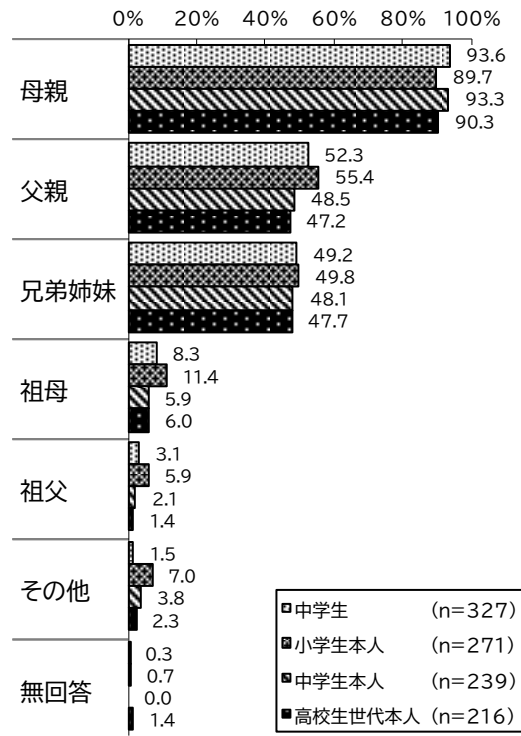
②【家族との会話「よく話をする」「必要なこと以外もときどき話をする」回答者】

(子どもが)会話をする主な家族(複数回答)

〔中学生：問 8-1〕〔小学生本人：問 5-1〕

〔中学生本人：問 5-1〕〔高校生世代本人：問 5-1〕

家族と会話を「よく話をする」、「必要なこと以外もときどき話をする」と回答した人に会話をする主な家族を尋ねたところ、中学生の保護者、小学生本人、中学生本人及び高校生世代本人ともに「母親」が約 90%と最も多く、次いで「父親」と「兄弟姉妹」となっている。



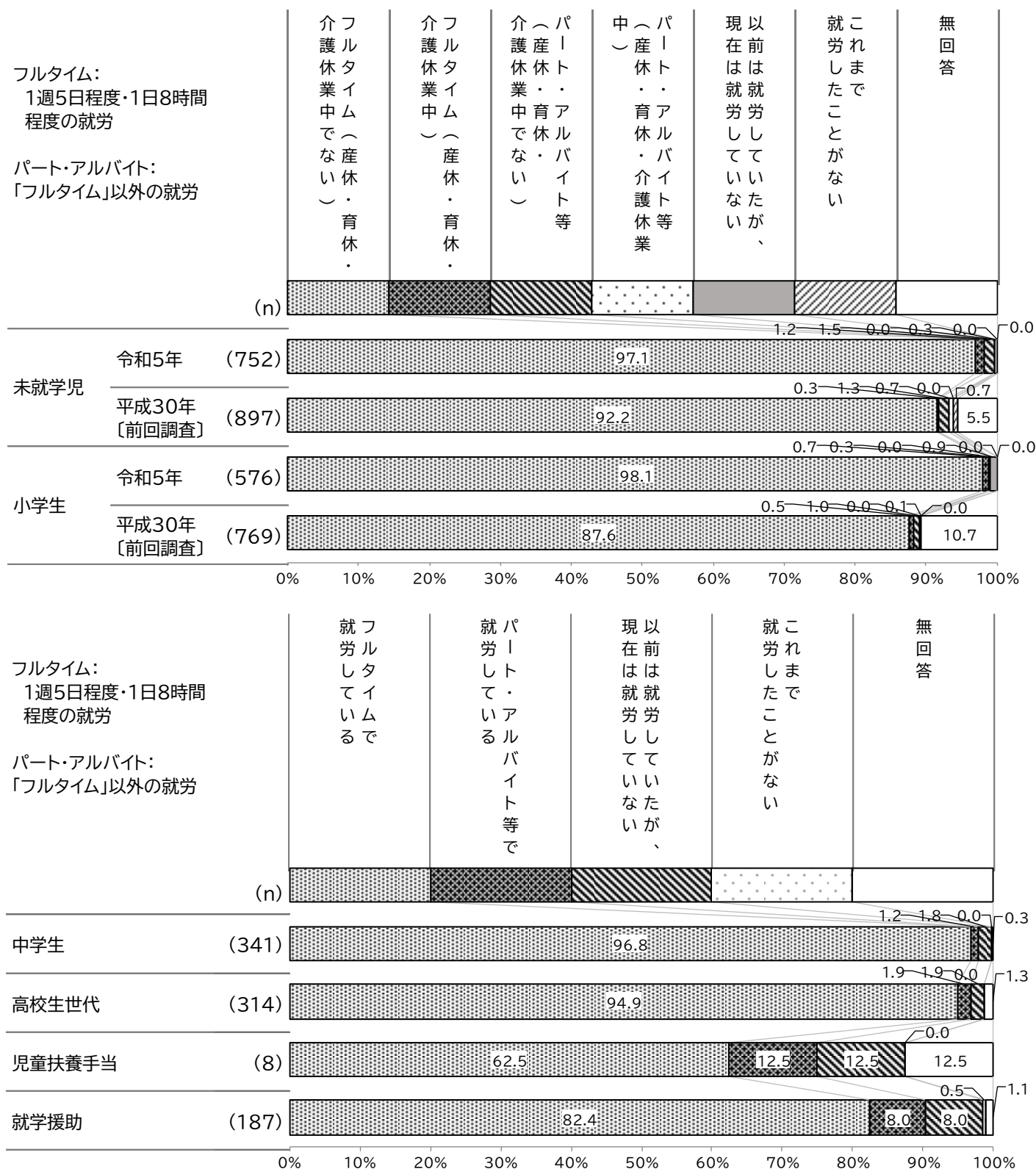
4 保護者の就労状況

〔未就学児：問 13 (1)〕〔小学生：問 13 (1)〕
 〔中学生：問 20 (1)〕〔高校生世代：問 13 (1)〕
 〔児童扶養手当：問 12 (1)〕〔就学援助：問 12 (1)〕

(1) 父親の就労状況

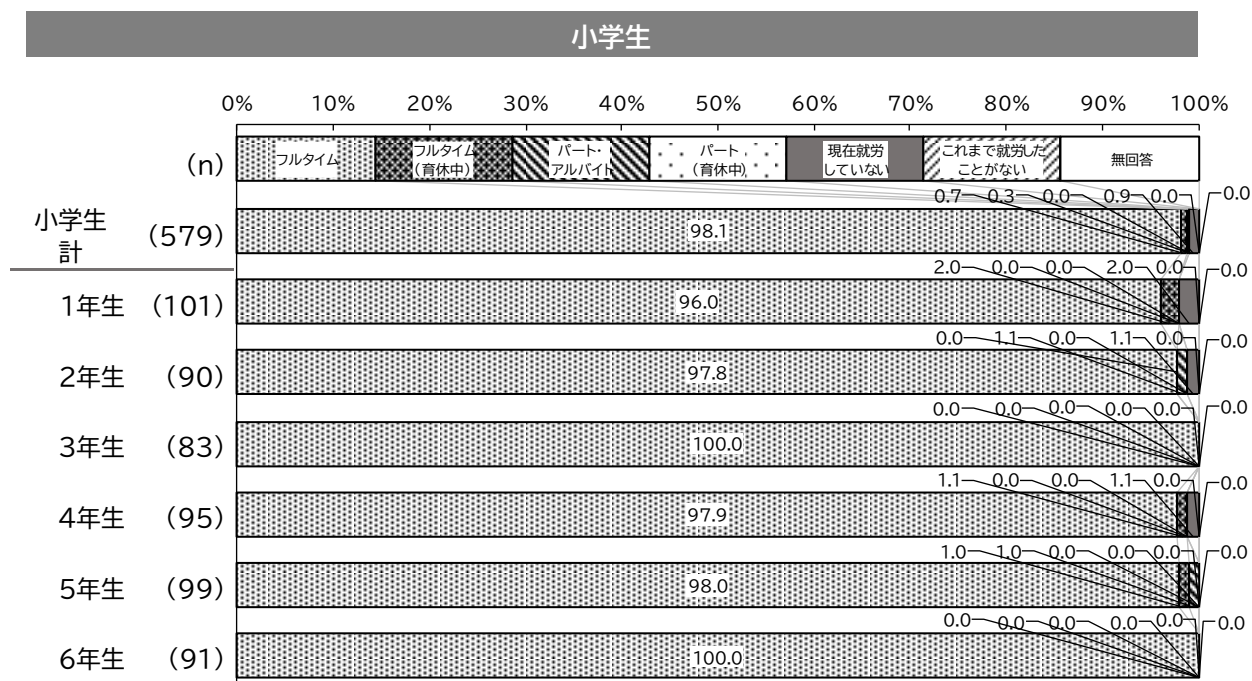
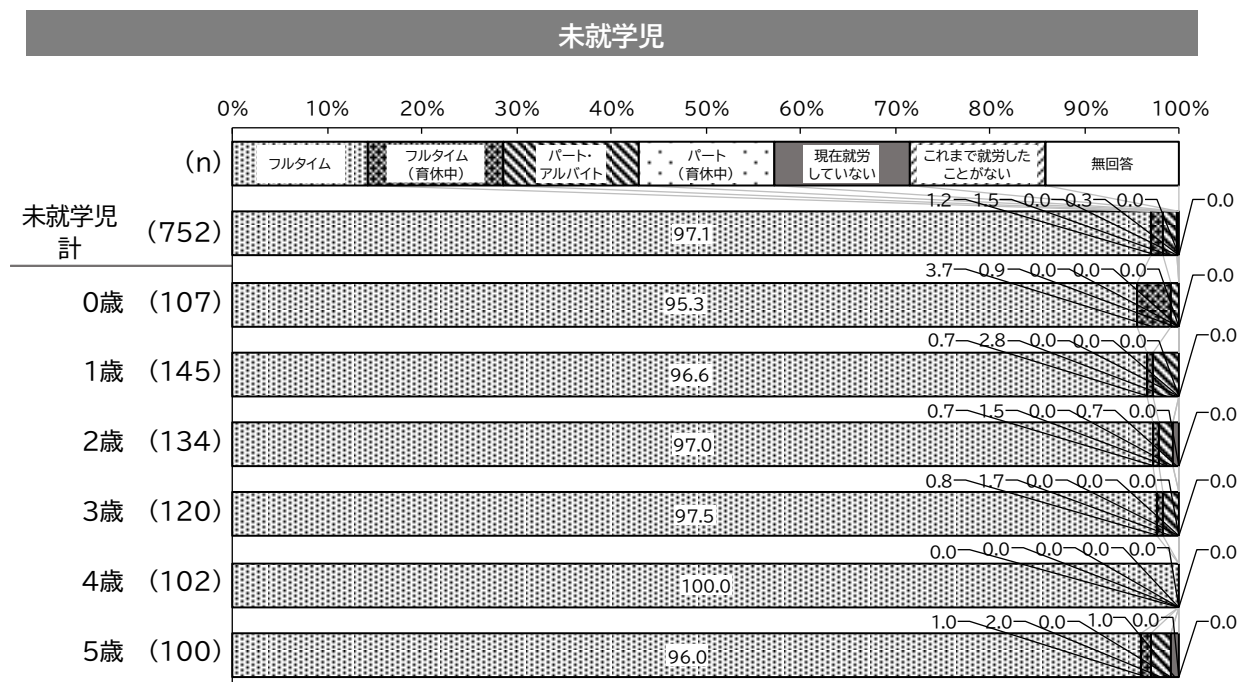
父親の就労状況については、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「フルタイム(産休・育休・介護休業中でない)」が90%後半となっている。また、中学生の保護者、高校生世代の保護者、児童扶養手当受給保護者、就学援助受給世帯保護者ともに「フルタイムで就労している」が最も多くなっている。

平成 30 年の調査結果と比較すると、大きな変化は見られないが、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「フルタイム(産休・育休・介護休業中でない)」が増加している。



《 父親－就労状況－子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、未就学児の保護者及び小学生の保護者においては「フルタイム」が全年齢・学年で95%以上を占めている。



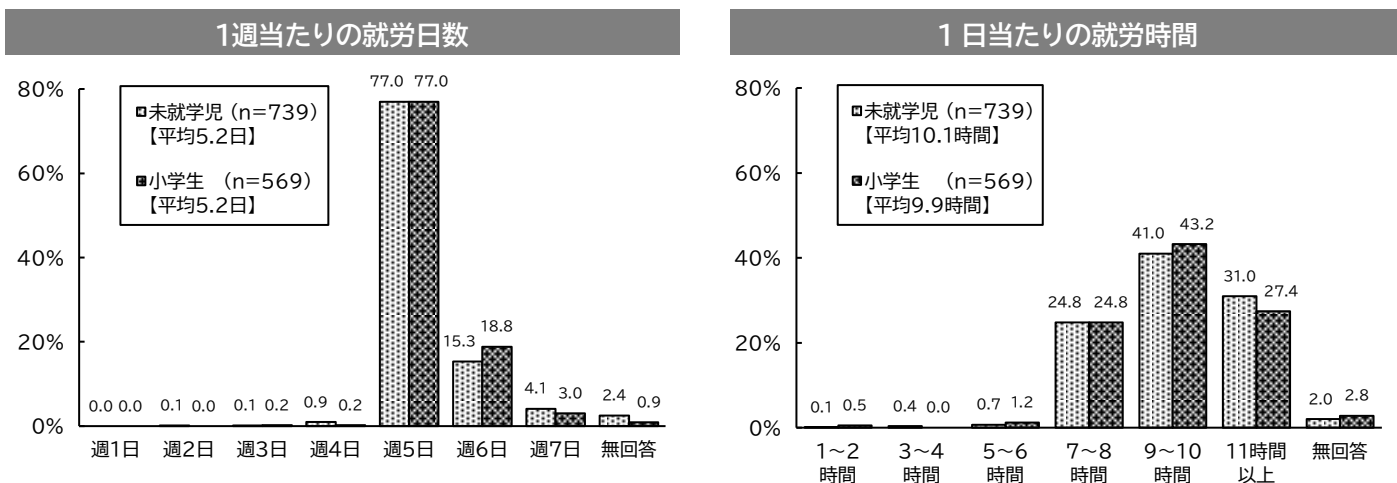
(2) 父親－就労者の就労状況

① 父親－【フルタイム就労者】就労日数／就労時間

〔未就学児：問 13 (1) -1〕〔小学生：問 13 (1) -1〕

フルタイムで就労している父親の1週当たりの就労日数は、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「週5日」が77.0%、「週6日」がそれぞれ15.3%、18.8%となっている。

また、1日当たりの就労時間は、「9～10 時間」が未就学児の保護者で 41.0%、小学生の保護者で 43.2%と最も多く、平均就労時間は未就学児の保護者で 10.1 時間、小学生の保護者で 9.9 時間となっている。



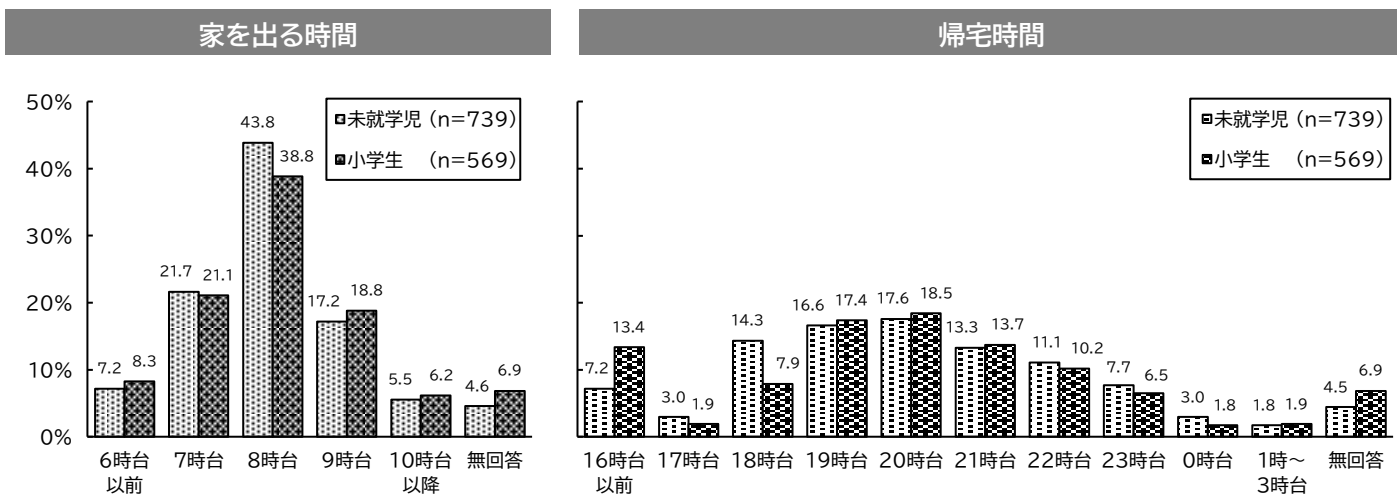
〔未就学児：問 13 (1) -1〕

② 父親－【フルタイム就労者】家を出る時間／帰宅時間

〔小学生：問 13 (1) -1〕

フルタイムで就労している父親の家を出る時間は、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「8時台」が 40%前後で最も多く、「7時台」が2割を超えている。後述のフルタイムで就労している母親と比較して、やや早い時間帯に家を出る傾向となっている。

帰宅時間については、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「20 時台」が最も多くなっている。後述のフルタイムで就労している母親の帰宅時間は「19 時台」までに集中しているのに対し、父親は分散が大きくなっている。



(3)父親－パート・アルバイト等就労者の就労状況／就労希望

①父親－【パート・アルバイト等就労者】就労日数／就労時間 〔未就学児：問 13 (1) -1〕
〔小学生：問 13 (1) -1〕

「パート・アルバイト等」で就労している父親の回答は、未就学児の保護者で 11 件、小学生の保護者で 2 件であった。

※回答数が少ないため作図せず。

②父親－【パート・アルバイト等就労者】家を出る時間／帰宅時間 〔未就学児：問 13 (1) -1〕
〔小学生：問 13 (1) -1〕

「パート・アルバイト等」で就労している父親の回答は、未就学児の保護者で 11 件、小学生の保護者で 2 件であった。

※回答数が少ないため作図せず。

③父親のフルタイムへの転換希望 〔未就学児：問 13 (1) -2〕〔小学生：問 13 (1) -2〕

「パート・アルバイト等」で就労している父親の回答は、未就学児の保護者で 11 件、小学生の保護者で 2 件であった。

※回答数が少ないため作図せず。

(4)父親－就労していない人の就労希望

①父親－【就労していない人】就労希望 〔未就学児：問 13 (1) -3〕〔小学生：問 13 (1) -3〕

就労していない父親の回答は、未就学児の保護者で2件、小学生の保護者で5件であった。

※回答数が少ないため作図せず。

②父親の希望する就労形態 〔未就学児：問 13 (1) -3〕〔小学生：問 13 (1) -3〕

就労していない父親の回答は、未就学児の保護者で2件、小学生の保護者で3件であった。

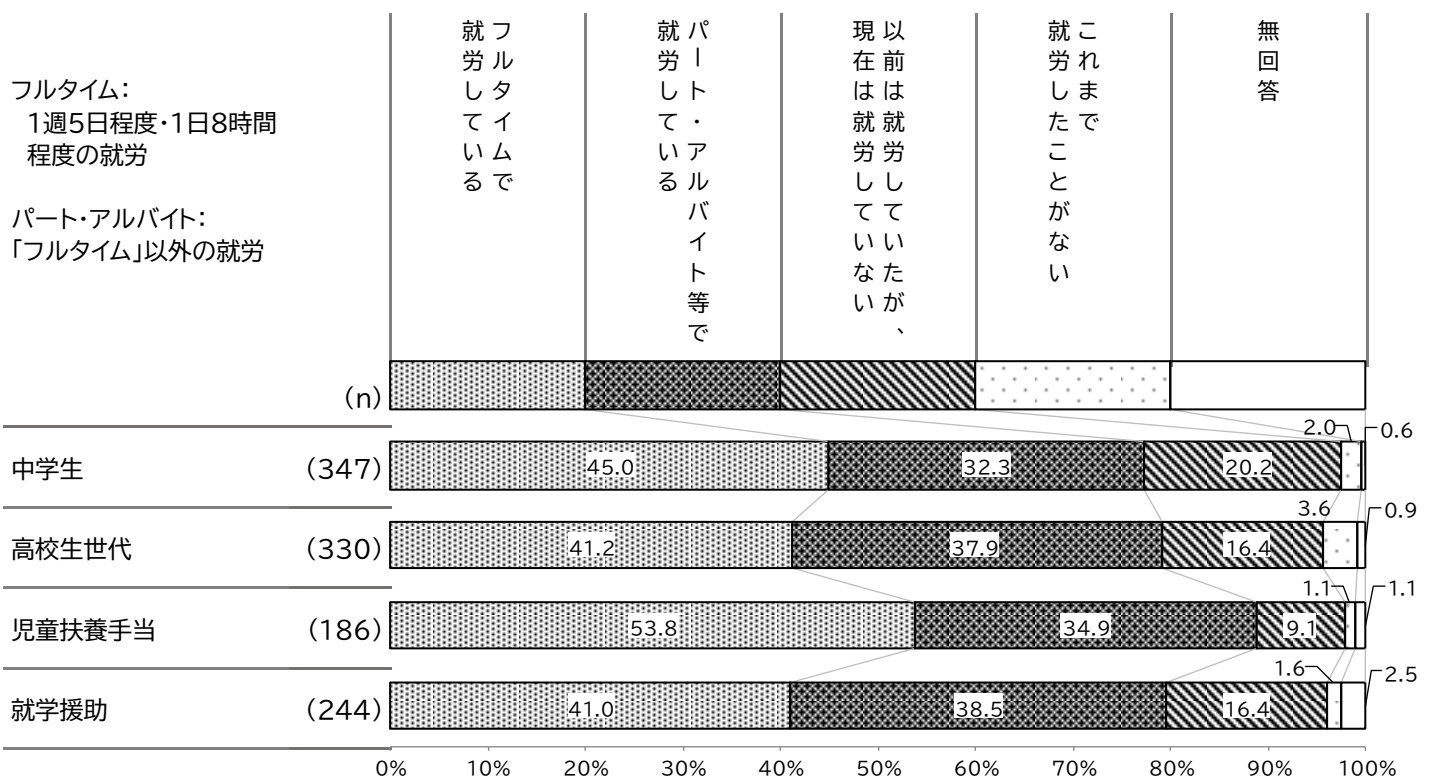
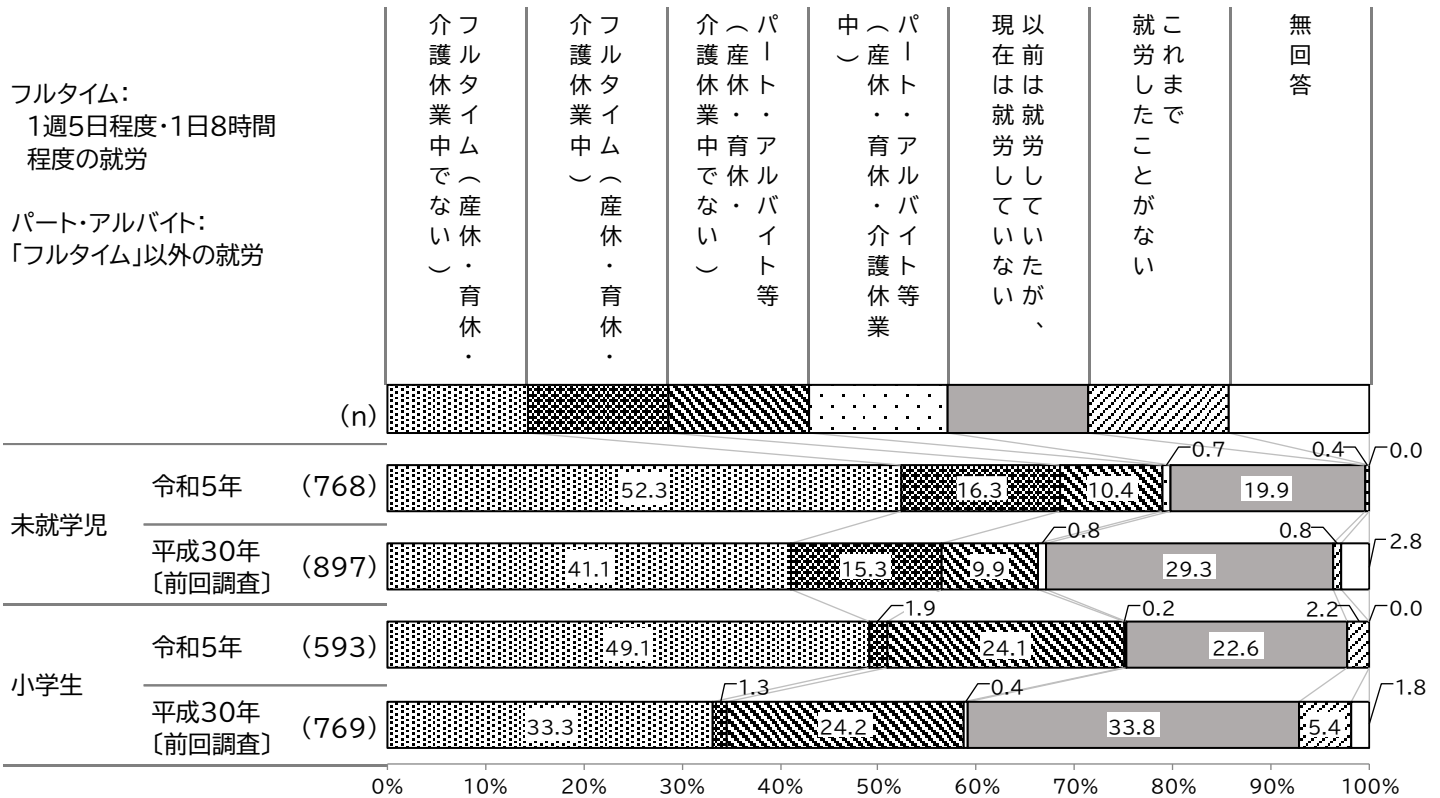
※回答数が少ないため作図せず。

(5)母親の就労状況

〔未就学児：問 13 (2)〕〔小学生：問 13 (2)〕〔中学生：問 20 (2)〕
 〔高校生世代：問 13 (2)〕〔児童扶養手当：問 12 (2)〕〔就学援助：問 12 (2)〕

母親の就労状況について、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「フルタイム(産休・育休・介護休業中でない)」が約5割となっている。また、中学生の保護者、高校生世代の保護者、児童扶養手当受給保護者、就学援助受給世帯保護者ともに「フルタイムで就労している」が最も多くなっている。

平成 30 年の調査結果と比較すると、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「フルタイム(産休・育休・介護休業中でない)」が増加している。

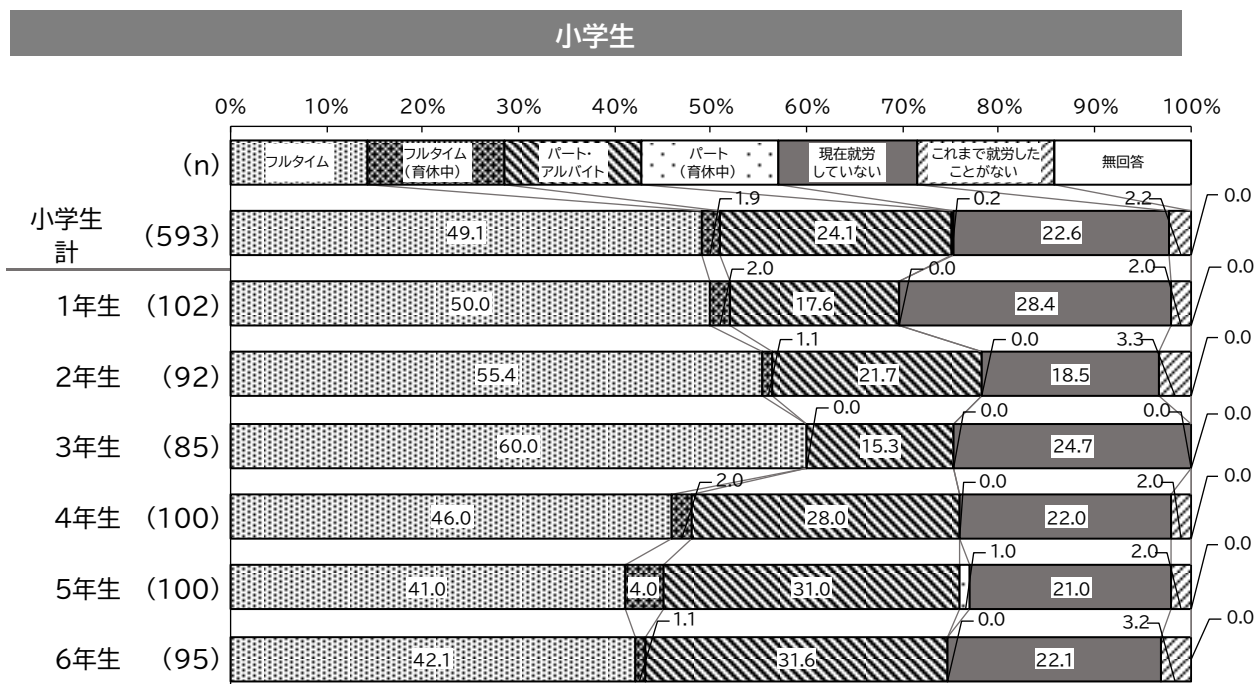
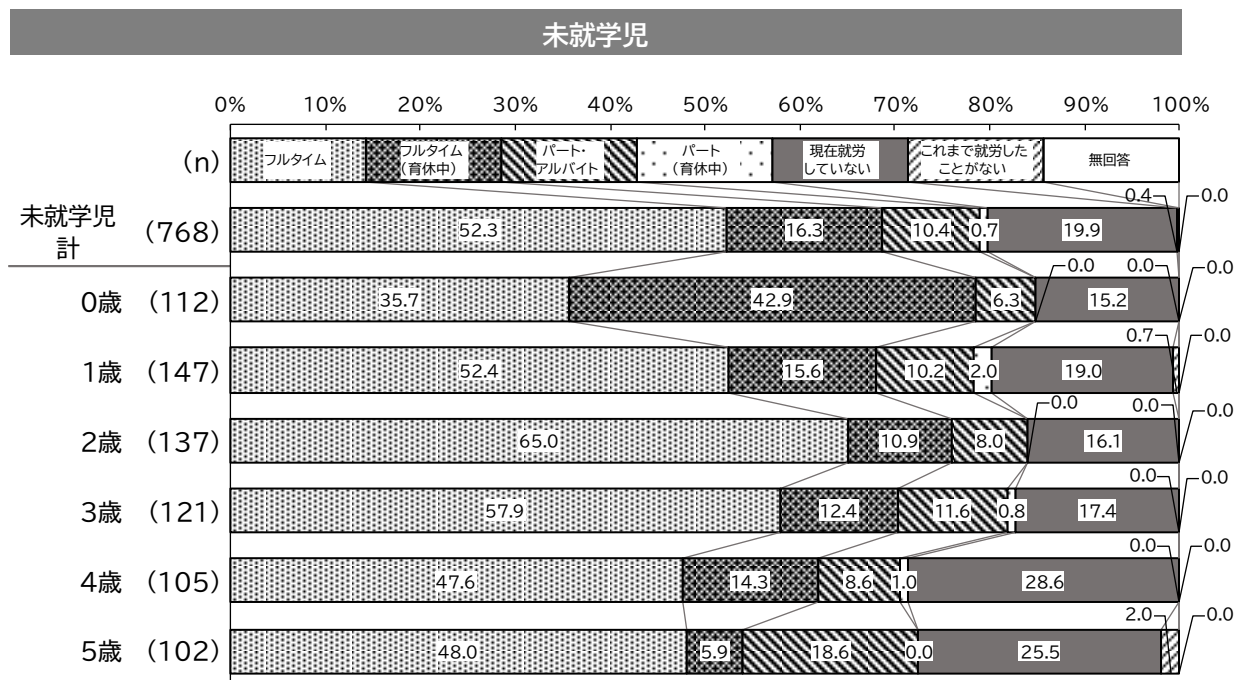


《 母親－就労状況－子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、未就学児の保護者において、0歳は「フルタイム」が3割半ば、「フルタイム(育休中)」が4割を超え、合わせてフルタイムは約8割と多くなっている。

1歳以上では、「フルタイム」は4割を超えている。また、1歳から4歳では「フルタイム(育休中)」が1割台、5歳では1割未満となっている。

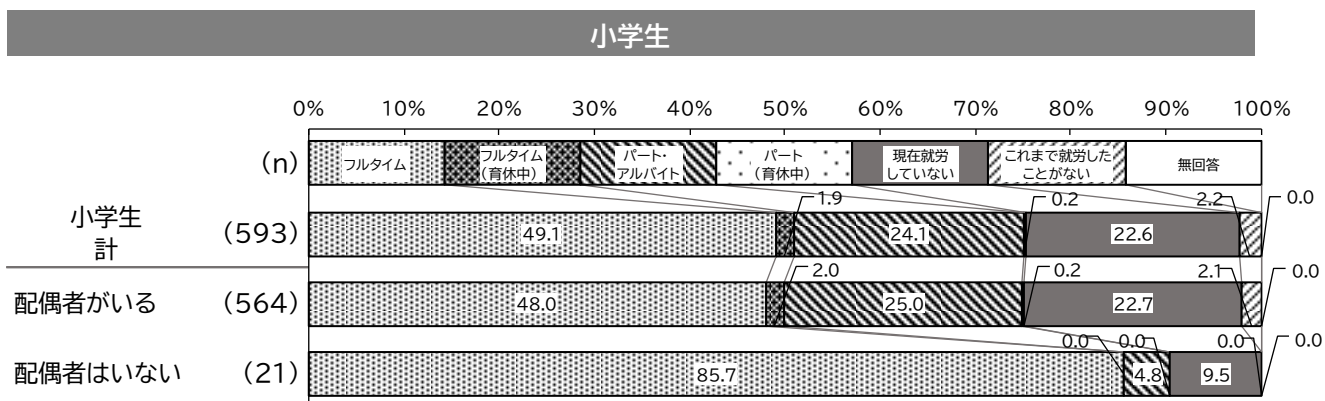
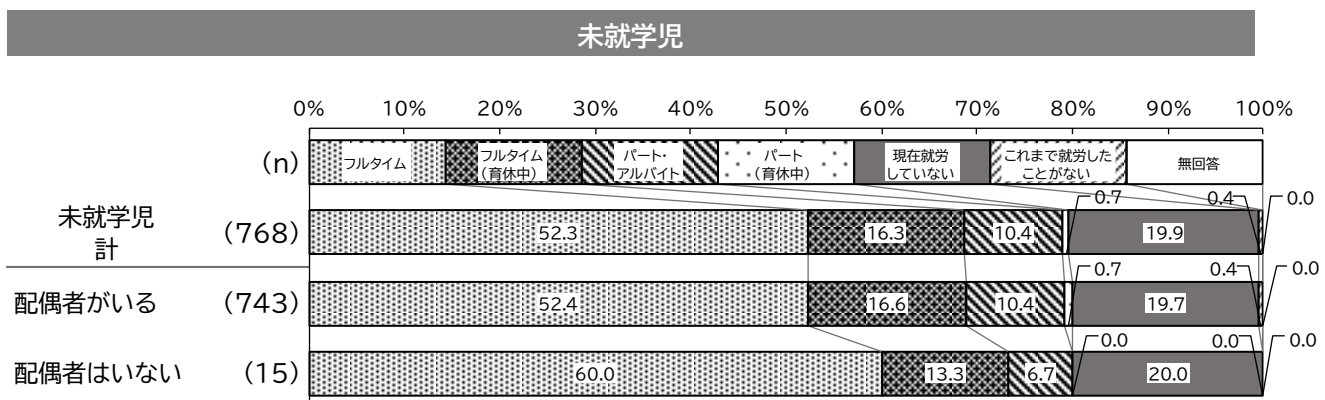
小学生の保護者において、3年生は「フルタイム」が6割と最も多く、4年生、5年生及び6年生では「パート・アルバイト」が約3割と多い傾向となっている。



《 母親－就労状況－回答者の配偶者の有無別 》

回答者の配偶者の有無別にみると、未就学児の保護者で配偶者がいない方は、「フルタイム」が6割、「フルタイム(育休中)」が1割を超え、合わせてフルタイムは7割を超えて多くなっている。

小学生の保護者で配偶者がいない方は、「フルタイム」と「フルタイム(育休中)」で合わせてフルタイムは8割半ばと多くなっている。



(6) 母親－フルタイム就労者の就労状況

〔未就学児：問 13 (2) -1〕

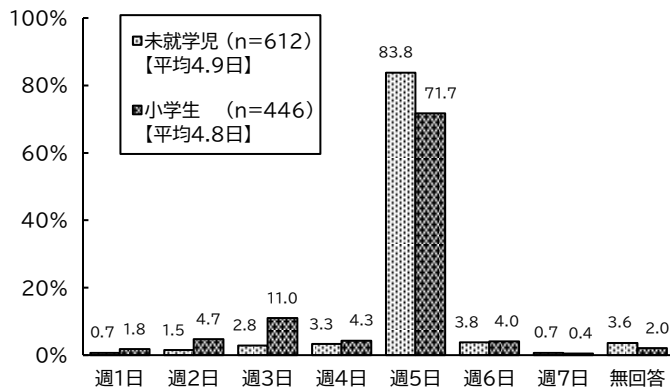
〔小学生：問 13 (2) -1〕

① 母親－【フルタイム就労者】就労日数／就労時間

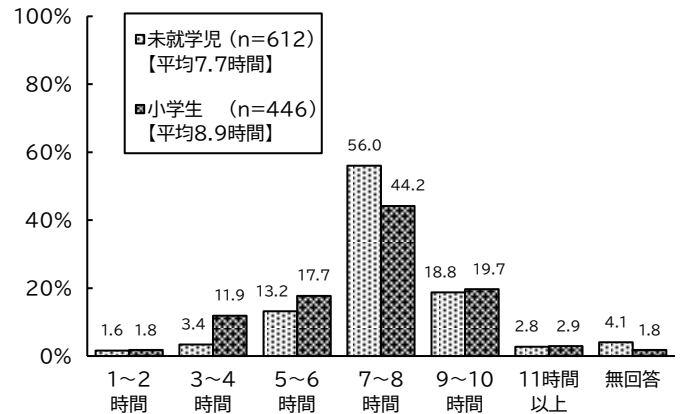
フルタイムで就労している母親の1週当たりの就労日数は、「週5日」が未就学児の保護者で8割強、小学生の保護者で7割強となっている。

また、1日当たりの就労時間は、「7～8時間」が未就学児の保護者で5割台半ば、小学生の保護者で4割台半ばとなっている。「9～10時間」は未就学児の保護者、小学生の保護者ともに約2割となっている。

1週当たりの就労日数



1日当たりの就労時間



〔未就学児：問 13 (2) -1〕

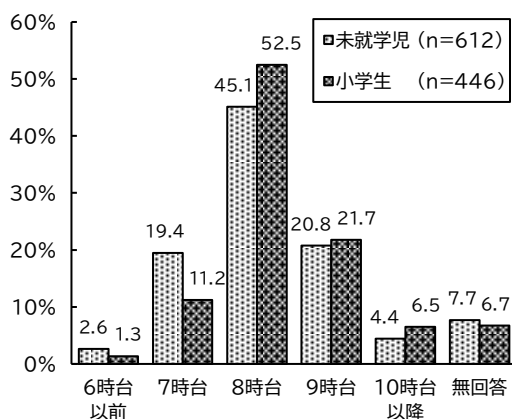
〔小学生：問 13 (2) -1〕

② 母親－【フルタイム就労者】家を出る時間／帰宅時間

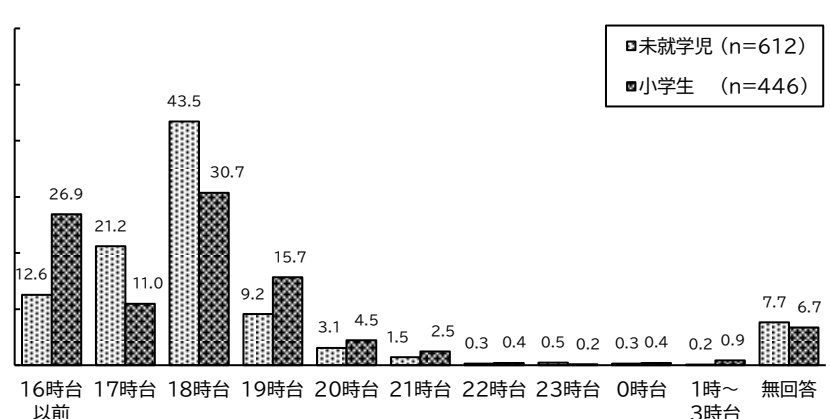
フルタイムで就労している母親の家を出る時間は、「8時台」が未就学児の保護者で4割台半ば、小学生の保護者で5割強と最も多く、次いで「9時台」がともに2割強となっている。

帰宅時間については、「18時台」が未就学児の保護者で4割強、小学生の保護者で3割強と最も多く、「17時台」が未就学児の保護者で2割強、「16時台以前」が小学生の保護者で3割弱と次いでいる。

家を出る時間



帰宅時間

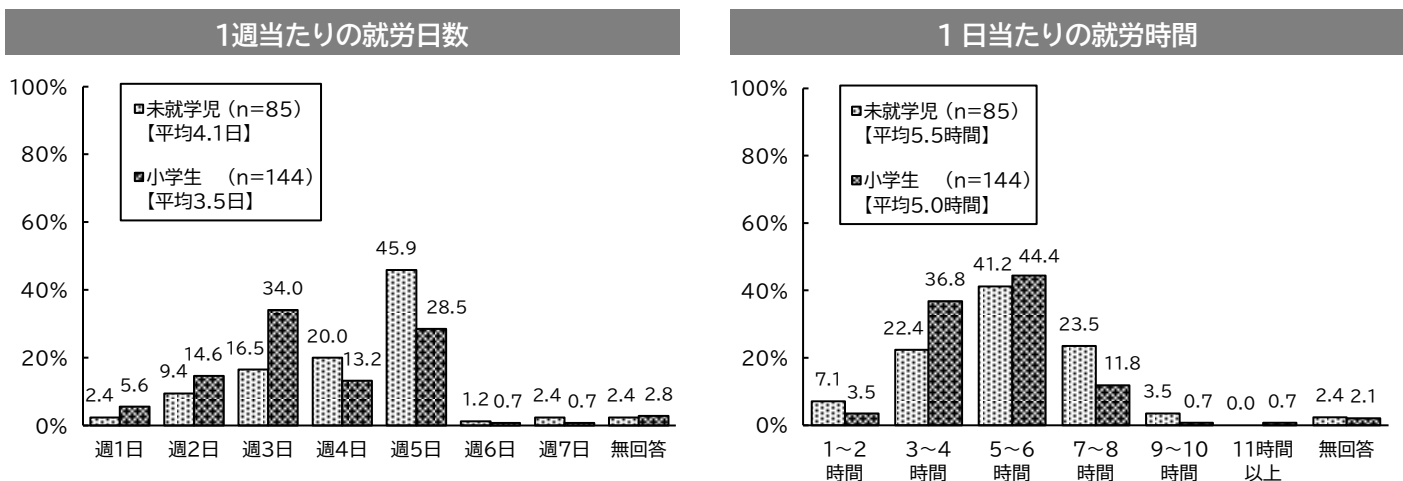


(7) 母親－パート・アルバイト等就労者の就労状況／就労希望

① 母親－【パート・アルバイト等就労者】就労日数／就労時間 〔未就学児：問 10 (2) -1〕
〔小学生：問 10 (2) -1〕

パート・アルバイト等で就労している母親の1週当たりの就労日数は、「週5日」が未就学児の保護者で4割台半ば、「週3日」が小学生の保護者で3割台半ばと最も多くなっている。次いで未就学児の保護者で「週4日」、小学生の保護者で「週5日」となっている。平均日数は未就学児の保護者は 4.1 日、小学生の保護者は 3.5 日となっている。

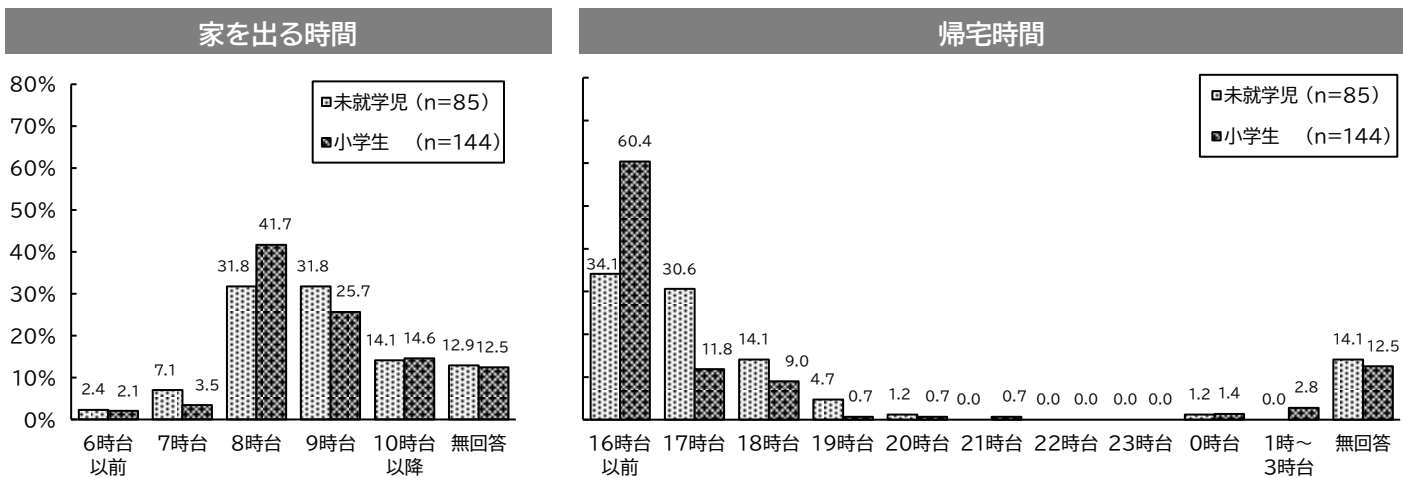
1日当たりの就労時間は、「5～6時間」が未就学児の保護者は4割強、小学生の保護者は4割台半ばと最も多く、次いで未就学児の保護者で「7～8時間」、小学生の保護者で「3～4時間」となっている。平均時間は、未就学児の保護者は 5.5 時間、小学生の保護者は 5.0 時間となっている。



② 母親－【パート・アルバイト等就労者】家を出る時間／帰宅時間 〔未就学児：問 13 (2) -1〕
〔小学生：問 13 (2) -1〕

パート・アルバイト等で就労している母親の家を出る時間は、未就学児の保護者で「8時台」及び「9時台」がいずれも3割を超えた一方、小学生の保護者では「8時台」が最も多く、4割を超えている。

帰宅時間は、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「16時台以前」が最も多く、「17時台」「18時台」と続いている。

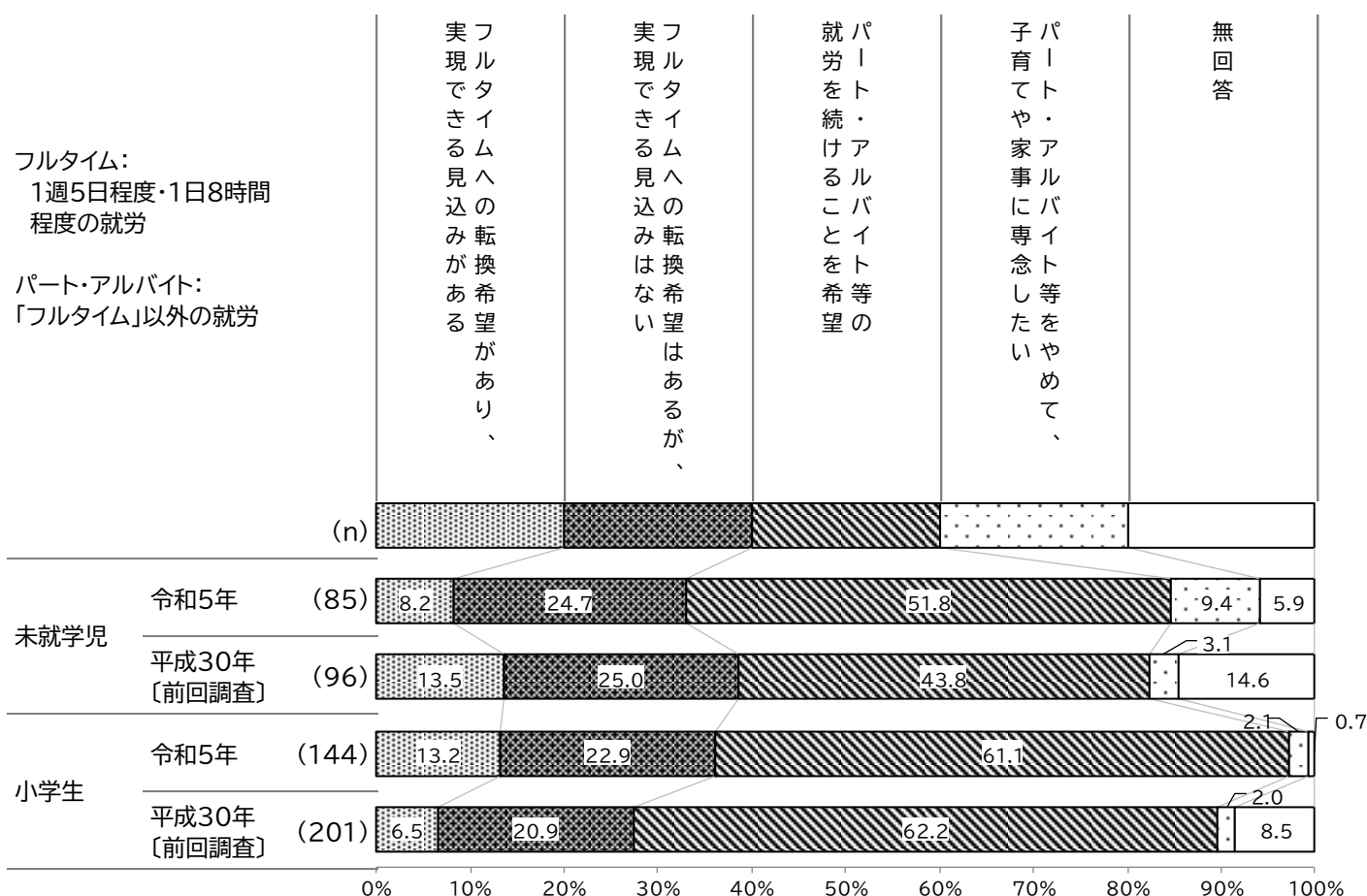


③母親－【パート・アルバイト等就労者】フルタイムへの転換希望

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望について、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は、未就学児の保護者が 8.2%、小学生の保護者が 13.2%と、小学生の保護者の方が多くなっている。

また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は未就学児の保護者が 24.7%、小学生の保護者が 22.9%となっている。

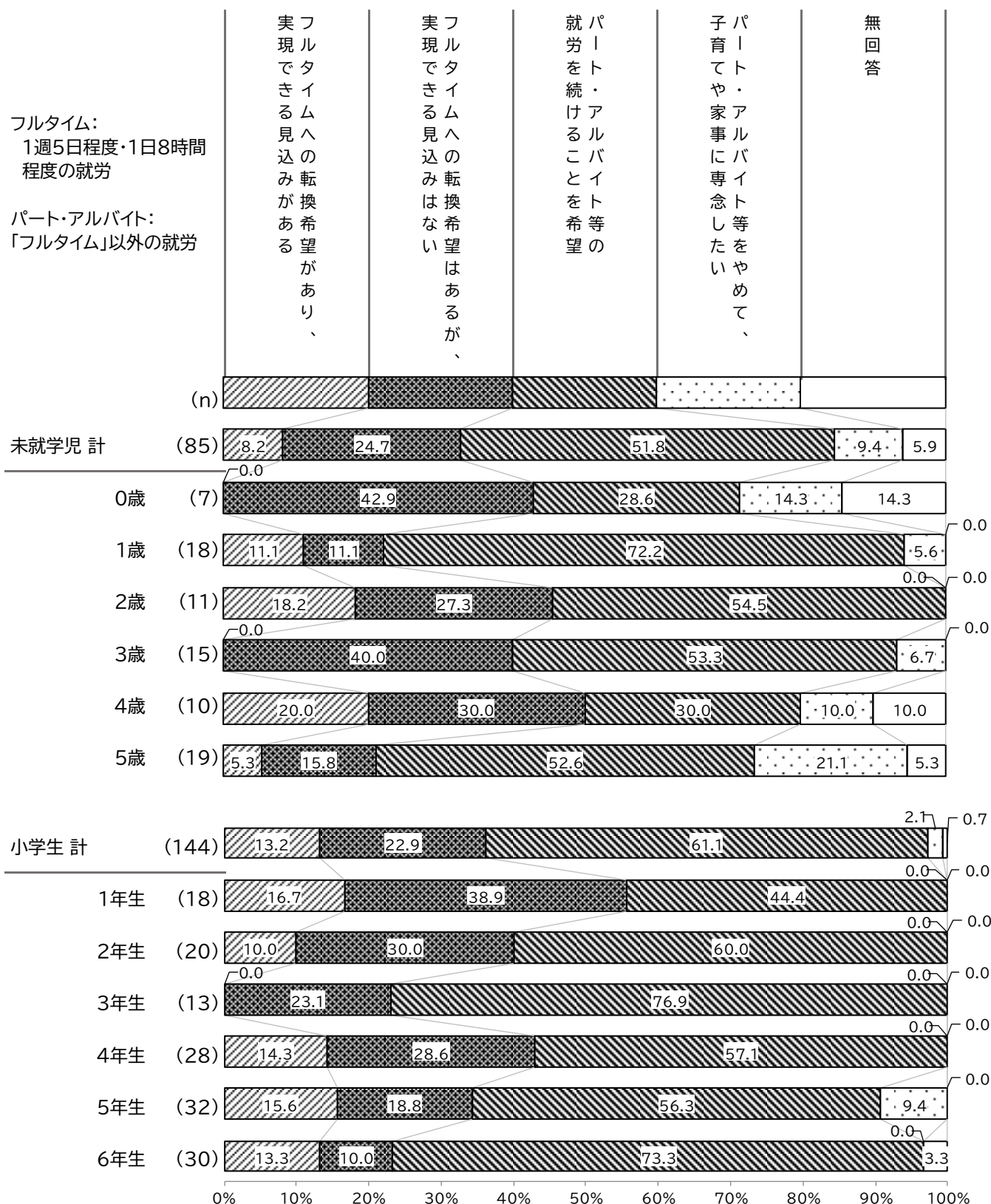
平成 30 年の調査結果と比較すると、未就学児の保護者では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 5.3 ポイント減少、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 0.3 ポイント減少、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は 8.0 ポイント増加しており、未就学児の保護者におけるパート・アルバイト等の就労を希望する母親が増加している様子が見える。一方、小学生の保護者では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 6.7 ポイント増加、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 2.0 ポイント増加、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は 1.1 ポイント減少しており、小学生の保護者におけるフルタイムへの就労を希望する母親が増加している様子が見える。



《 母親－【パート・アルバイト等就労者】フルタイムへの転換希望－子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、未就学児の保護者は4歳で「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が2割と他の年齢より高く、次いで2歳では1割後半となっている。また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は0歳、3歳で4割以上を占めて他の年齢より高くなっている。

小学生の保護者は3年生を除いた全ての学年で「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が1割台となっており、また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は1年生、2年生で3割台を占めて他の年齢より高くなっている。



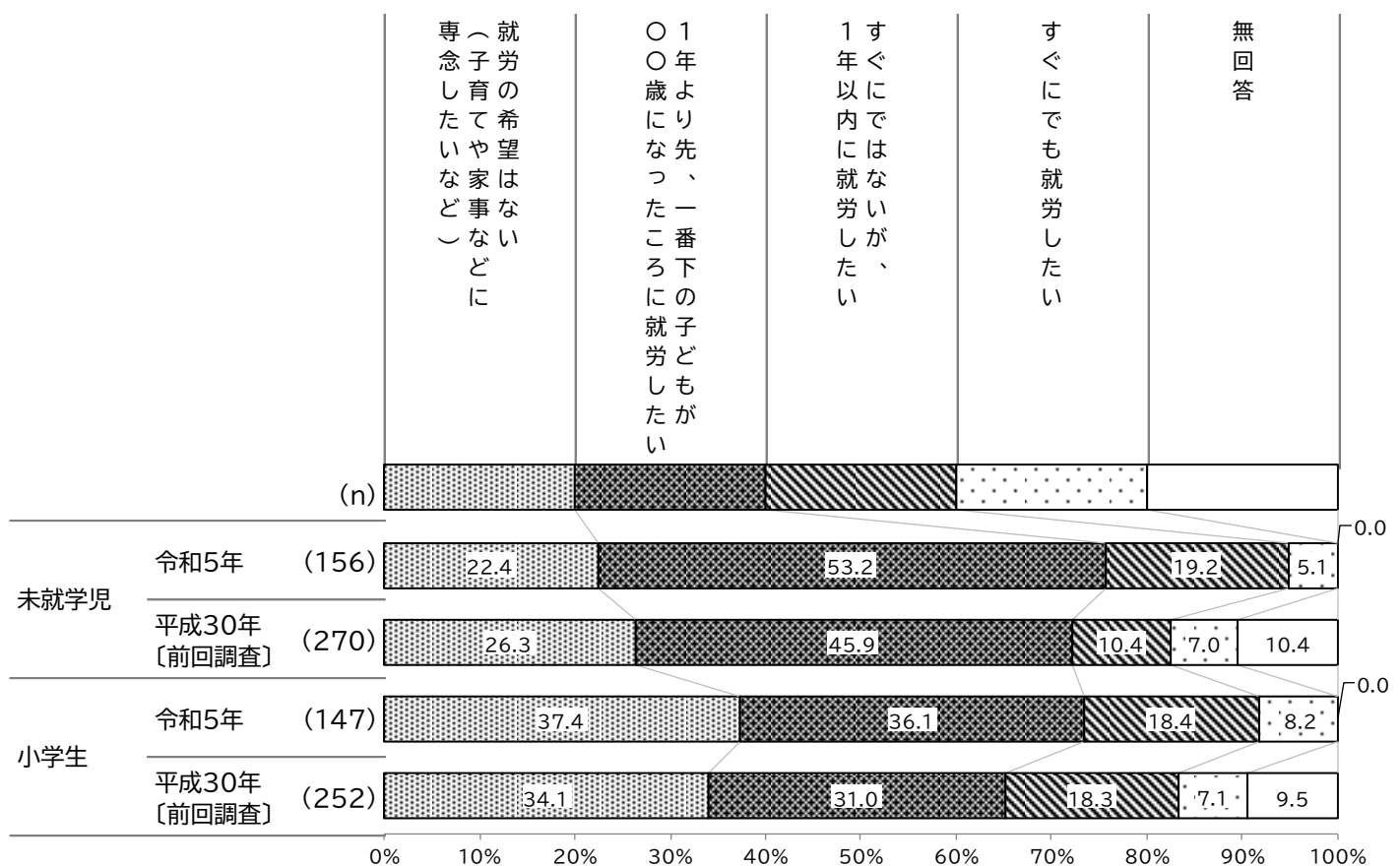
(8)母親－就労していない人の就労希望

①母親－【就労していない人】就労希望

〔未就学児：問 13 (2) -3〕〔小学生：問 13 (2) -3〕

現在就労していない、またはこれまで就労したことのない母親の就労希望については、「就労の希望はない(子育てや家事などに専念したいなど)」が未就学児の保護者が22.4%、小学生の保護者が37.4%となっている。また、1年より先に就労の希望がある割合は未就学児の保護者が53.2%、小学生の保護者が36.1%となっている一方、「すぐにでも就労したい」または「すぐにではないが、1年以内に就労したい」の割合は未就学児の保護者、小学生の保護者ともに2割台半ばとなっている。

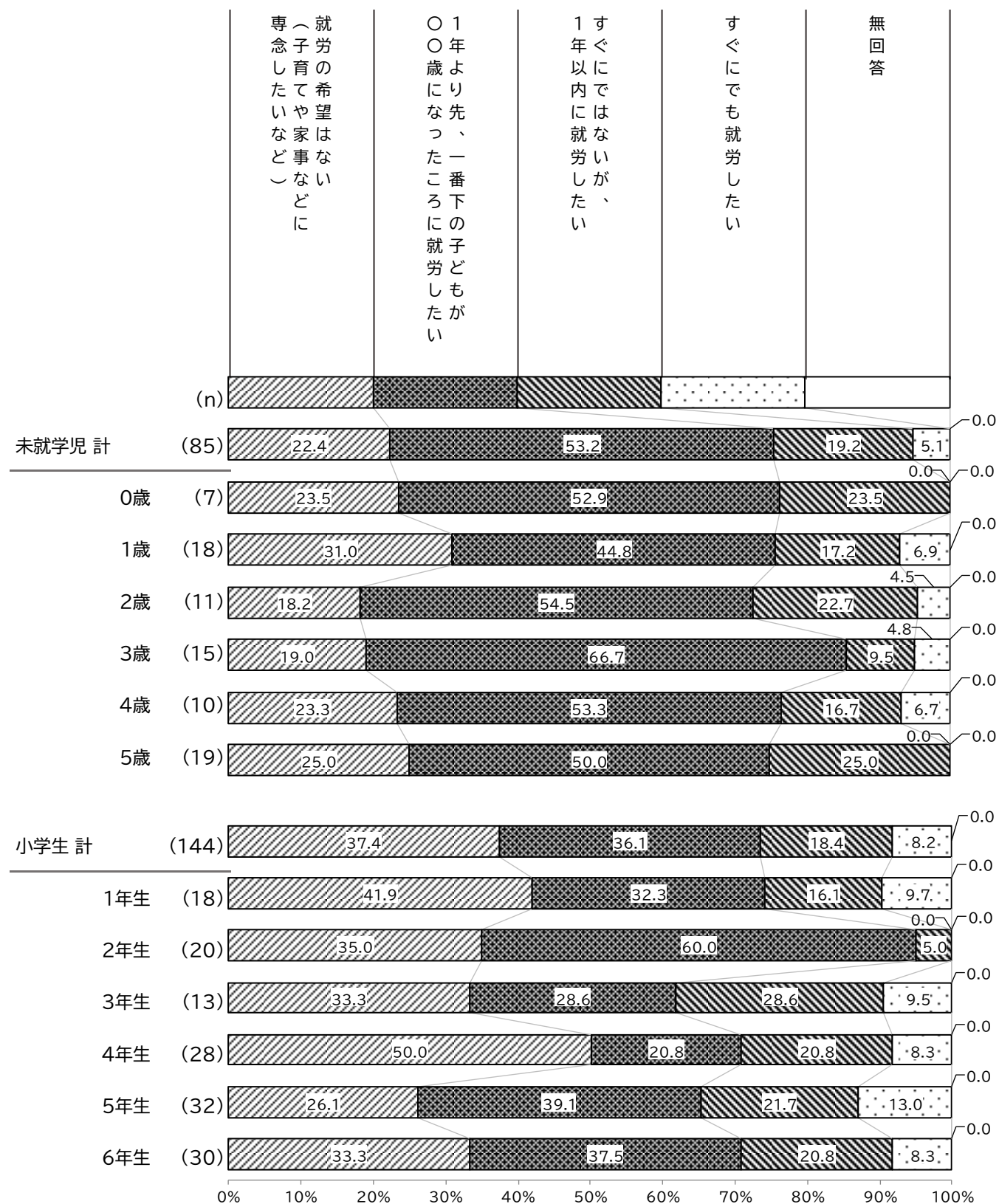
平成30年の調査結果と比較すると、「就労の希望はない」は未就学児の保護者で3.9ポイント減少した一方、小学生の保護者で3.3ポイント増加しており、未就学児の保護者における就労を希望する母親が増加している様子がうかがえる。



《 母親－【就労していない人】就労希望－子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、未就学児の保護者は1歳で「就労の希望はない(子育てや家事などに専念したいなど)」が3割以上と他の年齢より高く、次いで0歳、4歳、5歳では2割台となっている。また、「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」は3歳で6割台後半を占めて他の年齢より高くなっている。

小学生の保護者は4年生で「就労の希望はない(子育てや家事などに専念したいなど)」が5割となっており、また、「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」は2年生で6割を占めて他の年齢より高くなっている。



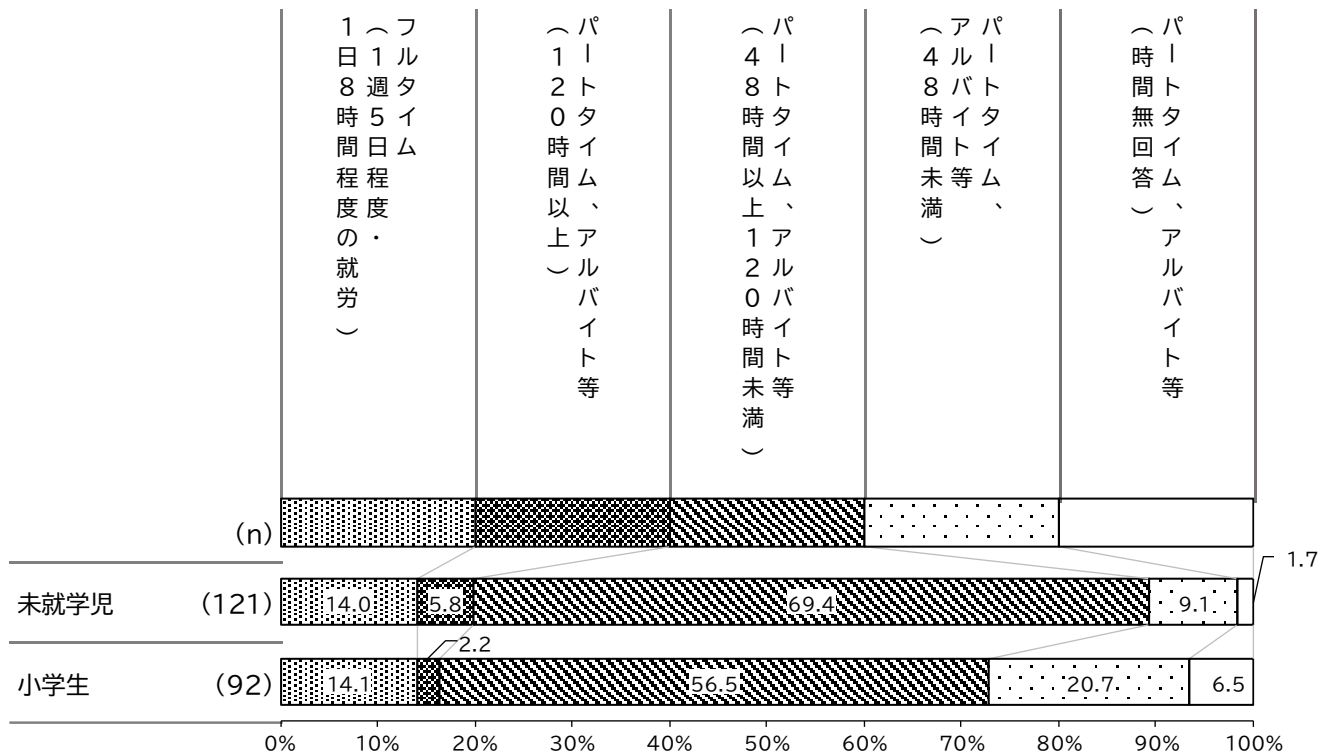
②母親－【就労希望者】希望する就労形態

〔未就学児：問 13 (2) -3〕〔小学生：問 13 (2) -3〕

現在就労しておらず、かつ就労希望のある母親の希望する就労形態は、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「パートタイム、アルバイト等(フルタイム以外)」の割合が多く、それぞれ 86.0%、85.9%となっている。

パートタイム、アルバイト等を1か月の就労希望時間で区分すると、「48 時間以上 120 時間未満」の割合が最も多くなっており、未就学児の保護者の 69.4%、小学生の保護者の 56.5%を占めている。

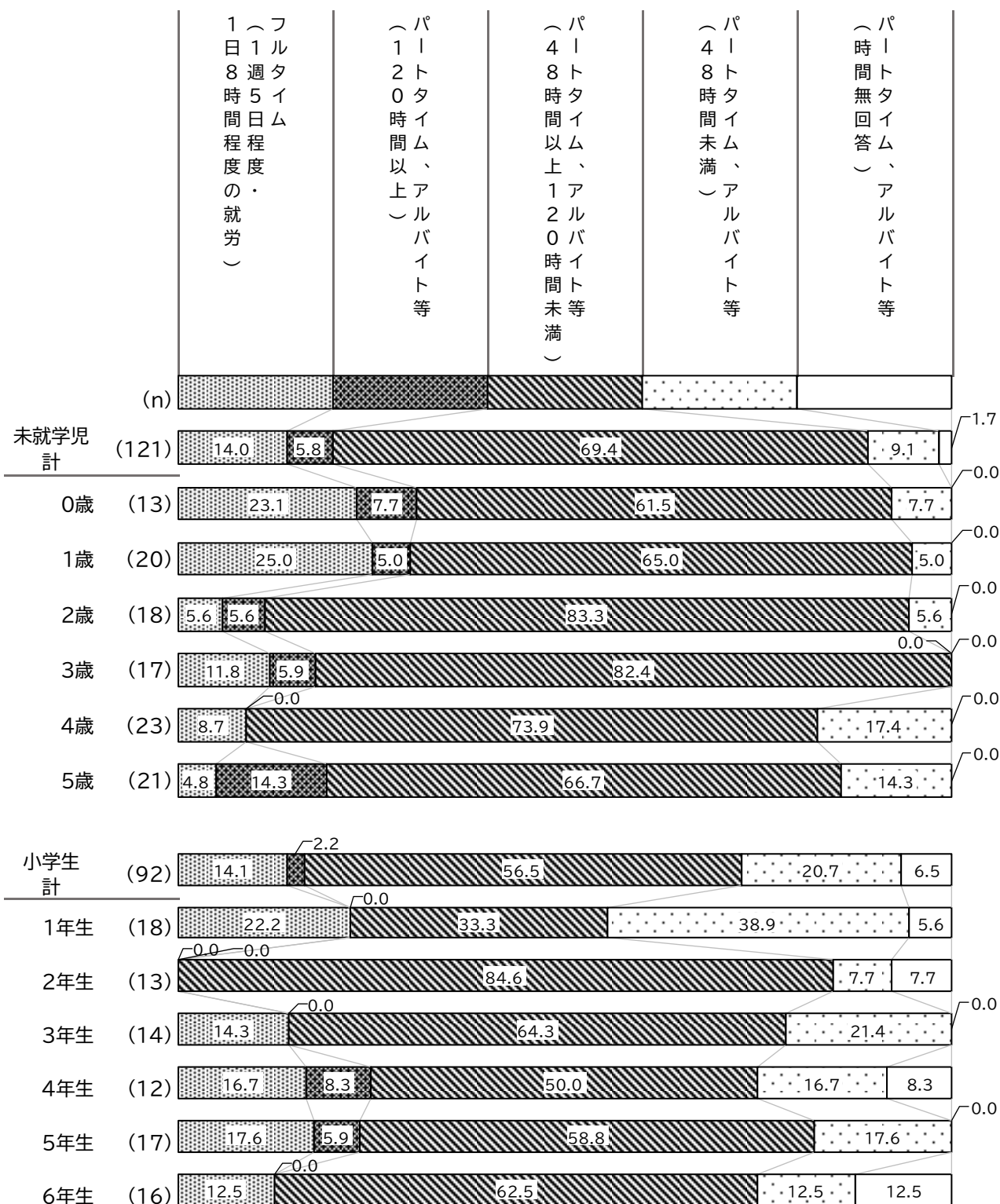
また、「フルタイム」の割合は、未就学児の保護者が 14.0%、小学生の保護者が 14.1%となっている。



《 母親－【就労希望者】希望する就労形態－子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、未就学児の保護者では、0歳、1歳の低い年齢で「フルタイム」の長時間就労を希望する傾向がみられる。「パート(48時間以上 120時間未満)」は2歳、3歳で8割以上となっている。

小学生の保護者では、1年生で「フルタイム」が2割台と最も多くなっている。

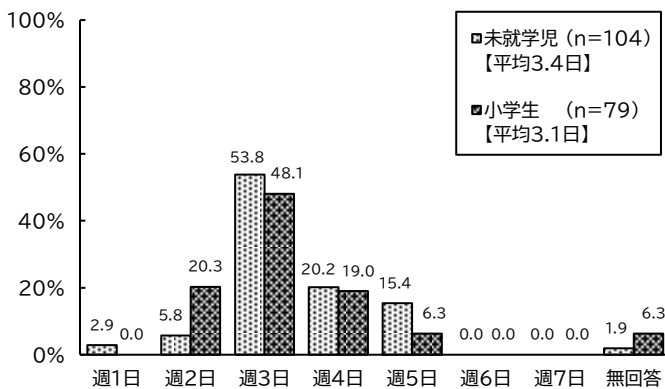


③母親－【パート・アルバイト等就労希望者】希望就労日数／希望就労時間

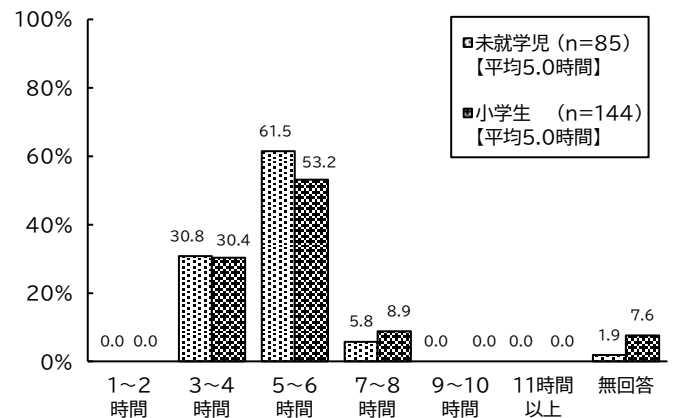
パート・アルバイト等を希望する母親の1週当たりの希望就労日数は、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「週3日」が最も多く、それぞれ 53.8%、48.1%となっている。次いで未就学児の保護者では「週4日」、小学生の保護者では「週2日」となっており、平均日数は未就学児の保護者が 3.4 日、小学生の保護者が 3.1 日となっている。

1日当たりの希望就労時間は、未就学児の保護者、小学生の保護者ともに「5～6時間」が最も多く、それぞれ 61.5%、53.2%となっており、「3～4時間」が 30.8%、30.4%で次いでいる。平均時間は未就学児の保護者、小学生の保護者ともに 5.0 時間となっている。

1週当たりの希望就労日数



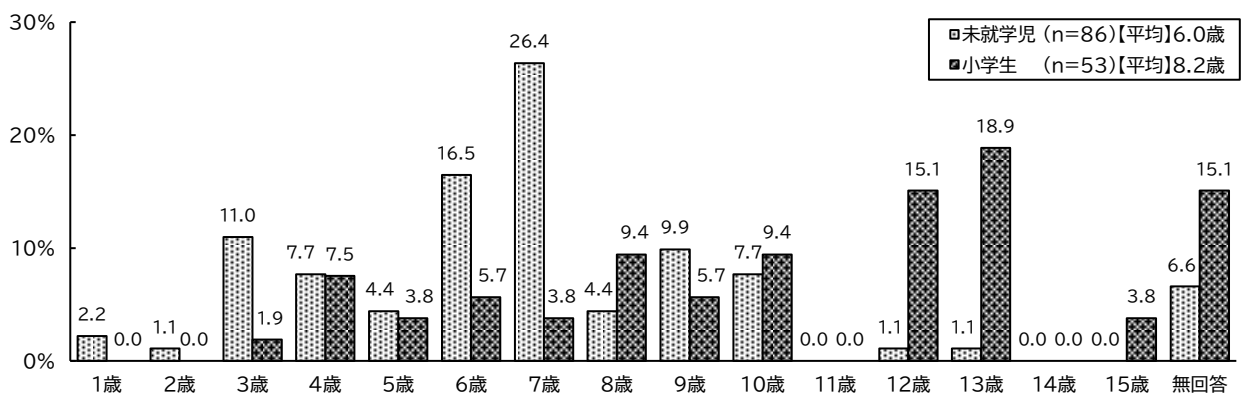
1日当たりの希望就労時間



④母親－【1年より先の就労希望者】就労希望時の末子の年齢

現在就労していない母親の就労希望において「1年より先に就労したい」と回答した人に、就労希望時の末子の年齢を尋ねたところ、未就学児の保護者は「7歳」が 26.4%と最も多く、次いで「6歳」が 16.5%となっており、末子の小学校の入学前後に就労を希望している様子がうかがえる。

一方、小学生の保護者については、「13歳」が 18.9%と最も多く、次いで「12歳」が 15.1%となっており、末子の中学校の入学前後に就学を希望している様子がうかがえる。



5 教育・保育事業について

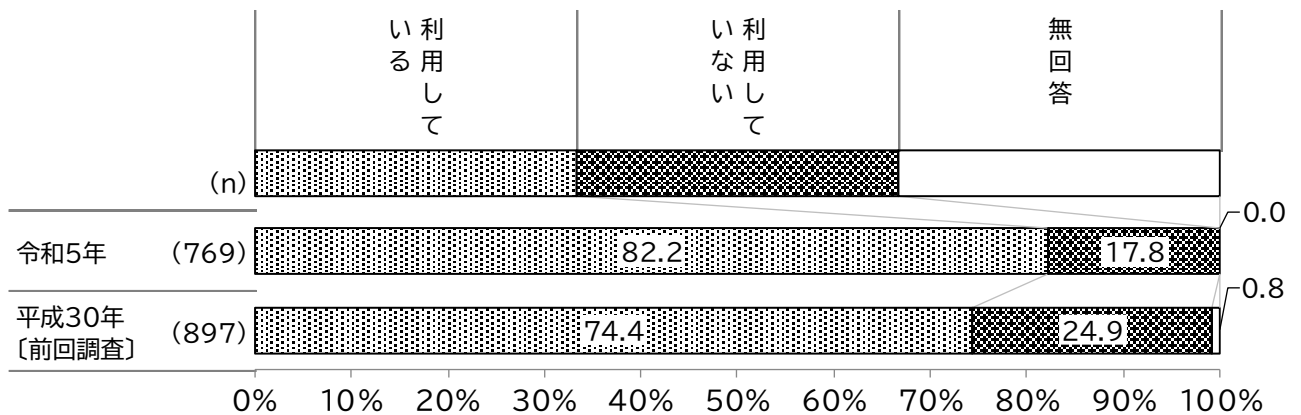
(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

① 利用の有無

〔未就学児：問 14〕

未就学児の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が 82.2%、「利用していない」が 17.8%となっている。

平成 30 年の調査結果と比較すると、「利用している」は 7.8 ポイント増加しており、定期的な教育・保育の環境が向上している状況がうかがえる。



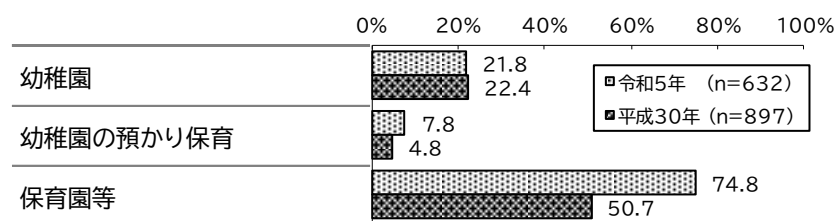
② 定期的にご利用している教育・保育事業(複数回答)

〔未就学児：問 14-1〕

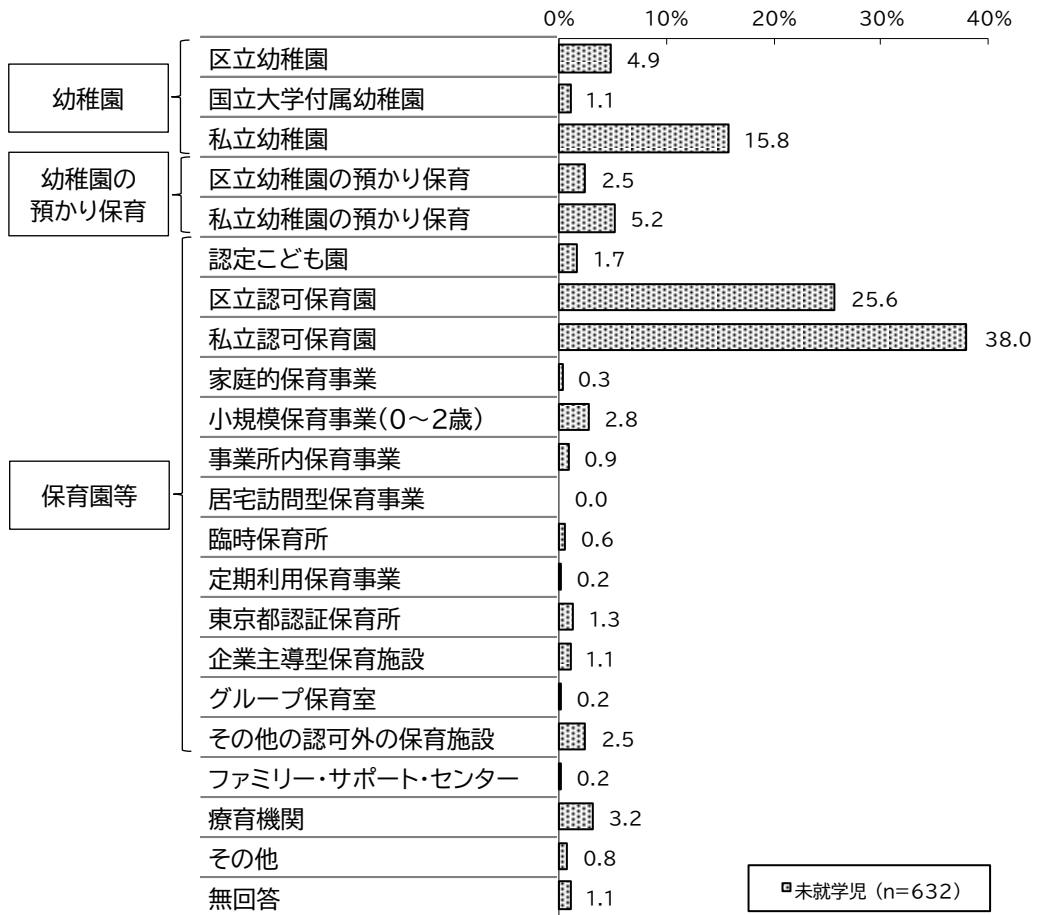
定期的にご利用している教育・保育事業については、幼稚園が 21.8%、幼稚園の預かり保育が 7.8%、保育園等が 74.8%となっている。平成 30 年の調査結果と比較すると、保育園等は 24.1 ポイント大幅に増加している。

事業ごとの利用状況を見ると、「私立認可保育園」が 38.0%で最も多く、次いで「区立認可保育園」が 25.6%、「私立幼稚園」が 15.8%となっている。

幼稚園、幼稚園の預かり保育、保育園等の利用状況



事業ごとの利用状況



(2) 定期的に利用している教育・保育事業の利用日数／利用時間

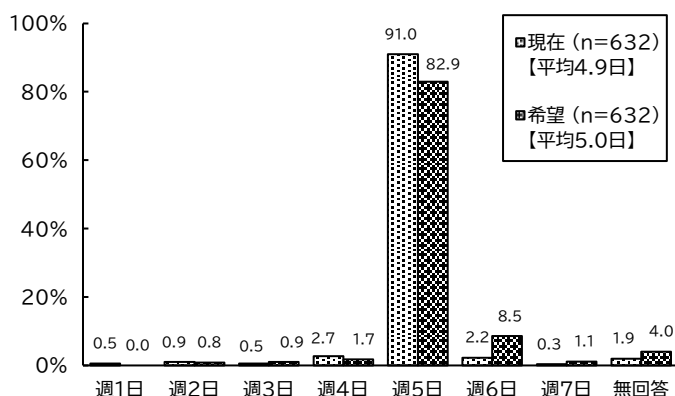
①【定期的な教育・保育事業利用者】

定期的な教育・保育事業の利用日数・希望日数／利用時間・希望時間 〔未就学児：問 14-2 (1) (2)〕

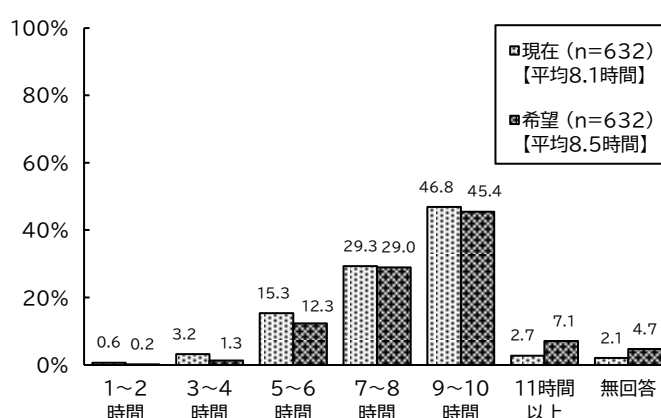
定期的な教育・保育事業の1週当たりの利用日数は、「週5日」が現在で 91.0%、希望で 82.9%と最も多くなっている。1日当たりの利用時間は、「9～10 時間」が現在で 46.8%、希望で 45.4%と最も多く、次いで「7～8時間」が現在で 29.3%、希望で 29.0%、「5～6時間」が現在で 15.3%、希望で 12.3%となっている。

1週当たりの利用日数は、現在で平均 4.9 日、希望で平均 5.0 日となっている。また、1日当たりの利用時間は、現在で平均 8.1 時間、希望で平均 8.5 時間となっており、平均 0.4 時間程の増加の希望がうかがえる。

1週当たりの利用日数



1日当たりの利用時間



②【定期的な教育・保育事業利用者】

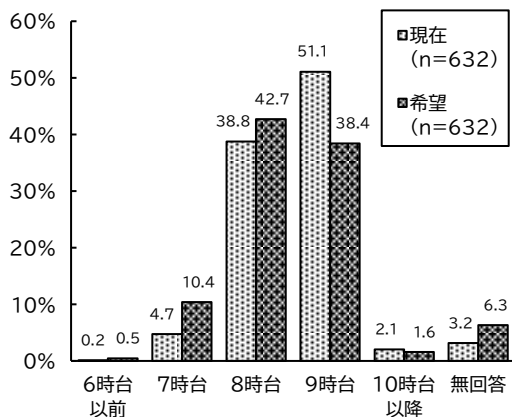
〔未就学児：問 14-2 (1) (2)〕

定期的な教育・保育事業の利用開始時間・希望開始時間／終了時間・希望終了時間

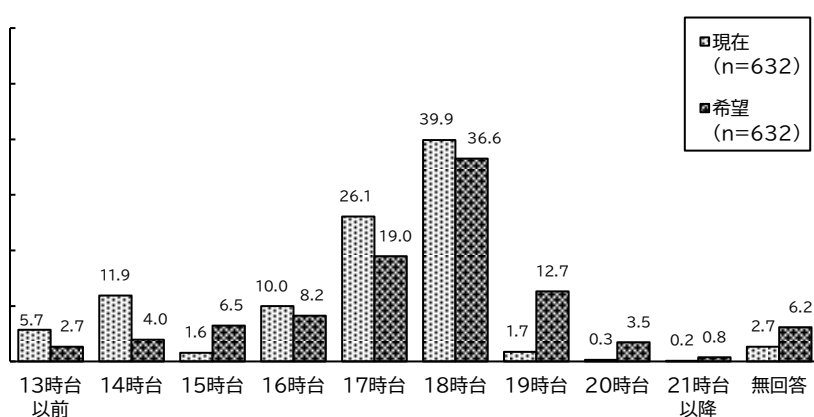
定期的な教育・保育事業の利用開始時間は、「9時台」が現在で 51.1%、希望で 38.4%となっている。「8時台」は現在で 38.8%、希望で 42.7%となっている。現在は9時台が最も多い一方、希望は8時台が最も多くなっており、1時間程度早い利用を希望する傾向がみられる。

終了時間は、「18 時台」が現在で 39.9%、希望で 36.6%と最も多く、次いで「17 時台」が現在で 26.1%、希望で 19.0%となっている。

開始時間



終了時間

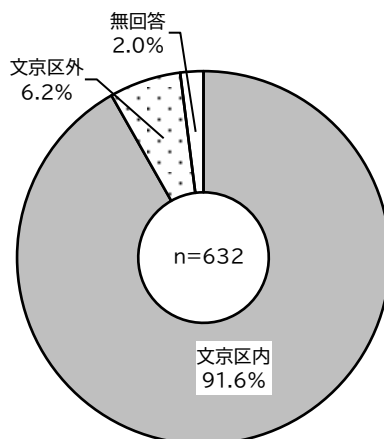


(3)【定期的な教育・保育事業利用者】

定期的にご利用している教育・保育事業の所在地

〔未就学児：問 14-3〕

利用している定期的な教育・保育事業の所在地は、「文京区内」が 91.6%、「文京区外」が 6.2%となっている。

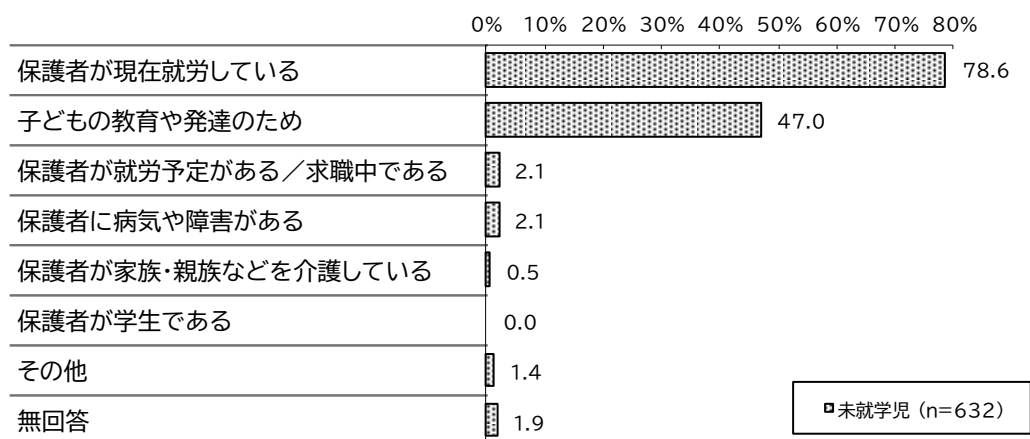


(4)【定期的な教育・保育事業利用者】

定期的な教育・保育事業を利用している理由(複数回答)

〔未就学児：問 14-4〕

定期的な教育・保育事業を利用している理由については、「保護者が就労している」が 78.6%、「子どもの教育や発達のため」が 47.0%と、この2項目が中心となっている。



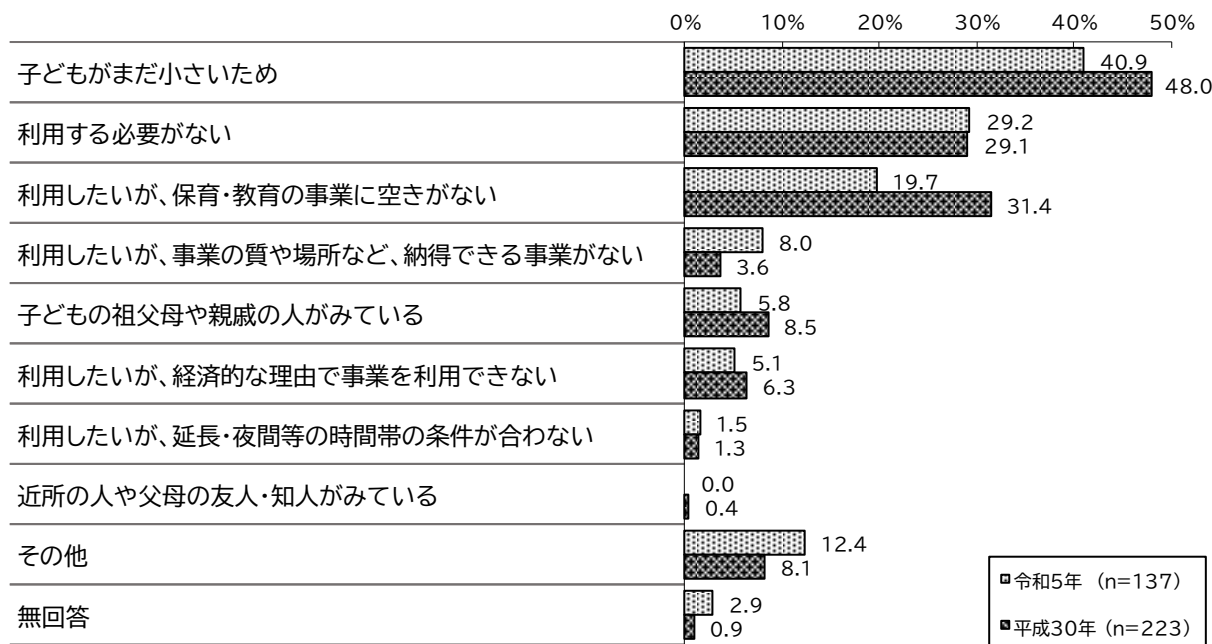
(5)【定期的な教育・保育事業を利用していない人】

定期的な教育・保育事業を利用していない理由(複数回答)

[未就学児：問 14-5]

定期的な教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」が40.9%と最も多く、次いで「利用する必要がない」が29.2%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が19.7%となっている。

平成30年の調査結果と比較すると、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」は11.7ポイント減少しており、事業に空きがないために利用できない方が一定数いるものの、定員により利用できない方は減少していることがうかがえる。



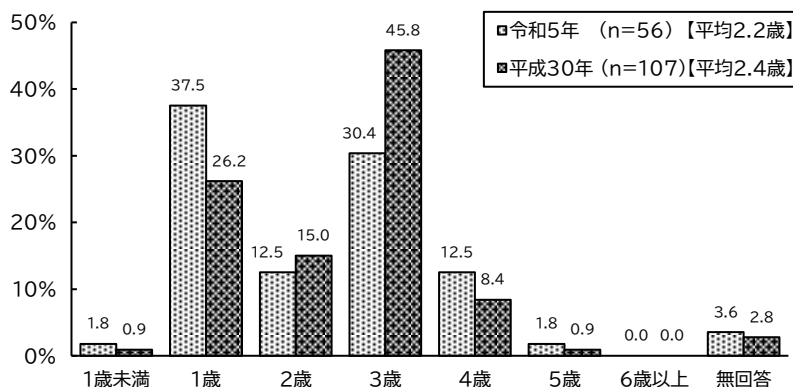
(6)【定期的な教育・保育事業を利用しない理由「子どもがまだ小さいため」回答者】

定期的な教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢

[未就学児：問 14-5]

定期的な教育・保育事業を利用していない理由について「子どもがまだ小さいため」と回答した人に、利用を希望する子どもの年齢を尋ねたところ、「1歳」が37.5%と最も多く、次いで「3歳」が30.4%、「2歳」および「4歳」が12.5%となっている。

平成30年の調査結果と比較すると、「1歳」は11.3ポイント増加、「3歳」は15.4ポイント減少しており、早期の利用希望が増加している傾向がうかがえる。

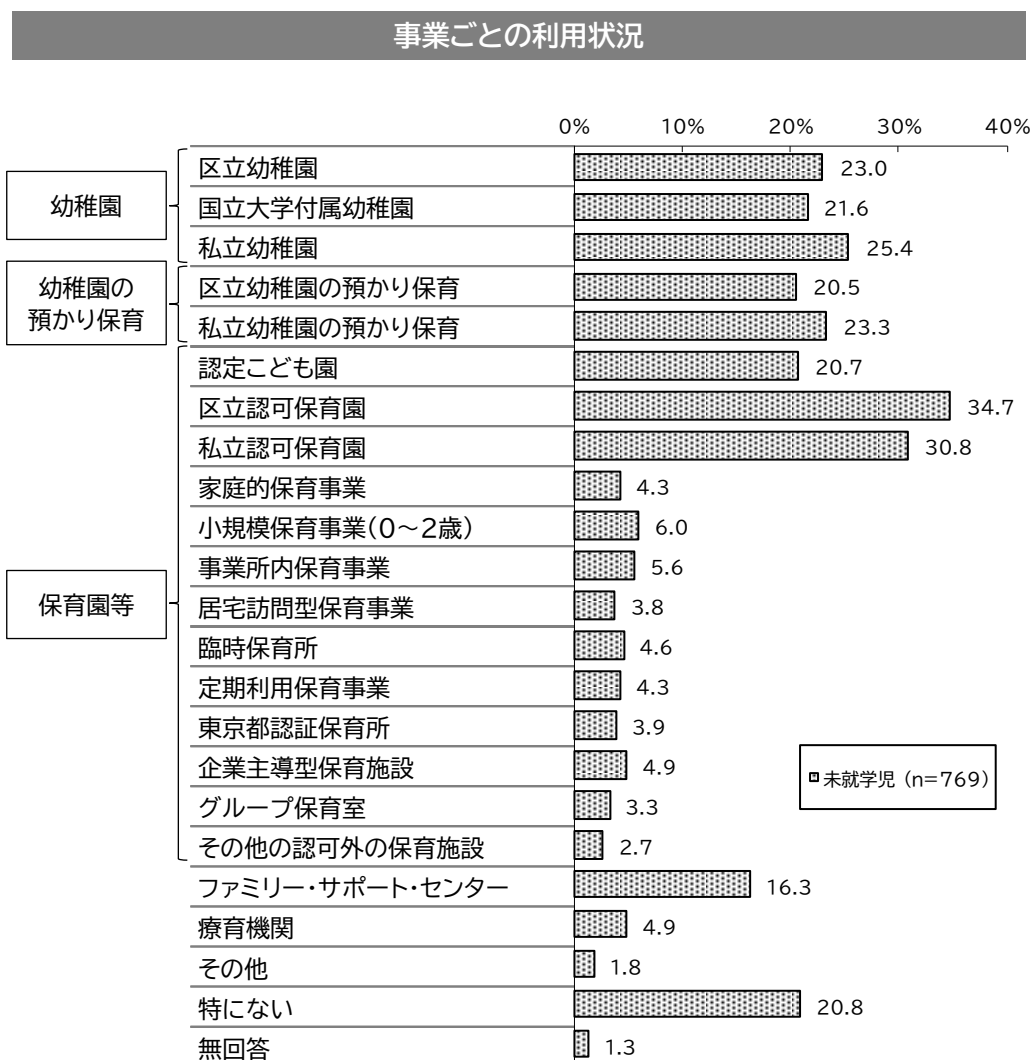
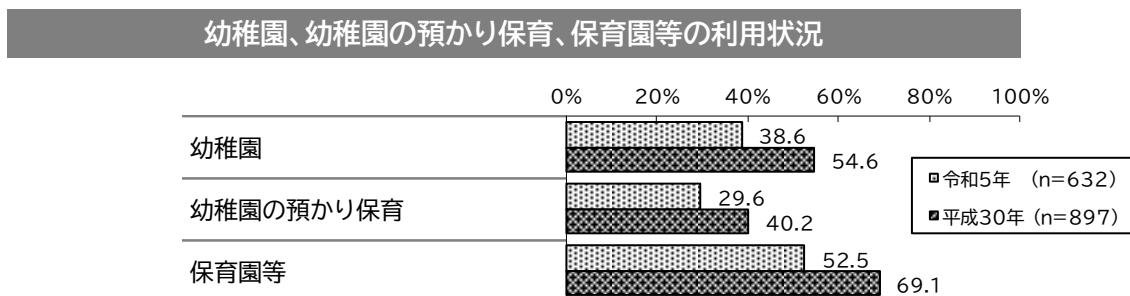


(7) 今後利用したい定期的な教育・保育事業(複数回答)

〔未就学児：問 15〕

利用したい定期的な教育・保育事業については、幼稚園で38.6%、幼稚園の預かり保育で29.6%、保育園等で52.5%となっている。平成30年の調査結果と比較すると、幼稚園は16.0ポイント、幼稚園の預かり保育は10.6ポイント、保育園等は16.6ポイント減少している。

事業ごとの利用希望をみると、「区立認可保育園」が34.7%で最も多く、「私立認可保育園」が30.8%で次いでいる。

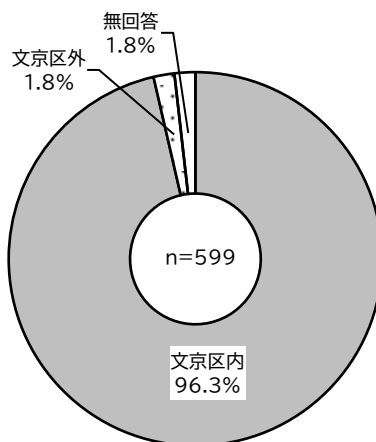


(8)【定期的な教育・保育事業の利用希望者】

利用したい定期的な教育・保育事業の所在地

〔未就学児：問 15-1〕

利用したい定期的な教育・保育事業の所在地については、「文京区内」が 96.3%、「文京区外」が 1.8%となっている。

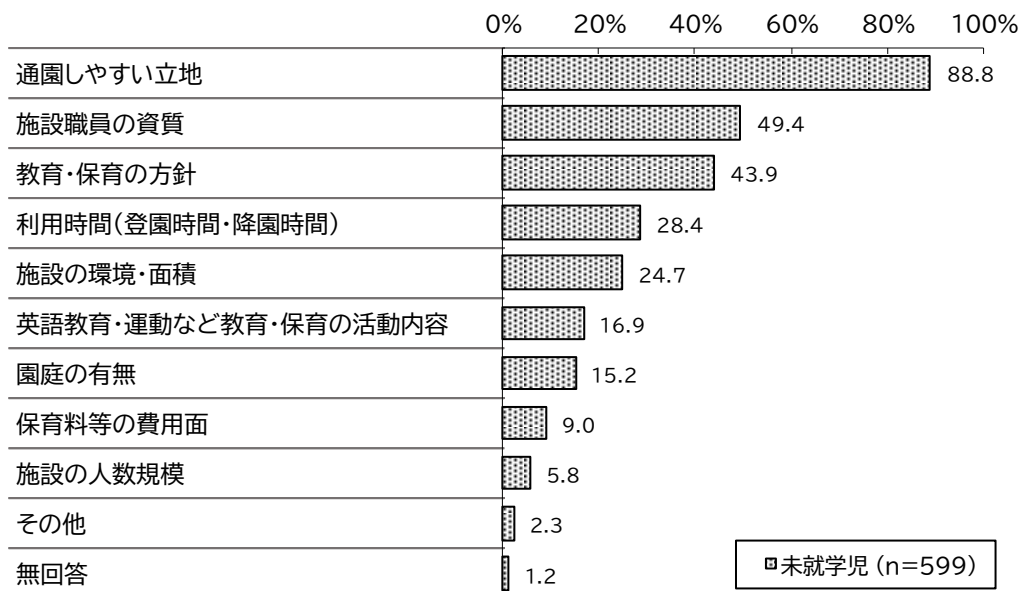


(9)【定期的な教育・保育事業の利用希望者】

教育・保育事業を選ぶ際に重視するもの(複数回答)

〔未就学児：問 15-2〕

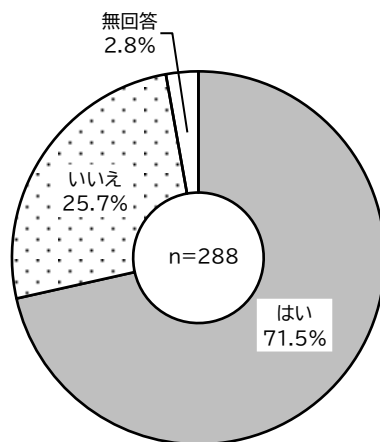
利用したい定期的な教育・保育事業を選ぶ際に、重視するもの尋ねたところ、「通園しやすい立地」が 88.8%と最も多く、次いで「施設職員の資質」が 49.4%、「教育・保育の方針」が 43.9%となっている。



(10)【幼稚園と保育園の両方の利用希望者】幼稚園の利用希望

〔未就学児：問 15-3〕

幼稚園と幼稚園の預かり保育、保育園等の両方を希望する方に、特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む。）の利用を希望するかどうかについて尋ねたところ、「はい」が71.5%と多くなっている。

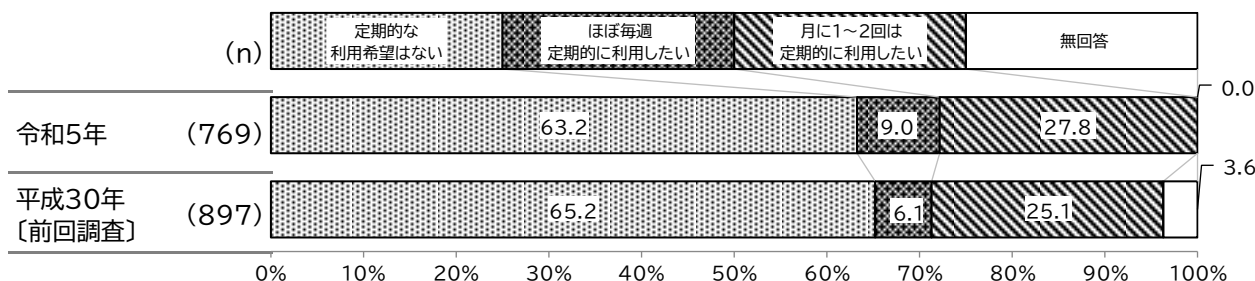


(11)土・日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

①土曜日の利用希望

〔未就学児：問 16 (1)〕

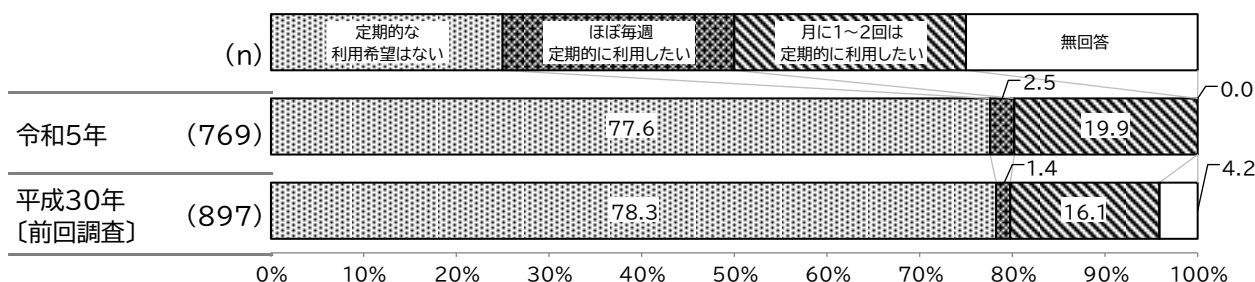
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「定期的な利用希望はない」が63.2%である一方、「ほぼ毎週定期的に利用したい」が9.0%、「月に1~2回は定期的に利用したい」が27.8%と、利用希望の計は36.8%となっており、平成30年の調査結果と比較すると、5.6ポイント増加している。



②日曜日・祝日の利用希望

〔未就学児：問 16 (2)〕

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「定期的な利用希望はない」が77.6%である一方、「ほぼ毎週定期的に利用したい」が2.5%、「月に1~2回は定期的に利用したい」が19.9%と、利用希望の計は22.4%となっており、平成30年の調査結果と比較すると、4.9ポイント増加している。また、前述の土曜日と比べて、利用を希望する割合は少なくなっている。



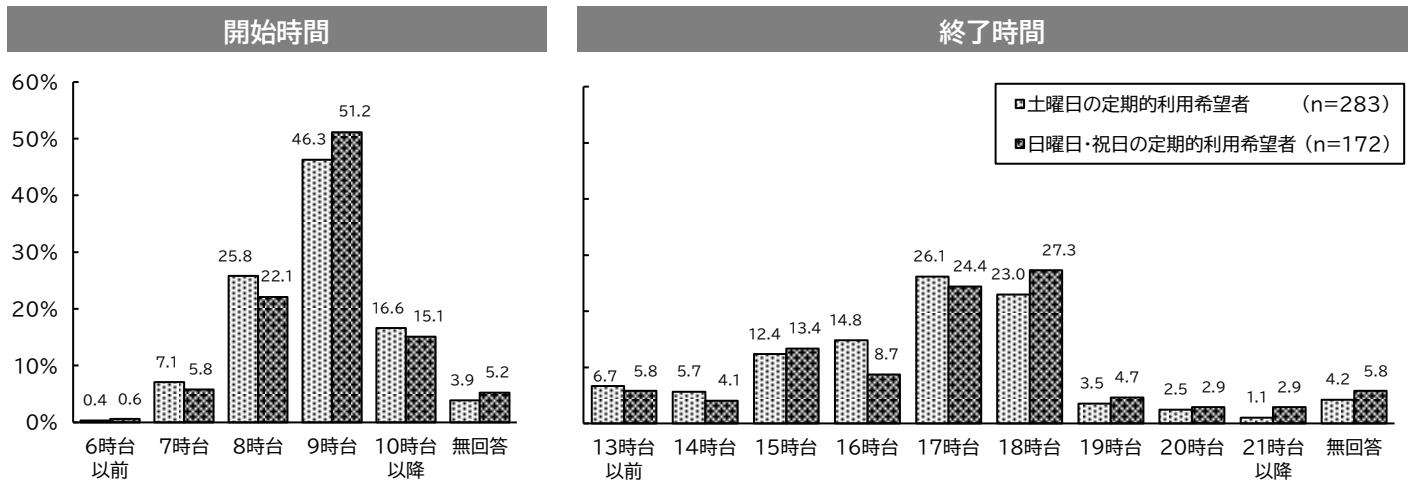
③【土、日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望者】

土、日・祝日の利用を希望する開始時間／終了時間

〔未就学児：問 16 (1) (2)〕

土、日・祝日の定期的教育・保育事業の利用希望開始時間は、「9時台」が土曜日の利用希望者で46.3%、日曜日・祝日の利用希望者で51.2%と最も多く、次いで「8時台」となっている。

希望終了時間については、「17時台」が土曜日の利用希望者で26.1%、「18時台」が日曜日・祝日の利用希望者で27.3%と最も多く、次いで土曜日の利用希望者では「18時台」、日曜日・祝日の利用希望者で「17時台」となっており、「17時台」及び「18時台」で約半数を占めている。また、日曜日・祝日の利用希望者は土曜日の利用希望者に比べて、18時台以降の遅い時間帯を希望する傾向がみられる。

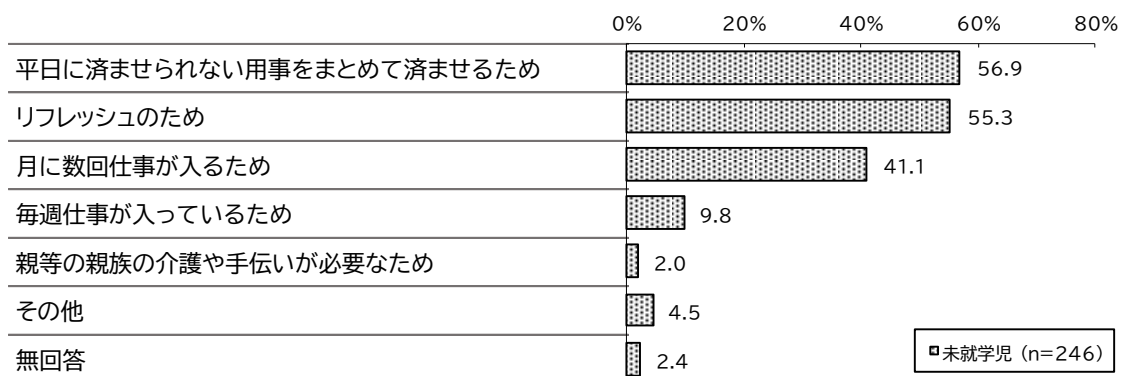


④【土、日・祝日に「月に1～2回は定期的にご利用したい」回答者】

土、日・祝日に月1～2回利用したい 理由(複数回答)

〔未就学児：問 16-1〕

土、日・祝日に「月に1～2回利用したい」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が56.9%と最も多く、次いで「リフレッシュのため」が55.3%、「月に数回仕事が入るため」が41.1%となっている。

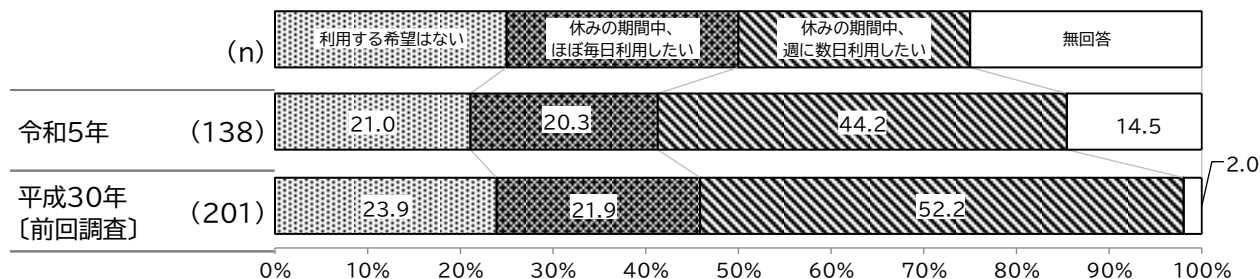


(12) 幼稚園の長期休暇期間中の定期的な利用希望

①【幼稚園利用者】幼稚園の長期休暇期間中の利用希望

〔未就学児：問 17〕

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期休暇中の定期的な利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 20.3%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 44.2%と、利用希望の計は 64.5%となっており、平成 30 年の調査結果と比較すると、9.6 ポイント減少している。

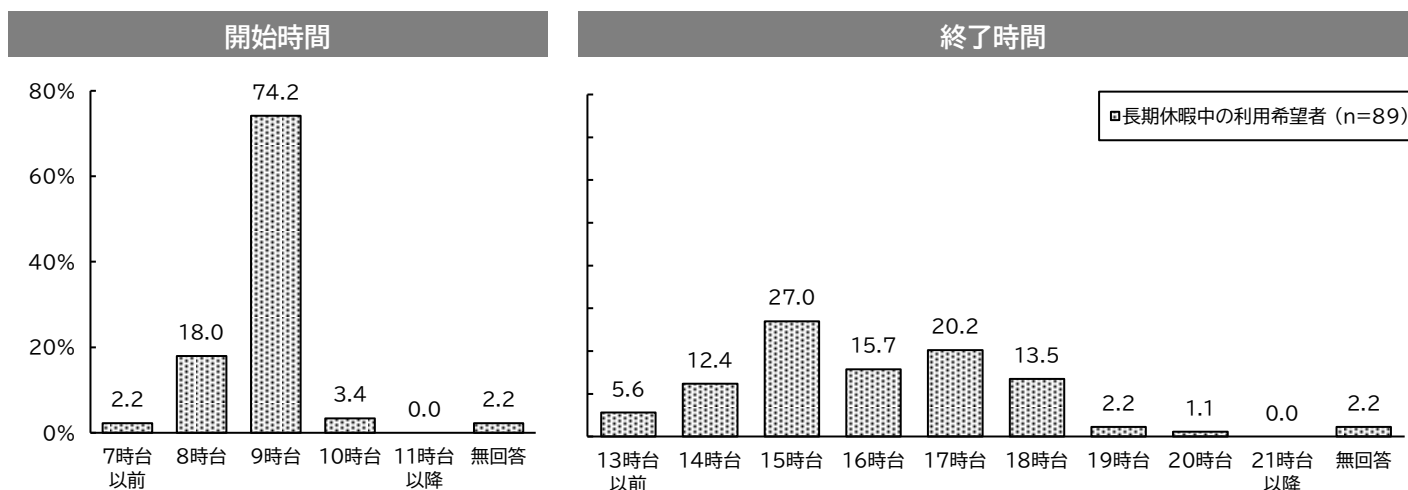


②【幼稚園の長期休暇中の定期的な利用希望者】

幼稚園の長期休暇期間中の利用を希望する開始時間／ 終了時間

〔未就学児：問 17〕

幼稚園の長期休暇期間中の定期的利用希望者の希望開始時間は、「9時台」が 74.2%となっている。希望終了時間は、「15 時台」が 27.0%と最も多く、次いで「17 時台」が 20.2%、「16 時台」が 15.7%となっている。

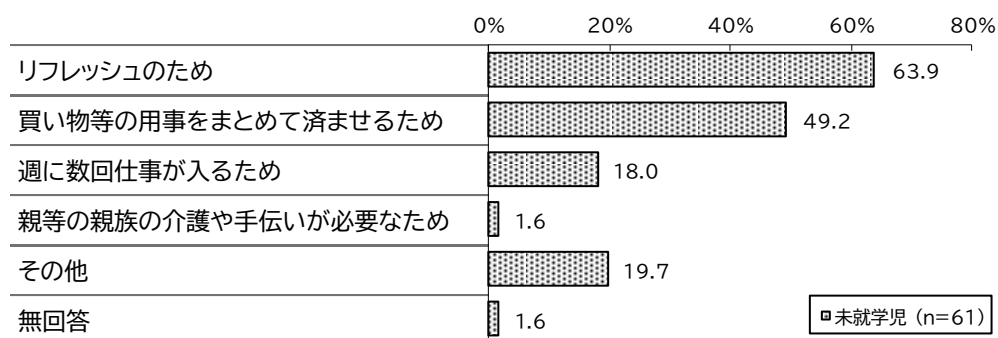


③【幼稚園の長期休暇中に「週に数日利用したい」回答者】

幼稚園の長期休暇期間中に週に数日利用したい理由(複数回答)

〔未就学児：問 17-1〕

幼稚園の長期休暇期間中に「週に数日利用したい」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「リフレッシュのため」が 63.9%と最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 49.2%、「週に数日仕事が入るため」が 18.0%となっている。

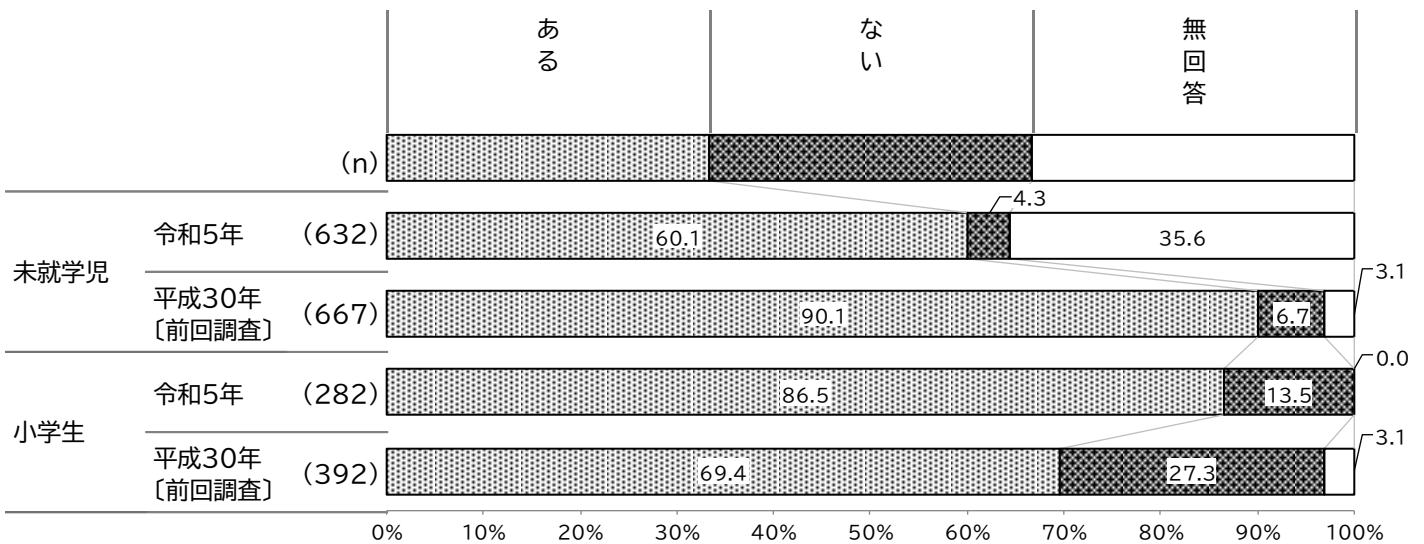


6 病児・病後児保育について

(1)この1年間に子どもの病気やケガ等で保育園や学校を休んだ経験 [未就学児：問 18] [小学生：問 30]

定期的な教育・保育事業を利用している未就学児の保護者及び小学生低学年(1年生～3年生)の保護者に、この1年間に子どもが病気やケガ等で保育園や学校を休んだことがあったかを尋ねたところ、「ある」と回答した人は未就学児の保護者で60.1%、小学生低学年の保護者で86.5%となっている。

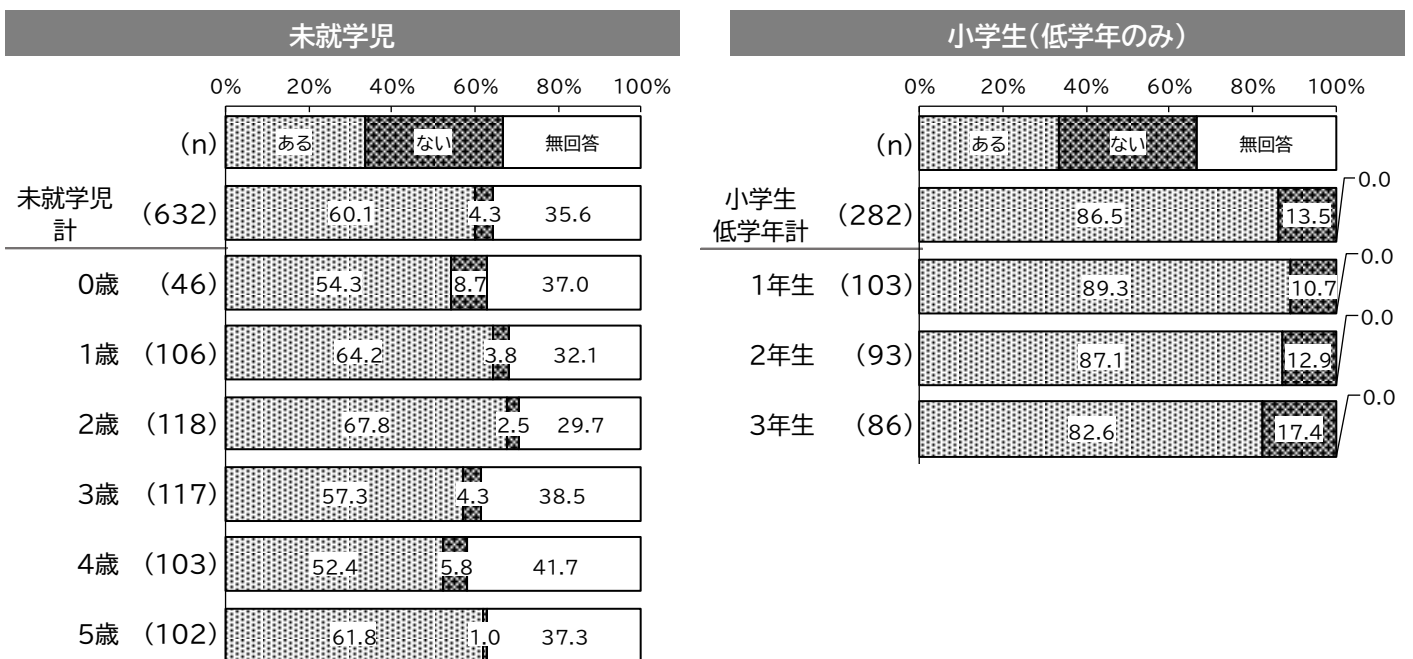
平成30年の調査結果と比較すると、保育園を休んだことが「ある」の割合は未就学児で30.0ポイント減少、学校を休んだことが「ある」の割合は小学生で17.1ポイント増加している。



《 この1年間に子どもの病気やケガ等で保育園や学校を休んだ経験—子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、「ある」の割合は、未就学児では2歳が67.8%と最も多く、1歳が64.2%、5歳が61.8%となっている。

小学生は、1年生89.3%、2年生87.1%、3年生82.6%となっており、学年が低いほど多い傾向にある。



(2)子どもの病気やケガ等の際の対処

①【保育園や学校を休んだ経験がある人】

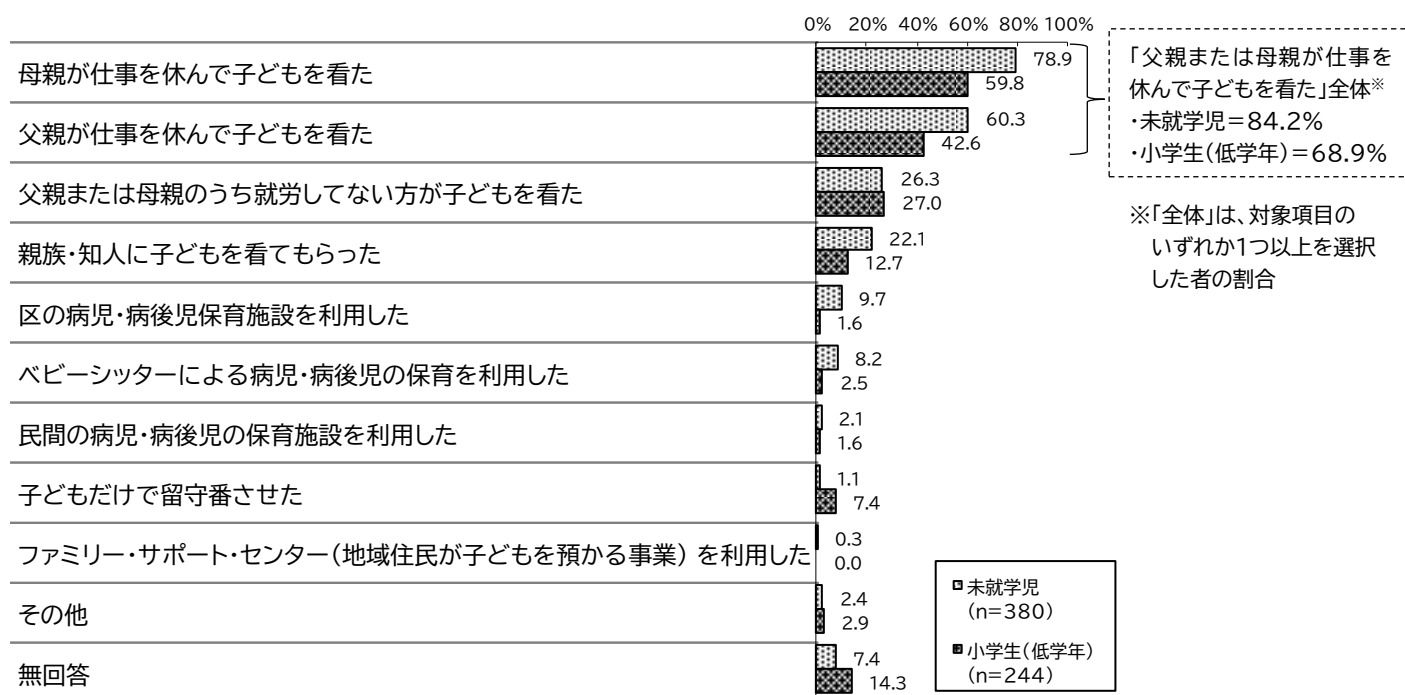
子どもの病気やケガ等の際の対処方法(複数回答)

〔未就学児：問 18-1〕〔小学生：問 30-1〕

この1年間に子どもの病気やケガ等で保育サービスを利用できなかったり、学校を休んだ際の対処方法については、未就学児の保護者、小学生低学年の保護者は「母親が仕事を休んで子どもを見た」がそれぞれ 78.9%、59.8%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んで子どもを見た」がそれぞれ 60.3%、42.6%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」がそれぞれ 26.3%、27.0%で続いている。

「父親または母親が仕事を休んで子どもを見た」全体では、未就学児の保護者が 84.2%、小学生低学年の保護者が 68.9%と、未就学児の保護者の方が多くなっている。

また、「区の病児・病後児保育施設を利用した」は未就学児の保護者が 9.7%、小学生低学年の保護者が 1.6%となっている。



②【病気やケガ等で対処した人】

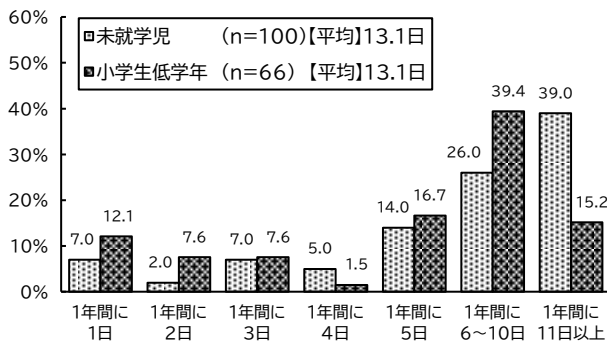
子どもの病気やケガ等の際の対処方法別の日数

〔未就学児：問 18-1〕〔小学生：問 30-1〕

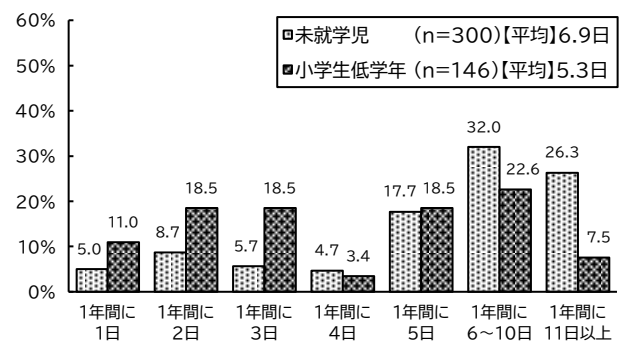
子どもの病気やケガ等の際の対処方法について、1年間の日数をみると、平均日数は、未就学児の保護者は、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た(13.1日)」、「母親が仕事を休んで子どもを見た(6.9日)」、「親族・知人に子どもを見てもらった(6.8日)」の順となっている。

小学生の保護者も未就学児の保護者と上位2項目は同順に多く、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た(13.1日)」、「母親が仕事を休んで子どもを見た(5.3日)」となっており、「父親が仕事を休んで子どもを見た(4.0日)」が3番目に多い項目となっている。

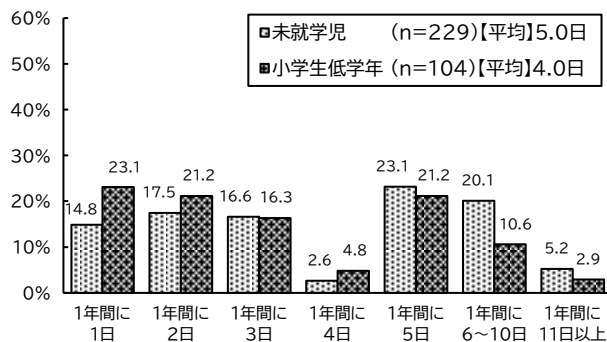
父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た



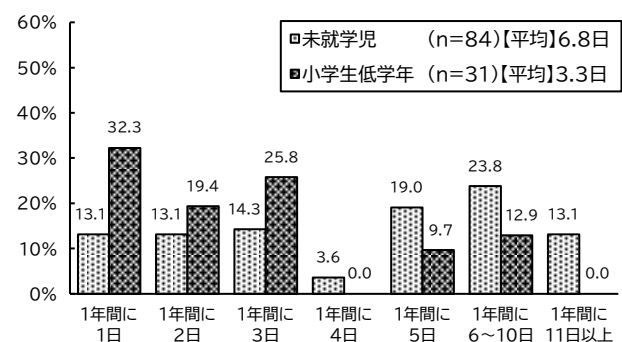
母親が仕事を休んで子どもを見た



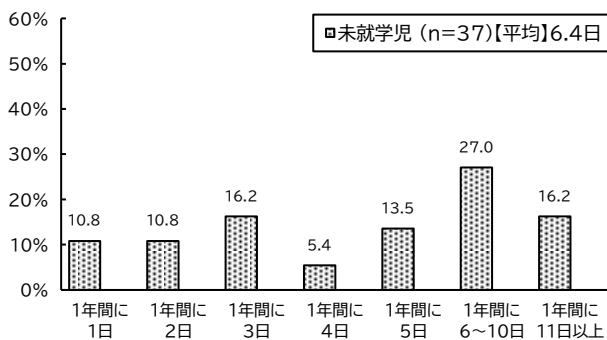
父親が仕事を休んで子どもを見た



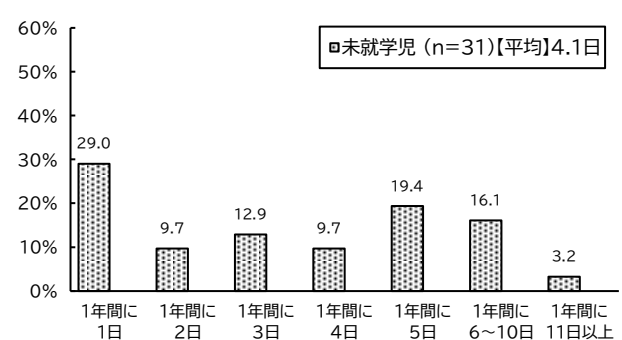
親族・知人に子どもを見てもらった



区の病児・病後児保育施設を利用した



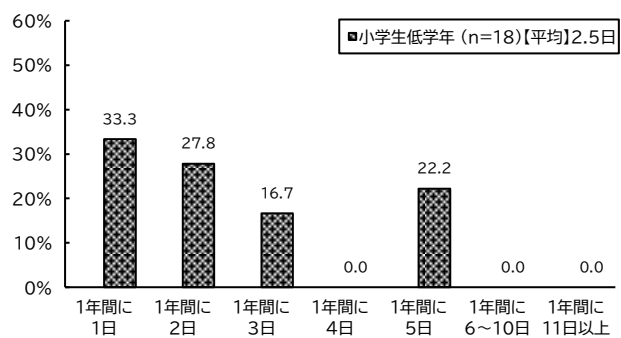
ベビーシッターによる病児・病後児の保育を利用した



※小学生低学年の保護者(n=4)は回答数が少ないため作図せず。

※小学生低学年の保護者(n=6)は回答数が少ないため作図せず。

子どもだけで留守番させた



※未就学児の保護者(n=4)は回答数が少ないため作図せず。

※「民間の病児・病後児の保育施設を利用した」(未就学児 n=8、小学生低学年 n=4)、「ファミリー・サポート・センターを利用した」(未就学児 n=1、小学生低学年 n=0)、「その他」(未就学児 n=8、小学生低学年 n=7)は回答数が少ないため作図せず。

(3) 病児・病後児保育施設の利用希望

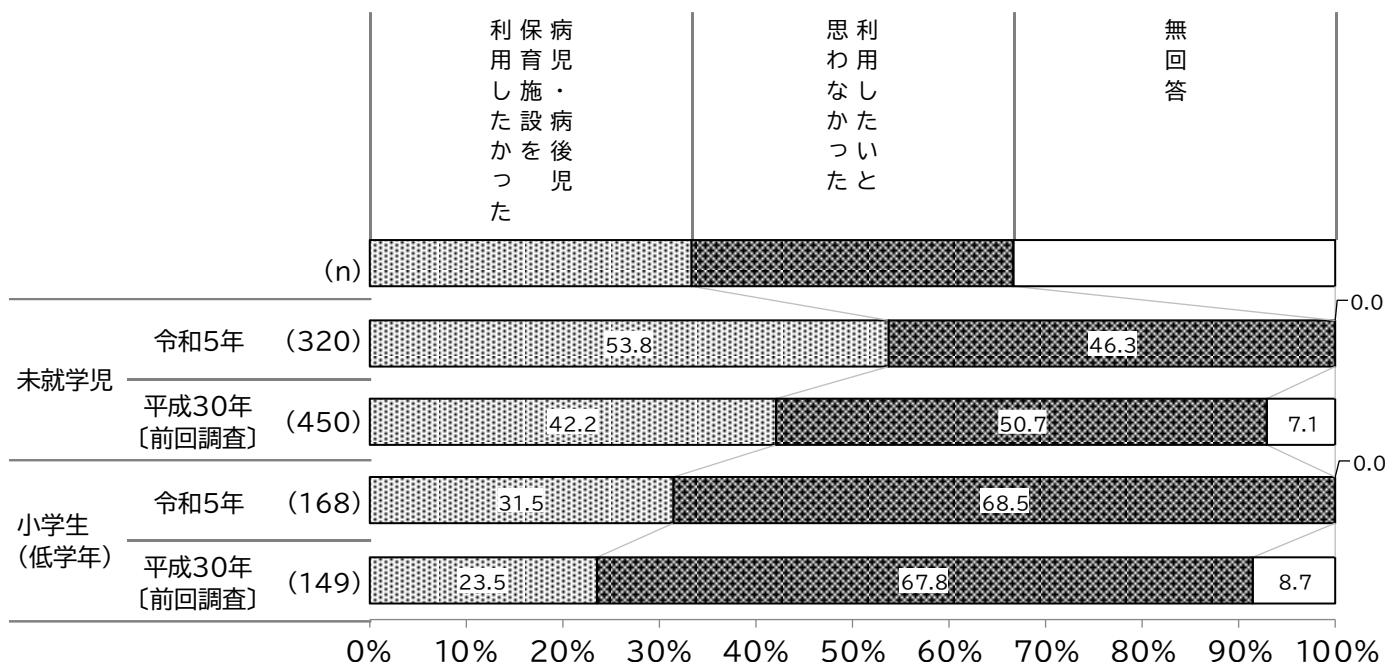
①【父親または母親が仕事を休んで子どもを見た人】

病児・病後児保育施設の利用希望

〔未就学児：問 18-2〕〔小学生：問 30-2〕

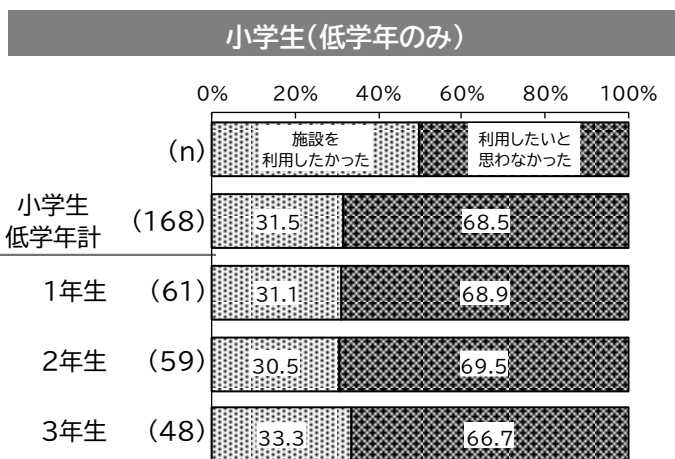
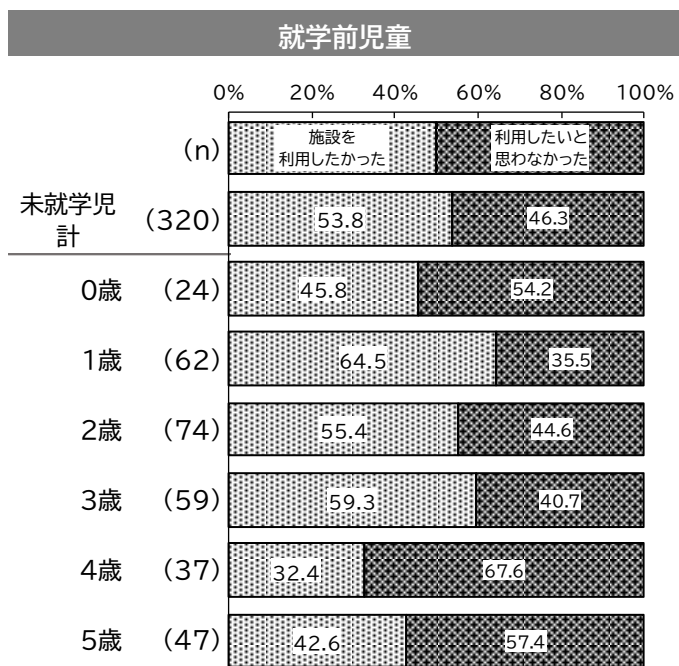
父親または母親が「仕事を休んで子どもを見た」と回答した人の病児・病後児保育施設の利用希望の割合は、未就学児の保護者は 53.8%、小学生低学年の保護者は 31.5%となっている。

平成 30 年の調査結果と比較すると、病児・病後児保育施設の利用希望の割合はともに増加しており、未就学児の保護者で 11.6 ポイント、小学生低学年の保護者で 8.0 ポイント増加している。



《 病児・病後児保育施設の利用希望－子どもの年齢/学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、利用希望の割合は、未就学児は1歳が 64.5%で最も多く、次いで3歳が 59.3%、2歳が 55.4%となっている。小学生は、1年生が 31.1%、2年生が 30.5%、3年生が 33.3%となっている。



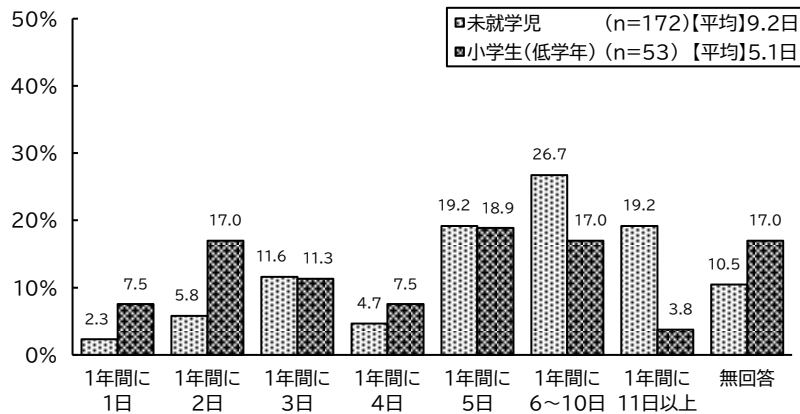
②【病児・病後児保育施設の利用希望者】

病児・病後児保育施設の1年間の利用希望日数

〔未就学児：問 18-2〕〔小学生：問 30-2〕

病児・病後児保育施設の利用希望者の1年間の利用希望日数については、未就学児の保護者は「1年間に6～10日」が26.7%、「1年間に5日」及び「1年間に11日以上」が19.2%と、平均日数は9.2日となっている。

小学生低学年の保護者は「1年間に5日」が18.9%、「1年間に2日」及び「1年間に6～10日」が17.0%と、平均日数は5.1日となっており、未就学児の保護者の方が平均4.1日程度多くなっている。



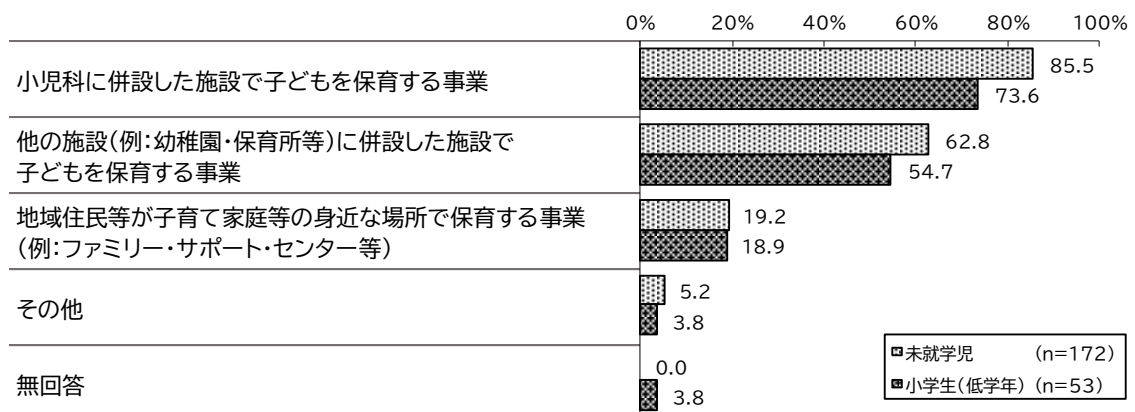
(4)【病児・病後児保育施設の利用希望者】

病児・病後児保育施設を利用する際に希望する事業形態(複数回答)

〔未就学児：問 18-3〕

〔小学生：問 30-3〕

病児・病後児保育施設を利用する際に希望する事業形態については、未就学児の保護者、小学生低学年の保護者ともに「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が未就学児の保護者で85.5%、小学生低学年の保護者で73.6%と最も多く、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が未就学児の保護者で62.8%、小学生低学年の保護者で54.7%となっている。



(5)【病児・病後児保育施設の利用を希望しない人】

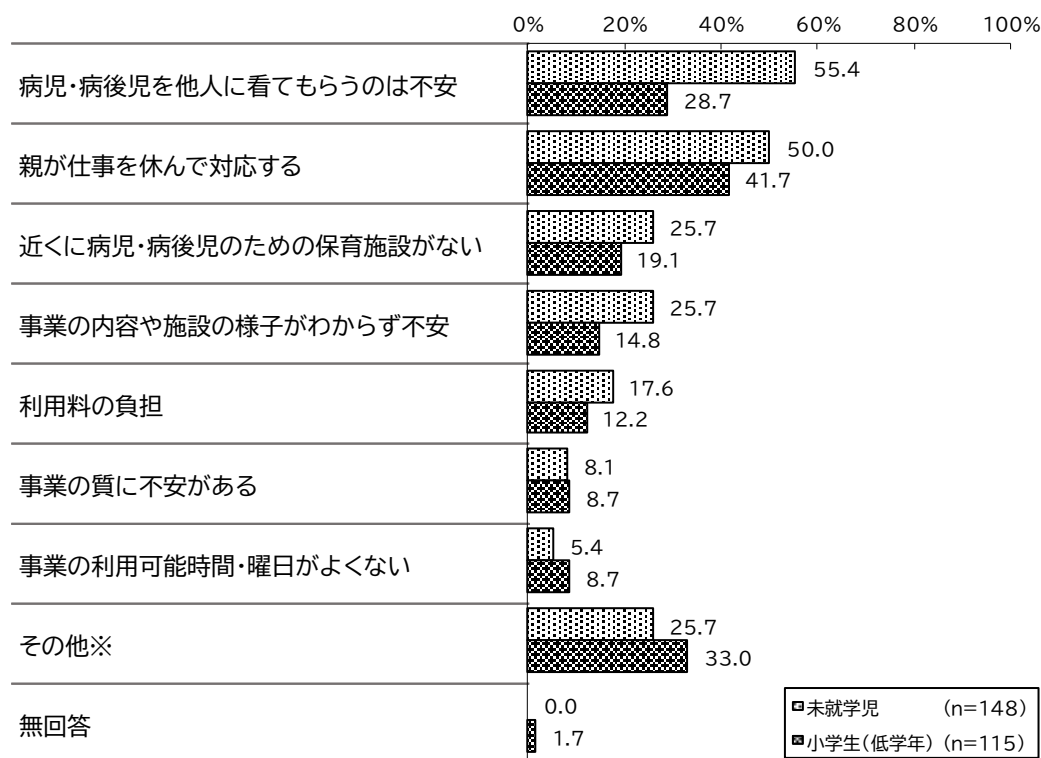
〔未就学児：問 18-4〕

病児・病後児保育施設を利用したいと思わなかった理由(複数回答)

〔小学生：問 30-4〕

病児・病後児保育施設を「利用したいと思わなかった」と回答した人にその理由を尋ねたところ、未就学児の保護者は「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が55.4%と最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が50.0%となっている。

小学生低学年の保護者は「親が仕事を休んで対応する」が41.7%と最も多く、未就学児の保護者と比較して8.3ポイント少なくなっている。次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が28.7%となっており、未就学児の保護者と比較して26.7ポイント少なくなっている。

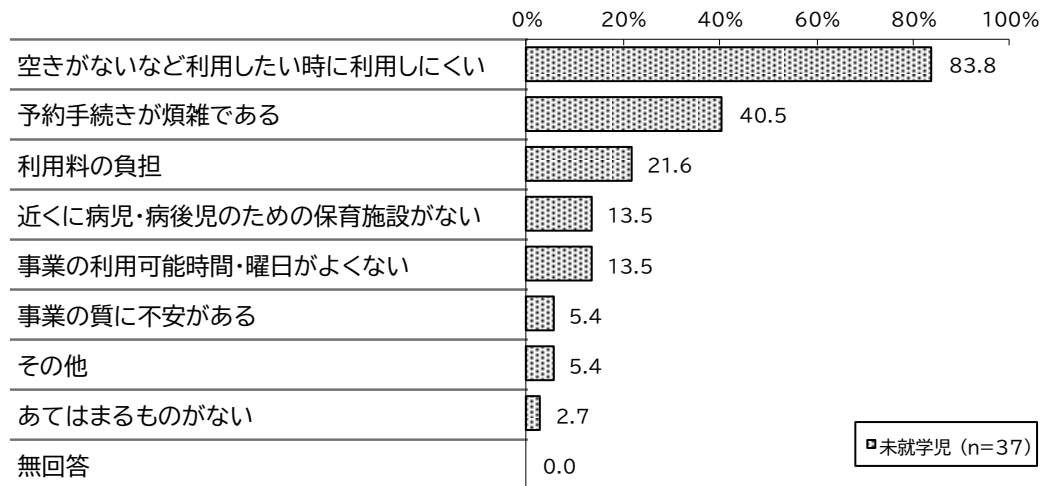


※その他:(甘えたい、寂しい等で)親と離れられない、かわいそうだと思う、準備が負担(手続き、昼食)、他の病気が心配など

(6)病児・病後児保育施設を利用して感じたこと(複数回答)

〔未就学児：問 18-5〕〔小学生：問 30-5〕

病児・病後児保育施設を利用したと回答した人に、感じたことについて尋ねたところ、未就学児の保護者は「空気がないなど利用したい時に利用しにくい」が 83.8%と最も多く、次いで「予約手続きが煩雑である」が 40.5%となっている。



※小学生(低学年)(n=4)は回答数が少ないため作図せず。

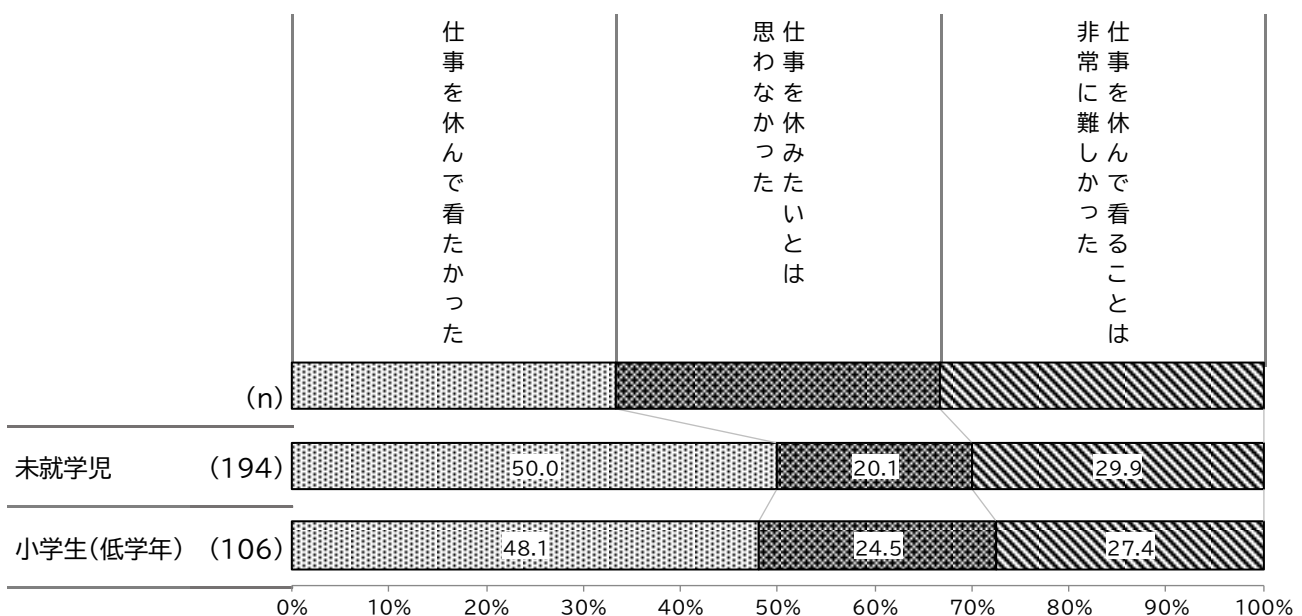
(7)仕事を休んでの看護

①【「父親または母親が仕事を休んで子どもを見た」以外の人】

仕事を休んでの看護希望

〔未就学児：問 18-6〕〔小学生：問 30-6〕

父親または母親が仕事を休む以外の対処方法を行った際の、仕事を休んでの看護希望については、未就学児の保護者、小学生低学年の保護者ともに「仕事を休んで見たかった」が最も多く、それぞれ 50.0%、48.1%となっている。「仕事を休んで看ることは非常に難しかった」は、未就学児の保護者は 29.9%、小学生低学年の保護者は 27.4%となっている。

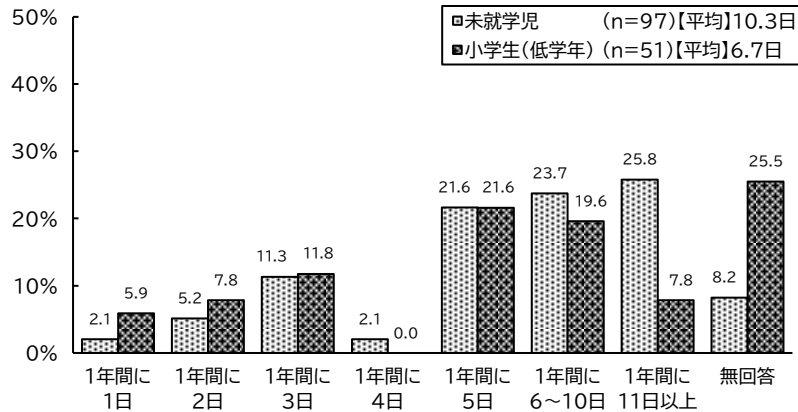


②【仕事を休んで見たかった人】

1年間に保護者が仕事を休んで看護したかった日数

〔未就学児：問 18-6〕〔小学生：問 30-6〕

父親または母親が「仕事を休んで見たかった」と回答した人にその1年間の日数を尋ねたところ、未就学児の保護者は「11日以上」が25.8%と最も多く、平均10.3日となっており、小学生低学年の保護者は「5日」が21.6%と最も多く、平均6.7日となっている。未就学児の保護者の方が平均3.6日多くなっている。

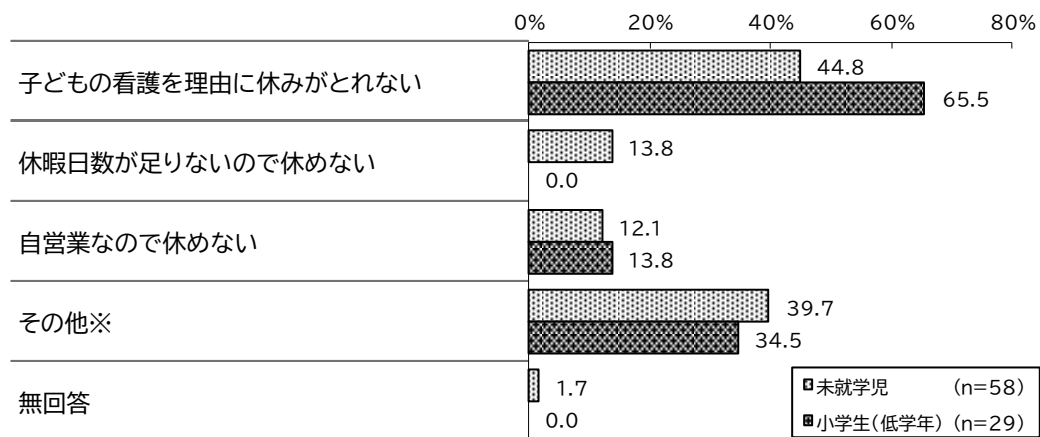


③【仕事を休んで見ることは非常に難しかった人】

子どもの看護のために仕事を休めない理由(複数回答)

〔未就学児：問 18-7〕〔小学生：問 30-7〕

子どもの病気やケガ等の際、「仕事を休んで子どもを見ることは非常に難しかった」と回答した人にその理由を尋ねたところ、未就学児の保護者、小学生低学年の保護者ともに「子どもの看護を理由に休みがとれない」がそれぞれ44.8%、65.5%で最も多くなっている。



※その他：仕事が忙しい、休むと周囲に迷惑がかかる、休めない雰囲気があるなど

7 一時預かり事業について

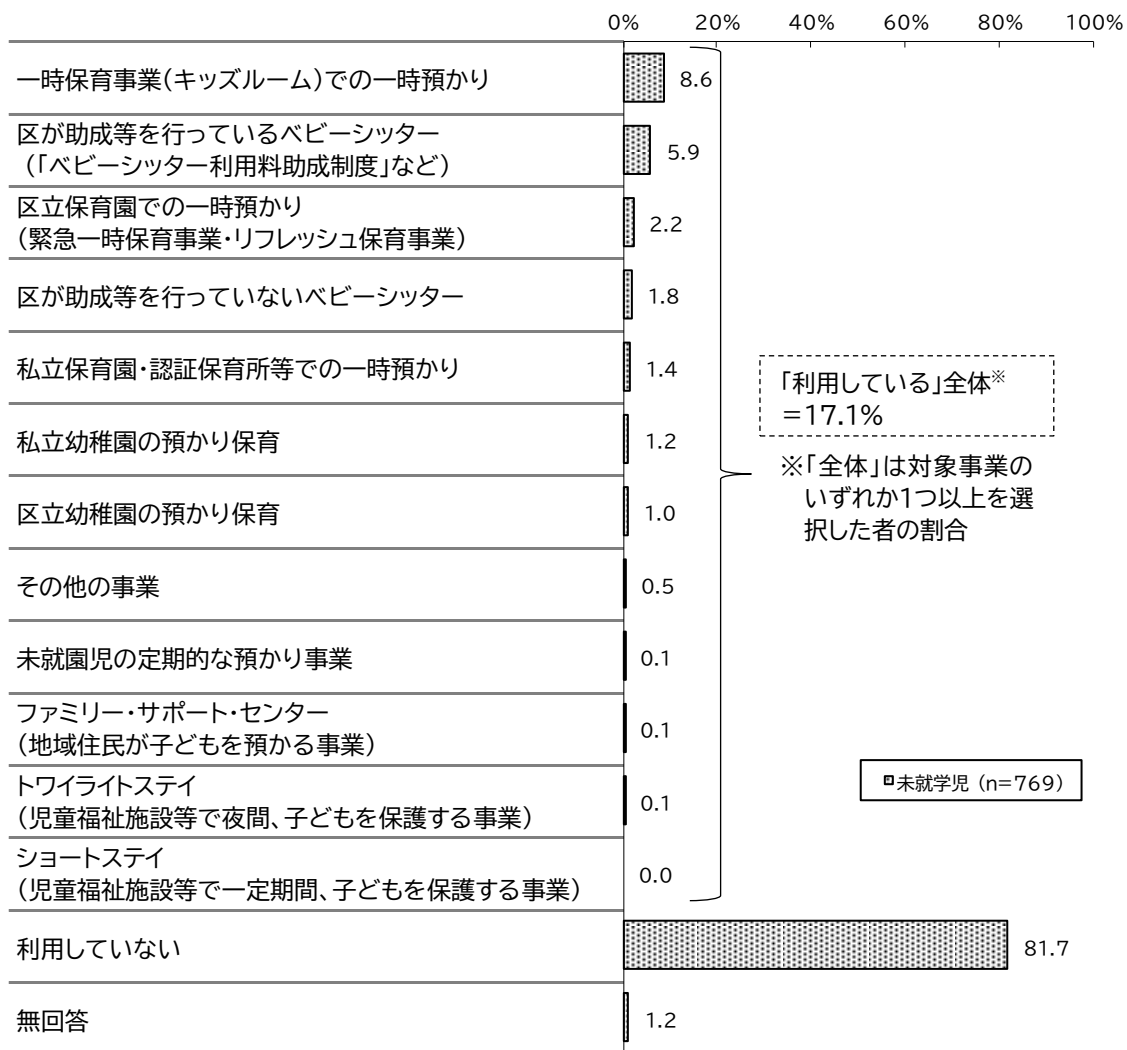
(1)一時預かり事業の利用状況

①利用している一時預かり事業(複数回答)

[未就学児：問 19]

この1年間の一時預かり事業(日中の定期的な保育や病気のため以外の私用、親の通院、不規則の就労等の目的での不規則利用)の利用状況について、未就学児の保護者に尋ねたところ、17.1%が何らかの事業を利用している。

事業別でみると、「一時保育事業(キッズルーム)での一時預かり」が 8.6%と最も多く、次いで「区が助成等を行っているベビーシッター(「ベビーシッター利用料助成制度」など)」が 5.9%、「区立保育園での一時預かり(緊急一時保育事業・リフレッシュ保育事業)」が 2.2%となっている。



《 利用している一時預かり事業－子どもの年齢別 》

子どもの年齢別にみると、「利用している」全体は5歳が 25.5%と最も多く、次いで1歳が 19.1%、3歳が 17.4%となっている。

0歳では「区が助成等を行っているベビーシッター（「ベビーシッター利用料助成制度」など）」が 10.7%と最も多くなっている一方、0歳を除く全ての年齢では「一時保育事業（キッズルーム）での一時預かり」が最も多くなっている。

(%)

	未就学児計 (n)	年齢【令和5年4月1日時点】					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	(769)	(112)	(147)	(137)	(121)	(105)	(102)
一時保育事業(キッズルーム)での一時預かり	8.6	4.5	8.8	8.0	9.9	7.6	15.7
区立保育園での一時預かり (緊急一時保育事業・リフレッシュ保育事業)	2.2	3.6	4.1	2.2	0.8	1.0	2.0
私立保育園・認証保育所等での一時預かり	1.4	1.8	2.0	1.5	1.7	1.0	1.0
未就園児の定期的な預かり事業	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
区立幼稚園の預かり保育	1.0	0.0	0.0	0.7	1.7	1.0	3.9
私立幼稚園の預かり保育	1.2	0.0	0.0	0.0	0.8	1.9	3.9
ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	0.1	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
ショートステイ(児童福祉施設等で一定期間、 子どもを保護する事業)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
トワイライトステイ(児童福祉施設等で夜間、 子どもを保護する事業)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
区が助成等を行っているベビーシッター (「ベビーシッター利用料助成制度」など)	5.9	10.7	8.2	4.4	5.0	5.7	2.9
区が助成等を行っていないベビーシッター	1.8	2.7	0.7	2.9	1.7	2.9	1.0
その他の事業	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9
「利用している」全体	17.1	14.3	19.1	16.7	17.4	14.3	25.5
利用していない	81.7	84.8	78.9	81.8	82.6	83.8	74.5
無回答	1.2	0.9	2.0	1.5	0.0	1.9	0.0

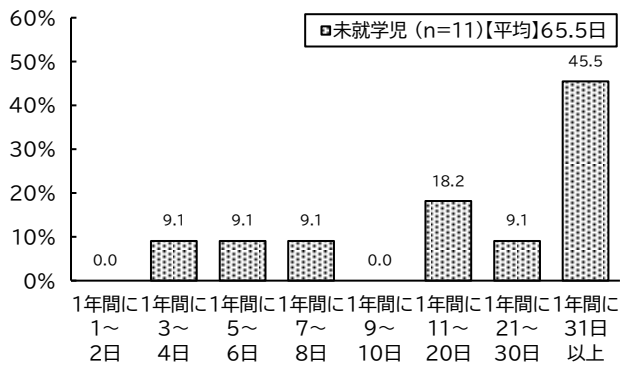
※「全体」は対象事業のいずれか1つを選択した者の割合

②【各事業の利用者】一時預かり事業の1年間の利用日数

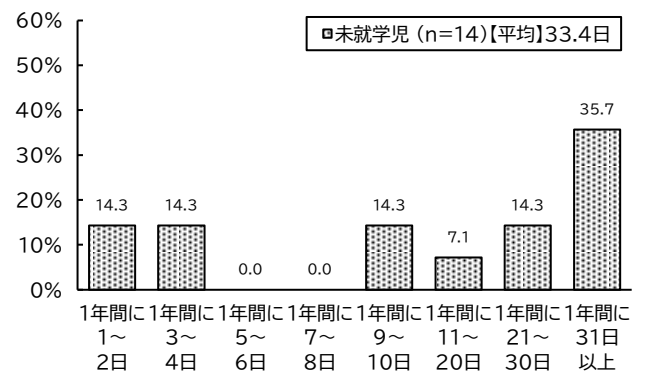
〔未就学児：問19〕

利用している一時預かり事業別の1年間の利用日数の平均は、「私立保育園・認証保育所等での一時預かり」が65.5日と最も多く、次いで「区が助成等を行っていないベビーシッター(33.4日)」、「区が助成等を行っているベビーシッター(18.6日)」となっている。

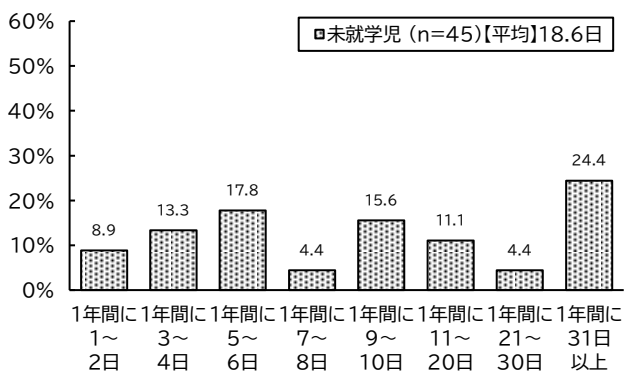
私立保育園・認証保育所等での一時預かり



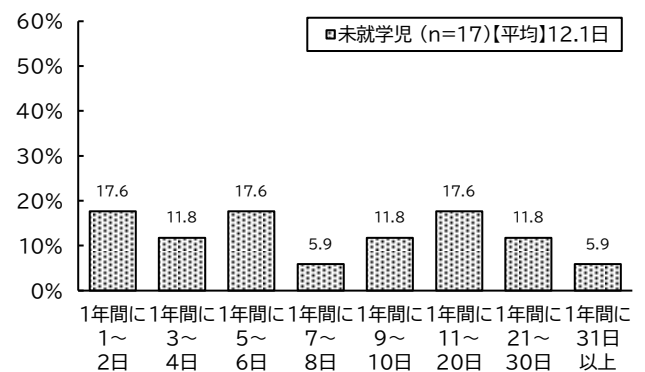
区が助成等を行っていないベビーシッター



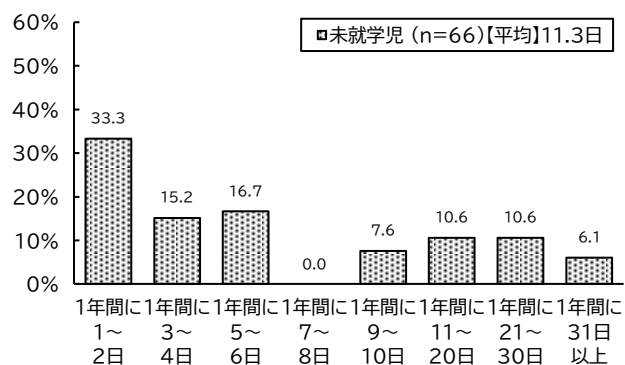
区が助成等を行っているベビーシッター (「ベビーシッター利用料助成制度」など)



区立保育園での一時預かり (緊急一時保育事業・リフレッシュ保育事業)



一時保育事業(キッズルーム)での一時預かり



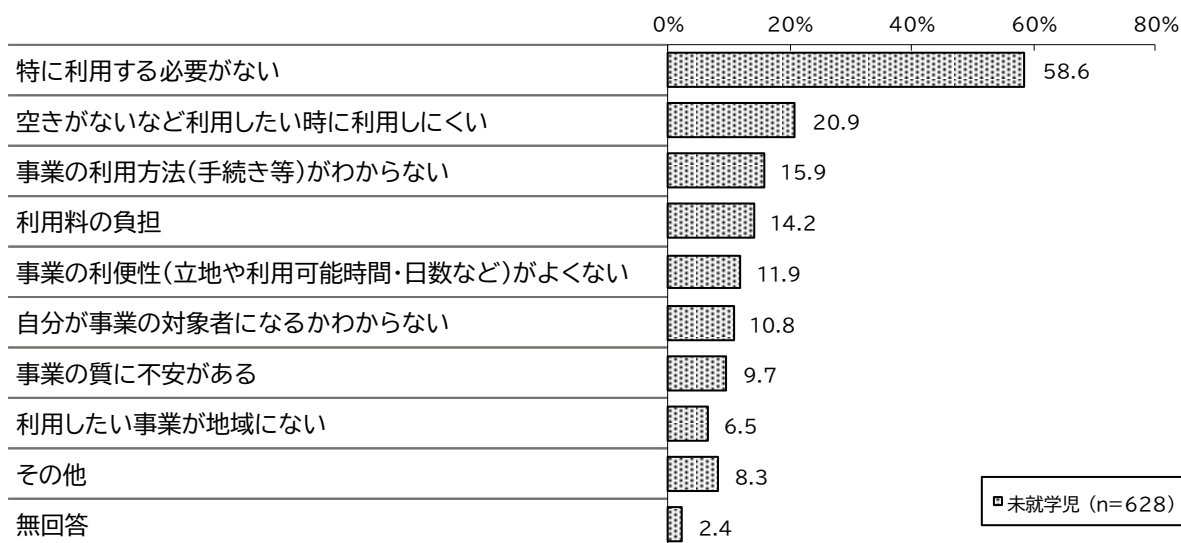
※未就園児の定期的な預かり事業(n=1)、区立幼稚園の預かり保育(n=8)、私立幼稚園の預かり保育(n=9)、ファミリー・サポート・センター(n=1)、ショートステイ(n=0)、トワイライトステイ(n=1)、その他の事業(n=4)は回答数が少ないため作図せず。

(2)【一時預かり事業を利用していない人】

一時預かり事業を利用していない理由(複数回答)

〔未就学児：問 19-1〕

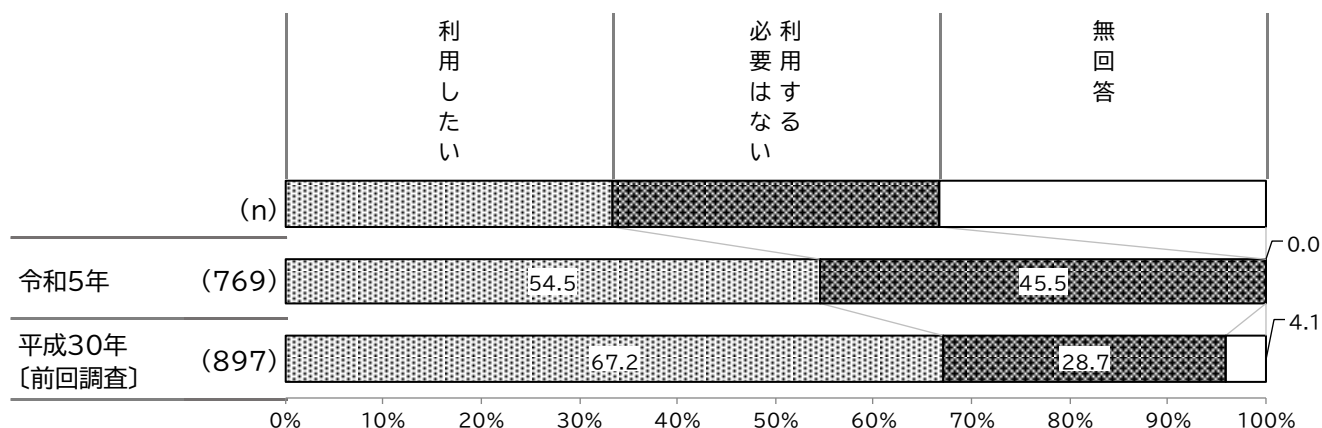
一時預かり事業を利用していない未就学児の保護者にその理由を尋ねたところ、「特に利用する必要がない」が 58.6%と最も多くなっている。次いで「空きがないなど利用したい時に利用しにくい」が 20.9%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 15.9%となっている。



(3)一時預かり事業の利用希望

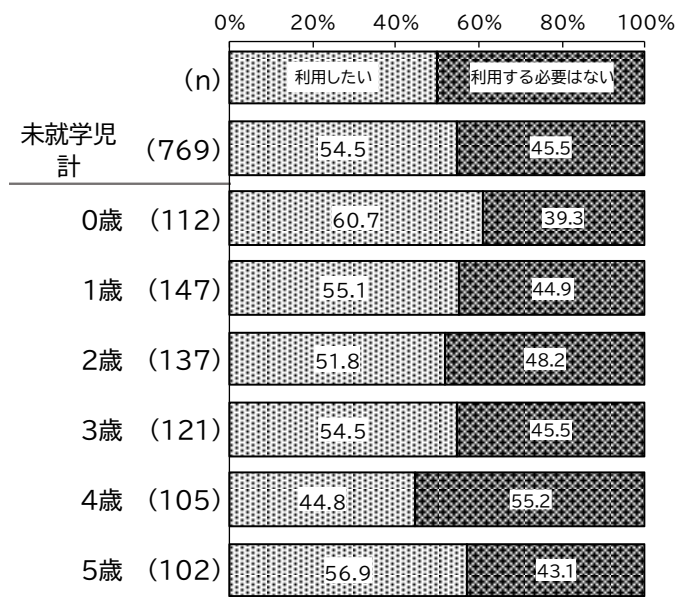
〔未就学児：問 20〕

今後1年間の一時預かり事業の利用希望については、未就学児の保護者のうち 54.5%が「利用したい」、45.5%が「利用する必要はない」と回答しており、平成 30 年の調査結果と比較すると、「利用したい」が 12.7 ポイント減少している。



《 一時預かり事業の利用希望－子どもの年齢別 》

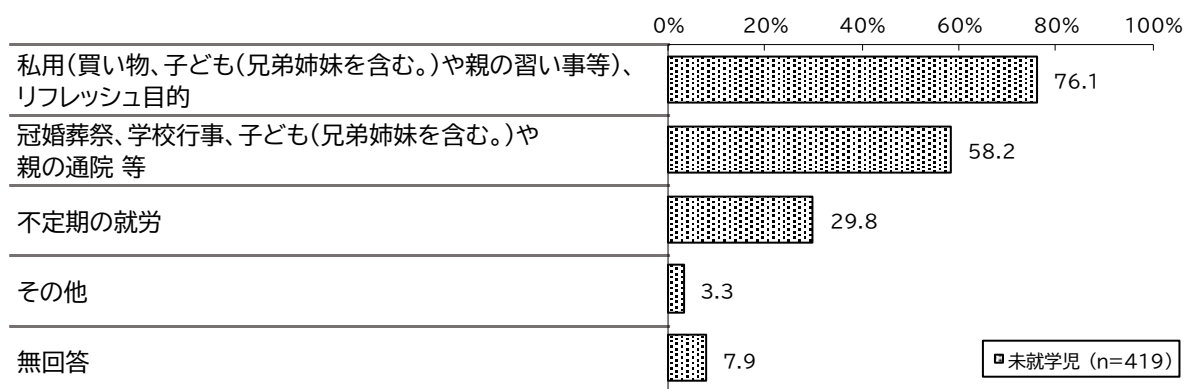
利用希望の割合を子どもの年齢別にみると、0歳が6割を超え最も多く、次いで5歳が 56.9%、1歳が 55.1%となっている。



(4)一時預かり事業の利用希望の目的／利用希望日数

①【一時預かり事業の利用希望者】一時預かり事業の利用希望の目的(複数回答) [未就学児：問20]

一時預かり事業を利用したいと回答した未就学児の保護者に、利用希望の目的を尋ねたところ、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む。)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が 76.1%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む。)や親の通院等」が 58.2%となっている。



②【一時預かり事業の利用希望者】

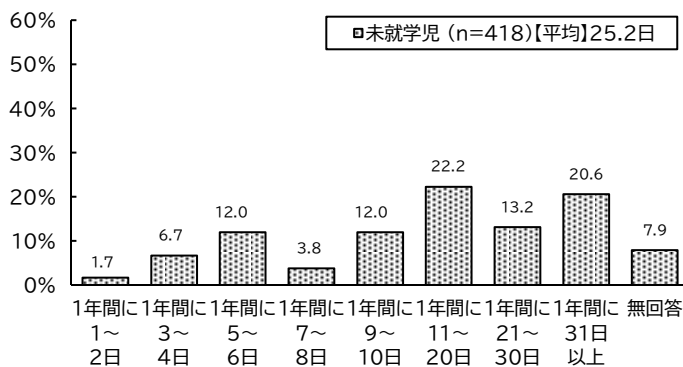
一時預かり事業の利用目的別の利用希望日数(複数回答)

[未就学児：問20]

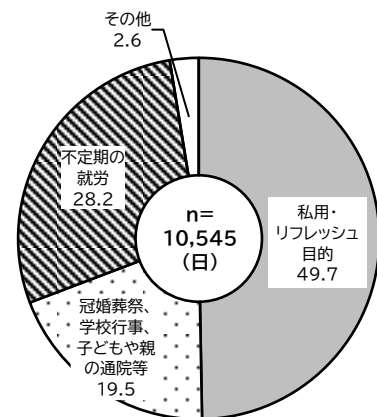
一時預かり事業の1年間の利用希望日数については、目的問わず合計で年間平均 25.2 日となっている。また、目的別では、不特定の就労が 23.8 日と最も多く、次いで私用・リフレッシュ目的が 16.4 日となっている。

一時預かり事業の利用目的については、「私用・リフレッシュ目的」が 49.7%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 19.5%、「不特定の就労」が 28.2%となっている。

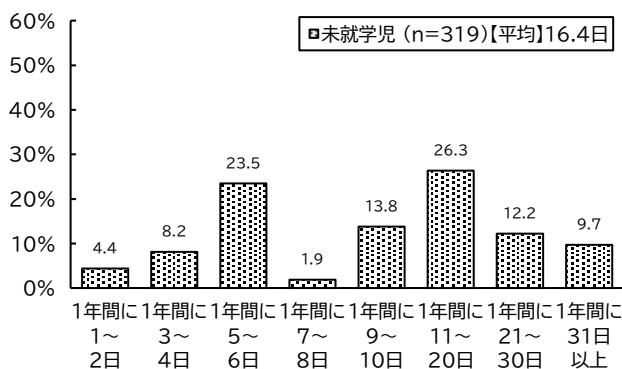
合計



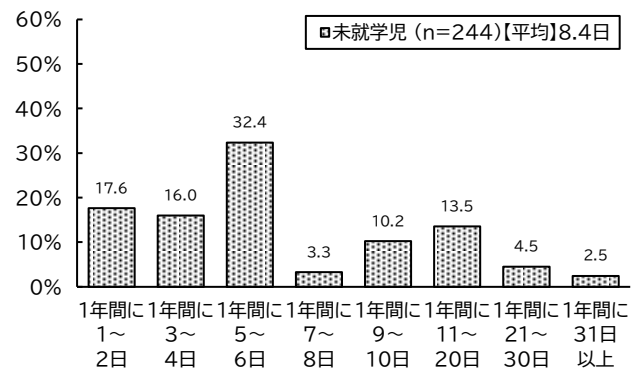
《 目的の内訳(日数の構成比) 》



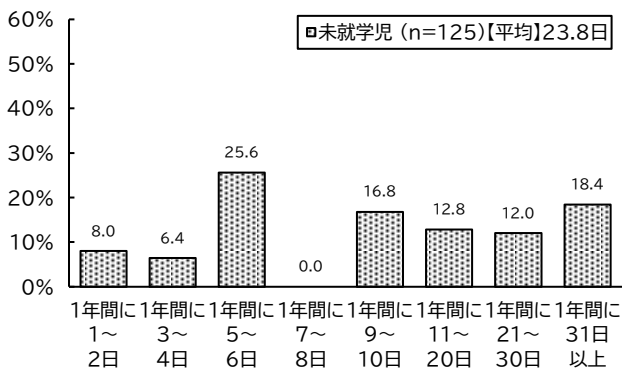
私用・リフレッシュ目的



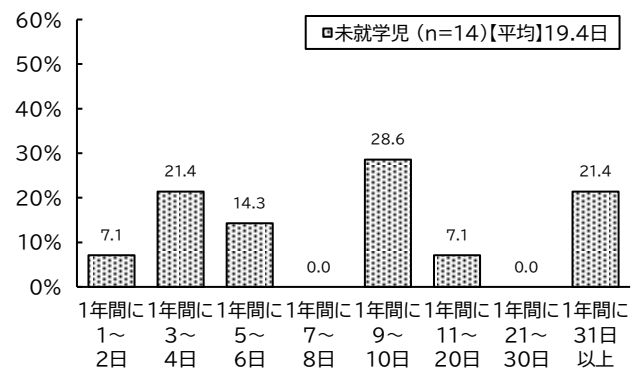
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等



不特定の就労



その他

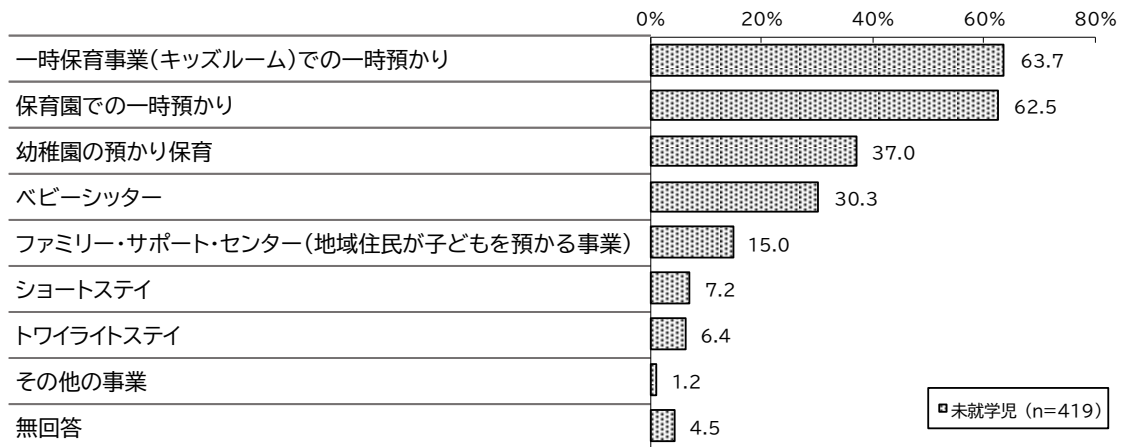


(5)【一時預かり事業の利用希望者】

一時預かり事業を利用する際に希望する事業形態(複数回答)

〔未就学児：問 20-1〕

一時預かり事業を利用する際に希望する事業形態については、「一時保育事業(キッズルーム)での一時預かり」が 63.7%と最も多く、次いで「保育園での一時預かり」が 62.5%、「幼稚園の預かり保育」が 37.0%となっている。

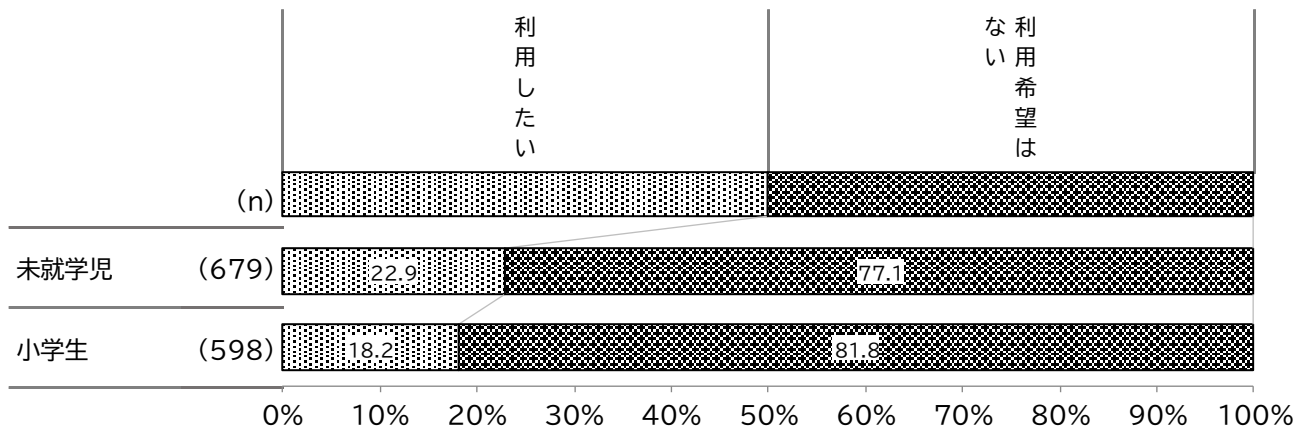


(6) ショートステイの利用希望の有無／預ける必要のある用事／預ける必要のある日数

① ショートステイの利用希望の有無

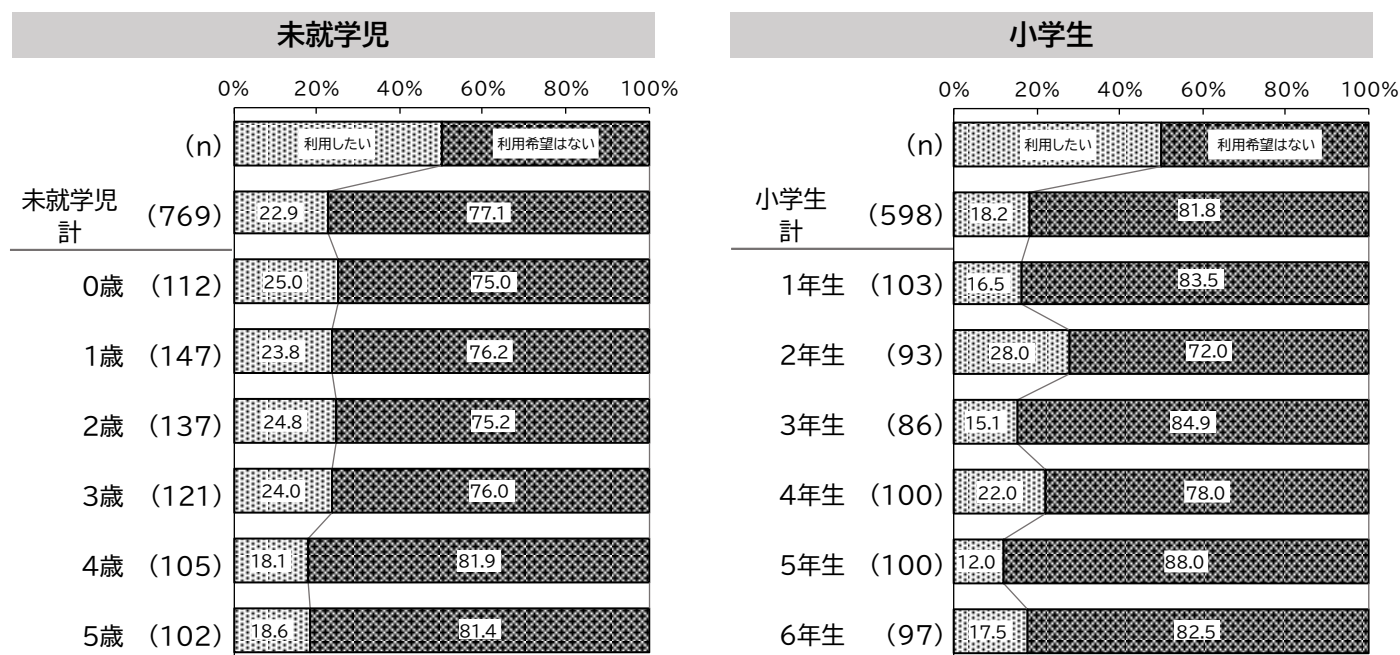
〔未就学児：問 21〕〔小学生：問 31〕

ショートステイ(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について、「利用したい」と回答したのは未就学児の保護者が 22.9%、小学生の保護者が 18.2%となっている。



《 ショートステイの利用希望の有無－子どもの年齢別 》

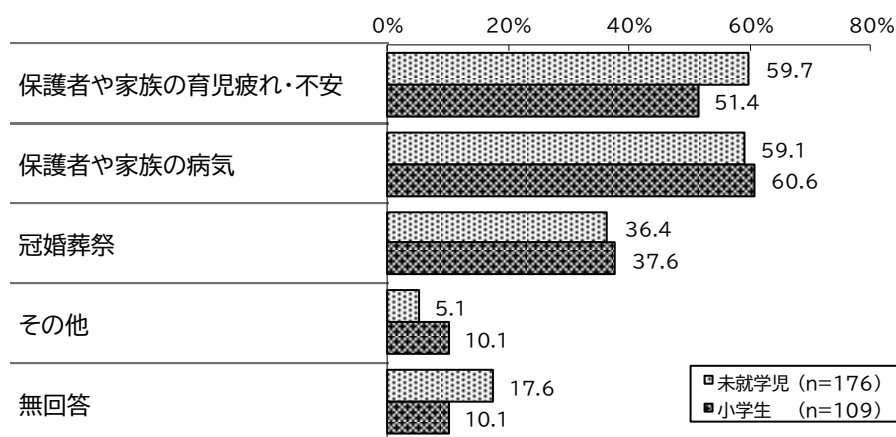
利用希望の有無を子どもの年齢別にみると、「利用したい」は未就学児で0歳から3歳が2割以上となっている。また、小学生では2年生、4年生が2割台と多くなっている。



②【ショートステイを利用希望の人】

子どもを泊りがけで預ける必要がある保護者の用事(複数回答) [未就学児：問 21] [小学生：問 31]

ショートステイを利用希望の人に、子どもを泊りがけで預ける必要がある保護者の用事を尋ねたところ、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が未就学児の保護者で 59.7%、「保護者や家族の病気」が小学生の保護者で 60.6%と最も多く、次いで「保護者や家族の病気」が未就学児の保護者で 59.1%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が小学生の保護者で 51.4%となっている。



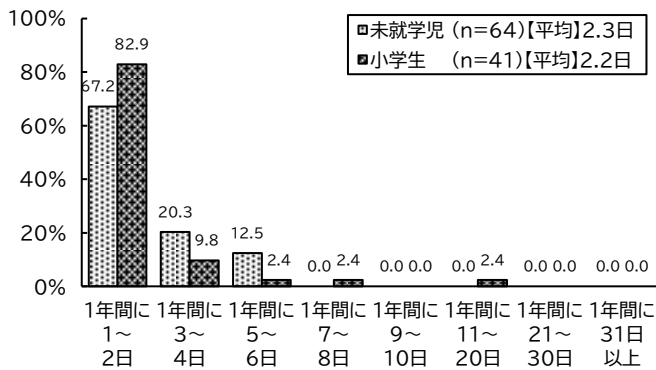
③【ショートステイを利用希望の人】

子どもを泊りがけで預ける必要がある1年間の日数

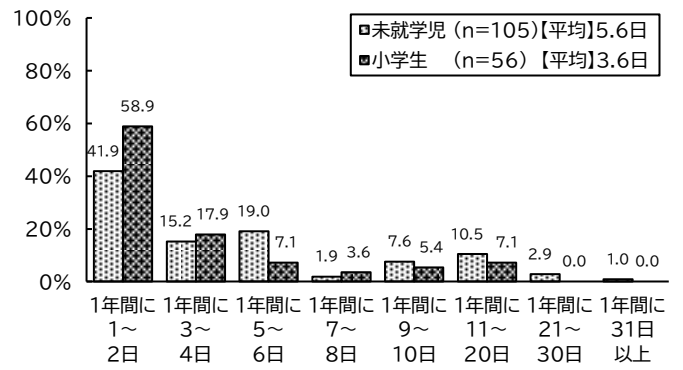
〔未就学児：問21〕〔小学生：問31〕

子どもを泊りがけで預けなければならなかった際の保護者の用事別の1年間の日数については、「冠婚葬祭」が未就学児の保護者で平均2.3日、小学生の保護者で2.2日、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が未就学児の保護者で5.6日、小学生の保護者で3.6日、「保護者や家族の病気」が未就学児の保護者で5.8日、小学生の保護者で3.8日となっている。

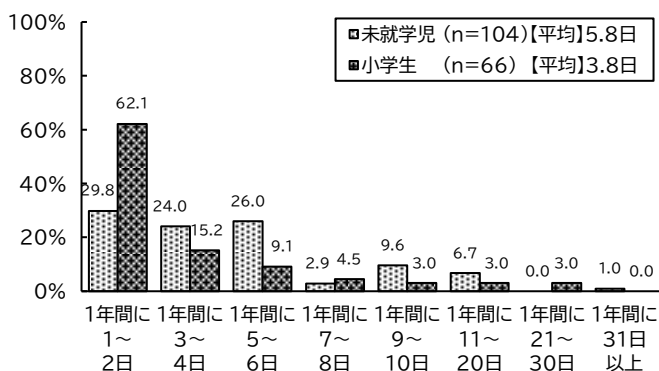
冠婚葬祭



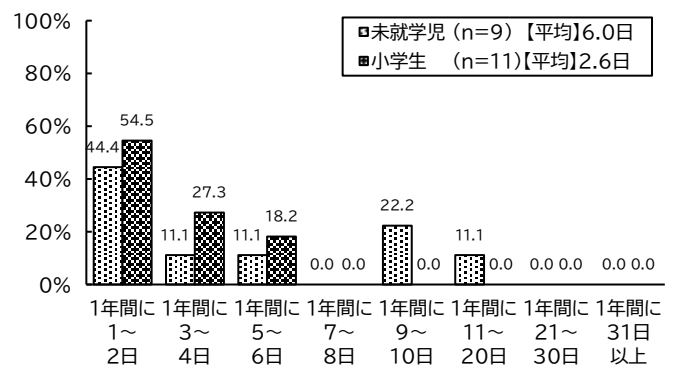
保護者や家族の育児疲れ・不安



保護者や家族の病気



その他※



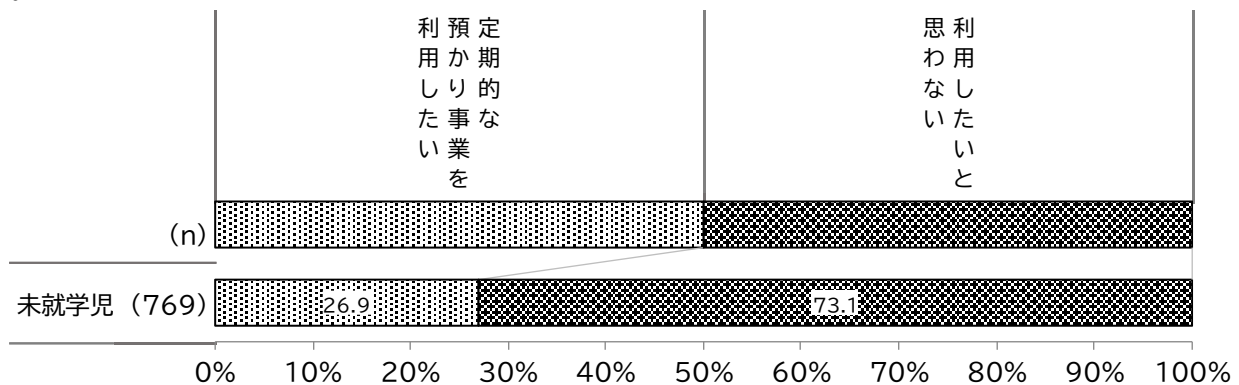
※その他:祖父母の世話、出産、出張など

(7) 定期的な預かり事業の利用希望の有無／利用希望の日数・時間／利用希望の理由

① 定期的な預かり事業の利用希望の有無

〔未就学児：問 22〕

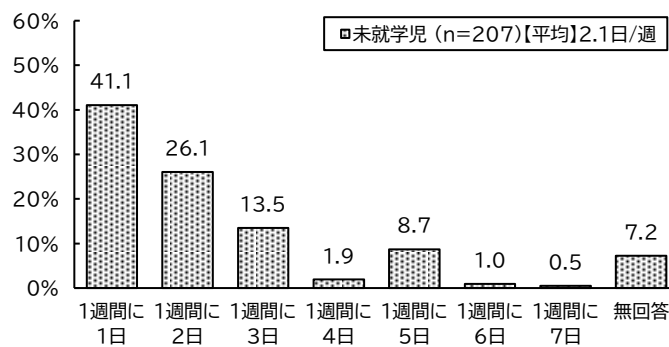
認可保育所、小規模保育事業所等での週1～2回の定期的な預かり事業の利用希望について尋ねたところ、「定期的な預かり事業を利用したい」が 26.9%、「利用したいと思わない」が 73.1%となっている。



②【定期的な預かり事業を利用希望の人】定期的な預かり事業の利用希望日数

〔未就学児：問 22〕

定期的な預かり事業の週当たり希望利用日数については、「1週間に1日」が 41.1%で最も多く、次いで「1週間に2日」が 26.1%、「1週間に3日」が 13.5%となっている。平均利用希望日数は1週間当たり 2.1 日となっている。



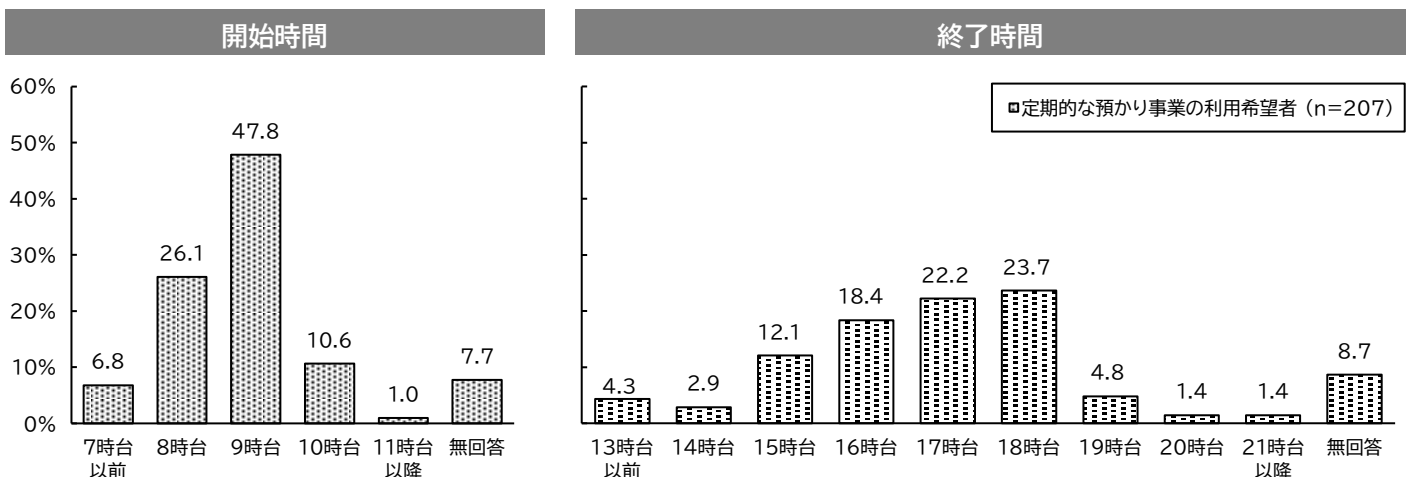
③【定期的な預かり事業を利用希望の人】

定期的な預かり事業の利用を希望する開始時間／終了時間

〔未就学児：問 22〕

定期的な預かり事業を利用希望者の希望開始時間は、「9時台」が 47.8%となっている。

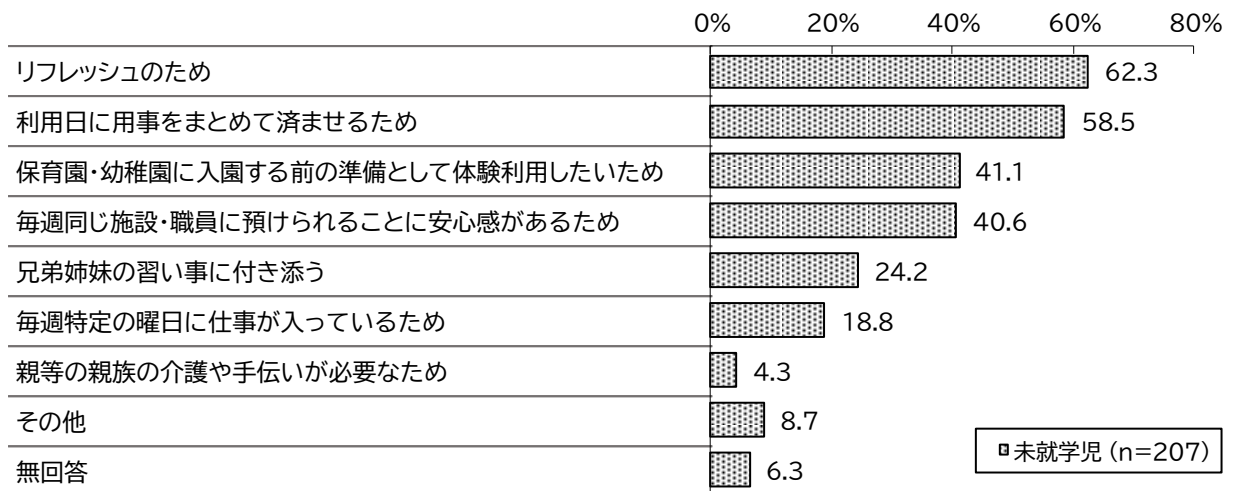
希望終了時間は、「18 時台」が 23.7%と最も多く、次いで「17 時台」が 22.2%、「16 時台」が 18.4%となっている。



④定期的な預かり事業を利用したい理由(複数回答)

〔未就学児：問 22-1〕

定期的な預かり事業を利用したい理由を尋ねたところ、「リフレッシュのため」が62.3%で最も多く、次いで「利用日に用事をまとめて済ませるため」が58.5%、「保育園・幼稚園に入園する前の準備として体験利用したいため」が41.1%となっている。



8 地域子育て支援拠点事業について

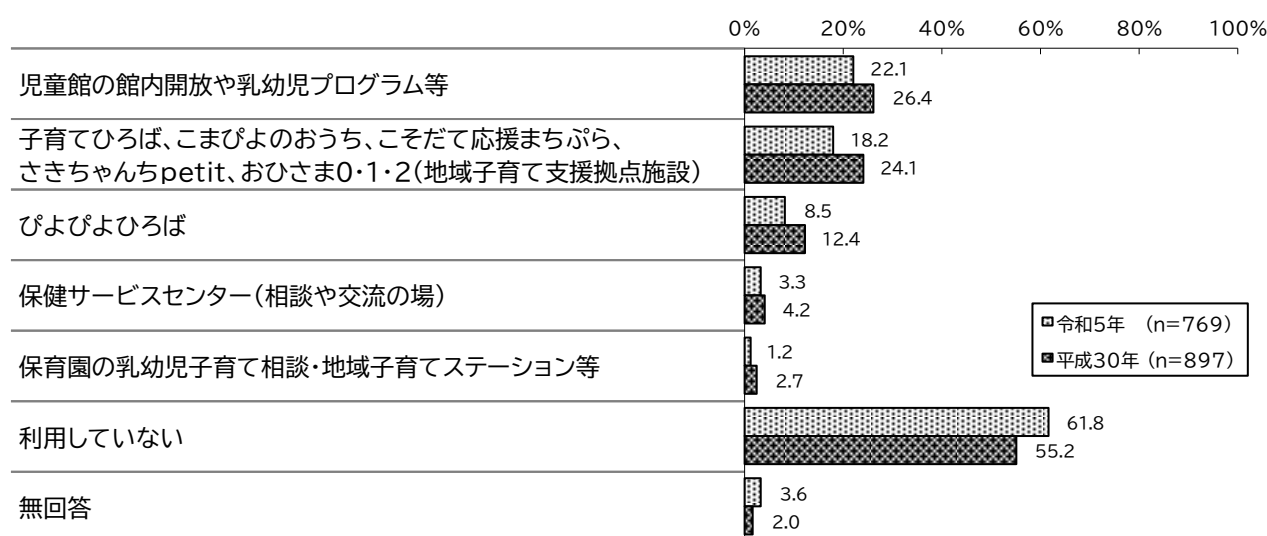
(1) 地域子育て支援拠点事業等の利用状況

① 利用している地域子育て支援拠点事業等(複数回答)

[未就学児：問 23]

地域子育て支援拠点施設・類似施設の利用状況については、未就学児の保護者の6割以上が「利用していない」と回答しており、「利用している」と回答した約4割の利用状況としては「児童館の館内開放や乳幼児プログラム等」が 22.1%と最も多く、次いで「子育てひろば、こまびよのおうち、こそだて応援まちづら、さきちゃんち petit、おひさま 0・1・2(地域子育て支援拠点施設)」18.2%、「ぴよぴよひろば」8.5%となっている。

平成 30 年の調査結果と比較すると、「児童館の館内開放や乳幼児プログラム等」は 4.3 ポイント、「子育てひろば、こまびよのおうち、こそだて応援まちづら、さきちゃんち petit、おひさま 0・1・2(地域子育て支援拠点施設)」は 5.9 ポイント、「ぴよぴよひろば」は 3.9 ポイント減少している。



《 利用している地域子育て支援拠点施設・類似施設－地区別 》

地区別にみると、「子育てひろば、こまびよのおうち、こそだて応援まちづら、さきちゃんち petit、おひさま 0・1・2(地域子育て支援拠点施設)」は西片地区、根津地区、千駄木地区で4割を超えて多くなっている。「児童館の館内開放や乳幼児プログラム等」は根津地区が8割半ばで最も高く、次いで本郷地区が4割を、目白台地区及び弥生地区が3割をそれぞれ超えている。

一方、「利用していない」は、後楽地区が8割で最も多く、白山地区、水道地区、小日向地区、関口地区で7割台となっている。

(%)

	未就学児計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(769)	(5)	(17)	(115)	(70)	(83)	(23)	(40)	(77)	(28)
子育てひろば、こまびよのおうち、こそだて応援まちづら、さきちゃんち petit、おひさま0・1・2(地域子育て支援拠点施設)	18.2	20.0	17.6	16.5	14.3	15.7	21.7	7.5	7.8	14.3
びよびよひろば	8.5	0.0	5.9	10.4	8.6	4.8	4.3	7.5	7.8	3.6
保健サービスセンター(相談や交流の場)	3.3	0.0	0.0	1.7	1.4	1.2	4.3	2.5	2.6	0.0
児童館の館内開放や乳幼児プログラム等	22.1	20.0	23.5	13.9	14.3	19.3	8.7	22.5	24.7	3.6
保育園の乳幼児子育て相談・地域子育てステーション等	1.2	0.0	0.0	0.9	1.4	1.2	4.3	2.5	1.3	0.0
利用していない	61.8	80.0	52.9	67.8	70.0	69.9	73.9	72.5	64.9	75.0
無回答	3.6	0.0	17.6	4.3	0.0	1.2	0.0	0.0	6.5	7.1

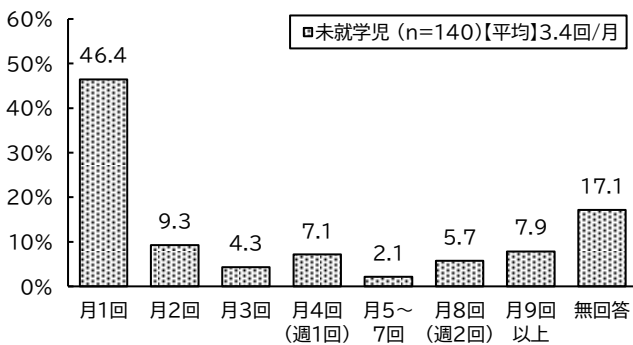
	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(24)	(36)	(52)	(29)	(11)	(11)	(3)	(13)	(40)	(87)
子育てひろば、こまびよのおうち、こそだて応援まちづら、さきちゃんち petit、おひさま0・1・2(地域子育て支援拠点施設)	8.3	30.6	13.5	10.3	45.5	27.3	33.3	46.2	40.0	24.1
びよびよひろば	4.2	0.0	15.4	20.7	27.3	9.1	33.3	7.7	5.0	9.2
保健サービスセンター(相談や交流の場)	0.0	0.0	3.8	6.9	9.1	0.0	66.7	7.7	7.5	6.9
児童館の館内開放や乳幼児プログラム等	33.3	11.1	42.3	17.2	18.2	18.2	33.3	84.6	25.0	29.9
保育園の乳幼児子育て相談・地域子育てステーション等	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
利用していない	62.5	58.3	48.1	65.5	45.5	54.5	33.3	7.7	47.5	54.0
無回答	4.2	5.6	3.8	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	2.5	2.3

②【各事業の利用者】地域子育て支援拠点事業等の1か月当たりの利用回数

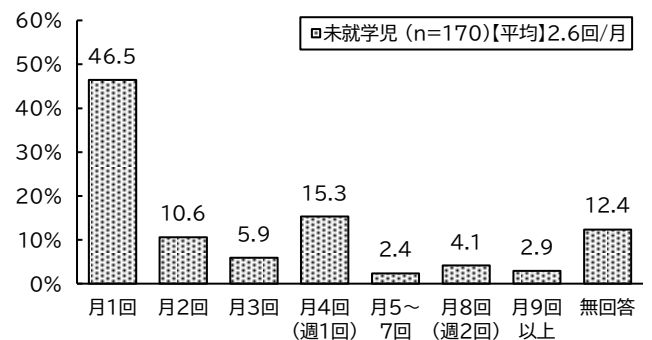
〔未就学児：問23〕

地域子育て支援拠点施設・類似施設の1か月当たりの平均利用回数は、多い順に、「子育てひろば、こまびよのおうち、こそだて応援まちぷら、さきちゃんち petit、おひさま 0・1・2(地域子育て支援拠点施設)」が 3.4 回、「児童館の館内開放乳幼児プログラム等」が 2.6 回、「ぴよぴよひろば(子ども家庭支援センター)」が 1.6 回、「保健サービスセンター(相談や交流の場)」が 1.3 回となっている。

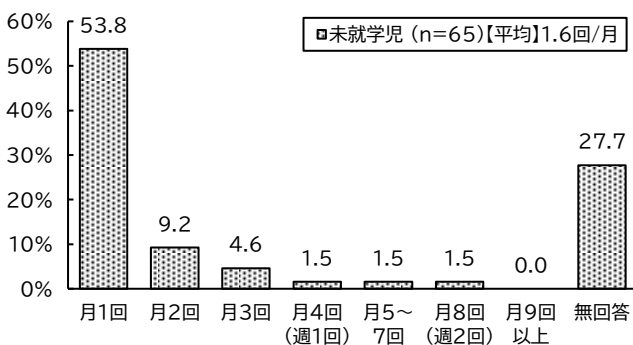
子育てひろば、こまびよのおうち、こそだて応援まちぷら、さきちゃんち petit、おひさま 0・1・2(地域子育て支援拠点施設)



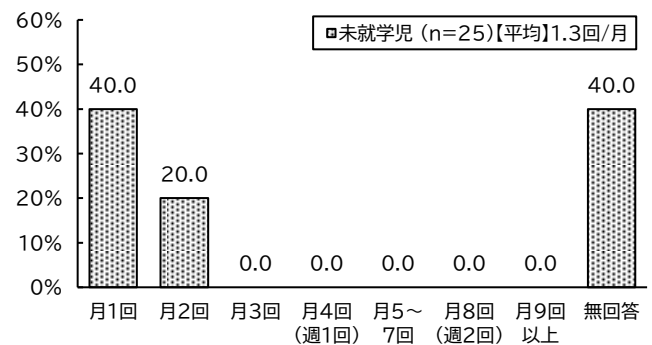
児童館の管内会報や乳幼児プログラム等



ぴよぴよひろば



保健サービスセンター(相談や交流の場)



※保育園の乳幼児子育て相談・地域子育てステーション等(n=9)は回答数が少ないため作図せず。

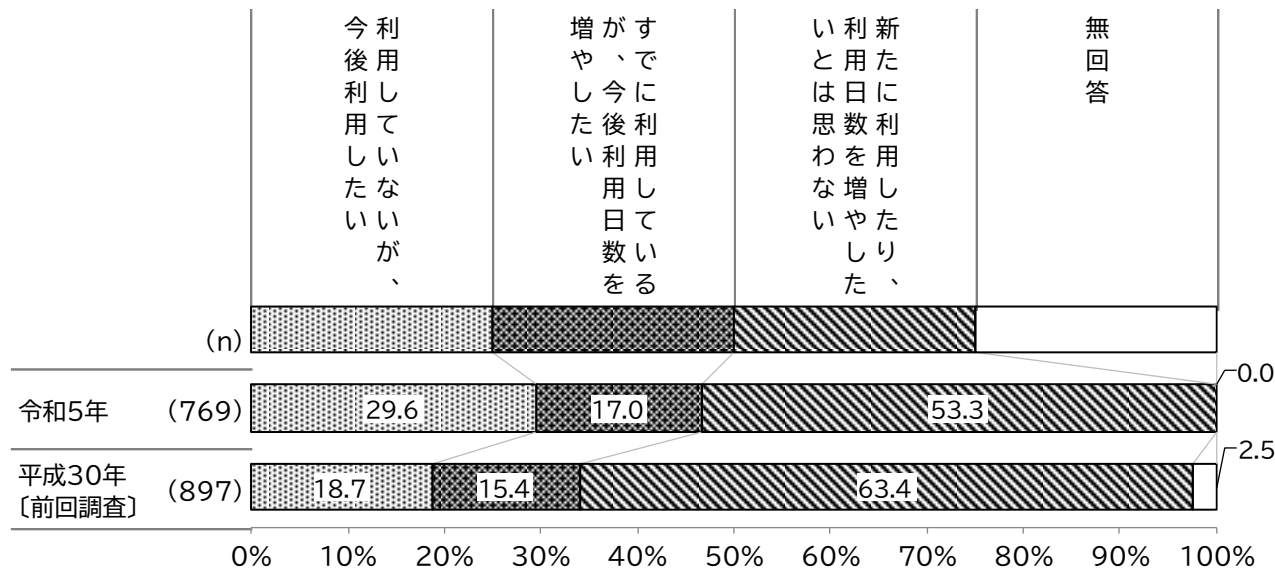
(2)地域子育て支援拠点施設・類似施設の利用希望／利用希望回数／利用を増やす希望回数

①地域子育て支援拠点事業等の利用希望

〔未就学児：問 24〕

地域子育て支援拠点施設・類似施設の今後の利用希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 53.3%を占めている。次いで「利用していないが、今後利用したい」の新規の利用希望が 29.6%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の増加の利用希望が 17.0%となっている。

平成 30 年の調査結果と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」は 10.9 ポイント、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は 1.6 ポイント程度増加している。



《 地域子育て支援拠点施設・類似施設の今後の利用希望－地区別 》

地区別にみると、「利用していないが、今後利用したい」の新規の利用希望は、弥生地区が6割半ばで最も多く、次いで後楽地区が6割、向丘地区が4割半ばとなっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の増加の利用希望については、根津地区及び千駄木地区が3割を超えて多くなっている。

「利用していないが、今後利用したい」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の計は、後楽地区、向丘地区、弥生地区及び千駄木地区が6割台で多くなっている。

	未就学児計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(769)	(5)	(17)	(115)	(70)	(83)	(23)	(40)	(77)	(28)
利用していないが、今後利用したい	29.6	60.0	17.6	34.8	32.9	27.7	39.1	35.0	33.8	21.4
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	17.0	0.0	11.8	15.7	10.0	18.1	8.7	12.5	15.6	14.3
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	53.3	40.0	70.6	49.6	57.1	54.2	52.2	52.5	50.6	64.3

	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(24)	(36)	(52)	(29)	(11)	(11)	(3)	(13)	(40)	(87)
利用していないが、今後利用したい	25.0	19.4	32.7	31.0	27.3	45.5	66.7	7.7	30.0	21.8
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	20.8	13.9	19.2	13.8	27.3	18.2	0.0	30.8	30.0	20.7
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	54.2	66.7	48.1	55.2	45.5	36.4	33.3	61.5	40.0	57.5

②【「今後利用したい」「今後利用日数を増やしたい」回答者】

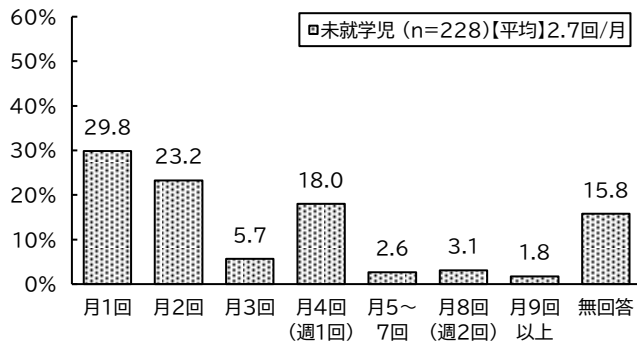
〔未就学児：問 24〕

地域子育て支援拠点事業等の1か月当たりの利用希望回数／利用を増やす希望の回数

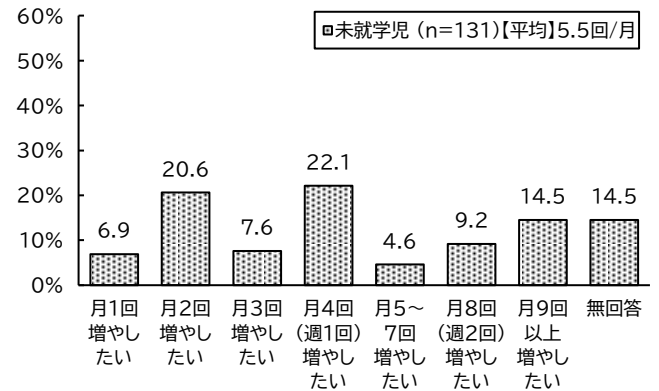
地域子育て支援拠点施設・類似施設を「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の1か月当たりの利用希望回数は、平均 2.7 回となっている。

地域子育て支援拠点施設・類似施設を「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の1か月当たりの利用を増やす希望回数は、平均 5.5 回となっている。

1か月当たりの利用希望回数



1か月当たりの利用を増やす希望回数



9 放課後の過ごし方について

(1) 小学校の放課後を過ごさせたい場所・過ごしている場所(複数回答)

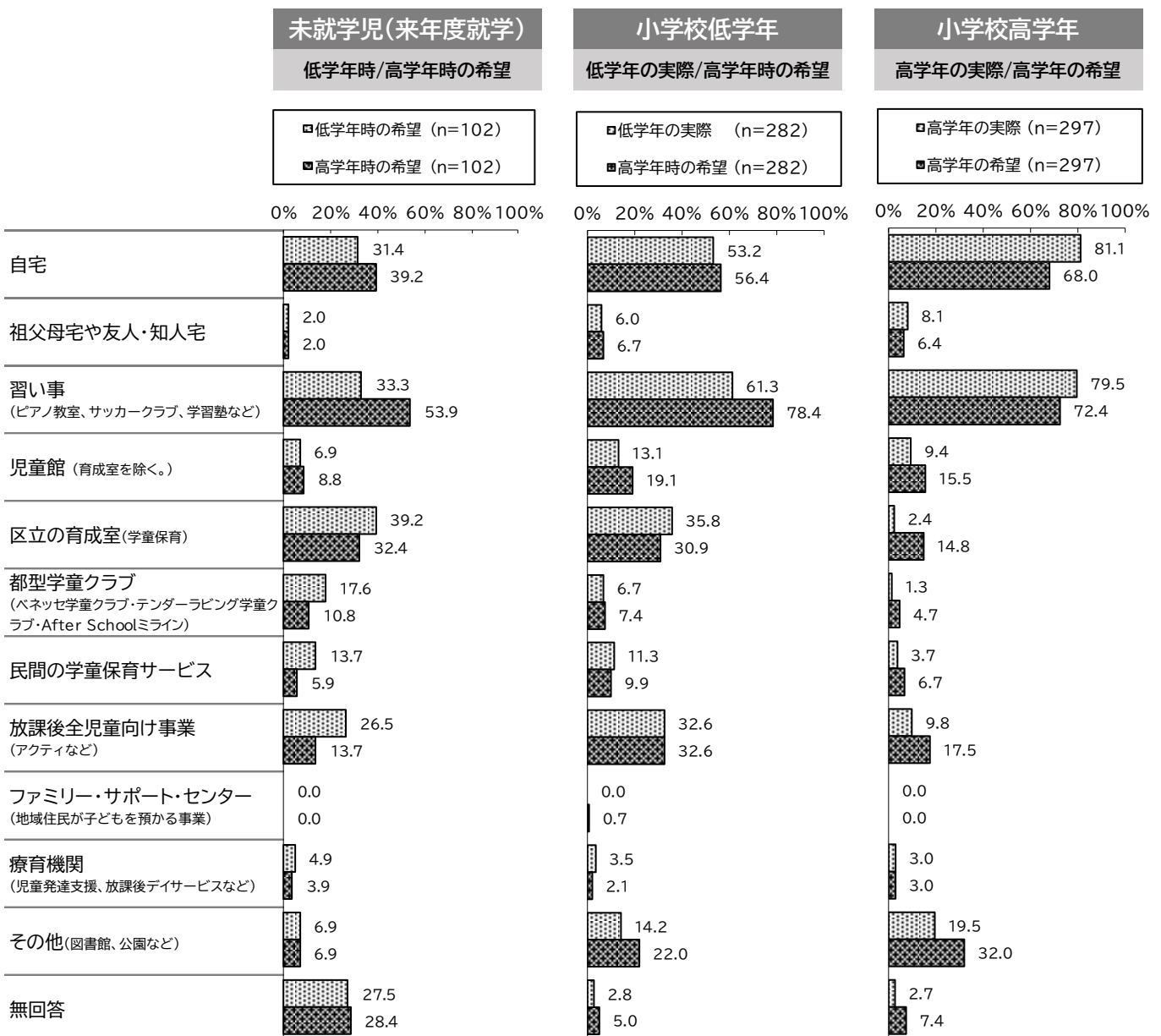
[未就学児：問 25、問 26]

[小学生：問 26、問 27]

小学校の放課後の過ごし方について、未就学児のうち来年度就学する児童の保護者へ将来の希望を尋ねたところ、低学年時は「区立の育成室(学童保育)」が39.2%と最も多く、高学年時では「習い事」が53.9%と最も多くなっている。

小学校低学年の保護者に低学年の実際と高学年時の希望を尋ねたところ、ともに「習い事」が最も多くなっている。次いで低学年の実際では「自宅」が53.2%、「区立の育成室(学童保育)」が35.8%となっており、高学年時の希望では「自宅」が56.4%、「放課後全児童向け事業(アクティなど)」が32.6%となっている。

小学校高学年の保護者においては、実際は「自宅」が81.1%と最も多く、次いで「習い事」が79.5%となっている。希望は「習い事」が72.4%、「自宅」が68.0%となっている。

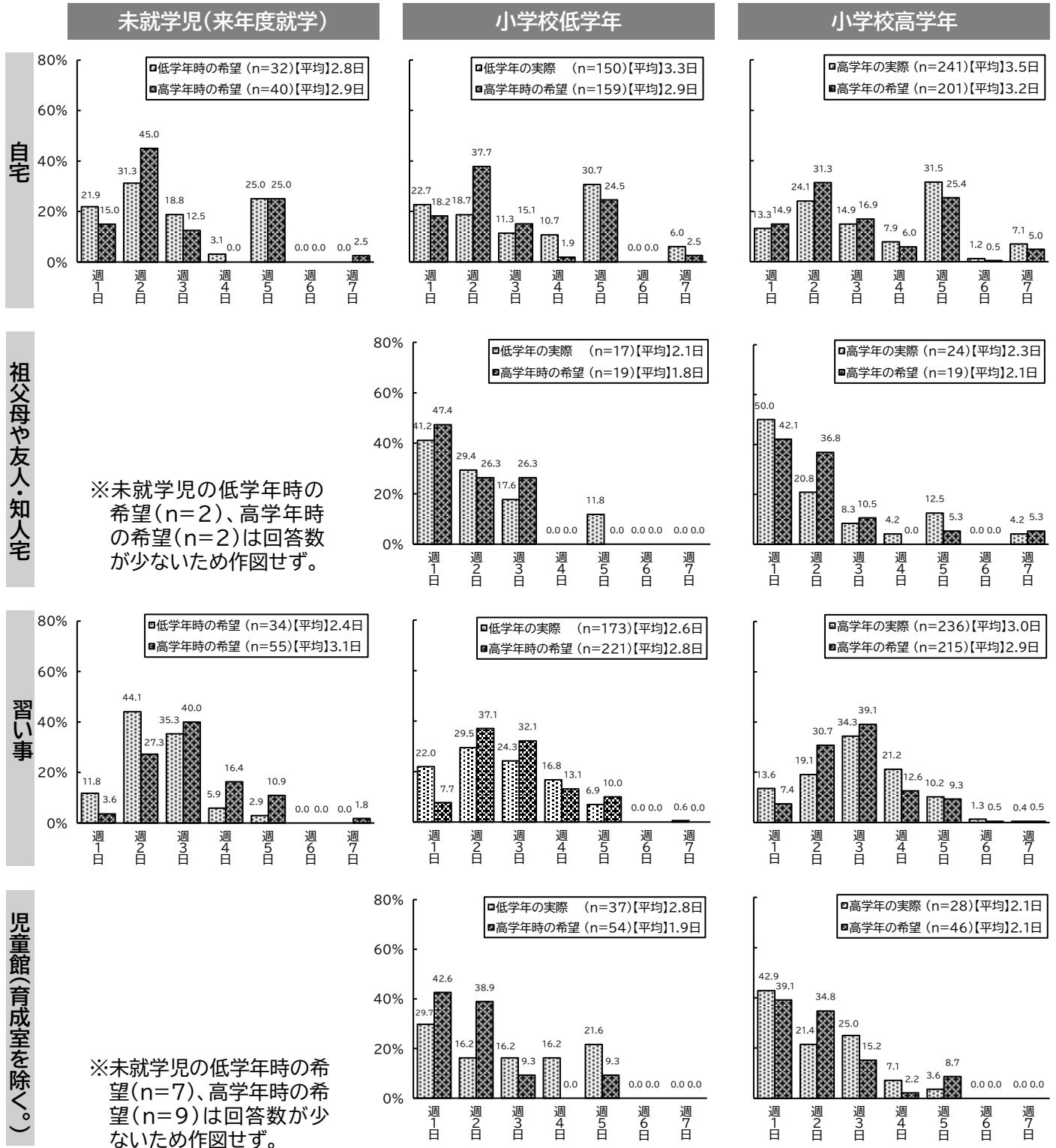


(2) 小学校の放課後を過ごす 1 週間当たりの日数／希望日数

小学校の放課後を過ごす 1 週間当たりの日数、希望日数については、未就学児の低学年時の希望は、自宅が平均 2.8 日、習い事が 2.4 日、高学年時の希望は、自宅が平均 2.9 日、習い事が 3.1 日となっている。

小学校低学年の実際は、自宅が平均 3.3 日、習い事が 2.6 日、高学年時の希望は、自宅が平均 2.9 日、習い事が 2.8 日となっている。

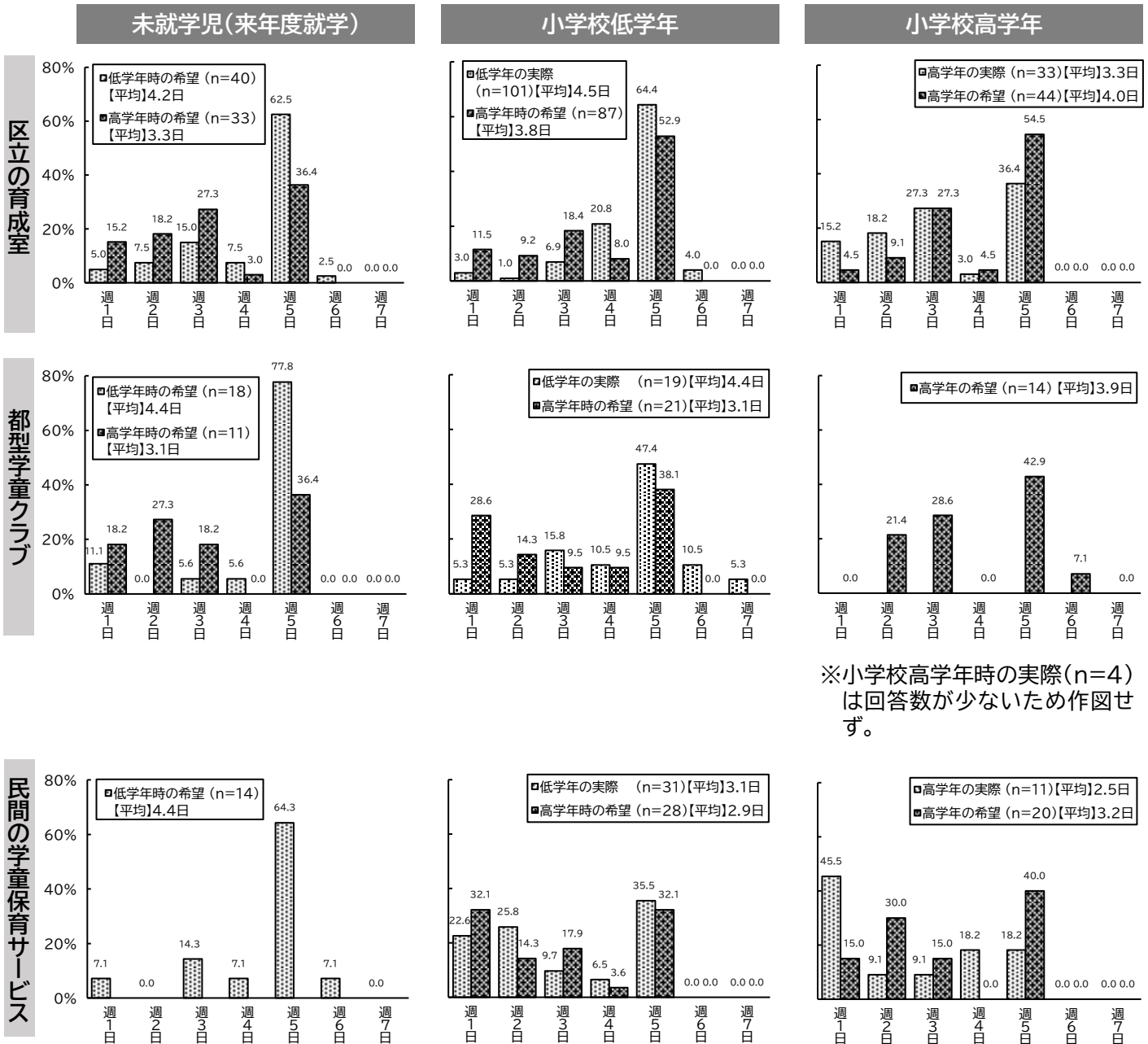
小学校高学年の実際は、自宅が平均 3.5 日、習い事が 3.0 日、高学年の希望は、自宅が 3.2 日、習い事が 2.9 日となっている。



区立の育成室(学童保育)については、未就学児の低学年時の希望は「週5日」が 62.5%であるのに対し、高学年時の希望では「週5日」は 36.4%に減少し、「週3日」が 27.3%となっている。平均日数は、低学年時では 4.2 日、高学年時では 3.3 日となっている。

小学校低学年の実際は、「週5日」が 64.4%であるのに対し、高学年時の希望は「週5日」は 52.9%に減少し、「週3日」が 18.4%となっている。平均日数は、低学年の実際が 4.5 日、高学年時の希望は 3.8 日となっている。

小学校高学年の実際は、「週5日」が 36.4%であるのに対し、高学年の希望は、「週5日」が 54.5%に増加し、「週3日」が 27.3%となっている。平均日数は、高学年の実際が 3.3 日、高学年の希望は 4.0 日となっている。

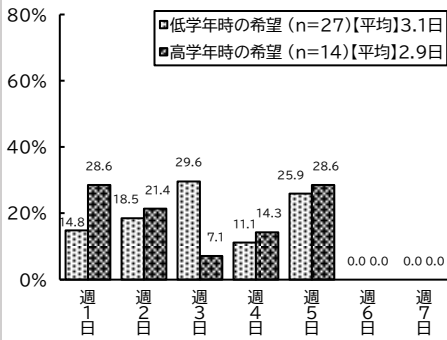


※小学校高学年時の実際(n=4)は回答数が少ないため作図せず。

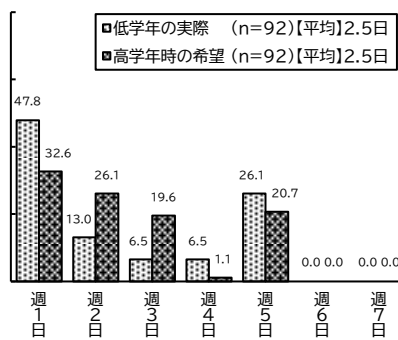
※未就学児の高学年時の希望(n=6)は回答数が少ないため作図せず。

未就学児(来年度就学)

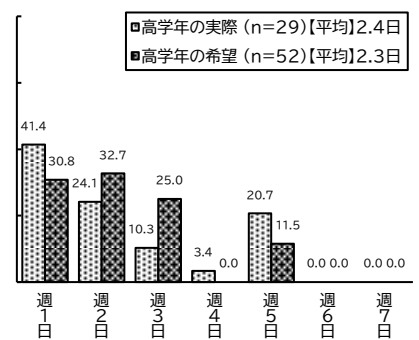
放課後全児童向け事業



小学校低学年



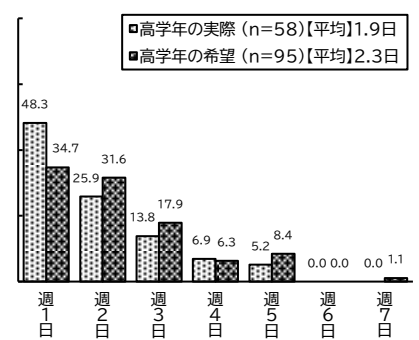
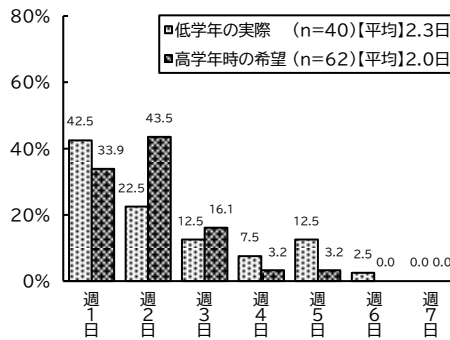
小学校高学年



※放課後全児童向け事業：放課後及び休校日に小学校の施設の一部において、地域の大人等の見守りのもと、児童が遊びや自主学習等を自由に行うことができる活動の場を提供する事業(アクティなど)

その他

※未就学児の低学年時の希望 (n=7)、高学年時の希望 (n=7)は回答数が少ないため作図せず。



※ファミリー・サポート・センターは回答数が少ないため作図せず。

未就学児における小学校低学年時の希望(n=0)、未就学児における小学校高学年時の希望(n=0)、小学校低学年の実際(n=0)、小学校低学年における高学年時の希望(n=2)、小学校高学年の実際(n=0)、小学校高学年における高学年の希望(n=0)

※療育機関は回答数が少ないため作図せず。

未就学児における小学校低学年時の希望(n=5)、未就学児における小学校高学年時の希望(n=4)、小学校低学年の実際(n=10)、小学校低学年における高学年時の希望(n=6)、小学校高学年の実際(n=9)、小学校高学年における高学年の希望(n=9)

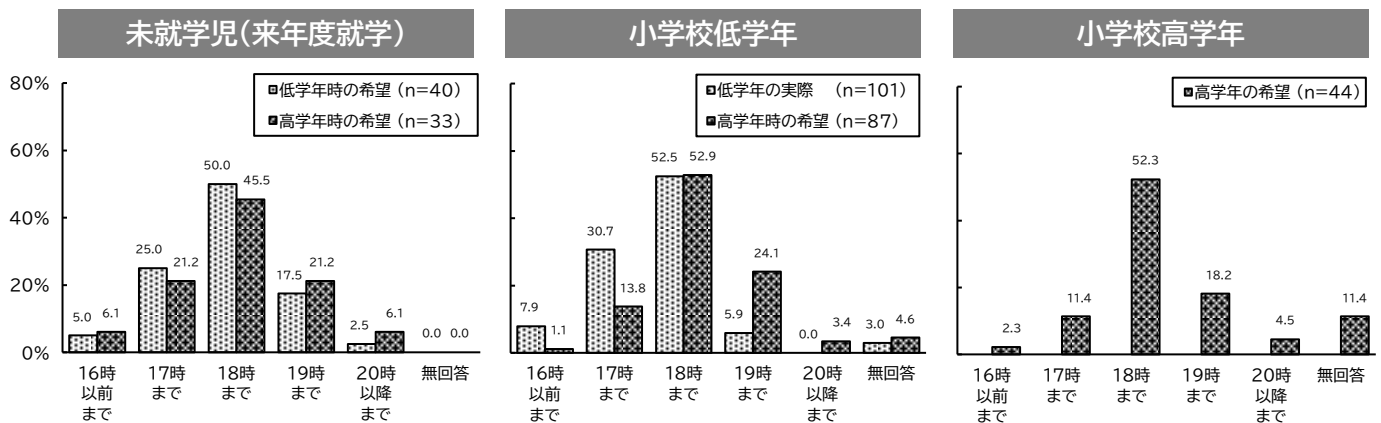
(3) 育成室の利用時間／希望利用時間

〔未就学児：問 25、問 26〕〔小学生：問 26、問 27〕

育成室の利用時間、利用希望時間(下校時からの終了時間)については、未就学児の低学年時の希望は、「18 時まで」が 50.0%、「17 時まで」が 25.0%、高学年時の希望は、「18 時まで」が 45.5%、「17 時まで」「19 時まで」が 21.2%となっている。

小学校低学年の実際は、「18 時まで」が 52.5%、「17 時まで」が 30.7%であるが、希望では「17 時まで」が実際より半数以上減少し、「19 時まで」が 24.1%と、1～2時間遅い時間まで希望する傾向となっている。

小学校高学年の希望は、低学年の希望と同様の傾向にあり、「18 時まで」が 52.3%で最も多く、次いで「19 時まで」が 18.2%となっている。



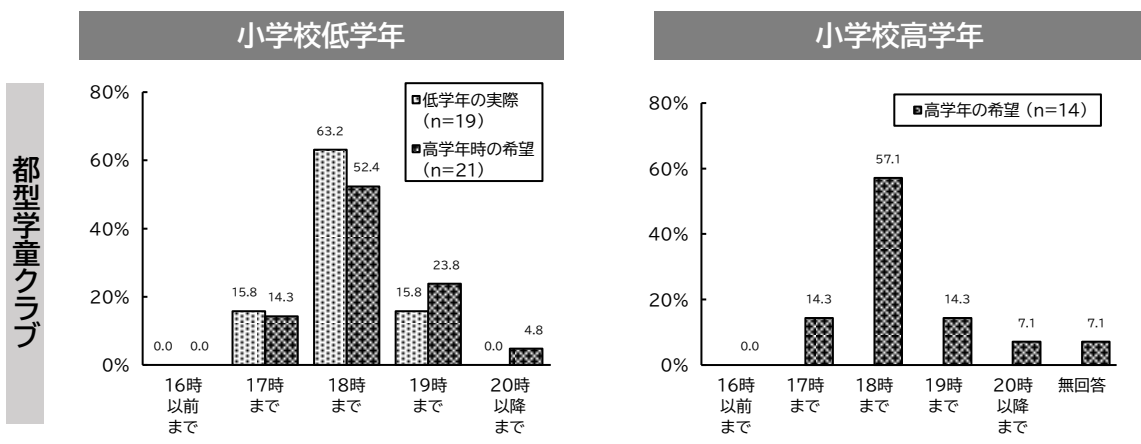
※小学校高学年の実際(n=7)は回答数が少ないため作図せず。

(4)都型学童クラブ・民間の学童保育サービスの利用時間／希望利用時間

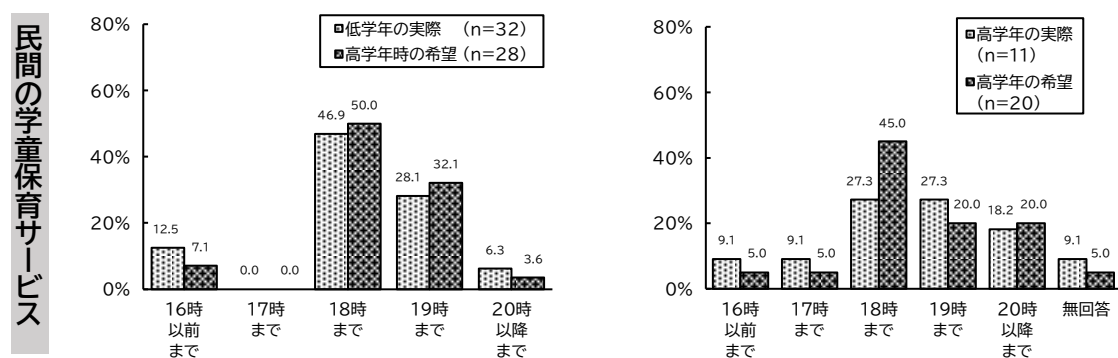
〔小学生：問26、問27〕

都型学童クラブの利用時間、利用希望時間(下校時からの終了時間)については、小学校低学年において、実際は「18時まで」が63.2%、「19時まで」が15.8%、高学年時の希望は、「18時まで」が52.4%、「19時まで」が23.8%となっている。

民間の学童保育サービスの利用時間、利用希望時間(下校時からの終了時間)については、小学校低学年において、実際は「18時まで」が46.9%、「19時まで」が28.1%、高学年時の希望は、「18時まで」が50.0%、「19時まで」が32.1%となっている。小学校高学年においては、実際は「18時まで」と「19時まで」が27.3%、希望は「18時まで」が45.0%となっている。



※高学年の実際(n=4)は回答数が少ないため作図せず。

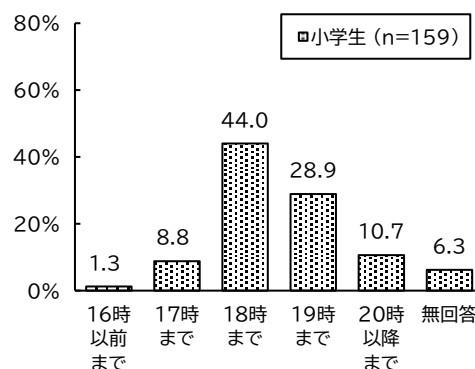


(5)【区立の育成室、都型学童クラブ、民間の学童保育サービスを利用している回答者】

育成室や都型学童クラブ、民間の学童保育サービスの今後の希望利用時間

〔小学生：問26-1〕

育成室や都型学童クラブ、民間の学童保育サービスのいずれかを利用している方に今後の希望利用時間(下校時からの終了時間)を尋ねたところ、「18時まで」が44.0%と最も多く、次いで「19時まで」が28.9%、「20時以降まで」が10.7%となっている。

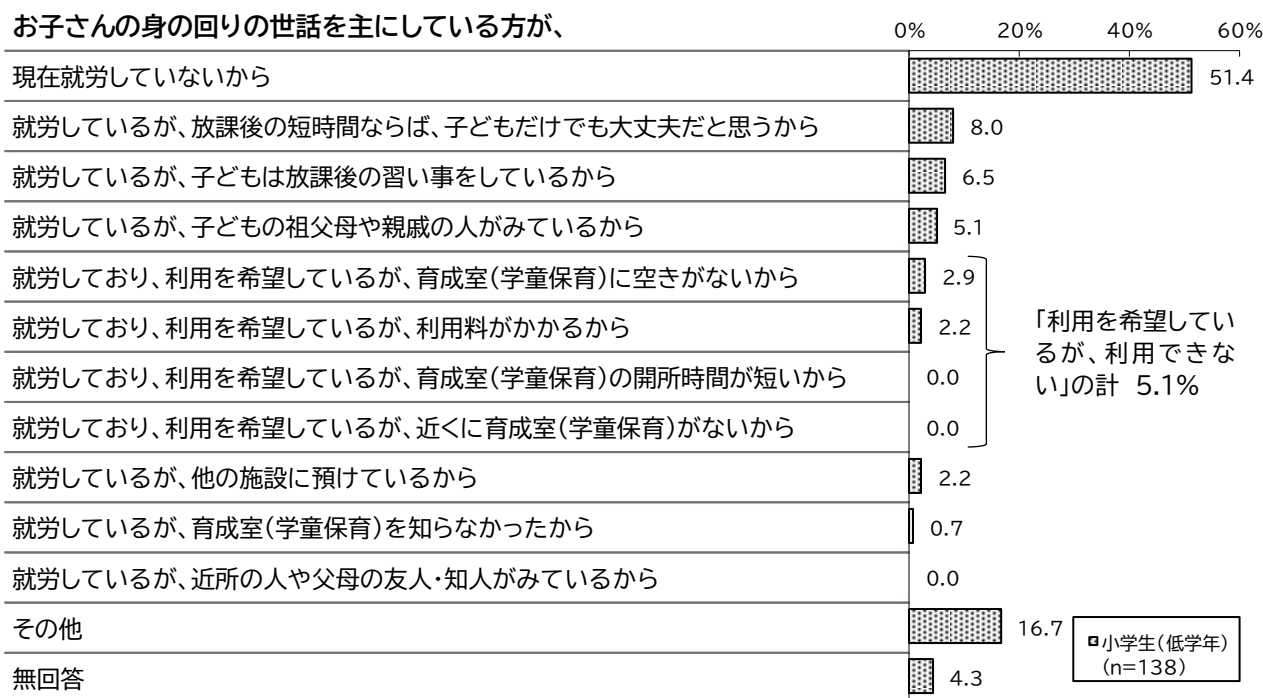


(6)【小学校低学年－育成室や都型学童クラブ等の利用を希望しない人】

育成室や都型学童クラブ等を利用しない理由(単数回答)

〔小学生：問 26-2〕

育成室や都型学童クラブ等を利用していない小学生低学年の保護者に、その理由を尋ねたところ、お子さんの身の回りの世話を主にしている方が「現在就労していないから」が 51.4%と半数を超え最も多くなっている。「就労しており、利用を希望しているが、育成室(学童保育)に空きがないから」「就労しており、利用を希望しているが、利用料がかかるから」「就労しており、利用を希望しているが、育成室(学童保育)の開所時間が短いから」「就労しており、利用を希望しているが、近くに育成室(学童保育)がないから」を合わせた「利用を希望しているが、利用できない」の計は 5.1%となっている。

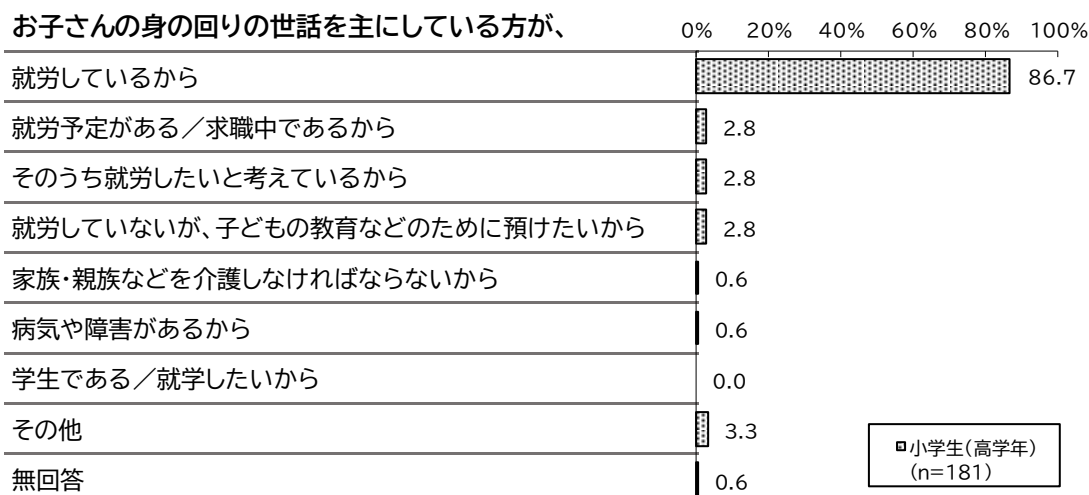


(7)【小学校高学年－育成室や都型学童クラブ等の利用希望者】

育成室や都型学童クラブ等を利用したい理由(単数回答)

〔小学生：問 27-1〕

小学生高学年のとき、育成室や都型学童クラブ等を利用したいと回答した方に、その理由を尋ねたところ、お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、「就労しているから」が 86.7%と大部分を占めている。



(8) 育成室(学童保育)の平日以外の利用希望

〔未就学児：問 27 (1) (2)、問 28〕

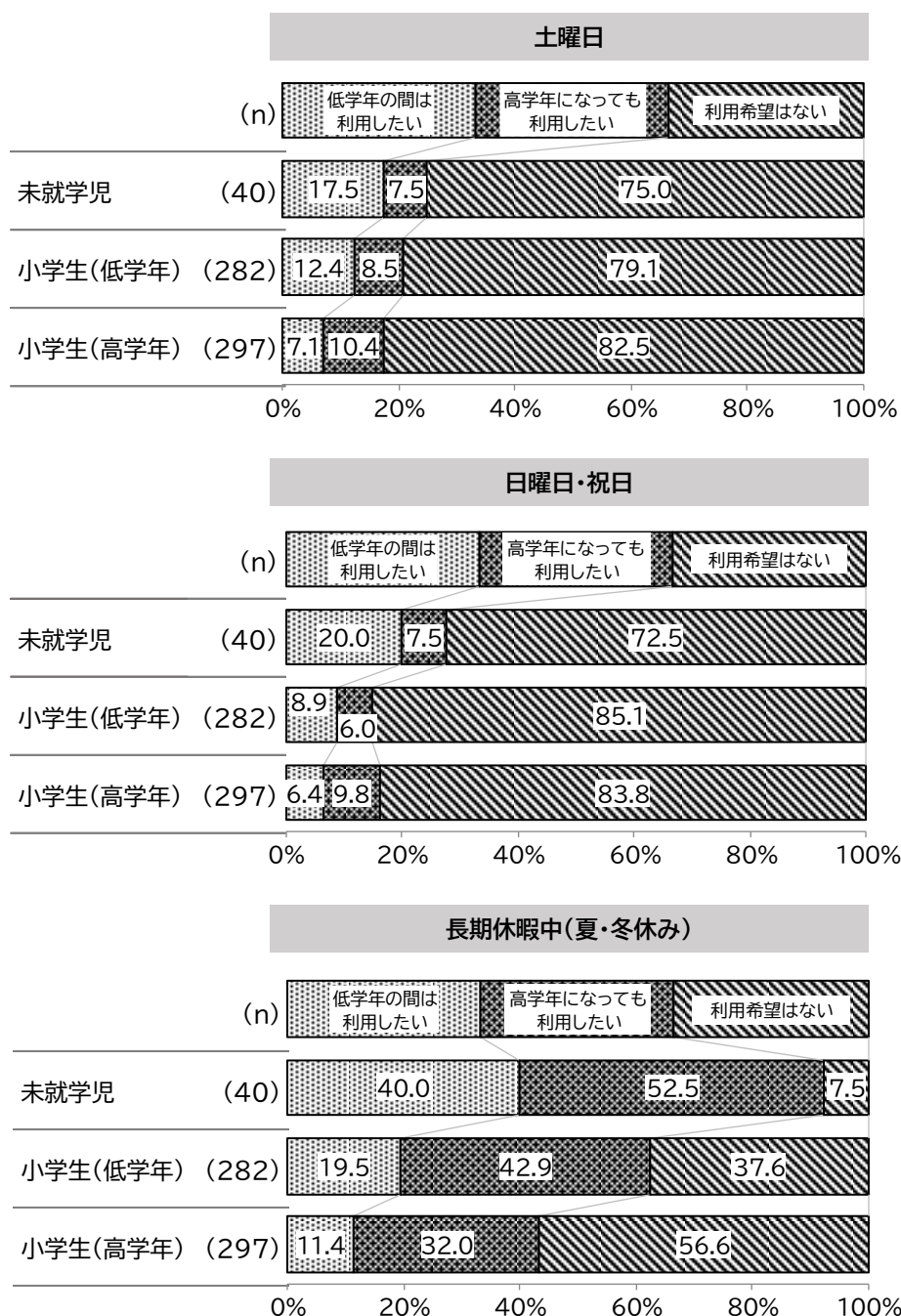
〔小学生：問 27-2 (1) (2)、問 27-3〕

① 育成室(学童保育)の平日以外の利用希望

育成室(学童保育)の土曜日の利用希望は未就学児(来年度就学)の保護者では「低学年の間は利用したい」が 17.5%、「高学年になっても利用したい」が 7.5%となっており、未就学児の保護者の「利用希望」の計は 25.0%となっている。また、小学生低学年の保護者の「利用希望」の計は 20.9%、小学生高学年の保護者の「利用希望」の計は 17.5%となっている。

日曜日・祝日の利用希望は各属性ともに土曜日と比べ少ない傾向にあり、「利用希望」の計は、未就学児の保護者は 27.5%、小学生低学年の保護者は 14.9%、高学年の保護者は 16.2%となっている。

夏・冬休みの長期休暇期間中の利用希望は土曜日と比べて多く、「利用希望」の計は、未就学児の保護者は 92.5%、小学生低学年の保護者は 62.4%、高学年の保護者は 43.4%となっている。



※ここでは、未就学児の保護者に対しては、放課後を過ごさせたい場所で「区立の育成室(学童保育)」と回答した方に対して平日以外の利用希望を質問しているが、小学生の保護者には全員に質問している。

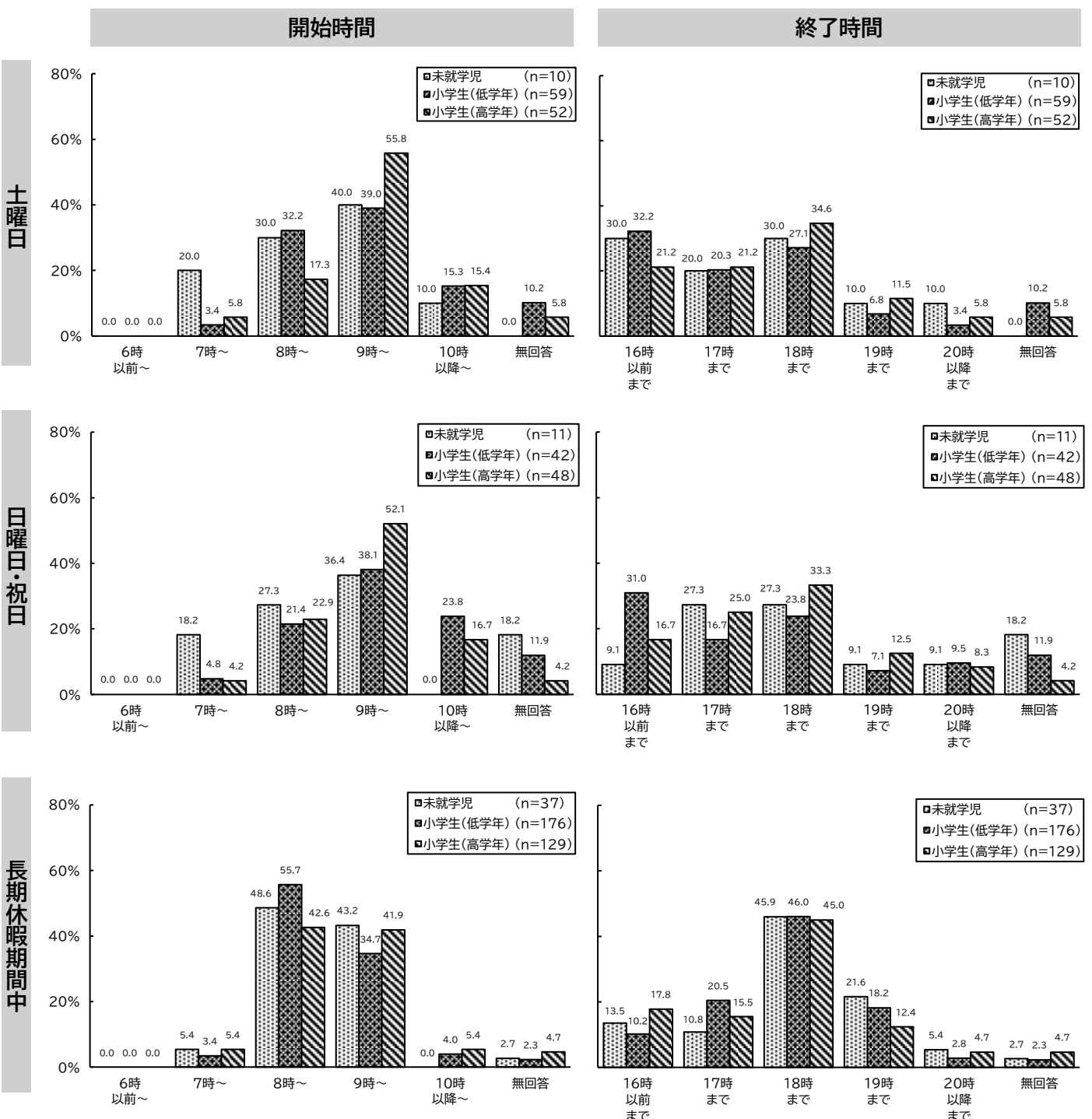
②【土、日・祝日／長期休暇中の利用希望者】

〔未就学児：問 27（1）（2）、問 28〕
〔小学生：問 27-2（1）（2）、問 27-3〕

育成室(学童保育)の平日以外の希望開始時間／希望終了時間

育成室(学童保育)の平日以外の希望開始時間は、土曜日では未就学児、小学生低学年、高学年の保護者ともに「9時～」が最も多くなっている。日曜日・祝日では、未就学児、小学生低学年、高学年の保護者ともに「9時～」が最も多くなっている。長期休暇期間中では未就学児、小学生低学年、高学年の保護者ともに「8時～」が最も多くなっている。

希望終了時間は、土曜日では、未就学児の保護者は「16 時以前まで」と「18 時まで」が最も多く、小学生低学年は「16 時以前まで」が、小学生高学年は「18 時まで」が最も多くなっている。日曜日・祝日では、未就学児の保護者は「17 時まで」と「18 時まで」が最も多く、小学生低学年は「16 時以前まで」が、小学生高学年は「18 時まで」が最も多くなっている。長期休暇期間中では、「18 時まで」がいずれの年齢においても最も多くなっている。

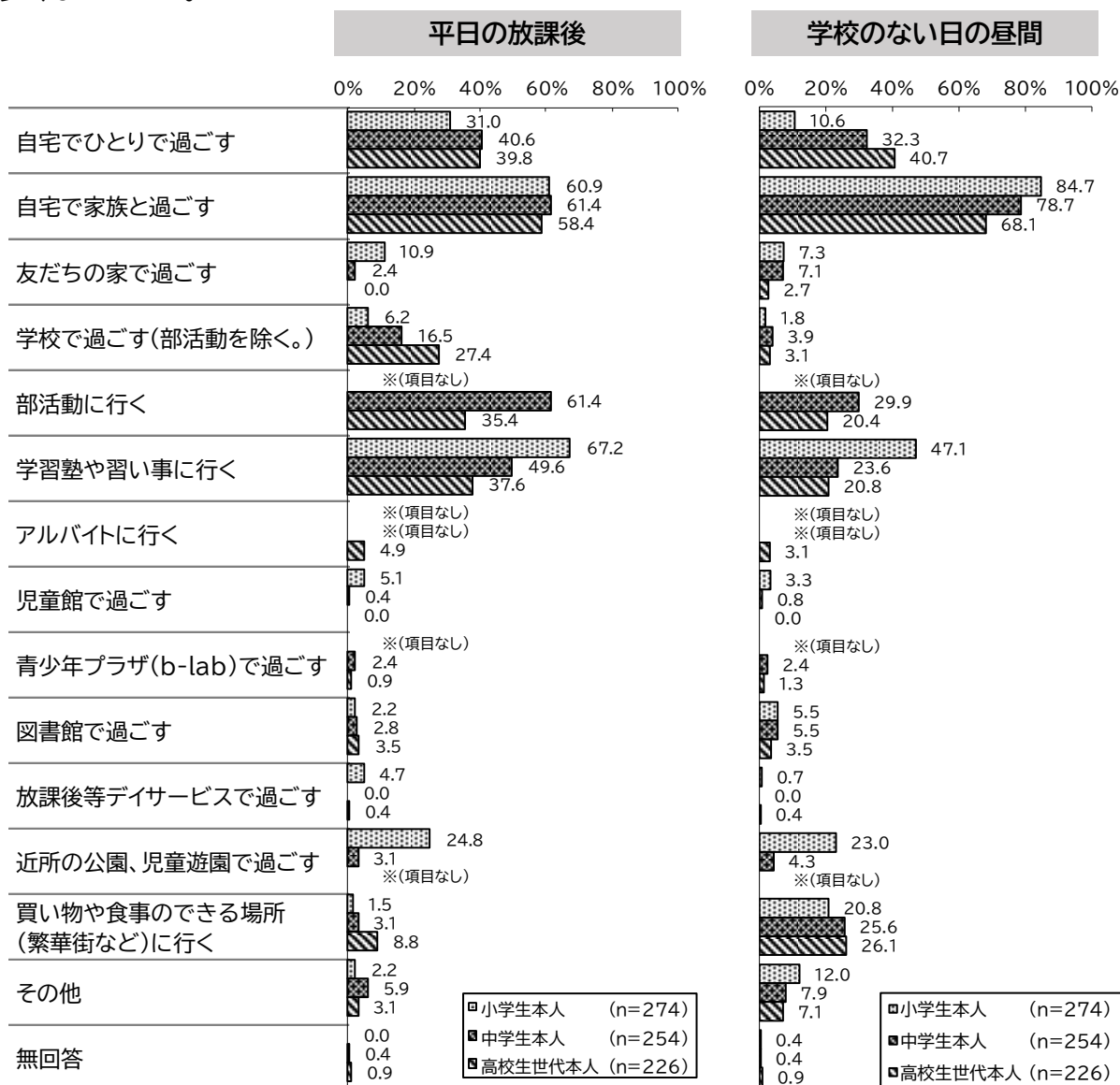


(9) 普段過ごす場所(複数回答)

[小学生本人：問9] [中学生本人：問9] [高校生世代本人：問8]

小学生本人、中学生本人及び高校生世代本人に、普段過ごす場所を尋ねたところ、平日の放課後は、小学生本人では「学習塾や習い事に行く」が67.2%、中学生本人では「自宅で家族と過ごす」と「部活動に行く」が61.4%、高校生世代本人では「自宅で家族と過ごす」が58.4%と最も多くなっている。次いで小学生本人では「自宅で家族と過ごす」が60.9%、中学生本人では「学習塾や習い事に行く」が49.6%、高校生世代本人では「自宅でひとりで過ごす」が39.8%となっている。

学校のない日の昼間は、小学生本人、中学生本人及び高校生世代本人ともに「自宅で家族と過ごす」が最も多くなっている。



《 【小学生本人】放課後を過ごす場所－地区別 《

小学生本人の地区別でみると、回答数が 10 件以上ある地区の平日の放課後では、「自宅でひとりで過ごす」は千石地区、大塚地区が3割を超えている。

一方、回答数が 10 件以上ある地区の学校のない日の昼間では、「自宅で家族と過ごす」は白山地区、小日向地区、大塚地区、本郷地区、向丘地区、千駄木地区、本駒込地区が8割を超えている。

平日の放課後

(%)

	小学生 本人 計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(274)	(1)	(9)	(24)	(35)	(26)	(3)	(14)	(35)	(5)
自宅でひとりで過ごす	31.0	0.0	22.2	29.2	28.6	38.5	33.3	28.6	34.3	40.0
自宅で家族と過ごす	60.9	0.0	77.8	62.5	74.3	65.4	33.3	57.1	57.1	40.0
友だちの家で過ごす	10.9	0.0	11.1	0.0	14.3	7.7	0.0	14.3	20.0	0.0
学校で過ごす	6.2	0.0	0.0	4.2	5.7	7.7	0.0	14.3	5.7	0.0
学習塾や 習い事に行く	67.2	100.0	77.8	75.0	60.0	65.4	100.0	71.4	60.0	60.0
児童館で過ごす	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	0.0	14.3	2.9	0.0
図書館で過ごす	2.2	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービスで過ごす	4.7	0.0	0.0	12.5	8.6	3.8	0.0	0.0	8.6	20.0
近所の公園、児童遊園で過ごす	24.8	0.0	44.4	25.0	14.3	26.9	33.3	28.6	34.3	0.0
買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	1.5	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
その他	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	2.9	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(4)	(3)	(14)	(0)	(5)	(10)	(1)	(6)	(34)	(44)
自宅でひとりで過ごす	50.0	66.7	28.6	0.0	40.0	20.0	0.0	50.0	26.5	29.5
自宅で家族と過ごす	50.0	0.0	57.1	0.0	60.0	70.0	0.0	16.7	52.9	70.5
友だちの家で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	16.7	17.6	9.1
学校で過ごす	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	5.9	6.8
学習塾や 習い事に行く	100.0	33.3	78.6	0.0	40.0	60.0	100.0	50.0	61.8	75.0
児童館で過ごす	0.0	0.0	7.1	0.0	20.0	10.0	100.0	33.3	5.9	0.0
図書館で過ごす	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	2.3
放課後等デイサービスで過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	2.3
近所の公園、児童遊園で過ごす	50.0	0.0	14.3	0.0	40.0	40.0	0.0	16.7	26.5	20.5
買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	4.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

学校のない日の昼間

(%)

	小学生 本人 計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(274)	(1)	(9)	(24)	(35)	(26)	(3)	(14)	(35)	(5)
自宅でひとりで過ごす	10.6	0.0	22.2	8.3	8.6	11.5	0.0	0.0	11.4	20.0
自宅で家族と過ごす	84.7	100.0	88.9	70.8	88.6	92.3	100.0	100.0	80.0	80.0
友だちの家で過ごす	7.3	0.0	0.0	0.0	8.6	0.0	0.0	14.3	8.6	20.0
学校で過ごす	1.8	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
学習塾や 習い事に行く	47.1	100.0	66.7	50.0	45.7	38.5	100.0	50.0	34.3	40.0
児童館で過ごす	3.3	0.0	0.0	0.0	2.9	11.5	0.0	7.1	0.0	0.0
図書館で過ごす	5.5	0.0	0.0	12.5	2.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービスで過ごす	0.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所の公園、児童遊園で過ごす	23.0	0.0	44.4	37.5	11.4	26.9	0.0	42.9	25.7	0.0
買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	20.8	100.0	0.0	8.3	20.0	23.1	0.0	14.3	25.7	0.0
その他	12.0	0.0	11.1	12.5	17.1	11.5	0.0	0.0	14.3	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

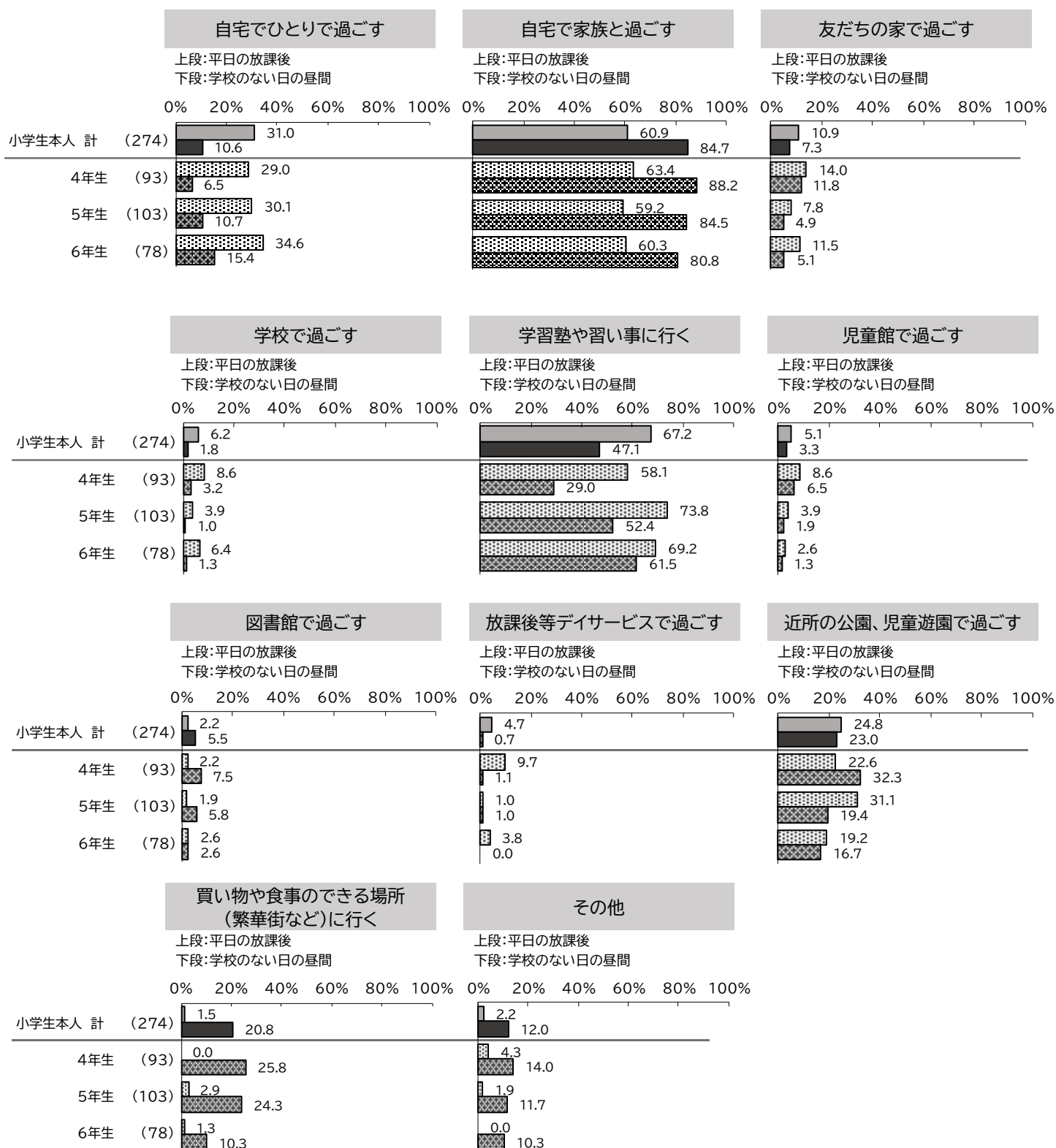
	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(4)	(3)	(14)	(0)	(5)	(10)	(1)	(6)	(34)	(44)
自宅でひとりで過ごす	25.0	0.0	14.3	0.0	20.0	20.0	0.0	16.7	11.8	6.8
自宅で家族と過ごす	75.0	33.3	85.7	0.0	100.0	80.0	100.0	66.7	82.4	88.6
友だちの家で過ごす	25.0	33.3	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	11.8	6.8
学校で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	5.9	0.0
学習塾や 習い事に行く	50.0	33.3	57.1	0.0	20.0	40.0	0.0	66.7	44.1	54.5
児童館で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	16.7	2.9	2.3
図書館で過ごす	0.0	0.0	14.3	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	14.7	2.3
放課後等デイサービスで過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所の公園、児童遊園で過ごす	75.0	33.3	0.0	0.0	0.0	20.0	100.0	0.0	20.6	22.7
買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	25.0	33.3	42.9	0.0	0.0	20.0	0.0	16.7	14.7	29.5
その他	0.0	0.0	14.3	0.0	20.0	10.0	0.0	16.7	14.7	11.4
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《 【小学生本人】放課後を過ごす場所－学年別 《

小学生本人の学年別でみると、平日の放課後及び学校のない日の昼間ともに「自宅で一人で過ごす」が高学年になるほど高い傾向にある。

「自宅で家族と過ごす」は平日の放課後では4年生、6年生が6割以上となっている一方、学校のない日の昼間では4年生が8割後半となり、高学年になるほど低い傾向がある。

「学習塾や習い事に行く」は平日の放課後では5年生が7割を超えており、学校のない日の昼間では6年生が6割を超えている。



《 【中学生本人】放課後を過ごす場所－地区別 《

中学生本人の地区別で見ると、回答数が 10 件以上ある地区の平日の放課後では、「自宅でひとりで過ごす」は、大塚地区、千駄木地区が5割を超えている。

一方、回答数が 10 件以上ある地区の学校のない日の昼間では、「自宅で家族と過ごす」は白山地区、水道地区、本郷地区、千駄木地区、本駒込地区が8割を超えている。

平日の放課後

(%)

	中学生 本人 計 (n)	後楽 (0)	春日 (8)	小石川 (33)	白山 (20)	千石 (30)	水道 (12)	小日向 (15)	大塚 (17)	関口 (7)
自宅でひとりで過ごす	40.6	0.0	37.5	42.4	35.0	40.0	25.0	46.7	52.9	42.9
自宅で家族と過ごす	61.4	0.0	62.5	48.5	60.0	60.0	83.3	53.3	58.8	57.1
友だちの家で過ごす	2.4	0.0	12.5	0.0	5.0	3.3	0.0	6.7	0.0	14.3
学校で過ごす (部活動を除く。)	16.5	0.0	12.5	21.2	20.0	16.7	25.0	0.0	23.5	0.0
部活動に行く	61.4	0.0	75.0	72.7	60.0	53.3	66.7	46.7	52.9	57.1
学習塾や習い事に行く	49.6	0.0	50.0	51.5	70.0	43.3	66.7	60.0	23.5	57.1
児童館で過ごす	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
青少年プラザ (b-lab) で過ごす	2.4	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
図書館で過ごす	2.8	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	6.7	5.9	0.0
放課後等デイサービスで過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所の公園、児童遊園で過ごす	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	6.7	5.9	0.0
買い物や食事のできる場所 (繁華街など) に行く	3.1	0.0	12.5	3.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	14.3
その他	5.9	0.0	0.0	6.1	5.0	10.0	0.0	6.7	5.9	28.6
無回答	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0

	目白台 (7)	音羽 (4)	本郷 (21)	湯島 (5)	西片 (8)	向丘 (7)	弥生 (3)	根津 (6)	千駄木 (20)	本駒込 (31)
自宅でひとりで過ごす	14.3	50.0	28.6	0.0	50.0	42.9	33.3	33.3	55.0	48.4
自宅で家族と過ごす	85.7	25.0	71.4	80.0	62.5	57.1	33.3	66.7	50.0	74.2
友だちの家で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
学校で過ごす (部活動を除く。)	0.0	50.0	4.8	20.0	25.0	42.9	0.0	0.0	20.0	16.1
部活動に行く	42.9	75.0	71.4	80.0	62.5	57.1	66.7	33.3	60.0	64.5
学習塾や習い事に行く	42.9	25.0	47.6	40.0	62.5	57.1	66.7	83.3	50.0	35.5
児童館で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
青少年プラザ (b-lab) で過ごす	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
図書館で過ごす	0.0	25.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
放課後等デイサービスで過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所の公園、児童遊園で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.1
買い物や食事のできる場所 (繁華街など) に行く	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	5.0	3.2
その他	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	5.0	3.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

学校のない日の昼間

(%)

	中学生 本人 計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(254)	(0)	(8)	(33)	(20)	(30)	(12)	(15)	(17)	(7)
自宅ひとり過ごす	32.3	0.0	25.0	30.3	30.0	33.3	16.7	40.0	23.5	42.9
自宅で家族と過ごす	78.7	0.0	75.0	78.8	80.0	73.3	91.7	73.3	76.5	85.7
友だちの家で過ごす	7.1	0.0	25.0	0.0	10.0	3.3	8.3	6.7	11.8	0.0
学校で過ごす(部活動を除く。)	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	8.3	0.0	5.9	0.0
部活動に行く	29.9	0.0	50.0	39.4	20.0	36.7	58.3	40.0	17.6	42.9
学習塾や習い事に行く	23.6	0.0	12.5	24.2	15.0	23.3	41.7	26.7	29.4	14.3
児童館で過ごす	0.8	0.0	0.0	3.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
青少年プラザ(b-lab)で過ごす	2.4	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
図書館で過ごす	5.5	0.0	0.0	6.1	10.0	3.3	8.3	6.7	11.8	0.0
放課後等デイサービスで過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所の公園、児童遊園で過ごす	4.3	0.0	0.0	3.0	0.0	6.7	0.0	0.0	5.9	0.0
買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	25.6	0.0	25.0	33.3	35.0	20.0	33.3	13.3	23.5	42.9
その他	7.9	0.0	0.0	6.1	10.0	6.7	0.0	26.7	11.8	0.0
無回答	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0

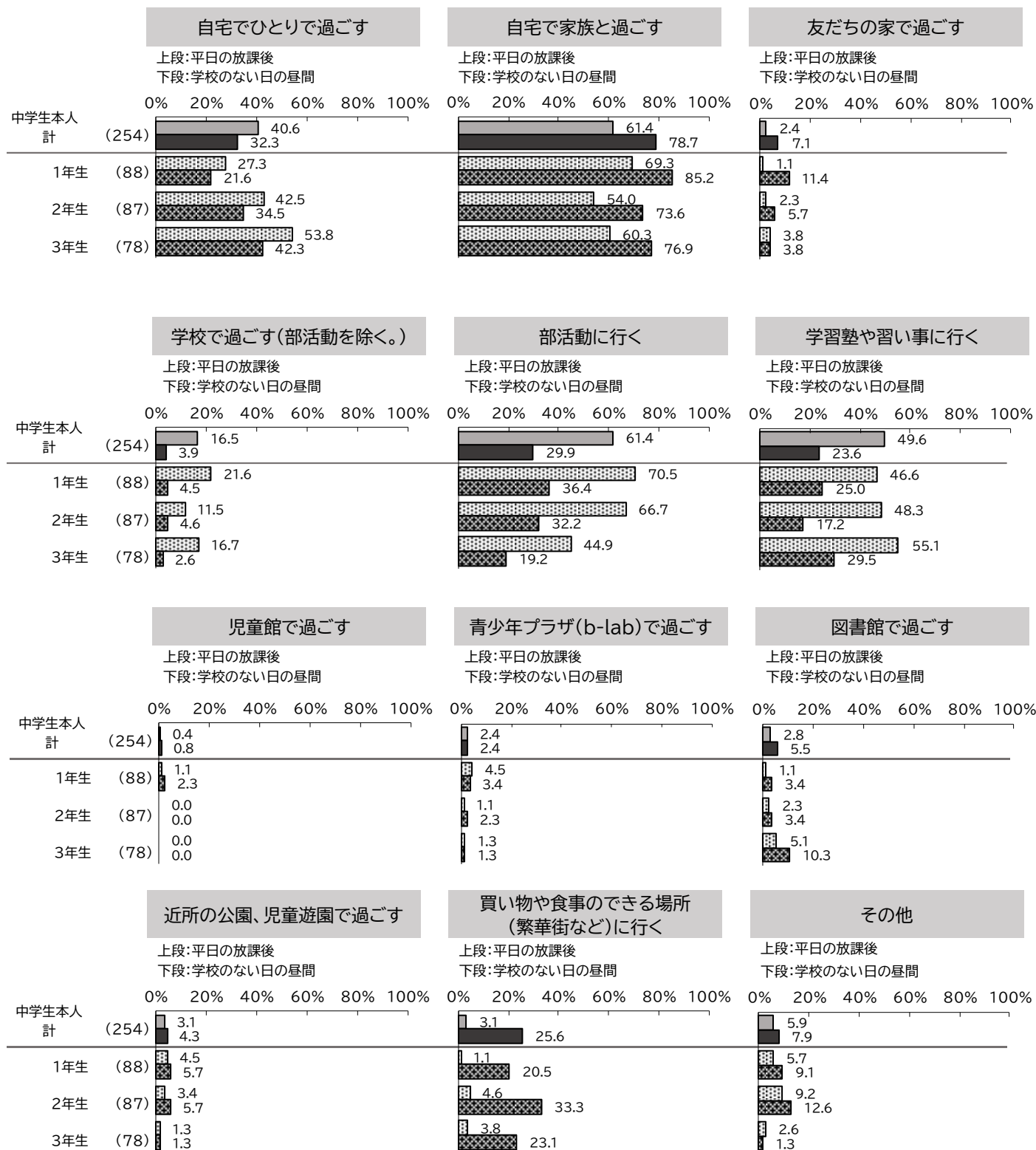
	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(7)	(4)	(21)	(5)	(8)	(7)	(3)	(6)	(20)	(31)
自宅ひとり過ごす	42.9	25.0	23.8	0.0	25.0	57.1	66.7	0.0	50.0	38.7
自宅で家族と過ごす	57.1	50.0	81.0	100.0	100.0	85.7	33.3	83.3	80.0	80.6
友だちの家で過ごす	0.0	0.0	19.0	0.0	12.5	0.0	0.0	16.7	5.0	6.5
学校で過ごす(部活動を除く。)	0.0	25.0	4.8	0.0	12.5	14.3	0.0	16.7	5.0	0.0
部活動に行く	28.6	50.0	23.8	20.0	12.5	14.3	33.3	16.7	25.0	19.4
学習塾や習い事に行く	14.3	25.0	19.0	0.0	12.5	42.9	33.3	50.0	30.0	19.4
児童館で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
青少年プラザ(b-lab)で過ごす	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
図書館で過ごす	0.0	25.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	3.2
放課後等デイサービスで過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所の公園、児童遊園で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	16.7	0.0	16.1
買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	14.3	0.0	19.0	40.0	50.0	28.6	0.0	16.7	20.0	25.8
その他	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	15.0	6.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《【中学生本人】放課後を過ごす場所－学年別》

中学生本人の学年別でみると、平日の放課後及び学校のない日の昼間ともに「自宅で一人で過ごす」が高学年になるほど高い傾向にある。

「自宅で家族と過ごす」は平日の放課後及び学校のない日の昼間ともに1年生が最も多くなっている。

「部活動に行く」は平日の放課後及び学校のない日の昼間ともに学年が上がるにつれて減少していく傾向がうかがえる。



※「放課後デイサービスで過ごす」(n=0)は回答が無かったため作図せず。

《 【高校生世代本人】放課後を過ごす場所－地区別 《

高校生世代本人の地区別でみると、回答数が10件以上ある地区の平日の放課後では、「自宅で家族と過ごす」は、小石川地区、白山地区、千石地区、本駒込地区が6割を超えている。「自宅でひとりで過ごす」は小日向地区が5割となっている。

一方、回答数が10件以上ある地区の学校のない日の昼間では、「自宅で家族と過ごす」は白山地区、千石地区、大塚地区、本駒込地区が7割を超えている。

平日の放課後

(%)

	高校生 世代本人 計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(226)	(5)	(7)	(21)	(21)	(33)	(7)	(16)	(20)	(5)
自宅でひとりで過ごす	39.8	0.0	42.9	47.6	28.6	39.4	28.6	50.0	35.0	80.0
自宅で家族と過ごす	58.4	80.0	57.1	61.9	66.7	66.7	71.4	43.8	55.0	0.0
友だちの家で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校で過ごす(部活動を除く。)	27.4	40.0	14.3	19.0	23.8	27.3	14.3	31.3	30.0	60.0
部活動に行く	35.4	80.0	57.1	38.1	42.9	30.3	14.3	43.8	40.0	20.0
学習塾や習い事に行く	37.6	20.0	14.3	57.1	52.4	33.3	14.3	25.0	35.0	60.0
アルバイトに行く	4.9	0.0	0.0	4.8	0.0	6.1	28.6	6.3	5.0	0.0
児童館で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
青少年プラザ(b-lab)で過ごす	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
図書館で過ごす	3.5	0.0	0.0	0.0	4.8	3.0	0.0	12.5	5.0	0.0
放課後等デイサービスで過ごす	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	8.8	20.0	0.0	9.5	0.0	15.2	0.0	6.3	25.0	0.0
その他	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	6.3	10.0	0.0
無回答	0.9	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(9)	(3)	(1)	(0)	(8)	(7)	(1)	(6)	(24)	(30)
自宅でひとりで過ごす	55.6	33.3	100.0	0.0	25.0	42.9	100.0	50.0	41.7	36.7
自宅で家族と過ごす	44.4	66.7	100.0	0.0	62.5	57.1	0.0	50.0	50.0	66.7
友だちの家で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校で過ごす(部活動を除く。)	33.3	33.3	0.0	0.0	25.0	28.6	100.0	16.7	41.7	20.0
部活動に行く	22.2	0.0	0.0	0.0	62.5	42.9	0.0	33.3	33.3	26.7
学習塾や習い事に行く	55.6	0.0	0.0	0.0	50.0	42.9	0.0	16.7	33.3	43.3
アルバイトに行く	11.1	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
児童館で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
青少年プラザ(b-lab)で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
図書館で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	3.3
放課後等デイサービスで過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	0.0	33.3	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	4.2	6.7
その他	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

学校のない日の昼間

(%)

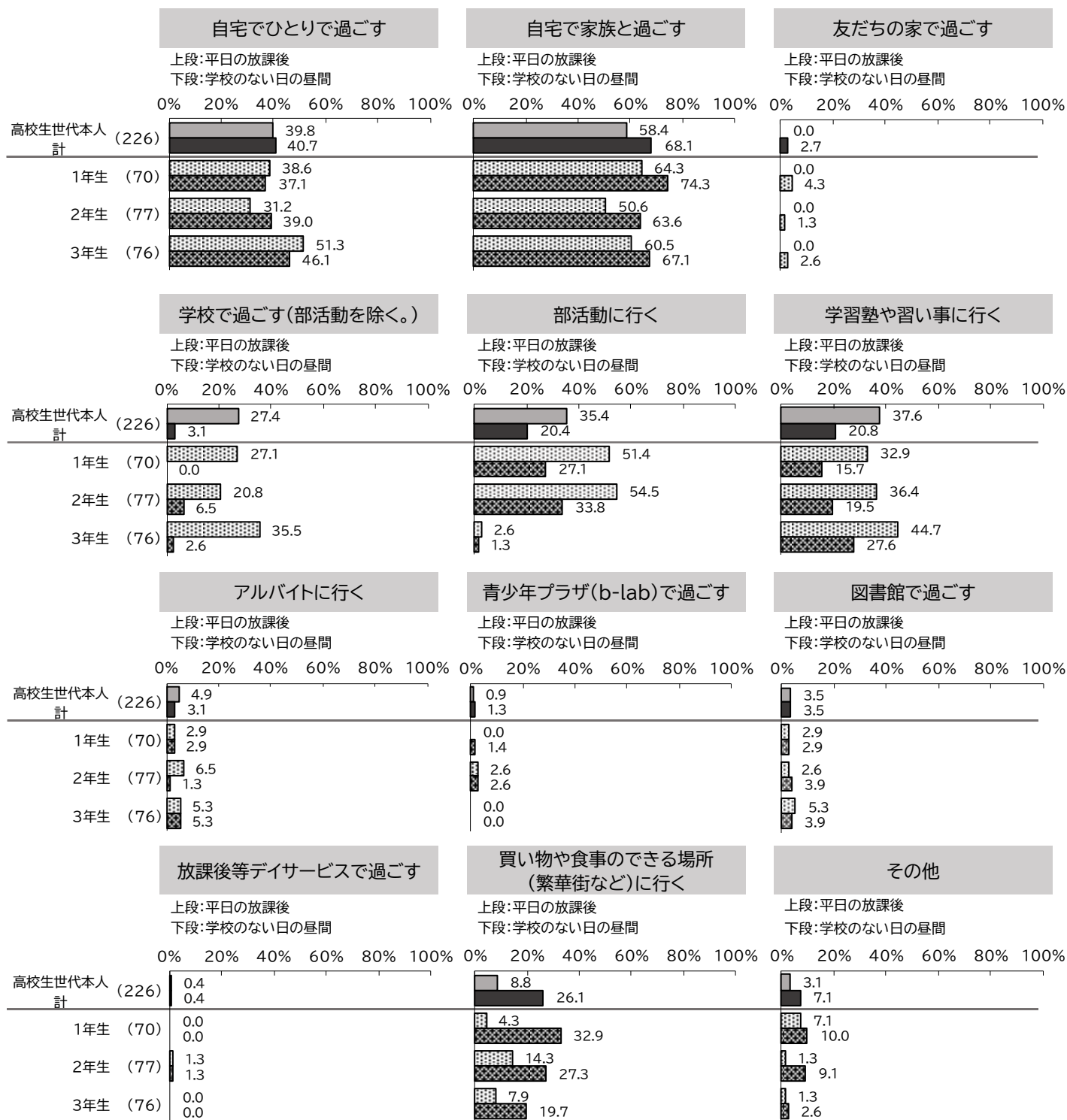
	高校生 世代本人 計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(226)	(5)	(7)	(21)	(21)	(33)	(7)	(16)	(20)	(5)
自宅でひとりで過ごす	40.7	60.0	42.9	57.1	28.6	27.3	57.1	62.5	30.0	40.0
自宅で家族と過ごす	68.1	80.0	57.1	57.1	71.4	84.8	57.1	62.5	75.0	60.0
友だちの家で過ごす	2.7	0.0	0.0	4.8	0.0	6.1	0.0	0.0	5.0	20.0
学校で過ごす(部活動を除く。)	3.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	5.0	0.0
部活動に行く	20.4	40.0	57.1	23.8	19.0	15.2	0.0	37.5	25.0	0.0
学習塾や習い事に行く	20.8	0.0	0.0	42.9	33.3	18.2	14.3	12.5	15.0	20.0
アルバイトに行く	3.1	0.0	0.0	9.5	4.8	3.0	0.0	6.3	0.0	0.0
児童館で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
青少年プラザ(b-lab)で過ごす	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
図書館で過ごす	3.5	0.0	0.0	0.0	4.8	3.0	0.0	12.5	0.0	20.0
放課後等デイサービスで過ごす	0.4	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	26.1	80.0	14.3	14.3	14.3	27.3	14.3	31.3	45.0	40.0
その他	7.1	0.0	0.0	4.8	0.0	9.1	0.0	6.3	15.0	0.0
無回答	0.9	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(9)	(3)	(1)	(0)	(8)	(7)	(1)	(6)	(24)	(30)
自宅でひとりで過ごす	22.2	33.3	100.0	0.0	25.0	28.6	100.0	50.0	50.0	43.3
自宅で家族と過ごす	55.6	66.7	100.0	0.0	87.5	71.4	0.0	66.7	50.0	73.3
友だちの家で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
学校で過ごす(部活動を除く。)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	8.3	3.3
部活動に行く	11.1	0.0	0.0	0.0	25.0	14.3	0.0	16.7	25.0	13.3
学習塾や習い事に行く	33.3	0.0	0.0	0.0	25.0	42.9	0.0	0.0	8.3	26.7
アルバイトに行く	11.1	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童館で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
青少年プラザ(b-lab)で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
図書館で過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	8.3	0.0
放課後等デイサービスで過ごす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	22.2	33.3	0.0	0.0	50.0	14.3	0.0	0.0	20.8	30.0
その他	22.2	33.3	0.0	0.0	12.5	14.3	0.0	16.7	8.3	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《【高校生世代本人】放課後を過ごす場所－学年別》

高校生世代本人の学年別でみると、平日の放課後では、「自宅でひとりで過ごす」は3年生が51.3%となっている。一方、「自宅で家族と過ごす」は1年生が64.3%となっている。

学校のない日の昼間では、「買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く」は1年生が32.9%と他の学年より高くなっている。



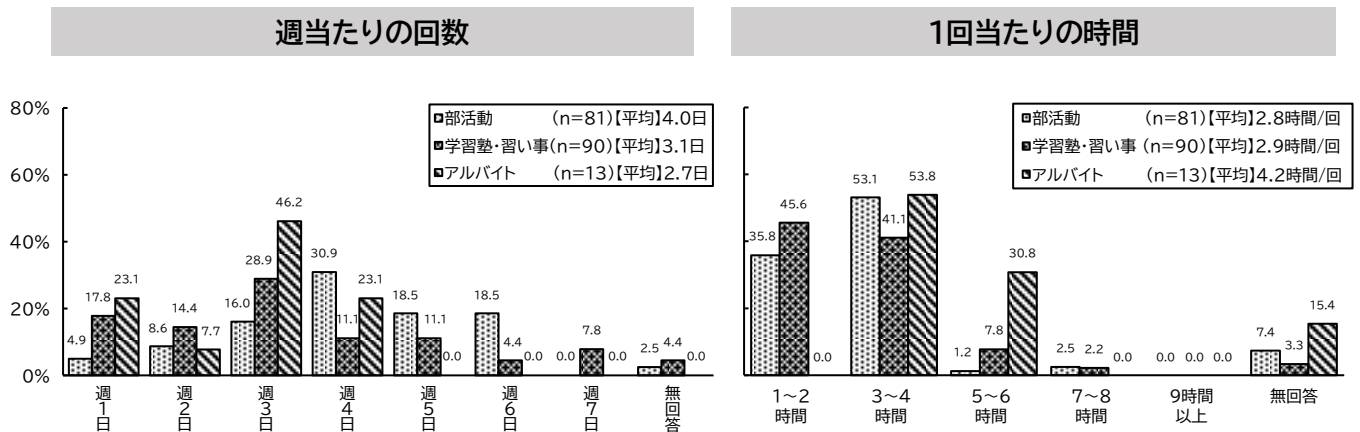
※児童館で過ごす(n=0)は回答数が少ないため作図せず。

(10) 普段過ごす場所の利用頻度

〔高校生世代本人：問 8-1〕

普段過ごす場所として、「部活動に行く」「学習塾や習い事に行く」「アルバイトに行く」と回答した高校生世代本人に、週当たりの回数を尋ねたところ、部活動では「週4日」が30.9%と最も多く、次いで「週5日」、「週6日」が18.5%となっている。学習塾や習い事では「週3日」が28.9%と最も多く、次いで「週1日」が17.8%となっている。アルバイトでは「週3日」が46.2%と最も多く、次いで「週1日」と「週4日」が23.1%となっている。

1回当たりの時間では、部活動が平均 2.8 時間、学習塾や習い事が平均 2.9 時間、アルバイトが平均 4.2 時間となっている。



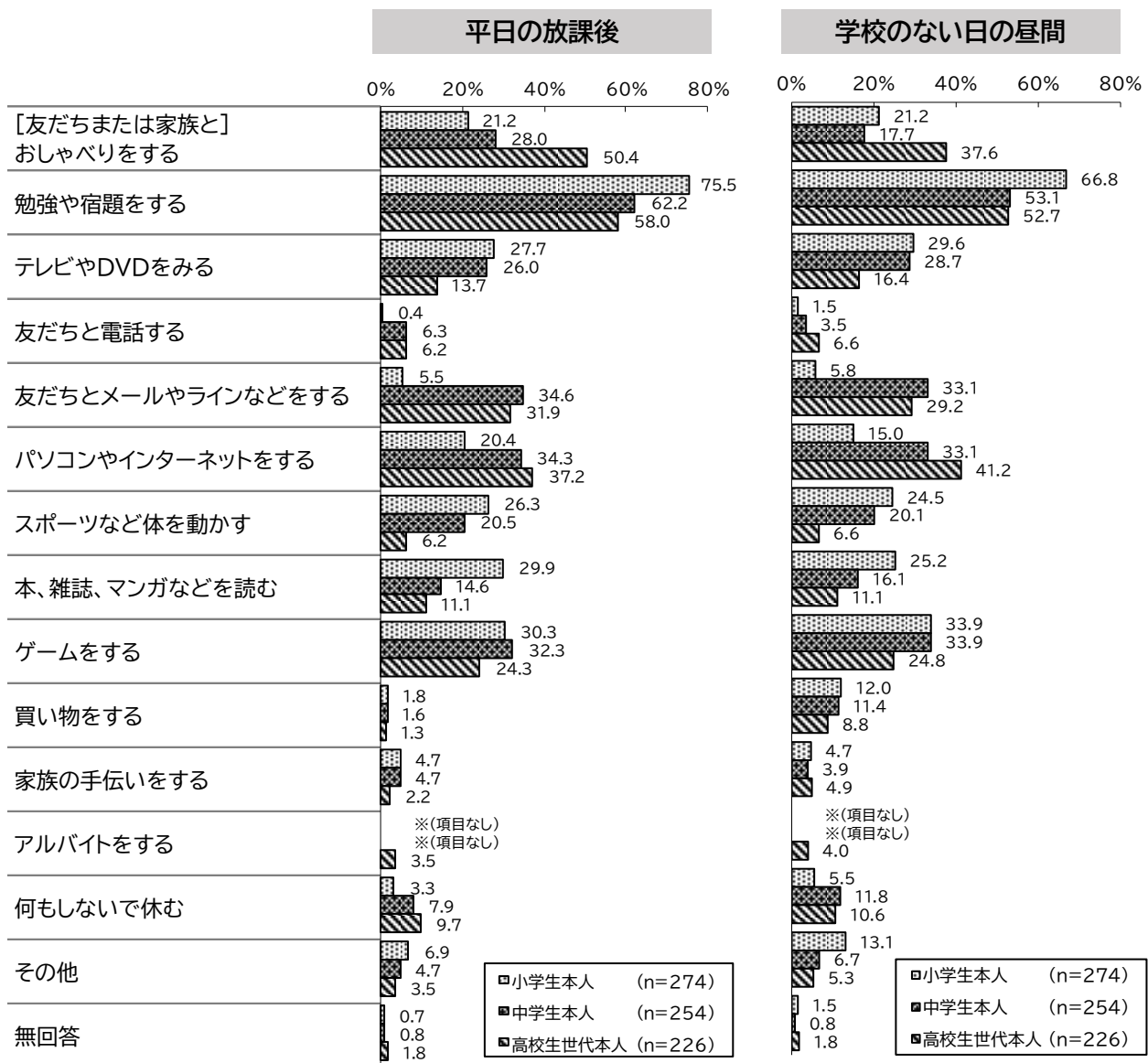
(11) 普段の過ごし方(複数回答)

〔小学生本人：問 10〕〔中学生本人：問 10〕〔高校生世代本人：問9〕

小学生本人、中学生本人及び高校生世代本人に、平日の放課後の過ごし方を尋ねたところ、小学生本人、中学生本人及び高校生世代本人ともに「勉強や宿題をする」が約6割から7割半ばで最も多くなっている。次いで、小学生本人では「ゲームをする」が 30.3%、中学生本人では「友だちとメールやラインなどをする」が 34.6%、高校生世代本人では「[友だちまたは家族と]おしゃべりをする」が 50.4%となっている。

学校のない日の昼間の過ごし方を尋ねたところ、小学生本人、中学生本人及び高校生世代本人ともに「勉強や宿題をする」が約5割から6割後半で最も多くなっている。次いで、小学生本人及び中学生本人では「ゲームをする」が33.9%、高校生世代本人では「パソコンやインターネットをする」が41.2%となっている。

小学生本人、中学生本人及び高校生世代本人で比較すると、「パソコンやインターネットをする」は年齢が高くなるほど多くなっている一方、「スポーツなど体を動かす」は年齢が高くなるほど低くなっており、体を動かす機会が減少する傾向がみられる。



※選択肢内[]は、高校生世代本人で表現が異なる。

《 【小学生本人】放課後の過ごし方－地区別 《

小学生本人の地区別でみると、回答数が10件以上ある地区の平日の放課後では、「勉強や宿題をする」は小石川地区、本郷地区、向丘地区、本駒込地区が8割を超えている。

一方、回答数が10件以上ある地区の学校の無い日の昼間では、「ゲームをする」は向丘地区が5割となっている。

平日の放課後

		(%)								
	小学生 本人 計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(274)	(1)	(9)	(24)	(35)	(26)	(3)	(14)	(35)	(5)
おしゃべりをする	21.2	0.0	22.2	29.2	20.0	19.2	0.0	7.1	22.9	20.0
勉強や宿題をする	75.5	100.0	77.8	83.3	65.7	65.4	100.0	64.3	71.4	60.0
テレビやDVDをみる	27.7	100.0	33.3	29.2	37.1	26.9	66.7	21.4	25.7	0.0
友だちと電話する	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
友だちとメールやラインなどをする	5.5	0.0	0.0	8.3	0.0	3.8	0.0	28.6	5.7	20.0
パソコンやインターネットをする	20.4	100.0	11.1	20.8	22.9	23.1	0.0	21.4	25.7	20.0
スポーツなど体を動かす	26.3	0.0	33.3	20.8	31.4	30.8	33.3	28.6	25.7	20.0
本、雑誌、マンガなどを読む	29.9	0.0	44.4	25.0	25.7	42.3	0.0	21.4	34.3	20.0
ゲームをする	30.3	0.0	22.2	33.3	31.4	34.6	33.3	21.4	28.6	20.0
買い物をする	1.8	0.0	0.0	4.2	2.9	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
家族の手伝いをする	4.7	0.0	11.1	8.3	5.7	3.8	0.0	0.0	8.6	0.0
何もしないで休む	3.3	0.0	0.0	4.2	0.0	7.7	0.0	0.0	2.9	0.0
その他	6.9	0.0	11.1	8.3	5.7	0.0	0.0	7.1	8.6	0.0
無回答	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	2.9	0.0

	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(4)	(3)	(14)	(0)	(5)	(10)	(1)	(6)	(34)	(44)
おしゃべりをする	50.0	0.0	14.3	0.0	40.0	30.0	0.0	16.7	17.6	22.7
勉強や宿題をする	100.0	33.3	85.7	0.0	100.0	80.0	100.0	50.0	76.5	86.4
テレビやDVDをみる	50.0	33.3	35.7	0.0	20.0	20.0	0.0	16.7	26.5	20.5
友だちと電話する	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
友だちとメールやラインなどをする	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	2.3
パソコンやインターネットをする	25.0	0.0	7.1	0.0	0.0	20.0	0.0	33.3	14.7	25.0
スポーツなど体を動かす	50.0	33.3	21.4	0.0	20.0	0.0	100.0	50.0	20.6	27.3
本、雑誌、マンガなどを読む	0.0	33.3	21.4	0.0	40.0	30.0	0.0	50.0	20.6	38.6
ゲームをする	25.0	0.0	21.4	0.0	60.0	40.0	100.0	16.7	32.4	31.8
買い物をする	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.3
家族の手伝いをする	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	10.0	0.0	16.7	0.0	2.3
何もしないで休む	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	2.3
その他	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	11.8	4.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

学校のない日の昼間

(%)

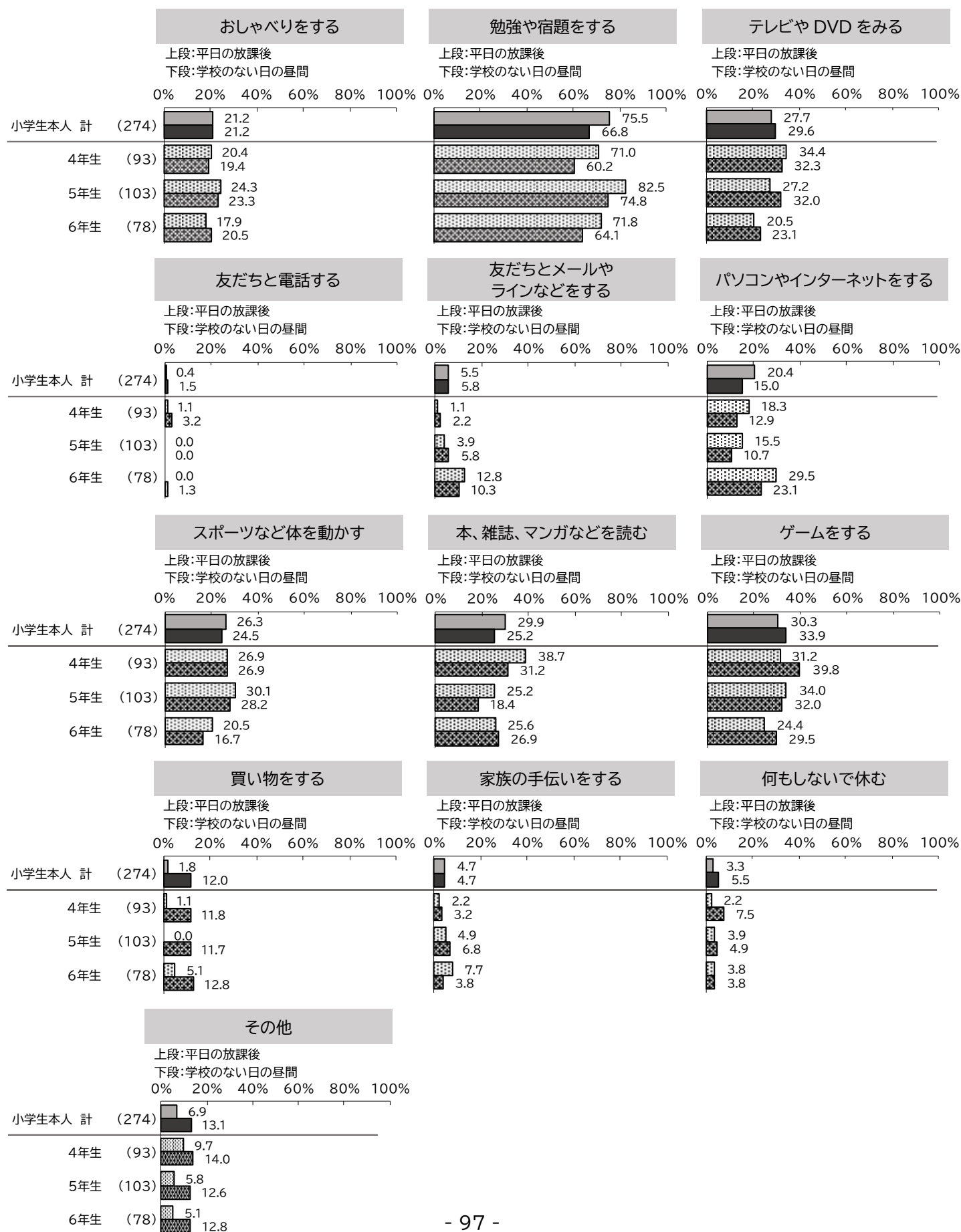
	小学生 本人 計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(274)	(1)	(9)	(24)	(35)	(26)	(3)	(14)	(35)	(5)
おしゃべりをする	21.2	0.0	0.0	37.5	17.1	26.9	33.3	14.3	22.9	0.0
勉強や宿題をする	66.8	100.0	66.7	75.0	51.4	57.7	100.0	64.3	60.0	80.0
テレビやDVDをみる	29.6	100.0	22.2	33.3	31.4	30.8	33.3	42.9	22.9	40.0
友だちと電話する	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
友だちとメールやラインなどをする	5.8	0.0	11.1	4.2	0.0	3.8	0.0	21.4	5.7	20.0
パソコンやインターネットをする	15.0	100.0	11.1	16.7	20.0	11.5	0.0	21.4	22.9	40.0
スポーツなど体を動かす	24.5	0.0	33.3	20.8	22.9	30.8	33.3	50.0	22.9	0.0
本、雑誌、マンガなどを読む	25.2	0.0	22.2	16.7	25.7	30.8	33.3	28.6	20.0	20.0
ゲームをする	33.9	0.0	33.3	20.8	31.4	42.3	33.3	42.9	31.4	20.0
買い物をする	12.0	0.0	11.1	8.3	17.1	11.5	0.0	0.0	20.0	0.0
家族の手伝いをする	4.7	0.0	11.1	0.0	8.6	0.0	0.0	0.0	5.7	20.0
何もしないで休む	5.5	0.0	0.0	16.7	2.9	3.8	33.3	0.0	0.0	0.0
その他	13.1	0.0	22.2	25.0	20.0	11.5	0.0	0.0	14.3	0.0
無回答	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	8.6	0.0

	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(4)	(3)	(14)	(0)	(5)	(10)	(1)	(6)	(34)	(44)
おしゃべりをする	25.0	0.0	28.6	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	14.7	29.5
勉強や宿題をする	25.0	0.0	71.4	0.0	100.0	80.0	100.0	33.3	73.5	79.5
テレビやDVDをみる	25.0	66.7	42.9	0.0	40.0	10.0	0.0	0.0	32.4	22.7
友だちと電話する	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.3
友だちとメールやラインなどをする	25.0	0.0	7.1	0.0	0.0	10.0	0.0	16.7	2.9	4.5
パソコンやインターネットをする	25.0	0.0	7.1	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	8.8	11.4
スポーツなど体を動かす	25.0	33.3	7.1	0.0	40.0	30.0	100.0	50.0	20.6	18.2
本、雑誌、マンガなどを読む	0.0	33.3	35.7	0.0	20.0	30.0	0.0	50.0	20.6	29.5
ゲームをする	0.0	0.0	14.3	0.0	60.0	50.0	100.0	16.7	41.2	40.9
買い物をする	25.0	33.3	7.1	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	11.8	13.6
家族の手伝いをする	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	10.0	0.0	16.7	2.9	2.3
何もしないで休む	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	8.8	4.5
その他	50.0	0.0	21.4	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	8.8	9.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《 【小学生本人】放課後の過ごし方－学年別 《

小学生本人の学年別で見ると、平日の放課後及び学校のない日の昼間ともに「勉強や宿題をする」は5年生が最も多くなっている。

「ゲームをする」は平日の放課後では4年生及び5年生が3割台、学校のない日の昼間では4年生が約4割と最も多くなっている。



《 【中学生本人】放課後の過ごし方－地区別 《

中学生本人の地区別でみると、回答数が10件以上ある地区の平日の放課後では、「勉強や宿題をする」は水道地区、千駄木地区が7割を超えている。

一方、回答数が10件以上ある地区の学校の無い日の昼間では、「ゲームをする」は本郷地区が4割を超えている。

平日の放課後

		(%)									
		中学生 本人 計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(254)	(0)	(8)	(33)	(20)	(30)	(12)	(15)	(17)	(7)	
おしゃべりをする	28.0	0.0	37.5	33.3	25.0	36.7	25.0	0.0	17.6	28.6	
勉強や宿題をする	62.2	0.0	37.5	66.7	60.0	56.7	91.7	66.7	64.7	71.4	
テレビやDVDをみる	26.0	0.0	12.5	33.3	35.0	20.0	8.3	13.3	35.3	14.3	
友だちと電話する	6.3	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	16.7	13.3	5.9	14.3	
友だちとメールやラインなどをする	34.6	0.0	37.5	42.4	50.0	33.3	66.7	26.7	17.6	28.6	
パソコンやインターネットをする	34.3	0.0	25.0	39.4	40.0	36.7	25.0	40.0	47.1	57.1	
スポーツなど体を動かす	20.5	0.0	25.0	21.2	10.0	26.7	8.3	40.0	17.6	14.3	
本、雑誌、マンガなどを読む	14.6	0.0	0.0	6.1	15.0	13.3	8.3	26.7	17.6	42.9	
ゲームをする	32.3	0.0	62.5	33.3	40.0	30.0	25.0	33.3	11.8	28.6	
買い物をする	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
家族の手伝いをする	4.7	0.0	12.5	0.0	5.0	6.7	8.3	6.7	0.0	0.0	
何もしないで休む	7.9	0.0	12.5	9.1	5.0	3.3	8.3	0.0	23.5	0.0	
その他	4.7	0.0	0.0	6.1	5.0	3.3	0.0	6.7	0.0	0.0	
無回答	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	

		目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(7)	(4)	(21)	(5)	(8)	(7)	(3)	(6)	(20)	(31)	
おしゃべりをする	28.6	25.0	33.3	20.0	37.5	28.6	33.3	16.7	25.0	32.3	
勉強や宿題をする	42.9	50.0	57.1	60.0	75.0	85.7	0.0	100.0	75.0	45.2	
テレビやDVDをみる	42.9	0.0	38.1	20.0	37.5	0.0	33.3	50.0	20.0	25.8	
友だちと電話する	0.0	25.0	9.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	
友だちとメールやラインなどをする	28.6	25.0	19.0	60.0	50.0	14.3	33.3	33.3	40.0	25.8	
パソコンやインターネットをする	42.9	25.0	33.3	40.0	12.5	42.9	66.7	50.0	20.0	19.4	
スポーツなど体を動かす	14.3	25.0	14.3	0.0	25.0	42.9	33.3	16.7	25.0	16.1	
本、雑誌、マンガなどを読む	0.0	50.0	9.5	20.0	25.0	14.3	33.3	0.0	10.0	19.4	
ゲームをする	28.6	75.0	28.6	40.0	25.0	28.6	0.0	16.7	35.0	38.7	
買い物をする	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	
家族の手伝いをする	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	10.0	6.5	
何もしないで休む	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	15.0	9.7	
その他	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	9.7	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	

学校のない日の昼間

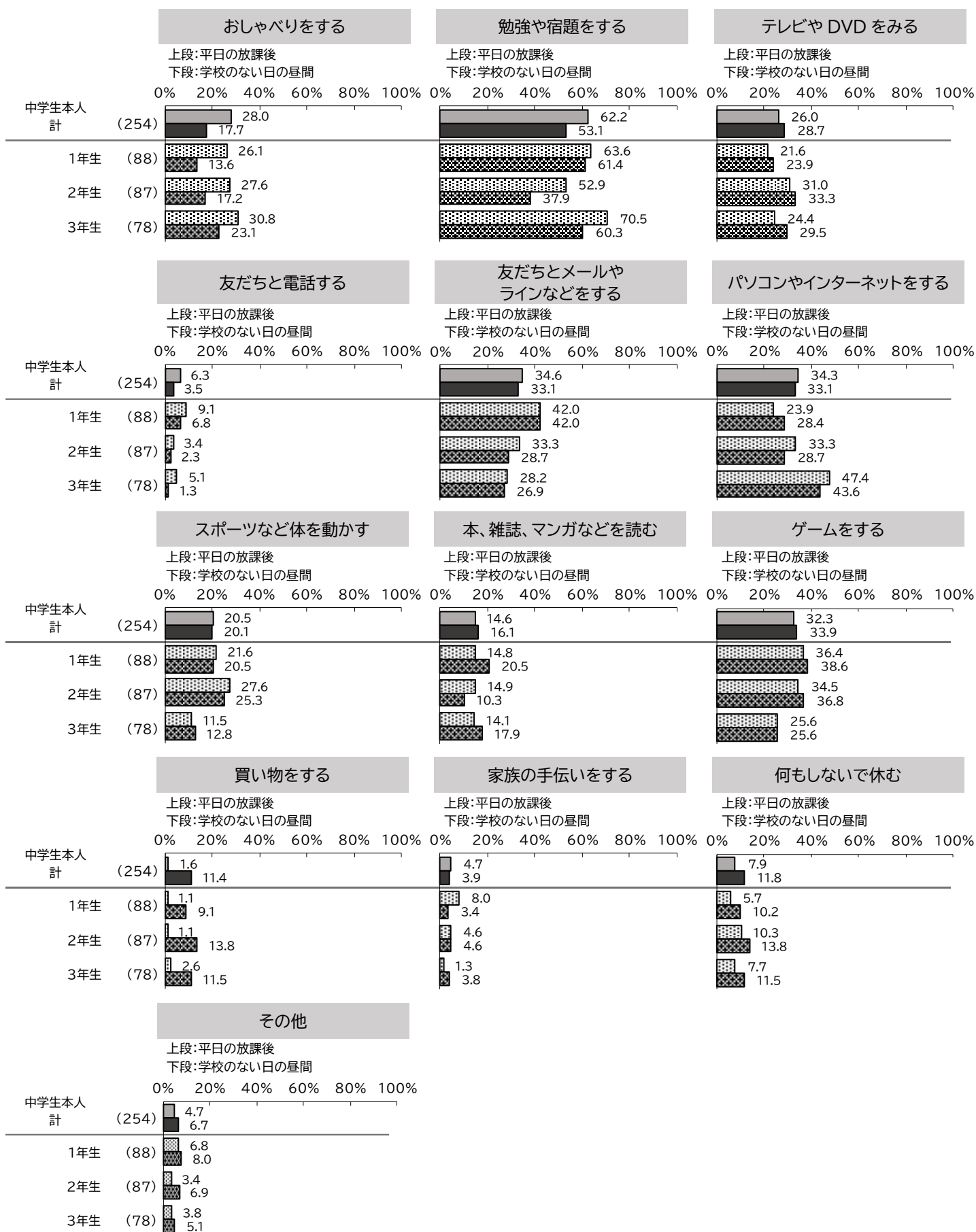
(%)

	中学生 本人 計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(254)	(0)	(8)	(33)	(20)	(30)	(12)	(15)	(17)	(7)
おしゃべりをする	17.7	0.0	37.5	21.2	15.0	13.3	8.3	6.7	11.8	28.6
勉強や宿題をする	53.1	0.0	37.5	57.6	45.0	63.3	75.0	40.0	64.7	42.9
テレビやDVDをみる	28.7	0.0	37.5	27.3	35.0	16.7	16.7	46.7	47.1	28.6
友だちと電話する	3.5	0.0	0.0	6.1	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
友だちとメールやラインなどをする	33.1	0.0	37.5	30.3	45.0	33.3	58.3	20.0	17.6	28.6
パソコンやインターネットをする	33.1	0.0	25.0	33.3	40.0	43.3	33.3	33.3	47.1	42.9
スポーツなど体を動かす	20.1	0.0	12.5	24.2	25.0	23.3	25.0	53.3	23.5	14.3
本、雑誌、マンガなどを読む	16.1	0.0	0.0	6.1	25.0	20.0	16.7	26.7	23.5	28.6
ゲームをする	33.9	0.0	62.5	39.4	30.0	33.3	25.0	26.7	5.9	42.9
買い物をする	11.4	0.0	12.5	6.1	10.0	6.7	25.0	6.7	11.8	14.3
家族の手伝いをする	3.9	0.0	0.0	3.0	0.0	6.7	8.3	6.7	5.9	0.0
何もしないで休む	11.8	0.0	12.5	12.1	10.0	10.0	0.0	6.7	11.8	28.6
その他	6.7	0.0	0.0	6.1	5.0	3.3	0.0	6.7	0.0	0.0
無回答	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0

	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(7)	(4)	(21)	(5)	(8)	(7)	(3)	(6)	(20)	(31)
おしゃべりをする	42.9	0.0	9.5	0.0	37.5	28.6	0.0	16.7	25.0	19.4
勉強や宿題をする	42.9	50.0	42.9	20.0	50.0	71.4	33.3	66.7	60.0	48.4
テレビやDVDをみる	28.6	25.0	28.6	40.0	37.5	14.3	0.0	50.0	15.0	29.0
友だちと電話する	0.0	0.0	4.8	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5
友だちとメールやラインなどをする	28.6	25.0	28.6	40.0	62.5	0.0	33.3	33.3	45.0	29.0
パソコンやインターネットをする	14.3	50.0	33.3	60.0	12.5	42.9	0.0	50.0	20.0	19.4
スポーツなど体を動かす	14.3	25.0	4.8	0.0	0.0	14.3	0.0	16.7	20.0	16.1
本、雑誌、マンガなどを読む	0.0	50.0	9.5	20.0	12.5	0.0	33.3	0.0	10.0	22.6
ゲームをする	28.6	50.0	42.9	60.0	50.0	42.9	0.0	33.3	25.0	35.5
買い物をする	14.3	0.0	19.0	20.0	12.5	42.9	33.3	0.0	15.0	3.2
家族の手伝いをする	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	3.2
何もしないで休む	0.0	0.0	19.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	20.0	19.4
その他	14.3	25.0	14.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	20.0	6.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2

《 【中学生本人】放課後の過ごし方－学年別 《

中学生本人の学年別で見ると、平日の放課後及び学校のない日の昼間ともに「勉強や宿題をする」は3年生が最も多く、「ゲームをする」は1年生が最も多くなっている。



《 【高校生世代本人】放課後の過ごし方－地区別 《

高校生世代本人の地区別でみると、回答数が10件以上ある地区の平日の放課後では、「勉強や宿題をする」は小石川地区、白山地区、小日向地区、大塚地区、本駒込地区が6割を超えている。

一方、回答数が10件以上ある地区の土曜日・休日・祝日の昼間では、「ゲームをする」は千石地区、大塚地区が3割を超えている。

平日の放課後

(%)

	高校生 世代本人 計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(226)	(5)	(7)	(21)	(21)	(33)	(7)	(16)	(20)	(5)
友だちまたは家族とおしゃべりをする	50.4	40.0	42.9	61.9	47.6	51.5	42.9	37.5	55.0	20.0
勉強や宿題をする	58.0	40.0	42.9	61.9	76.2	57.6	28.6	68.8	60.0	60.0
友だちとメールやラインなどをする	31.9	20.0	57.1	33.3	23.8	39.4	28.6	37.5	20.0	40.0
パソコンやインターネットをする	37.2	20.0	57.1	38.1	52.4	30.3	14.3	43.8	30.0	20.0
友だちと電話する	6.2	20.0	0.0	4.8	14.3	3.0	0.0	0.0	15.0	20.0
テレビやDVDを見る	13.7	40.0	0.0	19.0	9.5	18.2	14.3	12.5	25.0	0.0
本、雑誌、マンガなどを読む	11.1	20.0	0.0	9.5	4.8	18.2	0.0	0.0	10.0	40.0
ゲームをする	24.3	20.0	28.6	14.3	14.3	39.4	28.6	18.8	30.0	60.0
スポーツなどで体を動かす	6.2	20.0	0.0	4.8	9.5	6.1	14.3	6.3	15.0	0.0
買い物をする	1.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
家族の手伝いをする	2.2	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アルバイトをする	3.5	0.0	0.0	4.8	0.0	3.0	0.0	6.3	5.0	0.0
何もしないで休む	9.7	20.0	0.0	4.8	9.5	6.1	14.3	25.0	5.0	0.0
その他	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	10.0	0.0
無回答	1.8	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0

	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(9)	(3)	(1)	(0)	(8)	(7)	(1)	(6)	(24)	(30)
友だちまたは家族とおしゃべりをする	44.4	66.7	0.0	0.0	62.5	71.4	0.0	66.7	50.0	50.0
勉強や宿題をする	66.7	33.3	100.0	0.0	50.0	85.7	0.0	33.3	45.8	63.3
友だちとメールやラインなどをする	22.2	33.3	0.0	0.0	25.0	42.9	100.0	50.0	20.8	36.7
パソコンやインターネットをする	44.4	33.3	0.0	0.0	37.5	14.3	100.0	33.3	50.0	36.7
友だちと電話する	11.1	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	16.7	4.2	0.0
テレビやDVDを見る	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8	13.3
本、雑誌、マンガなどを読む	11.1	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	16.7	13.3
ゲームをする	0.0	33.3	100.0	0.0	62.5	28.6	100.0	0.0	25.0	10.0
スポーツなどで体を動かす	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	3.3
買い物をする	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
家族の手伝いをする	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
アルバイトをする	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	6.7
何もしないで休む	0.0	0.0	100.0	0.0	12.5	14.3	0.0	16.7	4.2	16.7
その他	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	3.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

学校のない日の昼間

(%)

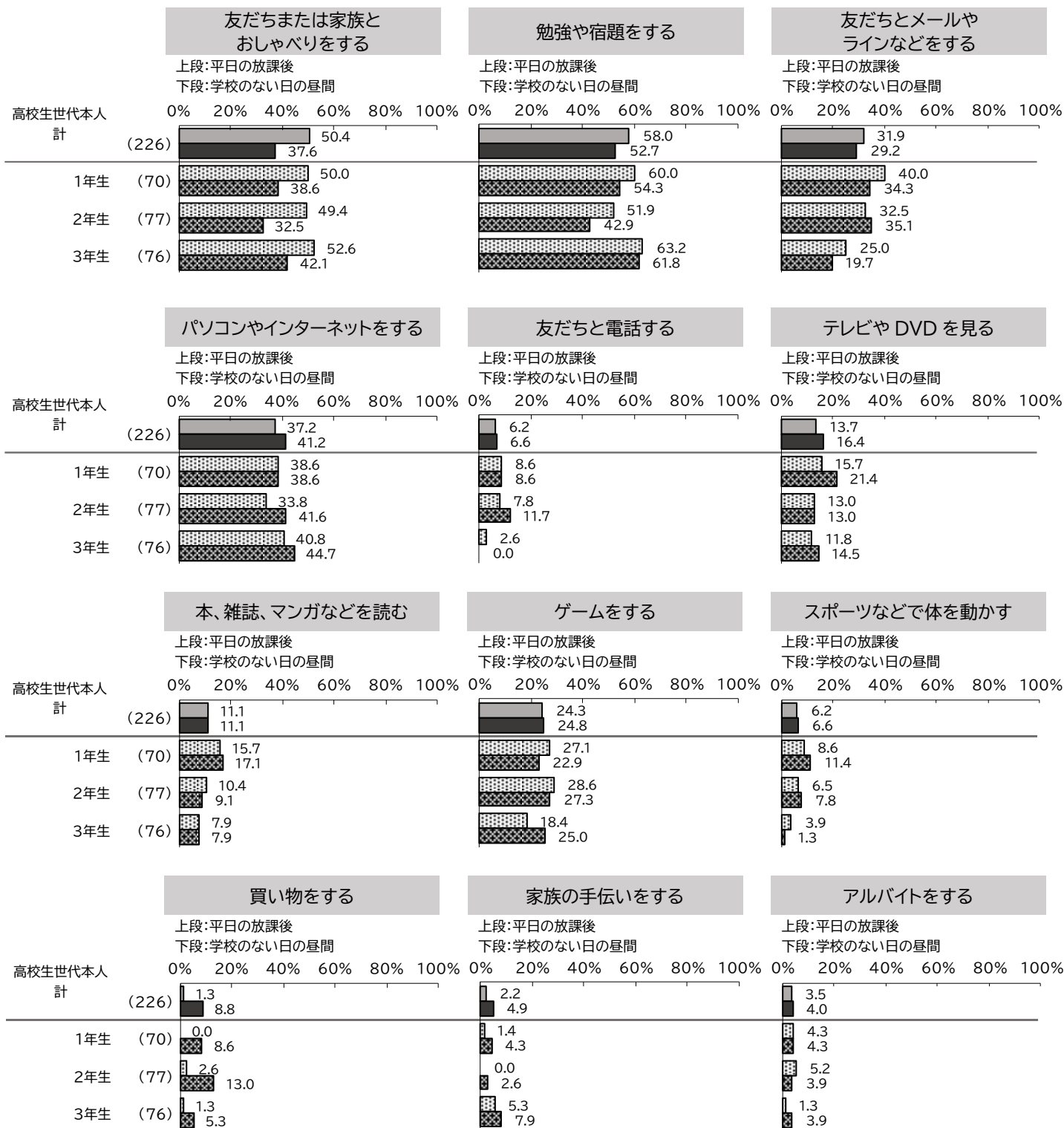
	高校生 世代本人 計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(226)	(5)	(7)	(21)	(21)	(33)	(7)	(16)	(20)	(5)
友だちまたは家族とおしゃべりをする	37.6	20.0	42.9	42.9	23.8	42.4	28.6	31.3	25.0	20.0
勉強や宿題をする	52.7	20.0	42.9	66.7	61.9	48.5	28.6	62.5	55.0	60.0
友だちとメールやラインなどをする	29.2	0.0	28.6	23.8	14.3	36.4	28.6	31.3	25.0	20.0
パソコンやインターネットをする	41.2	40.0	57.1	42.9	42.9	39.4	14.3	43.8	35.0	20.0
友だちと電話する	6.6	40.0	0.0	0.0	14.3	3.0	14.3	0.0	10.0	20.0
テレビやDVDを見る	16.4	20.0	0.0	14.3	23.8	21.2	14.3	12.5	15.0	0.0
本、雑誌、マンガなどを読む	11.1	20.0	0.0	19.0	14.3	21.2	0.0	0.0	10.0	40.0
ゲームをする	24.8	20.0	28.6	19.0	28.6	33.3	28.6	18.8	40.0	40.0
スポーツなどで体を動かす	6.6	0.0	0.0	4.8	9.5	3.0	0.0	6.3	20.0	20.0
買い物をする	8.8	20.0	14.3	0.0	4.8	12.1	0.0	12.5	10.0	0.0
家族の手伝いをする	4.9	0.0	0.0	9.5	0.0	9.1	0.0	0.0	10.0	0.0
アルバイトをする	4.0	20.0	0.0	9.5	0.0	3.0	0.0	6.3	5.0	0.0
何もしないで休む	10.6	20.0	14.3	4.8	4.8	6.1	28.6	25.0	0.0	20.0
その他	5.3	0.0	14.3	0.0	4.8	6.1	0.0	0.0	15.0	0.0
無回答	1.8	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0

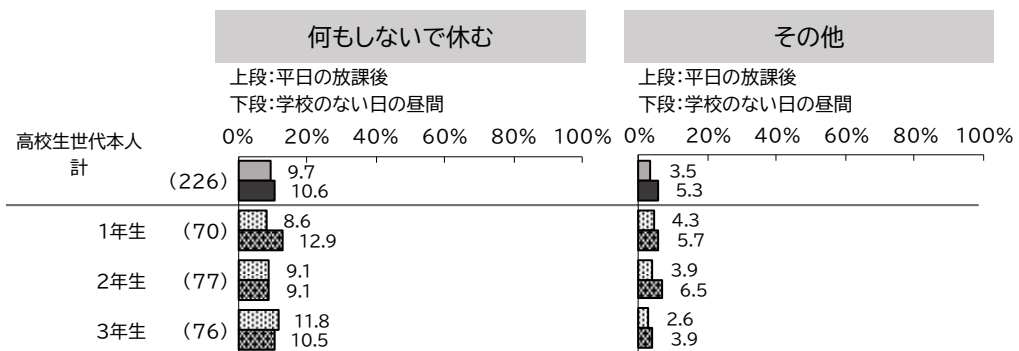
	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(9)	(3)	(1)	(0)	(8)	(7)	(1)	(6)	(24)	(30)
友だちまたは家族とおしゃべりをする	33.3	0.0	100.0	0.0	37.5	57.1	0.0	50.0	50.0	43.3
勉強や宿題をする	55.6	0.0	0.0	0.0	75.0	57.1	0.0	50.0	45.8	56.7
友だちとメールやラインなどをする	11.1	66.7	0.0	0.0	25.0	42.9	100.0	33.3	29.2	43.3
パソコンやインターネットをする	66.7	0.0	0.0	0.0	37.5	28.6	100.0	50.0	54.2	40.0
友だちと電話する	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	4.2	6.7
テレビやDVDを見る	22.2	0.0	0.0	0.0	12.5	14.3	0.0	0.0	20.8	20.0
本、雑誌、マンガなどを読む	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	8.3	10.0
ゲームをする	0.0	100.0	100.0	0.0	25.0	14.3	100.0	0.0	20.8	13.3
スポーツなどで体を動かす	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	16.7	4.2	6.7
買い物をする	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	13.3
家族の手伝いをする	11.1	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
アルバイトをする	11.1	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
何もしないで休む	0.0	33.3	100.0	0.0	25.0	14.3	0.0	33.3	12.5	3.3
その他	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	8.3	3.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《【高校生世代本人】放課後の過ごし方－学年別》

高校生世代本人の学年別でみると、平日の放課後では、「友だちまたは家族とおしゃべりをする」は3年生が 52.6%、「勉強や宿題をする」は3年生が 63.2%、「友だちとメールやラインなどをする」は1年生が 40.0%と最も多くなっている。

学校のない日の昼間では、「友だちまたは家族とおしゃべりをする」は3年生が 42.1%、「勉強や宿題をする」は3年生が 61.8%、「パソコンやインターネットをする」は3年生が 44.7%と最も多くなっている。



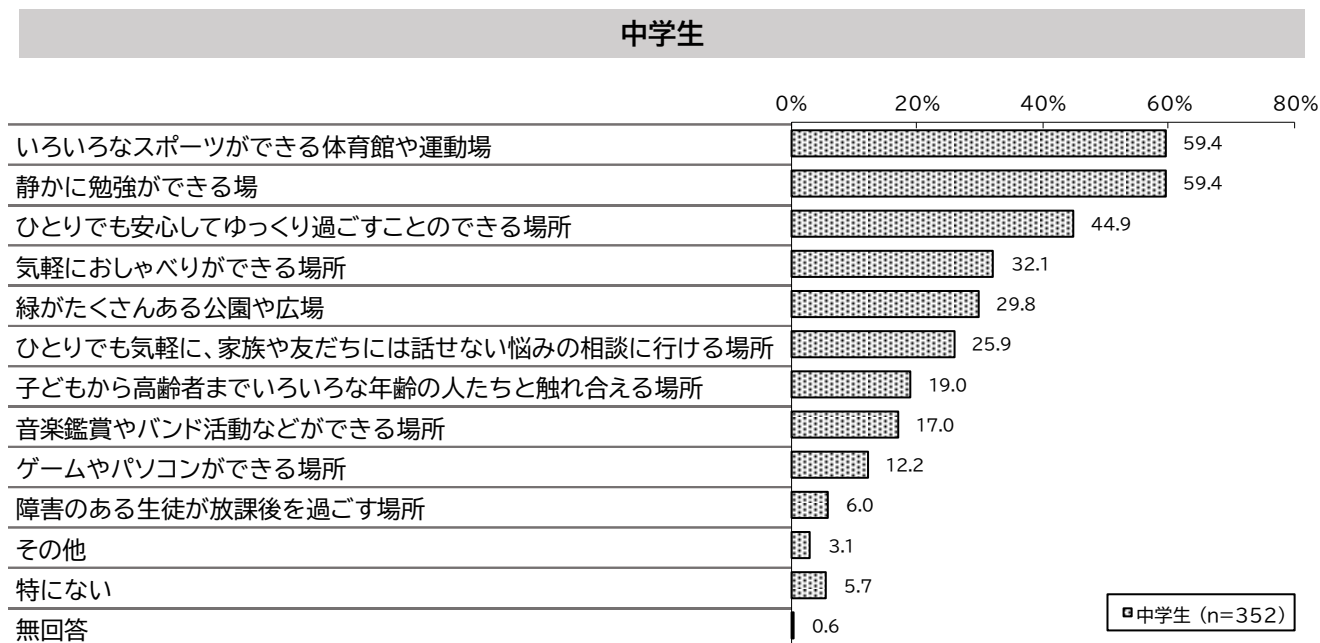


(12)放課後を過ごす場所の希望(複数回答)

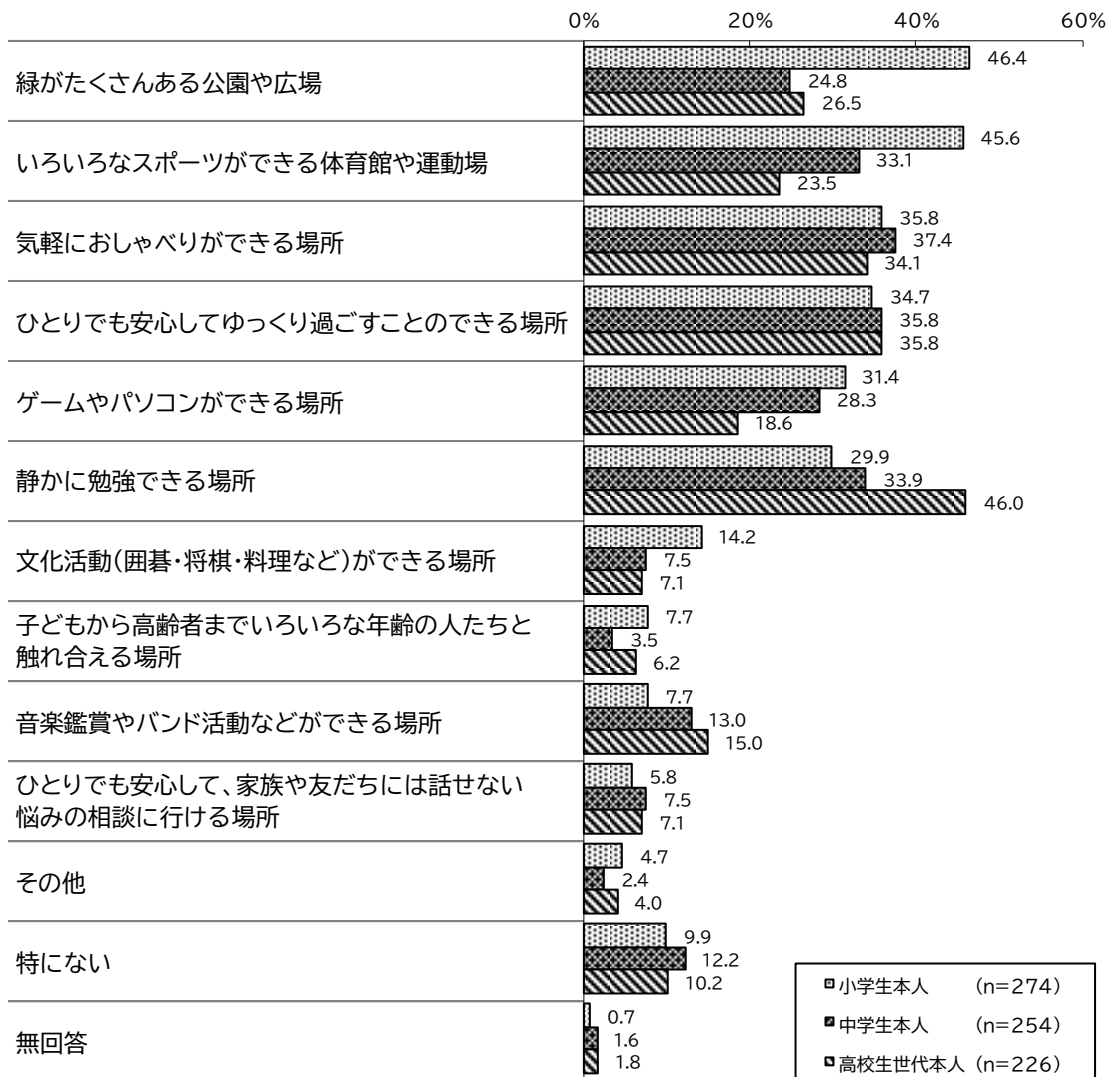
[中学生：問 13] [小学生本人：問 11]
[中学生本人：問 11] [高校生世代本人：問 10]

中学生の保護者に放課後を過ごす場所の希望について尋ねたところ、「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」と「静かに勉強ができる場」が 59.4%と最も多く、次いで「ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所」が 44.9%となっている。

小学生本人では「緑がたくさんある公園や広場」が 46.4%、中学生本人では「気軽におしゃべりできる場所」が 37.4%、高校生世代本人では「静かに勉強ができる場所」が 46.0%で最も多くなっている。

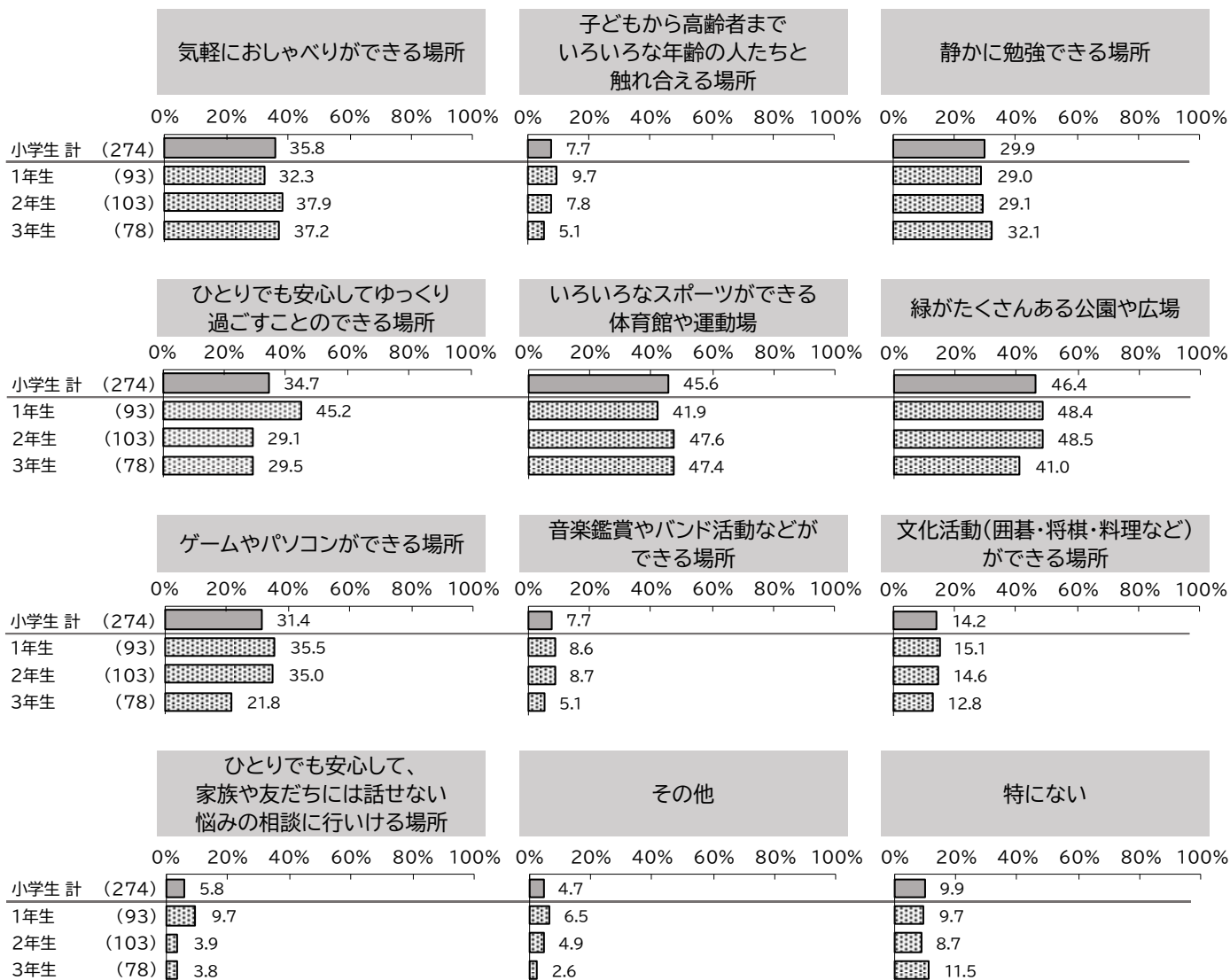


小学生本人、中学生本人、高校生世代本人



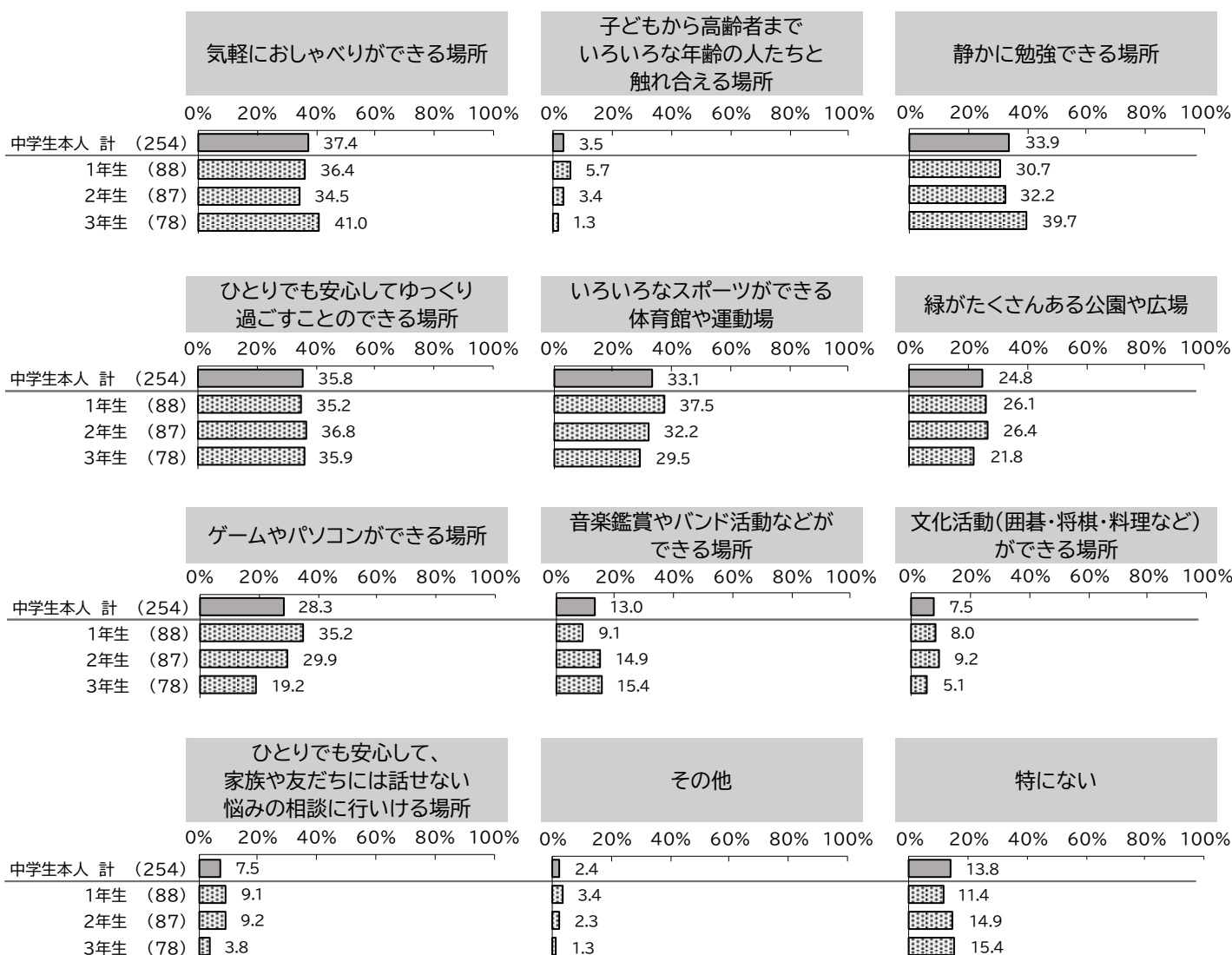
《 【小学生本人】放課後を過ごす場所の希望－学年別 《

学年別でみると、「緑がたくさんある公園や広場」は1年生、2年生が約5割と多くなっている。「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」は2年生が 47.6%と最も多くなっている。「気軽におしゃべりができる場所」は2年生、3年生が3割半ばを超えている。



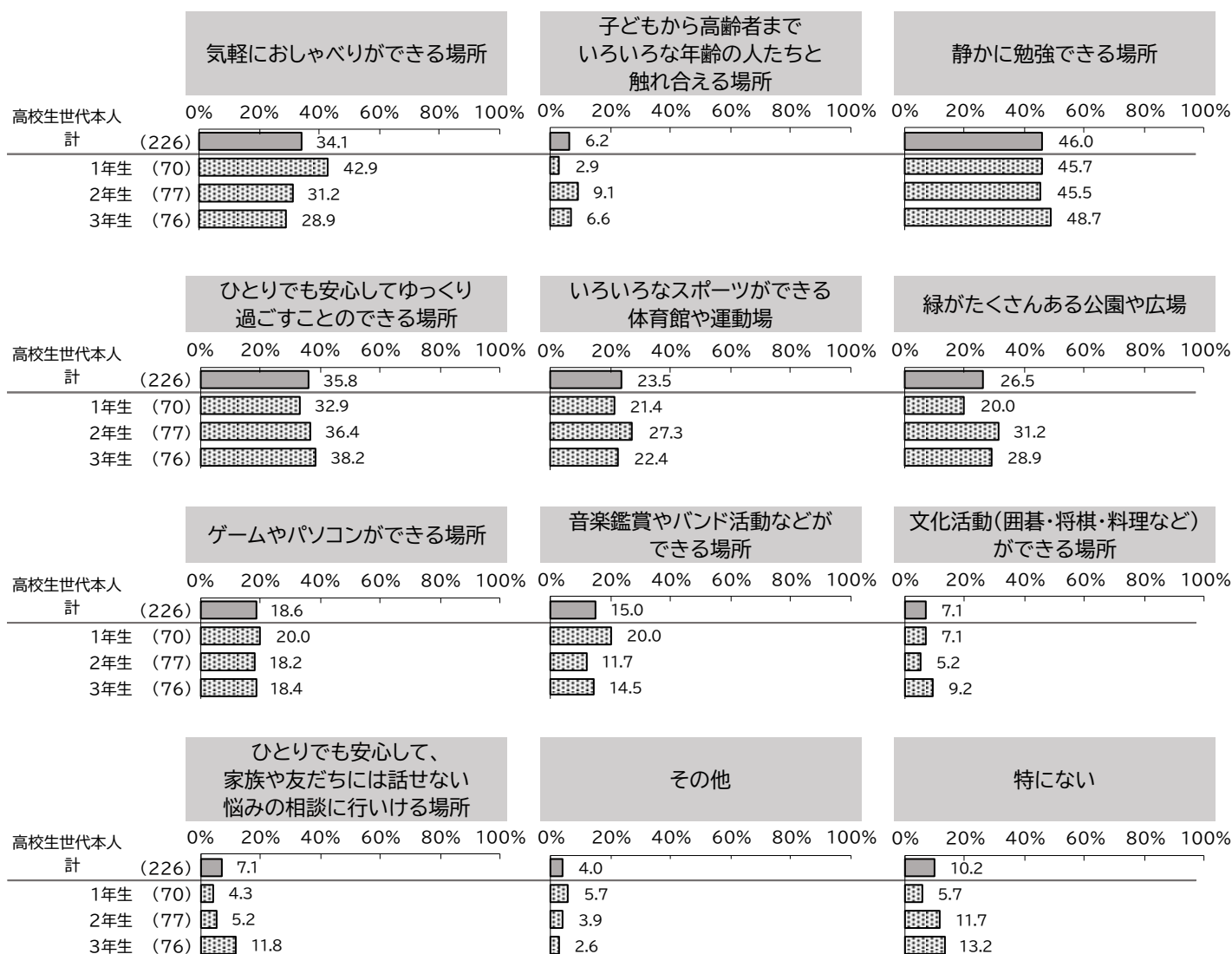
《 【中学生本人】放課後を過ごす場所の希望－学年別 《

学年別でみると、「気軽におしゃべりできる場所」は3年生が41.0%と最も多くなっている。「ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所」は全ての学年で3割半ばとなっている。「静かに勉強できる場所」は学年が上がるにつれて増加していく傾向がうかがえる。



《 【高校生世代本人】放課後を過ごす場所の希望－学年別 《

学年別でみると、「静かに勉強できる場所」は3年生が 48.7%と最も多くなっている。「ひとりで安心してゆっくり過ごすことのできる場所」は学年が上がるにつれて増加していく一方、「気軽におしゃべりができる場所」は学年が上がるにつれて減少していく傾向がうかがえる。



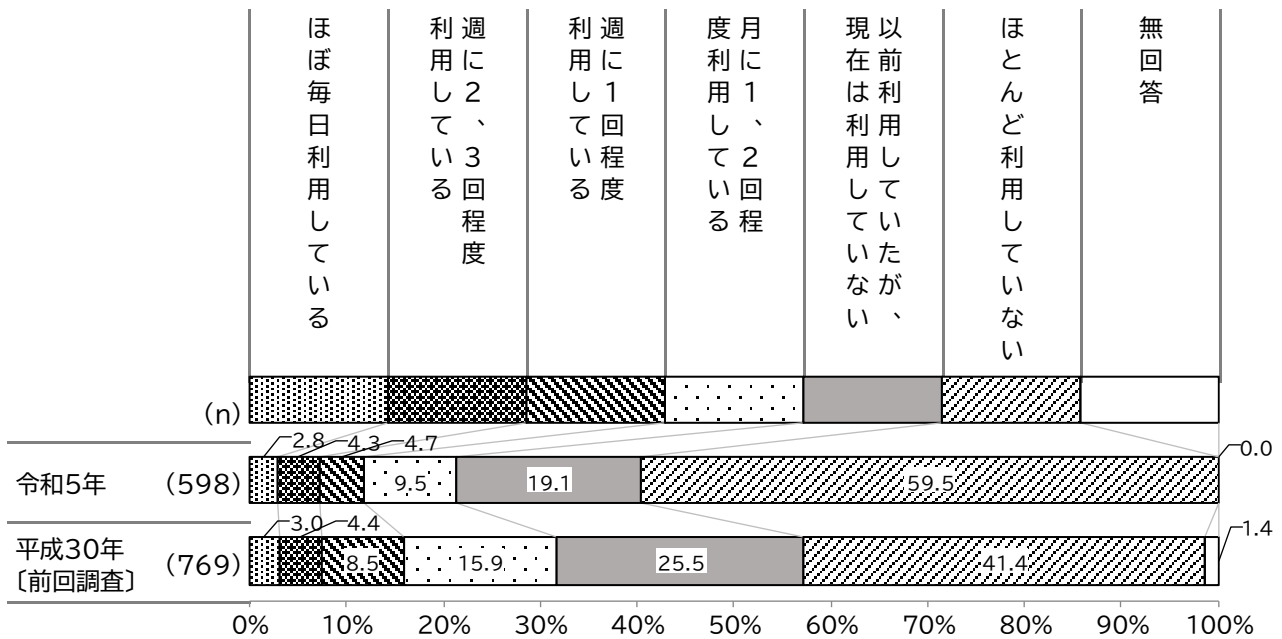
10 児童館について

(1)児童館の利用頻度

〔小学生：問 28〕

小学生の児童館の利用頻度については、「ほぼ毎日利用している」2.8%、「週に2、3回程度利用している」4.3%、「週に1回程度利用している」4.7%、「月に1、2回程度利用している」9.5%であり、「利用している」の計は 21.3%となっている。「以前利用していたが、現在は利用していない」の過去利用は19.1%、「ほとんど利用していない」は 59.5%となっている。

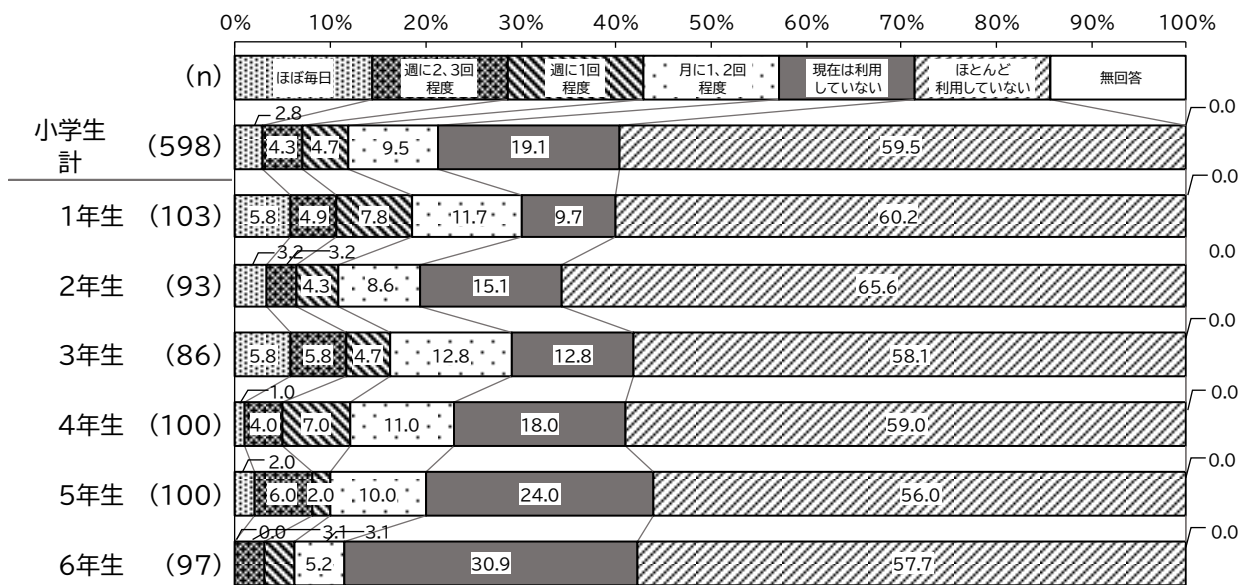
平成 30 年の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日利用している」「週に2、3回程度利用している」「週に1回程度利用している」「月に1、2回程度利用している」「以前利用していたが、現在は利用していない」が減少し、「ほとんど利用していない」が増加している。



《 児童館の利用頻度－子どもの学年別 》

子どもの学年別にみると、「ほぼ毎日利用している」「週に2、3回程度利用している」「週に1回程度利用している」「月に1、2回程度利用している」を合わせた「利用している」の計は、1年生及び3年生で約3割と多くなっている。

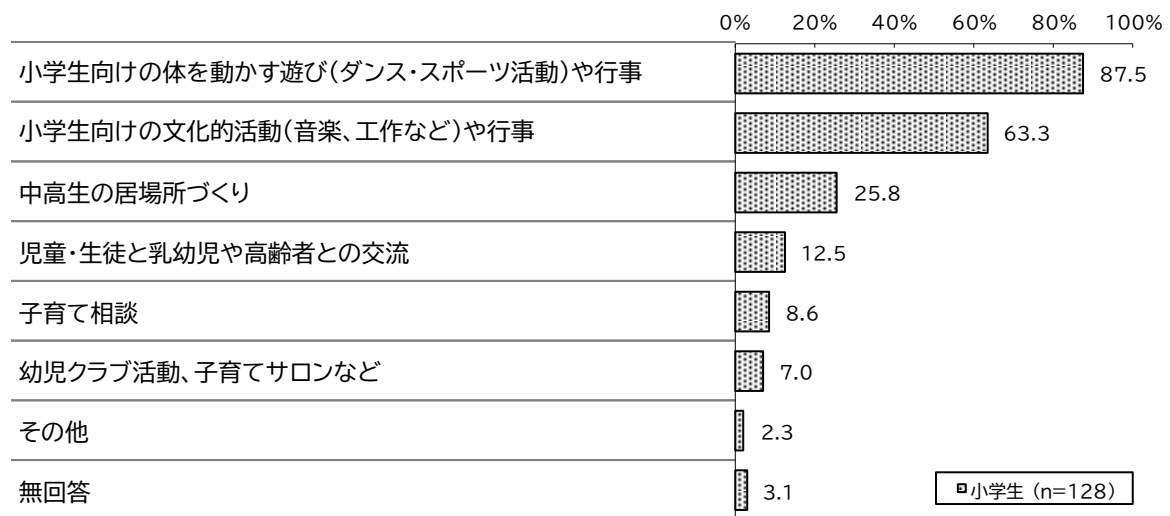
一方、「現在は利用していない」は6年生が 30.9%と最も多くなっている。



(2)【児童館利用者】児童館として充実してほしい活動(複数回答)

〔小学生：問 28-1〕

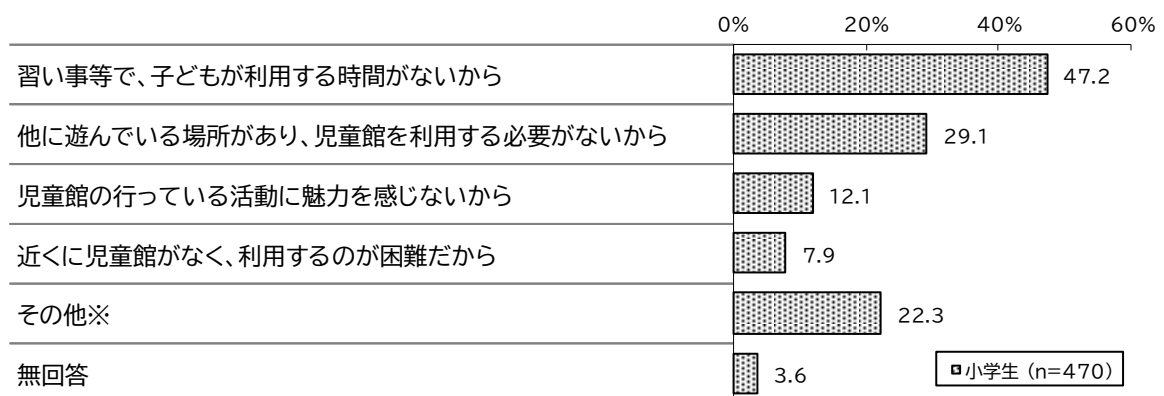
児童館を利用していると回答した小学生の保護者に、児童館として充実してほしい活動を尋ねたところ、「小学生向けの体を動かす遊び(ダンス・スポーツ活動)や行事」が 87.5%と最も多く、次いで「小学生向けの文化的活動(音楽、工作など)や行事」が 63.3%となっている。



(3)【児童館を利用していない人】児童館を利用しない理由(複数回答)

〔小学生：問 28-2〕

児童館を利用していないと回答した小学生の保護者にその理由を尋ねたところ、「習い事等で、子どもが利用する時間がないから」が 47.2%と最も多く、次いで「他に遊んでいる場所があり、児童館を利用する必要がないから」が 29.1%、「児童館の行っている活動に魅力を感じないから」が 12.1%となっている。



※その他: 育成室を利用している、友達が利用していない、子どもが行きたがらない、障がいがあり一人で利用できないなど

《児童館を利用しない理由－地区別》

子どもの地区別にみると、回答数が10件以上ある地区では、「習い事等で、子どもが利用する時間がないから」は関口地区が8割を超えて多くなっている。また、「他に遊んでいる場所があり、児童館を利用する必要がないから」は目白台地区が4割後半と最も多くなっている。

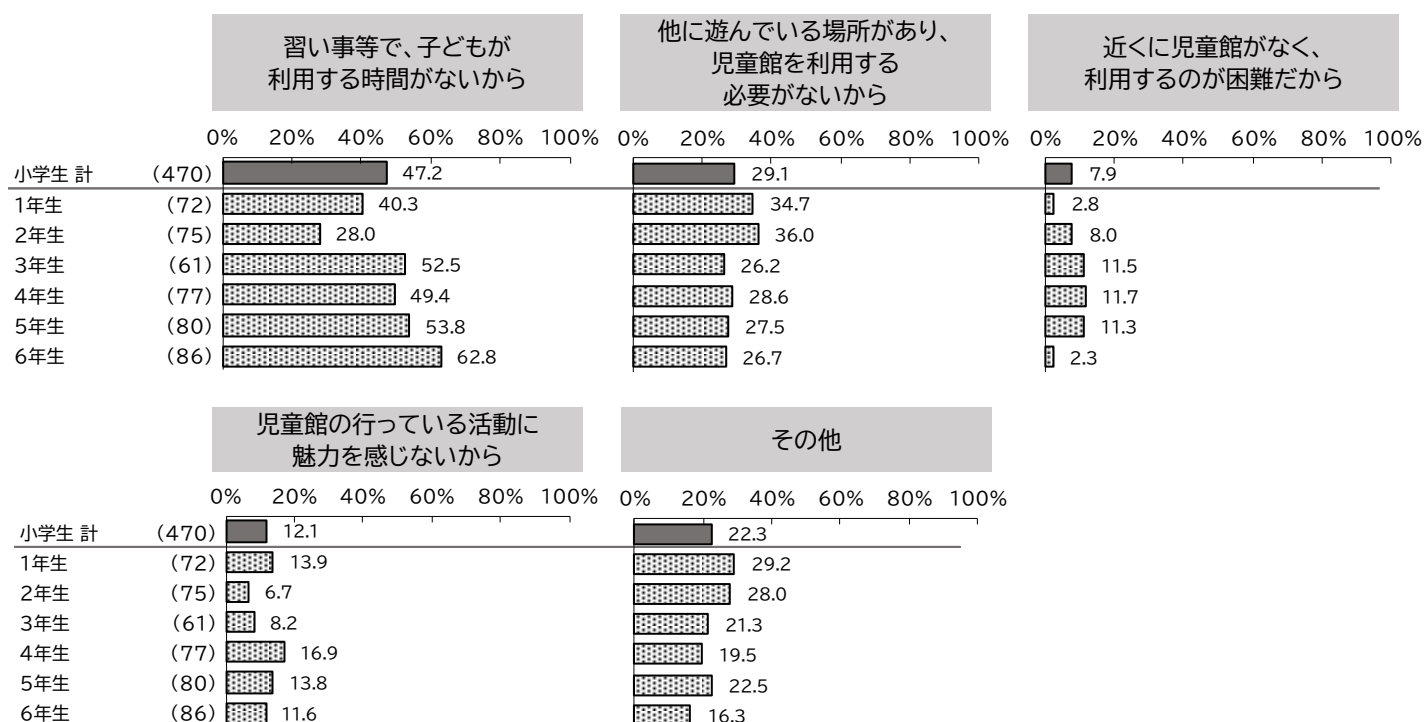
(%)

	小学生計 (n)	後楽 (6)	春日 (12)	小石川 (55)	白山 (40)	千石 (35)	水道 (11)	小日向 (28)	大塚 (31)	関口 (15)
習い事等で、子どもが利用する時間がないから	47.2	83.3	50.0	52.7	55.0	57.1	27.3	57.1	25.8	80.0
他に遊んでいる場所があり、児童館を利用する必要がないから	29.1	0.0	33.3	20.0	35.0	20.0	18.2	39.3	35.5	13.3
近くに児童館がなく、利用するのが困難だから	7.9	16.7	16.7	9.1	7.5	2.9	0.0	0.0	3.2	13.3
児童館の行っている活動に魅力を感じないから	12.1	0.0	0.0	12.7	10.0	17.1	9.1	7.1	9.7	13.3
その他	22.3	33.3	16.7	21.8	20.0	22.9	63.6	28.6	38.7	6.7

	目白台 (n)	音羽 (10)	本郷 (46)	湯島 (9)	西片 (20)	向丘 (12)	弥生 (3)	根津 (9)	千駄木 (44)	本駒込 (69)
習い事等で、子どもが利用する時間がないから	38.5	60.0	43.5	55.6	35.0	33.3	66.7	55.6	45.5	39.1
他に遊んでいる場所があり、児童館を利用する必要がないから	46.2	20.0	28.3	33.3	30.0	33.3	33.3	11.1	34.1	34.8
近くに児童館がなく、利用するのが困難だから	0.0	20.0	13.0	0.0	10.0	25.0	0.0	0.0	2.3	11.6
児童館の行っている活動に魅力を感じないから	23.1	0.0	8.7	0.0	10.0	0.0	0.0	11.1	27.3	14.5
その他	15.4	10.0	19.6	11.1	25.0	33.3	0.0	44.4	18.2	15.9

《児童館を利用しない理由－子どもの学年別》

子どもの学年別にみると、「習い事等で、子どもが利用する時間がないから」は6年生が6割を超えて最も多くなっている。また、「他に遊んでいる場所があり、児童館を利用する必要がないから」は1年生、2年生が3割以上と多くなっている。

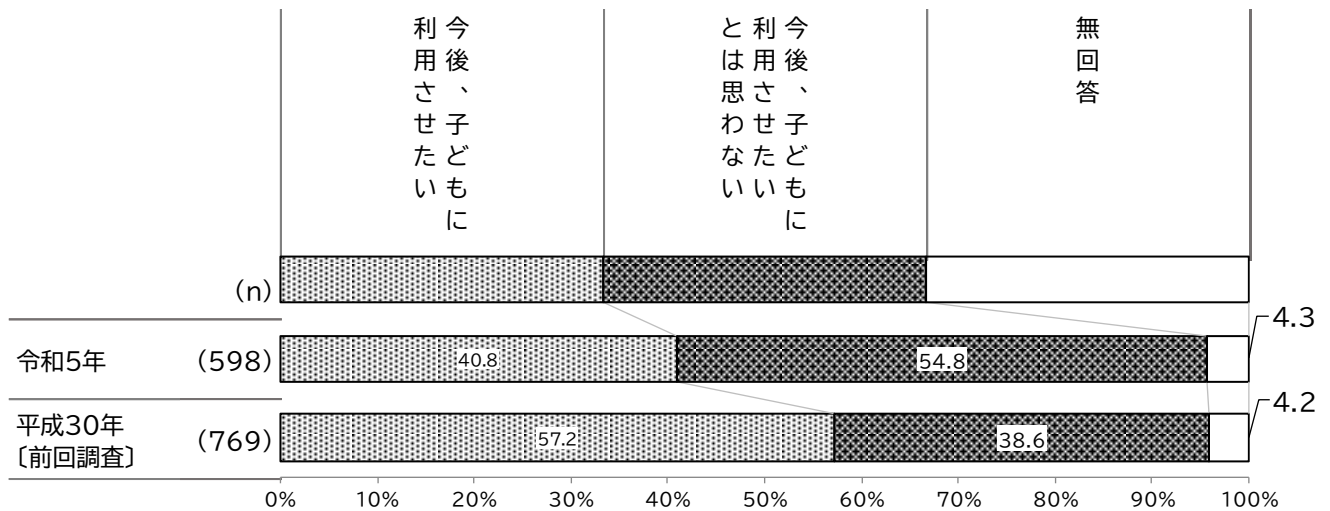


(4) 児童館の利用希望

① 児童館の利用希望

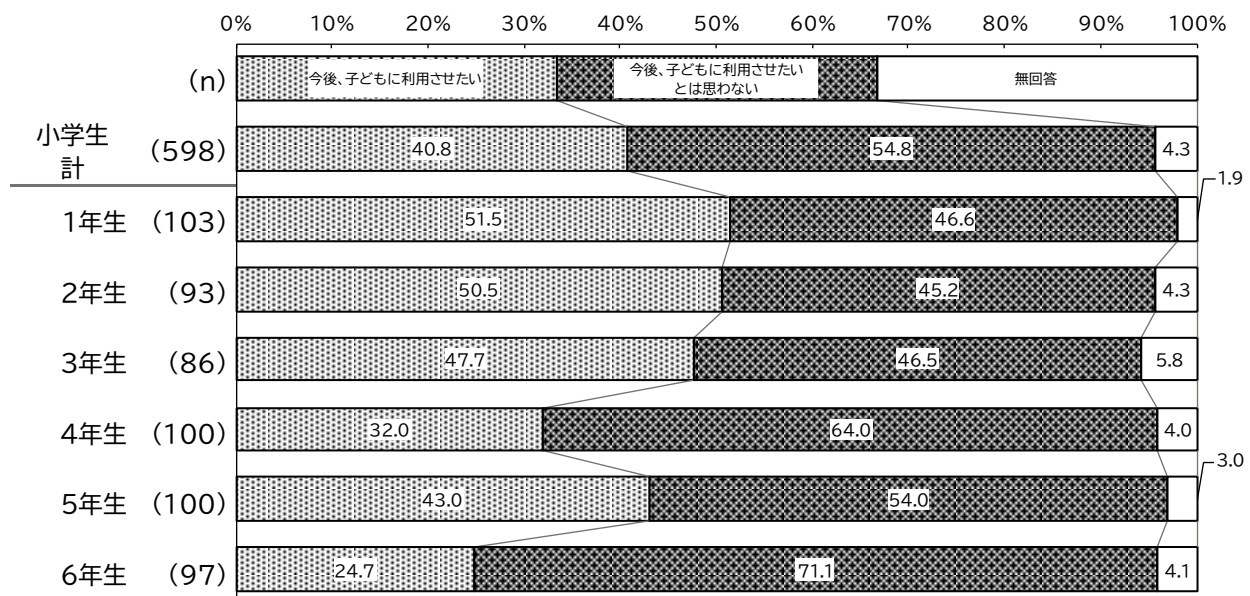
〔小学生：問 29〕

児童館の今後の利用希望について小学生の保護者全員に尋ねたところ、「今後、子どもに利用させたい」が 40.8%、「今後、子どもに利用させたいと思わない」が 54.8%となっており、平成 30 年の調査結果と比較して、「今後、子どもに利用させたい」が 16.4 ポイント減少している。



《 児童館の利用希望－子どもの学年別 》

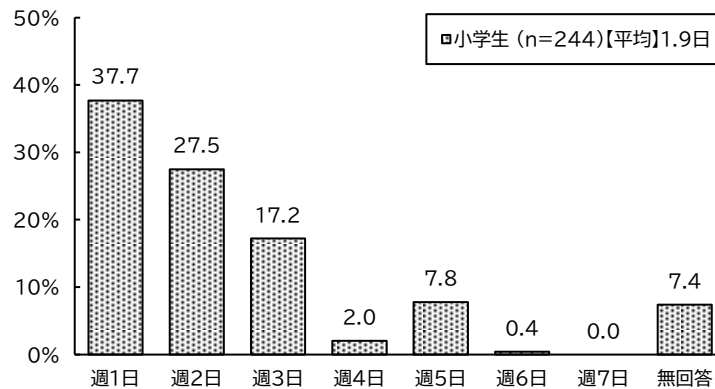
子どもの学年別にみると、「今後、子どもに利用させたい」は1年生、2年生が5割以上と多くなっている一方、「今後、子どもに利用させたいと思わない」は6年生が7割を超え、4年生が6割半ばとなっている。



②【児童館の利用希望者】児童館の1週当たりの利用希望日数

〔小学生：問29〕

児童館の利用希望者の1週当たりの利用希望日数については、「週1日」が37.7%と最も多く、次いで「週2日」が27.5%、「週3日」が17.2%となっており、週当たりの平均利用希望日数は1.9日となっている。



11 育児休業制度について

(1) 父母の育児休業制度の取得状況

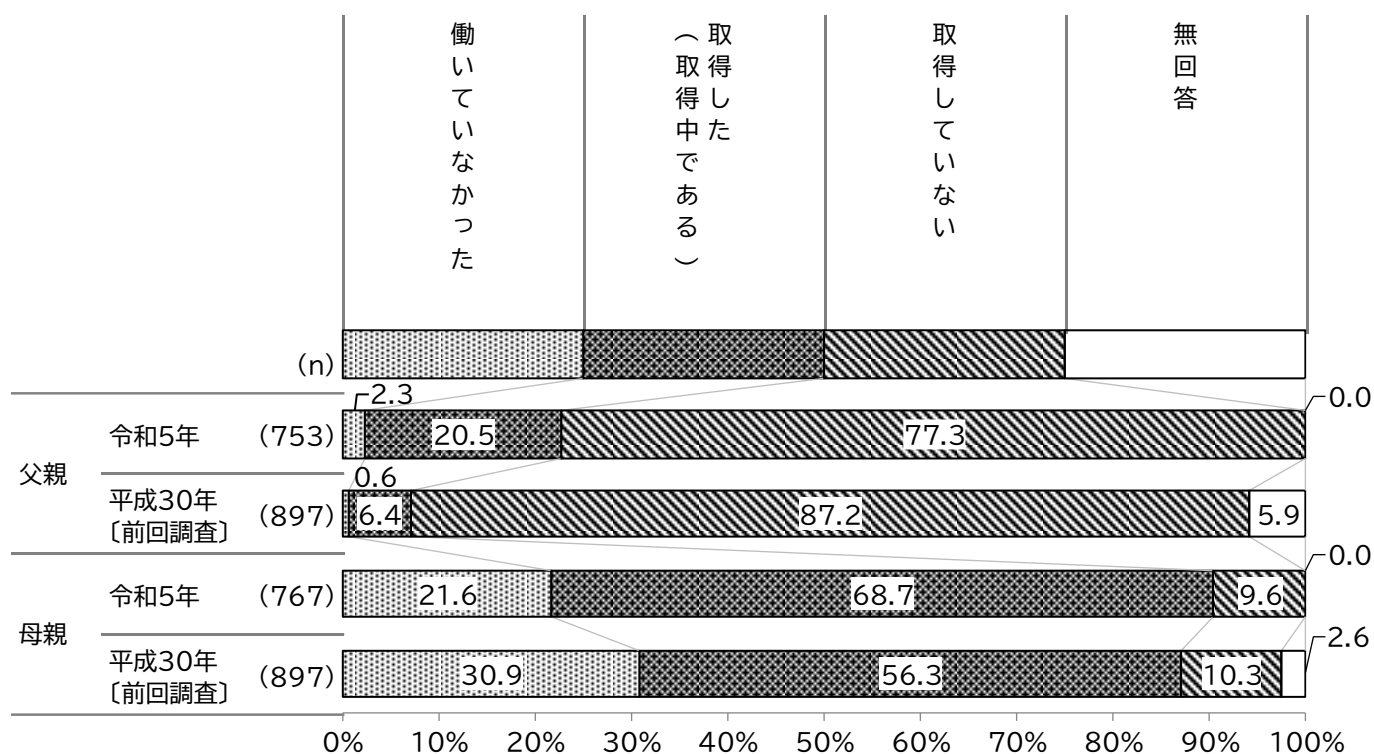
〔未就学児：問 29〕

① 取得経験

未就学児の父母の育児休業制度の取得状況については、父親は「取得していない」が 77.3%と大部分を占めている。一方、「取得した(取得中である)」は 20.5%となっており、平成 30 年の調査結果より 14.1 ポイント増加している。

母親は「取得した(取得中である)」が 68.7%、「取得していない」は 9.6%となっており、平成 30 年の調査結果より、「取得した(取得中である)」は 12.4 ポイント増加している。

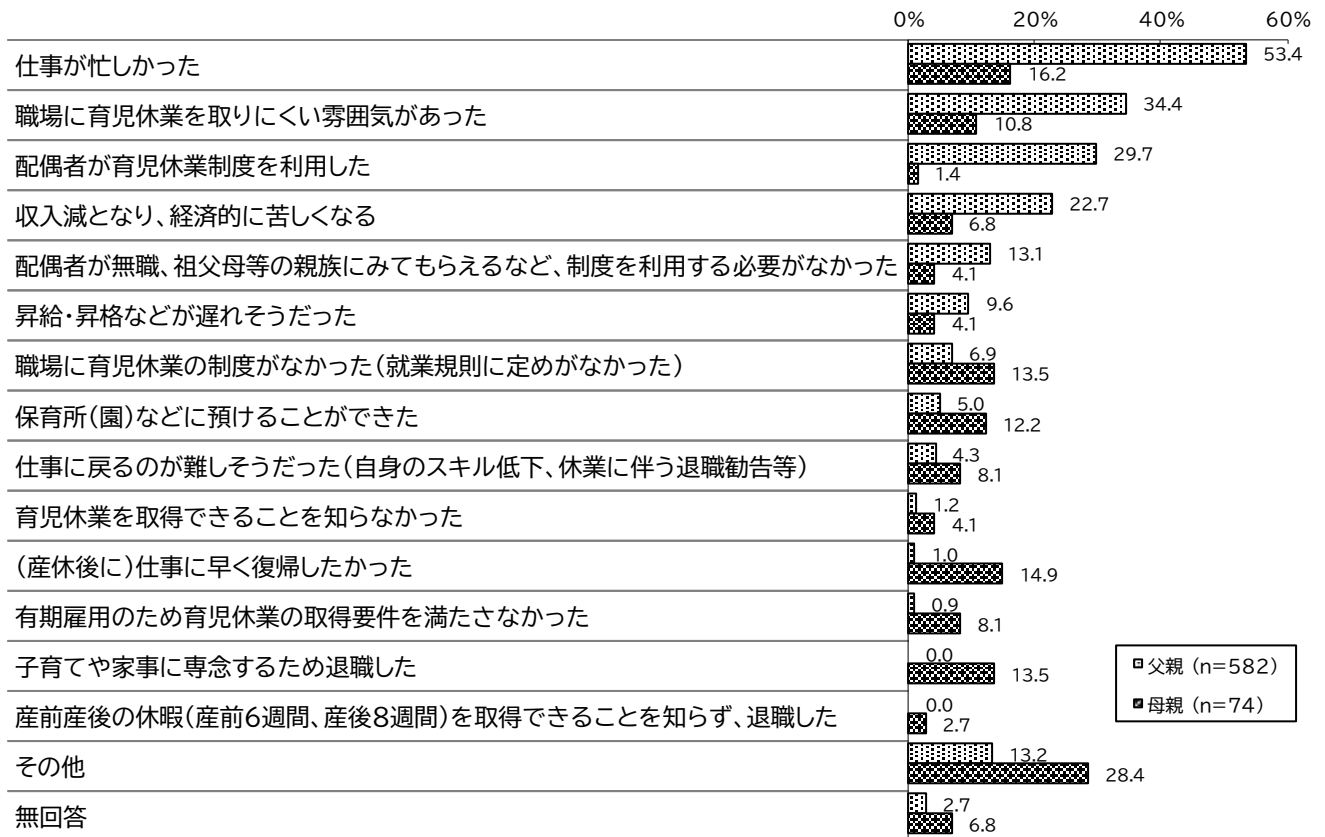
平成 30 年の調査結果と比較すると、父親と母親ともに育児休業制度を取得した割合が 10 ポイント以上増加しており、前回調査時より育児休業が取得しやすい傾向がうかがえる。



②【育児休業制度を「取得していない」人】取得していない理由(複数回答)

育児休業制度を取得していない理由として、父親は「仕事が忙しかった」が 53.4%と半数を超えて最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 34.4%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 29.7%となっている。

母親は「仕事が忙しかった」が 16.2%と最も多く、次いで「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」が 14.9%、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」と「子育てや家事に専念するため退職した」がともに 13.5%となっている。

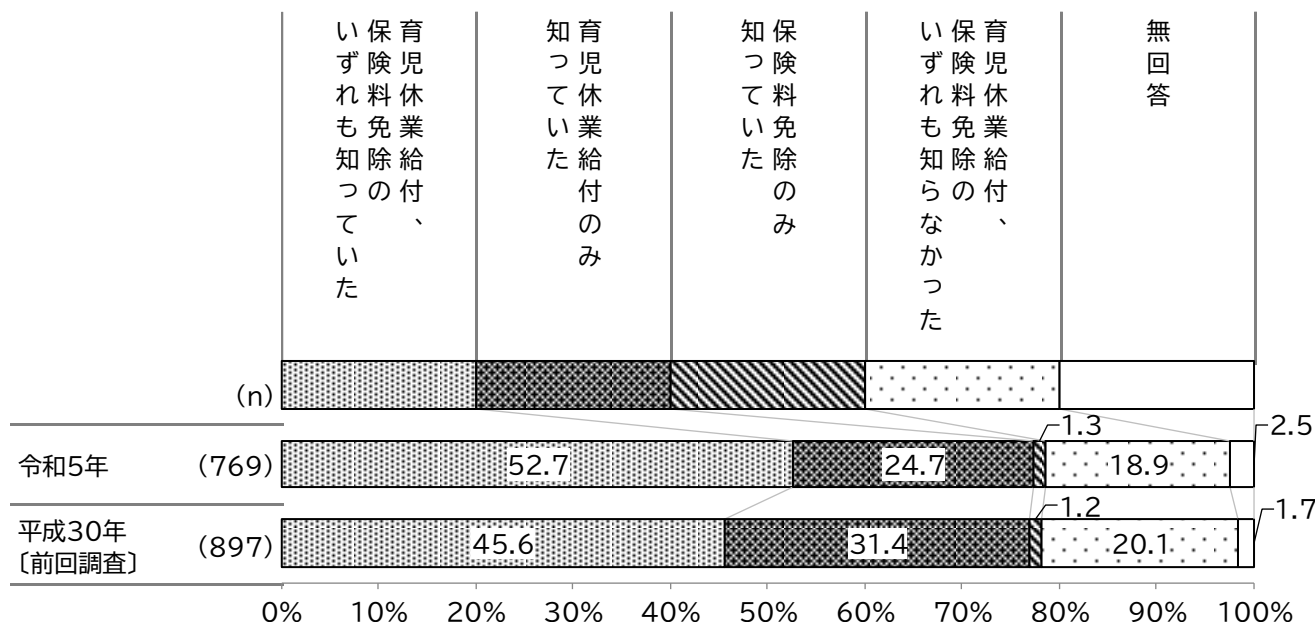


(2) 育児休業給付の支給・社会保険料免除の認知度

〔未就学児：問 29-1〕

育児休業給付の支給・社会保険料免除の認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 52.7%、「育児休業給付のみ知っていた」が 24.7%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 18.9%となっている。

平成 30 年の調査結果と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」は 7.1 ポイント増加した一方、「育児休業給付のみ知っていた」は 6.7 ポイント、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は 1.2 ポイント減少している。

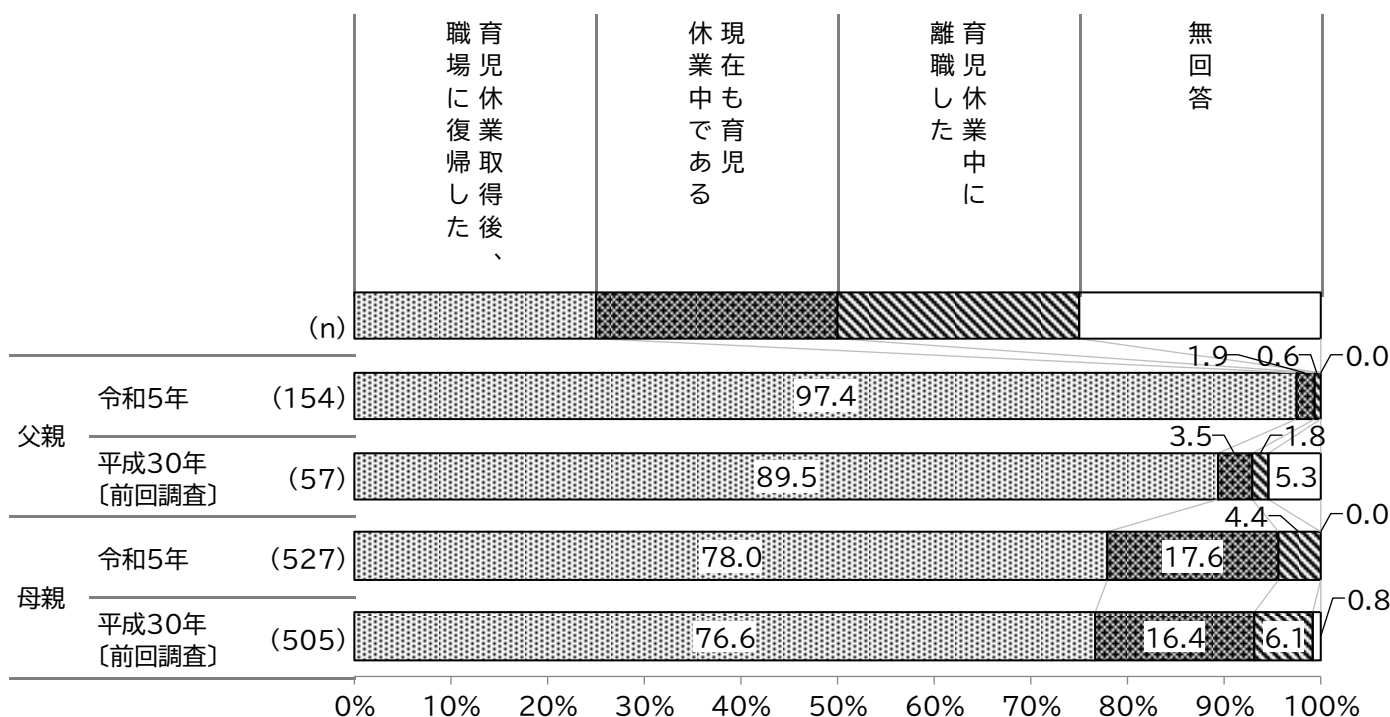


(3) 育児休業後の職場復帰状況

①【育児休業取得者】育児休業後の職場復帰状況

〔未就学児：問 29-2〕

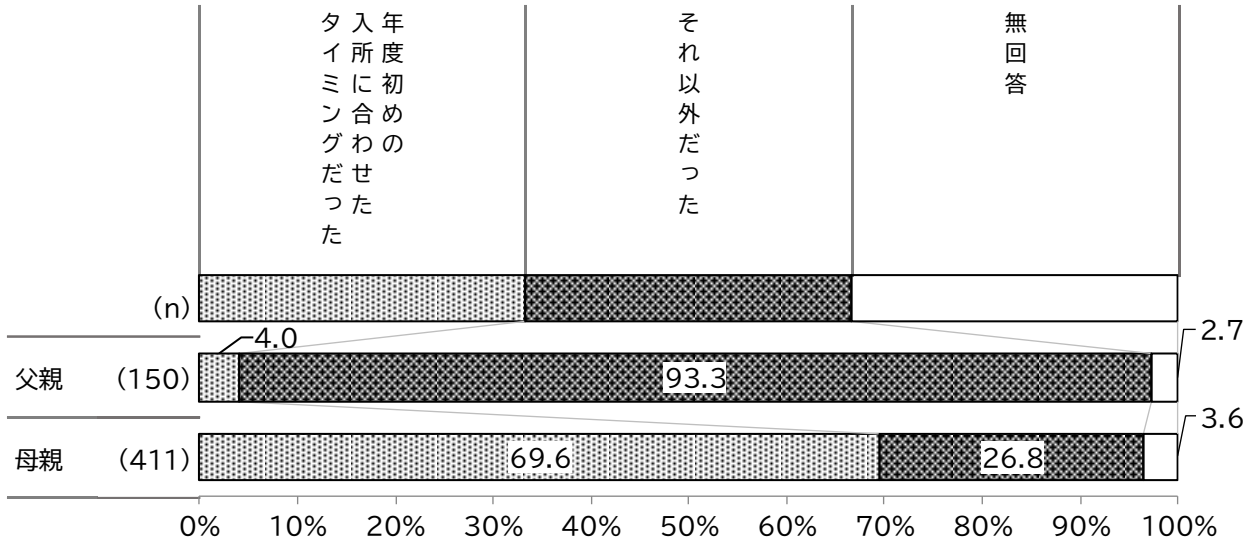
育児休業後の職場復帰の状況については、育児休業を取得した父親のうち 97.4%、母親のうち 78.0%が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答しており、平成 30 年の調査結果より父親は 7.9 ポイント、母親は 1.4 ポイント増加している。



②【育児休業後職場復帰者】育児休業後の職場復帰のタイミング

〔未就学児：問 29-3〕

育児休業後に職場復帰した人に、復帰のタイミングを尋ねたところ、父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 4.0%、「それ以外だった」が 93.3%である一方、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 69.6%、「それ以外だった」が 26.8%となっている。

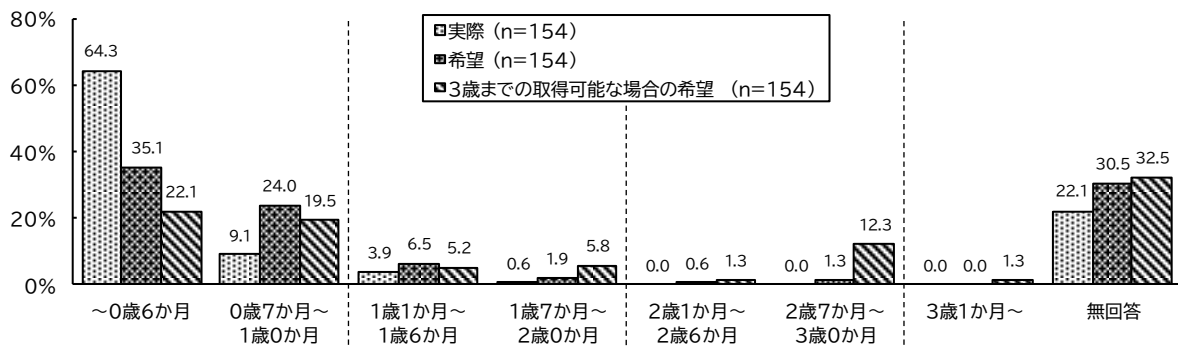


③父親－【育児休業後職場復帰者】

〔未就学児：問 29-4、29-5〕

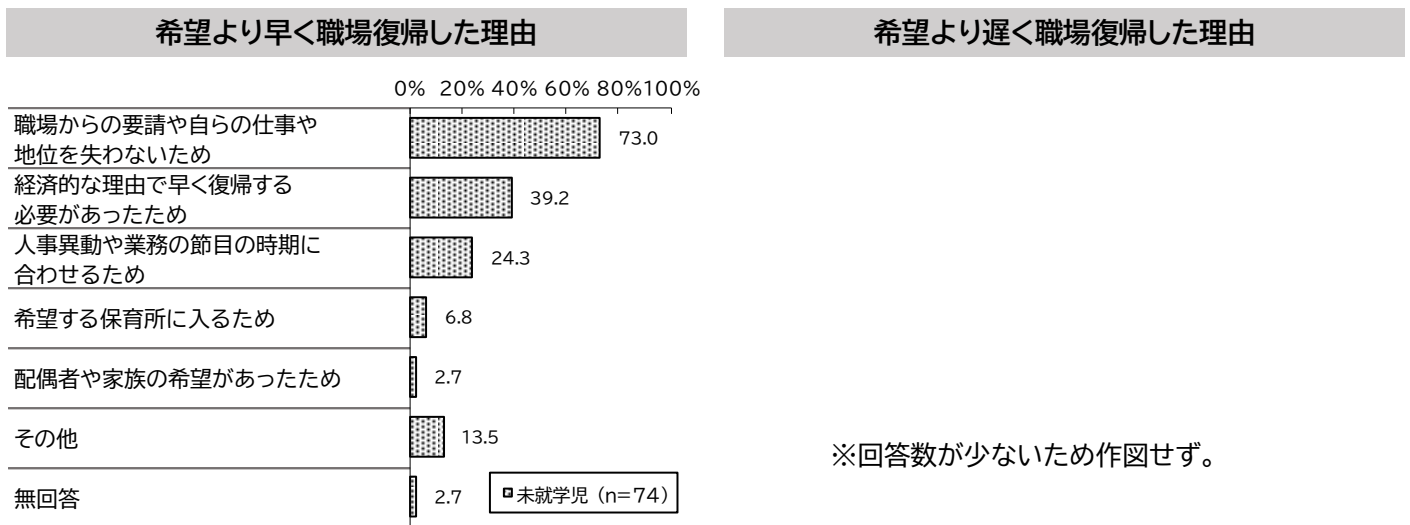
育児休業期間の実際と希望／3歳まで取得可能な場合の取得希望期間

育児休業期間について、父親の実際は「～0歳6か月」が 64.3%と最も多く、「0歳7か月～1歳0か月」の 9.1%と併せて 73.4%が1歳までに育児休業を終えている。希望については、1歳までの計で 59.1%と、実際に比べて 14.3 ポイント少なくなっている。1歳1か月以降の計は実際が 4.5%に対し、希望は 10.3%と 5.8 ポイント多くなっている。3歳まで取得が可能な場合に希望する期間は、「～0歳6か月」が 22.1%と最も多くなっている。



④父親－希望時期より早く職場復帰した理由／遅く職場復帰した理由(複数回答)〔未就学児：問 29-6〕

希望より早く職場に復帰した人にその理由を尋ねたところ、父親では「職場からの要請や自らの仕事や地位を失わないため」が 73.0%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 39.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 24.3%となっている。



⑤母親－【育児休業後職場復帰者】

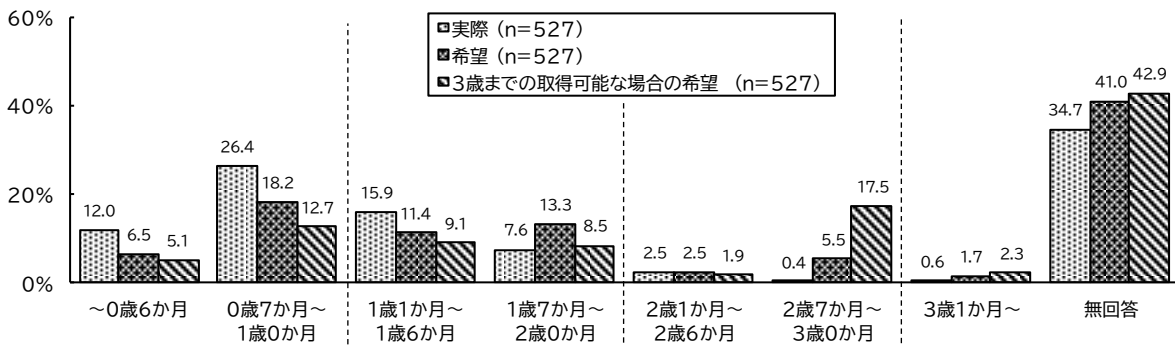
〔未就学児：問 29-4、29-5〕

育児休業期間の実際と希望／3歳まで取得可能な場合の取得希望期間

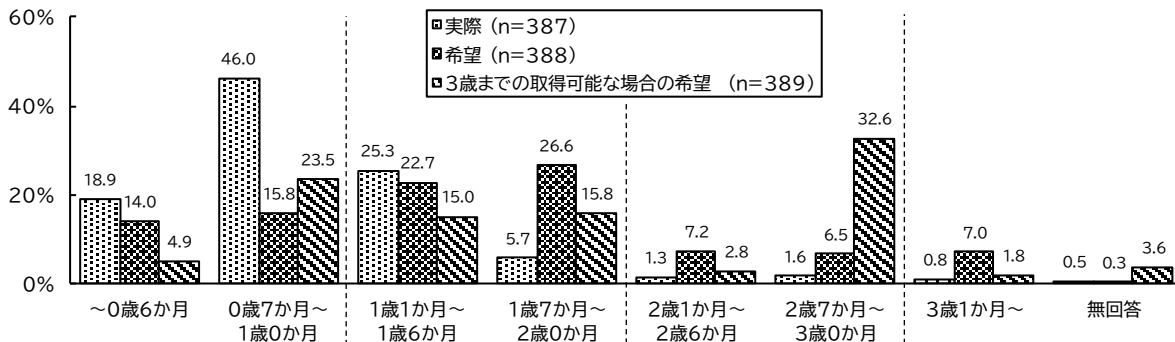
育児休業期間について、母親の実際は「0歳7か月～1歳0か月」が 26.4%と最も多く、「～0歳6か月」の 12.0%と併せて 38.4%が1歳までに育児休業を終えている。希望については、1歳までの計で 24.7%と、実際に比べて13.7ポイント少なくなっている。1歳1か月以降の計は実際が27.0%に対し、希望は 34.4%と 7.4ポイント多くなっている。3歳まで取得が可能な場合に希望する期間は、「2歳7か月～3歳0か月」が 17.5%と最も多くなっている。

平成 30 年の調査結果と比較すると、希望については、1歳までの計は平成 30 年の 29.8%から令和5年の 24.7%と 5.1ポイント減少している。また、1歳1か月から2歳までの計も 49.3%から 24.7%と 24.6ポイント減少しており、母親が早期の職場復帰を希望する傾向がうかがえる。

【母親(令和5年)】

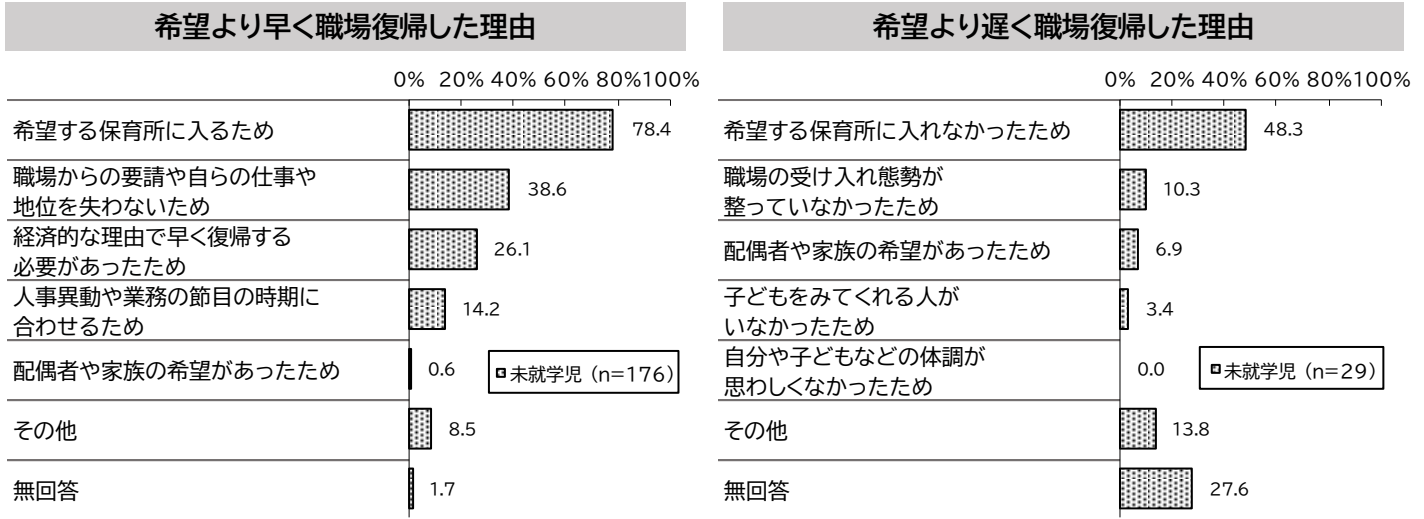


【母親(平成 30 年)】



⑥母親－希望時期より早く職場復帰した理由／遅く職場復帰した理由(複数回答)

希望より早く職場に復帰した人にその理由を尋ねたところ、母親では「希望する保育所に入るため」が78.4%と最も多くなっている。反対に、希望より遅く復帰した人にその理由を尋ねたところ、「希望する保育所に入れなかったため」が48.3%と最も多く、保育所の入所状況が職場復帰に影響している様子がうかがえる。

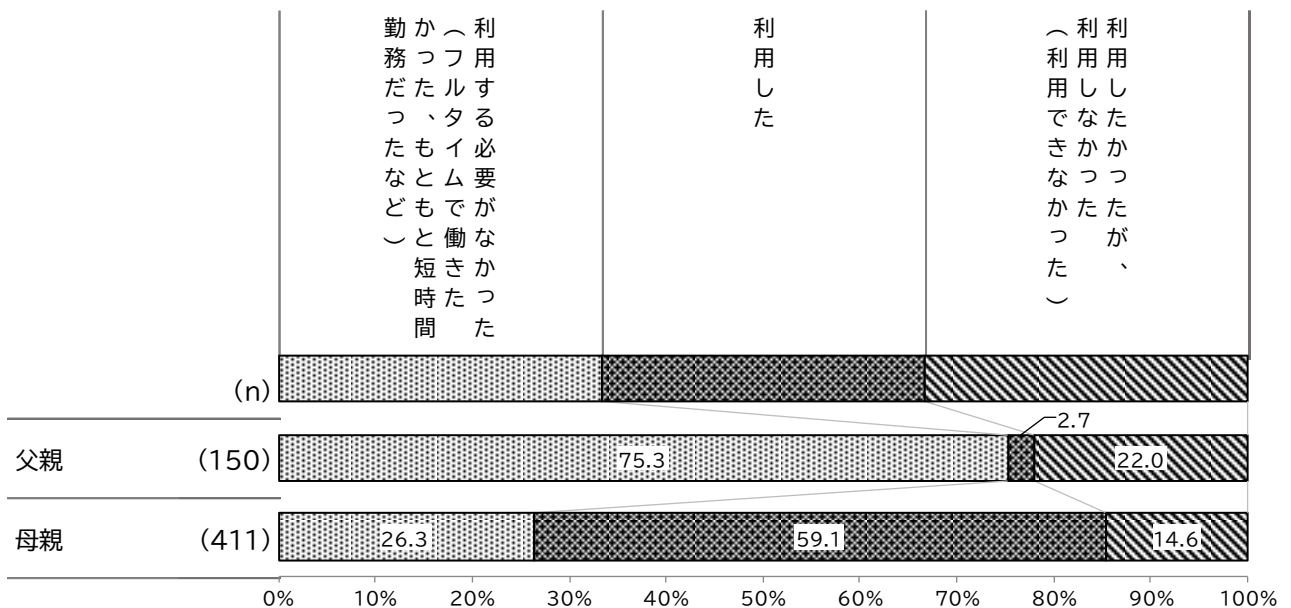


(4)短時間勤務制度の利用状況

①【育児休業職場復帰者】短時間勤務制度の利用状況

育児休業後、職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況については、母親では「利用した」が59.1%と約6割となっている。「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だったなど)」が26.3%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が14.6%となっている。

父親では、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が7割以上となっている。



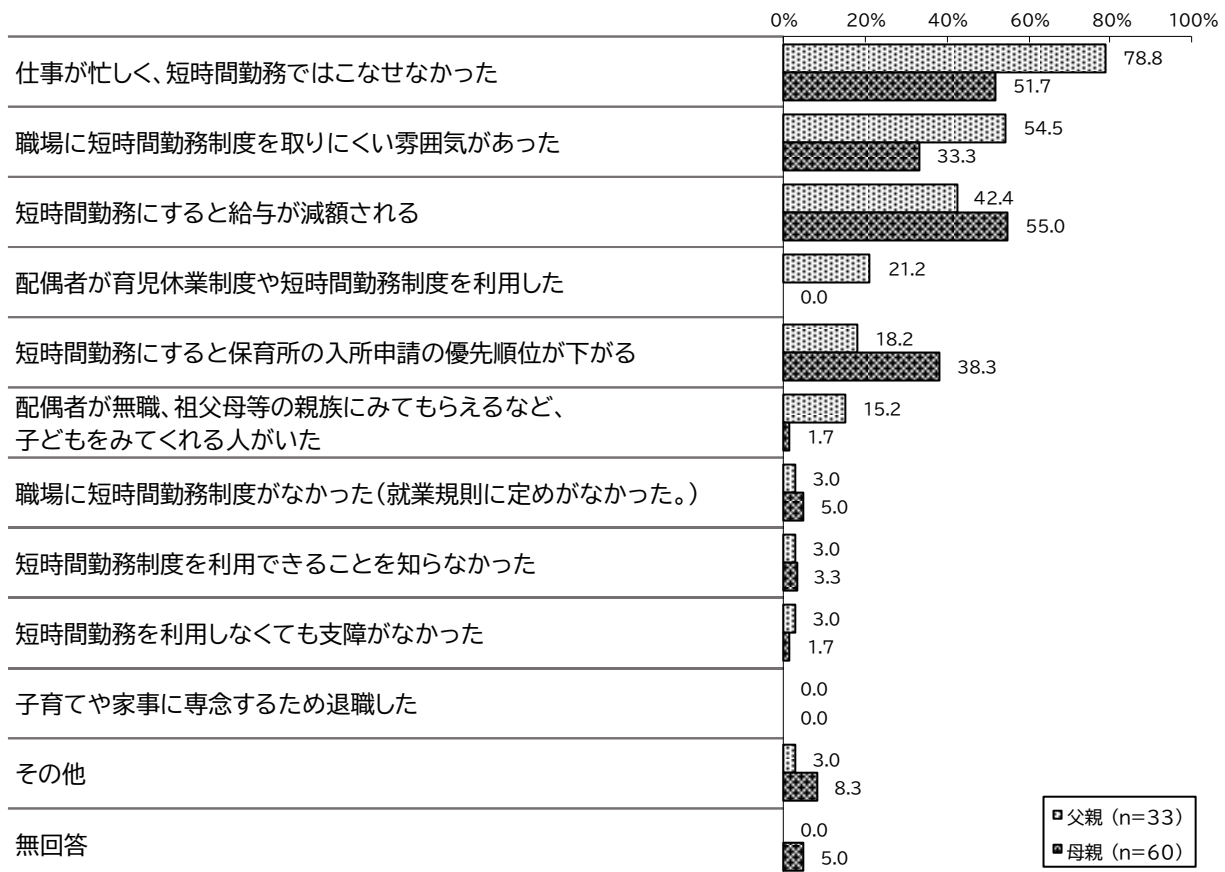
②【短時間勤務制度を「利用したかったが利用しなかった」人】

短時間勤務制度を利用しなかった理由(複数回答)

[未就学児：問 29-8]

短時間勤務制度を「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した人にその理由を尋ねたところ、父親では「仕事が忙しく、短時間勤務ではこなせなかった」が78.8%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が54.5%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が42.4%となっている。

母親では「短時間勤務にすると給与が減額される」が55.0%と最も多く、次いで「仕事が忙しく、短時間勤務ではこなせなかった」が51.7%、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が38.3%となっている。

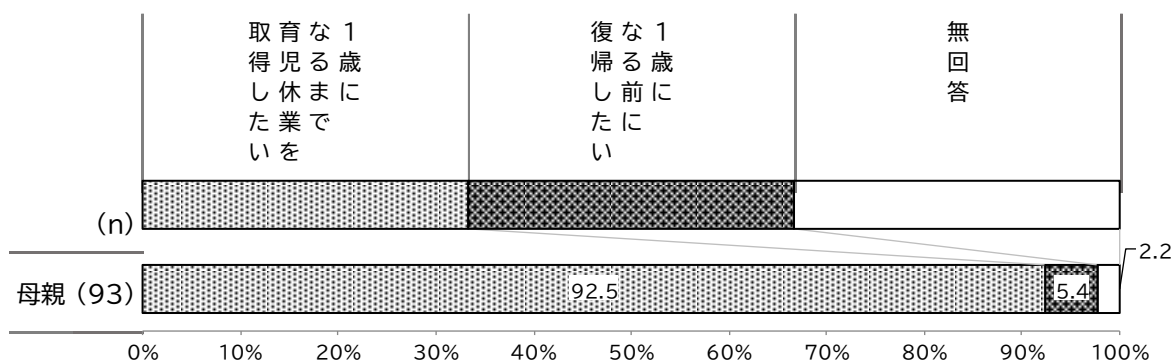


(5)【現在育児休暇中の人】

1歳時に預け先が確保されている場合の職場復帰時期の希望

[未就学児：問 29-9]

現在も育児休業中と回答した人に、1歳時に預け先が確保されている場合の職場復帰の時期の希望について尋ねたところ、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が92.5%、「1歳になる前に復帰したい」が5.4%となっている。

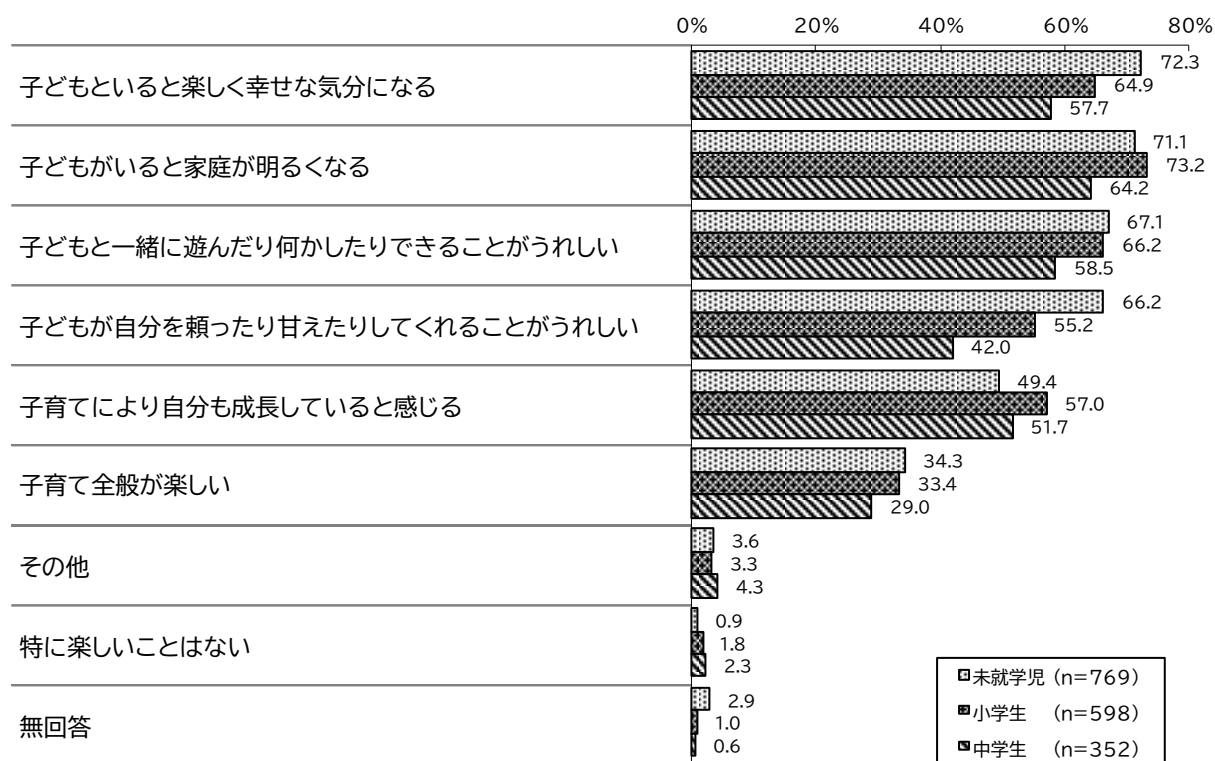


※父親(n=3)は回答数が少ないため作図せず。

12 子育てのイメージ／不安・悩みについて

(1) 子育てをする上で楽しいと感じるとき(複数回答) 〔未就学児：問 30〕〔小学生：問 14〕〔中学生：問 9〕

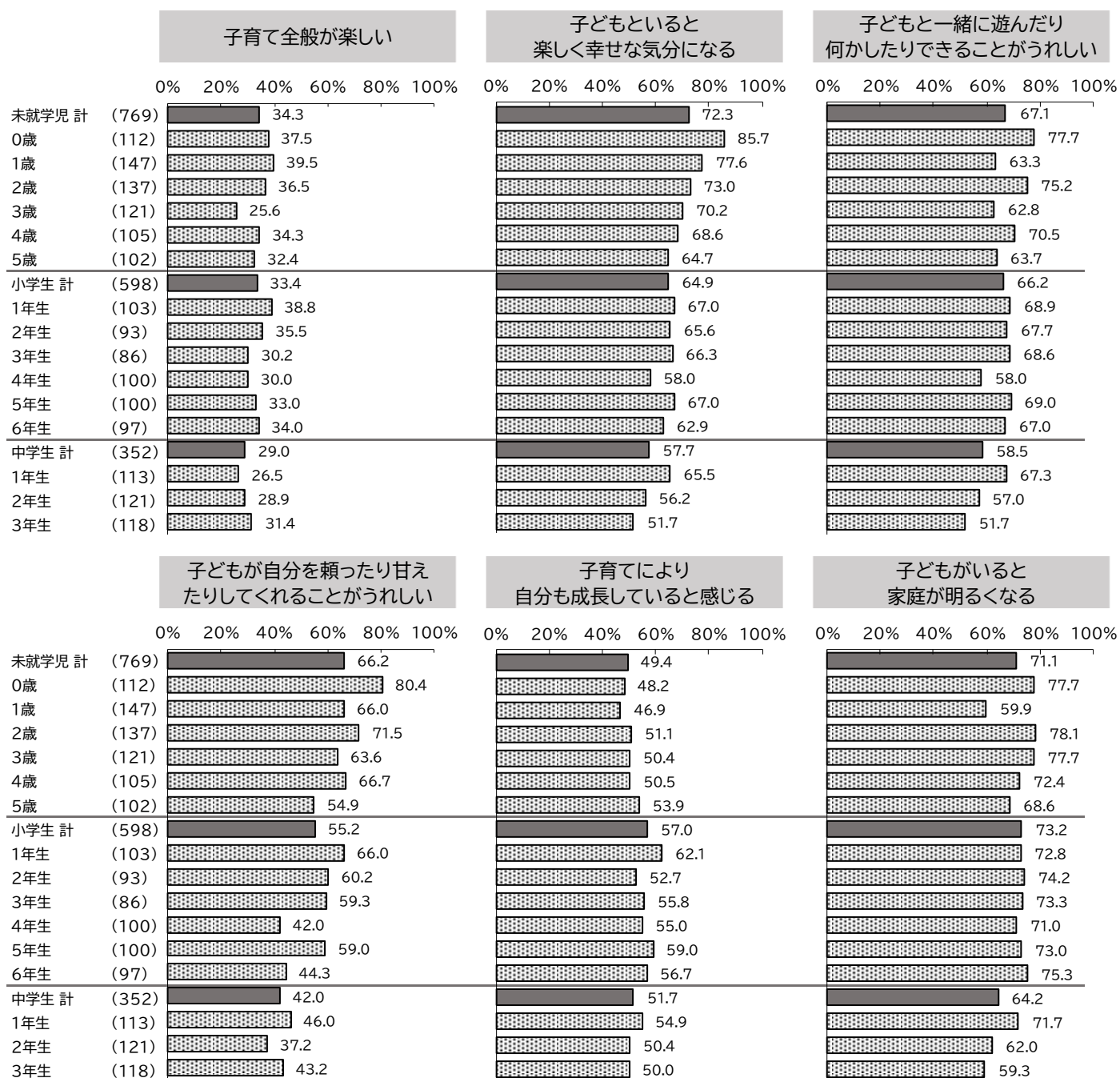
子育てをする上で楽しいと感じるときについて、「子どもといると楽しく幸せな気分になる」と回答したのは、未就学児の保護者が72.3%、小学生の保護者が64.9%、中学生の保護者が57.7%となっている。「子どもがいると家庭が明るくなる」は未就学児の保護者が71.1%、小学生の保護者が73.2%、中学生の保護者が64.2%となっている。

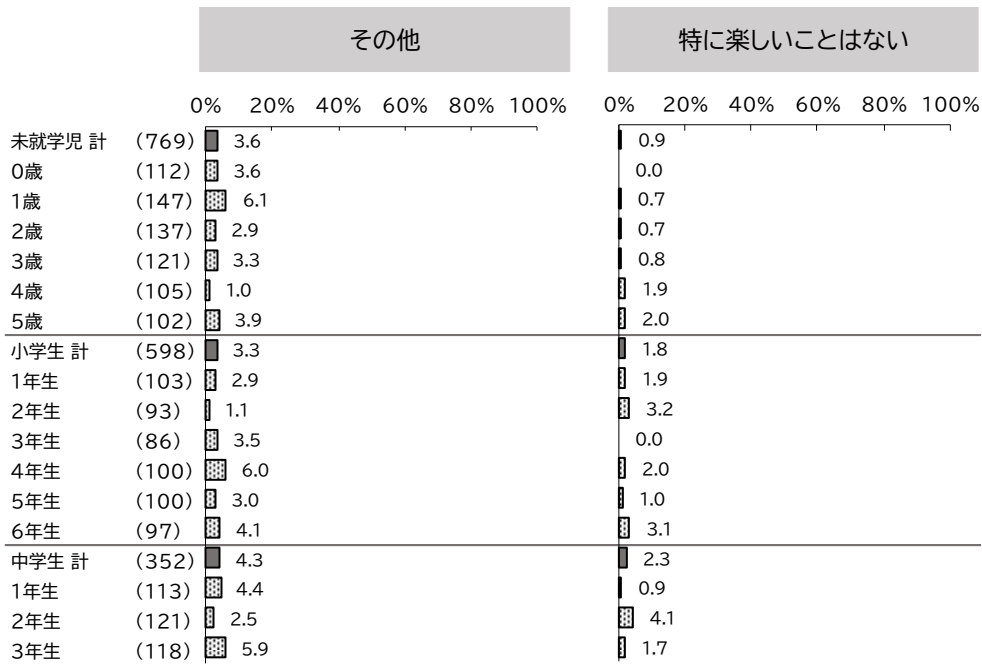


《 子育ての楽しさ・辛さの感じ方－子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、「子どもといると楽しく幸せな気分になる」は、未就学児の保護者で0歳が8割半ばとなっており、年齢が上がるにつれ減少していく傾向がうかがえる。小学生においては、4年生を除く全ての学年が6割台となっている。中学生においては、1年生が6割台半ばと最も多くなっている。

「子どもがいたら家庭が明るくなる」は、未就学児の保護者で0歳、2歳、3歳が7割後半となっている。小学生においては、全ての学年で7割台となっている。中学生においては、1年生が7割前半で最も多くなっている。





(2)子育てをする上での不安や悩み(複数回答)

〔未就学児：問 31〕

〔小学生：問 15〕

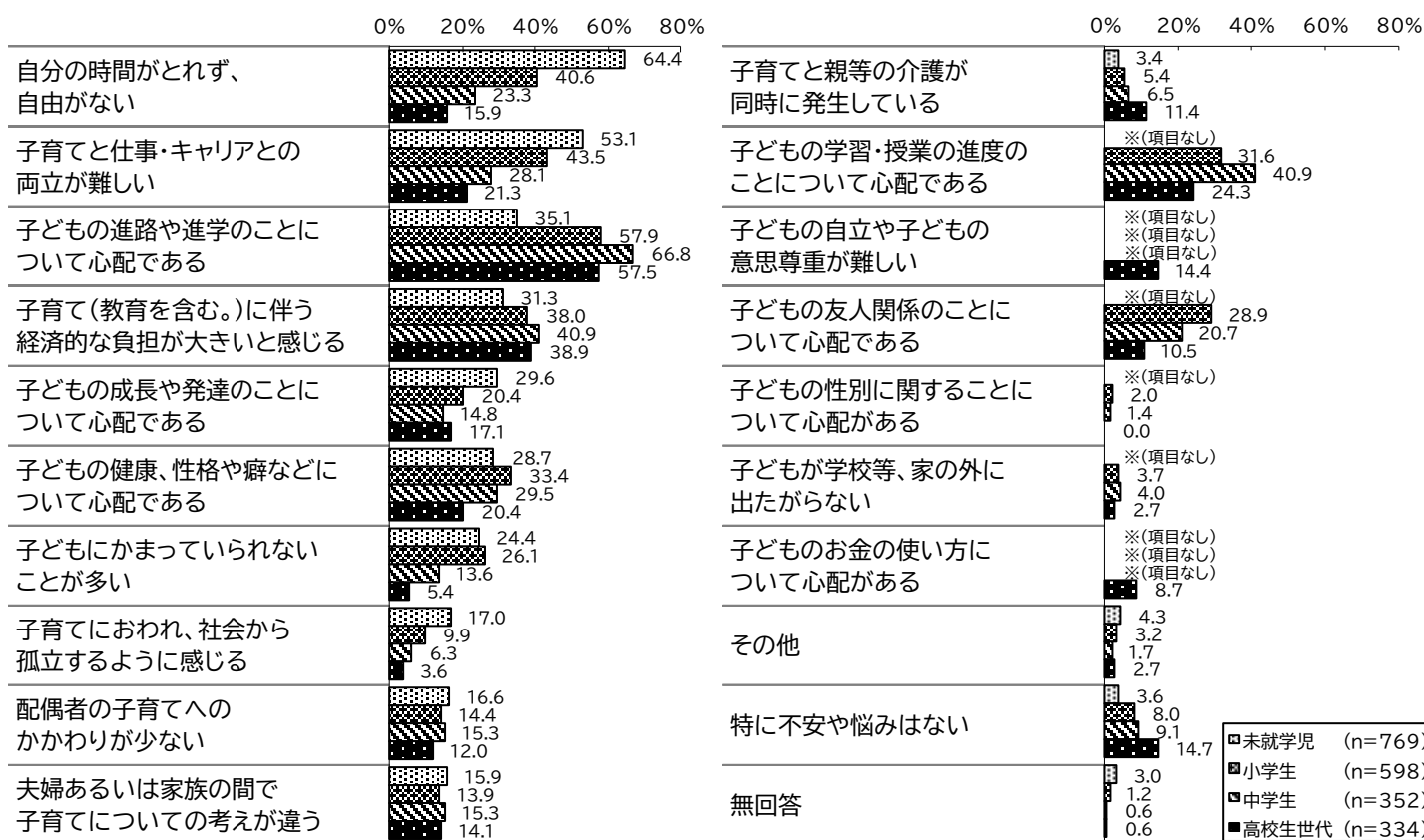
〔中学生：問 10〕

〔高校生世代：問 8〕

①未就学児の保護者、小学生の保護者、中学生の保護者、高校生世代の保護者

子育てをする上での不安や悩みについて、未就学児の保護者は「自分の時間がとれず、自由がない」が64.4%と最も多く、次いで「子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい」が53.1%となっている。

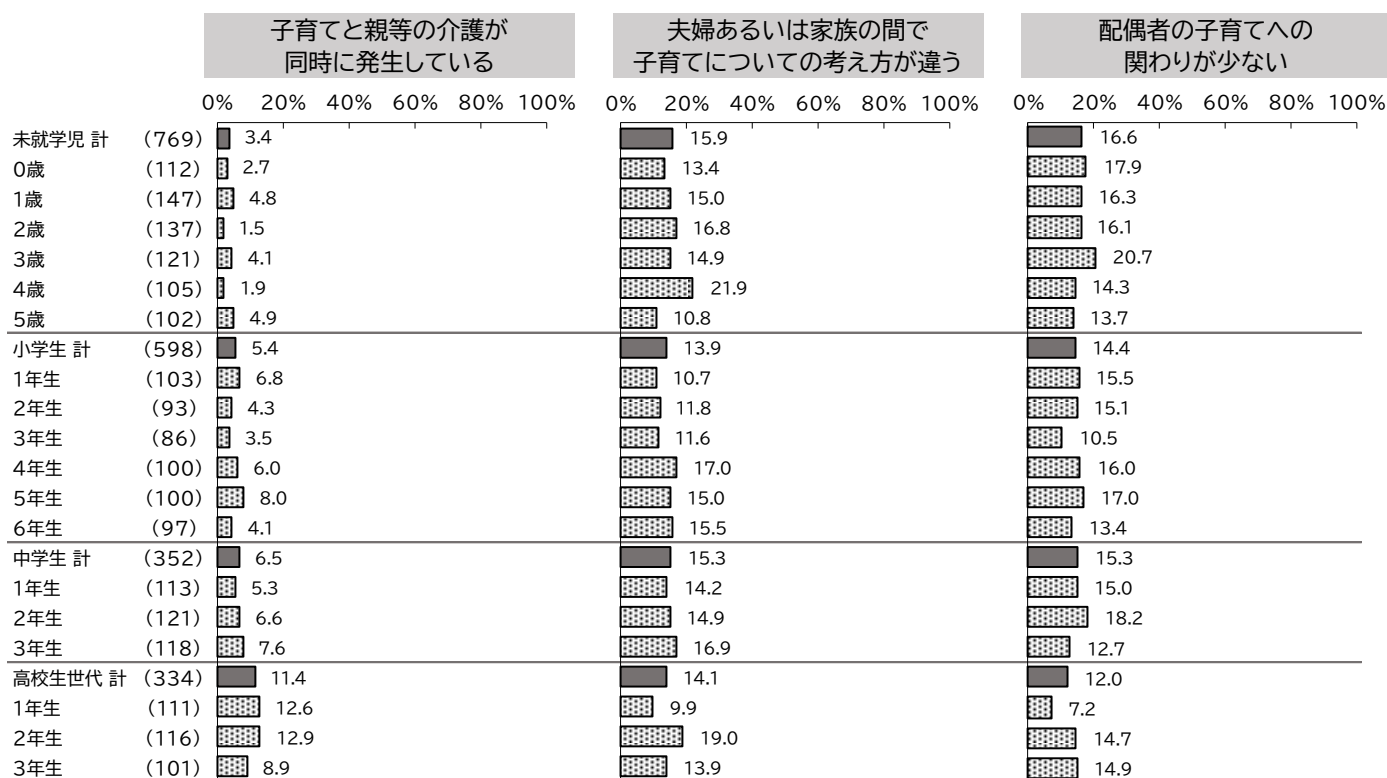
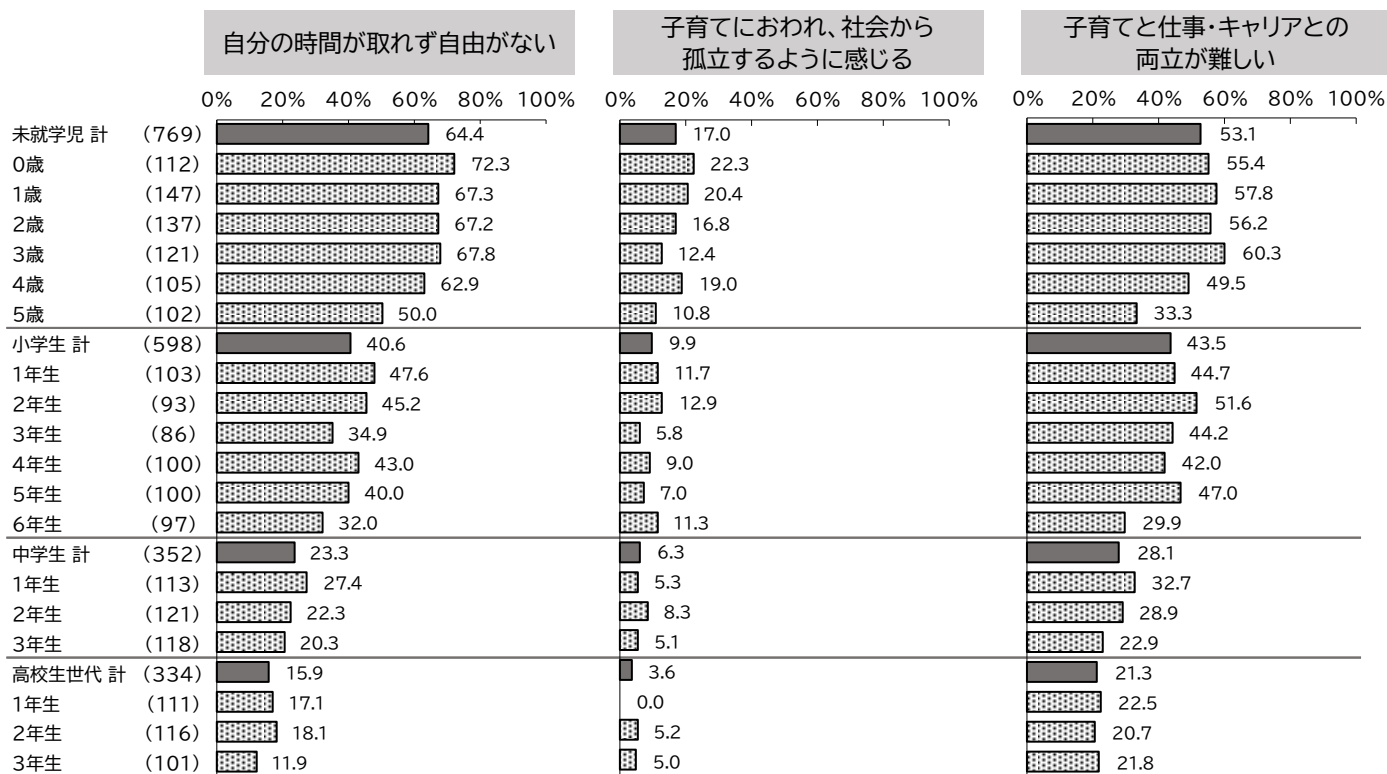
一方、小学生の保護者、中学生の保護者及び高校生世代の保護者で最も多いのは「子どもの進路や進学のことについて心配である」で、それぞれ57.9%、66.8%、57.5%となっている。次いで、小学生の保護者では「子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい」が43.5%、中学生の保護者では「子育て(教育を含む。)に伴う経済的な負担が大きいと感じる」と「子どもの学習・授業の進捗のことについて心配である」がともに40.9%、高校生世代の保護者では「子育て(教育を含む。)に伴う経済的な負担が大きいと感じる」が38.9%となっており、子どもの成長に伴う教育や経済的不安が上位となっている。

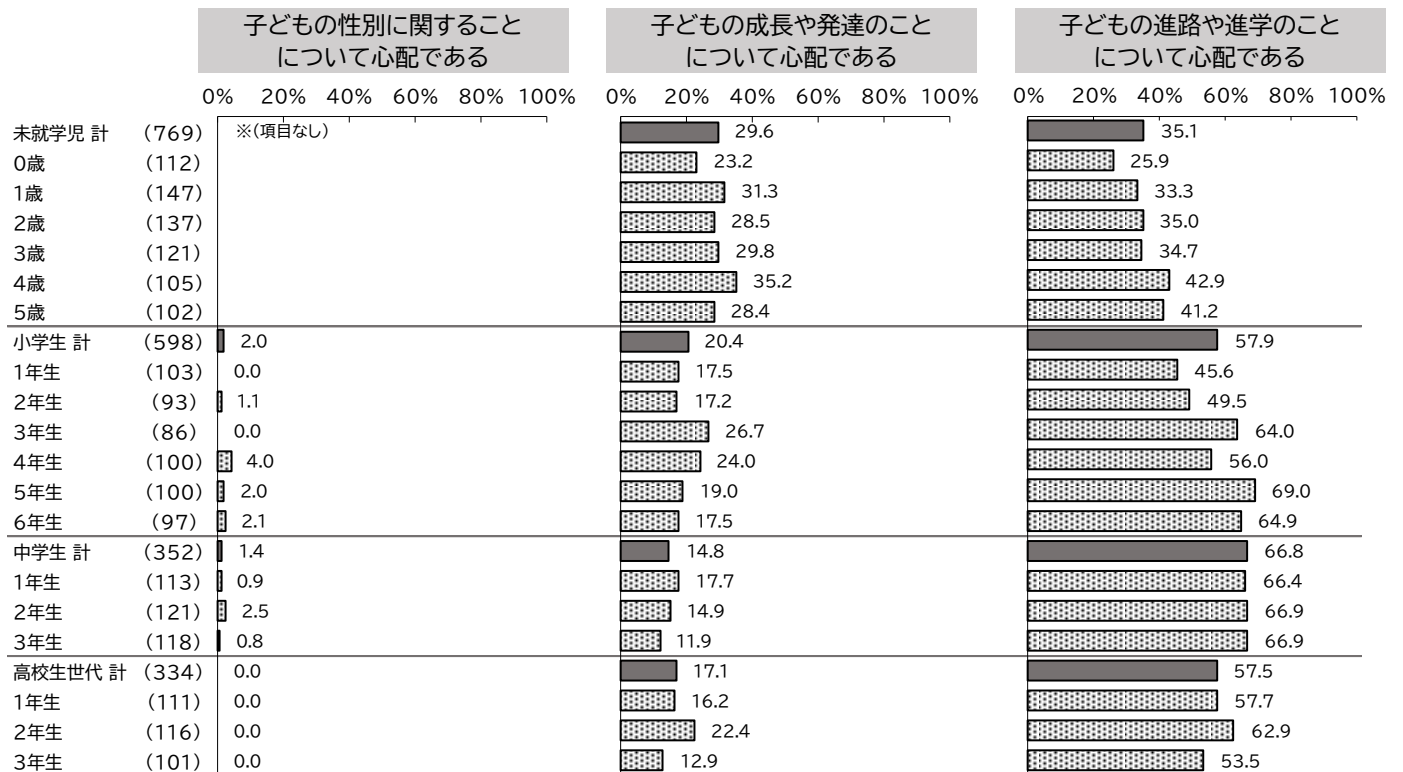
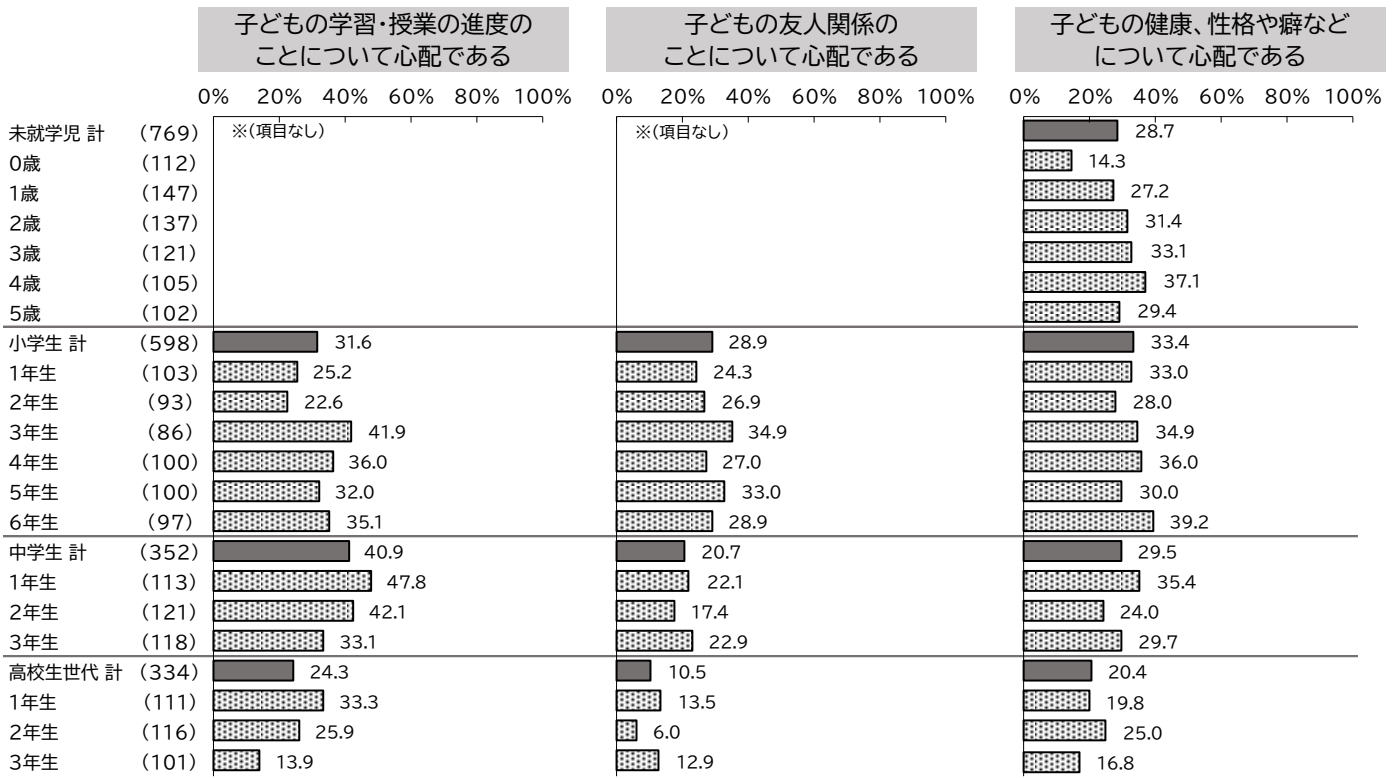


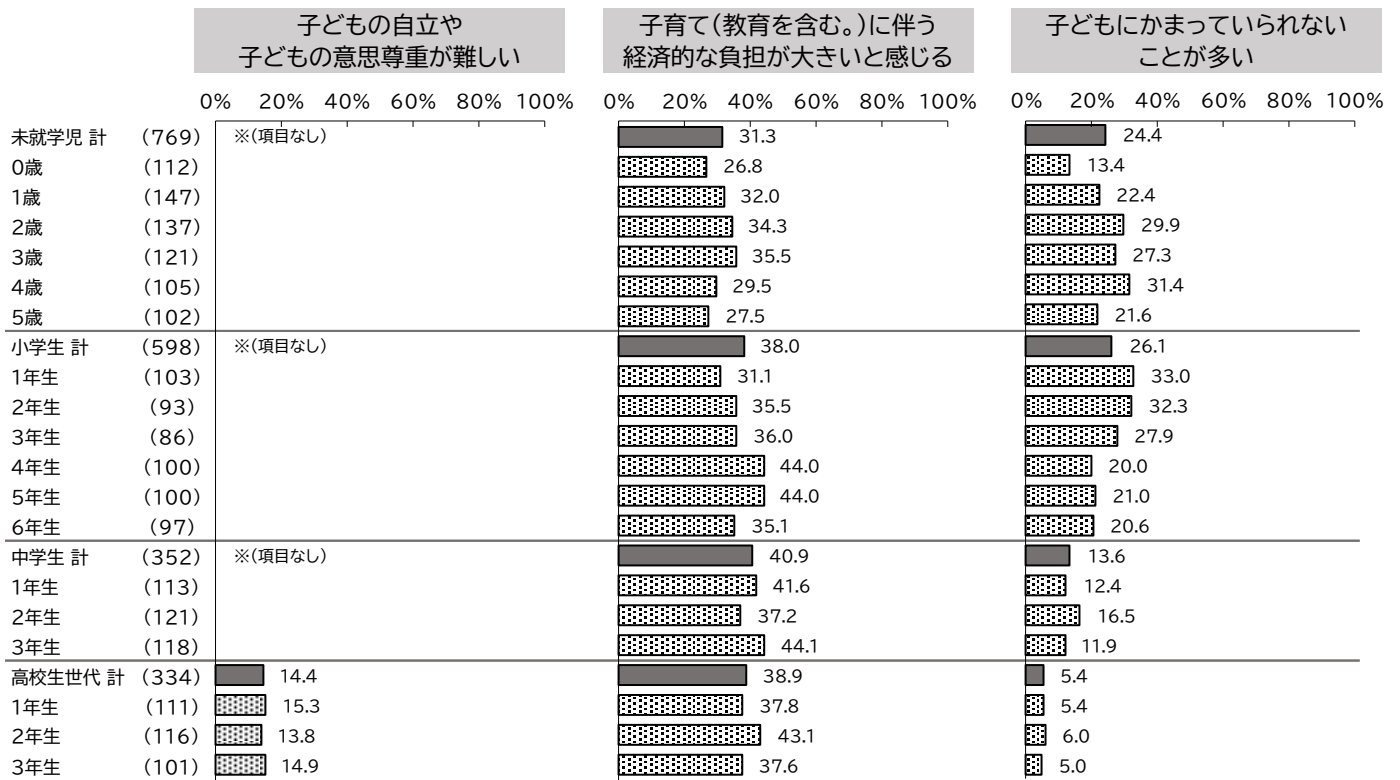
《 子育てをする上での不安や悩み－子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、「自分の時間がとれず、自由がない」は、未就学児の保護者で0歳が7割を超えて最も多く、1歳から4歳は6割台となっている。また、小学生の保護者及び中学生の保護者では1年生、高校生世代の保護者では2年生が最も多くなっている。

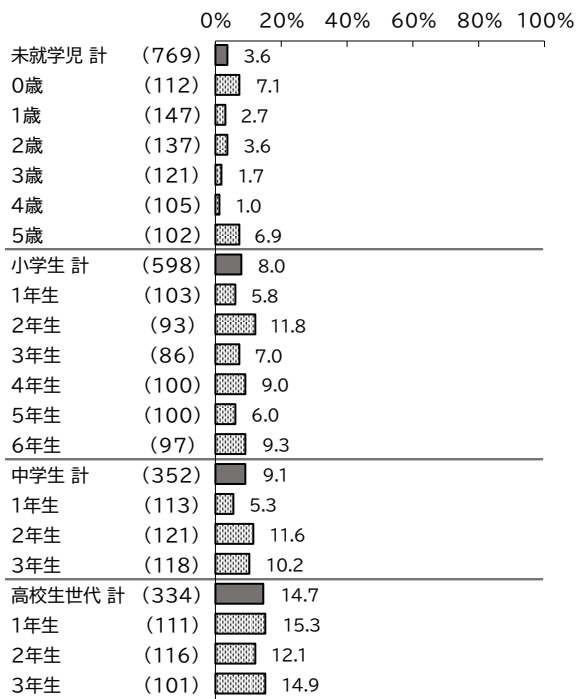
「子どもの進路や進学のことについて心配である」は、未就学児の保護者で4歳及び5歳が4割台、小学生の保護者では3年生、5年生、6年生が6割台、高校生世代の保護者では2年生が6割台で多くなっている。







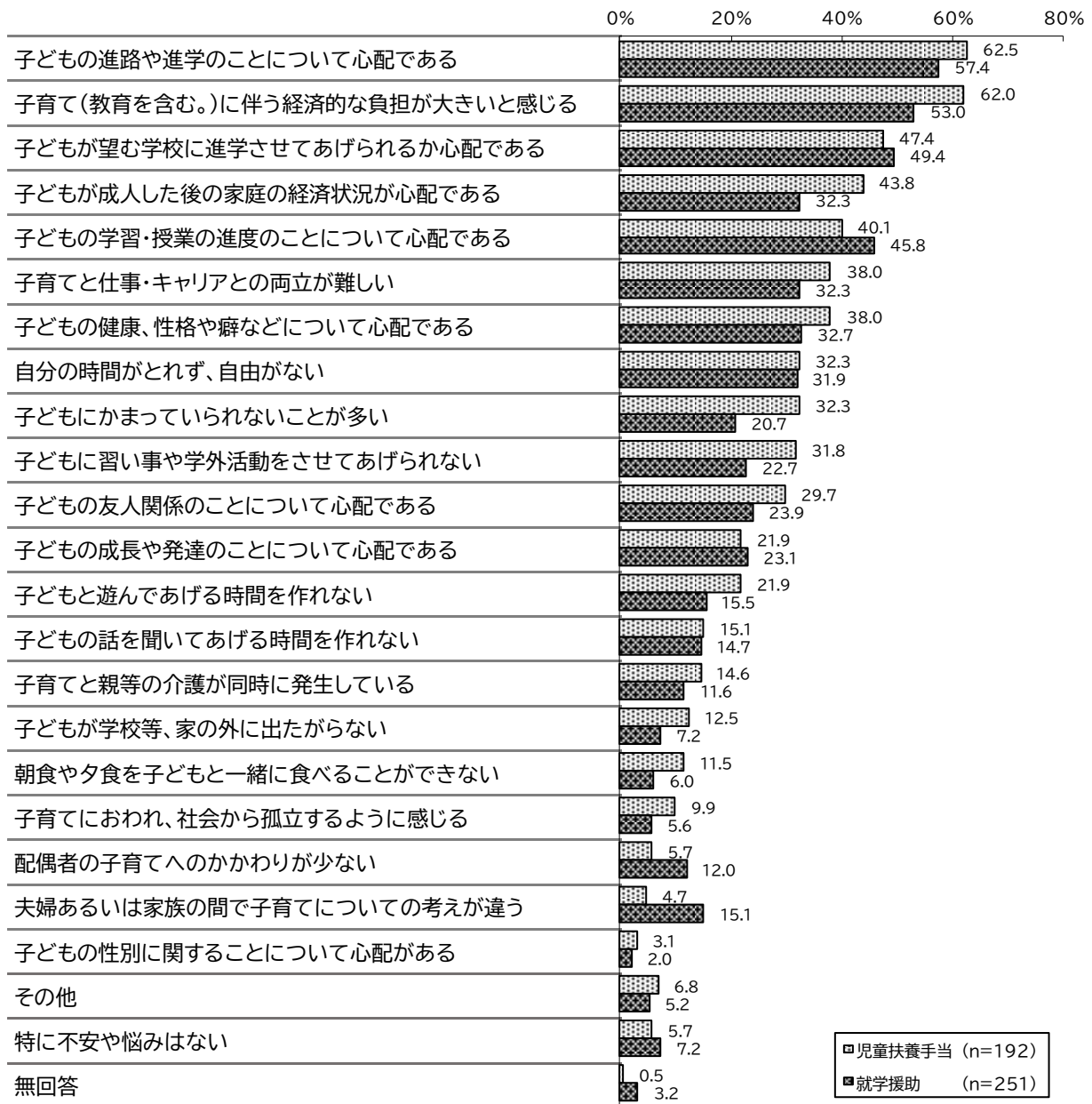
特に不安や悩みはない



②児童扶養手当受給保護者、就学援助受給世帯保護者

〔児童扶養手当：問 16〕〔就学援助：問 16〕

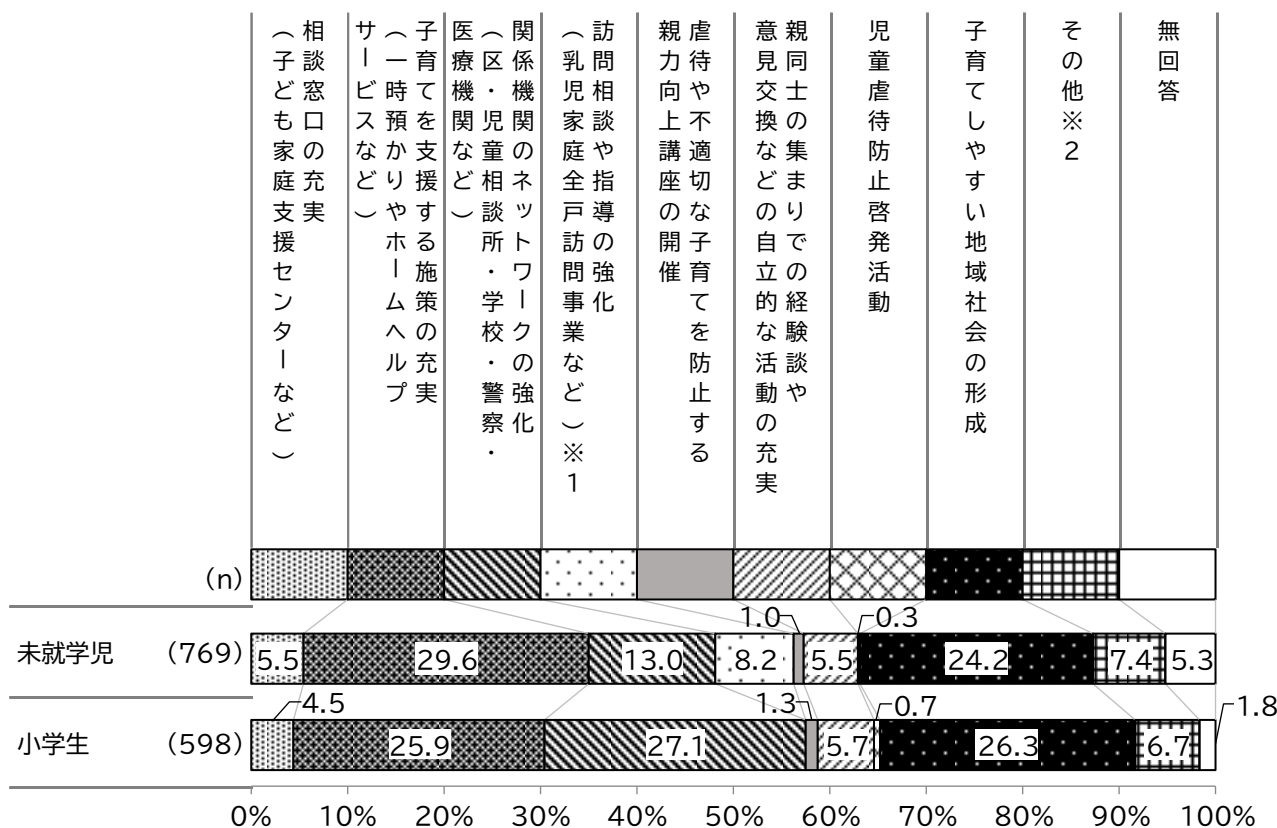
子育てをする上での不安や悩みについて、児童扶養手当受給保護者及び就学援助受給世帯保護者は「子どもの進路や進学のことについて心配である」がそれぞれ 62.5%、57.4%と最も多く、次いで「子育て(教育を含む。)に伴う経済的な負担が大きいと感じる」がそれぞれ 62.0%、53.0%となっている。



(3) 児童虐待や不適切な子育て防止のために最も効果的と思うこと [未就学児：問32] [小学生：問18]

児童虐待や不適切な子育て防止のために最も効果的と思うことを尋ねたところ、未就学児の保護者では「子育てを支援する施策の充実(一時預かりやホームヘルプサービスなど)」が 29.6%、小学生の保護者では「関係機関のネットワークの強化(区・児童相談所・学校・警察・医療機関など)」が 27.1%で最も多くなっている。次いで、未就学児の保護者と小学生の保護者ともに「子育てしやすい地域社会の形成」となっており、それぞれ 24.2%、26.3%となっている。

「関係機関のネットワークの強化(区・児童相談所・学校・警察・医療機関など)」については、未就学児の保護者に比べ、小学生の保護者が 14.1 ポイント多く回答している。



※1 「訪問相談や指導の強化(乳児家庭全戸訪問事業など)」は小学生調査では項目なし

※2 その他:学校教育の充実、児童相談所等行政の権限強化、経済的負担の軽減など

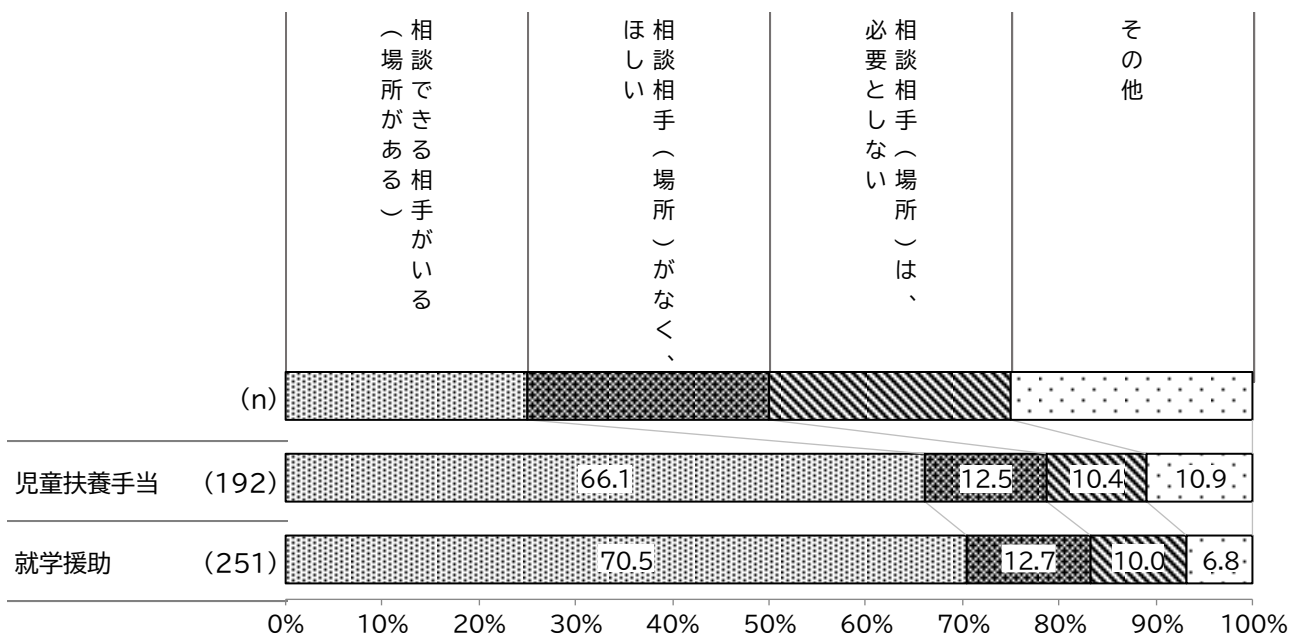
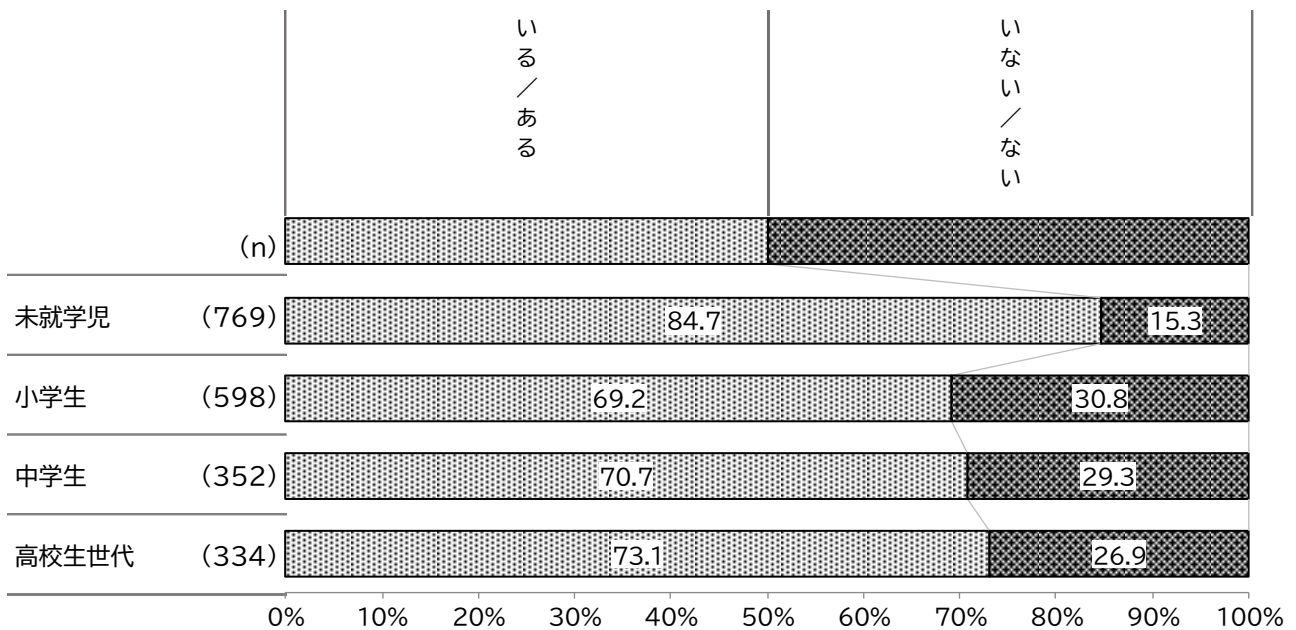
(4)子育て(教育を含む。)に関する相談先

〔未就学児：問 33〕〔小学生：問 16〕〔中学生：問 11〕〔高校生世代：問 9〕
 〔児童扶養手当：問 17〕〔就学援助：問 17〕

①相談先の有無

子育て(教育を含む。)に関する相談先の有無については、「いる／ある」と回答したのは、未就学児の保護者は 84.7%、小学生の保護者は 69.2%、中学生の保護者は 70.7%、高校生世代の保護者が 73.1%となっている。

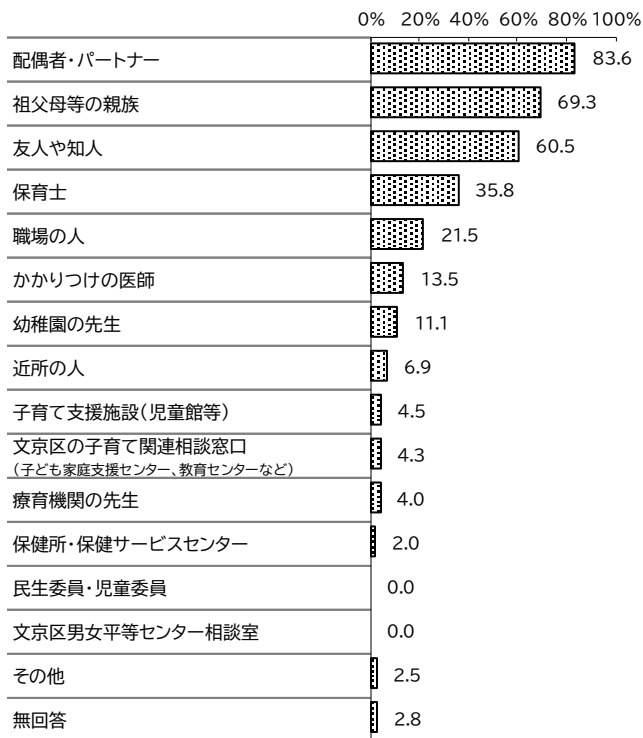
児童扶養手当受給保護者及び就学援助受給世帯保護者は「相談できる相手がいる(場所がある)」がそれぞれ 66.1%、70.5%、「相談相手(場所)がなく、ほしい」がそれぞれ 12.5%、12.7%となっている。



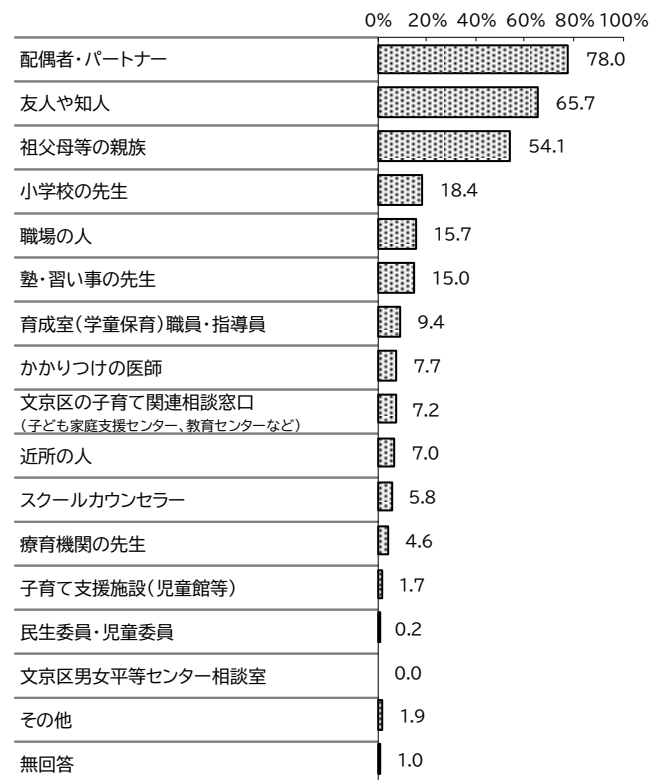
②【相談先「いる／ある」人】相談相手・場所(複数回答)

子育て(教育を含む。)に関する相談先が「いる／ある」と回答した人に、相談相手・場所を尋ねたところ、未就学児の保護者、小学生の保護者、中学生の保護者及び高校生世代の保護者は「配偶者・パートナー」が、それぞれ83.6%、78.0%、77.1%、72.5%と最も多くなっている。次いで、未就学児の保護者では「祖父母等の親族」が69.3%、小学生の保護者、中学生の保護者及び高校生世代の保護者では、「友人や知人」がそれぞれ65.7%、59.8%、61.9%となっている。

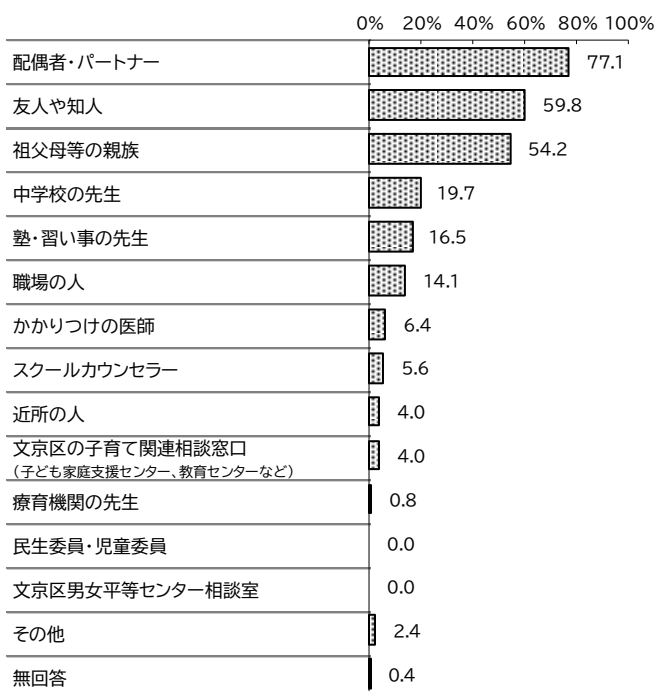
未就学児 n=651



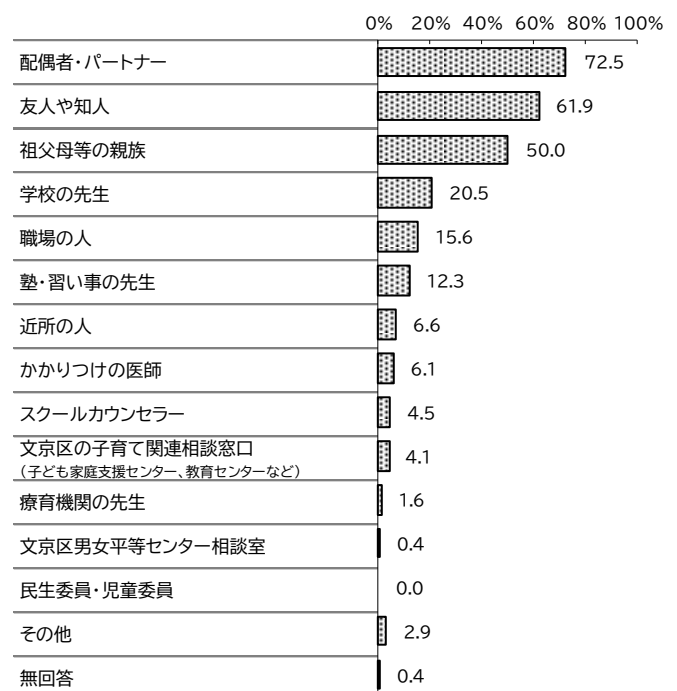
小学生 n=414



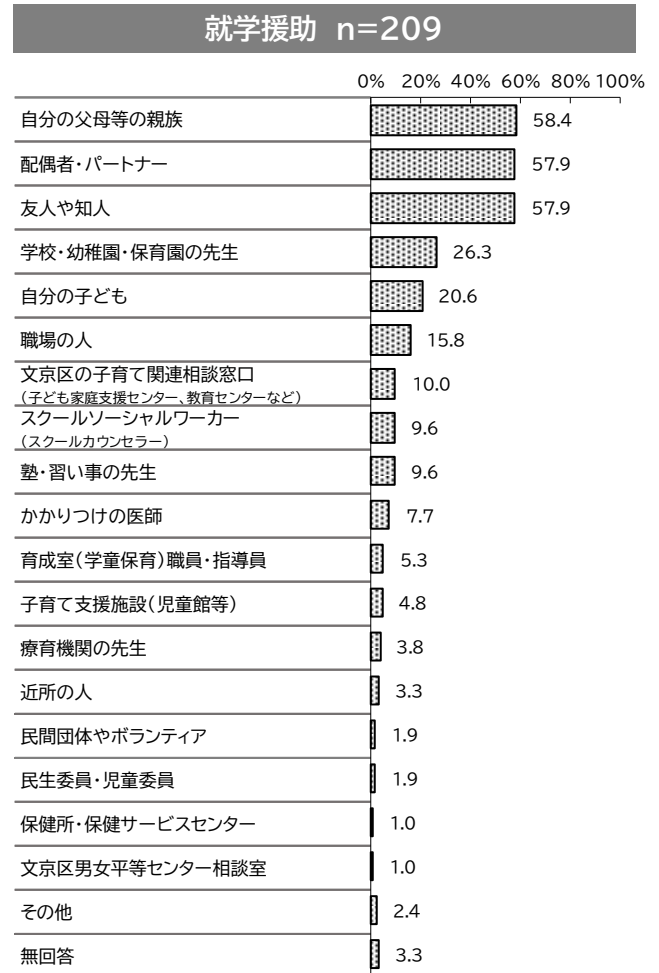
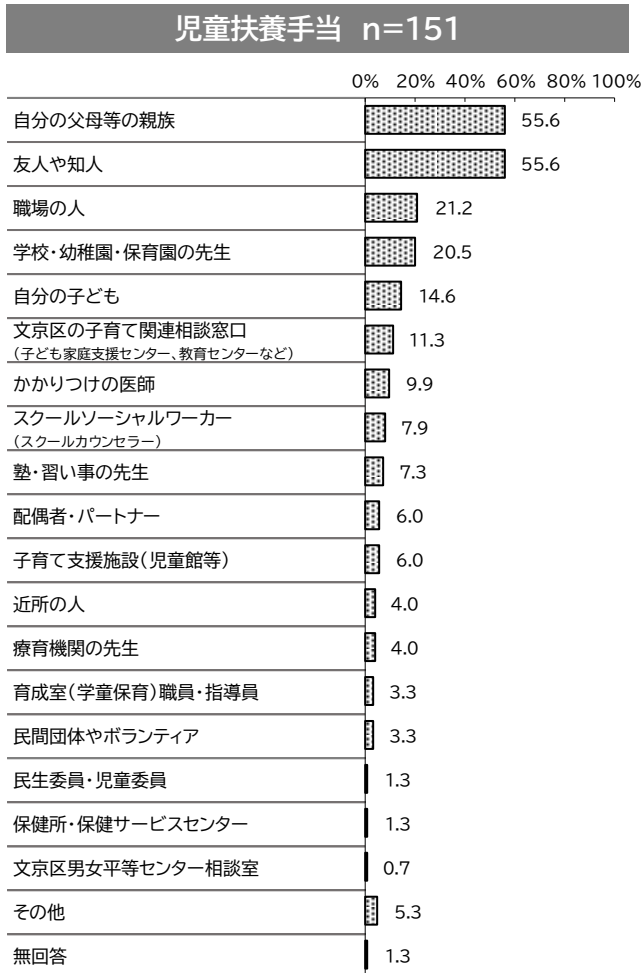
中学生 n=249



高校生世代 n=244



児童扶養手当受給保護者及び就学援助受給世帯保護者はともに「自分の父母等の親族」が、それぞれ 55.6%、58.4%と最も多くなっている。また、児童扶養手当受給保護者は「友人や知人」も 55.6%で最も多くなっている。次いで、児童扶養手当受給保護者では「職場の人」が 21.2%、「学校・幼稚園・保育園の先生」が 20.5%、就学援助受給世帯保護者では「配偶者・パートナー」と「友人や知人」が 57.9%、「学校・幼稚園・保育園の先生」が 26.3%となっている。



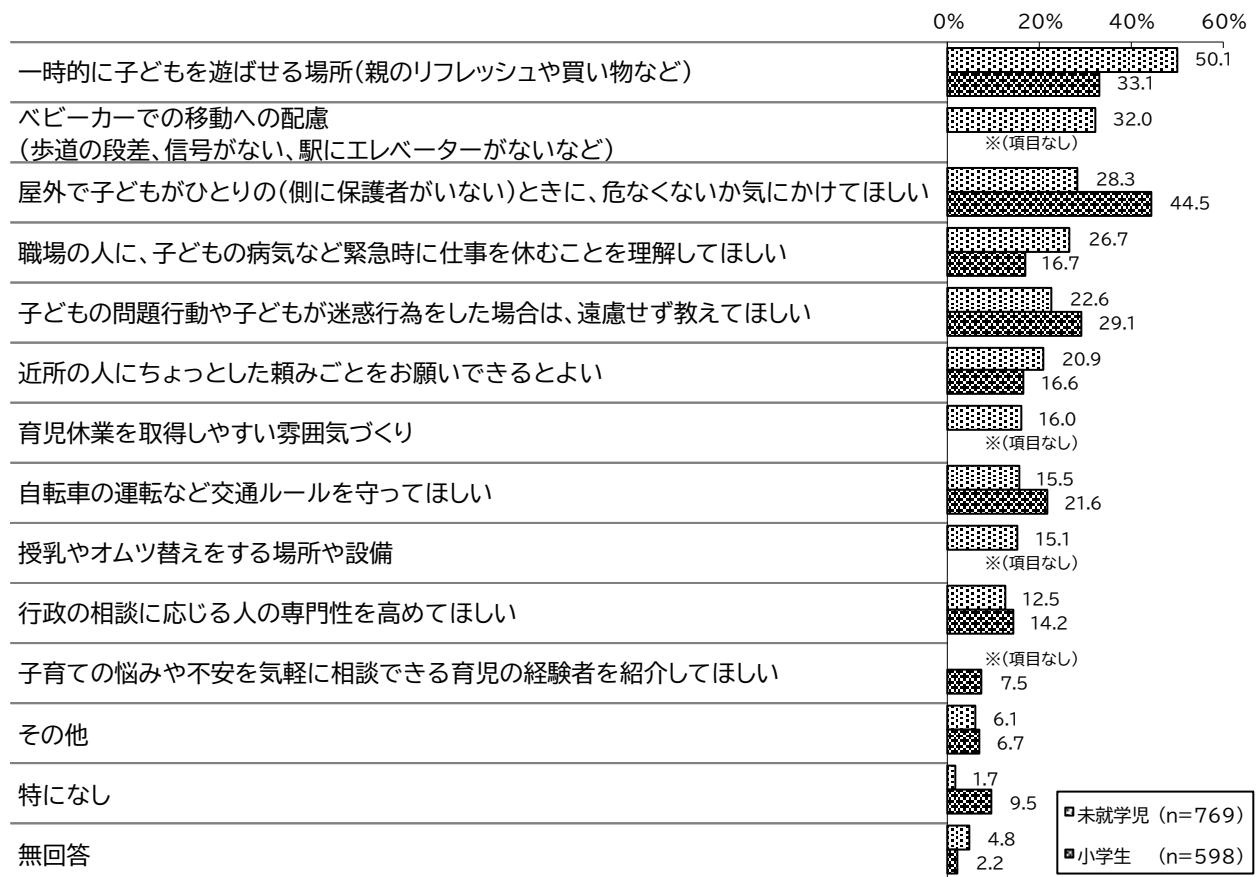
(5)子育てする上で周囲の人や行政担当者などからほしいサポート(3つ回答)

[未就学児：問34]

[小学生：問17]

子育てをする上で周囲の人や行政担当者などからほしいサポートについて尋ねたところ、未就学児の保護者は「一時的に子どもを遊ばせる場所(親のリフレッシュや買い物など)」が 50.1%と最も多く、次いで「ベビーカーでの移動への配慮(歩道の段差、信号がない、駅にエレベーターがないなど)」が 32.0%、「屋外で子どもがひとりの(側に保護者がいない)ときに、危なくないか気にかけてほしい」が 28.3%となっている。

小学生の保護者は「屋外で子どもがひとりの(側に保護者がいない)ときに、危なくないか気にかけてほしい」が 44.5%と最も多く、次いで「一時的に子どもを遊ばせる場所(親のリフレッシュや買い物など)」が 33.1%となっている。

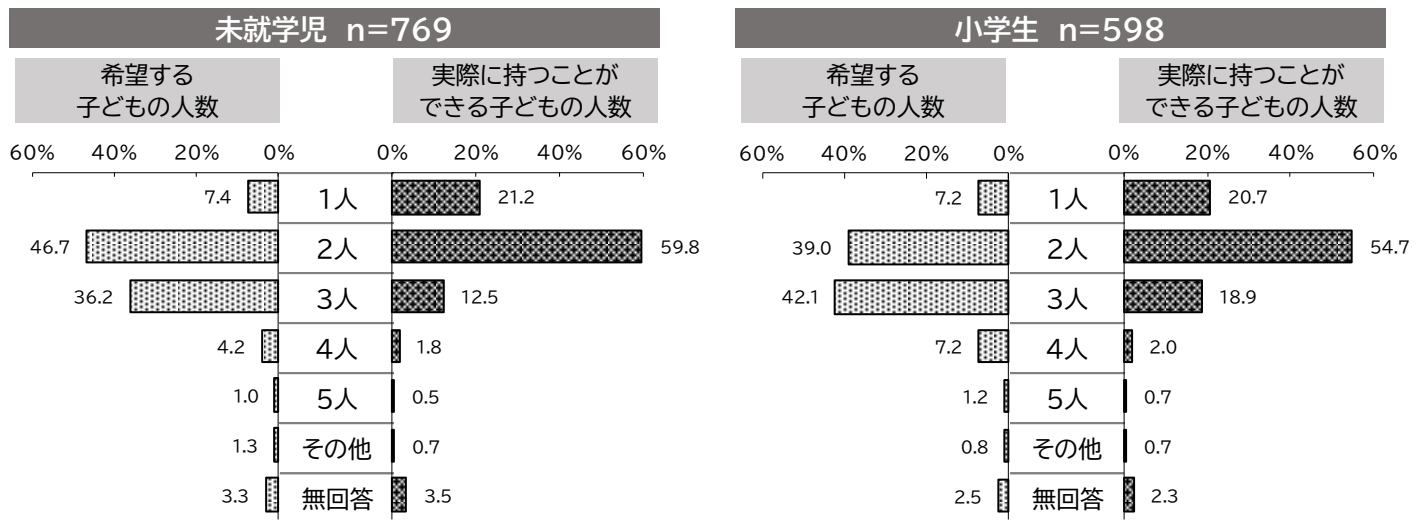


(6)子どもの人数の希望・現実

①希望する人数と実際に持つことができると思う人数

[未就学児：問35] [小学生：問23]

希望する子どもの人数と実際に持つことができると思う子どもの人数を尋ねたところ、未就学児の保護者が希望する子どもの人数は「2人」が46.7%で最も多くなっている。小学生の保護者が希望する子どもの人数は「3人」が42.1%で最も多くなっている。実際に持つことができる子どもの人数は「2人」がともに60%弱となっている。希望する子どもの人数が「1人」と回答した未就学児の保護者、小学生の保護者はともに10%未満と少ない一方、実際に持つことができる子どもの人数として「1人」と回答した割合はともに20%強となっている。



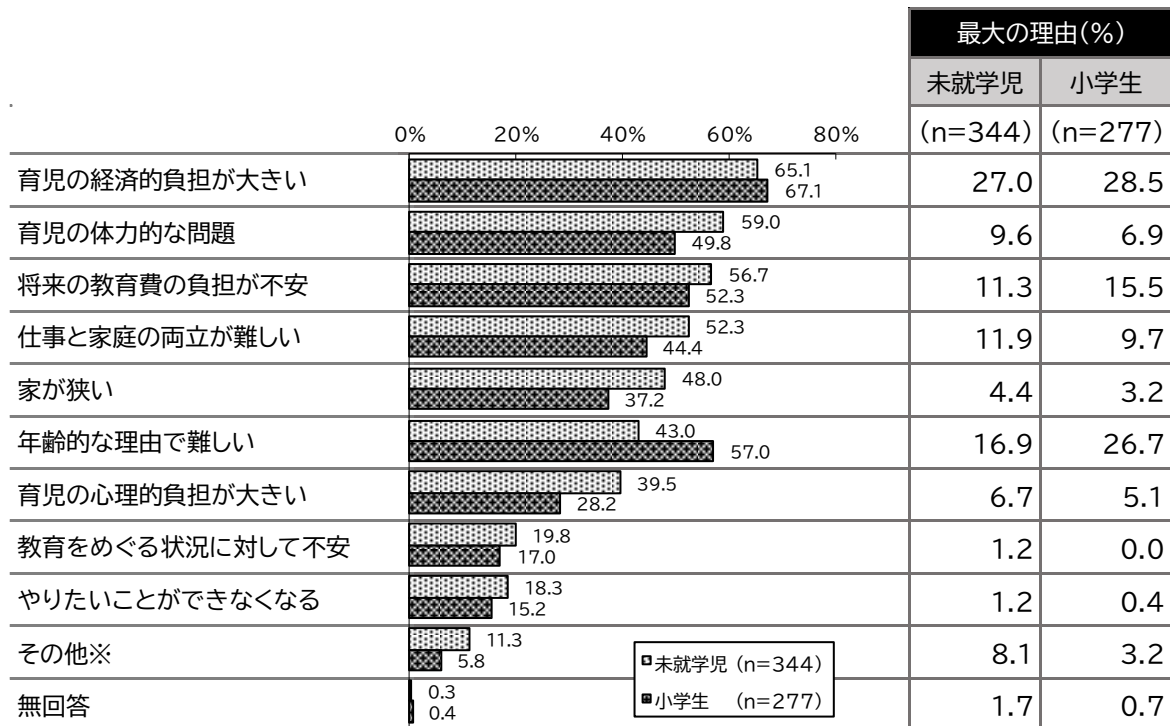
②【実際に持つことができる子どもの人数が希望する子どもの人数より「少ない」人】

子どもの人数が希望より少ない理由(複数回答)

[未就学児：問 35-1] [小学生：問 23-1]

実際に持つことができる子どもの人数が希望より少ない人に、その理由を尋ねたところ、未就学児の保護者と小学生の保護者ともに「育児の経済的負担が大きい」が最も多くなっている。未就学児の保護者では「育児の体力的な問題」、「将来の教育費の負担が不安」と続いている。小学生の保護者では「年齢的な理由で難しい」「将来の教育費の負担が不安」と続いている。

また、実際に持つことができる子どもの人数が希望より少ない最大の理由(単数回答)については、未就学児の保護者と小学生の保護者ともに「育児の経済的負担が大きい」がそれぞれ 27.0%、28.5%と最も多くなっている。



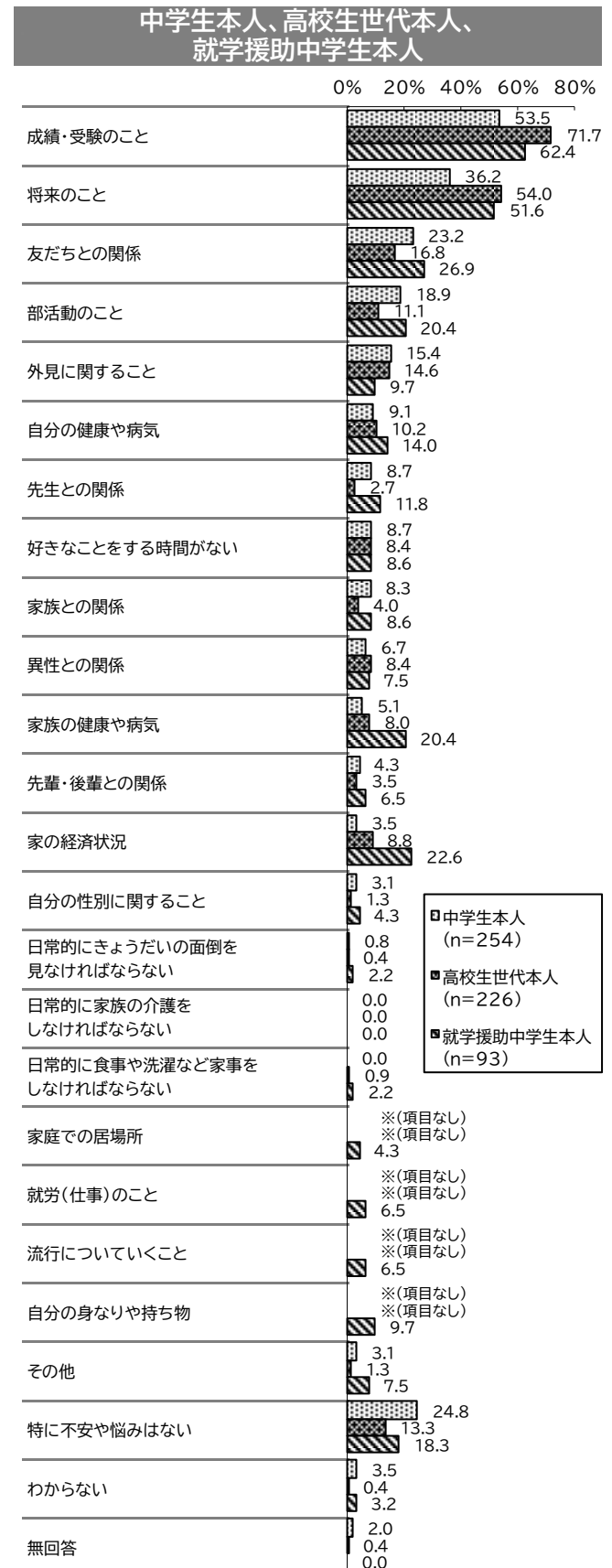
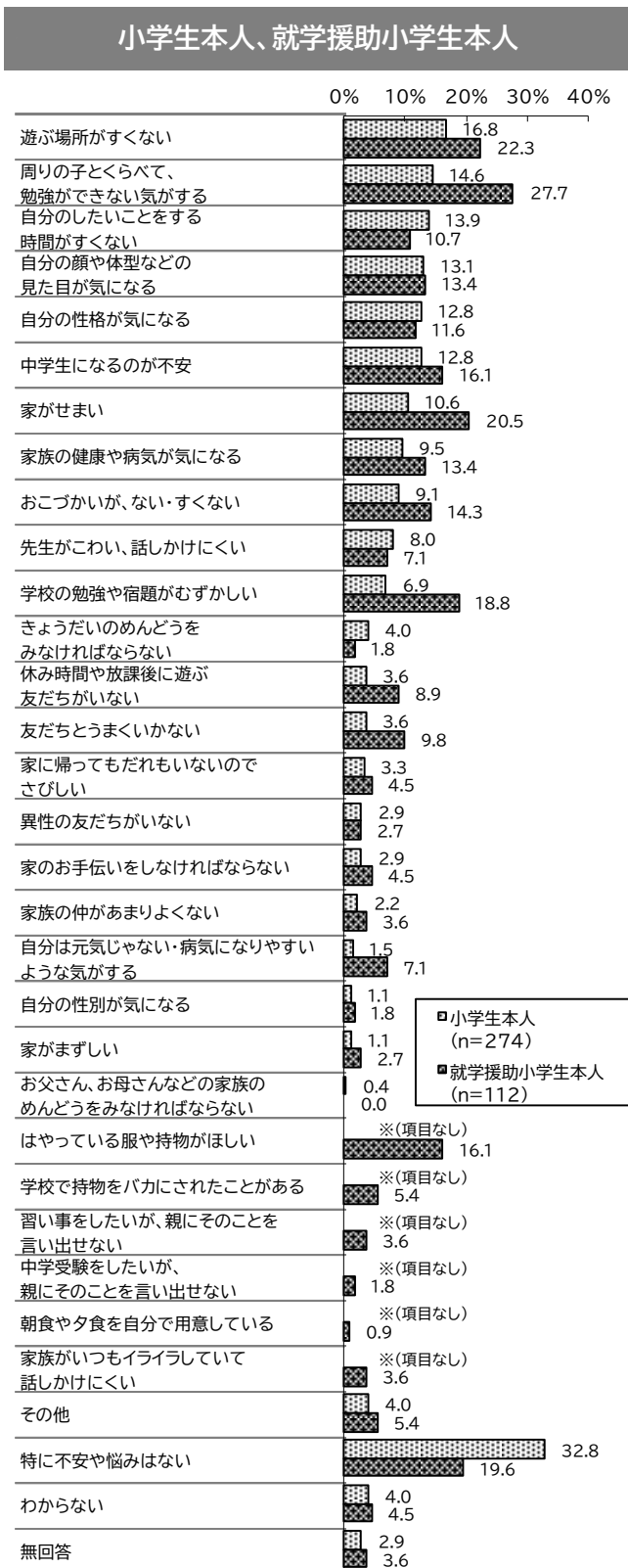
※その他：パートナーとの考え方の相違、妊娠・出産の負担、健康上の問題など

(7)現在の不安・悩み／相談相手

①現在の不安・悩み(複数回答)

〔小学生本人：問6〕〔中学生本人：問6〕〔高校生世代本人：問6〕
〔就学援助小学生本人：問6〕〔就学援助中学生本人：問10〕

現在の不安・悩みを尋ねたところ、小学生本人は「遊ぶ場所がすくない」が16.8%、就学援助受給世帯小学生本人は「周りの子とくらべて、勉強ができない気がする」が27.7%と最も多くなっている。中学生本人、高校生世代本人及び就学援助受給世帯中学生本人は「成績・受験のこと」がそれぞれ53.5%、71.7%、62.4%と最も多くなっている。

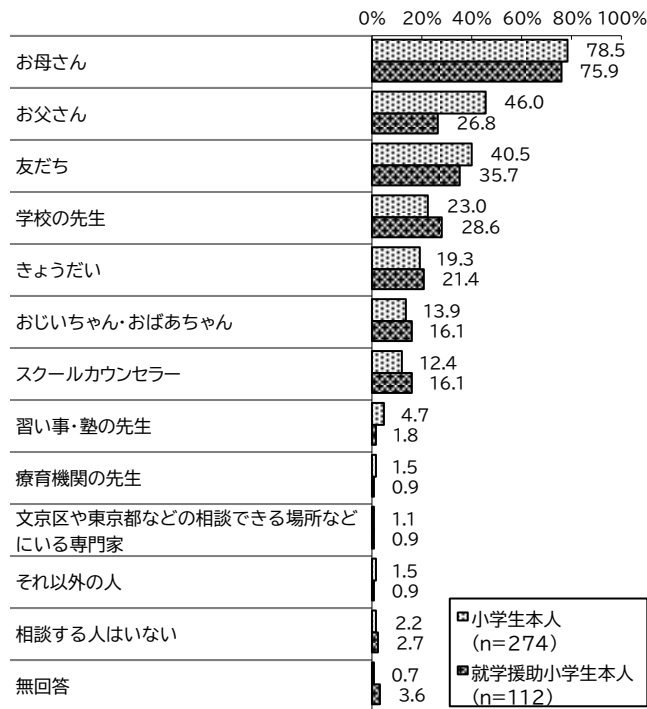


②不安・心配ごとの相談相手(複数回答)

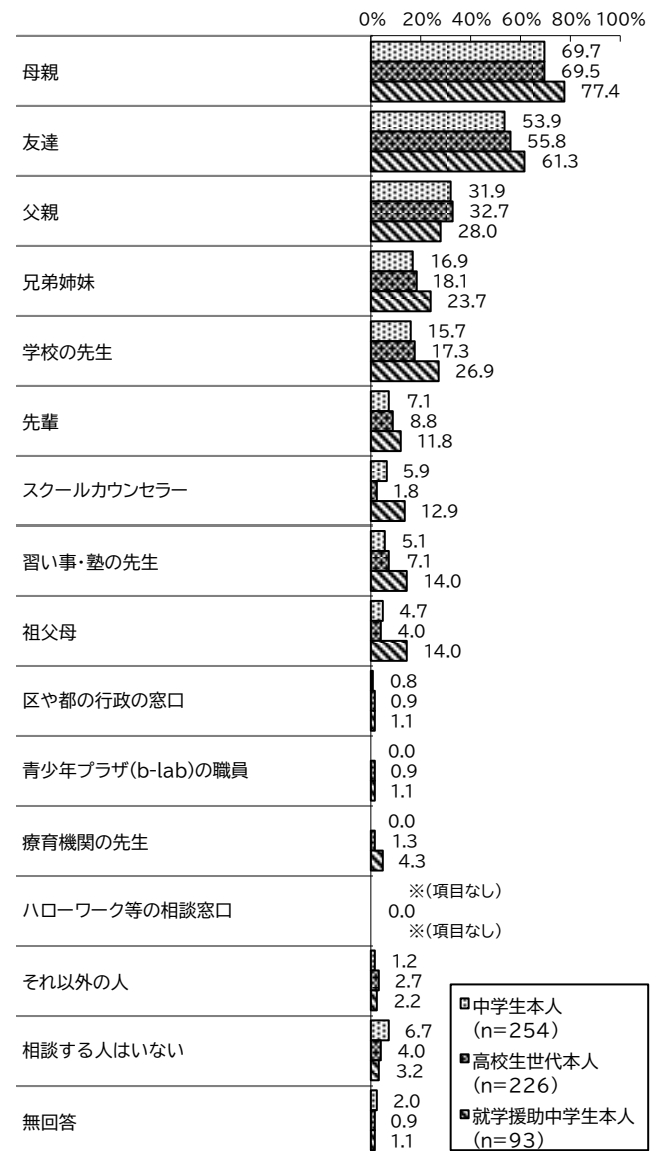
不安や心配ごとの相談相手を尋ねたところ、小学生本人及び就学援助受給世帯小学生本人では、「お母さん」がそれぞれ78.5%、75.9%で最も多くなっている。中学生本人、高校生世代本人及び就学援助受給世帯中学生本人では「母親」がそれぞれ69.7%、69.5%、77.4%と最も多くなっている。

また、小学生本人及び就学援助受給世帯小学生本人で「お父さん」はそれぞれ46.0%、26.8%となっている。中学生本人、高校生世代本人及び就学援助受給世帯中学生本人で「父親」はそれぞれ31.9%、32.7%、28.0%となっている。

小学生本人、就学援助小学生本人



中学生本人、高校生世代本人、
就学援助中学生本人



13 子育て支援サービスについて

(1) 子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用希望

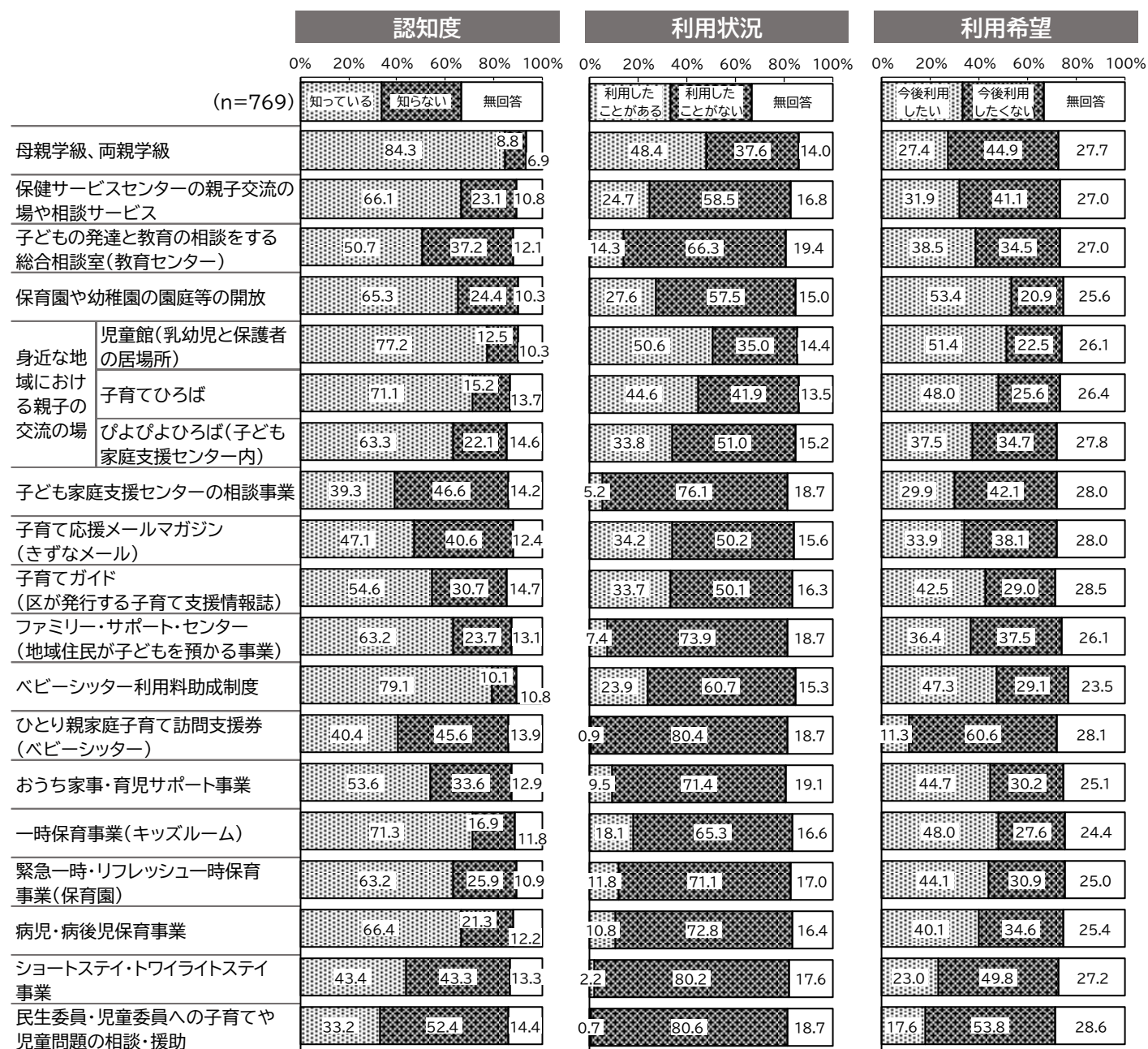
① 未就学児の保護者

〔未就学児：問 36〕

子育て支援サービスの認知度を尋ねたところ、「知っている」は「母親学級、両親学級」が 84.3%と最も多く、「ベビーシッター利用料助成制度」が 79.1%、「児童館(乳幼児と保護者の居場所)」が 77.2%と続いている。

これまでの利用状況を尋ねたところ、「利用したことがある」は「児童館(乳幼児と保護者の居場所)」が 50.6%と最も多く、「母親学級、両親学級」が 48.4%、「子育てひろば」が 44.6%と続いている。

今後の利用希望を尋ねたところ、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が 53.4%と最も多く、「児童館(乳幼児と保護者の居場所)」が 51.4%、「子育てひろば」と「一時保育事業(キッズルーム)」がともに 48.0%と続いている。



《 【未就学児の保護者】子育て支援サービスの認知度－回答者の配偶者の有無別 》

回答者の配偶者の有無別にみると、配偶者がいないと回答した方で「知っている」が8割以上の認知度が高い項目は、「母親学級、両親学級」「児童館(乳幼児と保護者の居場所)」「子育てひろば」「ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)」「ベビーシッター利用料助成制度」「一時保育事業(キッズルーム)」「緊急一時・リフレッシュ一時保育事業(保育園)」「病児・病後児保育事業」となっている。

また、配偶者がいないと回答した方で「利用したことがある」が3割以上の項目は「母親学級、両親学級」「児童館(乳幼児と保護者の居場所)」「子育てひろば」「子育て応援メールマガジン(きずなメール)」「子育てガイド(区が発行する子育て支援情報誌)」となっており、「今後利用したい」が4割以上の利用希望が多い項目は、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」「子育てガイド(区が発行する子育て支援情報誌)」「一時保育事業(キッズルーム)」「病児・病後児保育事業」となっている。

(%)

	知っている			利用したことがある			今後利用したい		
	未就学児計	配偶者がいる	配偶者がいない	未就学児計	配偶者がいる	配偶者がいない	未就学児計	配偶者がいる	配偶者がいない
(n)	(769)	(743)	(16)	(769)	(743)	(16)	(769)	(743)	(16)
母親学級、両親学級	84.3	84.4	93.8	48.4	48.7	37.5	27.4	28.0	12.5
	8.8	9.2	0.0	37.6	37.8	50.0	44.9	44.8	56.3
	6.9	6.5	6.3	14.0	13.5	12.5	27.7	27.2	31.3
保健サービスセンターの親子交流の場や相談サービス	66.1	66.4	68.8	24.7	24.8	25.0	31.9	31.9	31.3
	23.1	23.4	18.8	58.5	58.8	62.5	41.1	41.5	37.5
	10.8	10.2	12.5	16.8	16.4	12.5	27.0	26.6	31.3
子どもの発達と教育の相談をする総合相談室(教育センター)	50.7	50.9	50.0	14.3	14.7	0.0	38.5	38.8	18.8
	37.2	38.0	25.0	66.3	66.4	81.3	34.5	34.6	50.0
	12.1	11.2	25.0	19.4	19.0	18.8	27.0	26.6	31.3
保育園や幼稚園の園庭等の開放	65.3	65.5	62.5	27.6	27.7	25.0	53.4	54.0	43.8
	24.4	24.8	18.8	57.5	58.0	50.0	20.9	20.9	31.3
	10.3	9.7	18.8	15.0	14.3	25.0	25.6	25.2	25.0
児童館(乳幼児と保護者の居場所)	77.2	77.1	93.8	50.6	50.7	37.5	51.4	51.7	37.5
	12.5	12.9	0.0	35.0	35.4	37.5	22.5	22.6	31.3
	10.3	10.0	6.3	14.4	13.9	25.0	26.1	25.7	31.3
子育てひろば	71.1	71.2	81.3	44.6	45.1	31.3	48.0	48.3	37.5
	15.2	15.6	6.3	41.9	42.1	43.8	25.6	25.8	31.3
	13.7	13.2	12.5	13.5	12.8	25.0	26.4	25.8	31.3
びよびよひろば(子ども家庭支援センター内)	63.3	63.4	68.8	33.8	34.2	25.0	37.5	37.7	31.3
	22.1	22.5	18.8	51.0	51.1	56.3	34.7	35.0	37.5
	14.6	14.1	12.5	15.2	14.7	18.8	27.8	27.3	31.3
子ども家庭支援センターの相談事業	39.3	39.2	43.8	5.2	5.2	0.0	29.9	29.9	25.0
	46.6	47.1	43.8	76.1	76.7	75.0	42.1	42.8	37.5
	14.2	13.7	12.5	18.7	18.0	25.0	28.0	27.3	37.5
子育て応援メールマガジン(きずなメール)	47.1	46.8	62.5	34.2	34.3	31.3	33.9	34.1	31.3
	40.6	41.3	25.0	50.2	50.7	43.8	38.1	38.5	37.5
	12.4	11.8	12.5	15.6	14.9	25.0	28.0	27.5	31.3
子育てガイド(区が発行する子育て支援情報誌)	54.6	54.5	68.8	33.7	33.4	50.0	42.5	42.5	43.8
	30.7	31.4	18.8	50.1	50.9	31.3	29.0	29.3	31.3
	14.7	14.1	12.5	16.3	15.7	18.8	28.5	28.1	25.0
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	63.2	62.9	87.5	7.4	7.4	0.0	36.4	36.5	25.0
	23.7	24.4	0.0	73.9	74.4	75.0	37.5	38.0	37.5
	13.1	12.8	12.5	18.7	18.2	25.0	26.1	25.6	37.5
ベビーシッター利用料助成制度	79.1	79.1	93.8	23.9	24.1	18.8	47.3	47.5	37.5
	10.1	10.5	0.0	60.7	61.2	56.3	29.1	29.5	31.3
	10.8	10.4	6.3	15.3	14.7	25.0	23.5	23.0	31.3

上段:はい 中断:いいえ 下段:無回答	知っている			利用したことがある			今後利用したい		
	未就学児計	配偶者がいる	配偶者がいない	未就学児計	配偶者がいる	配偶者がいない	未就学児計	配偶者がいる	配偶者がいない
	(n)	(769)	(743)	(16)	(769)	(743)	(16)	(769)	(743)
ひとり親家庭子育て訪問支援券 (ベビーシッター)	40.4	39.7	68.8	0.9	0.7	6.3	11.3	10.9	25.0
	45.6	47.0	12.5	80.4	81.3	62.5	60.6	61.4	50.0
	13.9	13.3	18.8	18.7	18.0	31.3	28.1	27.7	25.0
おうち家事・育児サポート事業	53.6	53.4	68.8	9.5	9.6	6.3	44.7	45.0	37.5
	33.6	34.3	12.5	71.4	72.0	62.5	30.2	30.6	31.3
	12.9	12.2	18.8	19.1	18.4	31.3	25.1	24.5	31.3
一時保育事業(キッズルーム)	71.3	71.3	87.5	18.1	18.3	6.3	48.0	48.0	43.8
	16.9	17.4	0.0	65.3	65.5	75.0	27.6	28.0	18.8
	11.8	11.3	12.5	16.6	16.2	18.8	24.4	24.0	37.5
緊急一時・リフレッシュ一時保育事業 (保育園)	63.2	62.9	87.5	11.8	11.8	0.0	44.1	44.4	31.3
	25.9	26.8	0.0	71.1	71.7	81.3	30.9	31.2	31.3
	10.9	10.4	12.5	17.0	16.4	18.8	25.0	24.4	37.5
病児・病後児保育事業	66.4	66.2	87.5	11.8	11.8	0.0	40.1	39.8	43.8
	21.3	21.9	6.3	71.1	71.7	81.3	34.6	35.1	31.3
	12.2	11.8	6.3	17.0	16.4	18.8	25.4	25.0	25.0
ショートステイ・トワイライトステイ事業	43.4	43.3	56.3	2.2	2.0	6.3	23.0	23.0	18.8
	43.3	44.1	25.0	80.2	80.9	75.0	49.8	50.3	50.0
	13.3	12.5	18.8	17.6	17.1	18.8	27.2	26.6	31.3
民生委員・児童委員への子育てや 児童問題の相談・援助	33.2	32.6	62.5	0.7	0.5	0.0	17.6	17.4	18.8
	52.4	53.6	25.0	80.6	81.2	81.3	53.8	54.5	50.0
	14.4	13.9	12.5	18.7	18.3	18.8	28.6	28.1	31.3

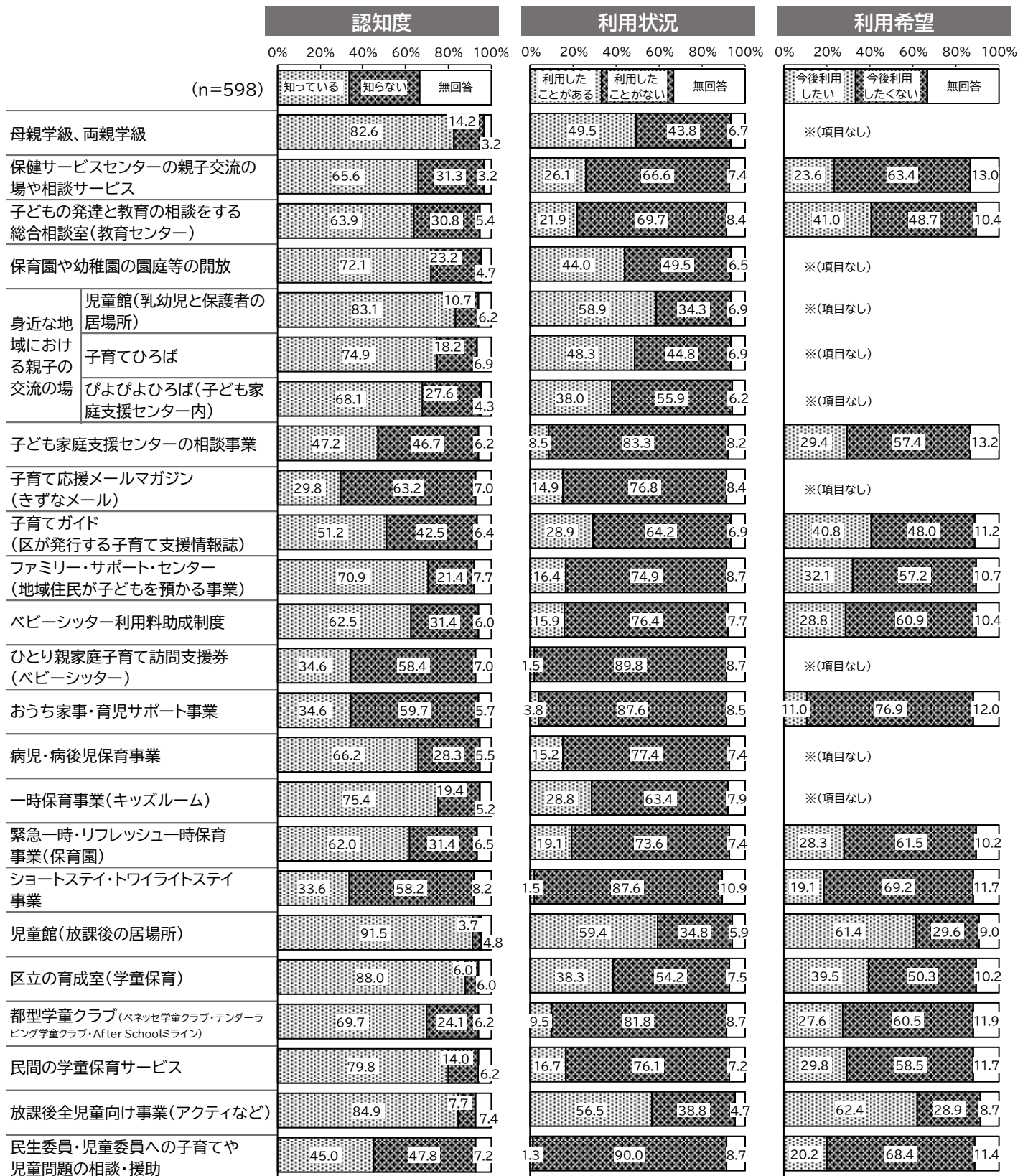
②小学生の保護者

〔小学生：問19〕

子育て支援サービスの認知度を尋ねたところ、「知っている」は「児童館(放課後の居場所)」が91.5%と最も多く、「区立の育成室(学童保育)」が88.0%と続いている。

これまでの利用状況を尋ねたところ、「利用したことがある」は「児童館(放課後の居場所)」が59.4%と最も多く、「児童館(乳幼児と保護者の居場所)」が58.9%と続いている。

今後の利用希望を尋ねたところ、「今後利用したい」は「放課後全児童向け事業(アクティなど)」が62.4%と最も多く、「児童館(放課後の居場所)」が61.4%と続いている。



《 【小学生の保護者】子育て支援サービスの認知度－回答者の配偶者の有無別 《

回答者の配偶者の有無別にみると、配偶者がいないと回答した方で「知っている」が8割以上の認知度が高い項目は、「児童館(放課後の居場所)」「区立の育成室(学童保育)」となっている。

また、配偶者がいないと回答した方で「利用したことがある」が3割以上の項目は「母親学級、両親学級」「保健サービスセンターの親子交流の場や相談サービス」「保育や幼稚園の園庭等の開放」「児童館(乳幼児と保護者の居場所)」「ぴよぴよひろば(子ども家庭支援センター内)」「児童館(放課後の居場所)」「区立の育成室(学童保育)」となっており、「今後利用したい」が3割以上の項目は、「子どもの発達と教育の相談をする総合相談室(教育センター)」「子育てガイド(区が発行する子育て支援情報誌)」「放課後全児童向け事業(アクティなど)」となっている。

(%)

	(n)	知っている			利用したことがある			今後利用したい		
		小学生計	配偶者がいる	配偶者がいない	小学生計	配偶者がいる	配偶者がいない	小学生計	配偶者がいる	配偶者がいない
		(598)	(566)	(24)	(598)	(566)	(24)	(598)	(566)	(24)
母親学級、両親学級		82.6	83.2	75.0	49.5	49.6	45.8			
		14.2	14.1	16.7	43.8	44.2	45.8			
		3.2	2.7	8.3	6.7	6.2	8.3			
保健サービスセンターの親子交流の場や相談サービス		65.6	66.1	62.5	26.1	25.8	33.3	23.6	24.6	4.2
		31.3	31.1	33.3	66.6	67.3	58.3	63.4	63.3	75.0
		3.2	2.8	4.2	7.4	6.9	8.3	13.0	12.2	20.8
子どもの発達と教育の相談をする総合相談室(教育センター)		63.9	64.3	62.5	21.9	21.9	25.0	41.0	41.7	33.3
		30.8	30.7	29.2	69.7	70.5	58.3	48.7	48.6	54.2
		5.4	4.9	8.3	8.4	7.6	16.7	10.4	9.7	12.5
保育園や幼稚園の園庭等の開放		72.1	72.6	66.7	44.0	43.6	50.0			
		23.2	23.0	29.2	49.5	50.2	45.8			
		4.7	4.4	4.2	6.5	6.2	4.2			
児童館(乳幼児と保護者の居場所)		83.1	84.1	66.7	58.9	60.2	37.5			
		10.7	10.4	16.7	34.3	33.6	50.0			
		6.2	5.5	16.7	6.9	6.2	12.5			
子育てひろば		74.9	75.8	62.5	48.3	49.5	25.0			
		18.2	18.0	20.8	44.8	44.3	62.5			
		6.9	6.2	16.7	6.9	6.2	12.5			
ぴよぴよひろば(子ども家庭支援センター内)		68.1	69.1	54.2	38.0	38.2	41.7			
		27.6	27.0	37.5	55.9	56.0	54.2			
		4.3	3.9	8.3	6.2	5.8	4.2			
子ども家庭支援センターの相談事業		47.2	47.3	50.0	8.5	8.5	12.5	29.4	29.9	25.0
		46.7	47.2	33.3	83.3	84.1	70.8	57.4	57.6	58.3
		6.2	5.5	16.7	8.2	7.4	16.7	13.2	12.5	16.7
子育て応援メールマガジン(きずなメール)		29.8	29.5	41.7	14.9	15.5	0.0			
		63.2	63.6	54.2	76.8	77.0	79.2			
		7.0	6.9	4.2	8.4	7.4	20.8			
子育てガイド(区が発行する子育て支援情報誌)		51.2	51.1	58.3	28.9	29.2	29.2	40.8	41.3	33.3
		42.5	42.9	33.3	64.2	64.8	54.2	48.0	48.1	50.0
		6.4	6.0	8.3	6.9	6.0	16.7	11.2	10.6	16.7
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)		70.9	71.6	66.7	16.4	16.6	12.5	32.1	32.9	16.7
		21.4	21.4	20.8	74.9	75.4	70.8	57.2	57.1	66.7
		7.7	7.1	12.5	8.7	8.0	16.7	10.7	10.1	16.7
ベビーシッター利用料助成制度		62.5	63.1	54.2	15.9	16.3	8.3	28.8	28.8	29.2
		31.4	31.6	33.3	76.4	76.7	79.2	60.9	61.5	54.2
		6.0	5.3	12.5	7.7	7.1	12.5	10.4	9.7	16.7
ひとり親家庭子育て訪問支援券(ベビーシッター)		34.6	34.3	45.8	1.5	1.1	12.5	11.0	10.2	29.2
		58.4	59.2	45.8	89.8	91.2	66.7	76.9	78.3	54.2
		7.0	6.5	8.3	8.7	7.8	20.8	12.0	11.5	16.7
おうち家事・育児サポート事業		34.6	34.8	33.3	3.8	4.1	0.0			
		59.7	60.1	58.3	87.6	88.3	79.2			
		5.7	5.1	8.3	8.5	7.6	20.8			

上段:はい 中断:いいえ 下段:無回答	知っている			利用したことがある			今後利用したい		
	小学生計	配偶者がいる	配偶者がいない	小学生計	配偶者がいる	配偶者がいない	小学生計	配偶者がいる	配偶者がいない
	(n)	(598)	(566)	(24)	(598)	(566)	(24)	(598)	(566)
病児・病後児保育事業	66.2	66.3	75.0	15.2	15.4	16.7	28.3	61.5	10.2
	28.3	28.6	20.8	77.4	78.1	66.7	28.6	61.8	9.5
	5.5	5.1	4.2	7.4	6.5	16.7	25.0	58.3	16.7
一時保育事業(キッズルーム)	75.4	75.8	79.2	28.8	29.2	20.8			
	19.4	19.6	12.5	63.4	63.8	62.5			
	5.2	4.6	8.3	7.9	7.1	16.7			
緊急一時・リフレッシュ一時保育事業(保育園)	62.0	61.8	75.0	19.1	19.6	4.2			
	31.4	32.0	20.8	73.6	73.9	79.2			
	6.5	6.2	4.2	7.4	6.5	16.7			
ショートステイ・トワイライトステイ事業	33.6	33.0	54.2	1.5	1.6	0.0	19.1	19.4	16.7
	58.2	59.4	37.5	87.6	88.2	83.3	69.2	69.4	66.7
	8.2	7.6	8.3	10.9	10.2	16.7	11.7	11.1	16.7
児童館(放課後の居場所)	91.5	92.2	87.5	59.4	61.0	37.5	19.1	19.4	16.7
	3.7	3.4	8.3	34.8	34.1	45.8	69.2	69.4	66.7
	4.8	4.4	4.2	5.9	4.9	16.7	11.7	11.1	16.7
区立の育成室(学童保育)	88.0	88.9	83.3	38.3	38.3	45.8	39.5	41.0	16.7
	6.0	5.8	8.3	54.2	54.9	37.5	50.3	49.5	66.7
	6.0	5.3	8.3	7.5	6.7	16.7	10.2	9.5	16.7
都型学童クラブ(ベネッセ学童クラブ・ テンダーラビング学童クラブ・ After Schoolミライン)	69.7	70.3	66.7	9.5	9.5	12.5	27.6	28.8	8.3
	24.1	23.9	29.2	81.8	82.3	75.0	60.5	60.2	66.7
	6.2	5.8	4.2	8.7	8.1	12.5	11.9	11.0	25.0
民間の学童保育サービス	79.8	80.2	79.2	9.5	9.5	12.5	29.8	30.7	16.7
	14.0	14.1	12.5	81.8	82.3	75.0	58.5	58.5	62.5
	6.2	5.7	8.3	8.7	8.1	12.5	11.7	10.8	20.8
放課後全児童向け事業(アクティなど)	84.9	85.7	79.2	9.5	9.5	12.5	62.4	64.3	33.3
	7.7	7.4	12.5	81.8	82.3	75.0	28.9	27.7	50.0
	7.4	6.9	8.3	8.7	8.1	12.5	8.7	8.0	16.7
民生委員・児童委員への子育てや 児童問題の相談・援助	45.0	45.6	37.5	1.3	1.2	4.2	20.2	21.2	4.2
	47.8	48.1	45.8	90.0	90.8	79.2	68.4	68.0	79.2
	7.2	6.4	16.7	8.7	8.0	16.7	11.4	10.8	16.7

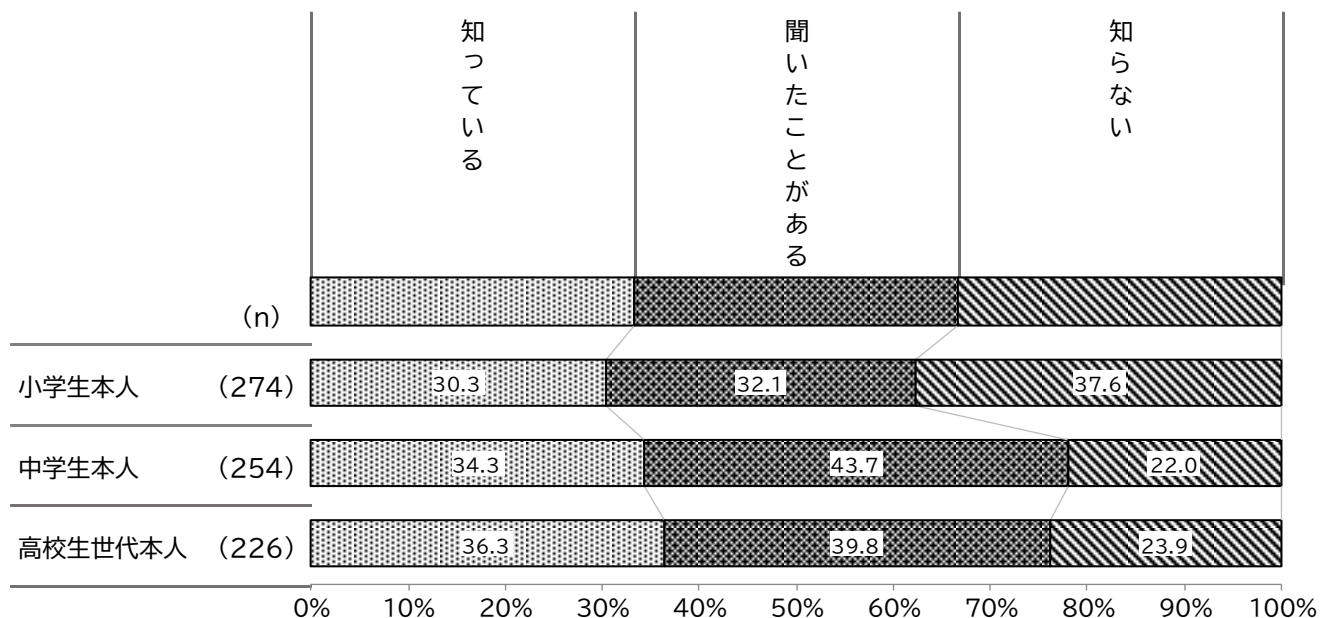
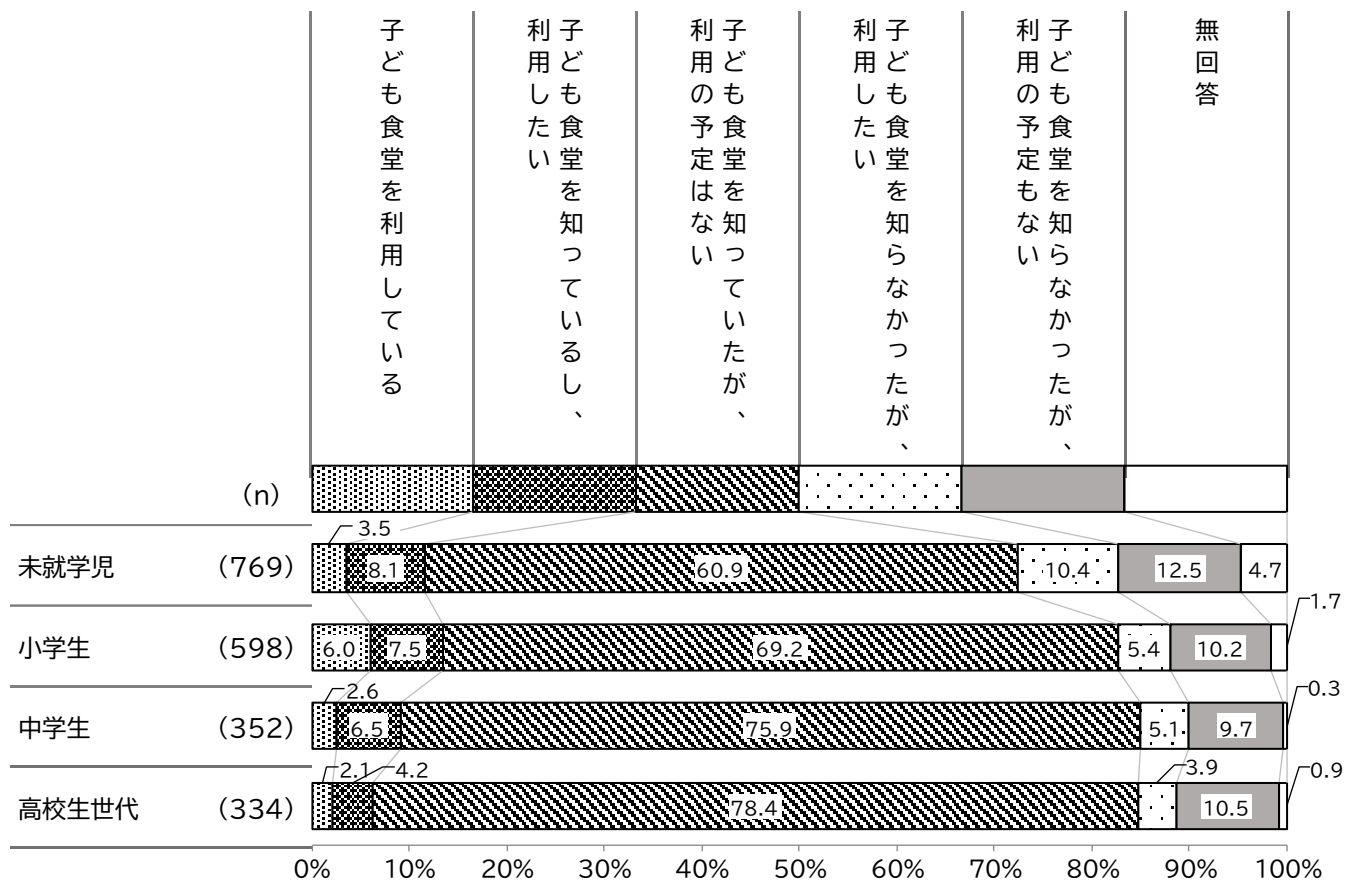
(2)子ども食堂の認知度・利用希望／知ったきっかけ／利用状況／利用希望

①子ども食堂の認知度・利用希望
 〔未就学児：問 37〕〔小学生：問 20〕〔中学生：問 14〕〔高校生世代：問 10〕
 〔小学生本人：問 12〕〔中学生本人：問 13〕〔高校生世代本人：問 12〕

子ども食堂の認知度及び利用希望について尋ねたところ、未就学児、小学生、中学生及び高校生世代の保護者ともに「子ども食堂を知っていたが、利用の予定はない」が6割以上で最も多くなっている。

また、「子ども食堂を利用している」、「子ども食堂を知っているし、利用したい」、「子ども食堂を知っていたが、利用の予定はない」の「知っている」の計は未就学児の保護者で 72.5%、小学生の保護者で 82.7%、中学生の保護者で 85.0%、高校生世代の保護者で 84.7%となっている。

「知っている」は小学生本人で 30.3%、中学生本人で 34.3%、高校生世代本人で 36.3%となっており、年代が上がるにつれて認知度が増加する傾向がうかがえる。



《 【未就学児の保護者】子ども食堂の認知度・利用希望－地区別 《

地区別にみると、「子ども食堂を利用している」は、水道地区が 13.0%で最も多く、次いで向丘地区が 9.1%、音羽地区が 8.3%となっている。

また、「子ども食堂を利用している」「子ども食堂を知っているし、利用したい」「子ども食堂を知っていたが、利用の予定はない」の「知っている」の計は水道地区が 91.3%と最も多く、次いで白山地区が 85.7%、千石地区が 81.9%となっている。

(%)

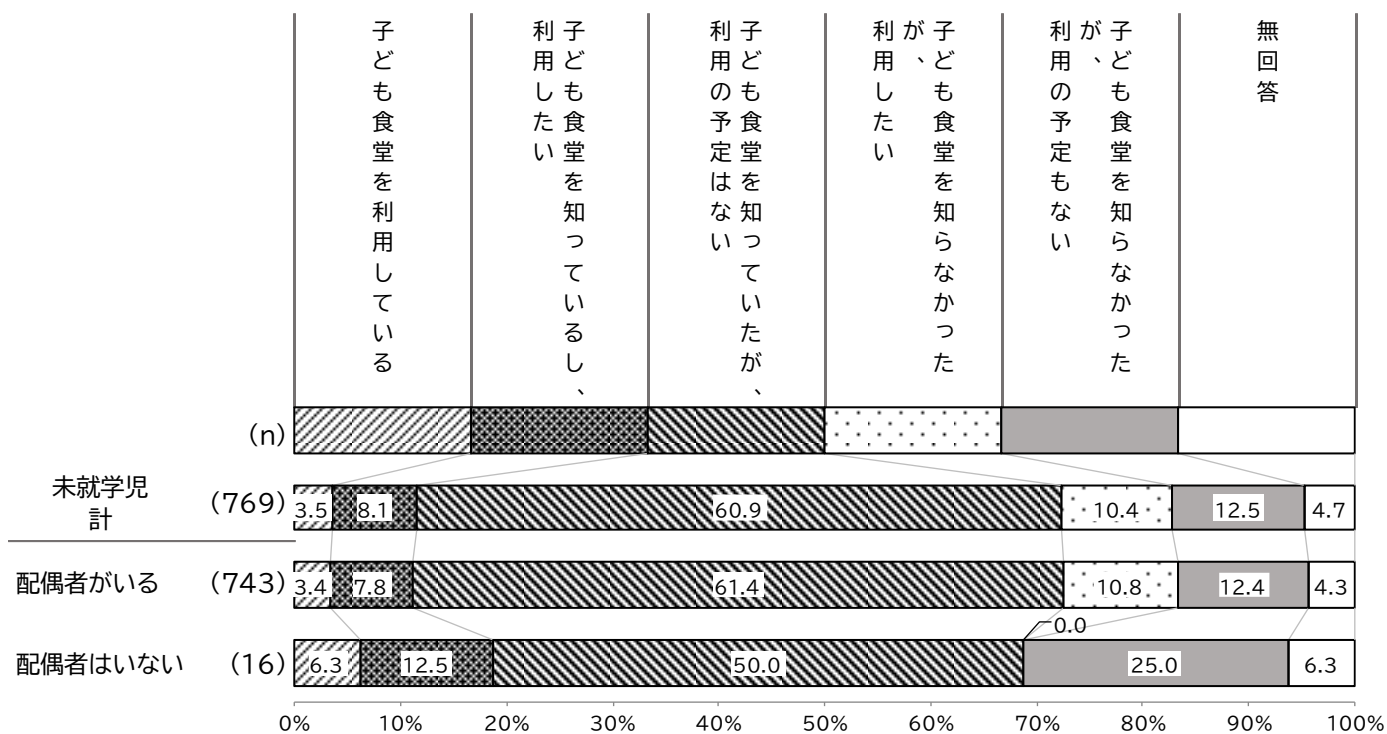
	未就学児計	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口
(n)	(769)	(5)	(17)	(115)	(70)	(83)	(23)	(40)	(77)	(28)
子ども食堂を利用している	3.5	0.0	5.9	1.7	1.4	2.4	13.0	2.5	2.6	7.1
子ども食堂を知っているし、利用したい	8.1	0.0	23.5	8.7	11.4	3.6	17.4	15.0	6.5	7.1
子ども食堂を知っていたが、利用の予定はない	60.9	40.0	41.2	58.3	72.9	75.9	60.9	57.5	61.0	64.3
子ども食堂を知らなかったが、利用したい	10.4	0.0	5.9	10.4	7.1	6.0	0.0	12.5	13.0	10.7
子ども食堂を知らなかったが、利用の予定もない	12.5	60.0	11.8	15.7	4.3	9.6	4.3	5.0	13.0	3.6
無回答	4.7	0.0	11.8	5.2	2.9	2.4	4.3	7.5	3.9	7.1

	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込
(n)	(24)	(36)	(52)	(29)	(11)	(11)	(3)	(13)	(40)	(87)
子ども食堂を利用している	0.0	8.3	0.0	3.4	0.0	9.1	0.0	7.7	2.5	6.9
子ども食堂を知っているし、利用したい	4.2	0.0	11.5	6.9	0.0	18.2	33.3	7.7	5.0	5.7
子ども食堂を知っていたが、利用の予定はない	62.5	61.1	48.1	37.9	45.5	54.5	33.3	46.2	72.5	62.1
子ども食堂を知らなかったが、利用したい	12.5	13.9	19.2	24.1	18.2	0.0	0.0	7.7	7.5	9.2
子ども食堂を知らなかったが、利用の予定もない	16.7	11.1	17.3	27.6	18.2	9.1	33.3	30.8	10.0	12.6
無回答	4.2	5.6	3.8	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	2.5	3.4

《 【未就学児の保護者】子ども食堂の認知度・利用希望－回答者の配偶者の有無別 》

回答者の配偶者の有無別にみると、「子ども食堂を利用している」は、配偶者がいる方が 3.4%、配偶者がいない方が 6.3%となっている。

また、「子ども食堂を利用している」、「子ども食堂を知っているし、利用したい」、「子ども食堂を知っていたが、利用の予定はない」の「知っている」の計は配偶者がいる方が 72.6%、配偶者がいない方が 68.8%となっている。

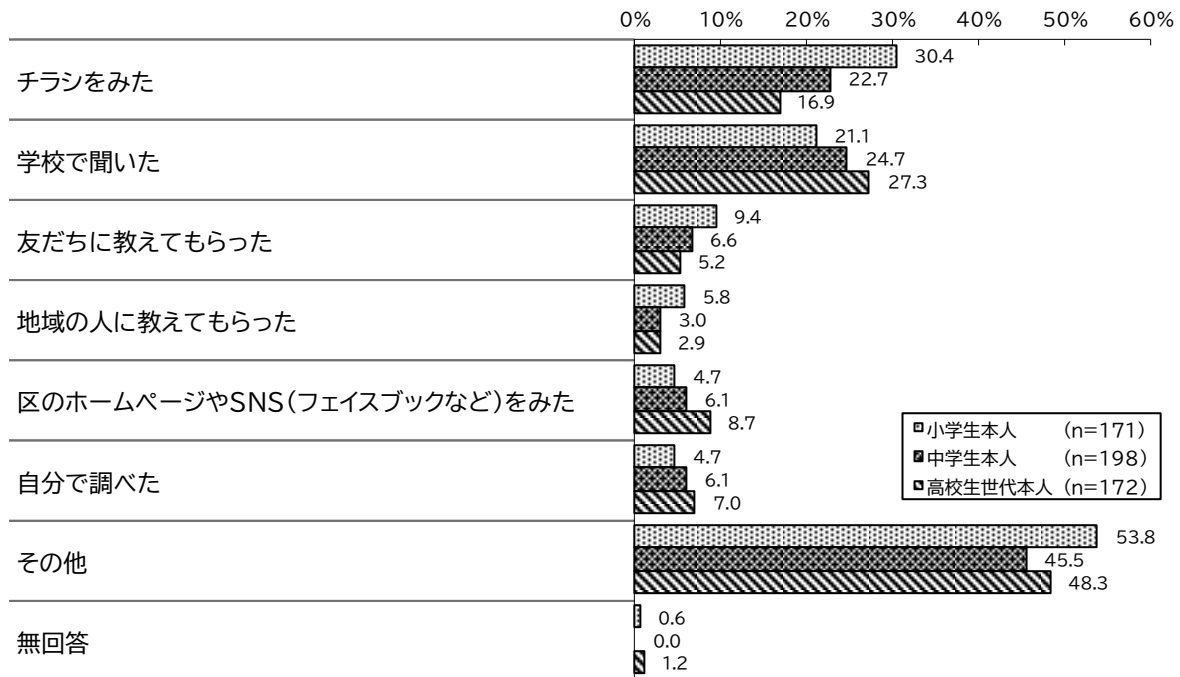


②子ども食堂を知ったきっかけ(複数回答)

〔小学生本人：問 12-1〕〔中学生本人：問 13-1〕

〔高校生世代本人：問 12-1〕

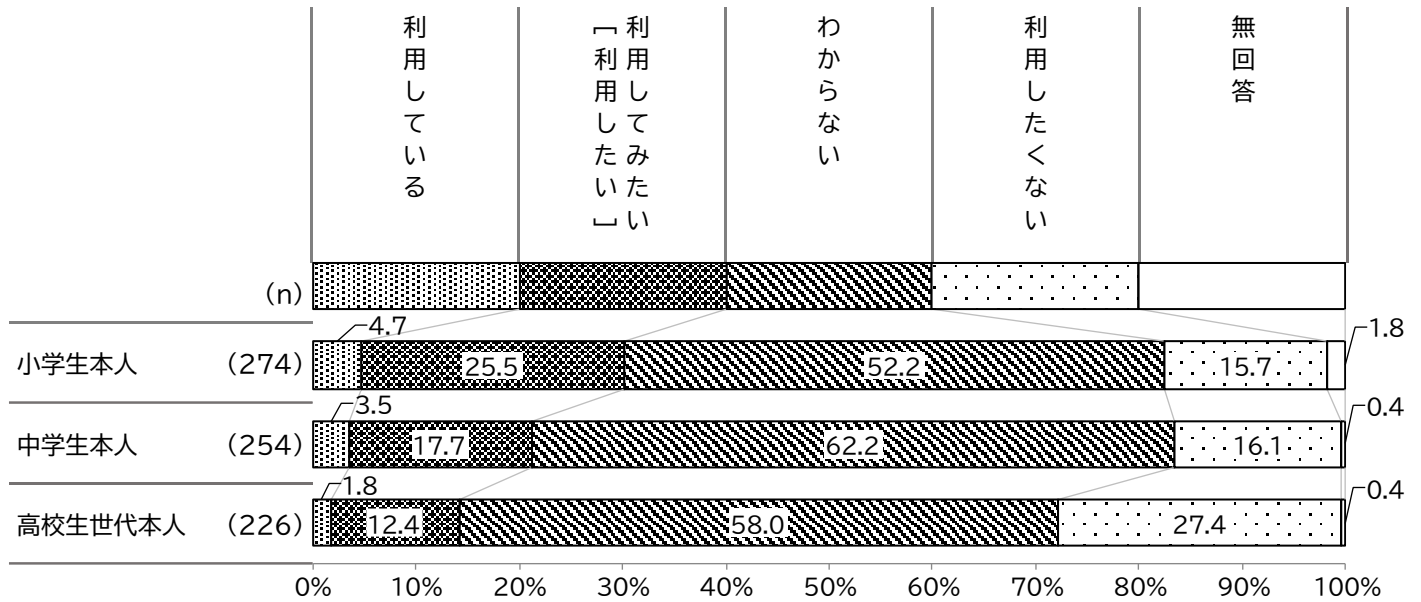
子ども食堂を知ったきっかけについて尋ねたところ、小学生本人では「チラシをみた」が 30.4%と最も多く、次いで「学校で聞いた」が 21.1%となっている。中学生本人と高校生世代本人では「学校で聞いた」がそれぞれ 24.7%、27.3%と最も多く、次いで「チラシをみた」がそれぞれ 22.7%、16.9%となっている。



③子ども食堂の利用状況・利用希望

子ども食堂の今後の利用状況について尋ねたところ、小学生本人、中学生本人および高校生世代本人は「利用している」がともに1割未満となっている。

今後の利用希望について尋ねたところ、「利用してみたい[利用したい]」は小学生本人が 25.5%、中学生本人が 17.7%、高校生世代本人が 12.4%となっており、年代が上がるにつれて利用希望が少なくなる傾向にある。

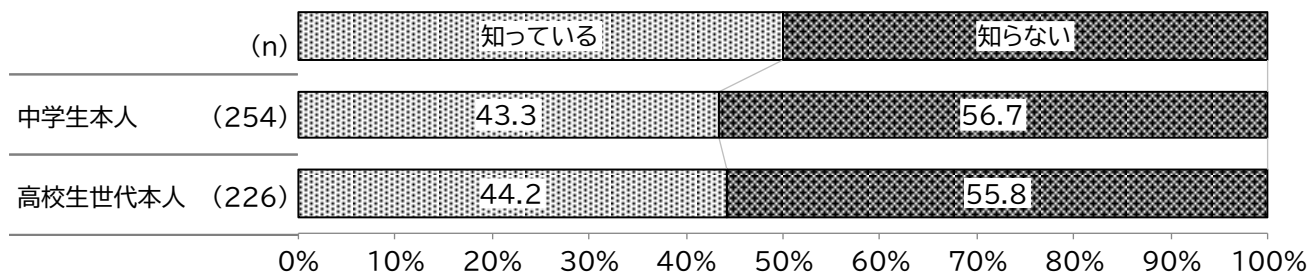


(3) 青少年プラザ(b-lab)の認知度/利用頻度/利用しない理由/望む施設(機能)

① 青少年プラザ(b-lab)の認知度

[中学生本人：問 12] [高校生世代本人：問 11]

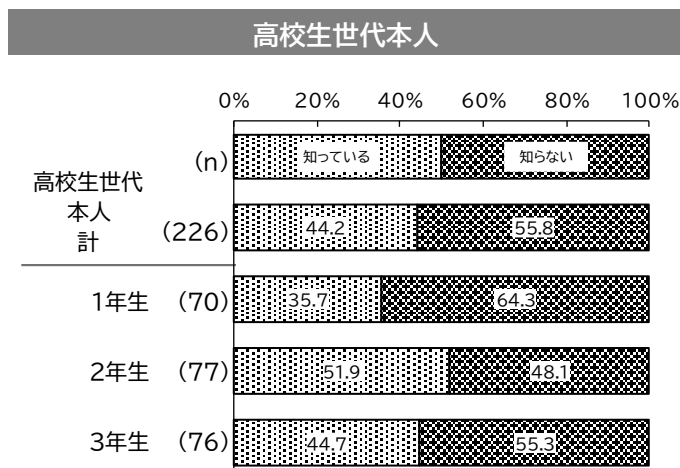
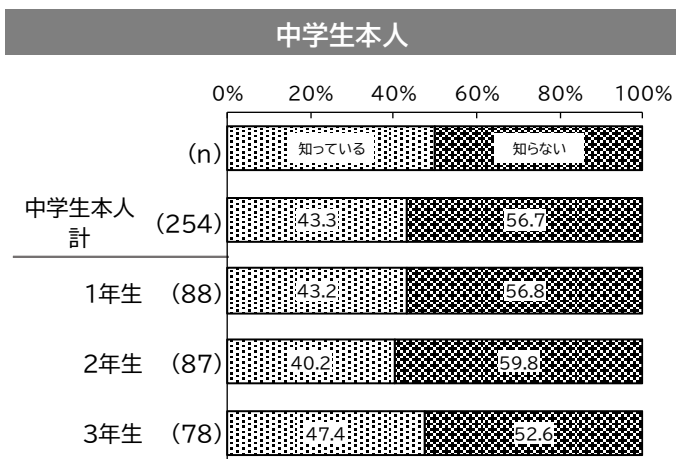
中学生本人及び高校生世代本人に青少年プラザ(b-lab)の認知度を尋ねたところ、ともに「知らない」が半数を超えている。



《 青少年プラザ(b-lab)の認知度－子どもの年齢別 》

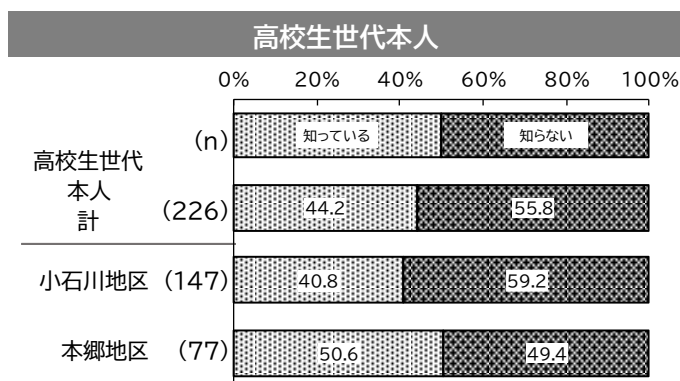
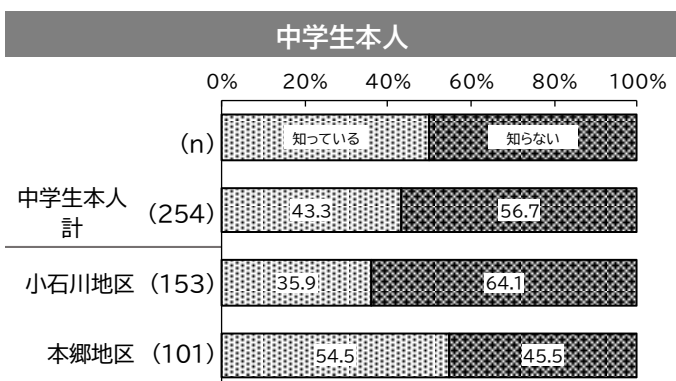
子どもの学年・年齢別にみると、「知っている」の割合は、中学生本人では1年生が43.2%、2年生が40.2%、3年生が47.4%となっている。

高校生世代本人は、2年生が51.9%で最も多く、次いで3年生が44.7%、1年生が35.7%となっている。



《 青少年プラザ(b-lab)の認知度－地区別 》

地区別にみると、「知っている」の割合は、中学生本人、高校生世代本人ともに本郷地区がそれぞれ54.5%、50.6%と多く、青少年プラザ(b-lab)が立地している本郷地区で割合が多い傾向となっている。



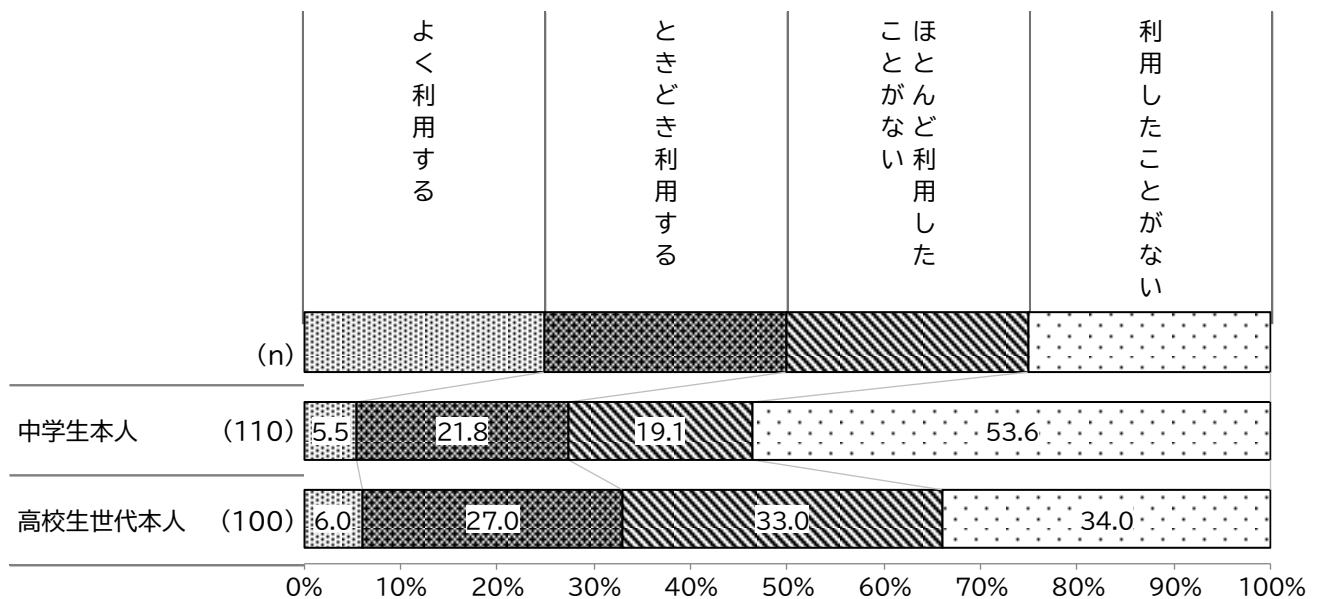
※小石川地区：後楽、春日、小石川、白山、千石、水道、小日向、大塚、関口、目白台、音羽
 本郷地区：本郷、湯島、西片、向丘、弥生、根津、千駄木、本駒込

②【青少年プラザ(b-lab)を知っている人】

青少年プラザ(b-lab)の利用頻度

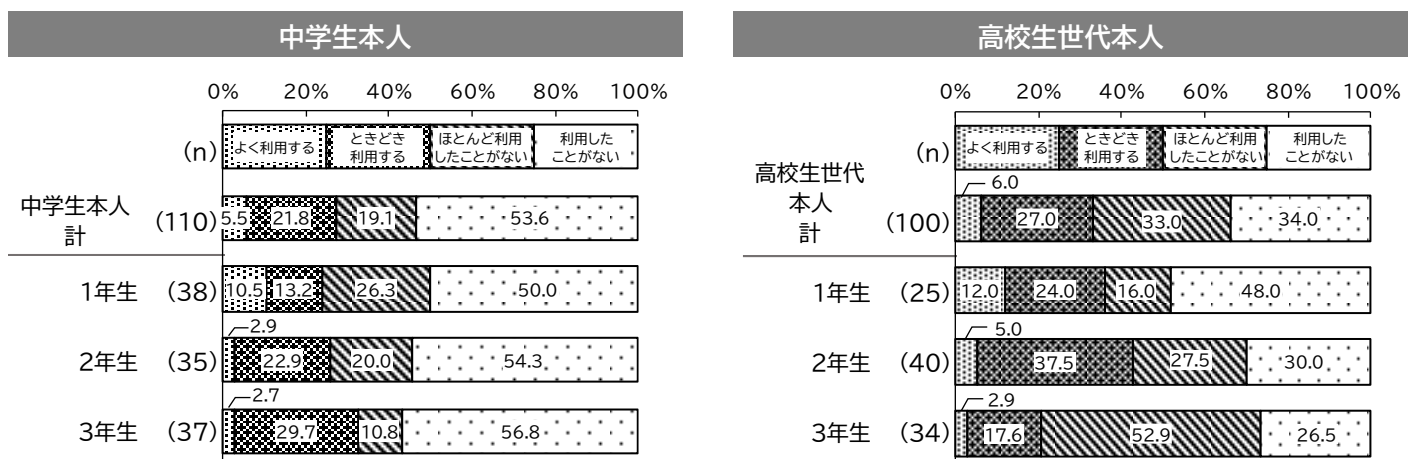
〔中学生本人：問 12-1〕〔高校生世代本人：問 11-1〕

青少年プラザ(b-lab)を知っていると回答した人に同施設の利用頻度を尋ねたところ、「よく利用する」「ときどき利用する」を合わせた「利用する」の計は中学生本人が 27.3%、高校生世代本人が 33.0%となっている。



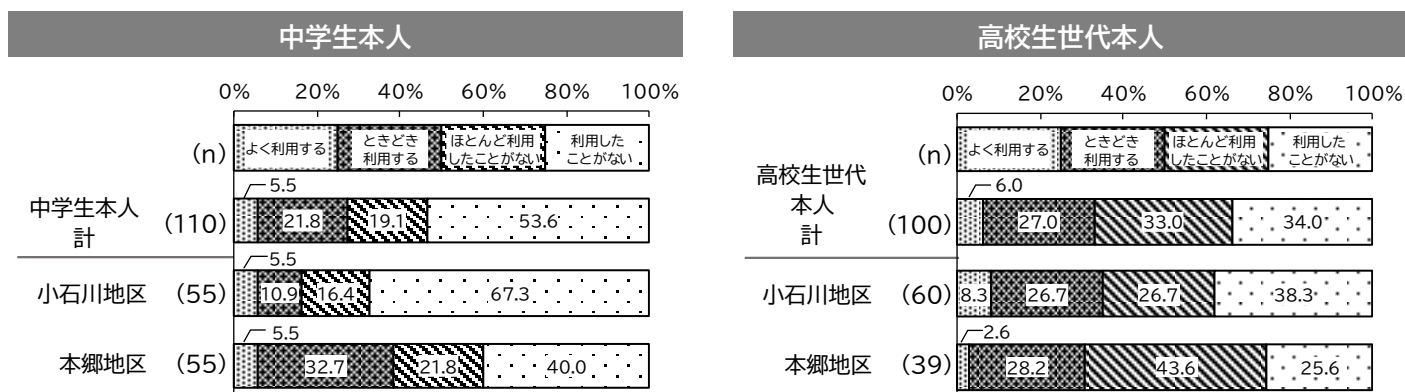
《 青少年プラザ(b-lab)の利用頻度－子どもの学年別 》

子どもの学年別にみると、「よく利用する」「ときどき利用する」を合わせた「利用する」計は、中学生本人では3年生、高校生世代本人では2年生が3割を超えて最も多くなっている。



《 青少年プラザ(b-lab)の利用頻度－地区別 》

地区別にみると、「よく利用する」「ときどき利用する」を合わせた「利用する」計は、本郷地区で多く、中学生本人で 38.2%、高校生世代本人で 30.8%となっている。



※小石川地区：後楽、春日、小石川、白山、千石、水道、小日向、大塚、関口、目白台、音羽
 本郷地区：本郷、湯島、西片、向丘、弥生、根津、千駄木、本駒込

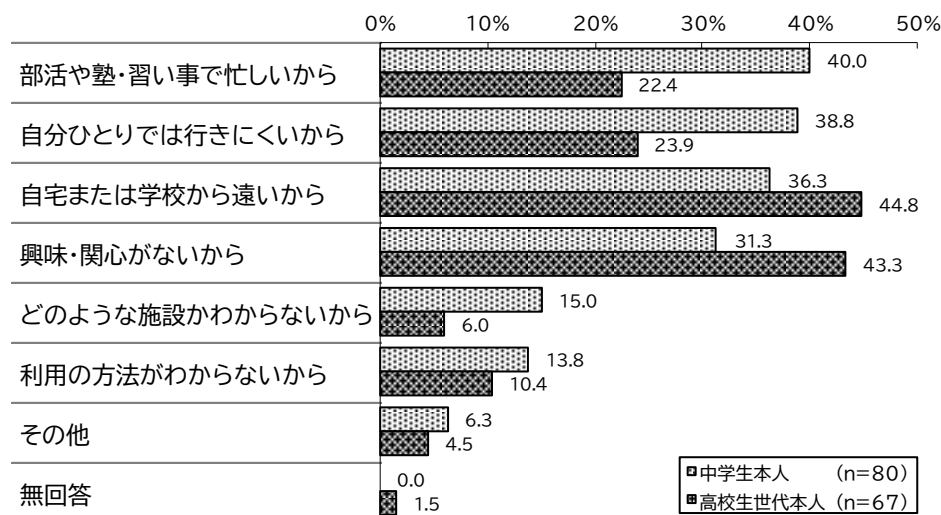
③【「ほとんど利用したことがない」「利用したことがない」回答者】

青少年プラザ(b-lab)を利用しない理由(複数回答)

〔中学生本人：問 12-2〕

〔高校生世代本人：問 11-2〕

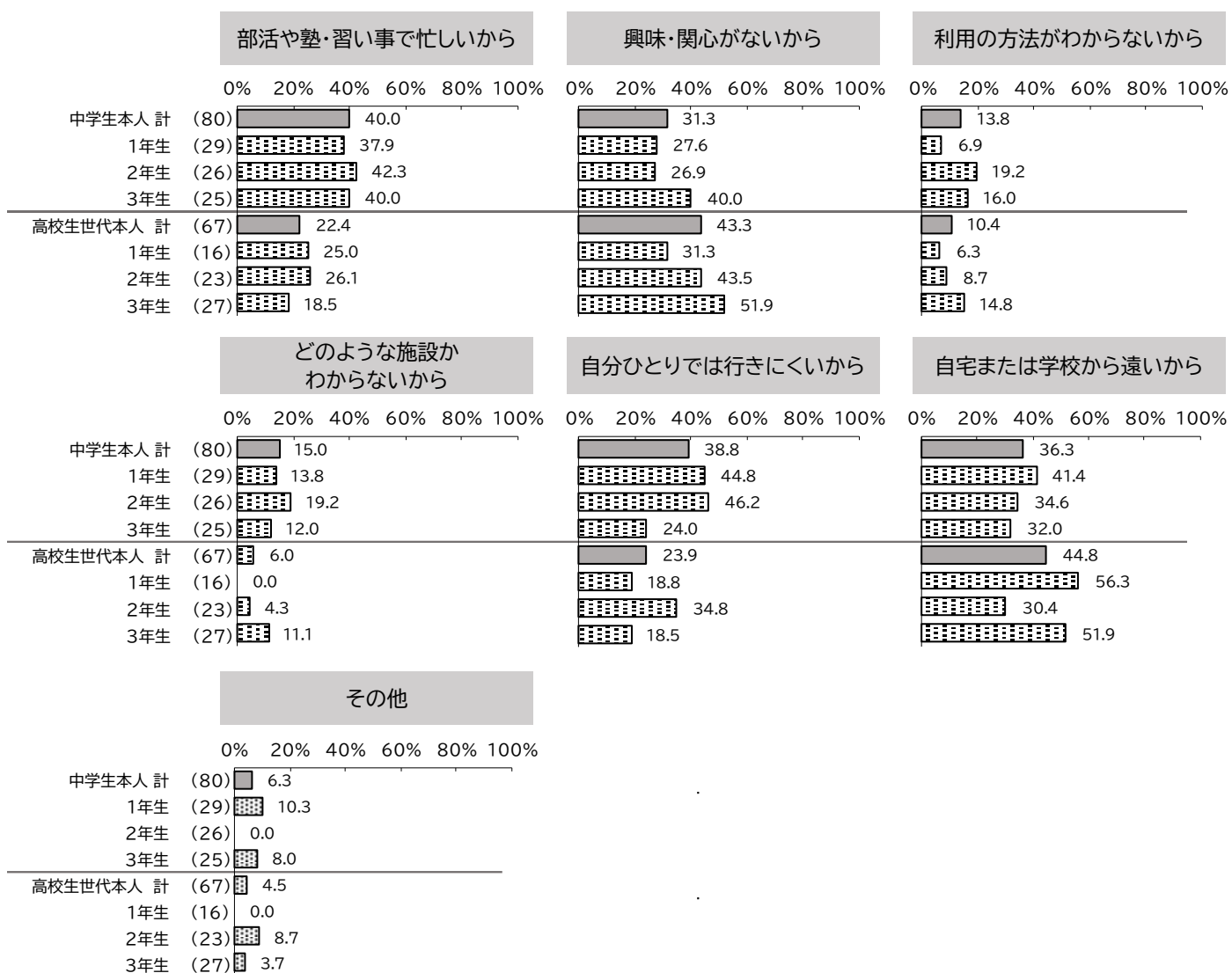
青少年プラザ(b-lab)を利用しない理由については、中学生本人では「部活や塾・習い事で忙しいから」が 40.0%、高校生世代本人では「自宅または学校から遠いから」が 44.8%で最も多くなっている。



《 青少年プラザ(b-lab)を利用しない理由(複数回答)－学年別 》

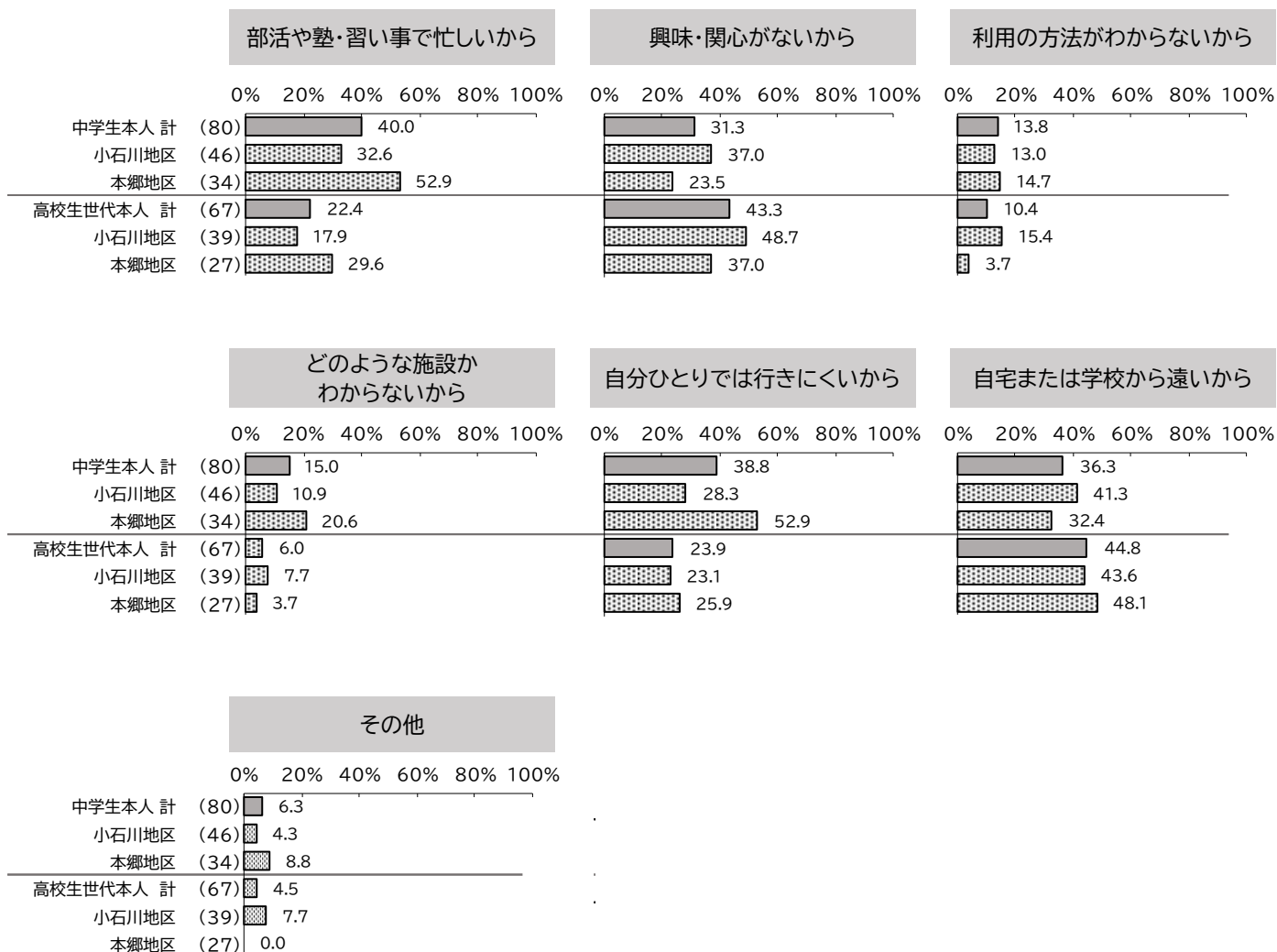
子どもの学年別にみると、「部活や塾・習い事で忙しいから」は中学生本人では2年生が 42.3%、高校生世代本人では2年生が 26.1%で最も多くなっている。

「自宅または学校から遠いから」は中学生本人では1年生が 41.4%、高校生世代本人でも1年生が 56.3%と最も多くなっている。



《 青少年プラザ(b-lab)を利用しない理由(複数回答)－地区別 》

地区別にみると、「興味・関心がないから」は中学生本人及び高校生世代本人で小石川地区が多くなっている。一方、「部活や塾・習い事で忙しいから」「自分ひとりでは行きにくいから」は中学生本人及び高校生世代本人で本郷地区が多くなっている。



※小石川地区:後楽、春日、小石川、白山、千石、水道、小日向、大塚、関口、目白台、音羽
 本郷地区:本郷、湯島、西片、向丘、弥生、根津、千駄木、本駒込

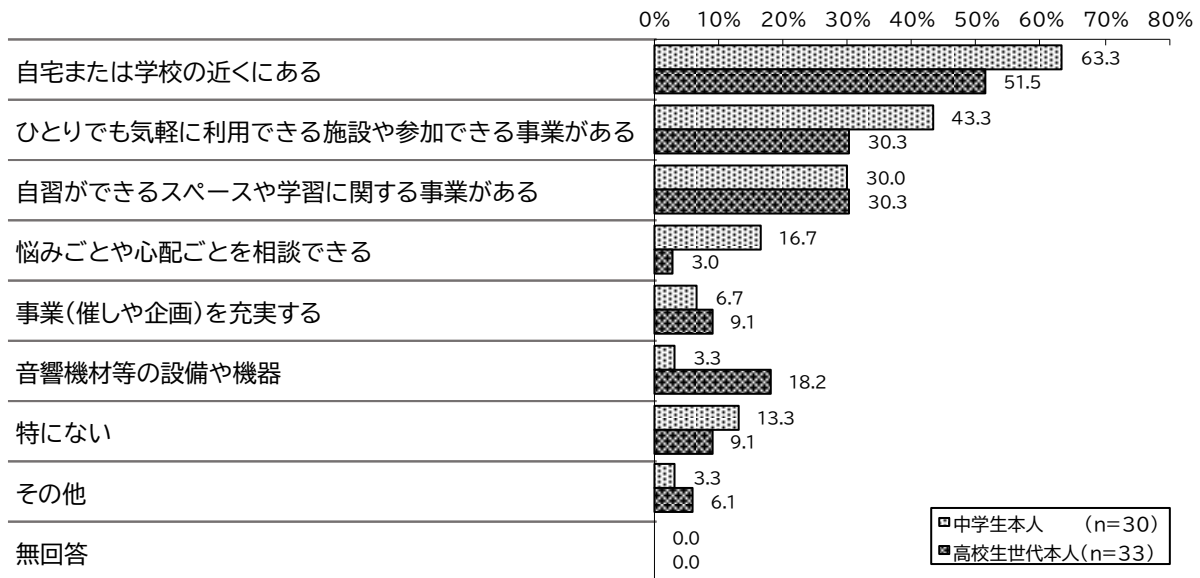
④【青少年プラザ(b-lab)を知っている人】

〔中学生本人：問 12-3〕

どのような施設(機能)があれば利用したいか(複数回答)

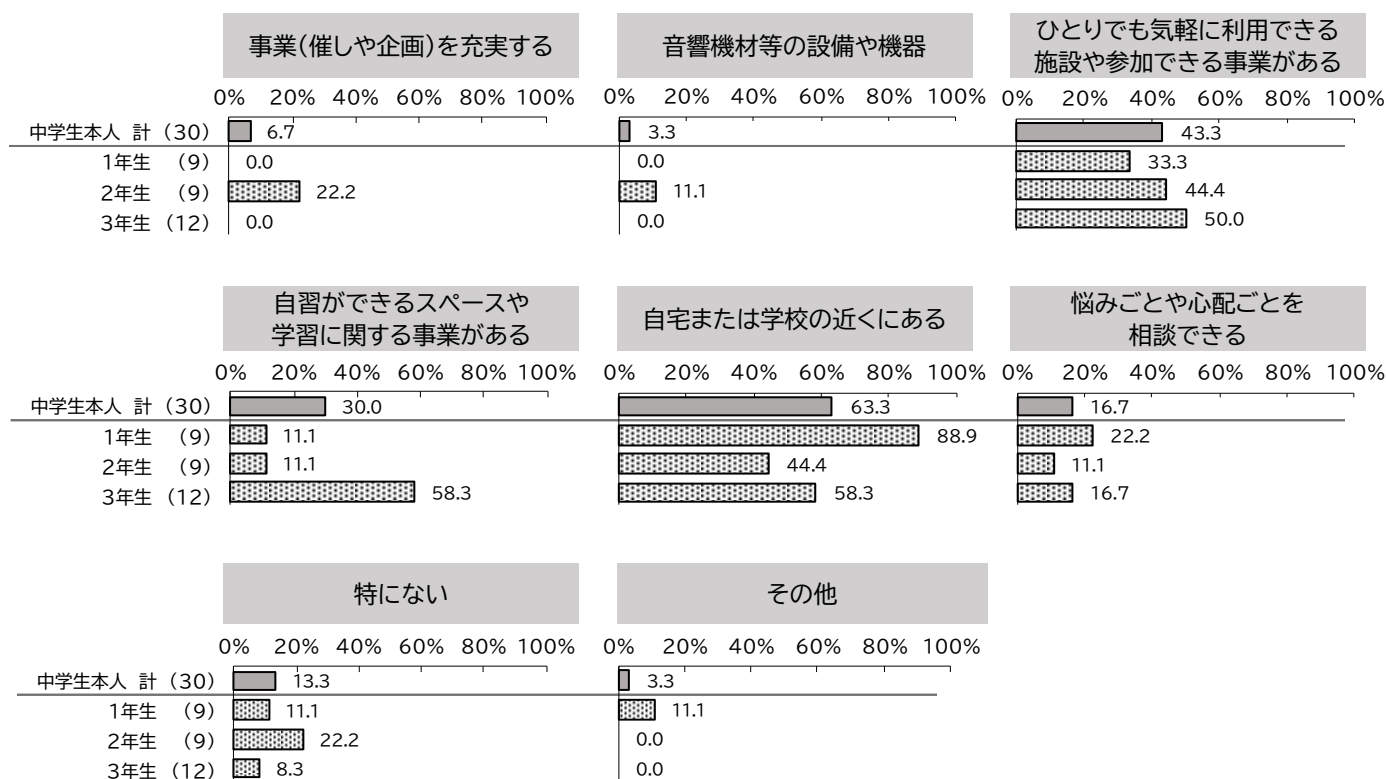
〔高校生世代本人：問 11-3〕

青少年プラザ(b-lab)にどのような施設(機能)があれば利用したいかを尋ねたところ、中学生本人及び高校生世代本人ともに「自宅または学校の近くにある」がそれぞれ 63.3%、51.5%と最も多くなっている。次いで「ひとりでも気軽に利用できる施設や参加できる事業がある」がそれぞれ 43.3%、30.3%となっている。また、高校生世代本人では「自習ができるスペースや学習に関する事業がある」も 30.3%となっている。



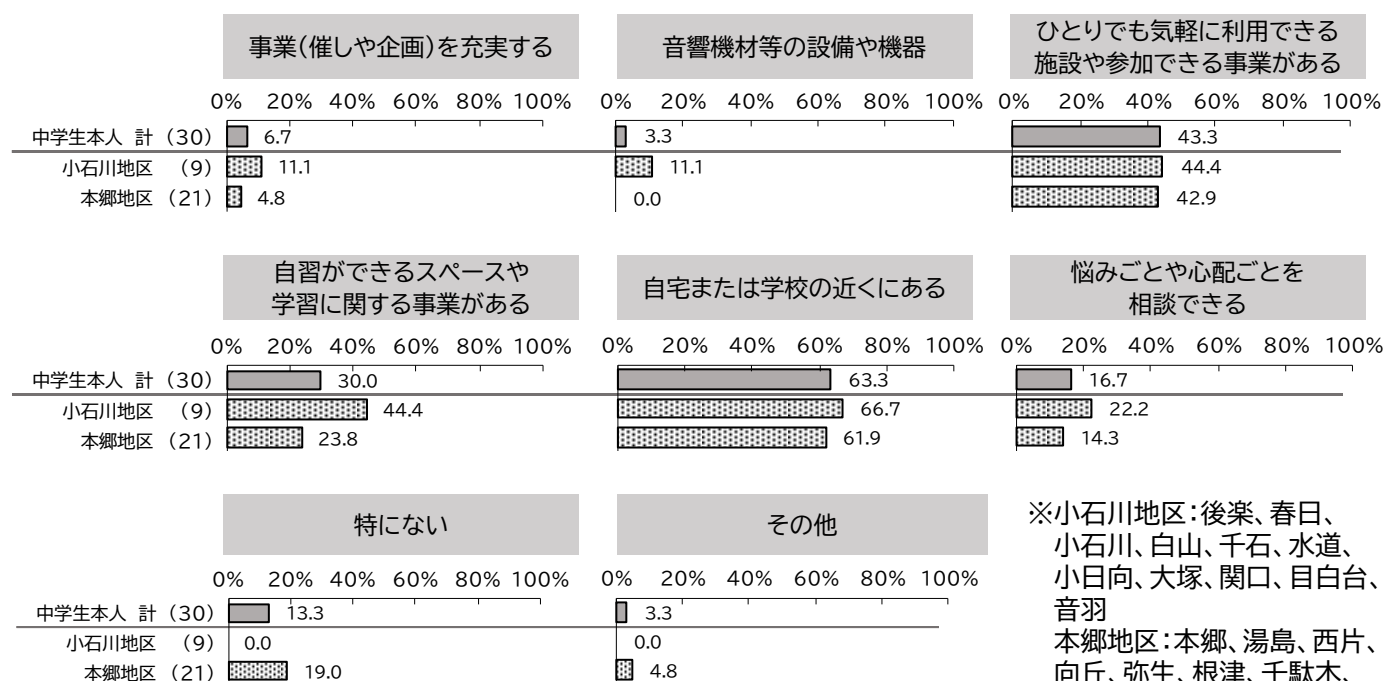
《 【中学生本人】どのような施設(機能)があれば利用したいか(複数回答)－学年別 》

学年別にみると、「自宅または学校の近くにある」は1年生が88.9%と最も多くなっている。「ひとりでも気軽に利用できる施設や参加できる事業がある」は3年生が50.0%と最も多く、学年が上がるにつれて増加していく傾向がうかがえる。「自習ができるスペースや学習に関する事業がある」は3年生が58.3%と最も多くなっている。



《 【中学生本人】どのような施設(機能)があれば利用したいか(複数回答)－地区別 》

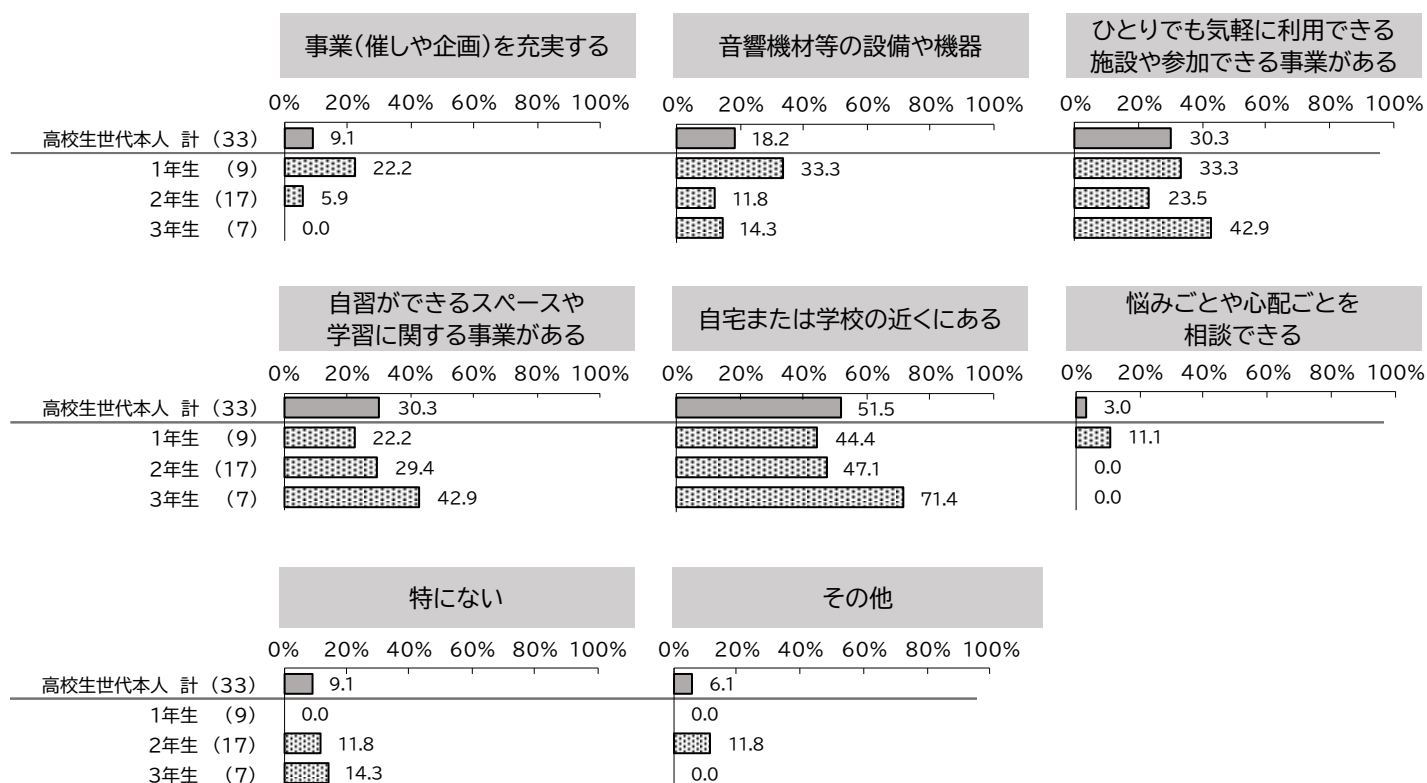
地区別にみると、「ひとりでも気軽に利用できる施設や参加できる事業がある」は地区による大きな差はない。「自習ができるスペースや学習に関する事業がある」と「自宅または学校の近くにある」は小石川地区が多くなっている。



※小石川地区:後楽、春日、小石川、白山、千石、水道、小日向、大塚、関口、目白台、音羽
 本郷地区:本郷、湯島、西片、向丘、弥生、根津、千駄木、本駒込

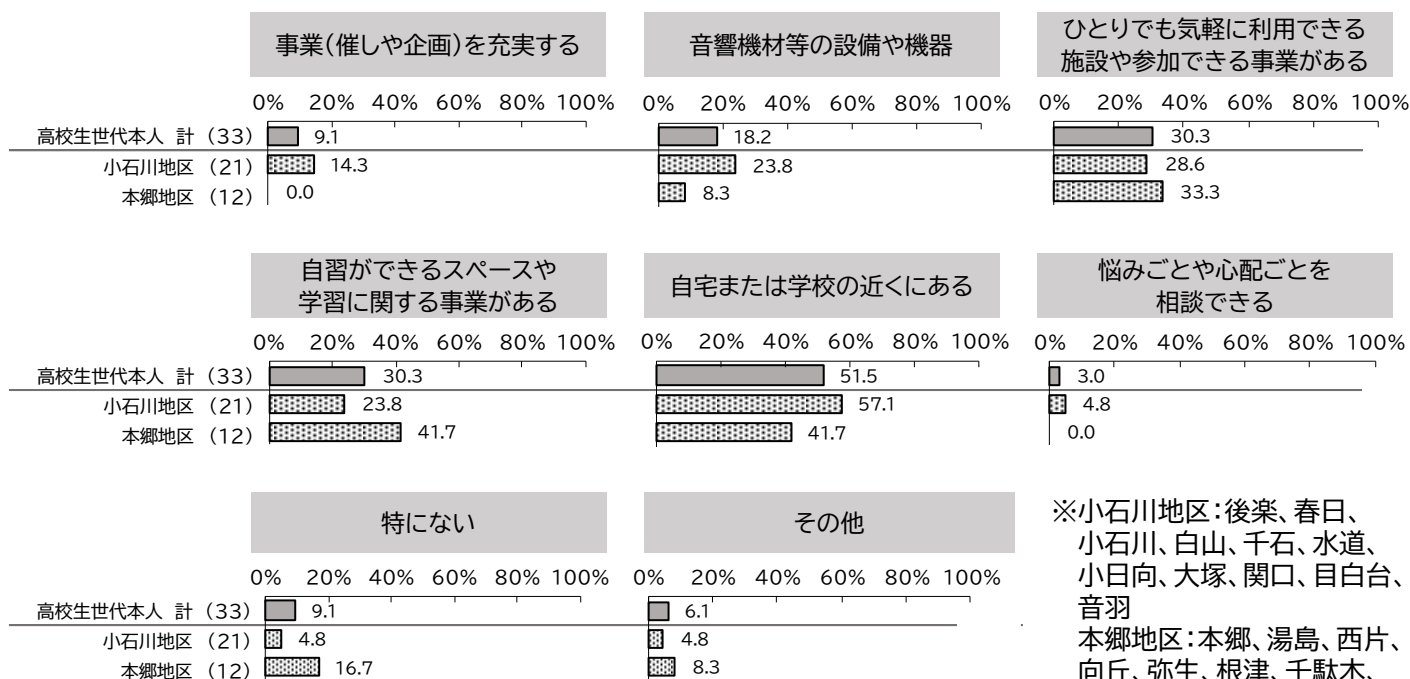
《 【高校生世代本人】どのような施設(機能)があれば利用したいか(複数回答)－学年別 》

学年別にみると、「自宅または学校の近くにある」は3年生が71.4%と最も多くなっている。「ひとりでも気軽に利用できる施設や参加できる事業がある」は3年生が42.9%と最も多くなっている。「自習ができるスペースや学習に関する事業がある」は3年生が42.9%と最も多く、学年が上がるにつれて増加する傾向がうかがえる。



《 【高校生世代本人】どのような施設(機能)があれば利用したいか(複数回答)－地区別 》

地区別にみると、「自宅または学校の近くにある」は小石川地区が57.1%と多くなっている。「ひとりでも気軽に利用できる施設や参加できる事業がある」と「自習ができるスペースや学習に関する事業がある」は本郷地区が多くなっている。



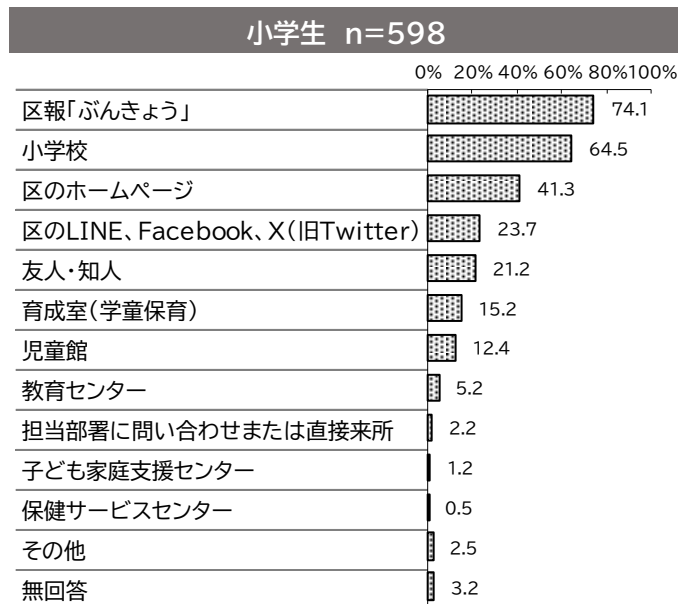
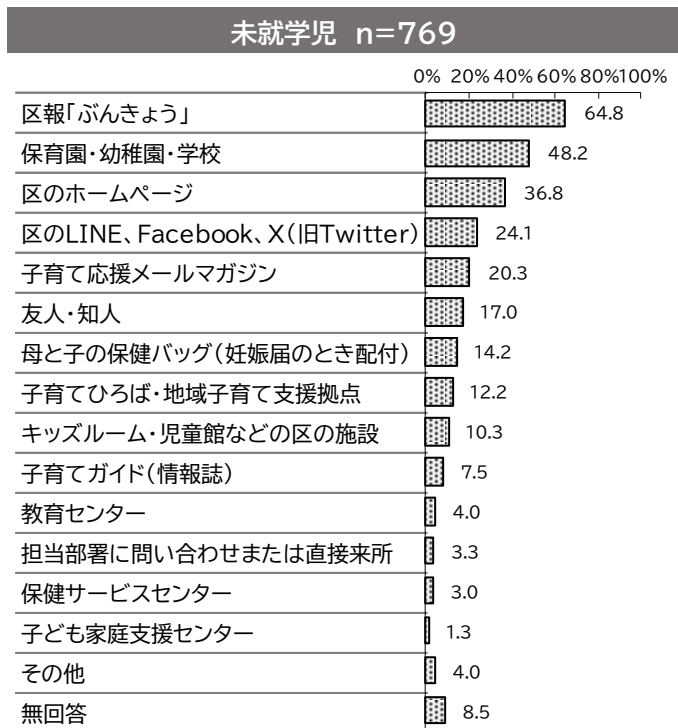
※小石川地区:後楽、春日、小石川、白山、千石、水道、小日向、大塚、関口、目白台、音羽
 本郷地区:本郷、湯島、西片、向丘、弥生、根津、千駄木、本駒込

(4)子育て支援サービス情報の入手方法(複数回答)

〔未就学児：問38〕〔小学生：問22〕

子育て支援サービス情報の入手方法については、未就学児の保護者は「区報『ぶんきょう』」が64.8%と最も多く、「保育園・幼稚園・学校」が48.2%、「区のホームページ」が36.8%の順となっている。

小学生の保護者では「区報『ぶんきょう』」が74.1%、「小学校」が64.5%、「区のホームページ」が41.3%の順となっている。

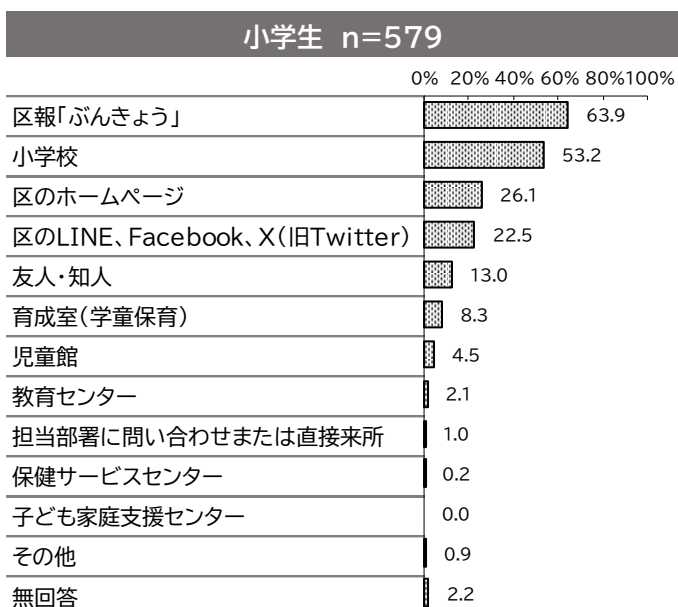
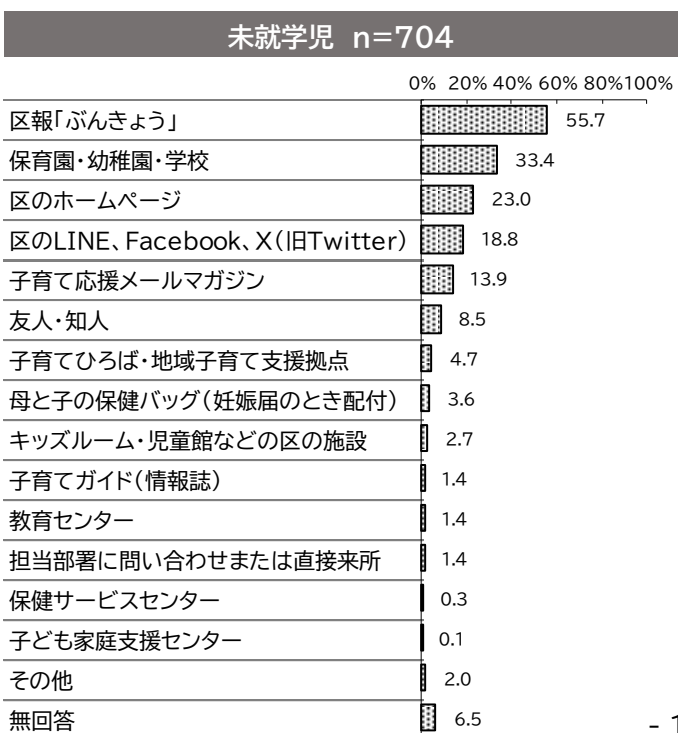


(5)子育て支援サービス情報が入手しやすい方法(3つ回答)

〔未就学児：問38-1〕〔小学生：問22-1〕

子育て支援サービス情報の入手方法として回答したもののうち、入手しやすい方法については、未就学児の保護者は「区報『ぶんきょう』」が55.7%と最も多く、「保育園・幼稚園・学校」が33.4%、「区のホームページ」が23.0%の順となっている。

小学生の保護者では「区報『ぶんきょう』」が63.9%、「小学校」が53.2%、「区のホームページ」が26.1%の順となっている。



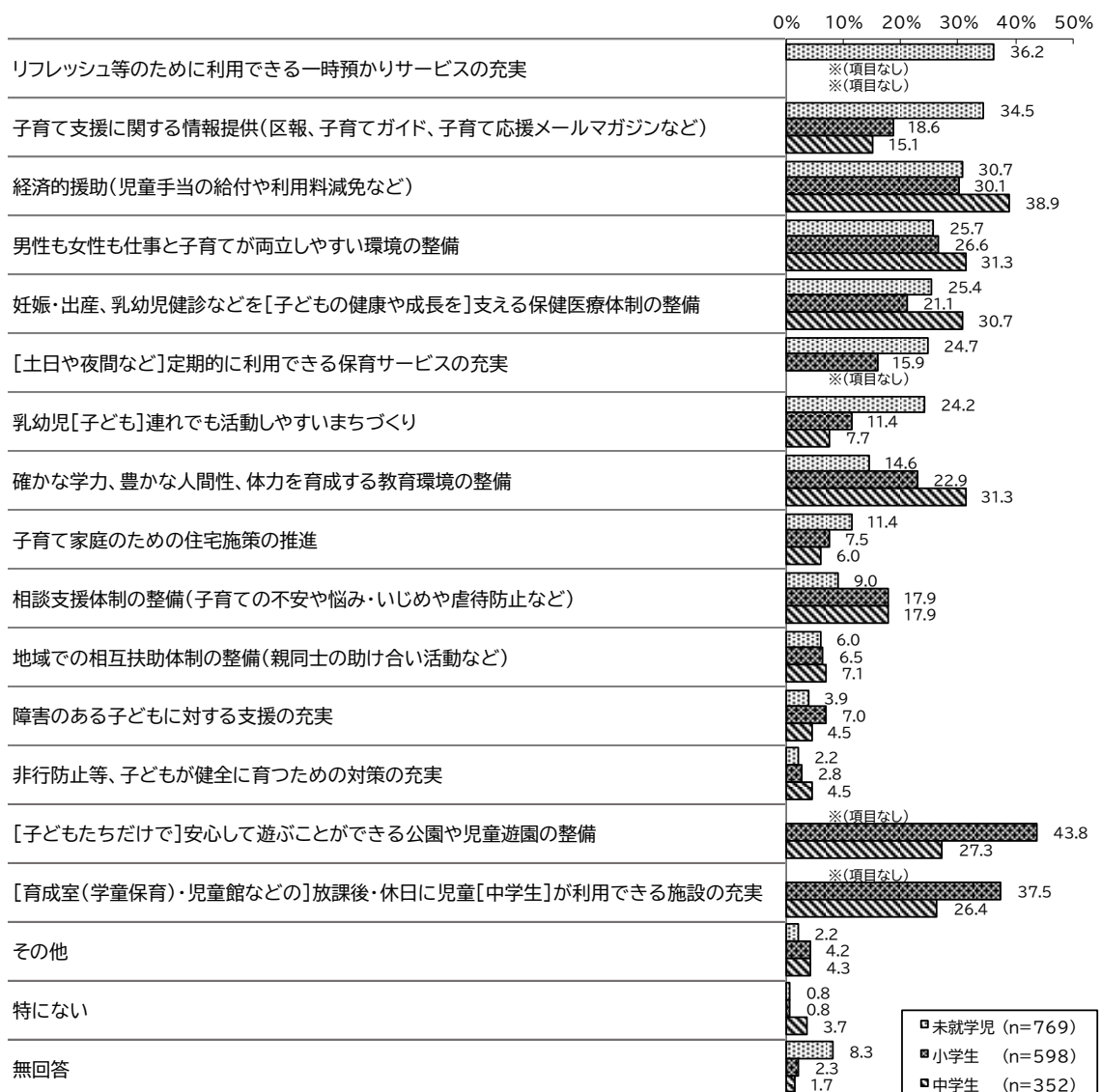
(6) 役立つ子育て支援の施設・サービス(3つ回答)

〔未就学児：問39〕〔小学生：問21〕〔中学生：問12〕

役立つ子育て支援の施設・サービスについて尋ねたところ、未就学児の保護者は「リフレッシュ等のために利用できる一時預かりサービスの充実」、「子育て支援に関する情報提供(区報、子育てガイド、子育て応援メールマガジンなど)」及び「経済的援助(児童手当の給付や利用料免除など)」が3割を超えている。

小学生の保護者は「子どもたちだけで安心して遊ぶことができる公園や児童遊園の整備」が43.8%と最も多く、次いで「育成室(学童保育)・児童館などの放課後・休日に児童が利用できる施設の充実」が37.5%、「経済的援助(児童手当の給付や利用料減免など)」が30.1%の順となっている。

中学生の保護者は「経済的援助(児童手当の給付や利用料減免など)」が38.9%と最も多く、次いで「男性も女性も仕事と子育てが両立しやすい環境の整備」と「確かな学力、豊かな人間性、体力を育成する教育環境の整備」がともに31.3%の順となっている。



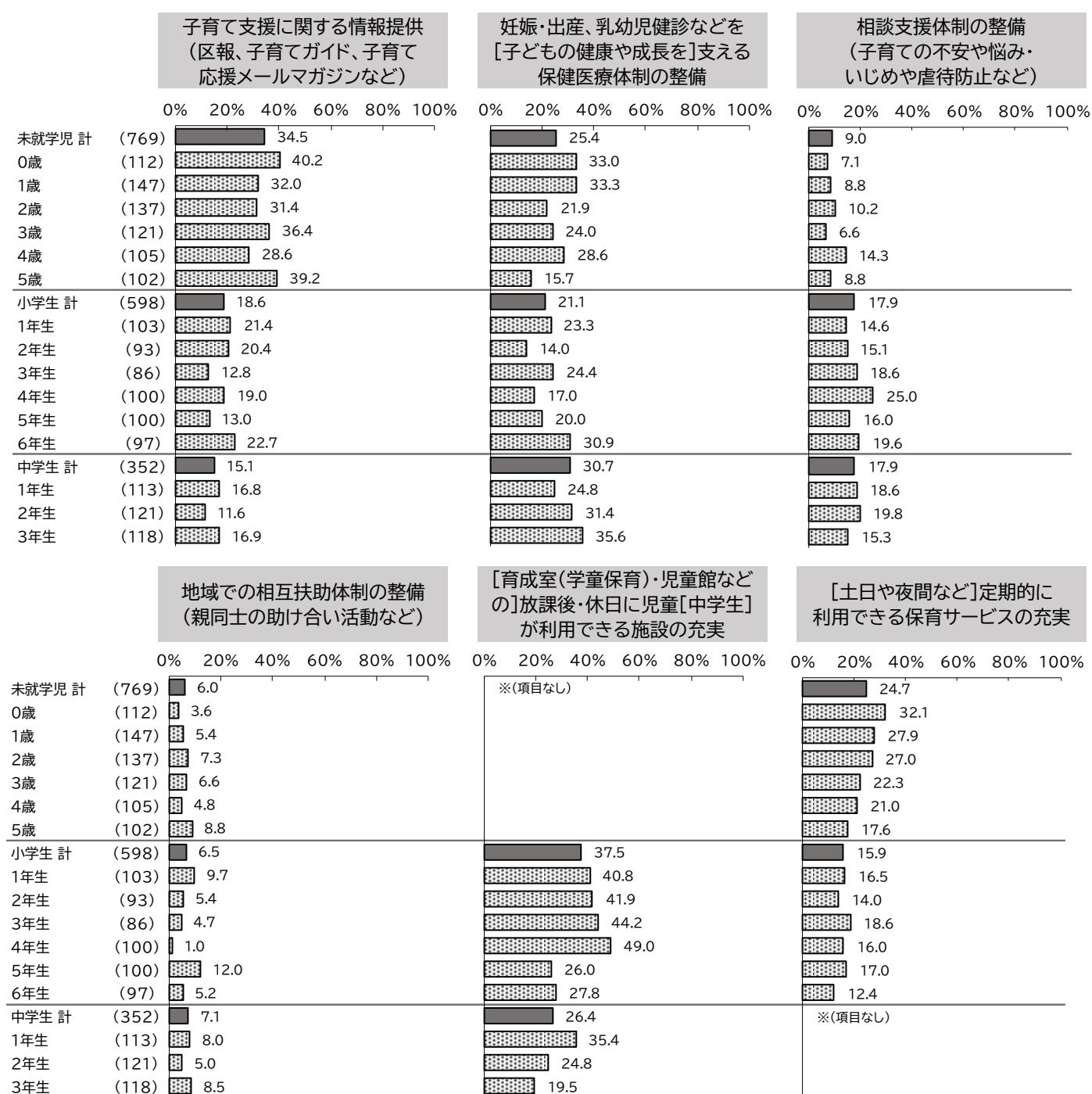
※選択肢内[]は、小学生、中学生で表現が異なる。

《 役立つ子育て支援の施設・サービス—子どもの年齢／学年別 《

子どもの年齢・学年別にみると、未就学児の保護者では、「リフレッシュ等のために利用できる一時預かりサービスの充実」は3歳が41.3%、「子育て支援に関する情報提供(区報、子育てガイド、子育て応援メールマガジンなど)」は0歳が40.2%、「経済的援助(児童手当の給付や利用料免除など)」は2歳が34.3%と最も多くなっている。

小学生の保護者では、「子どもたちだけで安心して遊ぶことができる公園や児童遊園の整備」は5年生が48.0%、「育成室(学童保育)・児童館などの放課後・休日に児童が利用できる施設の充実」は4年生が49.0%、「経済的援助(児童手当の給付や利用料減免など)」は3年生と5年生がともに36.0%と最も多くなっている。

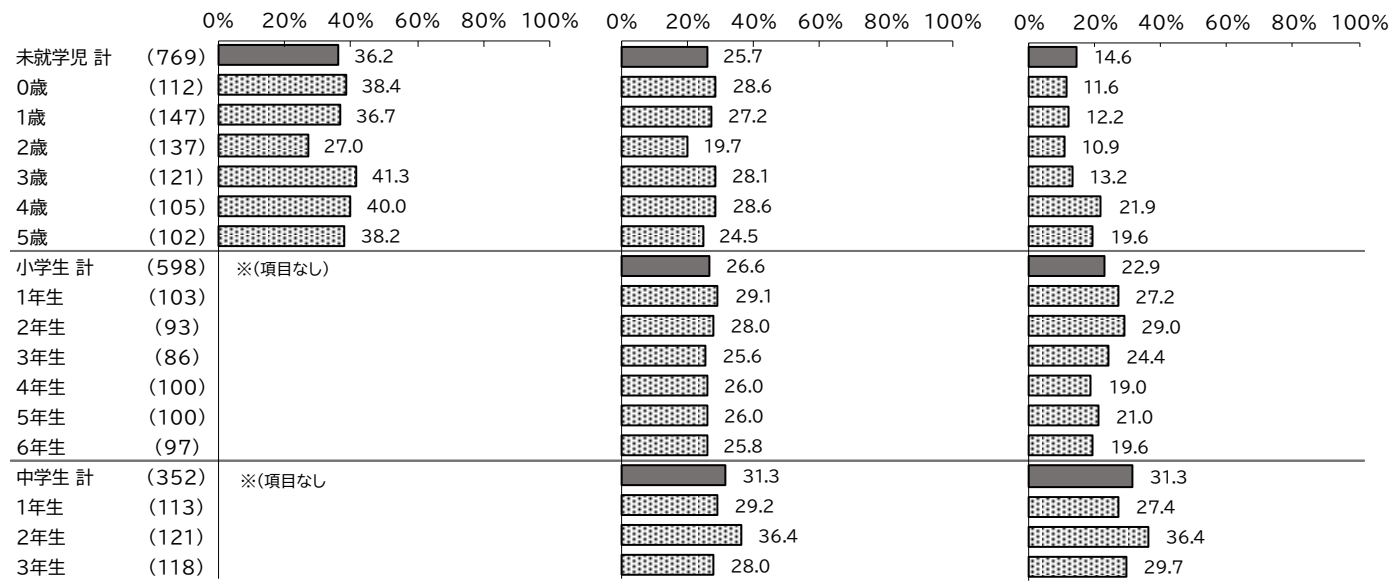
中学生の保護者は「経済的援助(児童手当の給付や利用料減免など)」は学年が高くなるほど多い傾向がうかがえる。「男性も女性も仕事と子育てが両立しやすい環境の整備」と「確かな学力、豊かな人間性、体力を育成する教育環境の整備」は2年生が36.4%とともに最も多くなっている。



リフレッシュ等のために
利用できる一時預かりサービスの
充実

男性も女性も仕事と子育てが両
立しやすい環境の整備

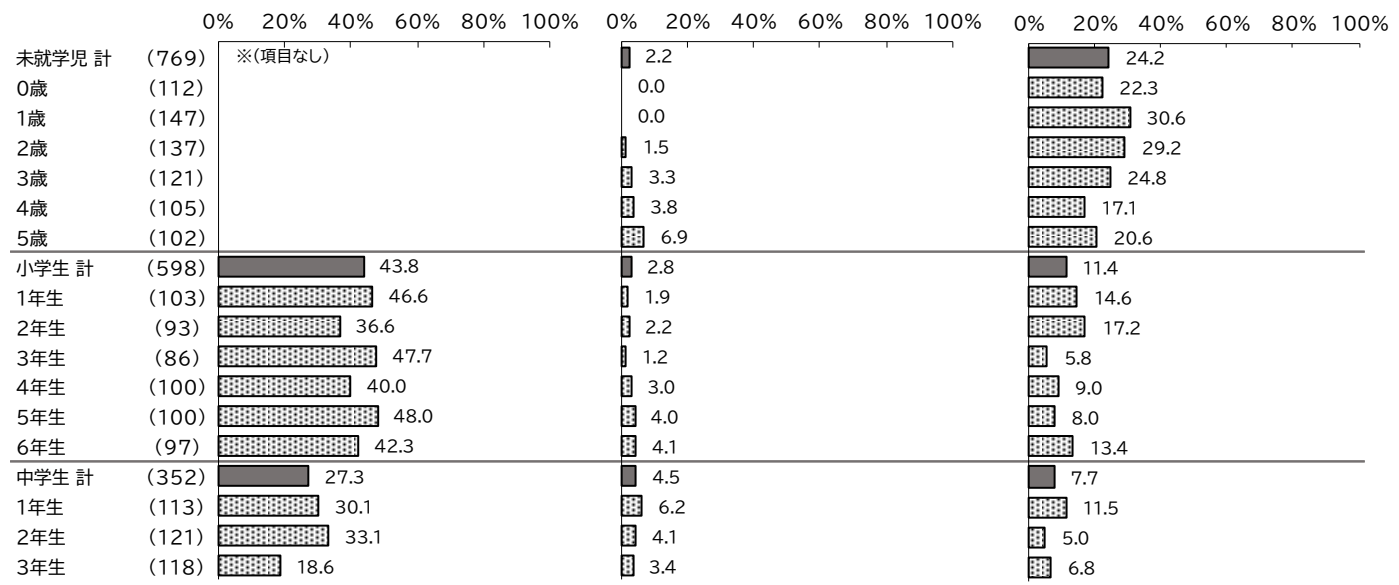
確かな学力、豊かな人間性、
体力を育成する教育環境の整備



[子どもたちだけで]安心して
遊ぶことができる公園や
児童遊園の整備

非行防止等、子どもが健全に育
つための対策の充実

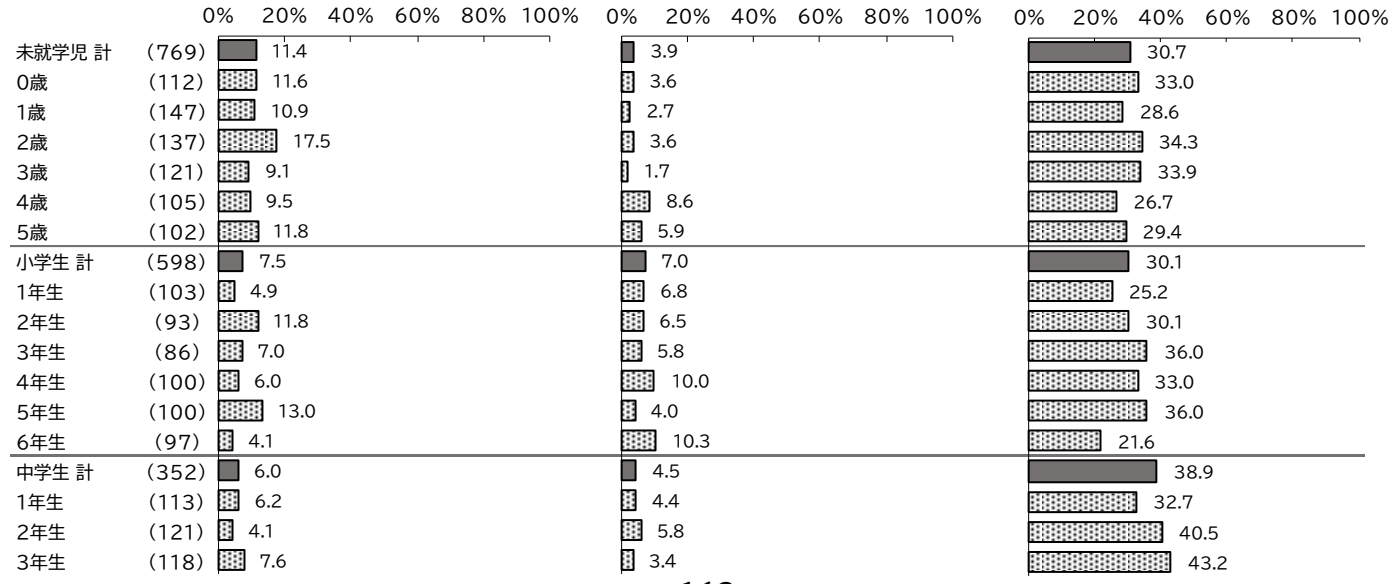
乳幼児[子ども]連れでも活動し
やすいまちづくり

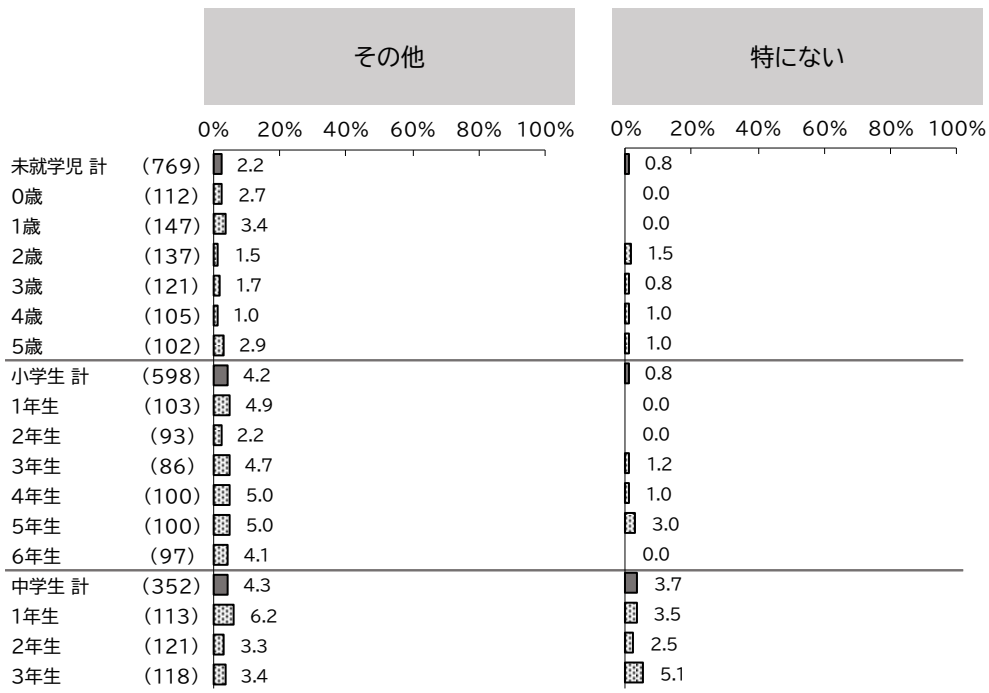


子育て家庭のための
住宅施策の推進

障害のある子どもに対する
支援の充実

経済的援助
(児童手当の給付や
利用料減免など)



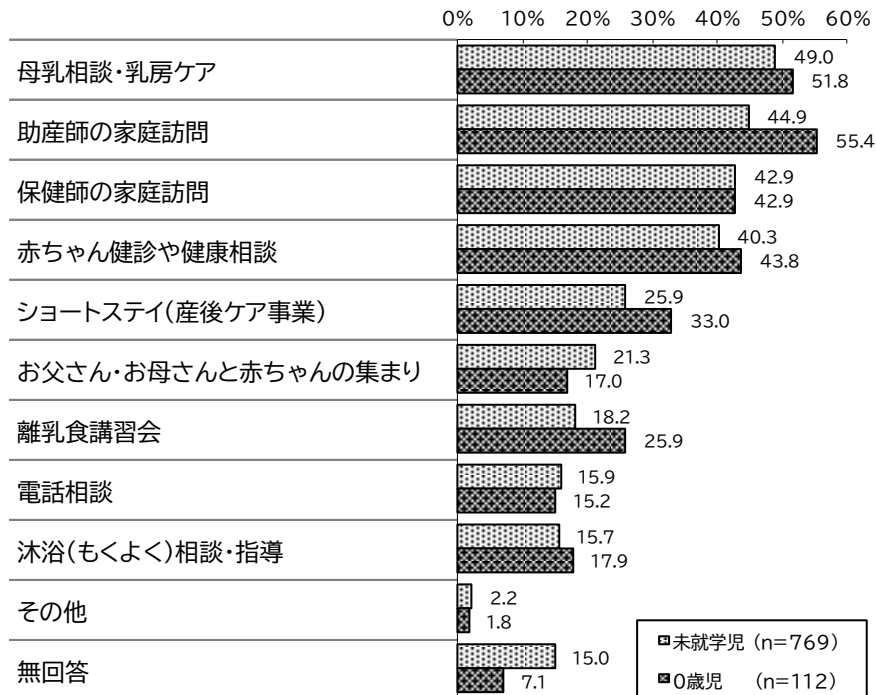


(7) 出産時から4か月健診までの間に受けてみたい保健サービス(複数回答)

〔未就学児：問40〕

未就学児の保護者に対し、出産時から4か月健診までの間に受けてみたい保健サービスを尋ねたところ、「母乳相談・乳房ケア」が49.0%と最も多く、次いで「助産師の家庭訪問」44.9%、「保健師の家庭訪問」42.9%の順となっている。

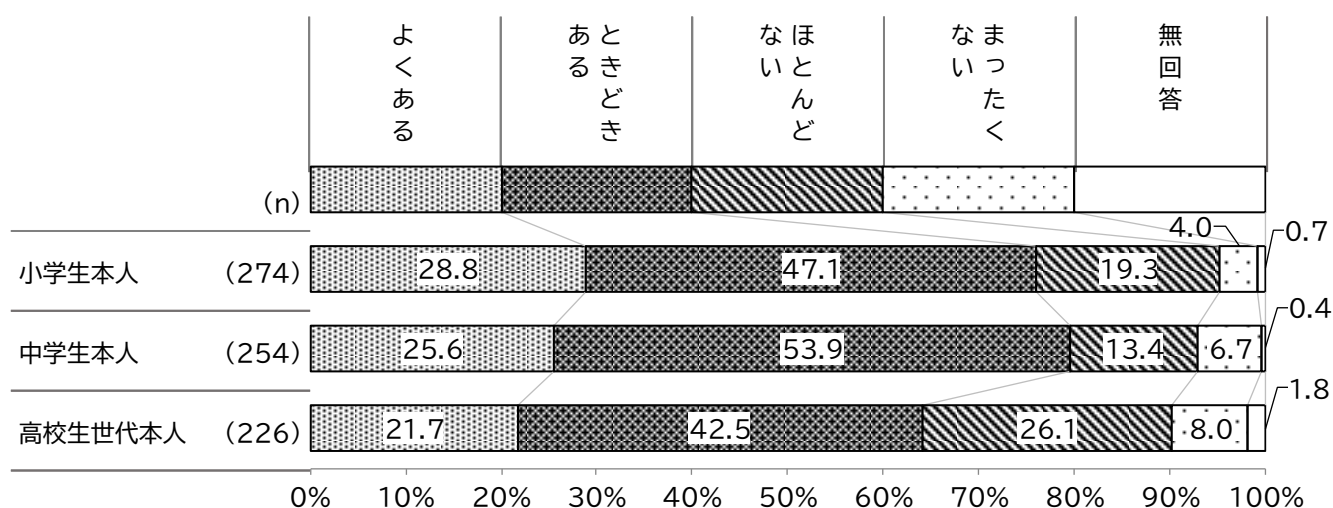
4か月までの対象に最も近い0歳児の保護者のみでみると、「助産師の家庭訪問」が55.4%と最も多く、次いで「母乳相談・乳房ケア」51.8%、「赤ちゃん健診や健康相談」43.8%の順となっている。



14 近所や地域との関わり方について

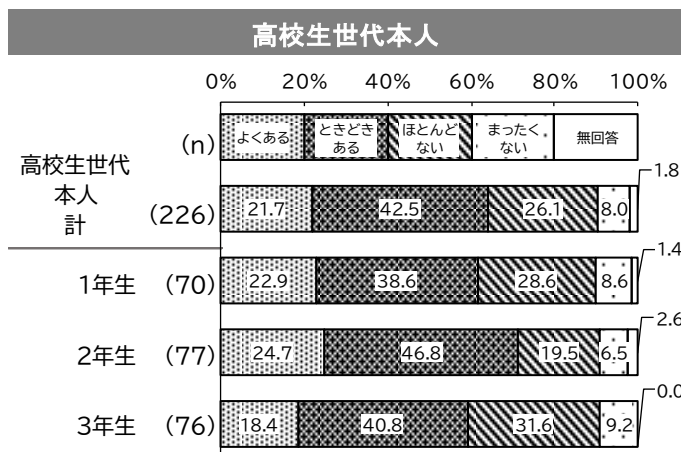
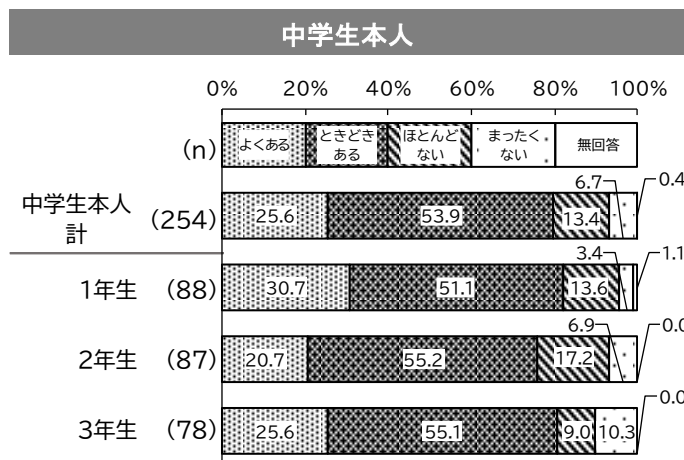
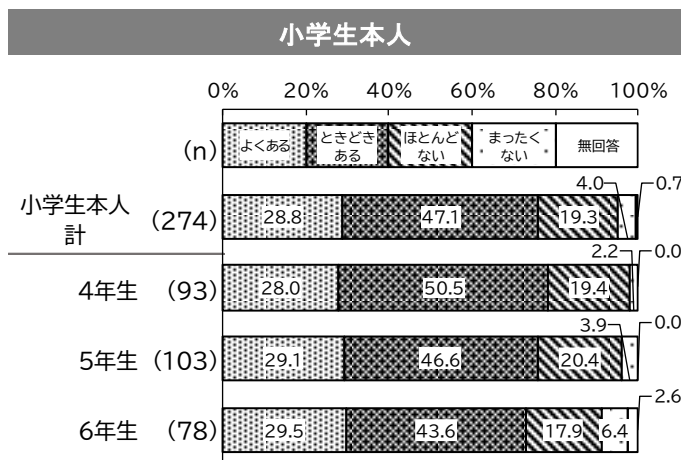
(1)近所の人とのあいさつ・会話の程度 〔小学生本人：問 13〕〔中学生本人：問 14〕〔高校生世代本人：問 13〕

(子どもと)近所の人とのあいさつや会話の程度について尋ねたところ、小学生本人は「よくある」28.8%、「ときどきある」47.1%、中学生本人は「よくある」25.6%、「ときどきある」53.9%、高校生世代本人は「よくある」21.7%、「ときどきある」42.5%となっている。「よくある」と「ときどきある」の合計では小学生本人が75.9%、中学生本人が79.5%となっており、高校生世代本人の64.2%に比べて多くなっている。



《 近所の人とのあいさつ・会話の程度－子どもの学年／年齢別 》

学年・年齢別で見ると、小学生本人では「よくある」は全ての学年で2割後半となっている。中学生本人では「よくある」は1年生が約3割と最も多くなっている。高校生世代本人では「よくある」は1年生、2年生が2割台となっている。

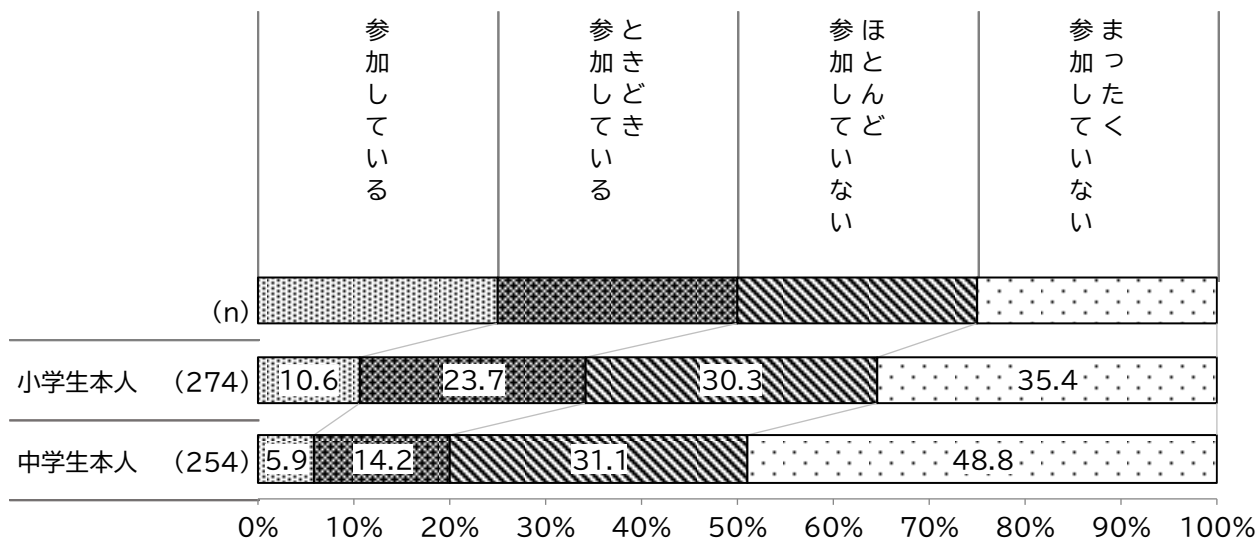


(2)地域活動・ボランティア活動の参加状況

〔小学生本人：問 14〕〔中学生本人：問 15〕

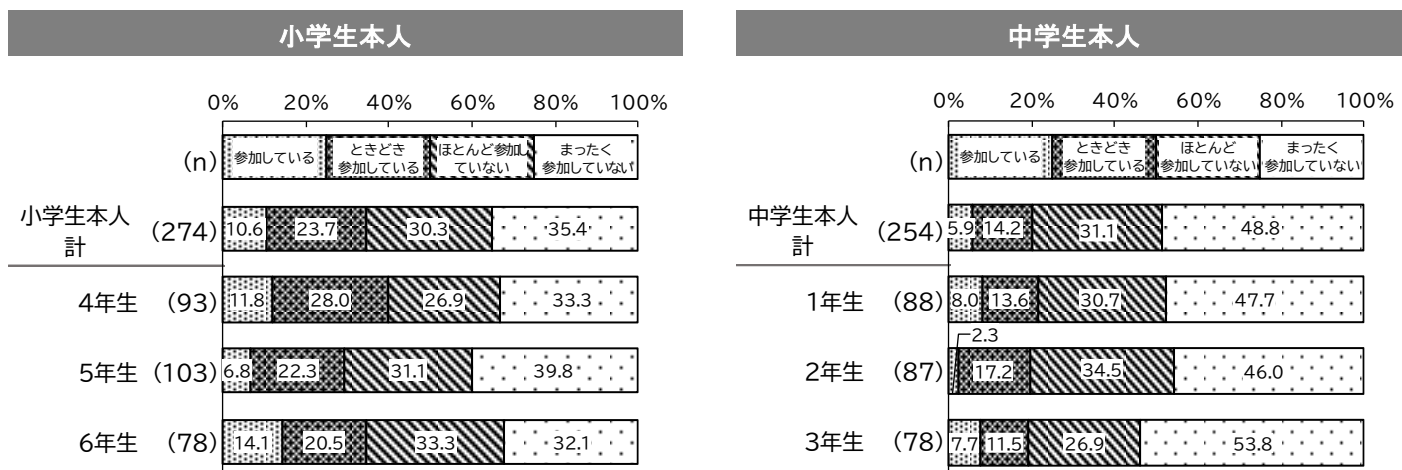
地域活動・ボランティア活動の参加状況を尋ねたところ、小学生本人は「参加している」10.6%、「ときどき参加している」23.7%であり、これらの計が 34.3%となっている。中学生本人は「参加している」5.9%、「ときどき参加している」14.2%であり、これらの計が 20.1%となっている。

一方、「ほとんど参加していない」、「まったく参加していない」の計は、小学生本人が 65.7%、中学生本人が 79.9%となっている。



《 地域活動・ボランティア活動の参加頻度－子どもの学年別 》

学年別にみると、「参加している」「ときどき参加している」の計は小学生4年生が 39.8%、中学生1年生が 21.6%と最も多くなっている。

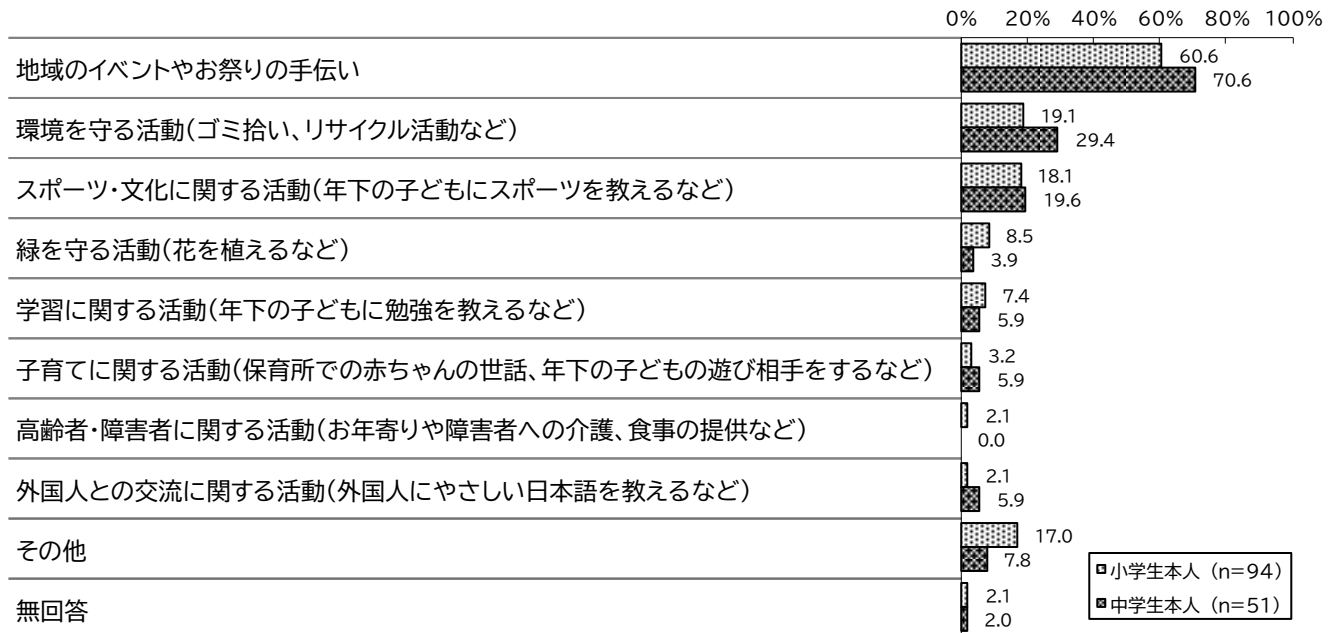


(3)参加している・参加してみたい地域活動・ボランティア活動(複数回答)

①小学生本人、中学生本人

[小学生本人：問 14-1] [中学生本人：問 15-1]

地域活動・ボランティア活動に「参加している」「ときどき参加している」と回答した小学生本人と中学生本人に、参加している活動内容について尋ねたところ、「地域のイベントやお祭りの手伝い」がそれぞれ 60.6%、70.6%で最も多く、次いで「環境を守る活動(ゴミ拾い、リサイクル活動など)」がそれぞれ 19.1%、29.4%となっている。



《 【小学生本人】参加している・地域活動・ボランティア活動内容－学年別 》

学年別でみると、参加している活動は、「地域のイベントやお祭りの手伝い」は全ての学年で最も多くなっている。「環境を守る活動(ゴミ拾い、リサイクル活動など)」は6年生が 25.9%と最も多く、学年が上がるにつれて増加していく傾向がうかがえる。

(%)

	小学生本人計	学年		
		4年生	5年生	6年生
(n)	(94)	(37)	(30)	(27)
地域のイベントやお祭りの手伝い	60.6	51.4	66.7	66.7
環境を守る活動(ゴミ拾い、リサイクル活動など)	19.1	13.5	20.0	25.9
緑を守る活動(花を植えるなど)	8.5	8.1	16.7	0.0
スポーツ・文化に関する活動 (年下の子どもにスポーツを教えるなど)	18.1	18.9	20.0	14.8
子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、 年下の子どもとの遊び相手をするなど)	3.2	2.7	6.7	0.0
高齢者・障害者に関する活動 (お年寄りや障害者への介護、食事の提供など)	2.1	2.7	3.3	0.0
学習に関する活動(年下の子どもに勉強を教えるなど)	7.4	10.8	6.7	3.7
外国人との交流に関する活動 (外国人にやさしい日本語を教えるなど)	2.1	2.7	0.0	3.7
その他	17.0	18.9	13.3	18.5
無回答	2.1	0.0	0.0	7.4

《 【中学生本人】参加している・地域活動・ボランティア活動内容－学年別 》

学年別でみると、参加している活動は、「地域のイベントやお祭りの手伝い」は全ての学年で最も多くなっている。「環境を守る活動(ゴミ拾い、リサイクル活動など)」は2年生が 41.2%と最も多く、次いで1年生が 31.6%、3年生が 13.3%となっている。

(%)

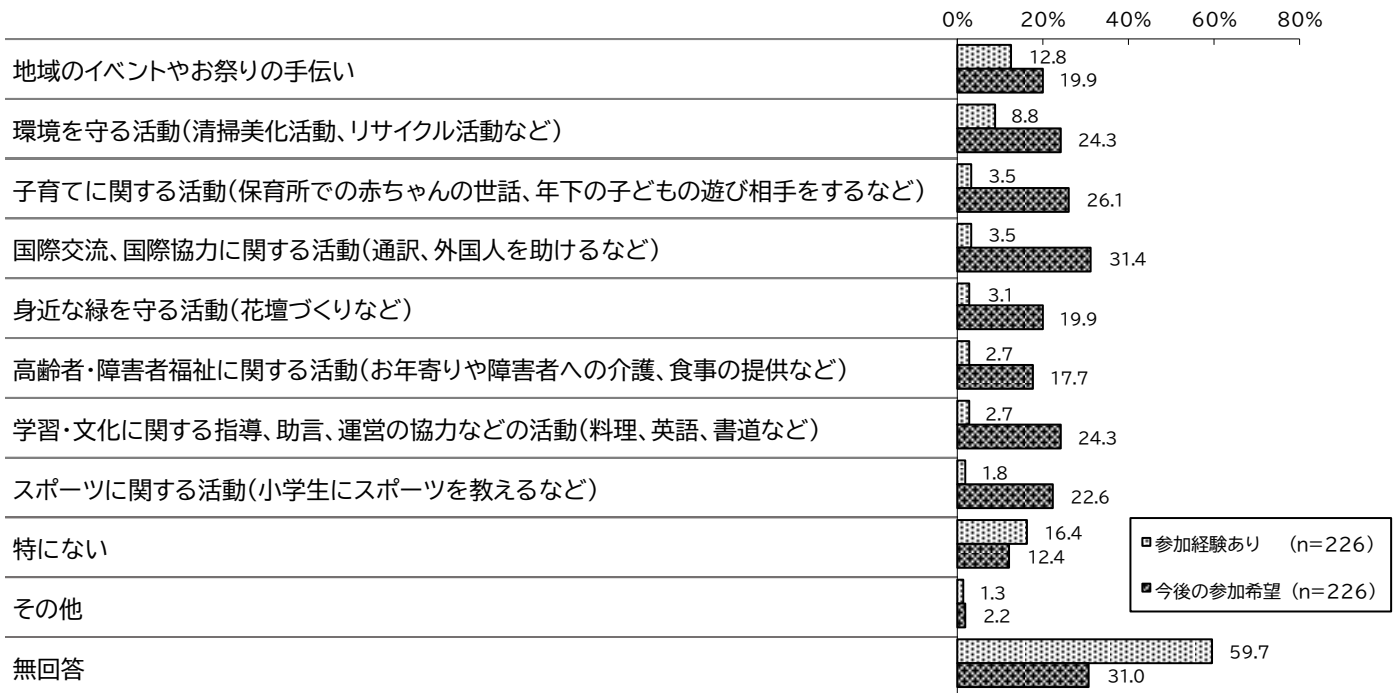
	中学生本人計	学年		
		1年生	2年生	3年生
(n)	(51)	(19)	(17)	(15)
地域のイベントやお祭りの手伝い	70.6	63.2	82.4	66.7
環境を守る活動(ゴミ拾い、リサイクル活動など)	29.4	31.6	41.2	13.3
緑を守る活動(花を植えるなど)	3.9	10.5	0.0	0.0
スポーツ・文化に関する活動 (年下の子どもにスポーツを教えるなど)	19.6	15.8	23.5	20.0
子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、 年下の子どもとの遊び相手をするなど)	5.9	0.0	11.8	6.7
高齢者・障害者に関する活動 (お年寄りや障害者への介護、食事の提供など)	0.0	0.0	0.0	0.0
学習に関する活動(年下の子どもに勉強を教えるなど)	5.9	5.3	11.8	0.0
外国人との交流に関する活動 (外国人にやさしい日本語を教えるなど)	5.9	10.5	0.0	6.7
その他	7.8	5.3	11.8	6.7
無回答	2.0	5.3	0.0	0.0

②高校生世代本人

〔高校生世代本人：問 14〕

高校生世代本人に地域活動・ボランティア活動への参加について尋ねたところ、「特にない」が現在の参加状況で 16.4%と最も多くなっている。

今後の参加希望では「国際交流、国際協力に関する活動(通訳、外国人を助けるなど)」が 31.4%と最も多くなっている。



《 【高校生世代本人】参加している・参加してみたい地域活動・ボランティア活動内容－学年別 》

高校生世代の学年別にみると、現在の参加状況では、1年生は「子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、年下の子どもの遊び相手をするなど)」、3年生は「環境を守る活動(清掃美化活動、リサイクル活動など)」「高齢者・障害者福祉に関する活動(お年寄りや障害者への介護、食事の提供など)」などが他の年齢より多い傾向となっている。

今後の参加希望は、1年生は「身近な緑を守る活動(花壇づくりなど)」「国際交流、国際協力に関する活動」、2年生は「スポーツ・文化に関する活動」などが他の年齢より多い傾向となっている。

(%)

上段:参加経験あり 下段:今後の参加希望	高校生世代 本人 計 (n)	学年		
		1年生	2年生	3年生
環境を守る活動(清掃美化活動、リサイクル活動など)	8.8 24.3	7.1 27.1	9.1 20.8	10.5 23.7
身近な緑を守る活動(花壇づくりなど)	3.1 19.9	1.4 24.3	5.2 15.6	2.6 19.7
子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、 年下の子どもの遊び相手をするなど)	3.5 26.1	4.3 27.1	2.6 23.4	3.9 26.3
高齢者・障害者福祉に関する活動 (お年寄りや障害者への介護、食事の提供など)	2.7 17.7	0.0 24.3	2.6 10.4	5.3 18.4
スポーツに関する活動(小学生にスポーツを教えるなど)	1.8 22.6	1.4 21.4	2.6 26.0	1.3 21.1
学習・文化に関する指導、助言、運営の協力などの活動 (料理、英語、書道など)	2.7 24.3	0.0 27.1	5.2 23.4	2.6 22.4
国際交流、国際協力に関する活動 (通訳、外国人を助けるなど)	3.5 31.4	2.9 41.4	3.9 27.3	3.9 27.6
地域のイベントやお祭りの手伝い	12.8 19.9	7.1 22.9	15.6 16.9	15.8 21.1
特にない	16.4 12.4	14.3 10.0	14.3 11.7	21.1 15.8
その他	1.3 2.2	1.4 2.9	1.3 2.6	1.3 1.3
無回答	59.7 31.0	70.0 30.0	59.7 33.8	48.7 28.9

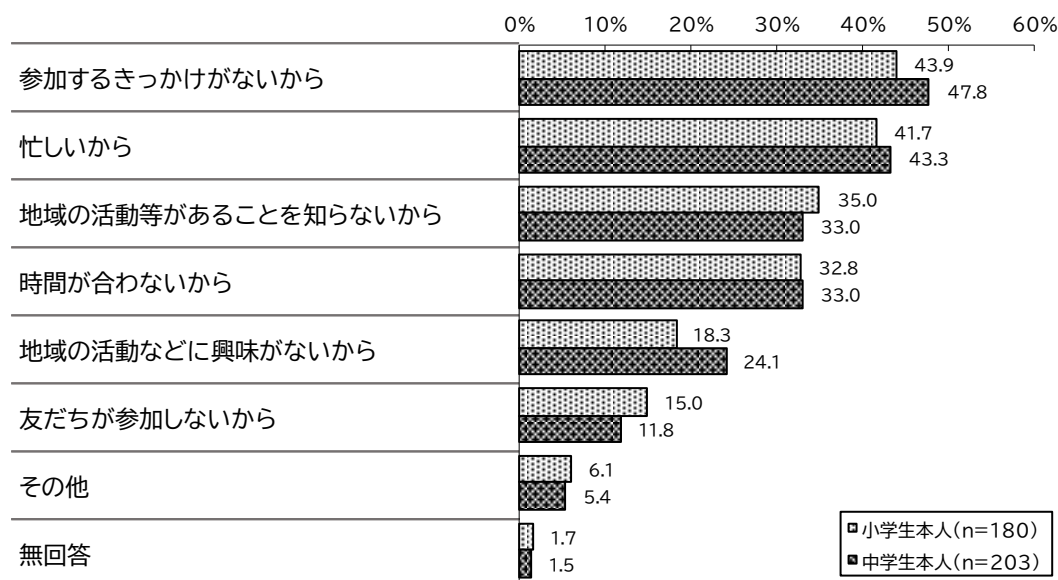
(4)【地域活動・ボランティア活動「ほとんど参加していない」「まったく参加していない」回答者】

地域活動・ボランティア活動内容に参加していない理由(複数回答)

[小学生本人：問 14-2]

[中学生本人：問 15-2]

地域活動・ボランティア活動に「ほとんど参加していない」「まったく参加していない」と回答した小学生本人及び中学生本人に、参加していない理由を尋ねたところ、「参加するきっかけがないから」がそれぞれ 43.9%、47.8%と最も多く、次いで「忙しいから」がそれぞれ 41.7%、43.3%、「地域の活動等があることを知らないから」がそれぞれ 35.0%、33.0%、「時間が合わないから」がそれぞれ 32.8%、33.0%となっている。



《 【小学生本人】地域活動・ボランティア活動内容に参加していない理由－学年別 《

小学生本人の学年別でみると、4年生、6年生は「忙しいから」がそれぞれ 39.3%、47.1%と最も多くなっている。5年生は「参加するきっかけがないから」が 54.8%と最も多くなっている。

また、「時間が合わないから」「忙しいから」「地域の活動等に興味がないから」は学年が上がるにつれて増加していく傾向がうかがえる。

(%)

	小学生本人計	学年		
		4年生	5年生	6年生
(n)	(180)	(56)	(73)	(51)
時間が合わないから	32.8	30.4	32.9	35.3
忙しいから	41.7	39.3	39.7	47.1
友だちが参加しないから	15.0	17.9	8.2	21.6
地域の活動等があることを知らないから	35.0	35.7	41.1	25.5
参加するきっかけがないから	43.9	35.7	54.8	37.3
地域の活動等に興味がないから	18.3	14.3	16.4	25.5
その他	6.1	7.1	8.2	2.0
無回答	1.7	0.0	1.4	3.9

《 【中学生本人】地域活動・ボランティア活動内容に参加していない理由－学年別 《

中学生本人の学年別でみると、1年生、2年生は「参加するきっかけがないから」がそれぞれ 46.4%、54.3%と最も多くなっている。3年生は「忙しいから」が 55.6%と最も多くなっている。

また、「忙しいから」「その他」は学年が上がるにつれて増加していく傾向がうかがえる。

(%)

	中学生本人計	学年		
		1年生	2年生	3年生
(n)	(203)	(69)	(70)	(63)
時間が合わないから	33.0	39.1	27.1	33.3
忙しいから	43.3	30.4	44.3	55.6
友だちが参加しないから	11.8	11.6	17.1	6.3
地域の活動等があることを知らないから	33.0	30.4	34.3	34.9
参加するきっかけがないから	47.8	46.4	54.3	41.3
地域の活動等に興味がないから	24.1	27.5	20.0	25.4
その他	5.4	2.9	5.7	7.9
無回答	1.5	2.9	0.0	1.6

15 生活の安全・安心について

〔未就学児：問 41〕〔小学生：問 24〕

〔中学生：問 15〕〔小学生本人：問 15〕

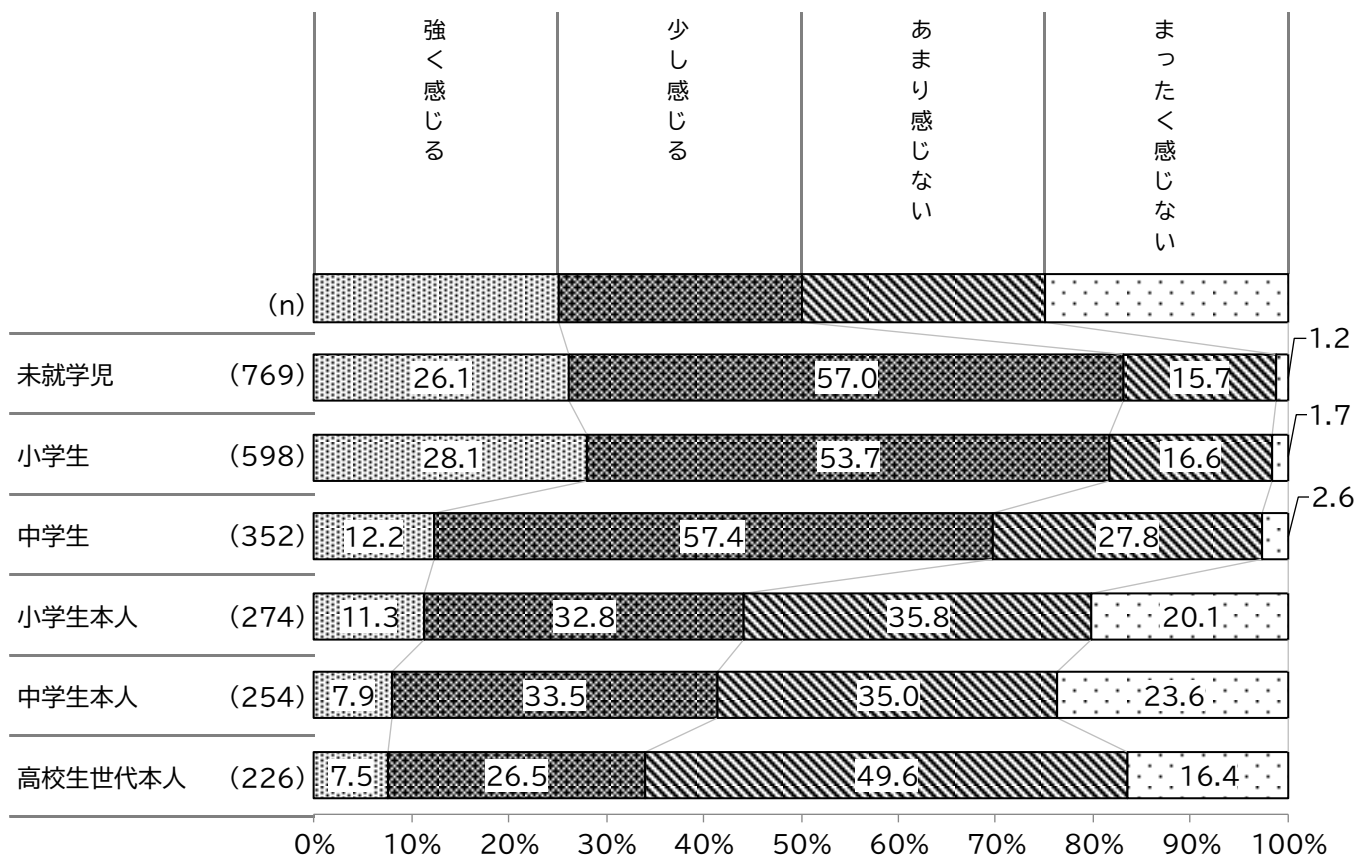
(1)子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安

〔中学生本人：問 16〕〔高校生世代本人：問 15〕

子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安については、未就学児の保護者は「強く感じる」26.1%、「少し感じる」57.0%と、「不安を感じる」計で 83.1%となっている。小学生の保護者では「強く感じる」28.1%、「少し感じる」53.7%と、「不安を感じる」計で 81.8%となっている。中学生の保護者では「強く感じる」12.2%、「少し感じる」57.4%と、「不安を感じる」計は 69.6%となっている。

一方、小学生本人は「強く感じる」11.3%、「少し感じる」32.8%と、「不安を感じる」計は 44.1%となっており、小学生の保護者と比較して不安を感じる割合が少なくなっている。

中学生本人は「強く感じる」7.9%、「少し感じる」33.5%と、「不安を感じる」計は 41.4%となっており、中学生の保護者と比較して不安を感じる割合が少なくなっている。高校生世代本人では「強く感じる」7.5%、「少し感じる」26.5%と、「不安を感じる」計は 34.0%となっている。



〔未就学児：問 41-1〕

〔小学生：問 24-1〕

〔中学生：問 15-1〕

〔小学生本人：問 15-1〕

〔中学生本人：問 16-1〕

〔高校生世代本人：問 15-1〕

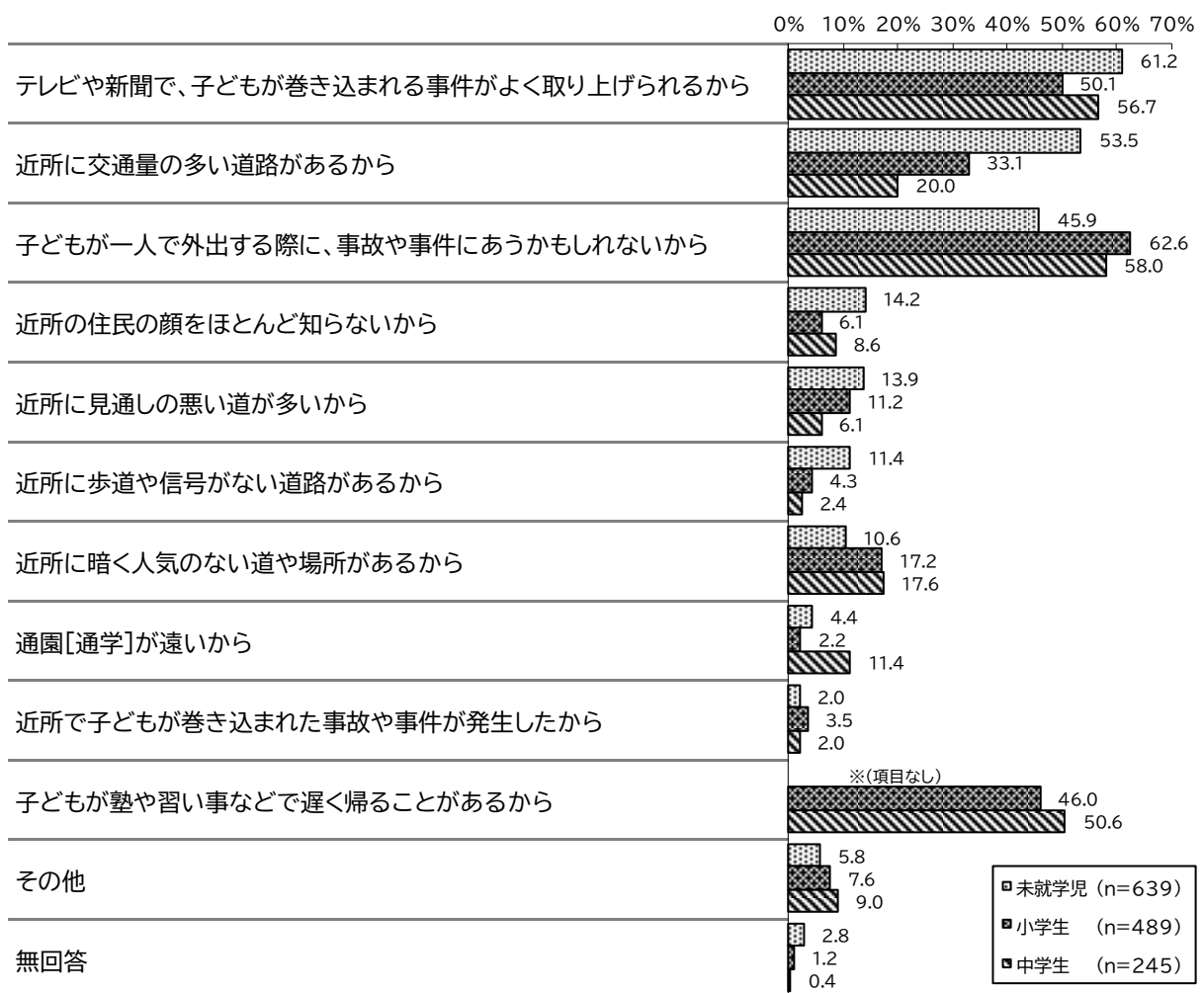
(2)【事故や犯罪に巻き込まれる不安「強く感じる」「少し感じる」回答者】

子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安を感じる理由(複数回答)

子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安を感じている人に、不安を感じる理由を尋ねたところ、未就学児の保護者は「テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから」が 61.2%と最も多く、次いで「近所に交通量の多い道路があるから」53.5%、「子どもが一人で外出する際に、事故や事件にあうかもしれないから」45.9%の順となっている。

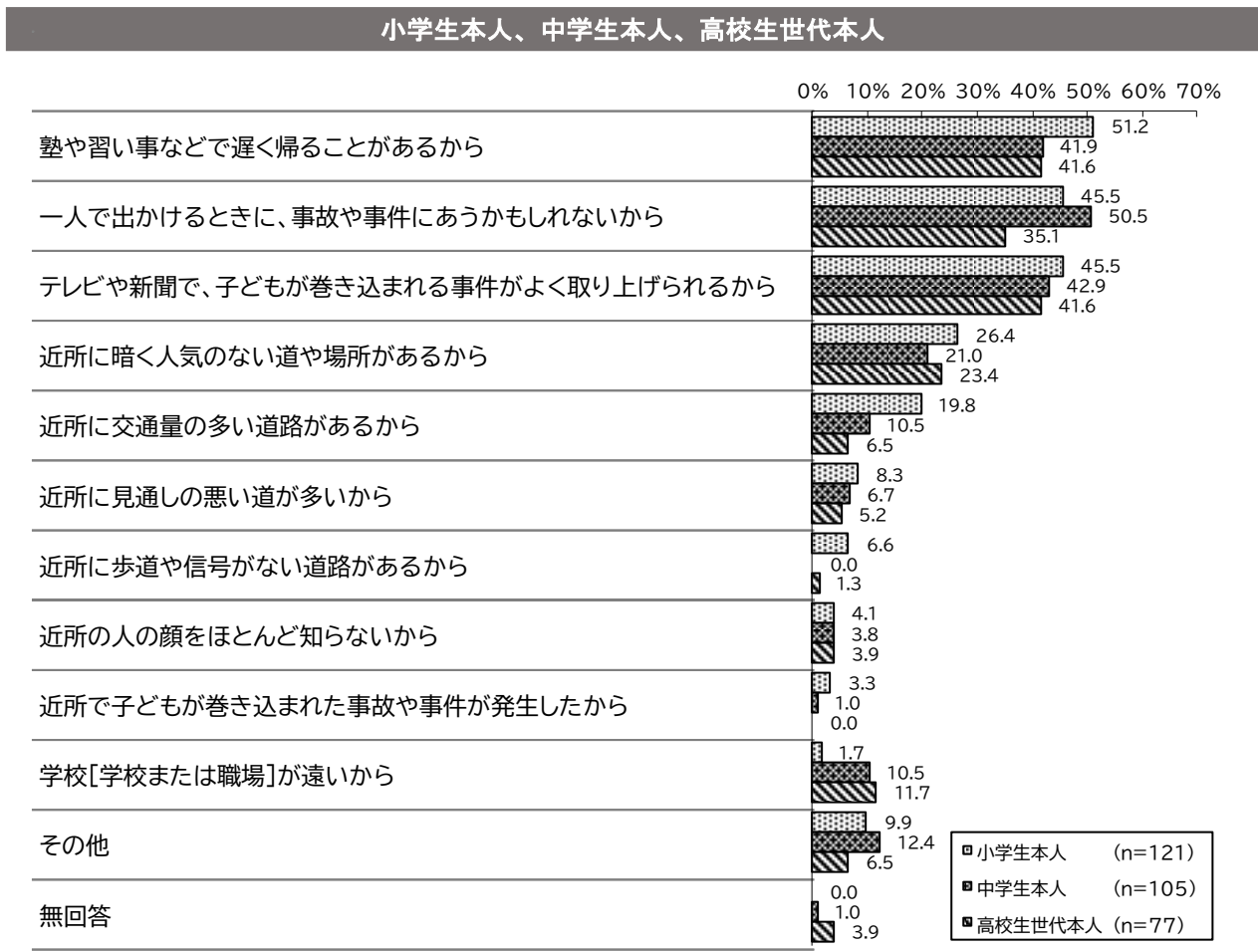
小学生、中学生の保護者は「子どもが一人で外出する際に、事故や事件にあうかもしれないから」がそれぞれ 62.6%、58.0%と最も多く、「テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから」がそれぞれ 50.1%、56.7%、「子どもが塾や習い事などで遅く帰ることがあるから」がそれぞれ 46.0%、50.6%の順となっている。

未就学児、小学生、中学生の保護者



※選択肢内[]は、小学生、中学生で表現が異なる。

小学生本人、中学生本人及び高校生世代本人においても、「塾や習い事などで遅く帰ることがあるから」「一人で出かけるときに、事故や事件にあうかもしれないから」「テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから」が上位を占めている。

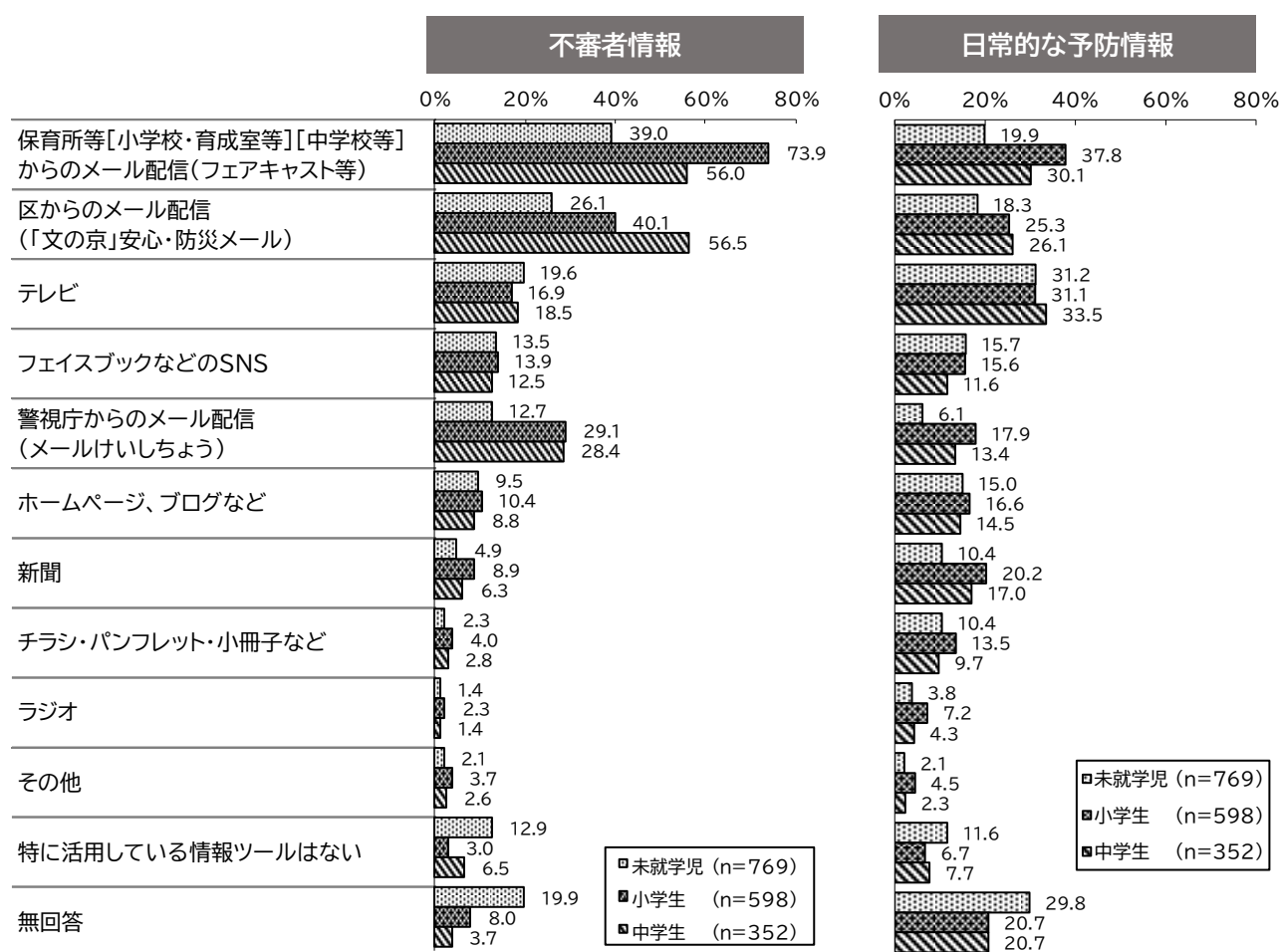


※選択肢内[]は、高校生世代本人で表現が異なる。

(3)子どもの安全や犯罪防止についての情報入手(収集)方法(複数回答)

子どもの安全や犯罪防止についての情報入手(収集)方法を尋ねたところ、不審者情報は未就学児の保護者、小学生の保護者及び中学生の保護者ともに「保育所等[小学校・育成室等][中学校等]からのメール配信(フェアキャスト等)」「区からのメール配信(「文の京」安心・防災メール)」「警視庁からのメール配信(メールけいしちょう)」が上位を占めており、メールの活用が多いことがうかがえる。

一方、日常的な予防情報は、未就学児の保護者、小学生の保護者及び中学生の保護者ともに「保育所等[小学校・育成室等][中学校等]からのメール配信(フェアキャスト等)」「区からのメール配信(「文の京」安心・防災メール)」「テレビ」が上位を占めており、メールの活用に加え、マスメディアの活用率が相対的に高い傾向となっている。



※選択肢内[]は、小学生と中学生で表現が異なる。

(4)災害時の避難所生活に必要な物資(自由記述:複数回答)

※粉ミルクや調整用飲料水、離乳食などの乳幼児用の食料、ほ乳瓶や離乳食などの乳幼児用の食器、紙おむつ、ウェットティッシュ以外

[未就学児：問43]

未就学児の保護者に、災害時に避難所生活を余儀なくされた場合に必要な物資を自由記述形式で尋ねたところ、372人から880件(延べ件数)の回答があった。

その内容については、小計では「衣類・寝具」計が227件(25.8%)と最も多く、内訳は「衣服・下着・肌着」が77件(8.8%)、「寝具・毛布・ブランケット」が60件(6.8%)、「タオル・バスタオル」が37件(4.2%)の順となっている。

次いで「遊び道具・子どもの環境」計が206件(23.4%)となっており、内訳は「おもちゃ・折り紙・ぬいぐるみ・ゲーム」が112件(12.7%)、「絵本・本・紙芝居」が55件(6.3%)、「子どもが遊べる・動き回れる・安心できるスペース」が18件(2.0%)の順となっている。

そのほかには、「仕切り・パーティション、スペース等(周囲への配慮等のため)」が81件(9.2%)、「医薬品・薬(内服薬・外用薬)」が23件(2.6%)となっている。

	(件数)	(%)
■衣類・寝具 計	227	25.8
衣服・下着・肌着	77	8.8
寝具・毛布・ブランケット	60	6.8
タオル・バスタオル	37	4.2
抱っこひも・スリング	21	2.4
授乳ケープ	7	0.8
靴	3	0.3
よだれかけ・スタイ・食事前エプロン	8	0.9
防寒具	6	0.7
おねしょシーツ・給水シート	3	0.3
その他の衣類・寝具	5	0.6
■衛生用品・生活用品 計	167	19.0
ガーゼ・清浄綿	10	1.1
消毒剤・除菌剤(シート)	15	1.7
子ども用歯ブラシ・歯みがきナップ・歯磨き粉	17	1.9
ビニール袋・ゴミ袋・ゴミ箱・防臭袋	21	2.4
子ども用マスク	3	0.3
石鹸・シャンプー	7	0.8
ティッシュ・体用ウェットティッシュ	6	0.7
爪切り	5	0.6
母乳パッド	10	1.1
ストロー	2	0.2
おしり拭き	5	0.6
保湿クリーム・ワセリン	23	2.6
鼻水吸引機	4	0.5
サランラップ	2	0.2
搾乳機	3	0.3
その他の衛生用品・生活用品	34	3.9
■医薬品・薬・用具 計	24	2.7
医薬品・薬(内服薬・外用薬)	23	2.6
その他・医療用具	1	0.1

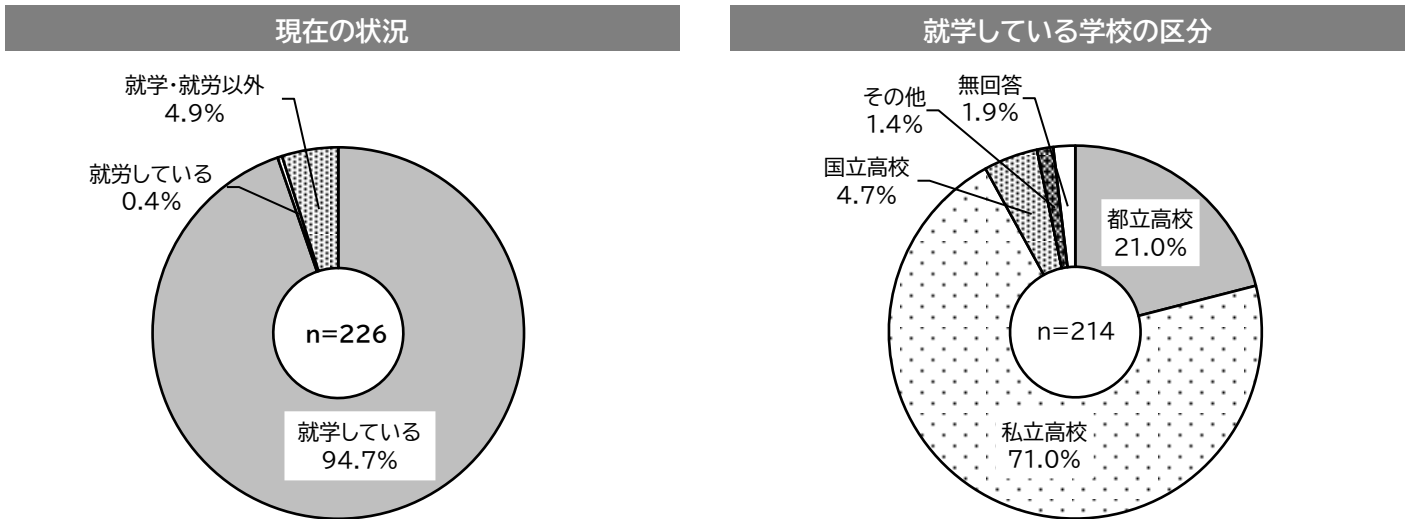
	(件数)	(%)
■遊び道具・子どもの環境 計	206	23.4
おもちゃ・折り紙・ぬいぐるみ・ゲーム	112	12.7
絵本・本・紙芝居	55	6.3
子どもが遊べる・動き回れる・安心できるスペース	18	2.0
体を動かせる道具(ボール・遊具等)	1	0.1
鉛筆・クレヨン(ぬり絵・お絵かき道具)	9	1.0
音楽・テレビ	3	0.3
おしゃぶり	5	0.6
その他子どもの環境整備	3	0.3
■飲食品計	77	8.8
食料・食事(こども用)	14	1.6
お菓子・おやつ	33	3.8
アレルギー対応食	8	0.9
液体ミルク	8	0.9
飲料(お茶・ジュース等、粉末含む)	13	1.5
母親の飲料水(母乳対策)	1	0.1
■その他設備・施設・防災グッズ等 計	174	19.8
仕切り・パーティション、スペース等(周囲への配慮のため)	81	9.2
簡易トイレ・おまる	18	2.0
暖さ・寒さ対策(うちわ・扇風機、暖房等)	11	1.3
レジャーシート・マット・簡易ベッド・イス	27	3.1
非常用ライト	1	0.1
入浴設備(ベビーバス・沐浴)	6	0.7
シャワー施設	2	0.2
保温・冷却グッズ(カイロ・シート・アイスノン等)	5	0.6
お湯・電子レンジ	2	0.2
ベビーカー・ベビーカー・バウンサー	5	0.6
その他情報・防犯等(ラジオ・名前バンド・ヘルメット等)	3	0.3
電池・バッテリー・非常電源(自家発電器/充電プラグ等)	7	0.8
その他設備・物資	6	0.7
■その他 計	5	0.6
ない・わからない	4	0.5
その他	1	0.1
合計	880	100.0

16 現在の就学・就労の状況、通学状況、進路に対する考え、困りごと

(1) 就学・就労の状況

〔高校生世代本人：問16〕

高校生世代本人に現在の就学・就労の状況を尋ねたところ、「就学している」が94.7%となっている。また、「就学している」と回答した方の就学している学校の区分は、「私立高校」が71.0%で最も多く、次いで「都立高校」が21.0%となっている。なお、「専門学校」と「フリースクール」は0.0%となっている。



※就学・就労以外の内訳

- 「働いていないが、求職活動をしている」0.0%
- 「働いていないが、自分の趣味や用事などで外出している」2.7%
- 「外出はほとんどせずに自宅で過ごしている」1.3%
- 「自室からはほとんど出ずに過ごしている」0.0%
- 「その他」0.9%

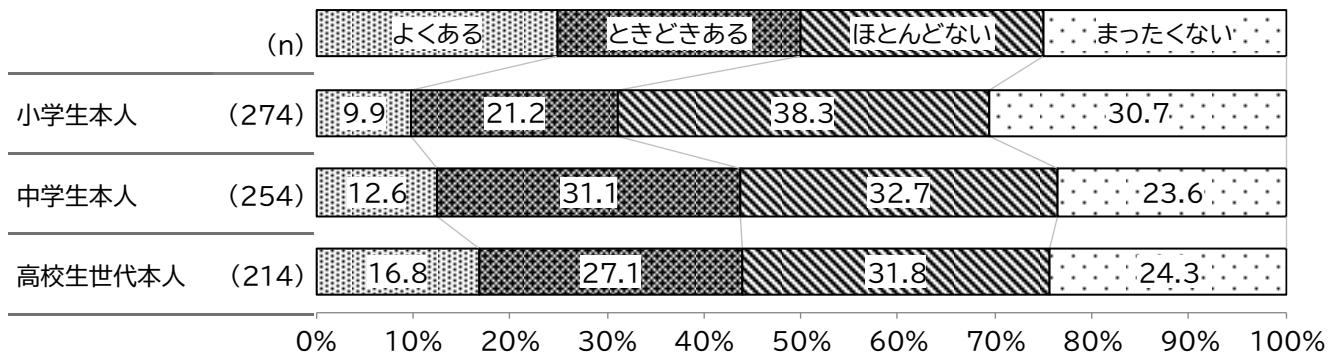
〔小学生本人：問8〕

〔中学生本人：問8〕

(2) 【「就学している」人】学校に行きたくないと思ったことの有無

〔高校生世代本人：問16-1〕

小学生本人、中学生本人及び就学している高校生世代本人に、「学校に行きたくないと思ったことの有無」について尋ねたところ、小学生本人では「よくある」9.9%、「ときどきある」21.2%と、「思ったことがある」の計は31.1%となっている。中学生本人では「よくある」12.6%、「ときどきある」31.1%と、「思ったことがある」の計は43.7%となっている。高校生世代本人では「よくある」16.8%、「ときどきある」27.1%と、「思ったことがある」の計は43.9%となっている。



(3)【学校に行きたくないと思ったことが「よくある」「ときどきある」人】

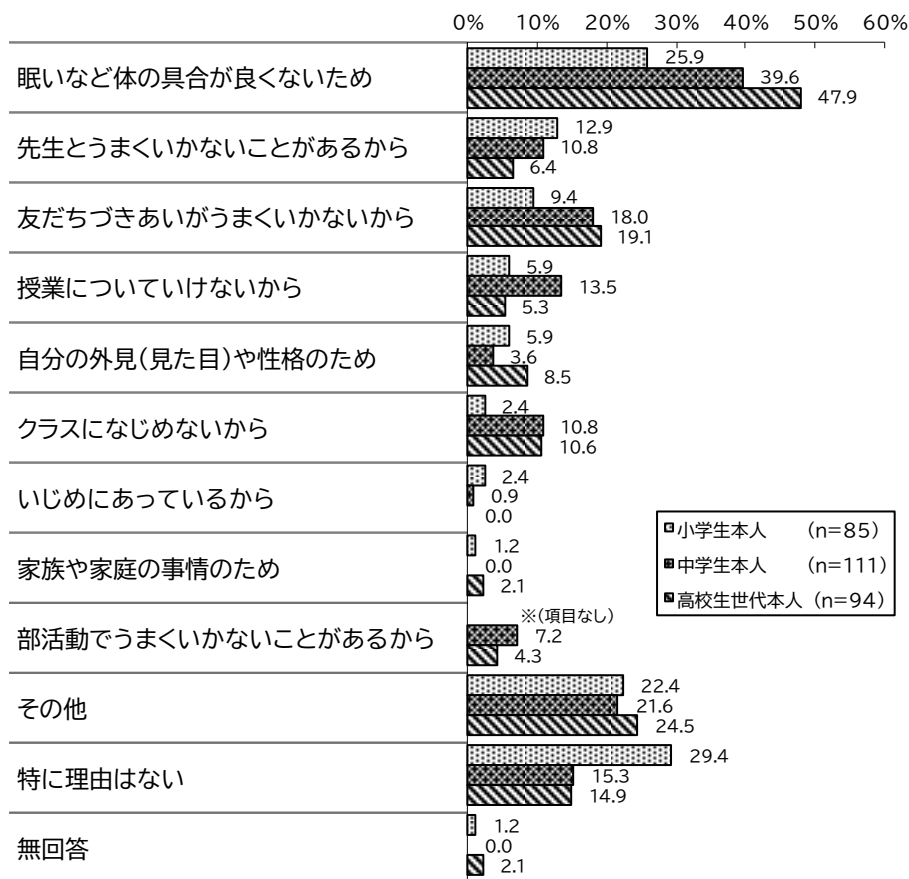
〔小学生本人：問8-1〕

〔中学生本人：問8-1〕

学校に行きたくないと思った理由(複数回答)

〔高校生世代本人：問16-2〕

学校に行きたくないと思ったことが「よくある」「ときどきある」と回答した方に、学校に行きたくないと思った理由を尋ねたところ、小学生本人では「特に理由はない」が 29.4%と最も多く、次いで「眠いなど体の具合が良くないため」が 25.9%となっている。中学生本人と高校生世代本人では「眠いなど体の具合が良くないため」がそれぞれ 39.6%、47.9%と最も多く、次いで「友だちづきあいがうまくいかないから」がそれぞれ 18.0%、19.1%となっている。

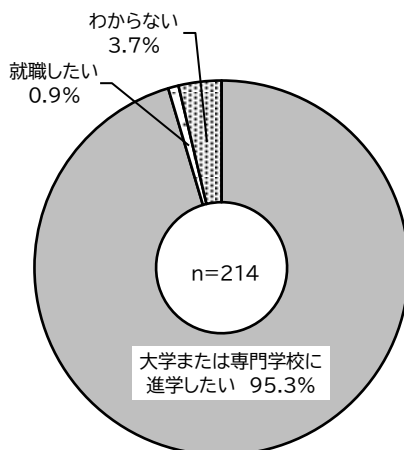


※その他: 疲れる、面倒、寝ていたい、勉強をしたくない、学校が遠いなど

(4)【「就学している」人】卒業後の進路に対する考え方

〔高校生世代本人：問16-3〕

就学している高校生世代本人に、卒業後の進路について尋ねたところ、「大学または専門学校に進学したい」が 95.3%と最も多くなっている。



(5)【「就学している」以外の人】今後の進路に対する考え方

〔高校生世代本人：問 16-4〕

現在の就学・就労の状況で「就学している」以外の回答は 12 件であった。

※回答数が少ないため作図せず。

(6)【「就学している」以外の人で就学を希望する人】希望する学校の区分

〔高校生世代本人：問 16-4〕

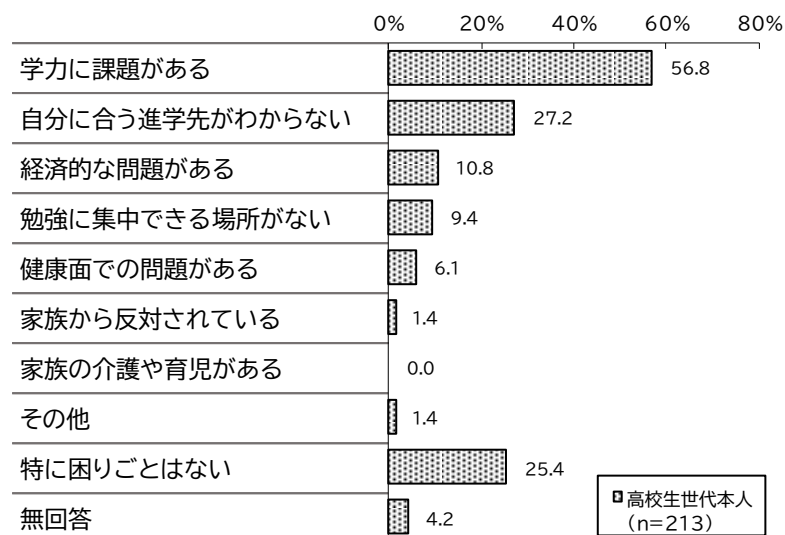
現在の就学・就労の状況で「就学している」以外を回答した者のうち就学を希望するとの回答は9件であった。

※回答数が少ないため作図せず。

(7)【卒業後の進路「大学または専門学校に進学したい」人及び現在「就学している」以外の人で今後就学を希望する者】就学に当たっての困りごと(複数回答)

〔高校生世代本人：問 16-5〕

「大学または専門学校に進学したい」「就学を希望」と回答した方に、就学に当たっての困りごとを尋ねたところ、「学力に課題がある」が 56.8%で最も多く、次いで「自分に合う進学先がわからない」が 27.2%と、自分自身の学力やそれに見合う進学先に関する悩みを抱えている方が多い傾向となっている。



(8)【就労希望者】就労に当たっての困りごと

〔高校生世代本人：問 16-6〕

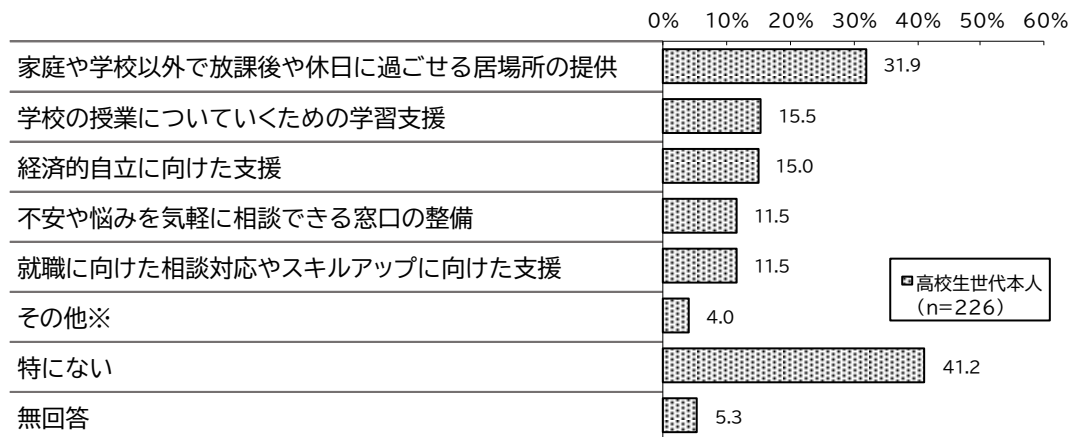
卒業後の進路で「就職したい」「就労を希望」するとの回答は2件であった。

※回答数が少ないため作図せず。

(9) 充実した生活を送れるようになるために必要な取組(支援)(複数回答)

〔高校生世代本人：問 17〕

高校生世代本人に充実した生活を送れるようになるために必要な取組(支援)について尋ねたところ、「特にない」が4割を超えている一方、「家庭や学校以外で放課後や休日に過ごせる居場所の提供」が3割を超えており、「学校の授業についていくための学習支援」や「経済的自立に向けた支援」も1割半ばとなっている。



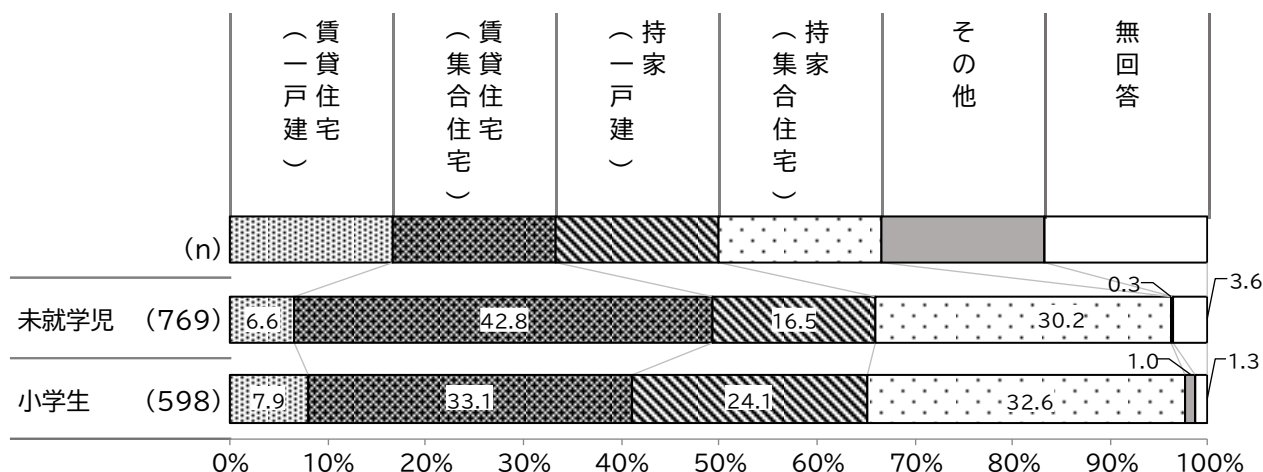
※その他:学習スペースの整備など

17 住環境について

(1)現在の住まい

〔未就学児：問 44〕〔小学生：問 32〕

現在の住まいについては、未就学児の保護者は「賃貸住宅(集合住宅)」が 42.8%と最も多く、「持家(集合住宅)」30.2%、「持家(一戸建)」16.5%となっている。小学生の保護者は、「賃貸住宅(集合住宅)」33.1%、「持家(集合住宅)」32.6%、「持家(一戸建)」24.1%の順となっている。

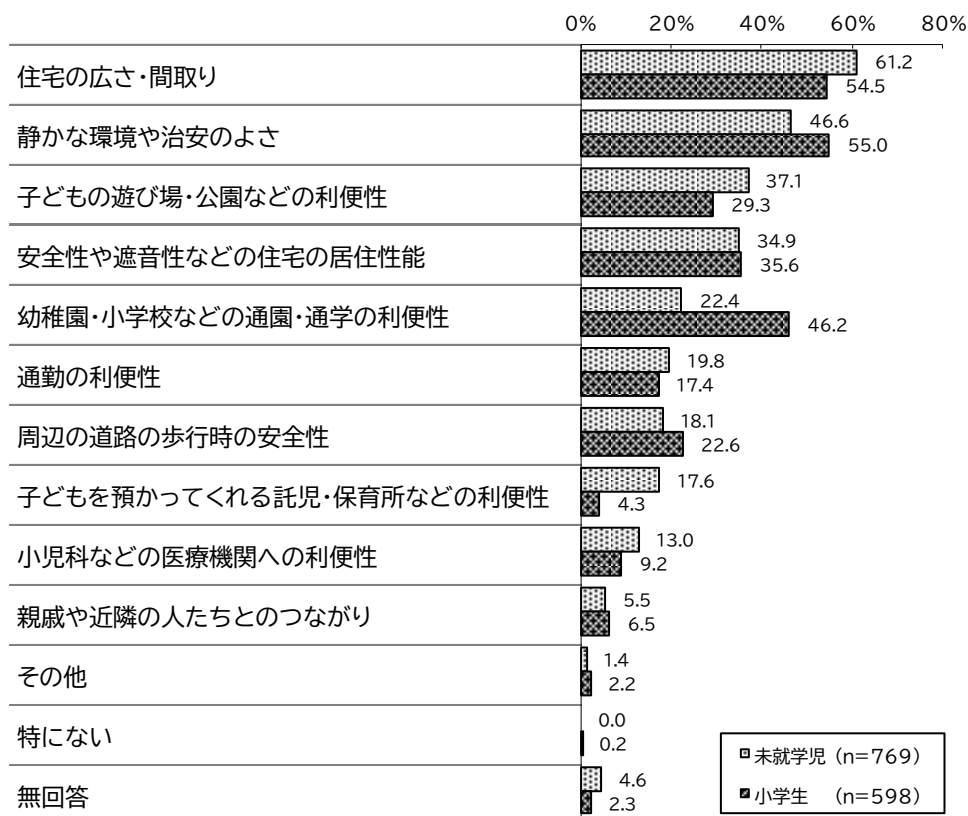


(2)子育てに重要と思う住宅や住宅周辺環境(3つ回答)

〔未就学児：問 45〕〔小学生：問 33〕

子育てをする上で重要と思う住宅や住宅周辺環境について尋ねたところ、未就学児の保護者は「住宅の広さ・間取り」が 61.2%と最も多くなっている。小学生の保護者は「静かな環境や治安のよさ」が 55.0%と最も多くなっている。

未就学児の保護者では次いで、「静かな環境や治安のよさ」46.6%、「子どもの遊び場・公園などの利便性」37.1%の順となっている。小学生の保護者では次いで「住宅の広さ・間取り」54.5%、「幼稚園・小学校などの通園・通学の利便性」46.2%の順となっている。

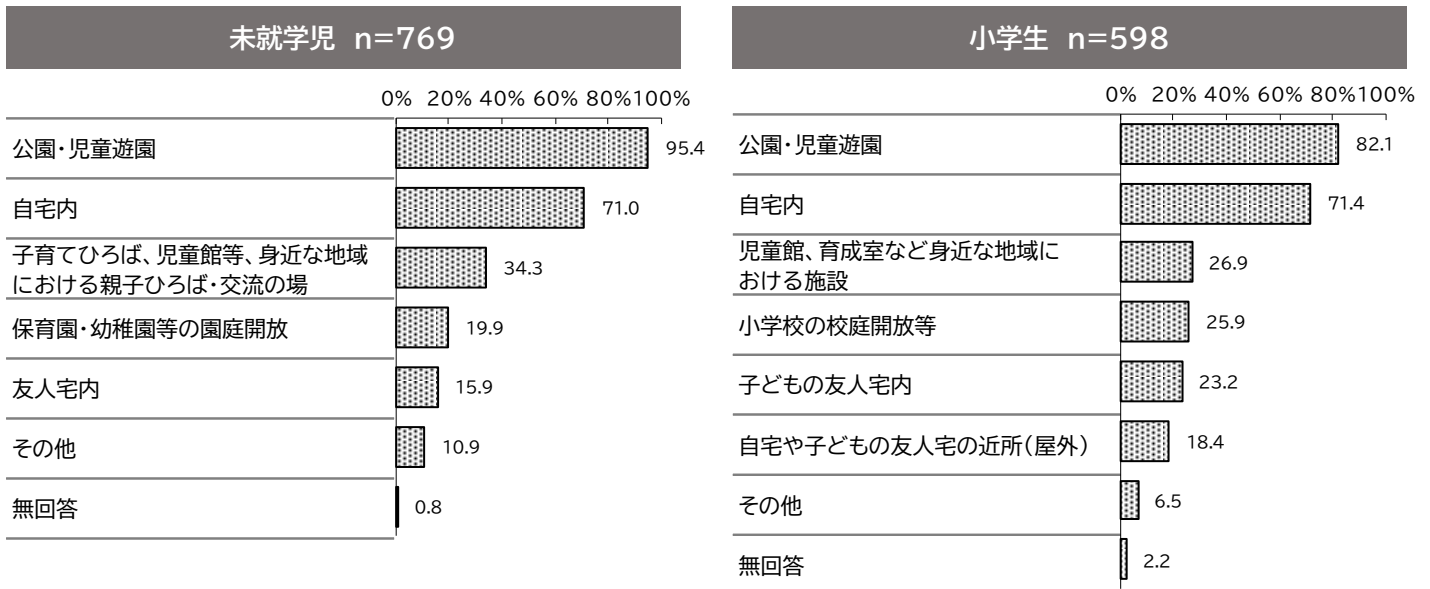


(3)子どもの遊び場としての利用場所

①子どもの遊び場としての利用場所(複数回答)

〔未就学児：問 46〕〔小学生：問 34〕

子どもの遊び場としての利用場所を尋ねたところ、未就学児の保護者及び小学生の保護者は「公園・児童遊園」がそれぞれ 95.4%、82.1%と最も多く、次いで「自宅内」がそれぞれ 71.0%と、71.4%となっている。また、子育てひろば、児童館、育成室等の身近な地域における場や施設はそれぞれ 34.3%、26.9%となっている。

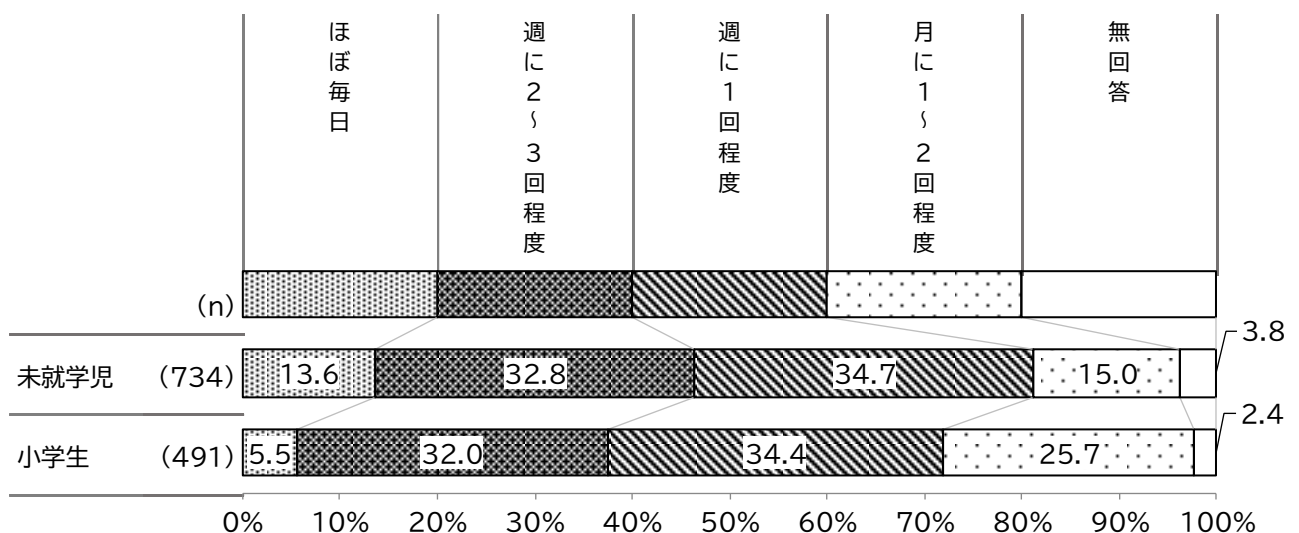


②【子どもの遊び場として「公園・児童遊園」利用者】公園・児童遊園の利用頻度

〔未就学児：問 46-1〕

〔小学生：問 34-1〕

子どもの遊び場として公園・児童遊園を利用している人に利用頻度を尋ねたところ、未就学児の保護者は「ほぼ毎日」が 13.6%、「週に2～3回程度」が 32.8%、小学生の保護者は「ほぼ毎日」が 5.5%、「週に2～3回程度」が 32.0%と、未就学児の方が小学生より頻度が高い傾向となっている。



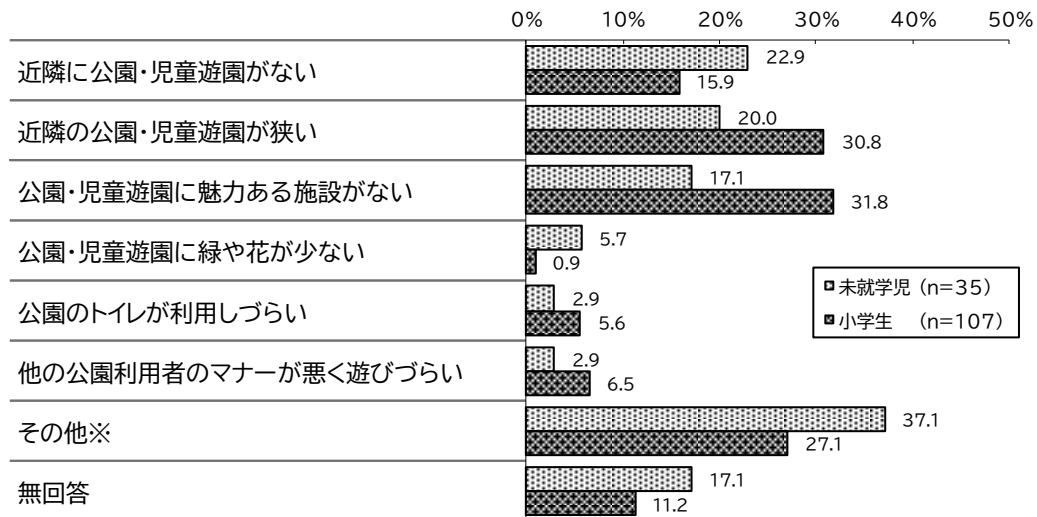
③【子どもの遊び場として「公園・児童遊園」を利用していない人】

[未就学児：問 46-2]

公園・児童遊園を利用していない理由(複数回答)

[小学生：問 34-2]

子どもの遊び場として公園・児童遊園を利用していない人にその理由を尋ねたところ、未就学児の保護者では、「近隣に公園・児童遊園がない」が 22.9%と最も多く、次いで「近隣の公園・児童遊園が狭い」が 20.0%、「公園・児童遊園に魅力ある施設がない」が 17.1%となっている。一方、小学生の保護者では、「公園・児童遊園に魅力ある施設がない」が 31.8%と最も多く、次いで「近隣の公園・児童遊園が狭い」が 30.8%、「近隣に公園・児童遊園がない」が 15.9%となっている。

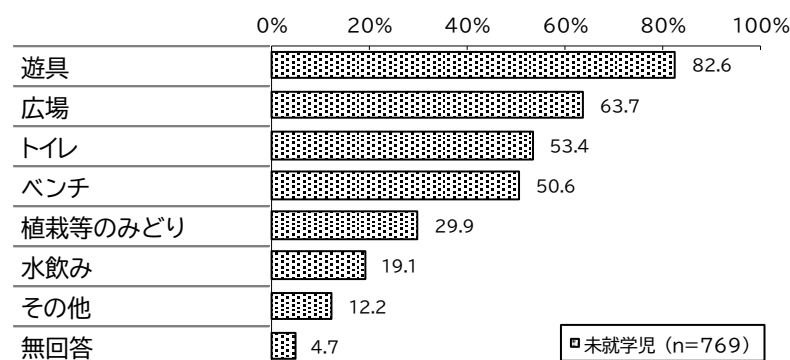


※その他:時間がない、まだ子どもが小さいため、子どもが室内を好むなど

④公園・児童遊園に欲しい施設(複数回答)

[未就学児：問 46-3]

未就学児の保護者に、公園・児童遊園に欲しい施設を訪ねたところ、「遊具」が 82.6%と最も多く、次いで「広場」が 63.7%、「トイレ」が 53.4%となっている。



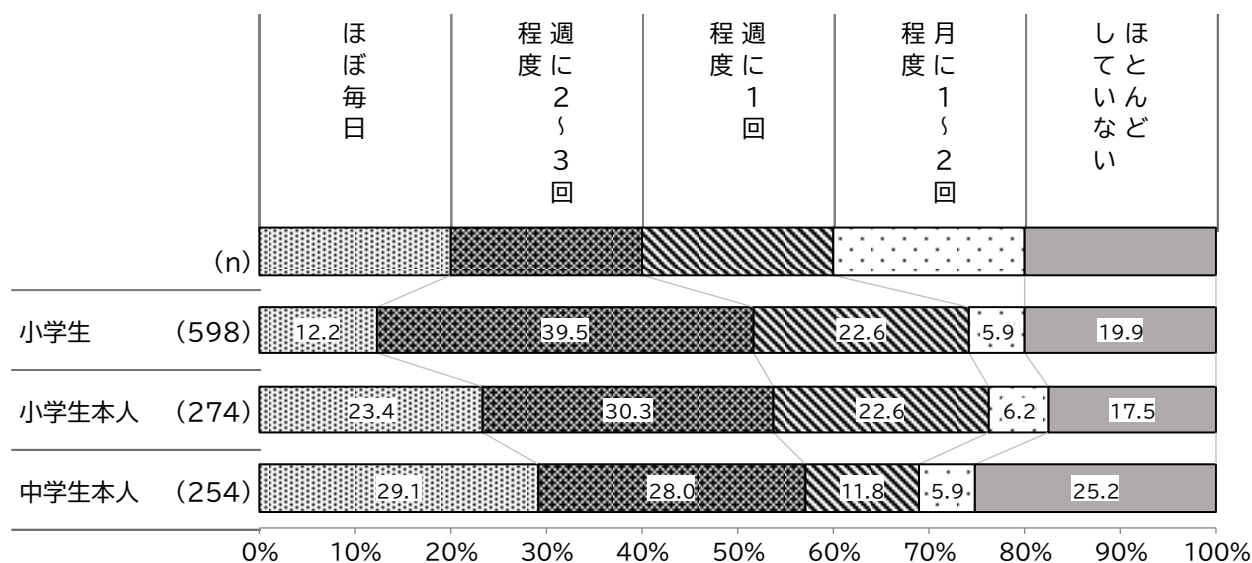
18 運動について

(1)運動する頻度

〔小学生：問 35〕〔小学生本人：問 16〕〔中学生本人：問 17〕

子どもが運動をする頻度について、小学生の保護者、小学生本人、中学生本人に尋ねたところ、小学生の保護者は「ほぼ毎日」12.2%、「週に2～3回程度」39.5%、「週に1回程度」22.6%、「月に1～2回程度」5.9%と「運動をしている」の計は 80.2%となっている。小学生本人は「運動をしている」の計が 82.5%となっている。

中学生本人は「ほぼ毎日」が 29.1%と小学生の保護者及び小学生本人に比べて多くなっているが、「運動をしている」の計では 74.8%と小学生の保護者及び小学生本人よりやや少なくなっている。



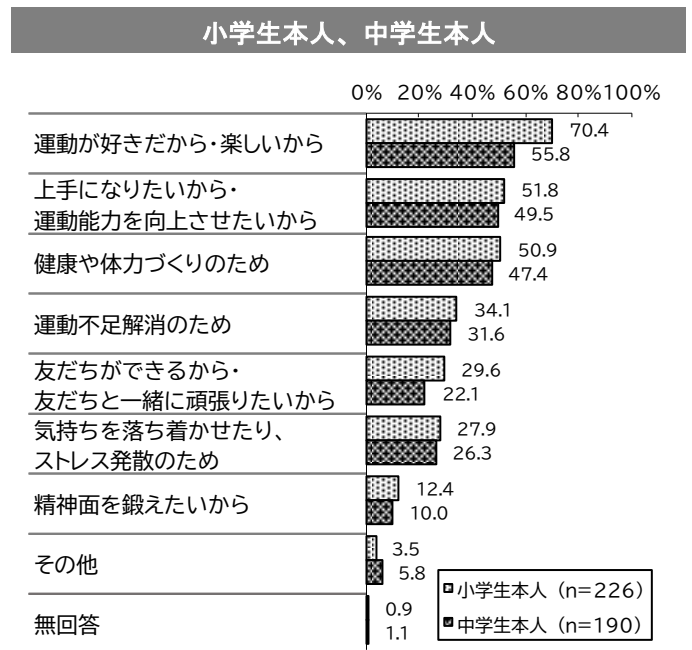
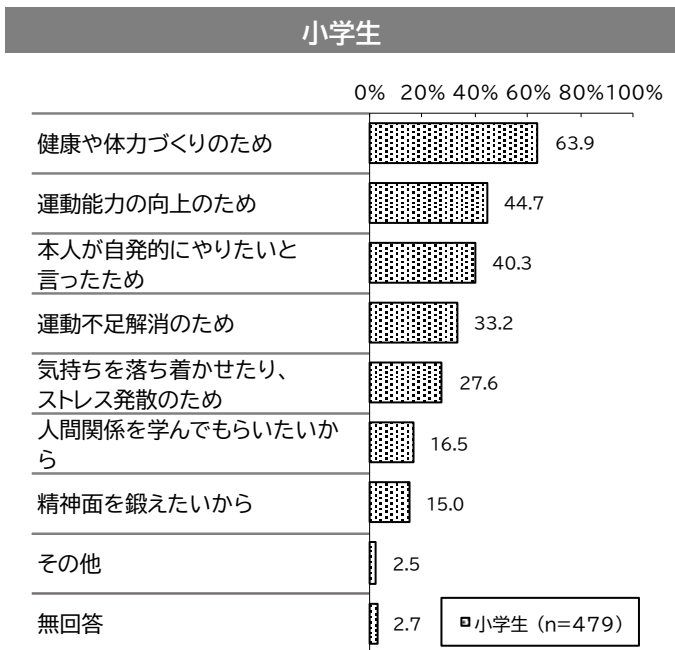
(2)【運動をする頻度「ほぼ毎日」～「月に1～2回程度」回答者】

〔小学生：問 35-1〕
 〔小学生本人：問 16-1〕
 〔中学生本人：問 17-1〕

運動する理由(複数回答)

運動を「ほぼ毎日」～「月に1～2回程度」していると回答した小学生の保護者、小学生本人及び中学生本人に、運動する理由について尋ねたところ、小学生の保護者では「健康や体力づくりのため」が63.9%で最も多く、次いで「運動能力の向上のため」44.7%となっている。

小学生本人と中学生本人では、「運動が好きだから・楽しいから」がそれぞれ70.4%、55.8%で最も多く、次いで「上手になりたいから・運動能力を向上させたいから」がそれぞれ51.8%、49.5%となっている。



(3)【運動「ほとんどしていない」回答者】

〔小学生：問 35-2〕

〔小学生本人：問 16-2〕

〔中学生本人：問 17-2〕

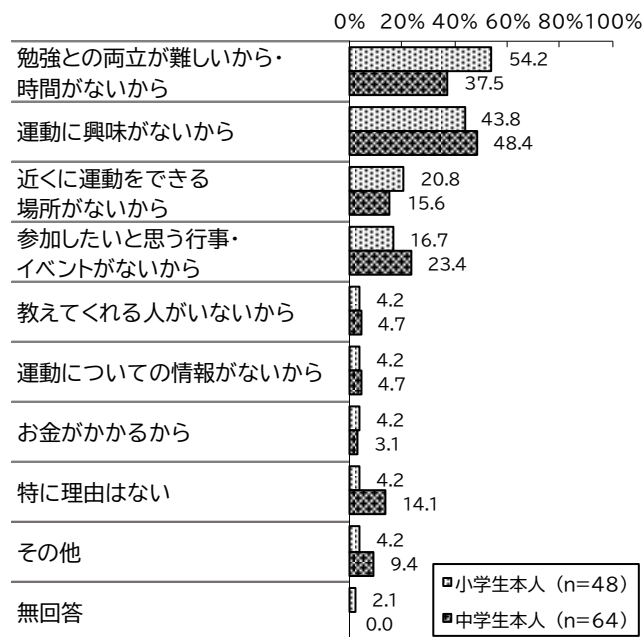
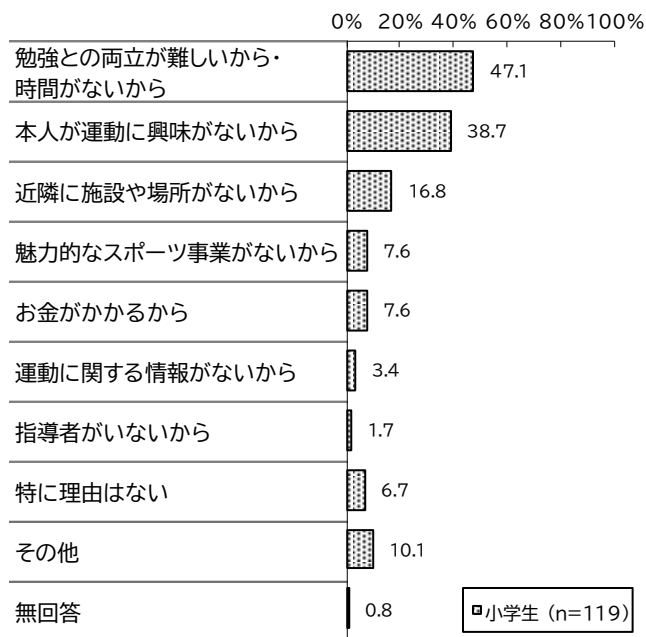
運動をしていない理由(複数回答)

運動を「ほとんどしていない」と回答した小学生の保護者、小学生本人及び中学生本人に、運動しない理由を尋ねたところ、小学生の保護者では「勉強との両立が難しいから・時間がないから」が47.1%と最も多く、次いで「本人が運動に興味がないから」が38.7%となっている。小学生本人においても同様の項目が上位となっている。

中学生本人は「運動に興味がないから」が48.4%と最も多く、次いで「勉強との両立が難しいから・時間がないから」が37.5%となっている。

小学生

小学生本人、中学生本人



19 相談窓口について

(1)相談窓口の認知度/利用状況/利用希望/利用したくない理由

〔小学生本人：問 17〕

〔中学生本人：問 18〕

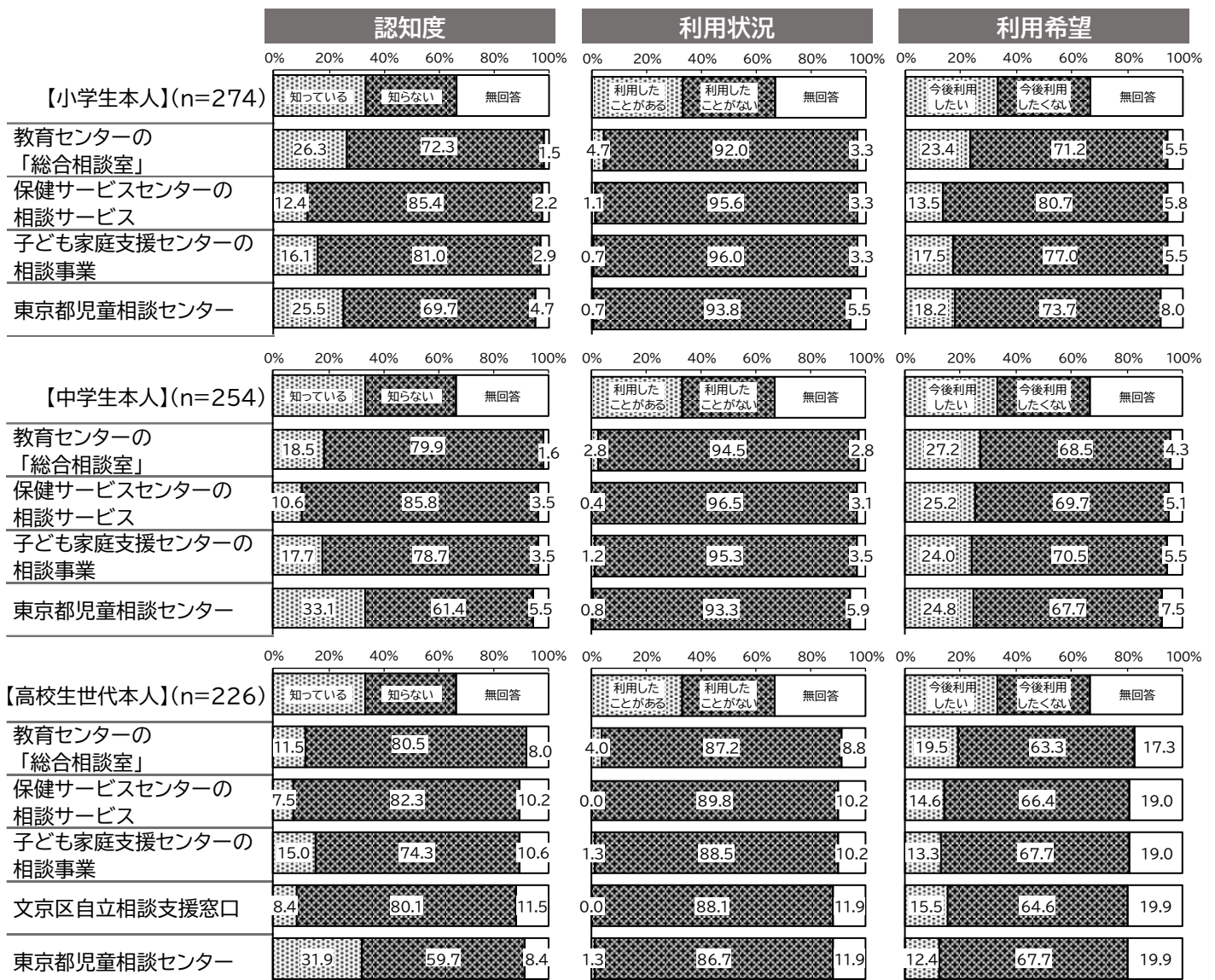
〔高校生世代本人：問 18〕

①小学生本人、中学生本人、高校生世代本人

困ったときの相談窓口の認知度を尋ねたところ、「知っている」は、小学生本人で「教育センターの「総合相談室」」が 26.3%と最も多く、「東京都児童相談センター」が 25.5%と続いている。中学生本人と高校生世代本人で「東京都児童相談センター」がそれぞれ 33.1%、31.9%と最も多くなっている。

これまでの利用状況を尋ねたところ、「利用したことがない」は、小学生本人と中学生本人で全ての窓口で9割以上、高校生世代本人では8割以上となっている。

今後の利用希望を尋ねたところ、「今後利用したい」は、小学生本人で「教育センターの「総合相談室」」が 23.4%と最も多くなっている。中学生本人と高校生世代本人では全ての窓口でそれぞれ3割未満、2割未満となっている。



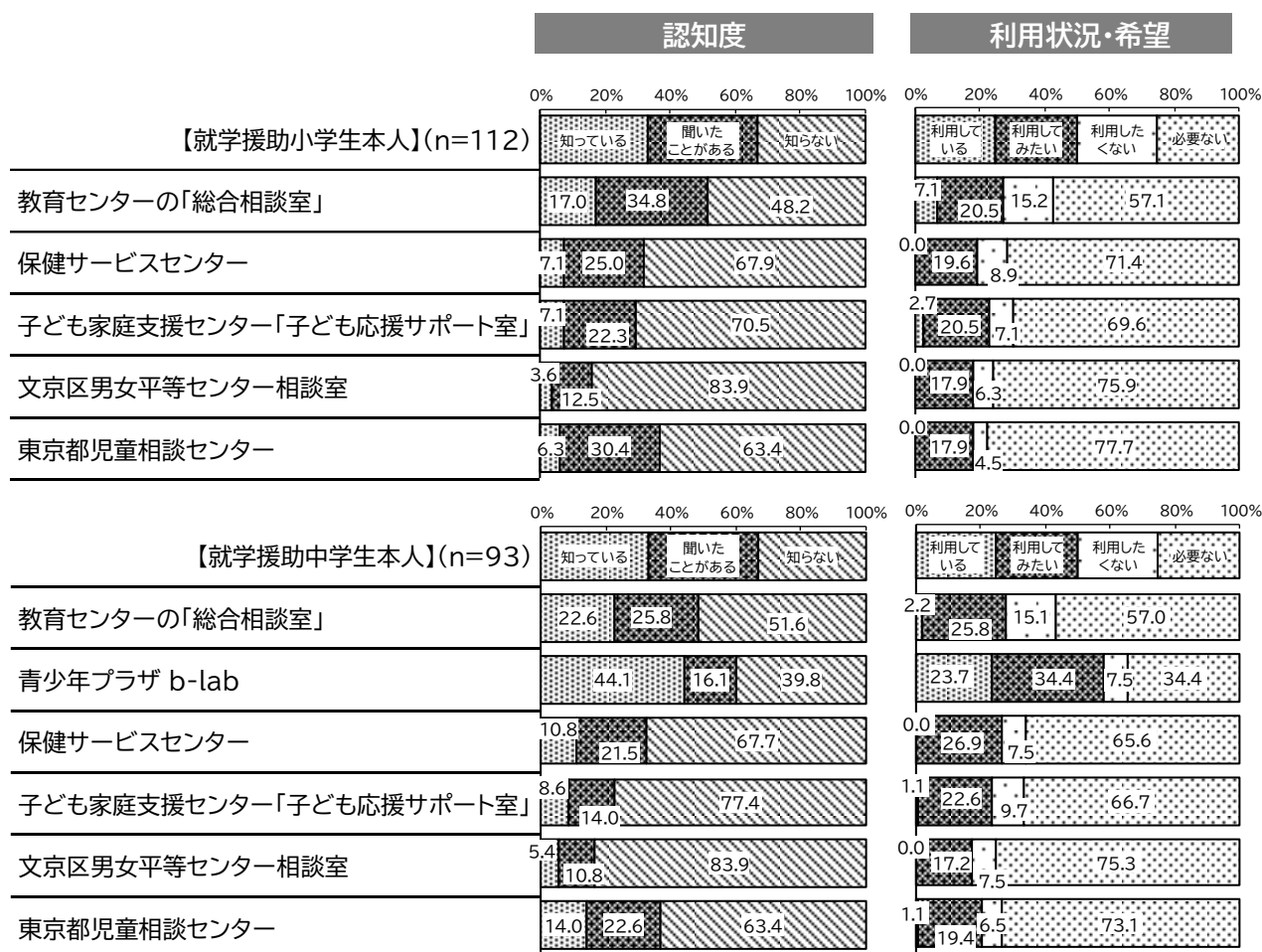
〔就学援助小学生本人：問 8、問 8-2、問 8-3、問 9、問 9-2、問 9-3、
問 10、問 10-2、問 10-3、問 11、問 11-2、問 11-3、
問 12、問 12-2、問 12-3〕

〔就学援助中学生本人：問 12、問 12-2、問 12-3、問 13、問 13-2、問 13-3、
問 14、問 14-2、問 14-3、問 15、問 15-2、問 15-3、
問 16、問 16-2、問 16-3、問 17、問 17-2、問 17-3〕

②就学援助受給世帯小学生本人、就学援助受給世帯中学生本人

困ったときの相談窓口の認知度を尋ねたところ、「知っている」は、就学援助受給世帯小学生本人で「教育センターの「総合相談室」」が 17.0%と最も多くなっている。就学援助受給世帯中学生本人では「青少年プラザ b-lab」が 44.1%と最も多くなっている。

利用状況及び今後の利用希望を尋ねたところ、「利用してみたい」は、就学援助受給世帯小学生本人は全ての窓口で約2割となっている。就学援助受給世帯中学生本人では「青少年プラザ b-lab」が 34.4%と最も多くなっている。



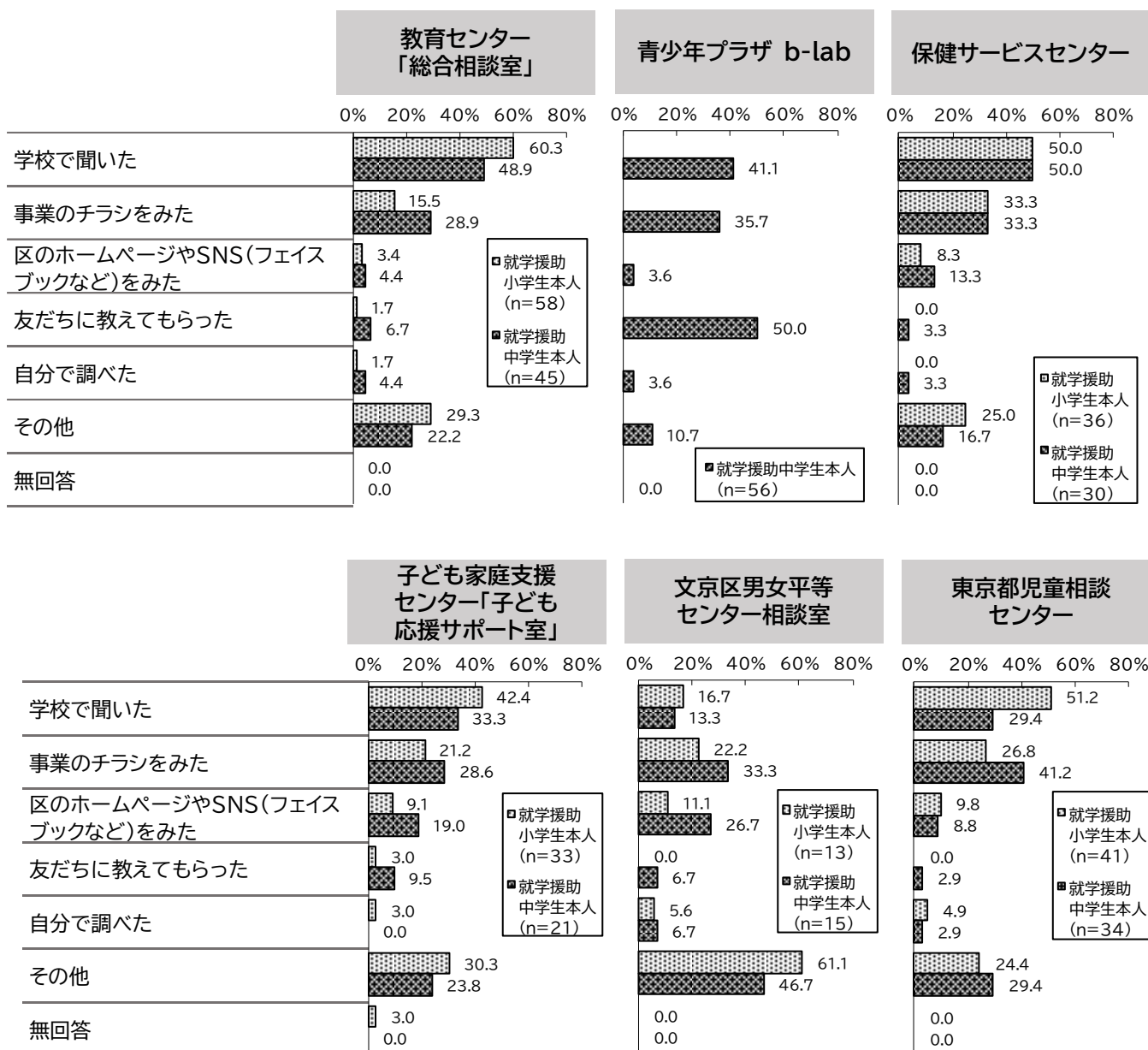
就学援助受給世帯小学生本人が相談窓口を利用したくない理由としては、知らない人と話したくない、わからない、特になし等が挙げられ、回答数はそれぞれ教育センターの「総合相談室」が7件、保健サービスセンターが4件、子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」が3件、文京区男女平等センター相談室が2件、東京都児童センターが1件であった。

就学援助受給世帯中学生本人が相談窓口を利用したくない理由としては、よく知らないから、話しても変わらない、よくわからない等が挙げられ、回答数はそれぞれ教育センターの「総合相談室」が8件、青少年プラザ b-lab が2件、保健サービスセンターが2件、子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」が3件、文京区男女平等センター相談室が3件、東京都児童センターが3件であった。

(2)相談窓口を知ったきっかけ(複数回答)

就学援助受給世帯小学生本人に相談窓口を知ったきっかけについて尋ねたところ、「学校で聞いた」は教育センター「総合相談室」、保健サービスセンター、子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」及び東京都児童相談センターで最も多くなっている。「事業のチラシをみた」は文京区男女平等センター相談室で最も多くなっている。

また、就学援助受給世帯中学生本人に相談窓口を知ったきっかけについて尋ねたところ、「学校で聞いた」は教育センター「総合相談室」、保健サービスセンター及び子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」で最も多くなっている。「事業のチラシをみた」は文京区男女平等センター相談室及び都児童相談センターで最も多くなっている。



20 体験や経済的にできないこと・ないことについて

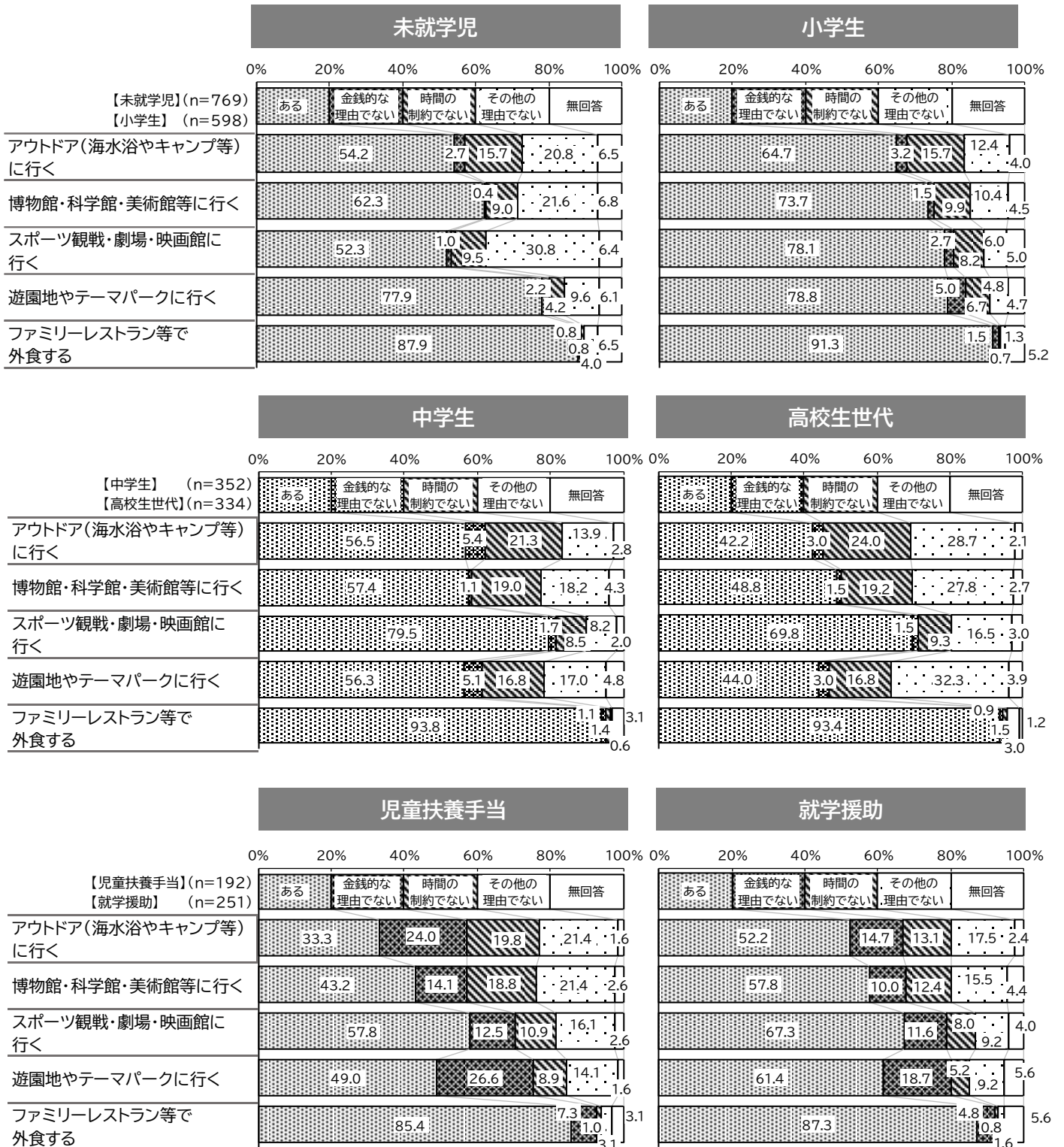
〔未就学児：問 48〕〔小学生：問 37〕〔中学生：問 18〕〔高校生世代：問 11〕

(1) 過去1年における家庭での体験

〔児童扶養手当：問 10〕〔就学援助：問 10〕

家庭での体験について尋ねたところ、「金銭的な理由でない」は未就学児、小学生、中学生及び高校生世代の保護者でいずれも1割未満となっている。一方で、児童扶養手当受給保護者と就学援助受給世帯保護者においては、「ファミリーレストラン等で外食する」以外の項目で1～2割以上となっている。

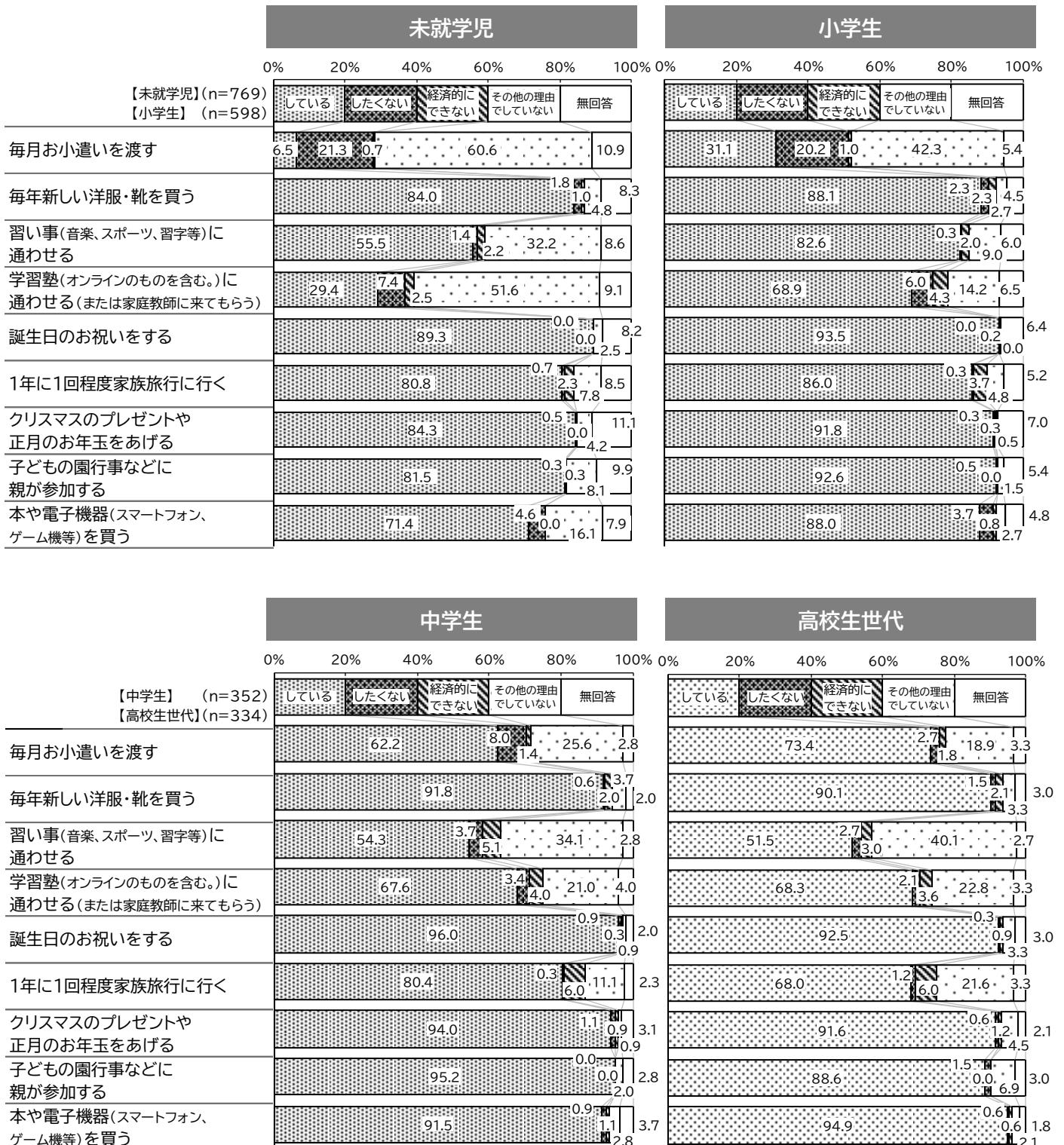
また、「時間の制約でない」は、小学生、中学生、高校生世代と年齢が上がるほど多くなる傾向がみられる。



(2)家庭において経済的にできないもの

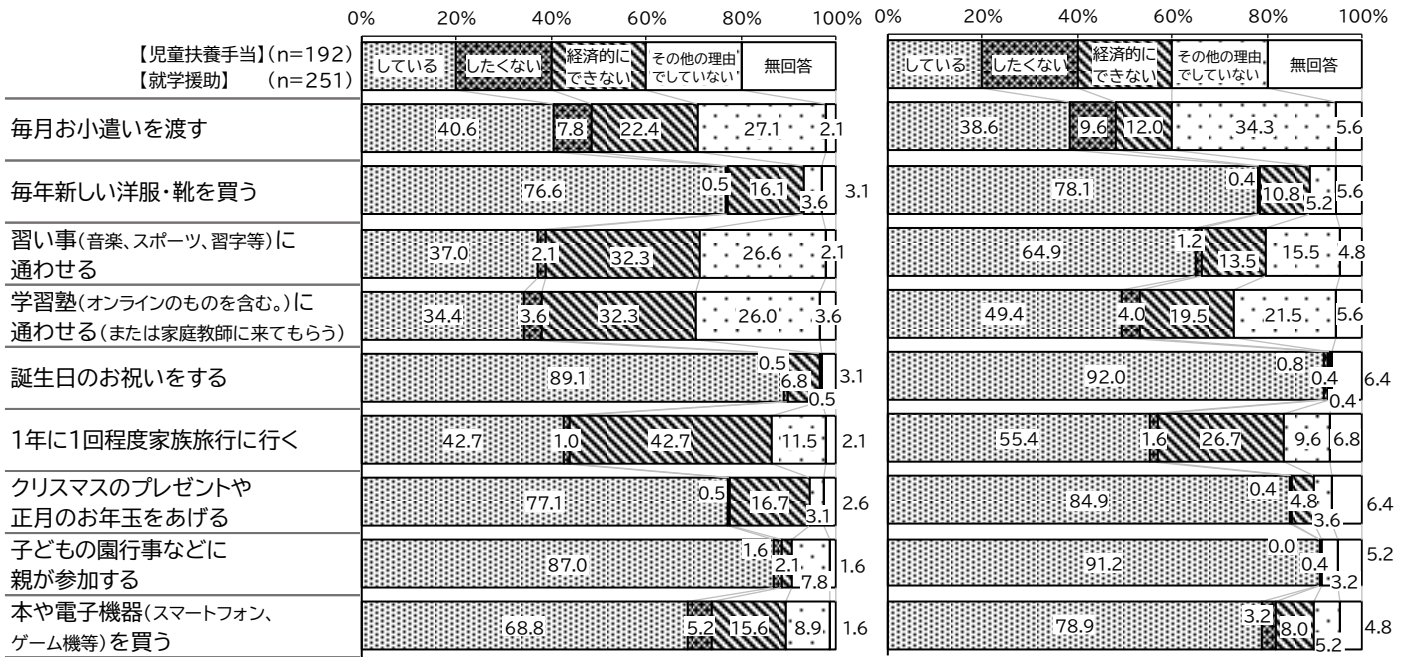
家庭においてできないものを尋ねたところ、未就学児、小学生、中学生及び高校生世代の保護者で「経済的にできない」と答えた方は、いずれの項目でも1割未満となっている。

また、児童扶養手当受給保護者と就学援助受給世帯保護者で「経済的にできない」と回答があった項目としては、「1年に1回程度家族旅行に行く」がそれぞれ 42.7%、26.7%で最も多く、次いで「学習塾(オンラインのものを含む。)通わせる(または家庭教師に来てもらう)」がそれぞれ 32.3%、19.5%となっている。加えて、児童扶養手当受給保護者では「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」も同率で 32.3%となっている。



児童扶養手当

就学援助

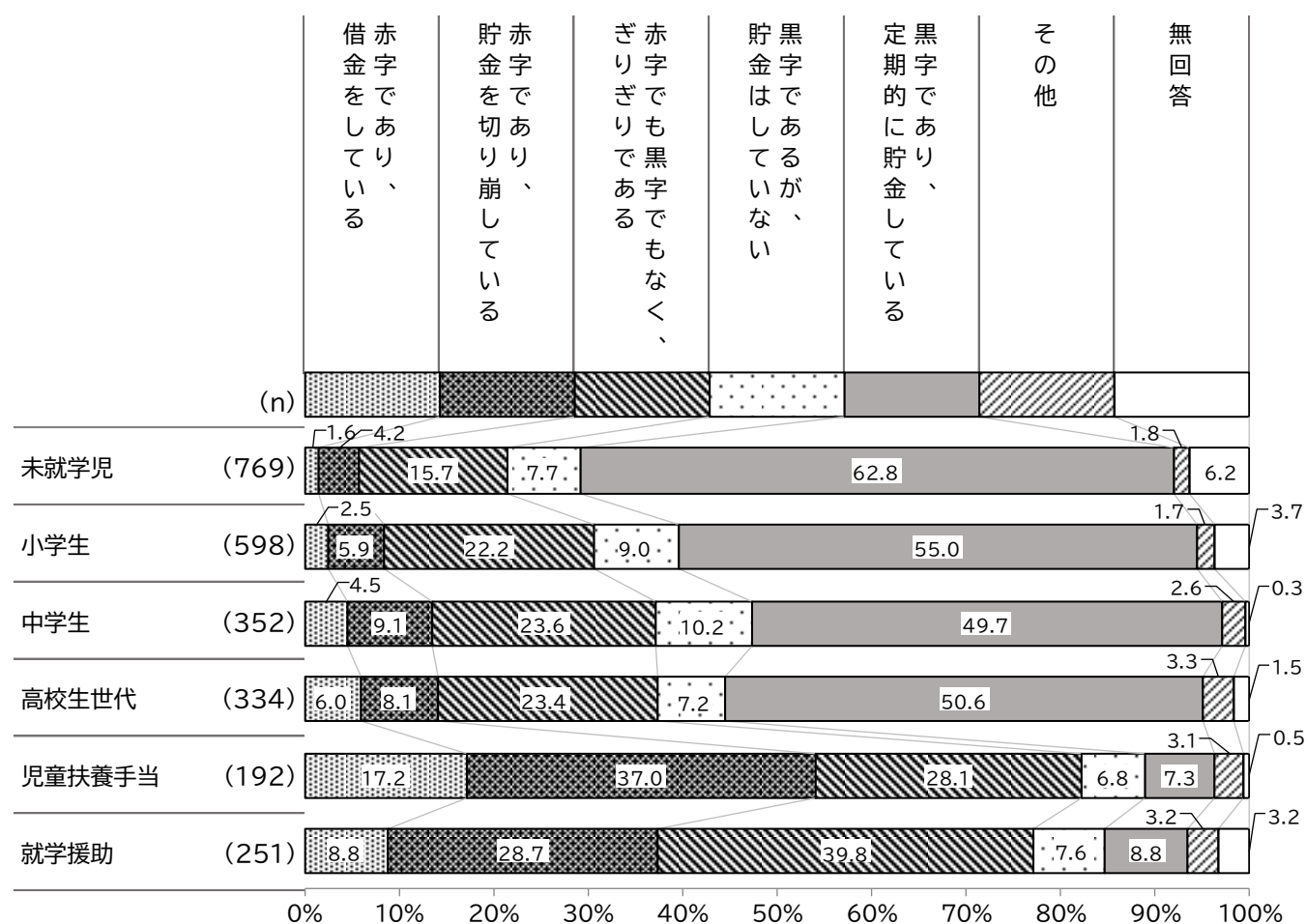


(3)家計の状況

家計の状況を尋ねたところ、未就学児、小学生、中学生及び高校生世代の保護者は、「黒字であり、定期的に貯金している」が約 50%から約 60%と最も多く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が次いでいる。

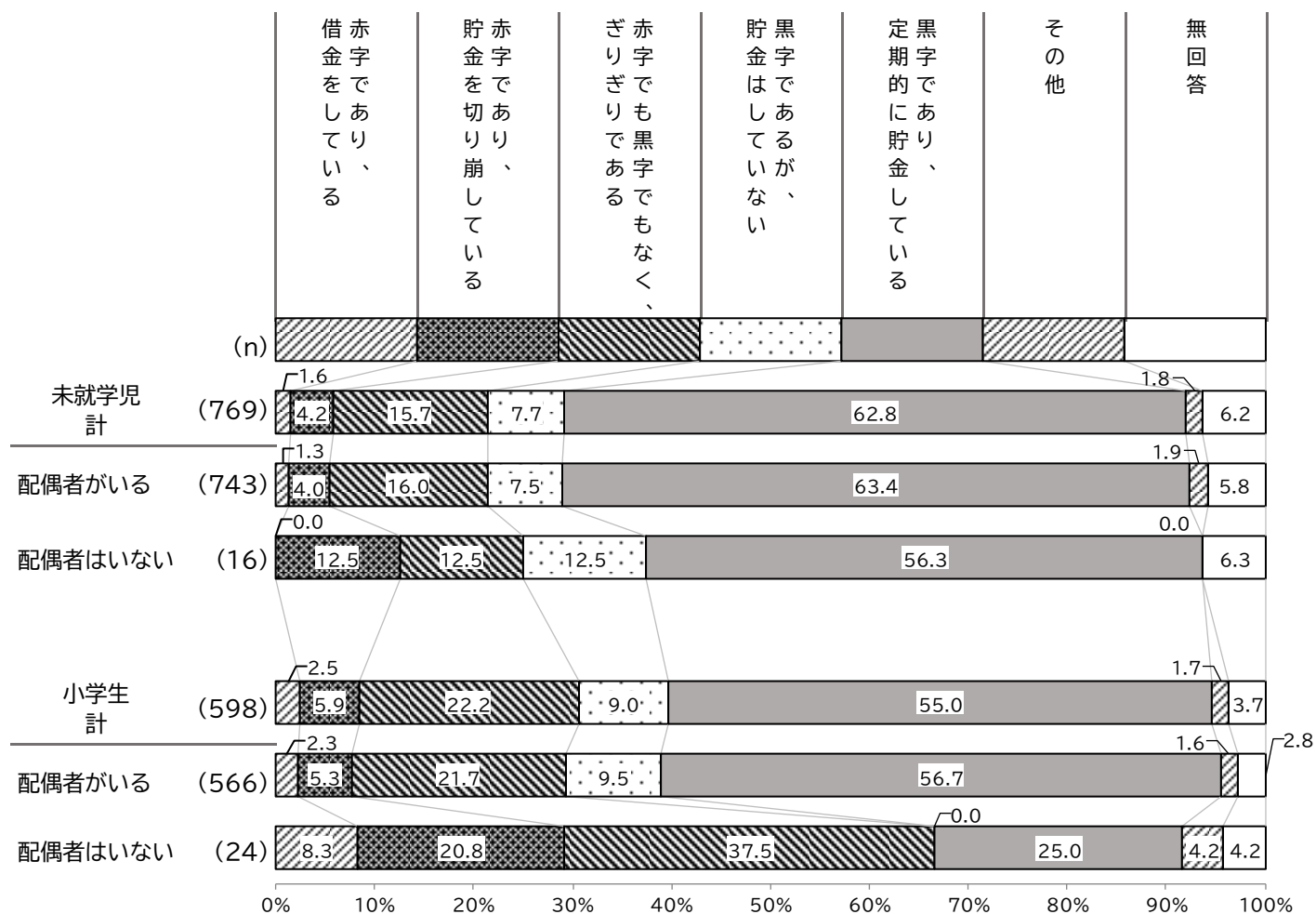
児童扶養手当受給保護者は、「赤字であり、貯金を切り崩している」が 37.0%と最も多く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が 28.1%、「赤字であり、借金をしている」が 17.2%となっている。

就学援助受給世帯保護者は、「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が 39.8%と最も多く、次いで「赤字であり、貯金を切り崩している」が 28.7%、「赤字であり、借金をしている」と「黒字であり、定期的に貯金している」が 8.8%となっている。



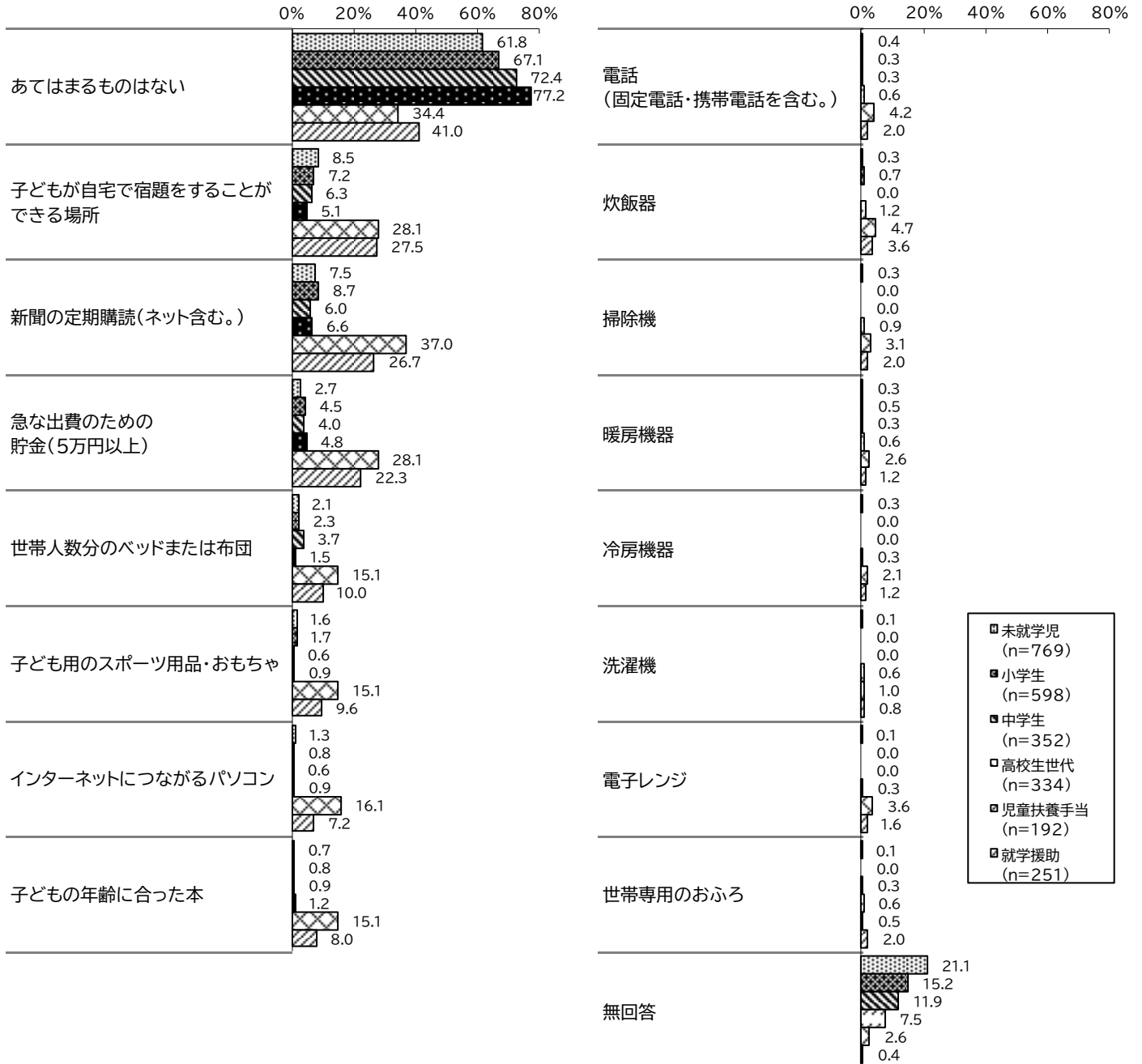
《家計の状況－回答者の配偶者の有無別》

回答者の配偶者の有無別にみると、「赤字であり、借金をしている」「赤字であり、貯金を切り崩している」の計は未就学児の保護者で配偶者がいない方が12.5%、小学生の保護者で配偶者がいない方が29.1%となっている。



(4)家庭において金銭的理由のためでないもの(複数回答)

家庭にないものを尋ねたところ、未就学児、小学生、中学生、高校生世代の保護者と就学援助受給世帯保護者ともに「あてはまるものはない」が多くなっている。一方、児童扶養手当受給保護者では「新聞の定期購読(ネット含む。)」が多くなっている。次いで、未就学児、中学生の保護者と就学援助受給世帯保護者は「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」、小学生と高校生世代の保護者は「新聞の定期購読(ネット含む。)」、児童扶養手当受給保護者は「あてはまるものはない」が多くなっている。



〔未就学児：問 52〕〔小学生：問 41〕

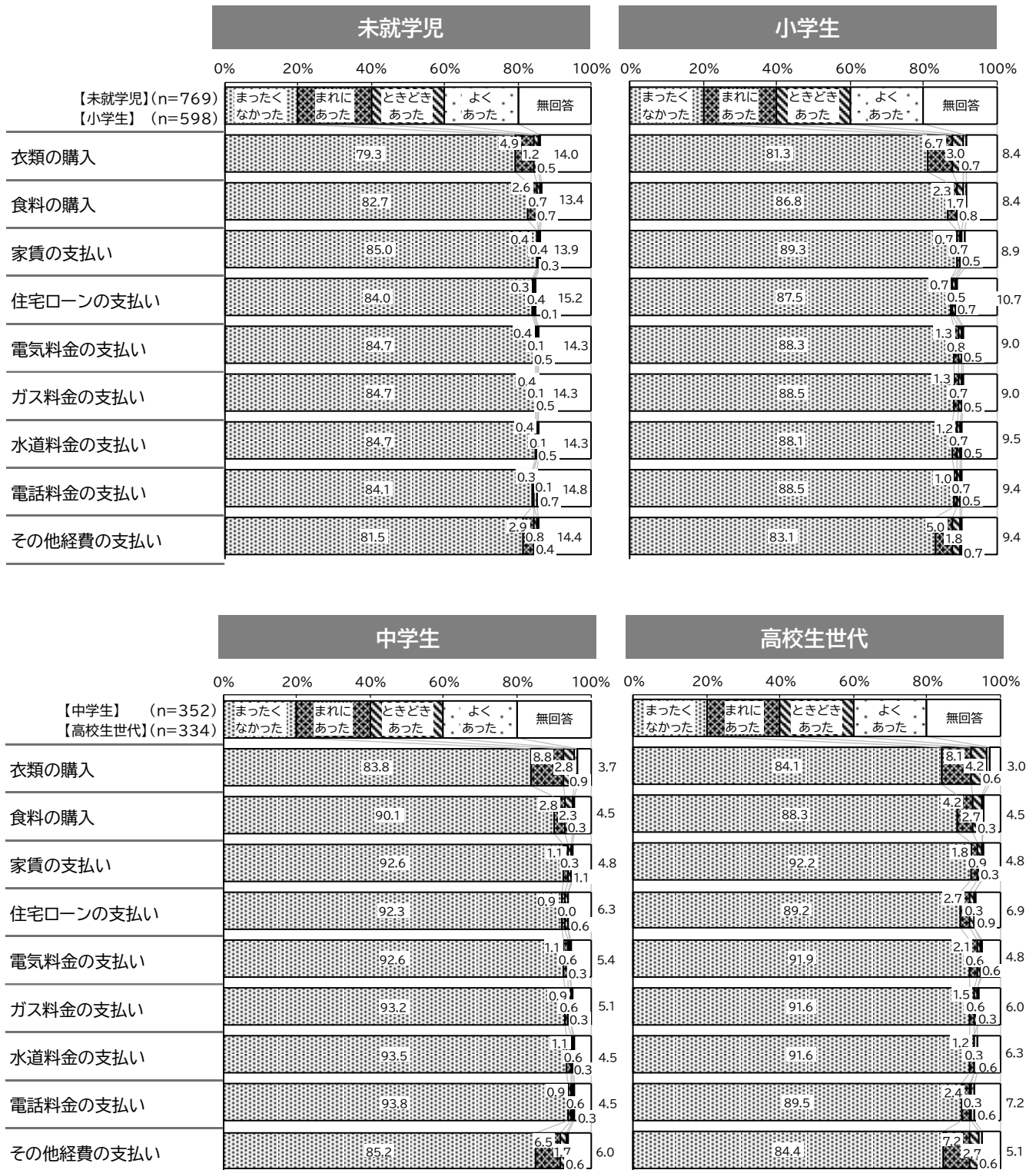
〔中学生：問 23〕〔高校生世代：問 16〕

〔児童扶養手当：問 15〕〔就学援助：問 15〕

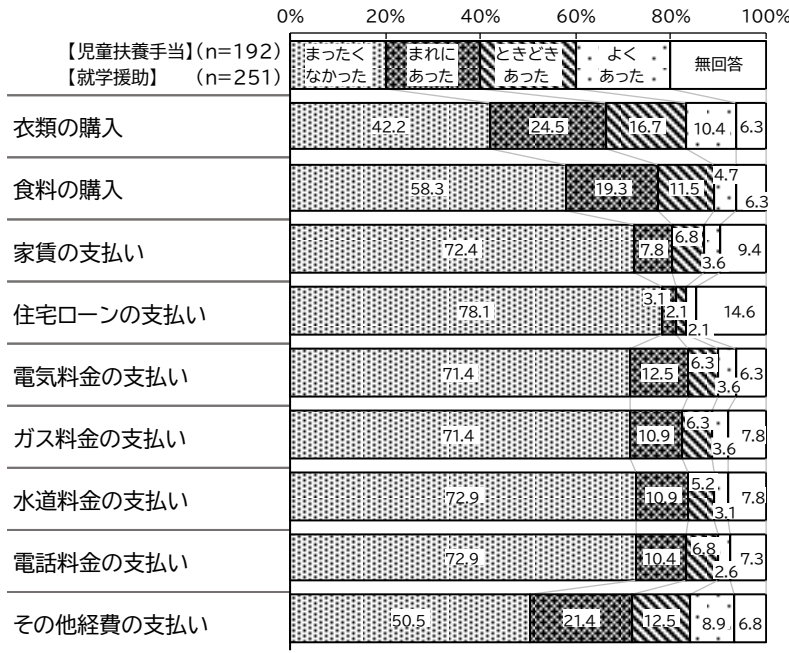
(5)家庭において経済的にできなかったこと

家庭において経済的にできなかったことを尋ねたところ、未就学児、小学生、中学生及び高校生世代の保護者の全ての項目で、「まったくなかった」は約 80%から約 90%となっている。一方、「まれにあった」、「ときどきあった」、「よくあった」は全ての項目で1割未満となっている。

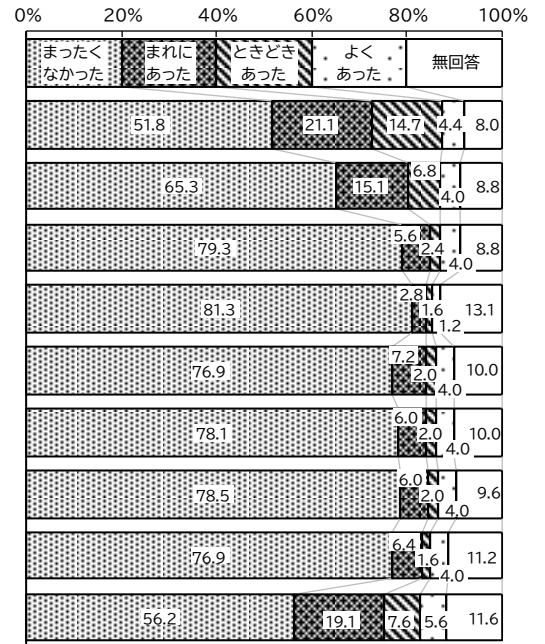
児童扶養手当受給保護者及び就学援助受給世帯保護者では、「まれにあった」、「ときどきあった」、「よくあった」の計は、衣類の購入がそれぞれ 51.6%、40.2%と最も多く、次いでその他経費の支払いがそれぞれ 42.8%、32.3%、食料の購入がそれぞれ 35.5%、25.9%となっている。



児童扶養手当



就学援助



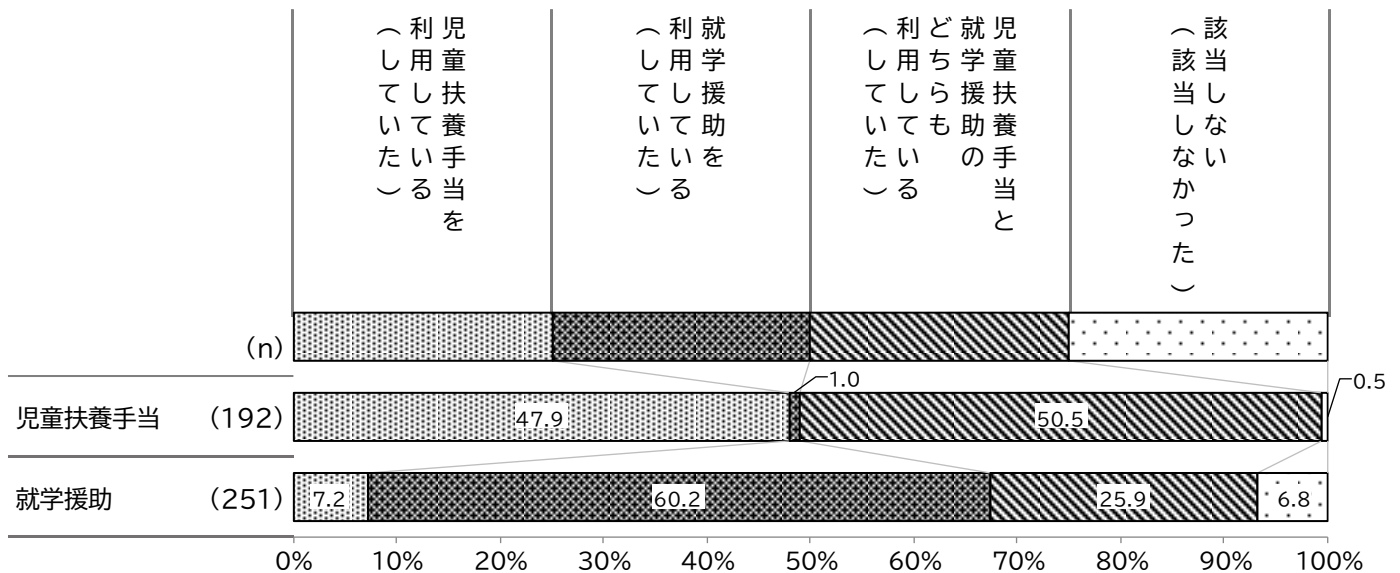
21 利用している制度について

(1) 児童扶養手当または就学援助の利用状況

〔児童扶養手当：問7〕〔就学援助：問7〕

利用している制度について尋ねたところ、児童扶養手当受給保護者は「児童扶養手当を利用している(していた)」と「児童扶養手当と就学援助のどちらも利用している(していた)」が約5割となっている。

就学援助受給世帯保護者は「就学援助を利用している(していた)」が60.2%、「児童扶養手当と就学援助のどちらも利用している(していた)」が25.9%となっている。

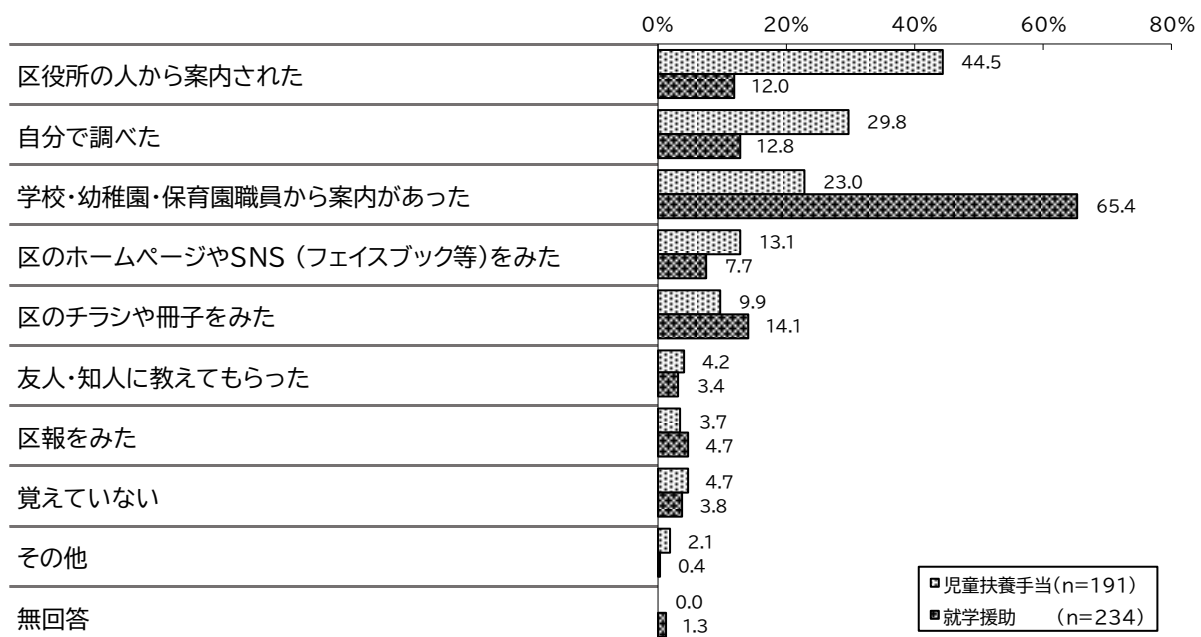


(2) 児童扶養手当または就学援助の利用のきっかけ(複数回答)

〔児童扶養手当：問7〕〔就学援助：問7〕

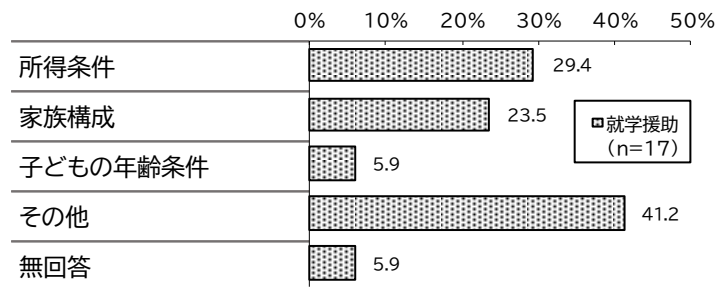
制度の利用のきっかけについて尋ねたところ、児童扶養手当受給保護者は「区役所の人から案内された」が44.5%と最も多く、次いで「自分で調べた」が29.8%となっている。

就学援助受給世帯保護者は「学校・幼稚園・保育園職員から案内があった」が65.4%と最も多く、次いで「区のチラシや冊子をみた」が14.1%となっている。



(3) 児童扶養手当または就学援助の利用条件に該当しない理由(複数回答)

児童扶養手当または就学援助の利用条件に該当しない理由について尋ねたところ、就学援助受給世帯保護者は「所得条件」が29.4%と最も多く、次いで「家族構成」が23.5%となっている。



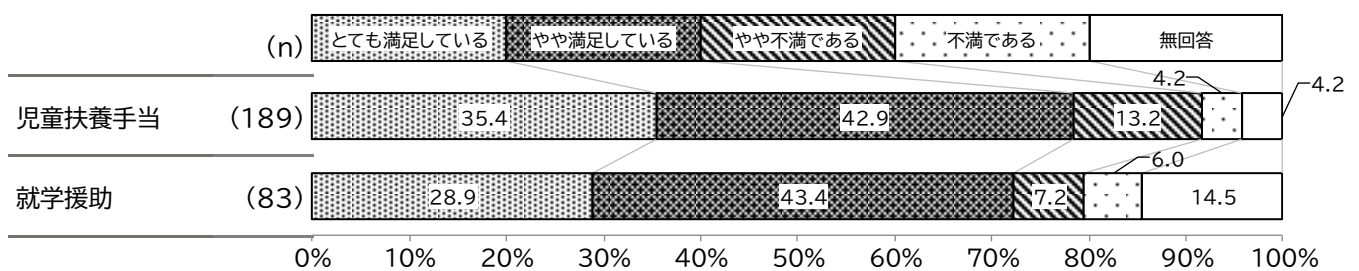
※児童扶養手当受給保護者(n=1)は回答数が少ないため作図せず。

(4) 児童扶養手当または就学援助の満足度

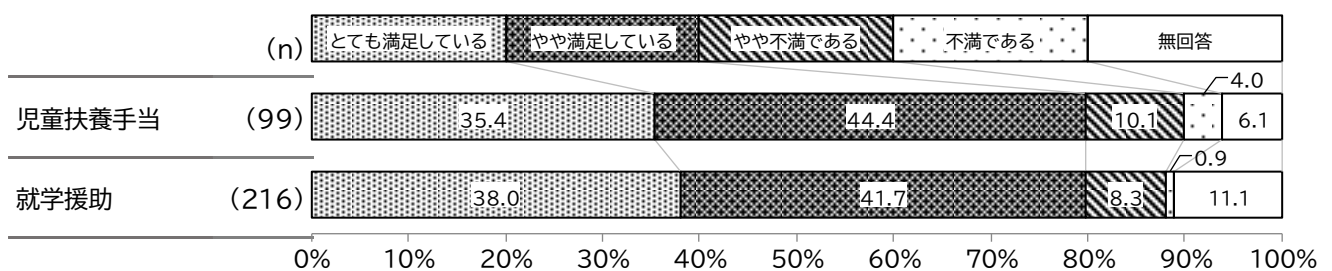
児童扶養手当の満足度について尋ねたところ、児童扶養手当受給保護者及び就学援助受給世帯保護者は「やや満足している」がそれぞれ42.9%、43.4%と最も多く、次いで「とても満足している」がそれぞれ35.4%、28.9%となっている。

就学援助の満足度については、児童扶養手当受給保護者及び就学援助受給世帯保護者は「やや満足している」がそれぞれ44.4%、41.7%と最も多く、次いで「とても満足している」がそれぞれ35.4%、38.0%となっている。

【児童扶養手当の満足度】



【就学援助の満足度】



(5) 児童扶養手当および就学援助の満足度の理由

〔児童扶養手当：問8-1〕〔就学援助：問8-1〕

児童扶養手当の満足度の理由について尋ねたところ、児童扶養手当受給保護者から 113 件、就学援助受給世帯保護者から 27 件の回答があり、満足している回答としては、助かっている等の感謝が挙げられる。一方、不満である回答としては、働くほど支給額が減額になるシステムが不平等、支給額が少ない、物価の上昇が反映されていない等が挙げられる。

就学援助の満足度の理由については、児童扶養手当受給保護者から 60 件、就学援助受給世帯保護者から 100 件の回答があり、満足している回答としては、助かっている等の感謝が挙げられる。一方、不満である回答としては、援助額以上に養育費が多い、支給額の決め方が不明瞭、支給額が少ない等が挙げられる。

【児童扶養手当の満足度の理由】

	(n)	とても満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	計
児童扶養手当	(189)	39 件	48 件	19 件	7 件	113 件
就学援助	(83)	10 件	7 件	5 件	5 件	27 件

【就学援助の満足度の理由】

	(n)	とても満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	計
児童扶養手当	(99)	25 件	24 件	8 件	3 件	60 件
就学援助	(216)	45 件	40 件	14 件	1 件	100 件

22 区の事業の利用状況

〔児童扶養手当：問9-1、問9-2、問9-3、問9-4、問9-5、問9-6、問9-7、問9-8、問9-9、問9-10、問9-11、問9-12〕

〔就学援助：問9-1、問9-2、問9-3、問9-4、問9-5、問9-6、問9-7、問9-8、問9-9、問9-10、問9-11、問9-12〕

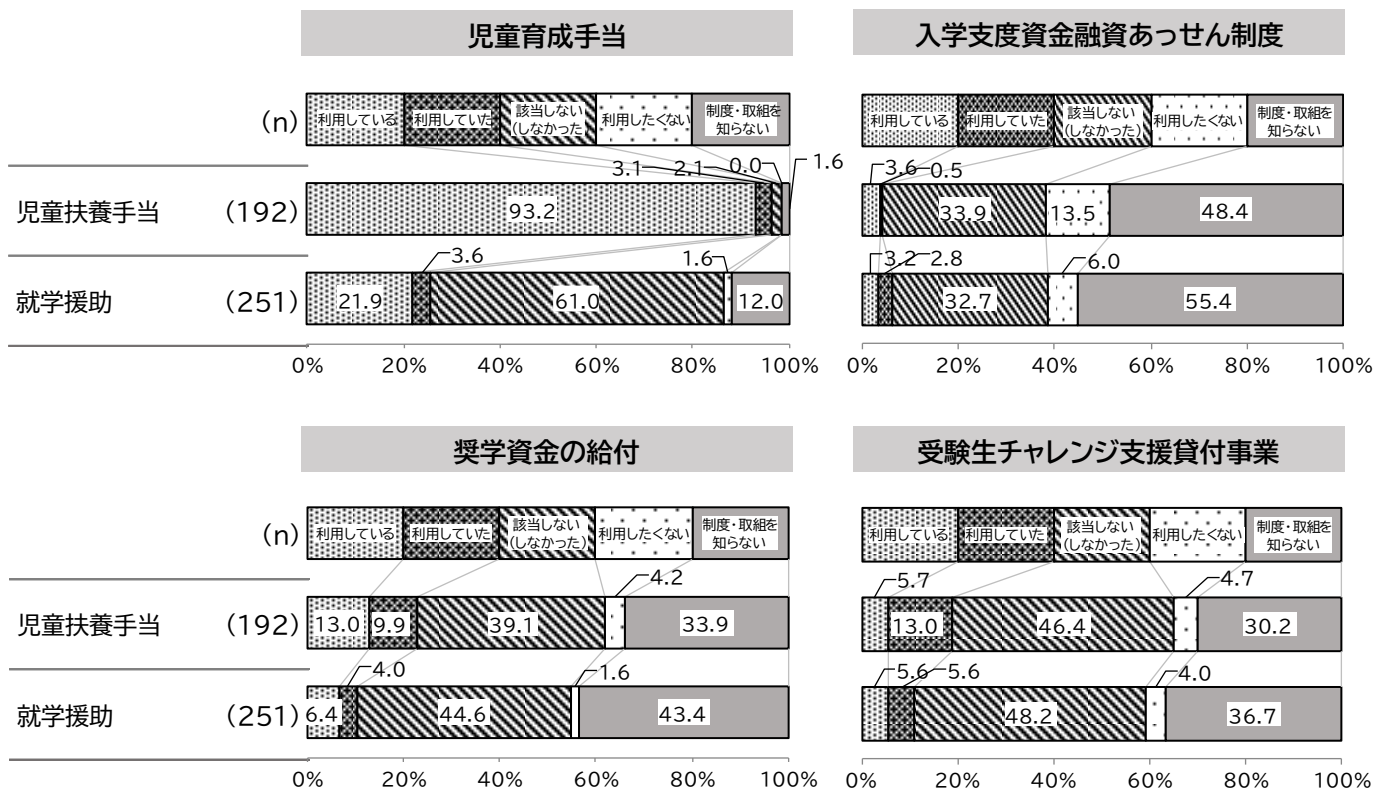
〔就学援助小学生本人：問3、問4、問5〕

(1) 利用状況

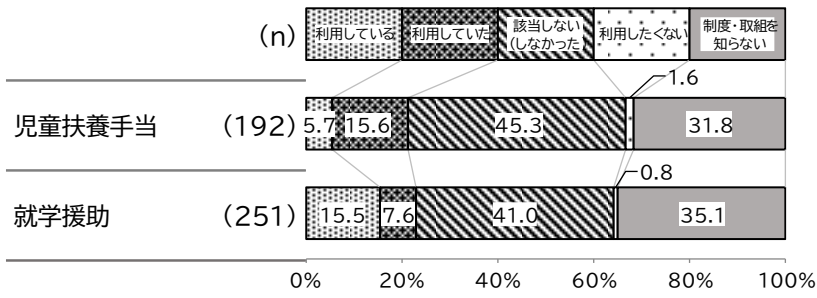
〔就学援助中学生本人：問3、問4、問5、問6、問7、問8、問9〕

児童扶養手当受給保護者に区の事業の利用状況について尋ねたところ、利用している事業では、児童育成手当が93.2%で最も多くなっている。次いで、子ども宅食が70.8%、奨学資金の給付が13.0%が続いている。一方、制度・取組を知らない事業では、母子および父子福祉資金が58.9%と最も多くなっている。次いで、入学支度資金融資あっせん制度が48.4%、母子家庭及び父子家庭自立支援事業が42.2%となっている。利用したくない事業では、自立相談支援事業が83.3%、子ども食堂が57.8%となっている。

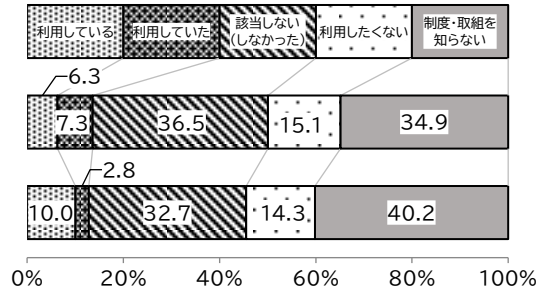
また、就学援助受給世帯保護者は、利用している事業では、子ども宅食が66.1%で最も多くなっている。次いで、児童育成手当が21.9%、中学生学校外学習費用の助成が15.5%となっている。一方、制度・取組を知らない事業では、入学支度資金融資あっせん制度が55.4%と最も多くなっている。次いで、奨学資金の給付が43.4%、学習支援が40.2%となっている。利用したくない事業では、自立相談支援事業が89.6%、子ども食堂が61.8%となっている。



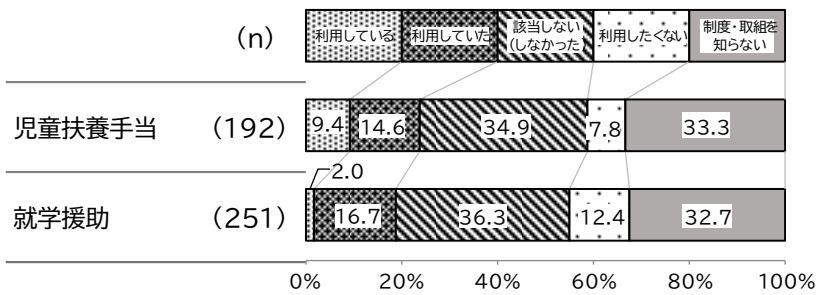
中学生学校外学習費用の助成



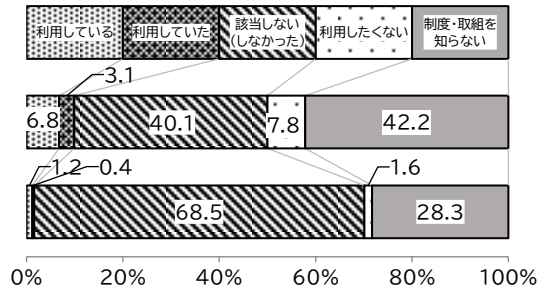
学習支援



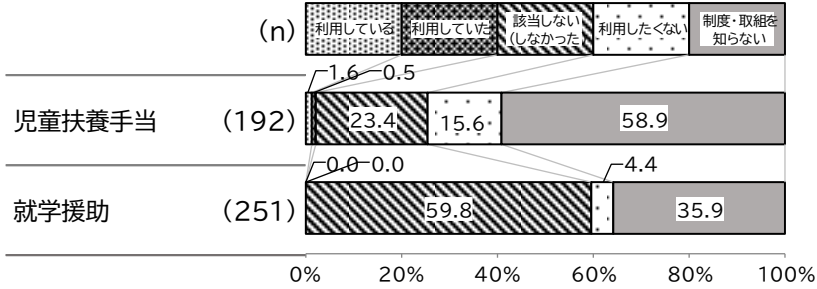
子育て支援サービスの利用料等助成



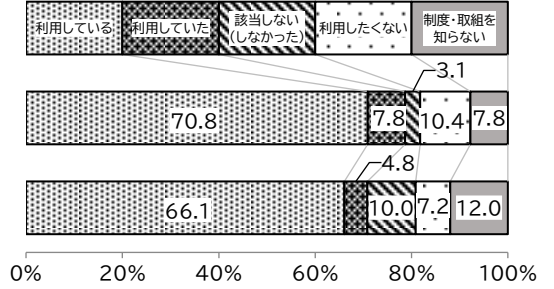
母子家庭及び父子家庭自立支援事業



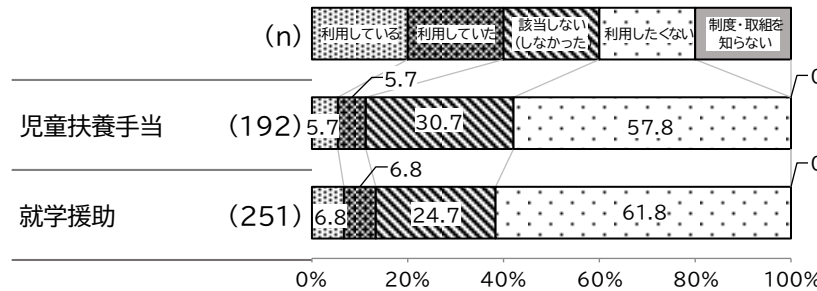
母子および父子福祉資金



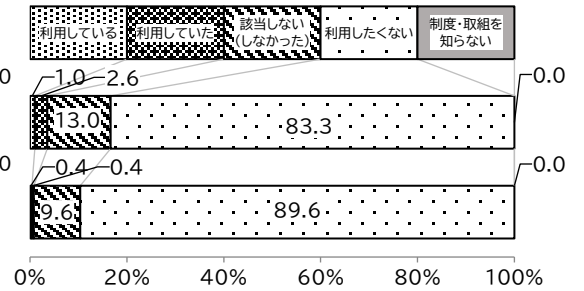
子ども宅食



子ども食堂

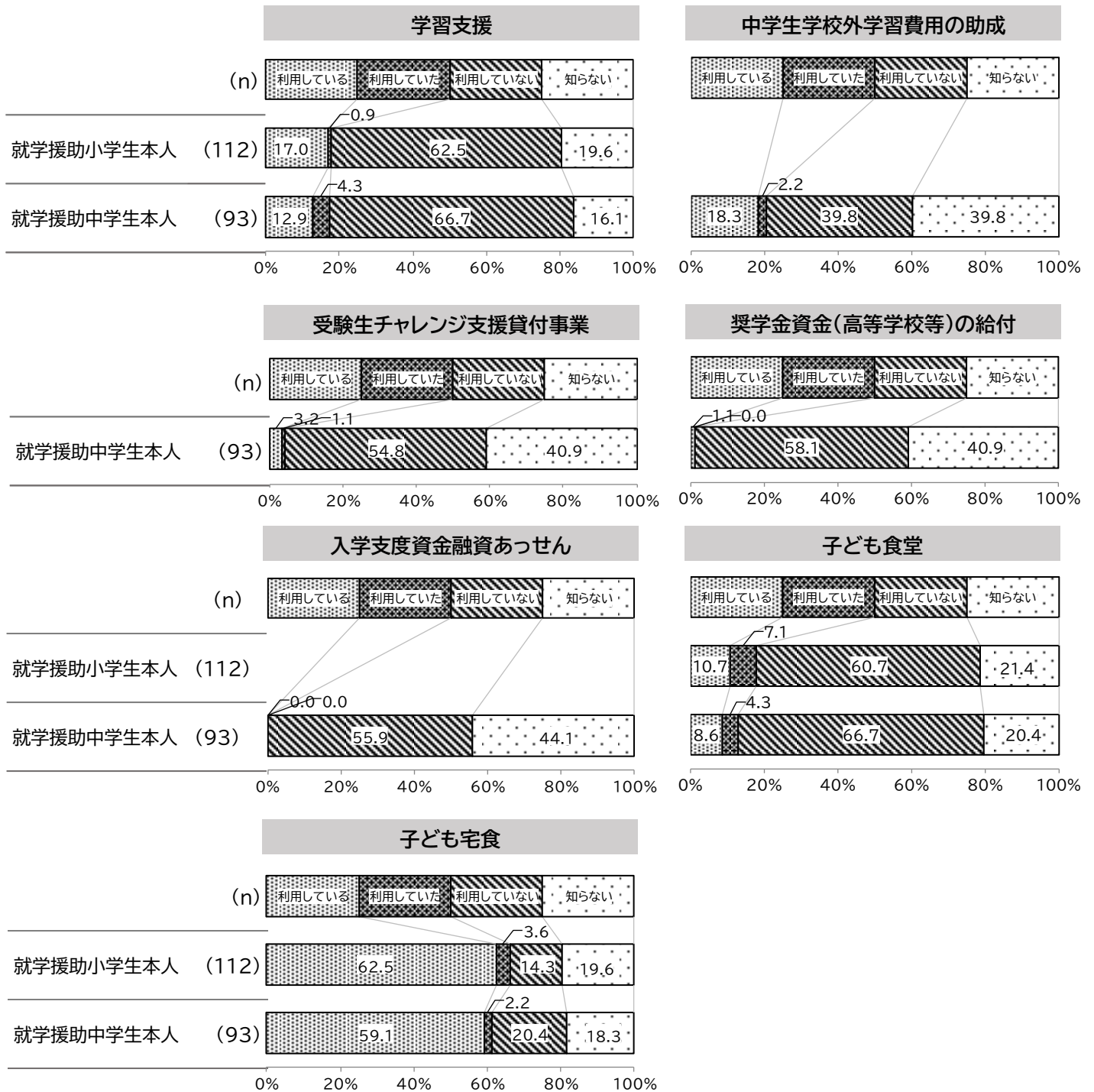


自立相談支援事業



就学援助受給世帯小学生本人に区の事業の利用状況について尋ねたところ、利用している事業では、子ども宅食が62.5%で最も多くなっている。次いで、学習支援が17.0%、子ども食堂が10.7%で続いている。一方、制度・取組を知らない事業では、子ども食堂が21.4%と最も多くなっている。

また、就学援助受給世帯中学生本人は、利用している事業では、子ども宅食が59.1%で最も多くなっている。次いで、中学生学校外学習費用の助成が18.3%、学習支援が12.9%で続いている。一方、制度・取組を知らない事業では、入学支度資金融資あっせんが44.1%と最も多く、次いで受験生チャレンジ支援貸付事業と奨学金資金(高等学校等)の給付がともに40.9%となっている。



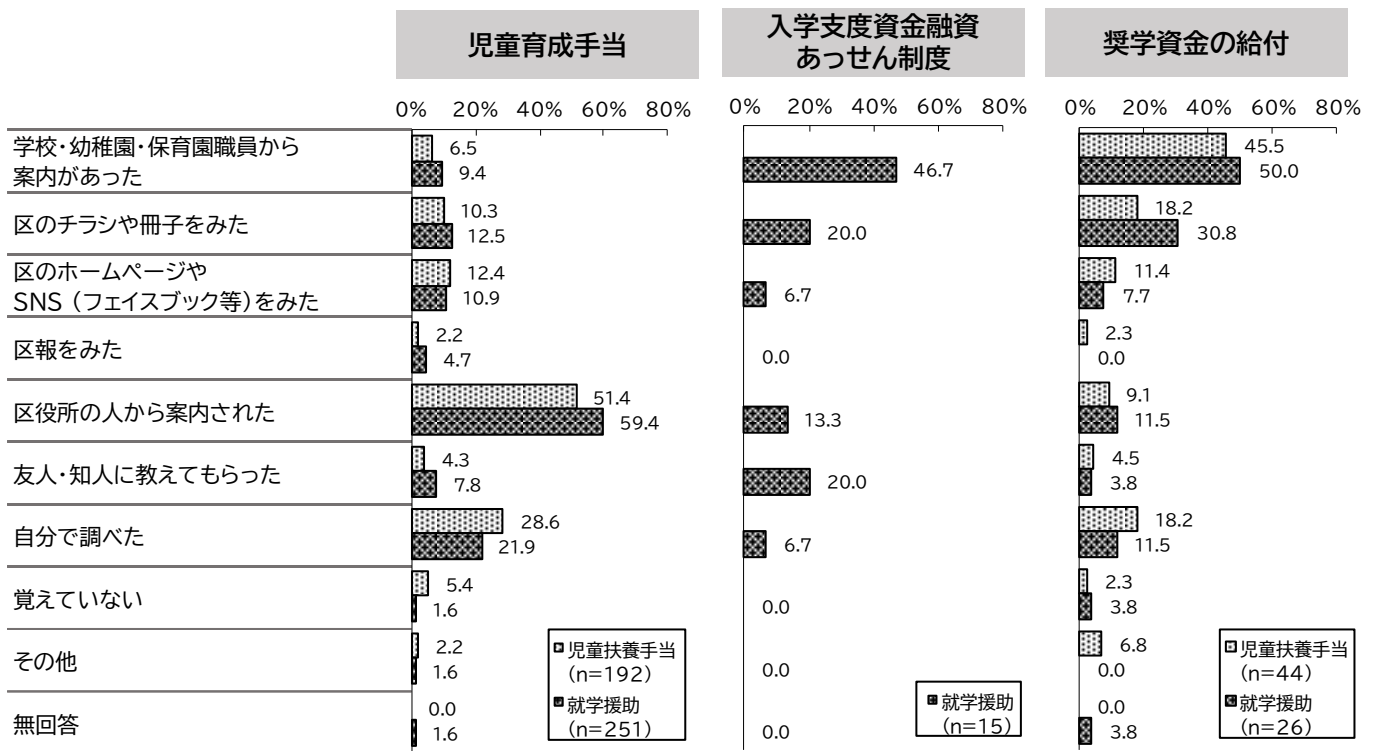
〔児童扶養手当：問9-1、問9-2、問9-3、問9-4、問9-5、問9-6、問9-7、問9-8、問9-9、問9-10、問9-11、問9-12〕
 〔就学援助：問9-1、問9-2、問9-3、問9-4、問9-5、問9-6、問9-7、問9-8、問9-9、問9-10、問9-11、問9-12〕
 〔就学援助小学生本人：問3-1、問4-1、問5-1〕

(2) 区の事業の利用のきっかけ(複数回答) 〔就学援助中学生本人：問3-1、問4-1、問5-1、問6-1、問7-1〕

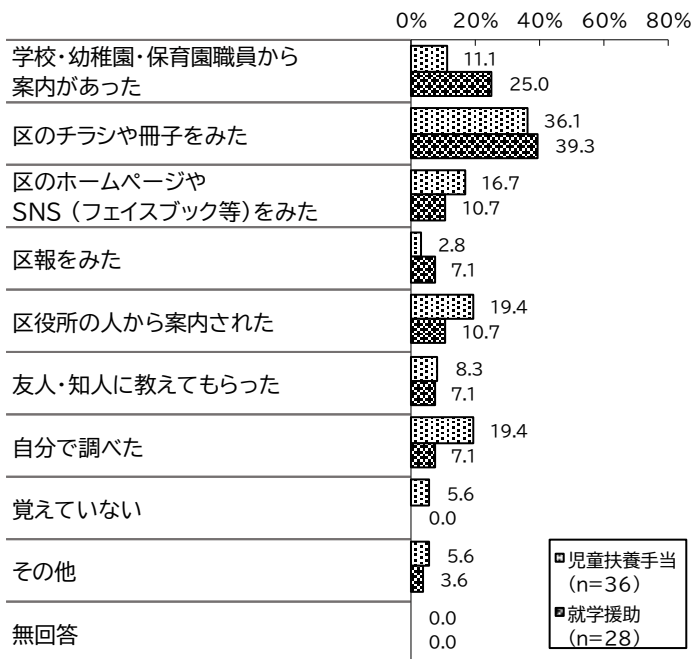
児童扶養手当受給保護者に区の事業の利用のきっかけについて尋ねたところ、「学校・幼稚園・保育園職員から案内があった」は奨学資金の給付で最も多くなっている。「区のチラシや冊子をみた」は受験生チャレンジ支援貸付事業、中学生学校外学習費用の助成、母子家庭及び父子家庭自立支援事業、子ども宅食で最も多くなっている。「区役所の人から案内された」は児童育成手当、子育て支援サービスの利用料等助成、子ども食堂で最も多くなっている。また、子ども食堂では「友人・知人に教えてもらった」も最も多くなっている。学習支援については、「児童扶養手当の認定通知書に同封の事業チラシをみた」が65.4%と最も多くなっている。

また、就学援助受給世帯保護者では、「学校・幼稚園・保育園職員から案内があった」は入学支度資金融資あっせん制度、奨学資金の給付で最も多くなっている。「区のチラシや冊子をみた」は受験生チャレンジ支援貸付事業、中学生学校外学習費用の助成、子育て支援サービスの利用料等助成、子ども宅食で最も多くなっている。「区役所の人から案内された」は児童育成手当で最も多くなっている。

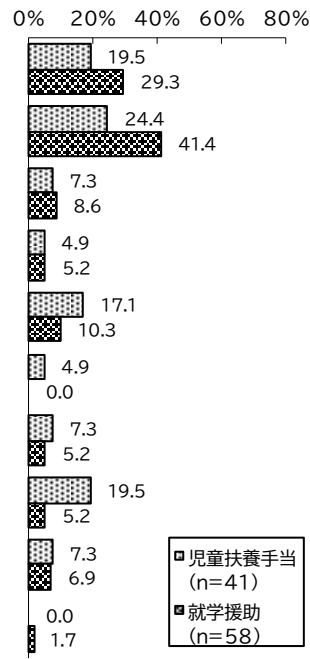
学習支援では、「就学援助の認定通知書に同封の事業チラシをみた」が37.5%と最も多くなっている。



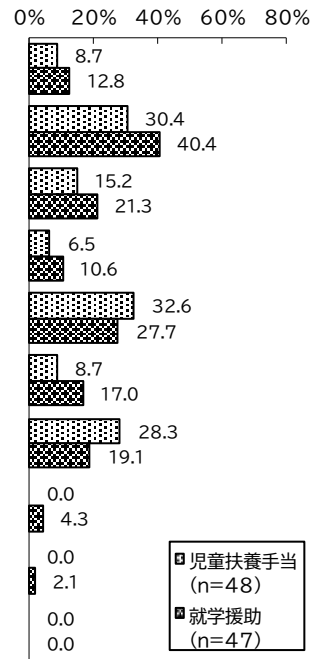
受験生チャレンジ 支援貸付事業



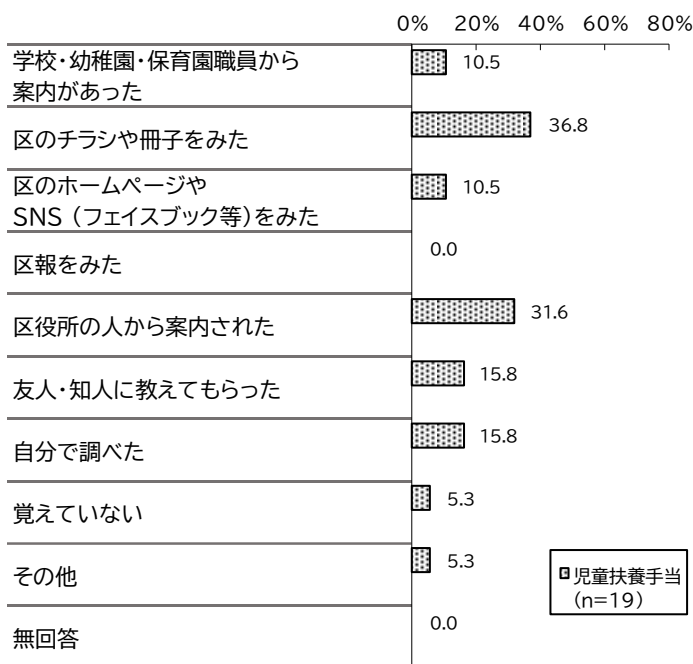
中学生学校外 学習費用の助成



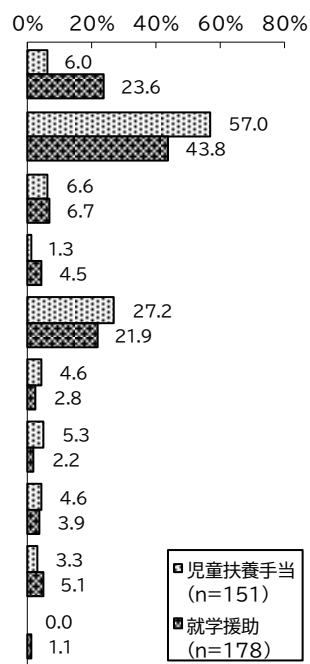
子育て支援サービスの 利用料等助成



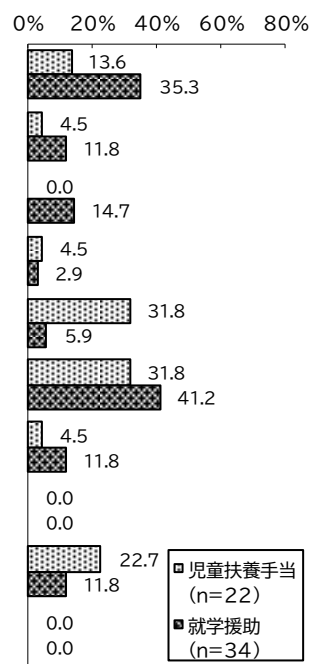
母子家庭及び父子家庭 自立支援事業



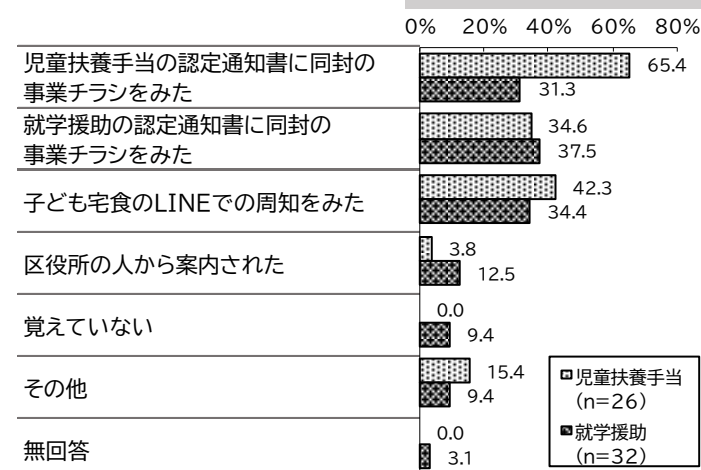
子ども宅食



子ども食堂



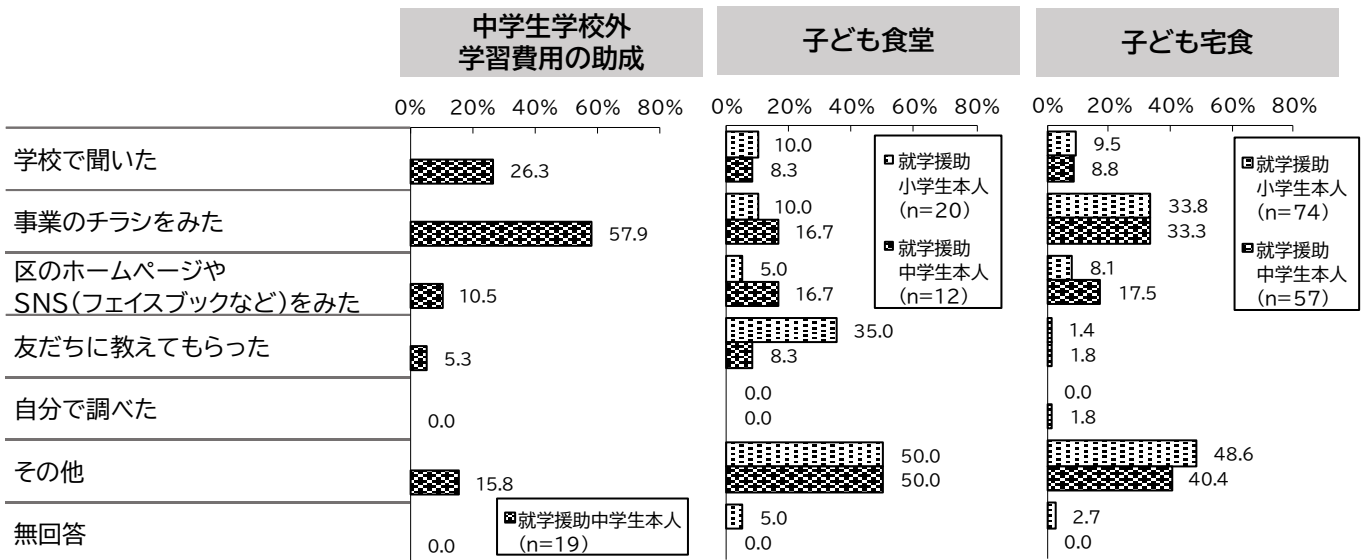
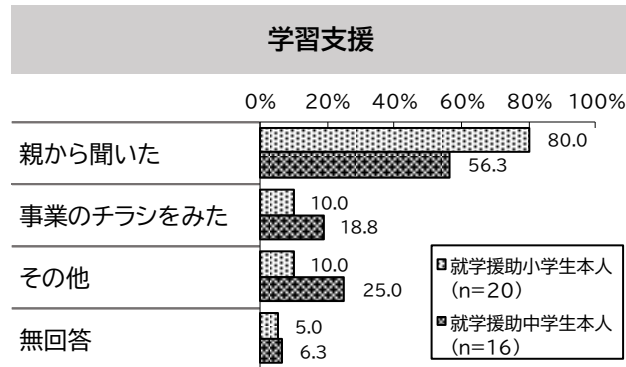
学習支援



※入学支度資金融資あっせん制度の児童扶養手当受給保護者(n=8)、母子家庭及び父子家庭自立支援事業の就学援助受給世帯保護者(n=4)、母子および父子福祉資金の児童扶養手当受給保護者(n=4)及び就学援助受給世帯保護者(n=0)、自立相談支援事業の児童扶養手当受給保護者(n=7)及び就学援助受給世帯保護者(n=2)は回答数が少ないため作図せず。

就学援助受給世帯小学生本人では、「親から聞いた」は学習支援で最も多くなっている。「事業のチラシをみた」は子ども宅食で最も多くなっている。「友だちに教えてもらった」は子ども食堂で最も多くなっている。

また、就学援助受給世帯保護者では、「親から聞いた」は学習支援で最も多くなっている。「事業のチラシをみた」は中学生学校外学習費用の助成、子ども食堂、子ども宅食で最も多くなっている。



※中学生学校外学習費用の助成は就学援助小学生本人で項目なし。

受験生チャレンジ支援貸付事業は就学援助小学生本人で項目なし。また、就学援助中学生本人(n=4)は回答数が少ないため作図せず。

奨学金資金(高等学校等)の給付は就学援助小学生本人で項目なし。また、就学援助中学生本人(n=1)は回答数が少ないため作図せず。

入学支度資金融資あっせんは就学援助小学生本人で項目なし。また、就学援助中学生本人(n=0)は回答数が少ないため作図せず。

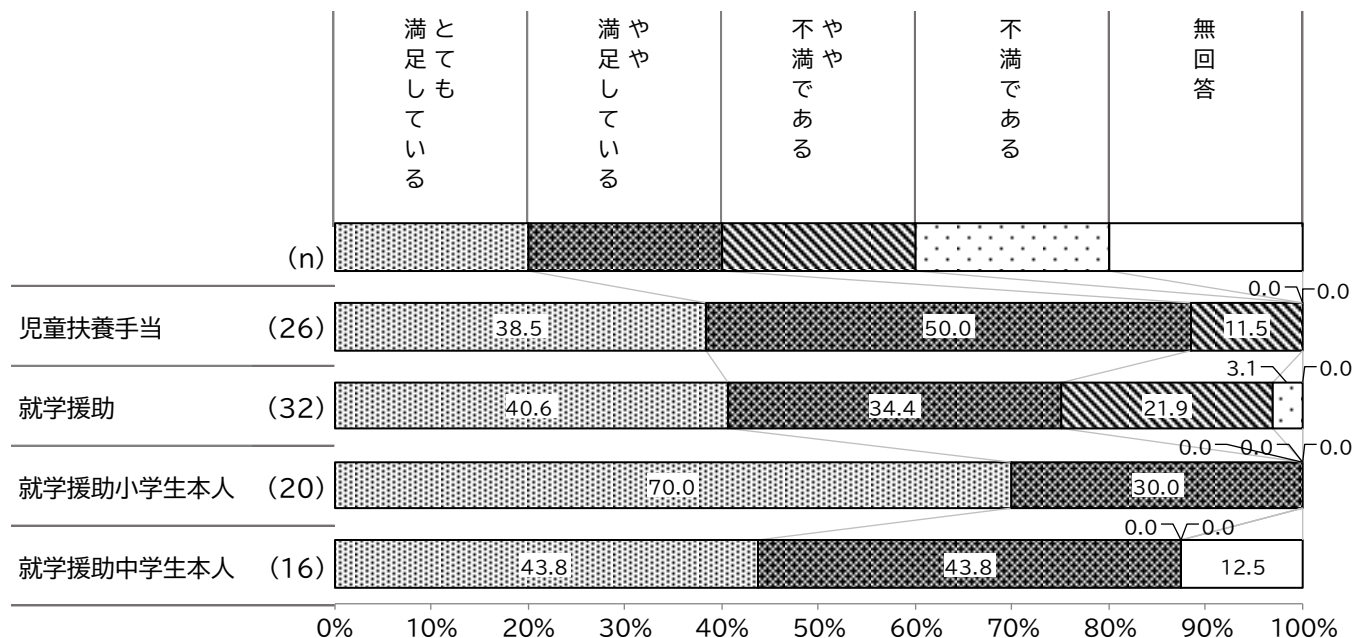
(3)【学習支援「利用している」「利用していた」回答者】

学習支援の満足度／満足度の理由／意見

①学習支援の満足度

〔児童扶養手当：問9-6〕〔就学援助：問9-6〕
〔就学援助小学生本人：問3-2〕〔就学援助中学生本人：問3-2〕

学習支援を「利用している」「利用していた」と回答した児童扶養手当受給保護者、就学援助受給世帯保護者、就学援助受給世帯小学生本人及び就学援助受給世帯中学生本人に満足度について尋ねたところ、「とても満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足」の計はそれぞれ、88.5%、75.0%、100.0%、87.6%となっている。



②学習支援の満足度の理由

〔児童扶養手当：問9-6〕〔就学援助：問9-6〕
〔就学援助小学生本人：問3-3〕〔就学援助中学生本人：問3-3〕

学習支援の満足度の理由について尋ねたところ、児童扶養手当受給保護者から 21 件、就学援助受給世帯保護者から 17 件、就学援助受給世帯小学生本人から 11 件、就学援助受給世帯中学生本人から 6 件の回答があり、満足している回答としては、丁寧な指導への感謝、授業料が無料であること、先生がやさしい等が挙げられる。一方、不満である回答としては、宿題をするだけになっている、レベルが低い、先生が忙しい等が挙げられる。

③学習支援についての意見

〔児童扶養手当：問9-6〕〔就学援助：問9-6〕
〔就学援助小学生本人：問3-5〕〔就学援助中学生本人：問3-5〕

学習支援の満足度の理由について尋ねたところ、児童扶養手当受給保護者から 11 件、就学援助受給世帯保護者から 12 件、就学援助受給世帯小学生本人から 7 件、就学援助受給世帯中学生本人から 3 件の回答があり、子どもを1人で通わせることが心配、感謝、回数を増やしてほしい、小学校3年生から受講したい、周りがうるさいときがある等の意見が挙げられる。

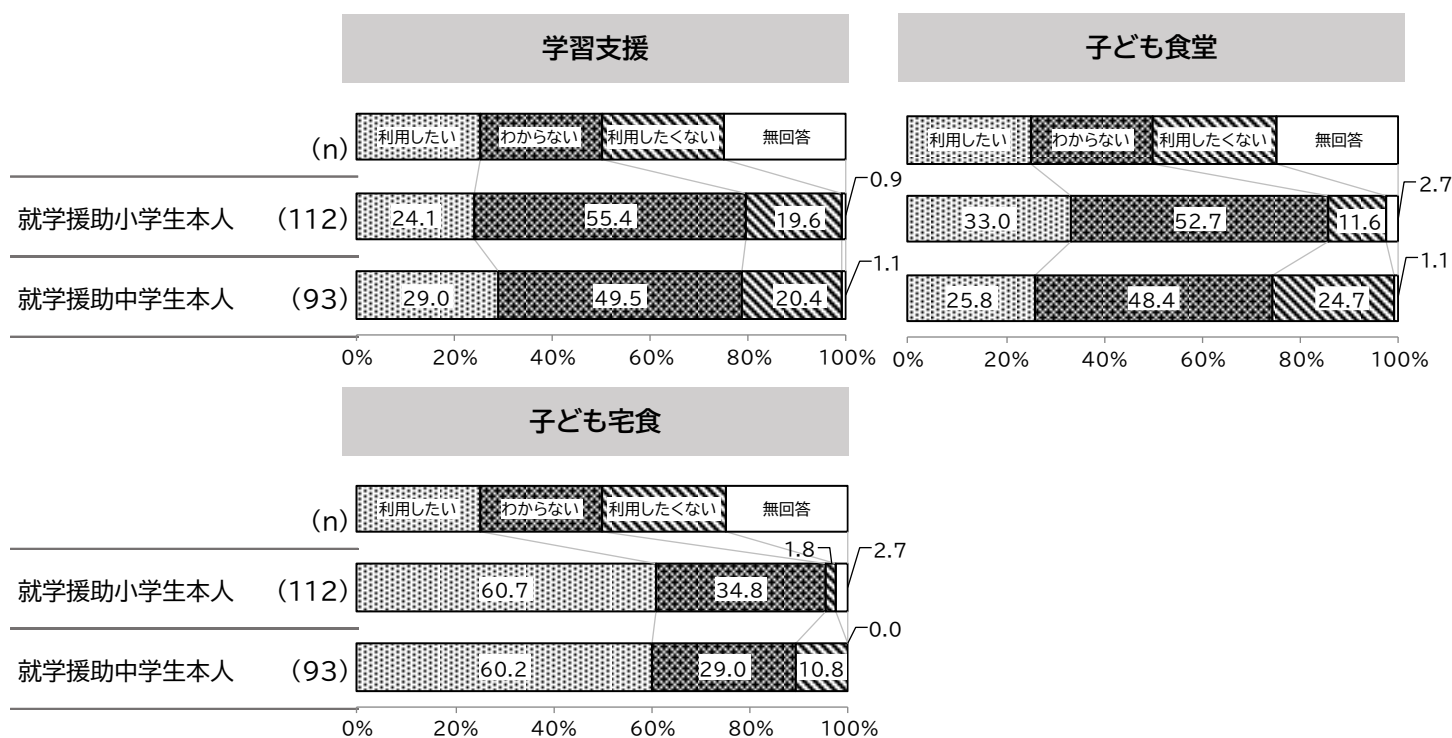
(4) 学習支援・子ども食堂・子ども宅食の利用希望

〔就学援助小学生本人：問3-4、問4-2、問5-2〕
 〔就学援助中学生本人：問3-4、問8-2、問9-2〕

学習支援の今後の利用希望について尋ねたところ、就学援助受給世帯小学生本人は「利用したい」が24.1%、「わからない」が55.4%、「利用したくない」が19.6%となっている。就学援助受給世帯中学生本人は「利用したい」が29.0%、「わからない」が49.5%、「利用したくない」が20.4%となっている。

子ども食堂の今後の利用希望について尋ねたところ、就学援助受給世帯小学生本人は「利用したい」が33.0%、「わからない」が52.7%、「利用したくない」が11.6%となっている。就学援助受給世帯中学生本人は「利用したい」が25.8%、「わからない」が48.4%、「利用したくない」が24.7%となっている。

子ども宅食の今後の利用希望について尋ねたところ、就学援助受給世帯小学生本人は「利用したい」が60.7%、「わからない」が34.8%、「利用したくない」が1.8%となっている。就学援助受給世帯中学生本人は「利用したい」が60.2%、「わからない」が29.0%、「利用したくない」が10.8%となっている。



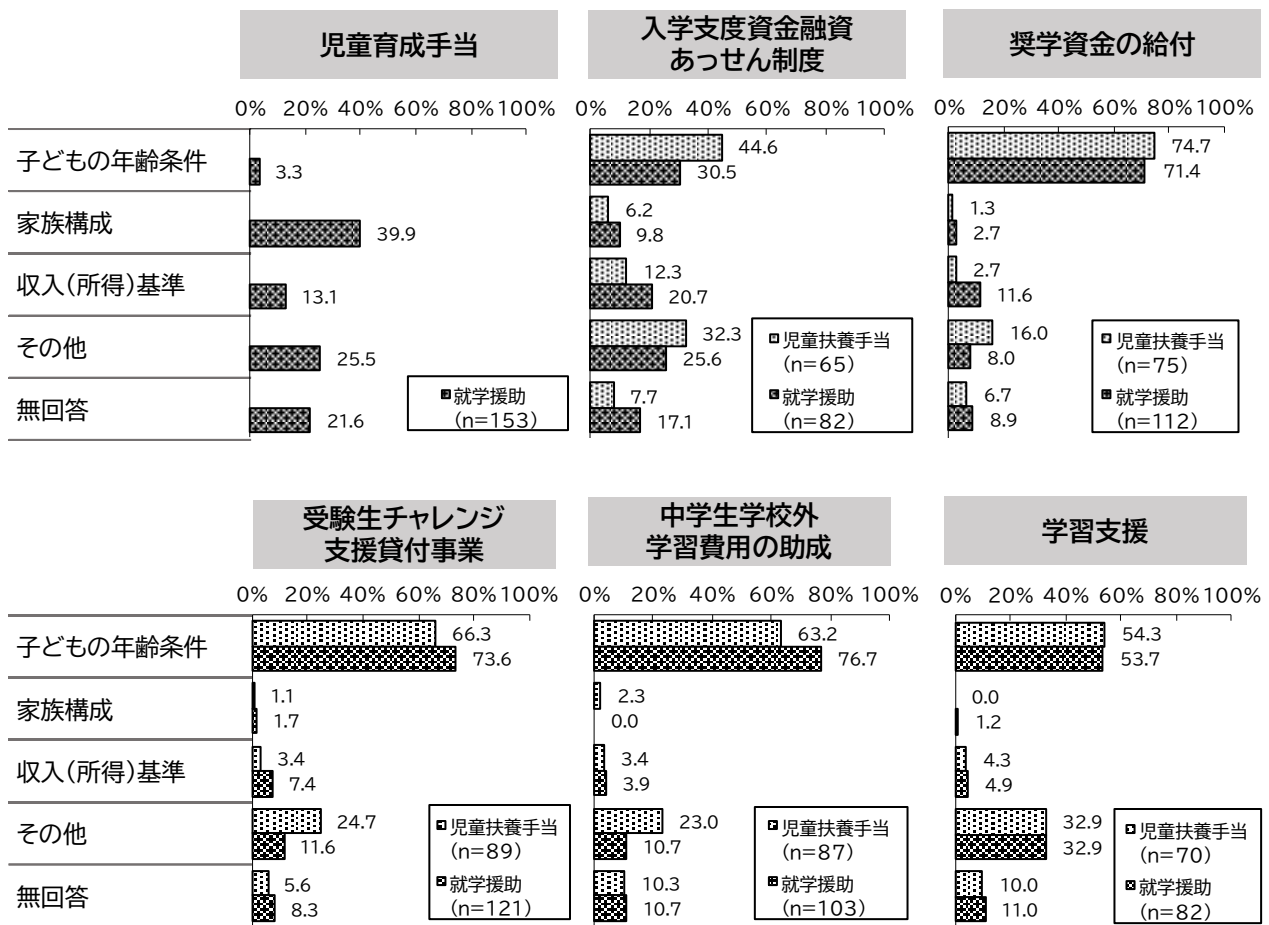
〔児童扶養手当：問9-1、問9-2、問9-3、問9-4、問9-5、問9-6、問9-7、問9-8、問9-9、問9-10〕

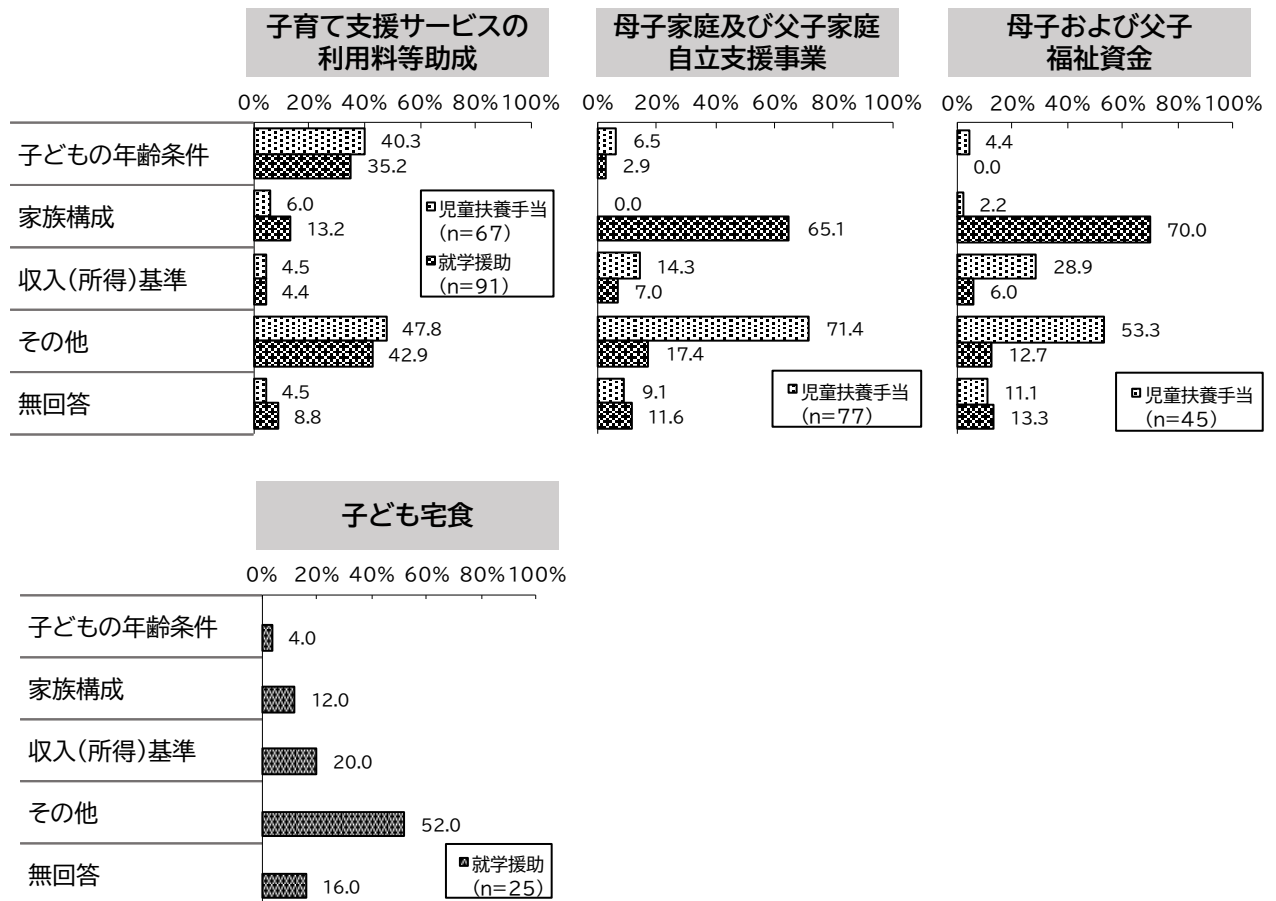
〔就学援助：問9-1、問9-2、問9-3、問9-4、問9-5、問9-6、問9-7、問9-8、問9-9、問9-10〕

(5)事業の利用に該当しない理由

児童扶養手当受給保護者に区の事業の利用に該当しない理由を尋ねたところ、「子どもの年齢条件」は入学支度資金融資あっせん制度、奨学資金の給付、受験生チャレンジ支援貸付事業、中学生学校外学習費用の助成、学習支援で最も多くなっている。

また、就学援助受給世帯保護者では、「子どもの年齢条件」は入学支度資金融資あっせん制度、奨学資金の給付、受験生チャレンジ支援貸付事業、中学生学校外学習費用の助成、学習支援で最も多くなっている。「家族構成」は児童育成手当、母子家庭及び父子家庭自立支援事業、母子および父子福祉資金で最も多くなっている。





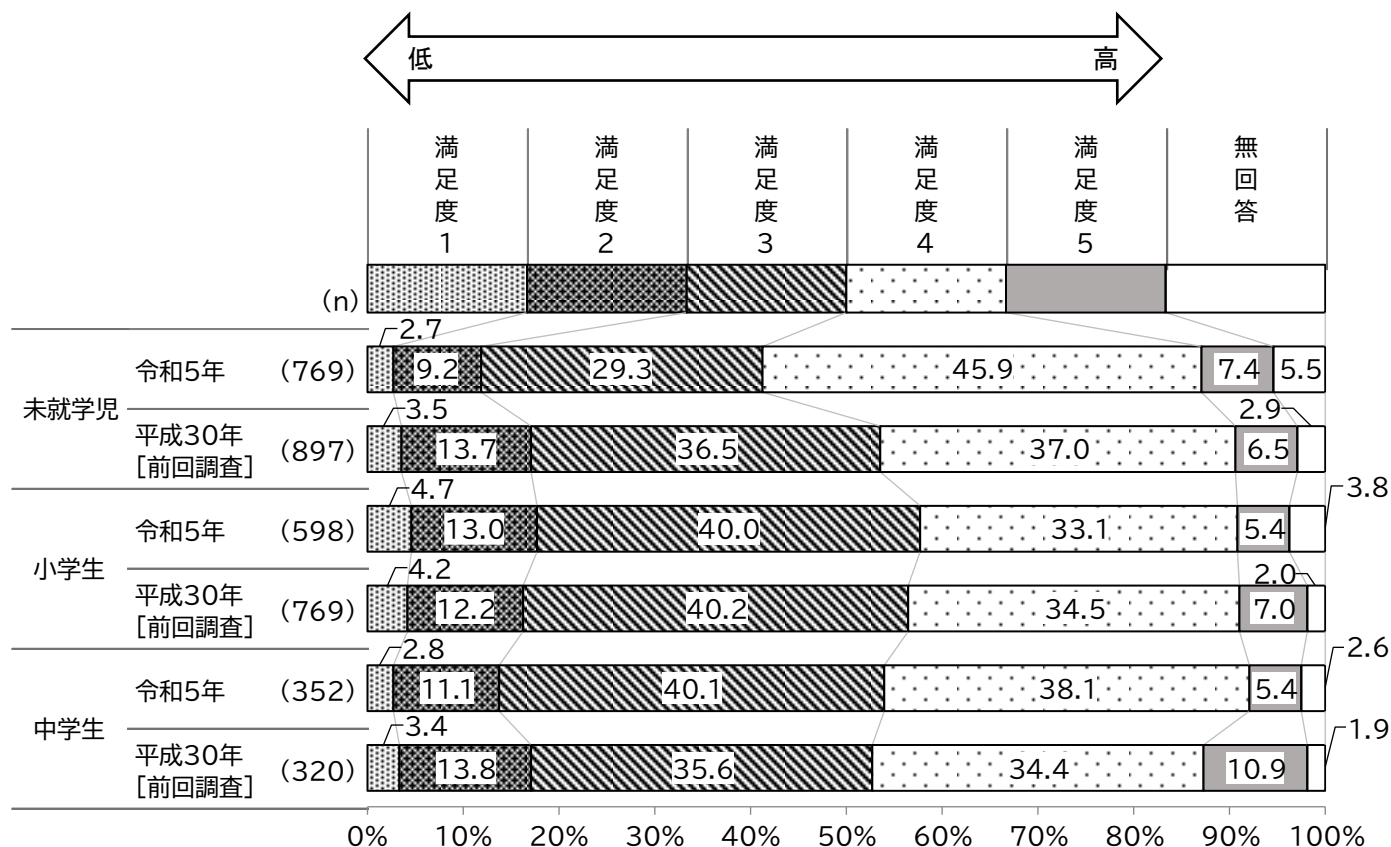
※児童育成手当の児童扶養手当受給保護者(n=4)は回答数が少ないため作図せず。
 子ども宅食の児童扶養手当受給保護者(n=6)は回答数が少ないため作図せず。

23 子育て環境や支援への満足度について

〔未就学児：問47〕〔小学生：問36〕〔中学生：問17〕

区の子育ての環境や支援について、満足度を5段階評価で尋ねたところ、未就学児の保護者、小学生の保護者及び中学生の保護者ともに満足度が高い「満足度4」「満足度5」が満足度の低い「満足度1」「満足度2」の割合を上回っている。

平成30年の調査結果と比較すると、「満足度4」「満足度5」の計は未就学児の保護者で9.8ポイント増加している一方、小学生の保護者で3.0ポイント、中学生の保護者で1.8ポイント減少している。

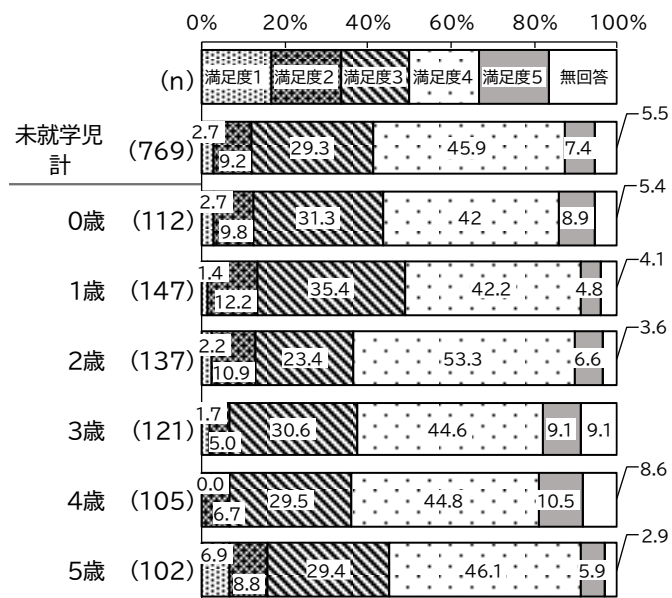


《満足度1と2の合計》		《満足度4と5の合計》	
未就学児	11.9%	未就学児	53.3%
小学生	17.7%	小学生	38.5%
中学生	13.9%	中学生	43.5%

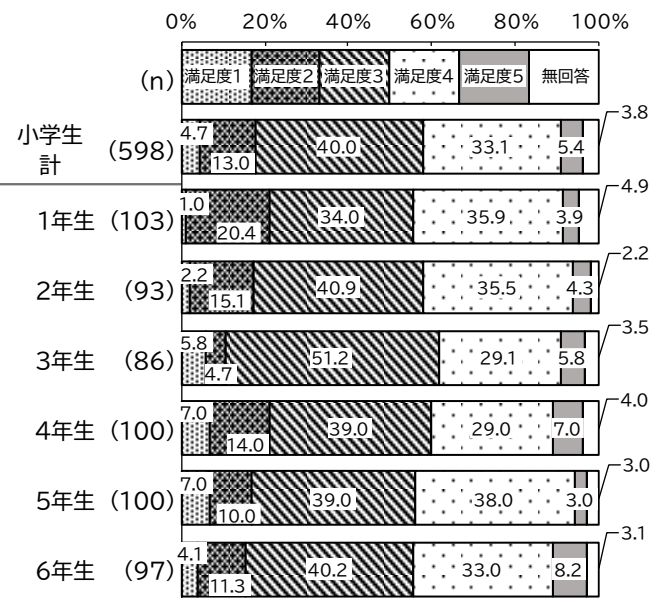
《子育て環境や支援への満足度－年齢／学年別》

子どもの年齢・学年別にみると、満足度が高い「満足度4」「満足度5」の合計が多い年齢・学年は、未就学児の保護者では2歳が59.9%、小学生の保護者では6年生が41.2%、中学生の保護者では2年生が44.6%となっている。

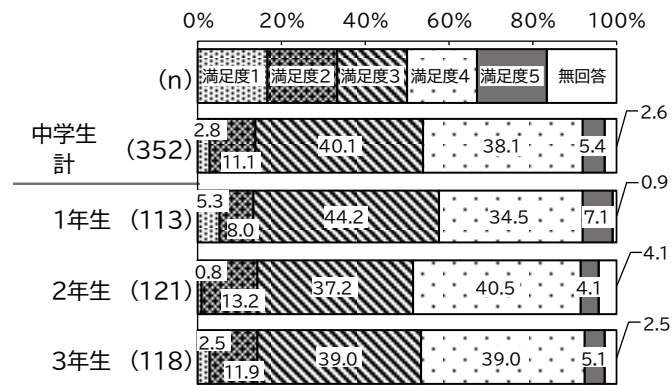
未就学児



小学生



中学生



第3章 自由回答

区の子育て支援に関する意見・要望・提案

(1)未就学児の保護者

〔未就学児：問53〕

未就学児の保護者に対し、区の子育て支援施策に関する意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、372人から665件(延べ件数)の回答があった。その主な内容については、「経済的支援について」(77件)が最も多く、次いで、「一時預かり保育／病児・病後児保育などについて」(72件)、「保育園について」(67件)、「子育て支援全般について」(64件)、「遊び場(公園・児童遊園など)について」(63件)などの順となっている。

項 目	件数
保育園について	67
● 満足(保育園の質が高い／保育士が親切)	4
● 保育料が高い	4
● 保育料の完全無償化	1
● リフレッシュ目的や私用(有休時など)での通園があると良い	1
● 保育園の増設／定員数の増員／待機児童の解消	8
● 保育園でも習い事のようなプログラムを取り入れてほしい	1
● 選考基準／指数・加点基準／優先順位を再検討してほしい(世帯年収／不公平さ・矛盾の解消／家庭事情の配慮／派遣・自営業等への配慮／希望は第3希望迄では不足)	6
● 妊娠中でも継続的に認可保育園に入園できるようにしてほしい	1
● 認証保育園の増設／駅周辺の認可保育園をつくってほしい	1
● 預かり時間を延長してほしい	5
● 土日・休日や年末等も利用できるようにしてほしい	1
● 保育の質を高める対策をしてほしい／園による保育の質の差	3
● 保育士の育成・質の向上(私立・区立での差の解消／待遇改善・増員／補助金を増やす)	4
● 保育園を選ぶのが難しく、区単位以外の方法にして欲しい	1
● 事前に申請しておけば20時まで預けられて夕食提供もしてもらえると良い	1
● 保育園で定員割れしているクラス(3～5歳児)と定員漏れしているクラス(3～5歳児)のアンバランスを解消してほしい	3
● 利用条件の緩和(就労時間以外の利用／欠勤・有休時・休日出勤の振替休日の利用／兄弟姉妹が休んだ時の利用／育休時の利用／育休期間が延びた時の利用)	7
● 年度途中や希望時期に入園できるようにしてほしい	1
● 0歳児から預けられる保育園を増やしてほしい	1
● 地域間の定員状況の差を解消してほしい	1
● 幼稚園との質の差の解消(習いごとの要素を取り入れてる／読み書き／英語／ダンス／スイミングなど)	1
● 保育園のオプションサービスで園内での習い事の実施があるとよい	1
● 兄弟姉妹で同じ保育園に入れるようにしてほしい	1
● 私立保育園に対する金銭面のバックアップを強化してほしい	1
● 建物・設備の改善(園庭の有無／保育スペース)	3
● 保育園の予約制度があると良い	1
● 認可保育園を断られた際に納得行く説明をしてもらえなかった	1
● 保育園の利用料の中にオムツとお尻拭きも含めてほしい	1
● 一時利用を使いやすくしてほしい	1

項 目	件数
● 園庭のない保育園の定員割れ	1
幼稚園について	15
● 満足(公立の幼稚園が充実している/ありがたい/園の職員の対応が良い)	1
● 送迎バスがあると良い	1
● 増設してほしい	1
● 園庭があると良い	1
● 預かり時間を長くしてほしい	1
● 区立幼稚園の給食を増やしてほしい	4
● 補助金やポイントで物ではなく、幼稚園などの費用を無償にしてほしい	1
● 区立幼稚園の預かり保育を就労していない家庭でも利用できるようにしてほしい	1
● 区立幼稚園の預かりを無償化してほしい	1
● 習い事を行ってほしい	1
● 区の幼稚園が働くママにとって理解が深まると嬉しい	1
● 私立幼稚園への補助を充実してほしい	1
ファミリー・サポート・センターについて	2
● 多子家庭にも使えるようにしてほしい	1
● 一時預かり保育やファミリーサポートを充実してほしい	1
その他の定期的教育・保育事業全般について	7
● 未就園児を定期的に預かる保育施設を増やして欲しい	1
● 土日勤務でも働きやすい保育環境を整えて欲しい	1
● 有料で安心して預けられる施設やサービスを増やしてほしい	1
● おうち家事育児サポートを3歳以降も拡充してほしい	1
● おうち家事育児サポート券を子どもの人数に合わせて配布してほしい	1
● 働きながらも利用できる家事サポートを希望する	1
● 希望の日時に対応してもらえるような家事サービスのサポートが欲しい	1
一時預かり保育/病児・病後児保育などについて	72
● 満足(ベビーシッター助成のオンライン化/ベビーシッター助成が利用しやすい/緊急一時保育)	4
● もっとラフな一時預かりシステムがあると良い(当日受け入れ/3時間未満の短時間)	2
● 保育園の緊急一時保育の対象を広げてほしい	1
● ベビーシッターの質を向上してほしい	2
● ベビーシッター助成を多子家庭にも使いやすくしてほしい	4
● 利用料が高い(月や年に数回でも無料にしてほしい)	2
● シッターサービスの申し込み手続きを簡単にしてほしい	1
● 病児・病後児、緊急一時保育の施設数・定員数・利用時間を増やしてほしい	14
● 預かり保育施設を増やしてほしい(気軽に利用できる仕組みの構築)	5
● 一時保育の申請のデジタル化(オンラインで空き状況を確認して当日でも予約申し込みができるようにしてほしい)	4
● キッズルームの利用料を下げしてほしい	2
● キッズルームの曜日・時間の制限を緩和してほしい(利用時間延長/土日・祝日/開始時間の前倒し)	4
● キッズルームの対象範囲を広げてほしい(小学校低～中学年も一時的に預けられる施設が欲しい)	1
● 病児保育の利用制限が厳しい	1

項 目	件数
● 予約手続きを簡素化してほしい	3
● 病児保育(ベビーシッター事業)の助成を申請しやすくしてほしい	1
● ベビーシッターの利用制限の緩和(夜勤者の日中も手助けが必要/サービスの充実/予約を取りやすくする/小学3年まで利用できるよう拡充)	4
● 兄弟で利用できるショートステイがあると良い	1
● ベビーシッターを頼む際の高額な入会金が負担となっている	1
● 区立の一時預かり施設で1歳未満も利用できるようにしてほしい	1
● ベビーシッターが圧倒的に足りていなく、必要な時に来てくれる(マッチする)人がいない	6
● 一時預かり保育の利用制限の緩和(リフレッシュ時保育/10日間以上利用/利用回数制限の拡張/利用枠の増大/土日祝日利用)	5
● リフレッシュ時保育の利用施設が少ない/利用料金が高い	2
● 病児保育で普段の状況を知っている方が近くにいる環境になると良い	1
子育て支援拠点事業など(子育てひろば、ぴよぴよひろば)について	1
● 室内で乳幼児が天候に関わらず遊べ、週末に利用可能な施設があると良い	1
育成室(学童保育)・放課後事業について	23
● 4年生以降の学童保育の延長/朝の預かり事業	5
● 育成室の増設/定員数の拡大(希望者全員が利用できるように/必要な地域への増設)	11
● 小学校の学童の制度を見直して欲しい	1
● 民間の学童にも補助があると良い	3
● 育成室への不正申告を正してほしい	1
● 放課後の過ごし方を充実させて欲しい	1
● 小学生の放課後預かり事業を拡充してほしい	1
放課後全児童向け事業(アクティ)について	1
● 学童(育成室、アクティ)の預り時間を延長してほしい	1
児童館について	8
● 施設が狭い/古い/整備して新設・リニューアルしてほしい	3
● 広いランドマーク的な児童館のような施設があると良い	1
● 日曜も開放してほしい	2
● 隣接する他の区の児童館や子育て広場も利用できると良い	1
● 児童館なのに授乳スペースや幼児用トイレ便座が無く不便だなと感じる	1
その他の区の施設(図書館・交流館・スポーツセンターなど)について	27
● 満足(子ども向けのイベント/職員の方の感じが良い/図書館が多い)	3
● 教育施設の整備を行ってほしい(古い施設が多い)	2
● 図書館を充実してほしい(本の数/自習スペース)	2
● 近隣の区の施設も利用できるようにしてほしい	1
● 夏場のプール開きの期間を変更してほしい(9月も開いてほしい)	1
● 区民プールを利用しやすくしてほしい	1
● 区の水泳教室、キッズスイミングの枠を増やしてほしい	1
● 区営プールで水泳教室をやってほしい	1
● 雨の日に利用できる施設があるとよい(体を使う/色々な体験ができる/日曜日に開かれている)	2
● 市民プールを無料化してほしい	2

項 目	件数
● 区の施設での習い事の枠を増やして欲しい	2
● 遊ぶスペースを増やしてほしい	1
● 生き物とふれあえる施設があると良い	1
● 体操教室やダンス等の教室の利用できる時間帯を広げてほしい	1
● 湯島総合センターの跡地にはこれまでと同じように福祉センターや図書館を入れてほしい	1
● 美術館がほしい	1
● 区運営の屋内遊び場(プレイグラウンド)を作って欲しい	1
● 図書館や地域センターの開放している部屋を自習室として利用できるようにしてほしい	1
● 施設にベビールームのようなものを作って欲しい(お湯や電子レンジ、赤ちゃん用の椅子やトイレの踏み台がほしい)	2
遊び場(公園・児童遊園など)について	63
● 満足(新しい公園)	1
● 公園が狭い／広くてのびのび遊べる公園がほしい(体を動かせる)	7
● 公園でボール遊びができるとよい	7
● 小さい子どもに配慮した公園があると良い(年齢別／遊具や転んでも痛くない柔らかい地面など)	3
● 自転車に乗れる公園があると良い	3
● 公園に遊具が少ない／遊具を増やしてほしい／遊具のある公園を増やしてほしい／鉄棒の設置	13
● 子どもが遊べる場所を増やしてほしい(土日・祝日・雨の日も遊べる屋内施設／無料や低料金で遊べる場所)	9
● 児童遊園が貧弱	1
● 芝生がある公園があると良い	4
● 公園の設備・整備・美化(遊具が古い・汚い・暗い／明るくきれいに／おむつ台・おむつ替えスペースがほしい／トイレ清掃／給水公園のトイレを改修／安心できるバリアフリーで防犯対策／整備／自然豊かななど)	11
● 公園に柵をつけて欲しい(幼児はもちろん知的障害がある子は公園外に出ようとするため)	1
● 休日に乳幼児が屋内で遊べる場所を増やしてほしい	1
● 交通公園があると良い	1
● 六義公園に関しては、使いにくい構造になっていて残念、芝生の解放期間も短い	1
学校について	26
● 満足(給食費の無料化／公園や小学校を新しくする／タブレットの購入助成金)	2
● 区立の小中高校を見学できる機会がほしい	1
● 小学校区を緩和してほしい	1
● タブレットの質を改善してほしい	2
● 配布資料などのデジタル化を推進してほしい	1
● 土日の校庭開放を利用した習い事があると良い	1
● 区立小学校の校舎や校庭が人数に対して十分なのだろうか心配	2
● 先生方の待遇を改善すると良い	1
● 通学班を作って欲しい	1
● 公立小学校の設備を整えてほしい	1
● 教育に予算をかけて欲しい(教室、教員不足／廃校の再利用／学校のスペース確保)	3
● 学校や公園の建て替えの工期が長い／予算をかけて工期圧縮をしてほしい	2
● 文京区内の施設は相互に使い合えるようにして欲しい	1
● 少人数制にしてほしい	1

項 目	件数
● 国立幼稚園や小学校は区民が使いやすくしてほしい	1
● 校庭を開放してほしい(乳幼児向け)	1
● 担任の負担を減らしてほしい(サポートの人員を増やすなど)	1
● いじめ防止条例の内容を周知してほしい	1
● 特別支援学級を全学校に作って欲しい	1
● 区立中高一貫校をつくるなど、受験に追われない教育環境があればいいと思う	1
教育環境全般について	5
● 園の先生方が自由に使うことのできる「教材費」を確保してほしい	1
● 幼少中・障害児教育について先進的にチャレンジして欲しい	1
● 将来の教育費が大変である	2
● 習い事の支援があると良い	1
相談事業／保健サービスセンターなどの講座・イベントなどについて	28
● 満足(離乳食講座／保健サービスセンターでの相談／教育センター／クオリティが高い)	4
● 親がリフレッシュできる場があると良い	1
● 職員の対応に不満(態度が悪い／職員の知識に個人差がある)	3
● 相談を受ける側の質の向上(専門性／区内外の支援に精通している)	1
● 相談窓口を充実してほしい(保育所入所／進路／対応時間の延長)	3
● LINE で個別に相談できる方がいたらよい	1
● 早産児への対応を検討してほしい	1
● 常に同じ保健師や助産師と関われる機会があれば子育ての相談などがしやすいと感じる	1
● 発達相談(保健センター、教育センター)の予約をすぐとれるようにしてほしい	1
● 使える支援の枠組みがない場合は代替案を教えてください	1
● 子どもが参加できるイベントが定期的にあるとよい	2
● 参加しやすく(抽選に落ちない)、参加費も抑えられたイベントがあると良い	1
● 就学相談をしやすくしてほしい	1
● 発達の疑いのある子どもに関して具体的な相談ができる場所がほしい	1
● 障害になっていない場合でもその恐れがあるときに相談できる場があると良い	1
● 子ども向けのオペラコンサートを定期的に開催して欲しい	1
● 相談するために実際にはどうすれば良いのかわからないため気軽に連絡が取れると良い	1
● いじめや虐待で困ったら相談して解決できる事業があると安心	1
● 相談した結果、枠不足や予約困難でサービスを利用できないということがないようにしてほしい	1
● 未就園児対象のイベントがあるとよい	1
医療について	10
● 満足(インフルエンザ予防接種の無料化)	2
● 予防接種／定期健診の支援	1
● 親のインフルエンザ予防接種の無料化	1
● 子どもの医療費・予防接種費用を助成してほしい	1
● 近隣の区での小児科受診も助成の対象にして欲しい	1
● 健診の日程緩和(日時を選択できる)	2
● 小児科を増やしてほしい	2

項 目	件数
生活環境／安心・安全について	39
● 満足(子育てしやすい／生活しやすい／道路の電灯が明るい／治安が良い／落ち着いた雰囲気／防犯意識の高さ)	10
● 希望(子育て世帯が集まる街／住みよい環境)	1
● ベビーカーに配慮したまちづくり	3
● 路上駐輪を無くしてほしい	1
● 道路を整備してほしい(通学路の街灯／歩道／傾斜／段差／道路の凸凹)	6
● 時間貸駐輪場を増やして欲しい	1
● 高齢者の危険な運転が目立つように思う	2
● ビーグルバスの逆回りルートも作ってほしい／バスなどの公共機関の増便	3
● チャイルドシート付自転車に配慮し、各所の自転車置き場の車幅間隔を広げてほしい	1
● 高架下の児童遊園の鳩のフンや夜の雰囲気の悪さが気になる	1
● 子育て世帯に便利なお店を区内に誘致してほしい	1
● 害虫やカラスの駆除を定期的に行ってほしい	1
● 東京ドームでイベント開催日は治安が悪くなるため改善してほしい	1
● 通学路では通学時間帯に通行止めしてほしい	2
● 路上喫煙を無くしてほしい	2
● 子ども連れで外出に対して思いやる啓発活動に力を入れてほしい	1
● 災害時の備蓄について管理を行ってほしい(賞味期限があるもの定期的な入れ替え等)	1
● 後楽幼稚園などを活用してほしい	1
地域・社会環境について	14
● 地域のおじいさんおばあさんと子どもが触れ合える場があるとよい	1
● 地域全体で子どもを大切にすることで将来の日本に繋がっていくと思う	1
● 治安が悪い(すれ違うときに舌打ち／道路での危険な行為)	1
● 満足(不要服交換の企画)	1
● 多子家庭が住みにくい社会環境であると感じる	1
● 家賃を低くして欲しい(子育て世帯が購入しやすい)	4
● 区内レストランにこども椅子やキッズメニューを設置してほしい	1
● 不要服交換の場は、夏と冬に向けて2回開催してほしい／対象に靴も含めほしい	1
● 区の再開発によって新しい住民が流入して活性化する一方、落ち着いた雰囲気や景観を保ってほしい	1
● ボランティアの方等の募集により地域を活性化し、もっとにぎやかな街になったら嬉しい	1
● 子どもが遊べる大きな商業施設があるとよい	1
経済的支援について	77
● 満足(児童手当と子どもの所得制限撤廃／手厚い支援事業／色々な施策の実施／給付金の支給／医療費の無償化／給食費の無償化／第2子からの保育費無償化／ひとり親世帯への補助／インフルエンザワクチンの助成／所得制限者に対する子ども手当施策)	15
● 子育て世帯への住宅支援・住宅補助・家賃補助をしてほしい	12
● 所得制限を撤廃してほしい	14
● ひとり親へのサポートを手厚くしてほしい(補助の制限緩和・撤廃、住民税軽減など)	1
● 認可外の援助額を受けられず、企業主導型でも非課税でなくても援助を受けられるようにしてほしいです。	1
● 援助の幅が収入によって違いすぎるのは不公平	3
● 自転車購入の助成金／自転車の点検やメンテナンスの補助	2

項 目	件数
● 私立に通わせている家庭への支援／私立中学・高校に行く時の学費補助	3
● 未就学病児・病後児のベビーシッター費用を助成してほしい	1
● 家事サポート助成をして欲しい	1
● 出産に対する支援が欲しい(出産費用／高齢出産／個人事業・フリーランスへの出産支援)	5
● 子育て支援は現金給付してほしい	1
● 子育て世帯への経済支援を厚くしてほしい(3歳未満の保育料助成制度／第二子以降の保育料免除／おむつ定期便／フッ素塗布の助成／タクシー利用の助成／コミュニティバスの無料化)	10
● 季節ごとの現金給付、社会保障の減免、子ども向けのクーポン(レジャー券配布や商品券など)があると良い	1
● 幼稚園の預かり保育の補助金上限をあげて欲しい	1
● 文京区ならではの魅力的な経済支援策を考えてほしい	1
● 義務教育後の支援を手厚くしてほしい	1
● 子育て支援策実施のための議論を可能な限り短くし、いち早く実行できる仕組み作り	1
● 妊婦健診の助成を拡充して欲しい	1
● 児童手当は実際に負担のかかる0歳児のときからもらえるようにしてほしい	1
● 会社員である人の為の施策が多く、職業によって受けられるサービスに差が大きいと思う	1
子育て支援全般について	64
● 満足(子育ての環境がよい／色々取り組んでいる／子育て支援が充実している／積極的に取り組んでいる区／子育て支援策が年々良くなっている／育てガイドや保育園のマップなどもわかりやすい／サポートが手厚い／発達障害のある子どもへの支援が手厚い)	19
● 預け先を増やしてほしい(就労していない家庭も利用可能／就労や求職などの条件の廃止)	3
● 保育園の先生が副業でベビーシッターを行う仕組みがあるとよい	1
● エリア別の充実度も考慮してほしい	1
● 他区に比べ子ども手当が少ない	1
● 習い事などへの送迎サポートがあればよい	1
● 母親が人権を侵害されずに生活するための支援がないのが不満	1
● 母子手帳の交付時に電子マネーや電子ギフトカードの選択制にするとよい	1
● 多子家庭への支援を充実させてほしい(保育料無償化だけでなく)	1
● 一時的な給付金よりも、仕事を続けやすくする制度の充実に力を入れてほしい	1
● 小学生向けの弁当屋を導入してほしい	1
● サービスを利用するのに登録や事前予約などの手続きが複雑で手間がかかる	2
● 子どもを預けたいと思った時にすぐに預けられる場所が欲しい	2
● サービスの人員不足を解消してほしい(ファミリー・サポート／ベビーシッター／シルバー人材事業)	1
● 2歳から3歳までの1年間に区から給付金や補助があれば3歳での復職を目指す人も多くなると思う	1
● 性加害者が子ども(乳幼児、小中高ともに)と関わらないようにしてほしい	1
● 子育て支援が充実して、街全体で子どもを育てる雰囲気が作られるといいなと思う	1
● 外国人が対応しやすい環境があるとよい(アンケートも含む)	1
● 個人事業主へのサポートを充実してほしい(産休育休制度が当てはまらない)	1
● 子どもを連れていけるお店や施設をサポートすると良い	1
● 家事代行に対する支援も欲しい／ベビーシッターが手伝う範囲を拡張してほしい(料理／お風呂掃除／買い物)	2
● 子育てに関する予算を増やしてほしい	1
● 児童手当対象外世帯独自給付金はもっと早くから取り組んで欲しかった	1

項 目	件数
● 子どもが登園拒否した場合の施策を検討してほしい	1
● 支援が多岐にわたりわかりにくく、申請も多いため手間がかかる	1
● 慣らし保育を入園前のタイミングでもできるようにしてほしい(各家庭の事情に合わせて柔軟に対応できるように)	1
● 無償化について一度取めてから給付するのではなく支払いが発生しないようにしてほしい	1
● 本当に貧困状態にあるご家庭を見つけ出して、適切な支援をすることのできるシステムがあれば良い	1
● 子がいない住民も一緒に育てるという意識を持ってもらえるようにしてほしい	1
● 収入や納税の額だけで無く子どもの人数、年齢を加味して欲しい	1
● 保育士、幼稚園教諭、学校教諭の待遇改善に目を向けてほしい	1
● 母親に加えて誰でも参加できる子育て支援や子育てサービスがあると利用しやすいかと思う	1
● 早生まれの場合、4月入園応募すらできず、応募できる月齢になるころには希望する園は埋まってしまう	1
● 今後への期待・激励	2
● 離婚協議中やひとり親の方によりたくさんの支援があったらよい(児童手当が取得者の方へ振り込みされてしまう等不利になるケースが感じられる)	1
● 遠距離通勤の場合に保育料が高く算定されることを是正してほしい(新幹線定期が所得扱いとなる)	1
● 教育環境や豊かな緑がある遊べる公園など、基本的なインフラを維持してほしい	1
● シビックセンターなどでの出張利用登録会により育児関連施設の利用登録ができると良い	1
● 介護と育児のダブルケアを行っている人への支援があるとよい	1
● 母子家庭、父子家庭の子どもとが誰かと密に過ごせる環境をつくるのが望ましいため、ベビーシッターが最も良いと思う	1
療育について	11
● 満足(教育センター)	1
● 支援級越境を無くしてほしい(人権確保)	1
● 区内に都立の特別支援学校があると良い	1
● 放課後等デイサービスに託児タイプの施設がほしい	1
● 放課後等デイサービスに送迎をつけてほしい	3
● 福祉避難所を対象者別(障害児、医療的ケア児、高齢者など)にしてほしい	1
● 療育関係の支援の質をさらに向上させてほしい/療育機関を充実してほしい(希望者全員が待機期間なしに通所できる)	2
● 発達が気になる子の日を作り、親が同じ悩みを抱えている仲間を見つけやすいようにしてほしい	1
育児休業について	1
● 育休中に第二子を授かった場合に、産前産後期間に限定せず上の子を認可保育に預けられるようにしてほしい	1
産後ケアについて	6
● 満足(出産子育て応援事業/赤ちゃんファースト/文京区子育て応援メール)	2
● 母乳外来や産後ケア施設を充実してほしい	1
● 産後すぐのショートステイで予約がとれるようにしてほしい	1
● 宿泊型ショートステイ事業では産後1年間はいつでも赤ちゃんをみてもらえ、母親も休める施設が増えると良い	1
● 産後ケア入院はもっと安価に利用できるようにしてほしい	1
多子多産について	4
● 多胎児に対する支援が多子家庭(特に未就学児が複数いる)にもあるとよい	1
● 多子家庭への補助金を増やしてほしい/3人目の支援を手厚くして欲しい	3

項 目	件数
交流の場・情報の発信・共有について	24
● 幼稚園の情報が少ない	1
● 区のホームページが見づらい(必要な情報を収集することが困難/情報の出し方やホームページの階層の見直し)	2
● 親同士の交流が出来る環境作りを促進してほしい/在宅でできる仕事を共有できる場所が欲しい	4
● 情報提供してほしい(メールや SNS などのツール/わかりやすい発信/一時保育やリフレッシュ保育などのサービス/まとまった情報/施設・事業の紹介/安心して過ごせる場/進学や学びに関する情報)	14
● 予防接種が受けられる病院がわかるサイトを作ってほしい	1
● サイズアウトした子ども服や靴、使わなくなったおもちゃや本など気軽にやりとりできる場がほしい	1
● 年齢に合わせた定期的な案内があるとよい	1
今回の調査について	42
● 満足(声を聞いてもらえる/効果的な施策を検討しようという思いが伝わる)	5
● アンケートの項目が多い(項目を絞るべき/分かりづらい/回答数を少なくする工夫/画面が見づらい/回答方法の統一性がない/設問と回答選択肢の内容があっていない)	19
● このアンケートで知ったサポートがあり良かった	1
● 要望、提案に関して全ての意見を開示し、それぞれに対するコメントをのぞむ	1
● 結果をどこまで検討して貰えるかわからない/結果をどう受け止め、どのようなスケジュールで施策に反映していくのか示して欲しい	1
● アンケートの設問内容からはどれだけ改善する気があるのか疑問	1
● 何を聞かれているのか不明瞭で適切な結果が収集できるか心配/集計結果の公表を望む	5
● 子育ての中で困ることとはこのようなざっくりとした項目では表現しきれない	1
● アンケートよりも直接区の方や議員の方とお話する機会をもっと設けてほしい	1
● 「当該者+兄一人」という選択肢がなかったので是正をお願いしたい	1
● 操作しづらいので UI/UX 改善を検討ください	1
● アンケートの設計が悪い	1
● 兄弟がいる家庭にそれぞれ封筒で郵送することがもったいない	1
● 回答率を上げるために、報酬をつけるか、一回 10 分程度で回答できるようにした方がよい	1
● 会社員である人の為の設問が多い	1
● 女性蔑視を感じる	1
その他(行政等)	14
● 高齢者にバラ撒くことしか頭にない国に対して、制度を是正するよう強く要請してほしい	1
● 保育課は仕組みやリリースを把握されていない方が多く、他の区に比べて意識が低い	1
● あらゆる機関に同じ情報の記入(紙に)を求められることが負担である	3
● より簡素な手続きにしてほしい	3
● 賃金を上げる	1
● 税金の軽減	3
● 保育園や小学校のキャパシティについて区で予想や改善策の提案がされているか心配	1
● マンションを作り子育て世帯が増えすぎているため、区全体の住宅総量を定めるなどしてバランスを取らなければ住民の生活の質や満足度が下がる一方である	1
その他	14
● 特になし	5
● 満足	4
● その他	5

(2)小学生の保護者

〔小学生：問42〕

小学生の保護者に対し、区の子育て支援施策に関する意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、308人から557件(延べ件数)の回答があった。その主な内容については、「経済的支援について」(87件)が最も多く、次いで、「学校について」(67件)、「遊び場(公園・児童遊園など)について」(60件)、「子育て支援全般について」(56件)などの順となっている。

項 目	件数
育成室(学童保育)について	47
● 満足(先生方がとても良い/安心して預けられる環境)	3
● 育成室の増設(育成室不足問題/育成室の人数増)	6
● 職員の皆さんへの待遇改善	2
● 施設の充実(施設面が厳しい/Wi-Fiの導入/育成室の先生たちが使っているパソコンやプリンターが古くて作業効率が悪い)	3
● 高学年の育成室の整備(6年生まで利用できるようにしてほしい/民間の学童は料金が安い/月額制でもいいから通えるシステムがあるとよい/都型学童クラブの利用充実)	10
● 育成室の時間拡充(長く見て欲しい/~20時まで延長してほしい/休み中の開室-閉室時間の拡充/保育園と同じ時間帯でみてほしい)	9
● 利用者への利用条件の緩和(入室点数基準の見直し/入学直後の利用条件の緩和/出産後の預かり利用条件の緩和/育児休暇中での利用について(認可保育園のような利用体系)/就労証明等の勤務時間)	6
● 長期休み中の食事(給食提供/友達と食事できる機会を希望)	2
● 利用料が高額	2
● 育成室新設の際の設備について(運動ができるスペース(広い部屋、庭、広いテラス、屋上等)を十分確保してほしい)	1
● 育成室や、児童館の延長で夕方以降の預かりを含めた子ども食堂が充実してほしい	1
● インフルエンザ後の提出書類(学校と育成室に提出する書類の柔軟な対応)	1
● 高学年での学童利用希望等は、子どもの成長具合がわからず、現時点で答えることが難しい	1
放課後全児童向け事業(アクティ)について	8
● 満足(先生方がよく助かる)	1
● アクティの時間拡充(朝夕の時間延長/長期休暇の開室時間を早めてほしい)	2
● 利用者への利用条件の緩和(国立の小学校の利用可/一度帰宅したときの再度の利用)	2
● 内容の充実(イベントやあそびの充実/学習時間や昼食、おやつ時間ほど/お弁当が頼めるようにしてほしい)	3
児童館について	6
● 施設の充実(老朽化対策/遊びやすい環境(スペースの確保))	3
● 利用時間の拡充(土日朝から夕方まで)	1
● 児童館の利用方法について(事前登録必要、利用したいときに利用できない)	1
● 児童館まで遠く気軽に利用できない	1
スポーツ施設・スポーツ事業について	12
● スポーツ施設がほしい・スポーツできる場所を作ってほしい(グラウンド開放や、テニスコート開放など/近くにスポーツ施設がほしい/ボールを思いっきり使える広場がほしい/子ども用のバスケットボールコート)	5
● 区の運動に関する習い事の枠、もしくはバリエーションをもっと増やしてほしい	1
● スポーツ関係の習い事ができるジムや施設をもっと幅広くほしい	1
● 利用時間の充実(ボールが利用できる無料の場所を朝6時から開けて欲しい/遅い時間まで照明のもとでの運動)	2
● 施設場所の地域間格差の解消	1
● バットはダメなど、禁止事項が多い	1
● 情報発信(近隣の区でやってるものを含め情報を知りたい(スポーツ関係の習い事ができるジムや施設))	1

項 目	件数
その他の施設(図書館・地域センターなど)／イベント・教室全般について	32
● 満足(図書館や各種サービスが充実している／利用しやすい／運動や化学系のイベントが充実している／教育センターで行っている実験教室がよい／無料(または材料費のみ)で体験できるイベントが良い)	4
● 施設の充実(老朽化対策／施設の増設)	2
● 図書館を充実してほしい(本の充実／読書スペース、自習スペースの整備／子どもたちだけで利用できる安心安全な勉強スペース)	5
● イベントの充実(子どもたちが楽しめる気軽なイベント／子どもと地域をつなぐイベント／自己肯定感を高められるイベント)	4
● 文京区の大規模な施設の開放(東京ドーム、遊園地、植物園など様々な施設を、文京区に住んでいる子ども達全員を無料で使うなど)	1
● 情報提供してほしい(子どもが参加できるイベント情報が見つげづらい)	2
● 中学生の居場所が少ないので、友達と遊べる場所やイベントがほしい	1
● 開催するイベントの利用枠を広げてほしい／開催日や募集人数をもう少し増やしてほしい／休日利用	7
● アウトドアができる場所が近くにほしい	1
● 小学生向けイベント、卓球の無料開放をしてほしい	1
● 託児付きヨガ教室、未就園児向けのイベントがほしい	1
● 気軽に入れる地域のスポーツチームを増やして欲しい	1
● お金の無駄なバラマキをするのではなく、施設の拡充をしてほしい	1
● 区内施設場所の地域間格差の解消	1
その他の放課後事業・子どもの居場所全般について	13
● 満足(中高生が使える b-lab が良い)	1
● 高学年が放課後を過ごせる場所がほしい／高学年の子どもたちの居場所がほしい／民間学童と区の連携でもよい	7
● 長期休暇中の高学年の居場所(居場所がほしい／自習できるスペースがほしい)	2
● 学校や空いている施設を開放して欲しい	1
● 障害児の中学生の育成室(放課後の居場所)を拡充してほしい	1
● 小学校の避難訓練で集団下校する日は、下校させず、アフタースクールで過ごさせてほしい(持参した弁当をアフタースクールで食べさせてほしい)	1
遊び場(公園・児童遊園など)について	60
● 満足(安心感のある環境)	1
● 公園を増やしてほしい／植物があり安心して遊べる広い公園を作してほしい	2
● 子どもが遊べる場所がほしい／広くてボール遊びができる位の大きな遊び場がほしい／子どもがのびのびと思いきり遊べる公園がほしい)	36
● 公園の遊具の充実(鉄棒(特に幼児用)／遊具に自由度が少ない／遊具が魅力的でない)	4
● 木登りやアスレチック、バスケット、一輪車ができるスペースなどの遊び場がほしい	2
● 小学校高学年以降の大きい子ども達があそべる公園がほしい	2
● 公園の美化・整備・設備の充実(トイレを整備してほしい)	2
● 公園の水道が、片手ずつしか利用できず水勢も強すぎて使いづらい	1
● 体育館を小学生に開放してほしい(子どもが安心して遊べる場所)	1
● 子どもの遊び場に対して規制が多すぎる(球技禁止等)	5
● 六義園をもっと無料で開放してほしい	1
● 子どものイベントができるような広い公園がほしい(千駄木地区方面)	1
● 気軽に集まり身体を動かせる場があればよい(室内で公園のような遊具があるなど)	2

項 目	件数
学校について	67
● 満足(PTAの運動部運営、充実したイベント/さまざまな企画や活動に感動/区の教育や支援)	3
● 小学校の児童数増加による問題点(教室不足/学校の敷地足りてない/週2回ほどしか外遊びが出来ない/学区を見直すべき)	9
● 教職員の充実(中～高学年は専科の教員を増員と特別支援担当教員の増員/教員の質の向上/十分な教職員の配置)	9
● 先生の業務の補助職員の増員(補助をする人数を増やしてほしい/学級崩壊に備えて見守り支援員の増員をしてほしい)	4
● 質の良い中高一貫校を作って欲しい	1
● 私立高校無償化	1
● 情報発信(子どもが関わる情報が一括で知りたい)	1
● 配布される紙の印刷の削減	1
● 小・中学校の校庭や体育館を開放してほしい(既存の場所を有効活用してほしい)	10
● 図書館の充実(利用時間緩和)	2
● 小学校のプールを温水プールにして地域に開放してほしい	1
● もう少し軽いタブレット端末に変更してほしい	1
● 学習能力の向上を目的とした補助授業を学校内で行なってほしい(放課後)	2
● 小学校低学年はチームティーチングにしてほしい	1
● 小学校の教育を世の中にあわせて変えてほしい、実験、運動などの機会を増やしてほしい	1
● 小学校の教育を子どものレベルに合わせてほしい	1
● 情報提供してほしい(小学校の校庭開放・土日の校庭開放/使用方法、開放日、開放場所など)	3
● 不登校児のための学習支援の充実(不登校や行き渋りの子など、教室に入れない子が気軽に登校できるリラックスできる部屋を各校に作ってほしい/学校生活や勉強に支障がある子へのサポート)	3
● 給食の予算を拡充し(栄養満点のクオリティの高い給食/費用の一部を保護者に負担)	2
● 子どものいじめ対策の強化と柔軟な対応	1
● 部活動の仕組(先生に頼る部活ではなく区として部活動を行う仕組みを作してほしい)	1
● 区立中学校の魅力向上(区立中の魅力を高める施策/行事を増やす/学校間格差の解消)	3
● PTA業務の負担軽減(PTAの活動方法に関しては区から対応してほしい)	1
● 小学生のうちからお金に対する知識をつける授業を組み込んで欲しい	1
● 小学校の建替工事が長い、1日も早く校庭が使える学校にしてほしい	4
教育環境全般について	7
● 学習に関する相談や補習の充実(補習ができる環境がほしい)	1
● 寺子屋みたいな簡易塾・価格の安い簡易塾がほしい	1
● 公教育を充実(公立中学の魅力を高めてほしい)	2
● 財源があるなら教育そのものに振り分けてほしい	1
● 学校、先生、親、子どもなど、全方位的な初等教育環境の整備をしてほしい	1
● 高校受験の指導に力を入れてほしい	1
医療について	4
● 医療費の控除を高校生も対象にしてほしい	1
● 緊急で使える医療機関や休日診療、診察してくれる病院がほしい	1
● 小児科が少ない	1
● 予防接種の定期接種などは近隣の区の医療機関も対象にほしい	1

項 目	件数
生活環境／安心・安全について	29
● 満足(近隣住民の方の優しい声がけ／治安もよく環境面ではとても子育てしやすい／礪川小学校は学校最寄りの横断歩道(信号無し)は毎日雨の日も必ずボランティアの方が見守りしてくださっていて、とてもありがたい)	4
● 子どものせ自転車駐輪場の拡充／駐輪場が少ない	2
● 道路整備・交通規制(歩道の幅が十分でない／自転車の通行帯広くしてほしい／路駐が多い／自転車の危険な走行)	3
● 子どもが安全に通学や行き来できるまちづくりを徹底してほしい(街灯の設置／歩道の整備／警察による速度違反の取り締まり／不審者の見回り／道路整備／防犯カメラの設置／登下校時の見守り／子ども用の見守り携帯やGPSを支給)	10
● シルバーさんによる登下校の子ども達の見守り、公園の清掃などボランティアを募って実施していただきたい／朝の登校の見守りを、PTA や保護者だけに負担させるのではなく、時間に少し余裕のある地域のボランティアの方をお願いできればよい	1
● ビーグルを双方向利用できるようにしてほしい	1
● 通学途中の電線に止まっている鳩のフン対策(ハト対策)	1
● 路上喫煙が多い、取り締まりや対策	2
● 交通事故が1番心配、具体的な提案は思い付きませんが、対策があると嬉しい	1
● 地域や国で子どもを育てやすい環境と雰囲気を作るべき、啓発ポスターを貼ったり、チラシを配ったり出来ることは色々ある	1
● 区内の地域によって新設される住居施設数に差があったり、既存の住宅はリノベーションなどされていても施設自体の老朽化が気になる	1
● 子ども服を販売している場所が少ない	1
● フードバンクは図書館等でのお渡しを可能にほしい	1
地域・社会環境について	6
● 満足	1
● ショッピング施設が少ない(ベビーグッズ/子ども服)	1
● 地域会などのお祭りで、住んでる所やマンションで参加できる子とできない子がいないようにしてほしい	1
● 子どもに寛容な街になるように意識面からのアプローチを増やしてほしい	1
● 子ども用品、家具、自転車などのリサイクルを進めてほしい	1
● 地域社会との触れ合いが少ない	1
経済的支援について	87
● 満足(給食費の無償化／現金給付／児童手当対象外世帯への独自給付／児童手当の拡充／実態に即した支援／15歳までの医療費無料の制度／児童手当対象外世帯の給付)	11
● 金銭・経済的支援をしてほしい(塾代・習い事費用／金銭的な補助が足りない／小中学校の教材費補助など子どもに係る費用の減免施策がほしい／児童手当の増額／子育ての手当の拡充)	11
● 中学校、高校、大学の教育費に対する支援があると良い	3
● 民間預り業者利用時の利用料金補助などがほしい	5
● 子どもが多い家庭への補助を増やしてほしい／子育て支援助成金の対象の規定で、年齢制限なしの扶養の第3子までが対象にしてほしい／多子世帯は経済的支援を受けるべきだと思う	4
● 育成室の費用を補助してほしい	1
● 病児以外にもベビーシッター利用料の補助がほしい	1
● 住居関連費用の支援をしてほしい(家賃補助)	8
● 家事サポートなどの制度で使えるものがあると嬉しい	1
● 平等な手当で・経済的支援をしてほしい(所得制限をなくしてほしい／一律の金銭的援助が平等／民間学童利用料の補助／タクシー券の補助／障害のある子どもに対する区の手当／障害の実態に支援がそぐわない／全家庭に経済支援をすべき)	29
● 所得制限をかける必要性は分かりますが、扶養する子どもの人数や介護が必要な人数を考慮してほしい	1
● ひとり親家庭施策の拡充	1

項 目	件数
● 子育て世帯の税負担を軽くする政策をして欲しい	1
● クーポン等ではなく現金給付が良い	1
● 子どもの私立の学費など、一定の教育費には所得減税があってもよい	1
● ママチャリなど子育てに必要なものに対する補助金がほしい	1
● 現金給付は手間も費用もかかるので、減税対応にしてほしい	1
● おうち家事・育児サポート事業の使用回数を増やしてほしい	1
● 現金や商品券の配布ではなく、システムとしての子育て支援をお願いしたい、税金を集めてまた戻すのではなく、循環させたシステムの構築をお願いします	1
● 子育て支援の給付金の申請は母親からも出来るようにしてほしい	2
● 給食費無償化等の助成相当分を公立以外の児童に対しても助成してもらいたい	1
● 少子化を改善する最善の方法は経済支援一点のみです	1
定期的利用の教育・保育事業(保育園・幼稚園など)について	8
● 満足(安心してお任せできた)	1
● 保育園の増設	1
● 平日休み土日勤務の家庭でも仕事と両立したい(日曜保育がない)	1
● 保育園の利用条件の緩和(延長保育の時間がもう少し長く、20 時くらいまでなら安心できる/ルールの見直しをお願いします)	2
● 文京区で、就労していない方の子どもが「こども誰でも通園制度」で保育園に通園できるようになったと拝見した、月1回くらい、親が休みの時に子どもを保育園に預けられるようにしてほしい	1
● 都市型保育など2年までは送迎オブありますが3年からはなしなど、もう少し構って欲しいところがある	1
● 保育士の環境改善・待遇改善	1
一時預かり保育/病児・病後児保育などについて	13
● 満足(臨時保育園を利用しています、大変助かっています)	1
● 未就学児はもっと気軽に一時預かりを受け入れてほしい	1
● 緊急時に何かしら利用できるサービスがほしい(緊急一時保育もファミリーサポートも前日予約が必要の為)	3
● 病児保育・トワイライトの拡充(数が少ない)	2
● ショートステイ事業を使いやすくしてほしい(手続きが面倒/枠がいっぱい)	2
● 一時保育事業(キッズルーム)の利用料金が高い	1
● 土曜、日曜、仕事がある時に、リーズナブルに小さい子どもを預かってくれるところがほしい	1
● 一時預かり保育の環境を整備してほしい	1
● ファミリーサポートでは、条件の合う方が見つからないことがある	1
子育て支援拠点・相談事業などについて	22
● 満足(区独自の児童手当/母親学級、産後のケアでの保険サービスセンターの方々の対応)	3
● 職場も地域も助け合いながら社会全体で子どもたちと一緒に育てていくことを望む	1
● 相談先がわからない(仕事のこと/学童の申し込み/孤立して子育てしてる)	2
● オンラインで相談できると良い	1
● スタッフ・職員の充実(教育センターの相談員の質の向上)	4
● 不登校の子の進路や学習面やメンタル面などのサポートを土曜日でも可能なように充実させてほしい/平日夜間や週末の相談先ほしい	2
● 信頼できる民間ケースワーカーがほしい	1
● 気軽に相談できる場所を増やしてほしい	3
● 教育センター、子育て支援センターのアセスメントに時間がかかる/教育センターが多忙すぎる	2
● 障害の有無についての相談先がほしい	1

項 目	件数
● 予約や手続きをやりやすくしてほしい	1
● フレグランスフリーポリシーを子育てに関わる職員に徹底してほしい	1
子育て支援全般について	56
● 満足(子ども食堂/情報発信の充実/支援施策の充実/支援体制が多い/支援がしっかりできている/子育て施策/配慮/充実したサービス/医療支援や学校教育、その他の支援等の充実/安心感信、頼感がある)	17
● 親のケア(親の休憩場所/親に対する精神的なサポート)	3
● 専業主婦に対する支援がほしい	2
● 男性の育休を義務化してほしい	1
● 区外の小学校に通っている場合は文京区の支援について知る機会が少なく、行事にも参加しづらい	1
● ファミリーサポートのサポーターを増やして欲しい	1
● 親が具合の悪い時に使えるような家事サポートのサービス券があったらよい	1
● 子育ての支援が少ない過ぎる/より充実してほしい	3
● 中高生向けの支援も充実させてほしい	1
● 多子世帯への支援を検討してほしい/多子世帯への支援も多胎児向けと同様にしてほしい	2
● ベビーシッター利用助成をより利用しやすくしてほしい(実態にそぐわない部分がある/複数名のシッターを探す必要がある)ベビーシッター1人につき子ども1人の要件が実態にそぐわない部分がある	3
● 次世代の人たちも子どもをたくさん産み育てたいとおもえる政策をお願いしたい	1
● デジタル化の推進(学校用品の購入/担任との面談/お知らせなどをスマホに自動配信/オンライン上での手続き/予定表やスケジュール関連)	3
● 将来を見据えた支援をしてほしい(留学の支援など)	1
● 家事サポート事業の対象の拡大(小中学生の家庭)	1
● 男性に対して育児・家事への啓発(アンコンシャス・バイアスに関する啓発セミナーの開催/男性の家事スキルアップのための講座)	1
● 働き方の多様化に対応した支援	1
● 子どもを預けなくても家族と一緒に過ごせるための補助がほしい	1
● 制度を利用できるようにしてほしい(保育園や育成室は就労している証明書が必要である一方、子どもを預けられる保証がなければ就職が難しい)	1
● 高齢の祖父母が育児を負担している家族向けの支援がほしい	1
● 習い事などへの送り迎えのサービスの充実	1
● 共働き世帯や育児中世帯の税率軽減	1
● 高校生以上の子どもを持つ世帯に対する経済的支援がほしい	1
● 子育て層を惹きつける具体的な政策を打ち出してほしい	1
● 健やかに人格を形成できる機会が享受でき、個々の事情に合わせた教育を行える政策を検討してほしい	1
● 未就園児や経済的に困難な方々への支援(精神面も含む)を充実させてほしい	1
● 税金は教育などへ使うことが社会全体の利益へ繋がると思う	1
● 子どもの発達段階に応じた心の成長を経験できる支援策があると良い	1
● 子育て中の不安を和らげられる環境作りは大切だと思う	1
● 他区に比べると京区の子育て支援は魅力が全くない	1
子ども食堂について	2
● 公設のこども食堂のような機関がほしい	1
● 子ども食堂を拡大してほしい(メニューなど)	1

項 目	件数
療育について	8
● 障害児支援を拡大してほしい(兄弟への支援含む)	2
● 障害児への支援を来期の計画でも継続してほしい	1
● 全ての小中学校に特別支援学級を設置してほしい	1
● 療育施設や発達に不安があるお子さん向けの施設を増やしてほしい	3
● 肢体不自由の障害がある子どもが過ごせる放課後等デイサービスを増やしてほしい	1
交流の場・情報の発信・共有について	18
● 病院や専門機関の紹介をしてほしい	1
● 親同士が情報交換する場が欲しい(特に不登校児を持つ親)	1
● 子育て支援専用の冊子を毎月出してほしい(気分転換、情報収集のため)	1
● 子育てに関する全ての情報がわかるアプリ、SNS やサイトがあると良い	1
● 自転車に乗る練習場所を周知してほしい	1
● 支援施策についてもっと情報発信してほしい	2
● 子ども食堂がいつでもどこで開催されているか教えてほしい	2
● ホームページを見やすくしてほしい(重要度の高いものはアイコンを大きくしてページ上部にまとめて表示するなど)	1
● 対面で気軽に情報交換ができる場がほしい	1
● ターゲットに合わせた区の広報活動してほしい	1
● 区報以外の情報発信の方法があるとよい	1
● 交流の場がほしい(親の交流の場として子連れでできる就労支援/少世間話ができる場/子育てネットワーク)	3
● 情報の集約	1
● 子どもに関する地域のボランティア活動などあれば知りたい	1
今回の調査について	18
● 満足(施設やサービスを知れた)	3
● 不満(長い/質問数が多い/分かりにくい/質問の意図がわからない/ターゲットが絞られていない/重複する項目が多い)	12
● 解答を催促するハガキ	1
● 今回のアンケート結果集計はどこに掲載されるのか、しっかりと対策をしてくれるのでしょうか	1
● 子どもの年齢や、第1子か第2子以降かによって状況は全く変わると思う	1
その他(行政等)	17
● 満足(第三子の保育料無料/待機児童実質ゼロ/公教育の充実/教育センターの療育/学びの教室/公園が充実しており清潔/区独自の子育て支援/放課後の学習支援)	1
● 育成室や保育園利用については要件を厳しくしてほしい(本当に就労しているか疑わしい人もいるため)	1
● 女性が仕事を続けたまま配偶者からの暴力から身を守る施設を作って欲しい	1
● 納税額に応じて再分配してほしい	3
● 本当に支援が必要なところへ適切に税金が使われているのか疑問	1
● 子育て世帯の税金の負担を軽くしてほしい	3
● 区の施策は高齢者支援を優先していると感じる	1
● 登録や申請を効率化してほしい	1
● デジタル化、資源削減の推進(郵送物はまとめる)	2
● 特定の小学校に投資が偏っている	1
● 区から子どもたちへの直接のプレゼントがあれば区をもっと身近に感じられる	1

項 目	件数
● 郵送物の印字間違いの件はしっかりと報告してほしい	1
その他	17
● 特になし	8
● 満足	4
● その他	5

(3)中学生の保護者

〔中学生保護者：問 24〕

中学生の保護者に対し、区の子育て支援施策に関する意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、160 人から 197 件(延べ件数)の回答があった。その主な内容については、「経済的支援について」(60 件)が最も多く、次いで、「その他の施設(図書館等)/イベント等について」(20 件)、「学校について」(19 件)、「子育て支援全般について」(18 件)などの順となっている。

項 目	件 数
育成室(学童保育)について	1
● 学童保育を 3 年から 6 年まで延長してほしい	1
スポーツ施設・事業について	5
● スポーツができる施設/バスケット場や公園を整備してほしい	2
● 運動施設を開放してほしい	2
● プール等の料金が他区と比べて高い	1
その他の施設(図書館等)/イベント等について	20
● 満足(b-lab はとても良い)	2
● 図書館の増設	2
● 図書館の設備の充実(自習室を増やしてほしい/勉強ができるスペースがほしい/明るい個室スペースがほしい/新しい本を入れてほしい/利用時間を延長してほしい)	7
● 大学、研究機関の図書館を一般利用できるようにしてほしい	1
● 学校以外で静かに勉強できる場所がほしい	1
● 教育以外の居場所をもっと増やしてほしい	1
● 区の施設や提供サービスの改善	1
● b-lab 内にあるラボの数をもっと増やしてほしい	1
● ハケ岳の施設の情報(予約、活用、キャンセル等)を活用できるようにしてほしい	1
● ビーラボ(文京区青少年プラザ)や(文京区)教育センターが遠い	1
● 子どもが無料の観劇(東京都がやっている)を、文京区独自でもしてほしい	1
● 私立の子どもでも利用できる施設やイベントなどの情報を発信してほしい	1
子どもの居場所・遊び場について	14
● 公園の設備・整備・美化(遊具のある公園/木々の緑のある公園)	2
● 子どもが自由に遊べる公園が少ない(ボール(野球やサッカーやバスケ)で遊べない/遊具(スケートボード等)/球技が許可されている公園を増やしてほしい)	6
● 中学生の居場所/遊び場がない(中学生が放課後や休日利用できる場所が少ない/雨や暑い日に室内に集まる場所がない/ボール等を使用して遊べる場所がない友達とゆったりと過ごせるスペースが欲しい)	5
● 空き地や空き住宅の再利用(子どもたちや親子が利用できる公園や施設にしてほしい)	1
学校について	19
● 学区/区域について(区内小・中学校統廃合/学区選択制の廃止/少人数学級の実現/学校間格差の解消)	4
● 中学校に別室登校できる教室と教員を設置・配置して欲しい	1
● 不登校児に対応してほしい	1
● 教員の量と質の向上(専門性の充実/教員への教育)	2
● ハイレベルな教育を受けるチャンスの公平性について、改善を希望する	1
● 自習室がほしい(テスト前の期間だけでなく、放課後利用)	2
● 小学校の新設をしてほしい	1
● 小学校の遠足(低学年、中学年)をもう少し楽しめる場所にしてほしい	1

項 目	件 数
● 成績の5の付け方を変えてほしい	1
● 中学校の授業の時間を増やしてほしい	1
● 中学校等の校庭を一般に開放してほしい	1
● 小学校の週末の校庭開放の情報をホームページで公開してほしい	2
● 全ての区立校に正規雇用の図書館司書を配置し、子どもが本に親しめる環境を作してほしい	1
生活環境・安心・安全	9
● 満足(給食費無償/安全な地域)	2
● 公園のトイレ設備の充実	1
● 子どものせ自転車駐輪場の拡充	1
● 道路整備・交通規制(自転車道路の幅が狭い/路駐が多い)	1
● 人口増加に伴う、交通動線を仕切り直してほしい	1
● 住居環境の改善(子育て世帯向けの住宅が増えてほしい/住宅の間取りについて)	2
● 都心でないと特に母親の仕事と家庭の両立が困難である	1
地域・社会環境	3
● 満足(子育てしやすい恵まれた環境/おおむね満足した生活)	2
● 子どもが安心して過ごせるまちづくりをしてほしい	1
教育環境全般について	12
● 通塾していない子どもへの利用可能な学習支援などがほしい	1
● 不登校や学校に行かない選択をしている子に対して、自由な学びが選択出来るよう、教育委員会内や公立学校内でも周知すること、また、できれば研究機関と連携した場を作って欲しい	1
● 海外修学旅行をやしてほしい	1
● 横並びの教育ではなく、能力のある子どもにはより高度な教育をして欲しい	1
● 教育システム改善。経済格差が教育格差に繋がらない環境を整えて欲しい	3
● 外国語対応を向上させてほしい(留学プログラムなど)	2
● 累進課税ならば、子どもへの支援は公平にしてほしい	2
● 教育センター、ふれあい教室が区の西側にもほしい	1
経済的支援について	60
● 満足(インフルエンザが中学生まで無料/高校生まで医療費が無料/所得制限なしで子育て支援給付金)	5
● 支援金の申請期限を延長してほしい	1
● 医療費を援助してほしい/医療費を18歳(高校卒業)まで無料にしてほしい	2
● 住宅費支援(購入・賃貸を問わず)をしてほしい	5
● 経済的支援は一律にしてほしい(収入に関係なく出してほしい/年収による支給差をなくしてほしい/所得制限の金額を見直してほしい/多子世帯への支援)	18
● 学費/教育費の援助(所得制限のない学費(奨学金)/教育費(塾代)の援助(中学・高校の授業料免除/育英会の奨学金)	12
● 大学生に補助金がほしい	1
● 中学生の学用品の援助、中学部活で使用の道具代、メガネ代を補助してほしい	2
● 区立中学校の国内修学旅行の費用を区が一部負担してほしい	1
● 公立学校以外に通学する生徒を対象とした補助等(給食費無償化に相当するもの等)がほしい	2
● 公立の給食の食材を無農薬・減農薬、近郊での食材を使用してほしい	1
● 子育て世帯には税金を免除してほしい	1
● 障害者の為のフリースクールの補助金がほしい	1

項 目	件 数
● 子どもの文化芸術に触れる機会を増やせるよう区が行うか、地域団体への金銭的支援を増やしてほしい	1
● 生活にゆとりがないボーダーラインギリギリの家庭を助けて欲しい	1
● 文京区ベーシック・インカムの導入を希望、18歳未満の子どもに月額5万円/第二子以降は更に増額	1
● 家事代行などの利用補助がほしい	1
● 家族旅行に補助がほしい	1
● 児童手当給付金の受取を所得の高い方に限定しているのをやめてほしい	1
● 児童給付金の申請を各家庭で申請者を決められるようにしてほしい(本人に給付金が渡るようにしてほしい)	1
● バラマキ支援はやめてほしい(ピンポイントの支援のほうが効果的で無駄もない)	1
今回の調査について	1
● アンケート結果を区民に情報共有してほしい	1
相談事業について	5
● 利用者への利用条件の緩和(7時以降、土/日/祝日に相談窓口の利用)	1
● 面談が必要な時はオンラインで対応してほしい	1
● 相談できるところを教えてください(大学、高校進学を援助してほしい)	1
● 職員の対応に不満(無下に冷たくあしらわれた)	1
● 区外の私立中学に通学しているが、区の相談をうけたい	1
子育て支援全般について	18
● 満足(子育て支援施策に特に不満ありません)	2
● 父子家庭に向けた情報提供がほしい	1
● 平等な支援をしてほしい(富裕層でも同じ子育て世帯として平等な支援策)	2
● 必要などころに必要な支援が必要なだけ届くようにしてほしい(家庭の状況に応じた支援/経済的に困難な家庭に厚く支援/ひとり親への支援)	4
● 子どもの居場所の支援(地域格差の解消/運営団体の支援など/子どもの心のケアや過ごせる場所を増やしてほしい)	2
● 親からの虐待等で、居場所のない子が逃げこめるキッズドアのような場所を、文京区で作り、学校でも告知してほしい	1
● 中学生以上の支援にもっと取り組んで欲しい(引きこもりや教育虐待など)	1
● 子育て支援策に、子ども自身の意見が取り入れられるよう、中学生サミットなど子ども会議を常時、設置してほしい	1
● 成長していくうえで色んな選択が子ども達にできる支援をしてほしい(子どもを大切に育むための施策)	1
● 子どもの権利が守られるよう、オンブズマンを設置してほしい	1
● 子どもの居場所づくりの制度設計を希望(喜んでファミリーホームに登録します)	1
● 文京区らしく、より充実した子育て支援を期待している	1
保育事業について	3
● 満足(「子育てひろば西片」がよかった)	1
● 区の一時的預かり事業(キッズルームなど)の利用料が高い(区民であれば、500円以下にしてほしい)	1
● 預かり保育の枠の拡大(仕事の有無に関係なく回数の制限をなくしてほしい)	1
医療について	2
● 通院できる時間と開院している時間が合っていないので合わせてほしい	1
● 医療機関に行く際の交通手段の支援がほしい	1
療育について	6
● 病児病後児保育が近くにほしい	1
● 療育サービスの分室のようなものがほしい	1

項 目	件 数
● 障害を持った子どもの就学、就労、生涯の生活にまで、十分な保証があってほしい	1
● 発達障害児(中学生以上)の子どもの家以外の居場所がほしい	1
● 知的障害を持つ子のスイミングスクールがほしい	1
● 障害福祉課と連携して、障害児・障害者家族の預け場所(特に朝夕の時間帯、ショートステイなど)がほしい	1
その他(行政等)	8
● 満足(十分・たいへん助かっている)	2
● マンションの増築をストップしてほしい(小学校の児童数増加のため)	1
● 西暦に統一してほしい	1
● 納税者層、中間層に届く支援策を実施してほしい	1
● 必要とする人が情報にアクセスしやすい仕組みがほしい	1
● どのような区をめざすのか発信を増やしてほしい	1
● 貧困と教育の負の連鎖、格差社会を改善する事が区の未来にも大きく影響する	1
その他	11
● 特にありません	8
● 満足	2
● 物価上昇により数年前より出費が倍で、とても金銭的に厳しい世の中になっている	1

(4)高校生世代の保護者

〔高校生世代：問 17〕

高校生世代の保護者に対し、区への意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、161人から231件(延べ件数)の回答があった。その主な内容については、「経済的支援について」(101件)が最も多く、次いで、「子育て支援全般について」(27件)、「学校について」(19件)などの順となっている。

項 目	件 数
その他の施設(図書館等)/イベント等について	11
● 満足(夏休みの子どもアカデミー/週末の教育センターでの科学実験教室/スポーツセンターでの蝉の抜け殻観察など/習い事のコミュニティは助かった)	2
● 全ての世代が気軽に利用できるイベントや催し、参加できる場所がほしい	3
● 同世代の若者たちが気軽に交流できる場がほしい	1
● 図書館の増設/増書(最新の資料)	1
● 自習室が欲しい(学習かつワークスペース)	3
● 活動の場所と時間が固定からあちこちになったのは予定がつけにくいので以前のやり方に戻してほしい	1
子どもの居場所・遊び場について	8
● 子どもが自由に遊べる公園がほしい(ボールで遊べない)	6
● 小中学生予約なしで自由に身体を動かせる場所がほしい	1
● 公園の整備(砂場の管理)	1
学校について	19
● 満足	2
● 学校の校庭が狭い	1
● PTA 業務の負担軽減(専門家に事務局業務など)	2
● 学校からの紙ベースのプリントが多い	1
● 休むときの学校への連絡の簡便化	1
● 少人数学級の実現(手厚く子どもを見てほしい)	1
● 不登校支援(いじめなどによる転校をスムーズにできる制度)	6
● 夏休みの小学校の給食提供	1
● オンライン化を検討してほしい(オンラインでの繋がり/社会との繋がりを増やす)	1
● 臨海学校の再開	1
● 夏休みの学童、開始時刻を早めてほしい	1
● 公立の保育園、幼稚園、小中学校の先生の質の向上(業務負荷の軽減・待遇改善)	1
生活環境・安心・安全について	6
● 満足(歩道がキレイ/熱心)	2
● 見守り体制/牽制としての巡回/防犯カメラの強化	1
● 自転車の乗り方、交通ルールの徹底	1
● B-ぐるバスを双方向で走らせてほしい	1
● 源ごみ回収を事業者でやってほしい	1
教育環境全般について	11
● 満足(勉強や習い事するには良い環境)	1
● 教育環境の偏り(学習環境での格差軽減・経済状況)	3
● 外国語・IT教育の拡充/留学の支援	2

項 目	件 数
● 数学、化学、物理といった基礎学力を学ぶ支援策がほしい	1
● 区立の中高一貫校がほしい	1
● 塾のサポートがほしい	1
● 登校児にむけた教育支援	1
経済的支援について	101
● 満足(子どもの病気時/ベビーシッター助成/病児保育の費用負担/給食無償化/児童手当/保育園の入園/高校生世代への年間6万円の支援金/医療費控除が高校生まで/医療証)	19
● 金銭的な補助がほしい	1
● 医療費の全額補助はモラルハザードにつながる	1
● ばらまきの給付金施策はやめてほしい	2
● 所得制限をなくしてほしい(世帯の子どもの人数や年齢を考慮してほしい)	22
● 大学または大学院まで行く予定の家庭にサポートをいただきたい/教育費のサポート/支援	17
● 大学受験料が高い(出願するだけで1校10万円とか平気でかかるのはなんとかしてほしい)	1
● 参考書を買うための図書カードの交付/文京区のスーパーで使用できる等のお得な金券等などがほしい(現金の支給よりも)	2
● 進学を希望する全ての子どもに、平等であってほしい	1
● 他の自治体とは異なる独自の支援策を是非取ってほしい	5
● 高校まで学費無償化	4
● 住宅手当を拡充してほしい/住環境への支援	4
● 子ども食堂の推進に賛同	2
● 外国籍や外国にルーツがあるお子さんも増えてきており、進学の際の手続きなど親はわからないことが多い、行政が手厚く支援してほしい	1
● 行政の子育て支援政策は基本的に低所得者に優しく、高所得者に不利であるように感じる、区政においては、そのような構図にならないようにしてほしい	3
● 子ども食堂など、経済的に苦しい家族への支援についてももう少し公開してほしい	1
● 18歳まででなく、大学生も医療費無償化/大学生までの給付金	3
● 修学旅行費用を補助してほしい	1
● 必要な人に必要な支援をしてほしい	2
● どの年頃にお金がかかり、必要かを検討してほしい	1
● 医療費助成継続	1
● HPVワクチンについて、男児も無料にしてほしい	1
● 児童手当をなくして、代わりに、公立小、中、高の給食費を無料にしてほしい	1
● 多子世帯では一人っ子の世帯と比較して経済負担が大きい(例:公共交通機関の料金)	1
● 区立中学でも制服、学用品を揃えると高額である、入学準備支援として一定の補助をしてほしい	1
● 支援金の申請を18歳までは申請が出来るように期限を伸ばしてほしい	1
● 少子化対策として本気で考えるのであればもっと手厚い支援をしてほしい	2
● 子どもには奨学金とは違った経済的支援をしてほしい	1
療育について	8
● 満足	1
● 障害をもつ子どもの移動支援の拡充	1
● 視覚障害の方のための音声による情報保障の拡充(都内、日本中へ)	1
● 軽度の障害者の自立を支援するサービスの充実	2
● 精神障害のある子は、身体障害と比べ支援がとても少ない	1

項 目	件 数
● 障害のある人が住みにくい、暮らしにくい／安心して親子で過ごせる場所も少ない／将来を安心して任せることができる施設も少ない	1
相談事業について	3
● 満足(安心して相談できた)	1
● 相談機関選択のわかりやすさと連携がほしい	1
● サービスの充実(学校でのいじめをうけた際の先生の対応／高校生の発達障害に対する、本人と家族の支援や相談できる場所)	2
今回の調査について	4
● 満足(経済的に困窮している家庭への支援の強化が窺える)	1
● 記載、アンケートは西暦で統一してほしい	1
● このアンケートに回答する通信手段を持っていない人などに対して本当の支援が必要	1
● 子育て世代にこんなアンケートをお願いする神経を疑う	1
子育て支援全般について	27
● 満足(引き続き、更なる子育て支援の充実を宜しく願います／手厚い施策をしている／育園や幼稚園、育成室など民営化せずに維持しているのは素晴らしい)	6
● 一市民として寄付などを通して少しでも協力していきたい	1
● 園庭のない保育園が多いので、保育園児の遊び場、散歩先が増えてほしい	1
● 子育て世帯が多い割には子どものための施策が不十分	1
● こども食堂について、具体的な実施場所や利用方法について知らなかった／更なる広報活動があると良い	1
● 困っている子ども達に直接届く支援がほしい	2
● 一定水準以上の教育が受けられるよう、世帯収入に応じた支援がほしい	1
● 所得制限にひっかかり、補助や支援が得られないのは納得できない／高所得者は私立高校の授業料軽減がないのが不公平	2
● 進学支援も充実させ、すべての子ども達に進路を選択できる状況にしてほしい	2
● 全ての子育て世代に平等な政策をして欲しい	1
● 急な発熱などで休むことになっては迷惑をかけるが、それがクリアされるような仕事(在宅、当日エントリーなど)がほしい	1
● 学校に行きたくても行けず、フリースクールで学ぶ子どもたちに、フリースクールの費用を公費で負担してほしい	1
● 頼れる親が近くにいない核家族にとって、区のサポートをしてほしい	1
● フルタイムで働く親への配慮に欠けると感じる制度や施策が多い、女性が働きやすい環境が整備されることを強く望む(現金の支給よりも)	1
● サービスの情報共有(サービスを皆が知っているのかわかりかねる、皆が平等に利用出来る環境の充実／支援のポスターや掲示板の掲載方法)	2
● 魅力のある施策だと感じたものがない	1
● 文京区以外の学校に通っているのでは、いろいろ情報がない	1
● 学童保育やOB会、町会での子どもたちに向けた課外活動に対する金銭的支援	1
● 保育園の強化	1
● 親同士の交流の場がほしい	1
その他(行政等)	9
● 文京区への期待(将来有望な子育て世帯を都内から集め文京区を盛り上げる)	1
● 世代間の不公平を感じる	1
● 世代を超えてお祭りを盛り上げるとか、雪が降った後の雪かきとか、町内活動が貧弱	1
● お金を知的を伴わない発達障害の就職斡旋、役所の就職枠、下請け会社などに使って欲しい	1
● 紙の申請を減らしてほしい(マイナンバーカード活用する)	1

項 目	件 数
● 公金をつかうことに幅広い世代が納得しやすい政策に重点を移してほしい	1
● 区内にある既存のお金を払って行きたくなるようなレストランで対象者が無料でいつでも食べられるようにしてほしい、財源は区が持っている土地を収益物件として活用するなどしてほしい	1
● もっと子ども達に税金を使ってほしい	1
● 事故で親が居ない家族への対応を考えてほしい(マイポ ^o イントの申請の為に普通預金の通帳を、子ども達に作るできない)	1
その他	24
● 特になし	9
● 満足	5
● 力のない子どもへの高等教育支援はやめた方が良く、職業訓練にすべき	1
● 教育費にお金がかかる	2
● どのような支援があるかわからない	1
● その他	6

(5)小学生本人

〔小学生本人：問 18〕

小学生本人に対し、区への意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、127 人から 183 件(延べ件数)の回答があった。その主な内容については、「自分たちの居場所・遊び場について」(41 件)が最も多く、次いで、「学校について」(27 件)、「生活環境／安心・安全について」(25 件)などの順となっている。

項 目	件数
スポーツ施設・事業について	19
● 運動する施設を増やしてほしい(ボール遊び/キャッチボール/バスケットボール/水泳/空手/スケートボード/キックボード)	15
● スポーツが出来る場所が近くにほしい	4
その他の施設(図書館等)／イベント等について	13
● 犬と無料でふれあえる場所がほしい	1
● 図書館を増やしてほしい	3
● 図書館で小学生が1人で勉強できるようにしてほしい	1
● お祭りやイベントを増やしてほしい	1
● ゆいの森荒川のような施設がほしい	1
● 音楽ができる場所が欲しい(ピアノ/ドラム)	2
● お年寄りと関われる機会がほしい	1
● 図書館に漫画とDVDを置いてほしい	1
● 区立の小中学生の連合体育祭や区民全員参加出来るようなイベントを開催してほしい	1
● パソコン教室などがなかなか当選しないのが残念	1
育成室(学童保育)・放課後事業について	2
● 放課後に学校以外でできることが増えたら良い	1
● 育成室を無くさないでほしい	1
自分たちの居場所・遊び場について	41
● 公園を整備・拡充してほしい(ゴミ箱/きれいなトイレ/緑が豊富)	10
● 公園に楽しい遊具がほしい	5
● 皆で遊べたり静かに過ごせる場所がほしい	1
● レベルの高いアスレチックを作してほしい	1
● 展望台のようないやされる場所がほしい	1
● 自然がいっぱいで心が落ち着く場所がほしい	1
● 楽しく遊べる場所を増やしてほしい	5
● 子どもだけで遊べる安心な場所がほしい	2
● 雨の日も遊べる場所がほしい	1
● ボールを使える公園をふやしてほしい	8
● 駄菓子屋、映画館が少ない	1
● 子どもの遊び場に対して規制が多すぎる(球技禁止等)	1
● 花火ができる公園を増やしてほしい	1
● 教育の森公園が良い	1

項 目	件数
学校について	27
● 学校の環境を改善してほしい(いじめっ子/暴れん坊/すぐに暴力/悪口)	2
● 学校の児童数が増えて狭苦しい	2
● 地域ごとに小学校の児童数に差があるため均一に良くしてほしい	1
● 体験学習や校外学習を増やしてほしい	1
● 区立中学によって定期考査の難しさが違うため、レベルを統一してほしい	2
● 校庭を広くしてほしい	3
● プールは室内プールにしてほしい	1
● 社会科見学や行事を増やしてほしい	2
● 給食の食材の質を上げてほしい	5
● 学校のパソコン環境を良くしてほしい	2
● 学校の図書室にマンガを増やしてほしい	1
● ゲーム教室を設けてほしい	1
● 図工と理科の授業数を増やしてほしい	1
● 学校が楽しみになるようにしてほしい	1
● 放課後に校庭で遊べるようにしてほしい	1
● 学校の休み時間が短い	1
生活環境／安心・安全について	25
● スクールガードさんがいるため安心して学校に行けて良い	1
● 道路や街灯を整備してほしい	9
● 空き家が多く怖い	1
● スクールガードを増やしてほしい	1
● 坂下公園の出入り口をすべて開放してほしい	1
● 文京区の人口を増やし、栄えてほしい	1
● 総合的な商業施設があると良い(娯楽施設の建設／リニューアル)	3
● ごみ拾いを徹底してほしい	1
● 下水を整備してほしい	1
● 地震に強いまちづくりをしてほしい	1
● 路上でタバコを吸っている人が多いため条例を定めてほしい	3
● 池袋行きのバスを作してほしい	1
● 景観の悪化を防いでほしい	1
地域・社会環境について	4
● 学校の道具や洋服、靴などを譲る機会があると良い	1
● 節電した方が良い(学校では明るいのに電気をつけている)	1
● もう少し地域の方々との交流を深めたい	1
● 緑を増やしたい	1
経済的支援について	6
● 給食費の無償化が助かっている	2
● 増税や物価の上昇で経済的に厳しい	2
● 援助や支援を増やしてほしい	2

項 目	件数
● 医療費や税金などを無料にしてほしい	1
● 国立小学校の給食費を無償化してほしい	1
教育環境全般について	7
● 公立の中高一貫校を作してほしい	1
● 中学生になる準備として高学年から中学生の試験などの練習ができればいい	1
● 勉強スペースがほしい／自習室がほしい	3
● 家以外で勉強できる場所がほしい	1
● 知らないこと、わからないことが多いので、学校などでいろいろと実際に活動していることを教えてもらえる機会を作してほしい	1
相談窓口について	2
● 教育センターの方へ相談できて助かった	1
● 安心して利用できる相談窓口を増やしてほしい	1
今回の調査について	6
● 要望を言える機会があり良かった	1
● よくわからない	1
● アンケート調査をもっと行ってほしい	3
● この調査は話しが出来ない都立校に通う子には実態に当てはまっておらず、回答する親は悲しい思いを持った。障害の種別にも気を配ってほしい	1
その他	31
● 特になし	23
● 満足/区に対する良いイメージ	4
● 他の区で登録できた印鑑が登録不可と言われた	1
● 子どもにお金かけられる家庭を基準とせず、文京区の活性化のために子どものいる家庭が当たり前にかけているお金の部分に注目してほしい	1
● その他	2

(6)中学生本人

〔中学生本人：問 19〕

中学生本人に対し、区への意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、80人から108件（延べ件数）の回答があった。その主な内容については、「その他の施設（図書館等）／イベント等について」（18件）が最も多く、次いで、「自分たちの居場所・遊び場・公園について」（12件）、「学校について」（12件）などの順となっている。

項 目	件数
スポーツ施設・事業について	10
● 運動する場所がほしい(バスケットボール/キャッチボール/水泳/ダンス)	6
● 六義公園のバスケットゴールの柵の高さを高くしてほしい。リングを輪ではなく、通常のゴールにしてほしい	1
● 区外の友人も一緒に使える屋内バスケットコートなどが入った無料の施設(体育館)や場所を作ってほしい	1
● 予約ではなく気軽に行ける室内の運動できる場所を作ってほしい	1
● 子ども優先のコートに大人が大勢入って遊んでいるのが気になる	1
その他の施設(図書館等)／イベント等について	18
● 施設を利用しやすくしてほしい	1
● 便利な施設の情報を教えてほしい	1
● 自習室を作ってほしい	2
● 図書館を整備してほしい(スペース/Wi-Fi/おしゃれ)	3
● b-labを増やしてほしい	3
● b-labは在住・在学の利用者が一人いれば区外の友達も使えるようにしてほしい	1
● カジュアルに勉強できるスペースがほしい(カフェ/スタバ)	1
● 千駄木独自のイベントを開いてほしい	2
● 語学や多文化に触れるイベントなどを開催してほしい	1
● 『ブックツリー』という本の感想を共有できる場所をつくれれば、本仲間と話す機会が増えると思う	1
● 中学生向け児童館のような勉強できる場があると良い	1
● 文京区は図書館が多い点が良い	1
自分たちの居場所・遊び場・公園について	12
● 運動ができる公園が欲しい(野球/バスケットボール/ボール遊び/壁あて/花火/犬の散歩)	7
● 公園を増やしてほしい(無くさないでほしい)	2
● 公園の遊具を無くさないでほしい	1
● 遊ぶ施設を増やしてほしい	1
● 中学生が遊べる場所が近くにほしい	1
学校について	12
● 通学時の荷物が重すぎて身体に負担がかかる	1
● 授業が難しい	1
● 体力テストを増やしてほしい	1
● 学校のグラウンドを広くしてほしい	1
● 特別支援学級の人と無理矢理交流させないでほしい	1
● 学校にエレベーターを設置してほしい	1
● 暴力を振るう生徒に対処してほしい	1
● 技術と家庭科の授業では男女を分けてほしい	1

項 目	件数
● 皆勤賞の人に景品を提供してほしい	1
● 学校に一台車を置いてほしい	1
● 体育館に冷暖房を設置してほしい	1
● 給食が美味しい	1
生活環境／安心・安全について	8
● 学校の前に交番を配置してほしい	1
● 景観を守ってほしい(ビル建設の制限/イルミネーション)	1
● 街灯を整備してほしい	2
● 治安が悪く感じる時がある(夜中に騒ぐ声がある/中高生が住宅街で騒いでいるなど)	1
● 複数の道路工事が重なることによる通行止めが発生しないようにしてほしい	1
● 道路を整備してほしい(道が複雑で不便を感じる)	1
● 緑を増やしてほしい	1
地域・社会環境について	3
● 議会に子どもが直接意見を言えるようにしてほしい	1
● にぎわいを創出してほしい(店/観光所)	1
● ダイバーシティを増やしてほしい	1
経済的支援について	5
● 医療費無料を高校3年生までにしてほしい	1
● 子どもに対する援助を拡充してほしい	2
● 20歳まで補助金が出るようにしてほしい	1
● 給食費の無償化が助かっている	1
● 満足	1
教育環境全般について	3
● ペーパーレス化を推進してほしい	1
● 教育方針や教育の仕方を見直してほしい	1
● 学校の近隣に高層マンション等が建つことにより治安や教育環境が悪化しないようにしてほしい	1
交流の場・情報の発信・共有について	2
● 中学生にもわかりやすく情報を掲示してほしい(スポーツ/ボランティア)	1
● 同学年で集まったりする機会を設けてほしい	1
相談窓口について	1
● 外国人に対する進学制度や進学対策について教えてくれるイベントや相談窓口がほしい	1
今回の調査について	1
● 「にほんごがわからないときはこちらへ」の2次元コードにアクセスできなかった	1
その他	33
● 特になし	26
● 満足	5
● よくわからない	1
● その他	1

(7)高校生世代本人

〔高校生世代本人：問 19〕

高校生世代本人に対し、区への意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、61人から76件(延べ件数)の回答があった。その主な内容については、「その他の施設(図書館等)・イベント等について」(20件)が最も多く、次いで、「生活環境・安心・安全について」(13件)、「経済的支援について」(12件)などの順となっている。

項 目	件数
スポーツ施設・事業について	10
● 無料もしくは安価で利用できる運動場を増設してほしい	1
● ボールを使った運動ができる場所を増やしてほしい(バスケット/サッカー/野球)	5
● スポーツができる場所を増やしてほしい	1
● 大人も対象とした文化芸術活動に高校生や中学生が参加出来る仕組み作りをしてほしい	1
● 施設を利用しやすくしてほしい(区の体育館/スポーツセンター)	2
その他の施設(図書館等)・イベント等について	20
● 神明都電車庫跡公園に保存されている6063号車の車内公開の頻度を増やしてほしい	1
● b-labのような施設を家から通いやすいところに作ってほしい	4
● 勉強場所を増やしてほしい(図書館の自習室、シビックセンター内など)	7
● 区民のみが机を利用できるシステムがあると良い	1
● 楽器が練習できる場所がほしい	2
● おしゃべりができる机や椅子があるスペースがほしい	1
● シビックセンターの低層階は薄暗いイメージがあるため明るくしてほしい	1
● 犬が入れる公園を増やしてほしい	2
● 文京区のこどもまつりのような大きなイベントに障害者福祉施設が参加し、販売やイベントを通して地域交流を図れるようにしてほしい	1
● 青春が味わえる場所があると良い	1
生活環境・安心・安全について	13
● ビーグルバスの無償化	1
● 交通の便をよくしてほしい(ビーグルバスの経路の拡大)	2
● ルールを守らない外国人の住民が多く、治安が悪くならないか心配	1
● ルールをまもらない人に困っている(公園でBBQをする/ゴミの問題)	1
● 後楽園駅周辺の放置自転車を解消してほしい	1
● 自由に止めれる駐輪場を充実してほしい	1
● 街灯の整備(公園の近く)	1
● 本屋を増やしてほしい	2
● 区内の障害者のグループホームを増やし、障害者の相談支援に定員を設けずいつでも困った時に利用できるようにしてほしい	1
● 道路を整備してほしい	1
地域・社会環境について	3
● 学用品のリサイクル(譲り合い)制度があると良い(体操帽子/書道セット/雨具/スキーウェア/修学旅行で使ったもの等)	1
● 若者がより入って行けるような政治体制を作ってほしい	1
● 国や自治体が若い世代に目を向けていることをより感じられるようになると良い	1

項 目	件数
経済的支援について	12
● 満足	3
● 大学卒業まで支援が欲しい(支援金/助成金/手当金)	3
● 高所得でも低所得でもない中間の層の補助金を充実させてほしい	1
● 所得制限を無くしてほしい	3
● 福祉制度の充実、特にシングルマザーの支援などに力を入れてほしい	1
● 国に対して年少扶養控除を復活させるよう働きかけてほしい	1
教育環境全般について	5
● クラス内でのいじめに対し、クラス全体の問題として保護者と問題を共有してほしい	1
● 英語教育を充実させてほしい	1
● 東大などの各大学との連携があると良い	1
● 各年代で進路の相談ができる窓口があると良い	1
● Zoom で大学生などに質問できるシステムがあると良い	1
相談窓口について	3
● 自殺相談ダイヤルを 24 時間開けてほしい	1
● 税金等の相談窓口を充実させてほしい(人員増加など)	1
● オンライン化してほしい	1
今回の調査について	2
● Google フォームなどを使用したほうが良い	1
● 質問が多い	1
交流の場・情報の発信・共有について	1
● 就職に向けて受けた方がいいセミナーやインターンシップなどの情報を知りたい	1
その他	7
● 特にありません	4
● 満足	1
● その他	2

(8)児童扶養手当受給保護者

〔児童扶養手当：問 18〕

未就学児の保護者に対し、区の子育て支援施策に関する意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、96人から119件(延べ件数)の回答があった。その主な内容については、「経済的支援について」(37件)が最も多く、次いで「交流の場・情報の発信・共有について」(11件)、「子育て支援全般について」(10件)などの順となっている。

項 目	件数
保育園について	1
● 土日の預かりがあると良い	1
その他の定期的教育・保育事業全般について(サポート・ショートステイ)	4
● 学校へ行くまでの時間に預けられるような場があれば良い	1
● 支援の必要な子どもが通常級に通う場合の進学情報のサポートが不足している	1
● ひとり親に対して子どものショートステイを充実させて欲しい	1
● 英語の寺子屋があると良い	1
育成室(学童保育)・放課後事業について	1
● 小学校の近くに宿題に加え、学習も見てもらえる環境がほしい	1
遊び場(公園・児童遊園など)について	3
● 子どもが屋外で安全に遊べる場所があると良い	1
● 発達障害者が学習する場所や遊び場がほしい	1
● 学びの広場を拡充してほしい	1
教育環境などについて	3
● 保育士、教員不足、小学校の教室不足を解消してほしい	1
● 課外授業や修学旅行、臨海学習をしてほしい	1
● 塾のようなサポートがほしい	1
地域・社会環境について	3
● 子ども服のレンタル事業があれば良い	1
● 体操着や上履きなど交換できる機会がほしい	1
● 子どもの貧困対策が全く無い地域がある	1
経済的支援について	37
● 満足(子育て訪問支援券)	7
● 専門学校生や大学生にも医療証を出してほしい	1
● 所得制限を徹底し一律にするか、支給額を上げてほしい	8
● 区独自の増額などがあると良い	1
● 現物給付があると良い	1
● ひとり親家庭訪問支援サービスのクーポン券発行数を増やしてほしい	1
● 住宅手当や家賃補助があると良い	4
● 延長保育や育成室を無料にしてほしい	1
● ひとり親世帯への支援金を増やしてほしい	4
● 夜間保育園など、夜に働いている人への支援がほしい	1
● 学費を大学・専門学校まで無償化・補助してほしい	3
● 私立大学の授業料を無料にしてほしい	1

項 目	件数
● 大学受験を助成する制度を充実してほしい	1
● 一番子どもにお金がかかる時期の具体的な支援があれば良い	1
● 不安や孤独、悩みを抱えてどこにも繋がれない人への支援があると良い	1
● 習い事の資金援助がある良い	1
子育て支援全般について	10
● 満足(充実している/心強い/手厚い支援)	8
● 区独自の子育て支援制度をもっと充実させてほしい	1
● 情緒障害者を安心して子育てできる環境を創ってほしい	1
子ども宅食について	8
● 満足	3
● 商品を選べるようになると良い	1
● 万人が利用できる食材にしてほしい	1
● こども宅食で当選し、学外活動、遊園地に行くなどの体験できて良かった	1
● 長期の休みの際に給食に変わるものがほしい	1
● フリースクールにも給食があれば良い	1
手続きについて	4
● 他部署と情報を共有して、手続きに漏れがないようにしてほしい	1
● 手続きに手間がかかる	1
● 平日以外でも申請ができると良い	1
● 区役所でまとめて申請が出来るなど、スムーズに手続きできると良い	1
相談窓口について	9
● 総合的に相談できるところがあるといい	1
● 親身になって悩みや苦しいことが解決できるように導いてくれる方にお話を聞いてほしい	3
● 困った時にアドバイスやサポートがほしい	1
● 日曜日に相談する窓口がほしい	1
● 発達障害児の進路相談や支援について具体的に相談できる場所や人がほしい	1
● ひとり親で利用できる制度の申し込みを簡易的にして、土日も受け付けてほしい	1
● 満足(気軽に相談できる)	1
交流の場・情報の発信・共有について	11
● シングル子育てママさんや引きこもりの親ごさんとの交流の場がほしい	1
● 交流する場をわかりやすく提供してほしい	2
● 利用者に分かりやすく発信する必要がある	3
● どこに相談しても解決策が見つけられない場合があり、お話を聞くことやネットでも体験談などを紹介してほしい	1
● LINE をもっと活用してほしい(支援金に関する情報など)	1
● 地域で通えるスクールやクラブを具体的に新聞などでもっと紹介してほしい	1
● 補助についてわかりやすいアナウンスを繰り返し発信してほしい	1
● 冊子がわかりにくい	1

項 目	件数
今回の調査について	3
● 満足	1
● この調査がどのように子育て支援に反映されているか疑問	2
その他	22
● 特になし	8
● 満足	6
● 自治体としては、良い方だと思う	1
● 文京区は対応が丁寧で、案内もしっかり出している方だと思う	1
● その他	6

(9)就学援助受給世帯保護者

〔就学援助：問 18〕

未就学児の保護者に対し、区の子育て支援施策に関する意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、105 人から 159 件(延べ件数)の回答があった。その主な内容については、「経済的支援について」(49 件)が最も多く、次いで「子育て支援全般について」(14 件)、「その他の定期的教育・保育事業全般について(サポート・ショートステイ)」(10 件)などの順となっている。

項 目	件数
保育園・小学校について	8
● 公立校は保守的で新しい動きをしてくれない感覚がある	1
● 保育園が増えた反面、人的・空間的余裕のなさや、園庭に代わる公園の足りなさを感じる	1
● 保育園の先生が少なく、人員を確保する施策を早急に立ててほしい	2
● 昔に比べて現在の保育園は門戸が開けてきていると思う	1
● 卒業式の衣装はリサイクルで賄うようにしてほしい	1
● 文京区から卒業アルバム代等の上限の目安を提示してほしい	1
● 学校が荒れていると感じる	1
その他の定期的教育・保育事業全般について(サポート・ショートステイ)	10
● 満足(てらまっちによる意欲的な学習/季節ごとのプレゼント/教育センターのふれあい教室/サポートの充実)	3
● 学校以外の居場所を増やしてほしい	1
● 学習支援の場所を増やしてほしい	1
● 療育センターで相談しやすい先生がもっといるといい	1
● 不登校児童が安心して過ごせる場所がほしい	1
● 障害の程度が比較的軽い子どもや中学生以降の子どもが受けられる福祉サービスがほしい	1
● サポート事業が色々ある事を知り、自分でも調べてみたいと思う	1
● 教育センターでの OT、ST を期限なく継続できるようにしてほしい	1
一時預かり保育/病児・病後児保育などについて	2
● 病児保育施設の拡張	1
● 病児の選択肢がもっと増えるとよい	1
育成室(学童保育)・放課後事業について	6
● 満足(スペースの広さ/先生の人数)	1
● 育成室の定員を増やす又は増設を希望	2
● 育成室の利用対象を6年生までにしてほしい	1
● 育成終了後の預け先についての選択肢を増やしてほしい	1
● 週1回の利用を可能にしてほしい	1
その他の区の施設(図書館・交流館・スポーツセンターなど)について	6
● 満足(無料で参加できるイベント)	1
● 子どもが身体を動かせる屋内施設があるとよい	1
● 地域ごとの施設数のばらつきを無くしてほしい	1
● グラウンドなどを開放してほしい	1
● スポーツ選手との触れ合いができると良い	1
● 教育センター等の学習体験など抽選制となっているものは枠を拡大してほしい	1

項 目	件数
遊び場(公園・児童遊園など)について	4
● 遊び場が足りない	1
● 自由にのびのびと外遊び、水遊びが出来る場がほしい	1
● ボールが使える広い公園があると良い	2
教育環境などについて	8
● ESAT-Jについてもっと議論をして欲しい	1
● 習い事などにかかるお金が多い	2
● 外国人の進学をサポートしてほしい(子どもが学校を選ぶのを助ける方法が分からない)	1
● 学校と塾が一体化したような無償の授業が受けられると良い	1
● 公立の学校のカリキュラムや先生の質の充実が図られると良い	1
● より積極的に教育支援してほしい/チャレンジの機会をアグレップに創造してほしい	1
● 心の教育が大切だと思う	1
生活環境/安心・安全について	2
● ADHD の子どもが、個を活かしつつも、けじめある生活を送れるような、差別の無い快適な空間を(学校も含め)希望する	1
● 保護者が外国人である場合のサポート(通訳など)がほしい	1
経済的支援について	49
● 満足(経済的援助/宅食/就労援助/医療費の無償化)	9
● 不登校の子どものための金銭的な援助があると良い	1
● 学習塾の補助かそれに代わる補習機会の拡充を希望する	1
● 高所得でも低所得でもない子育て世帯への支援を手厚くしてほしい	2
● 医療的ケアがあることで支援制度から漏れてしまう状況がある	1
● 十分な収入がない家庭の手当などもっと充実させてほしい	1
● 住民登録や課税証明から自動的に援助対象家庭に援助してほしい	1
● 大学生まで援助してほしい	1
● 物価高騰の上に高額な教育費、先行きに不安のない、安心した子育てができる世の中になって欲しい	1
● 教育費の支援を拡充(無償化など)してほしい(塾/習い事)	8
● 進学に対する支援を充実してほしい	2
● 家賃の補助、手当を拡充してほしい	3
● 交通費の支援制度があると良い	1
● ひとり親世帯が金銭的に余裕のある世帯と子育てで差がつかないように支援があると良い	1
● 手帳を持たない(持てない)発達障害児の子育てなど、支援の手からこぼれ落ちる人達を支える仕組みが充実していくと良い	1
● 多子世帯への強力なバックアップがほしい	2
● 高校・大学まで医療費を無償化してほしい	3
● 所得制限を見直してほしい	3
● 経済的支援を拡充してほしい	1
● 療育制度を拡充してほしい	1
● 現金での金銭的支援を増やしてほしい	1
● 支援を受ける手間を省き、補助金額を差し引いた金額引落にしてほしい	1
● 児童扶養手当について、個人の状況などに応じて対応してほしい	2

項 目	件数
● 区の格差をなくし、新制度の「子ども子育て支援新制度」へも「都の保護者負担軽減」の上乗せを実現してほしい	1
子育て支援全般について	14
● 満足(支援施策/手厚い支援)	6
● 不登校児や発達障害児の支援を充実してほしい	1
● 別居中の家庭への対策を検討してほしい	1
● 保護者がフルタイムで就労できる支援を拡充してほしい	1
● 金銭的格差を子どもたちが感じることはないような支援があると良い	1
● 支援を受けて良いのか迷うところがある	1
● 祖父母による子育て世帯などに対する支援をしてほしい	1
● 子育て支援の底上げをしてほしい	1
● 介護と育児の両方を行っている世帯への支援がほしい	1
子ども宅食について	1
● 満足	1
子ども食堂について	2
● 場所がわからない	2
手続きについて	6
● 平日以外も手続きができるようにしてほしい	1
● 簡易にほしい	3
● 祖父母と同居している場合でもひとり親として申請出来るようにしてほしい	1
● 「扶養義務者」の項目を無くしてほしい	1
相談窓口について	3
● LINEなどで気軽に専門の知識ある人に相談したい	1
● 相談時に事務的であると感じた	1
● 言えない悩みを抱えている人の思いを汲み取ってほしい	1
交流の場・情報の発信・共有について	10
● 同じ様な境遇の人が話し合える場がほしい	1
● 分かりやすく情報提供してほしい	1
● 支援施策の存在についてもっと周知してほしい	1
● 会報やホームページに障害児の生活全般についての不安を和らげる情報を載せてほしい	1
● 支援を受けることが可能か判断できるようにしてほしい	1
● 支援制度の申請のやり方がわからない	1
● 区のホームページがわかりにくい	2
● 必要な世帯にピンポイントに情報発信してほしい	1
● 多忙なため手間や時間のかかる制度を逃している	1
今回の調査について	5
● 色々と制度を知ることができた	4
● 家族構成や子ども年齢にそぐわない質問が出てきて回答しづらい	1

項 目	件数
その他(行政等)	6
● 都で行っていない区独自の支援がない	1
● 中等度難聴でも手帳がほしい	1
● 必要な時に必要な支援をしてほしい	1
● 子育て世代に不親切だと感じている	1
● 区政に女性の視点を加えてほしい	1
● 経費の削減につながる工夫をしてほしい	1
その他	17
● 特になし	6
● 満足	8
● その他	3

小学生本人に対し、区への意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、29 人から 36 件（延べ件数）の回答があった。その主な内容については、「相談窓口について」（6件）が最も多く、次いで、「自分たちの居場所・遊び場について」（5件）、「学校について」（3件）、「子ども宅食について」（3件）などの順となっている。

項 目	件数
自分たちの居場所・遊び場について	5
● 公園でやりたい遊びが出来ない	1
● 友達と放課後遊べる場所を増やしてほしい	1
● 高学年がおもいきり遊べる場所がほしい	1
● 校庭が狭い	1
● 子どもだけが入れる場所がほしい	1
学校について	3
● 給食の品数が少ない	1
● クラスが荒れている	1
● 学校の授業を充実させてほしい(実験/プール/課外授業)	1
生活環境/安心・安全について	2
● いつでも暖かい食べ物が食べれる場所がほしい	1
● お店をもっと増やしてほしい	1
経済的支援について	2
● 医療費無料を高校3年生までにしてほしい	1
● ひとり親家庭の手当を増やしてほしい	1
子ども宅食について	3
● いつも楽しみにしている	2
● 毎月あるとうれしい	1
子ども食堂について	1
● 家の近くにあると良い	1
相談窓口について	6
● 少しだけ相談してみたい	1
● 必要なときには利用したい	1
● とても安心できる先生がいる	1
● 相談窓口が複数あることを知らなかった	1
● 相談の際に子どもが待つための部屋を用意してほしい	1
● 自分の電話を持っていないので相談するのが難しい	1
今回の調査について	3
● 色々なこのことを考えられて良いと思った	1
● 「わからない」の選択肢を設けてほしい	1
● 知らない事が多くてよくわからなかった	1

項 目		件数
その他		12
●	特になし	8
●	満足	1
●	その他	3

就学援助受給世帯中学生本人に対し、区への意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、19人から20件(延べ件数)の回答があった。その主な内容については、「相談窓口について」(4件)が最も多く、次いで、「学校について」(2件)、「サポート事業について」(2件)、「子ども宅食について」(2件)、「今回の調査について」(2件)となっている。

項 目	件数
学校について	2
● 教室に行けない生徒の居場所を学校に完備してほしい	1
● 学校配布のタブレットを使いやすくしてほしい	1
サポート事業について	2
● 色々なサポート事業があり助かっている	2
子ども宅食について	2
● 給付回数を増やして欲しい	1
● こども宅食から届く食品や雑貨がいつも楽しみでありかたい	1
相談窓口について	4
● 必要になったら相談してみたい	1
● いつか必要になる気がする	1
● 学校の相談室の予約は保健室の先生を通すため、少し話を聞いてほしいだけだと相談しづらい	1
● 相談窓口はお話聞だけの場所であるように感じる	1
今回の調査について	2
● アンケートで出て来た制度を知らないため、利用したいかと聞かれても分からなかった	1
● 当てはまる選択肢が無い事が多かったので、選択肢を増やすかその他や当てはまるものは無い等を追加して欲しい	1
その他	8
● 特にありません。	4
● 今のままで大丈夫です	1
● 祖母が育てるので、そんな家庭の対応の融通があるといいと思う	1
● その他	2

使用した調査票

「子ども・子育て支援に関する実態調査」のご案内

～調査へのご協力をお願いします～

我が国では、少子高齢化が進行し続ける中、人口減少社会に移行しており、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。女性の社会進出を後押しする施策も増え、多様な働き方を選択できる社会を実現していく働き方改革も進められていますが、子育て世帯においてワーク・ライフ・バランスを実現することは容易ではありません。このような中、子どもの視点を忘れずに、子どもの人権を守り、子どもを第一に考えた子育て支援が大切です。

そうした中、文京区では、「文京区次世代育成支援行動計画」、「文京区子ども・子育て支援事業計画」、「文京区子どもの貧困対策計画」を一体のものとした「文京区子育て支援計画」（令和2年度～6年度）に基づき、安心して子育てができ、社会全体で子育てが支援され、子どもの健全な育成や貧困からの脱却等を図る文京区の特徴を反映した子育て支援施策を推進しています。

このたび、区内に居住する子どもを養育する家庭の生活実態、ニーズ量、子育ての状況等を把握し、令和6年度に改定を予定する「文京区子育て支援計画」のための基礎資料等を得ることを目的として、「子ども・子育て支援に関する実態調査」を実施します。

今回ご回答いただきました内容は、子育てをしている当事者等が参加する「文京区子ども・子育て会議」等において審議し、計画に反映するとともに、今後の区の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくもので、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

質問数が多く、答えにくい質問には無理にお答えいただく必要はございませんが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年10月

文京区長 成澤廣修

にほんごが わからないときは こちらへ

この二次元コードに、アクセスしてください。

Please access this two-dimensional code.

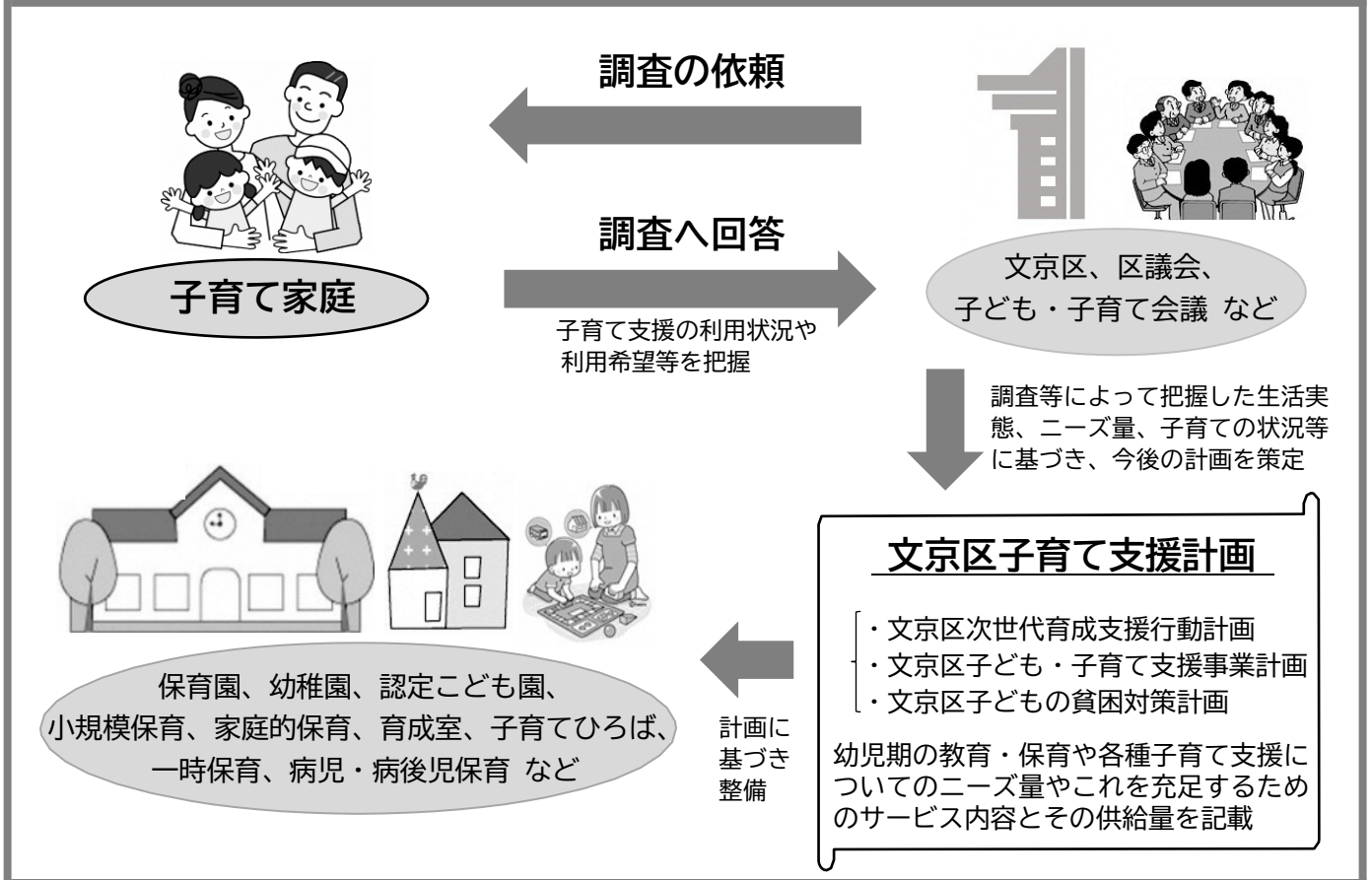
请访问此二维码。

請存取這個二維碼。





이 2차원 코드에 접속해주세요.



いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます。



次のような事項について、調査します。(例)

<p>【お子さんご家族について】 家族の状況、親子のコミュニケーション など</p> 	<p>【生活の状況について】 子育ての環境、保護者の就労状況、家計状況 など</p> 
<p>【施設等の利用状況について】 幼稚園・保育園等の利用、一時預かり等の利用、 子ども食堂の利用 など</p> 	<p>【不安・悩みについて】 子育てのイメージ／不安・悩み、 生活の安心・安全 など</p> 

■ お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 後楽	0.7%	6. 水道	3.0%	11. 音羽	4.7%	16. 弥生	0.4%
2. 春日	2.2%	7. 小日向	5.2%	12. 本郷	6.8%	17. 根津	1.7%
3. 小石川	15.0%	8. 大塚	10.0%	13. 湯島	3.8%	18. 千駄木	5.2%
4. 白山	9.1%	9. 関口	3.6%	14. 西片	1.4%	19. 本駒込	11.3%
5. 千石	10.8%	10. 目白台	3.1%	15. 向丘	1.4%	無回答	0.7%

問1-1 お住まいの丁目をご記入ください。

丁目

■ 封筒のあて名のお子さんご家族についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月と令和5年4月1日現在の年齢をご記入ください。

n=769

平成・令和 年 月 生まれ 令和5年4月1日現在 歳

0歳 14.6% 1歳 19.1% 2歳 17.8% 3歳 15.7% 4歳 13.7% 5歳 13.3% 無回答 5.9%

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。

また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

n=769

(あて名のお子さんを含めて)

きょうだい数 人 (1人 41.5% 2人 50.8% 3人 6.5% 4人 1.0% 5人 0.1% 6人以上 0.0% 無回答 0.0%)

(2人以上の方)

末子の生年月 平成・令和 年 月 生まれ

問4 あて名のお子さんについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 障害者手帳をもっている	1.0%
2. 障害者手帳はもっていないが、児童発達支援等の障害福祉に関するサービスを利用している	2.0%
3. 障害者手帳はもっていないが、医療機関・専門機関等で療育の相談・治療等を受けている	4.7%
4. 当てはまるものがない	90.9%
無回答	1.4%

問5 あて名のお子さんを「子ども」としたとき、家族構成について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 父・母・子ども	91.4%	4. 父・母・子ども・祖父母等	5.1%	7. その他	0.4%
2. 母・子ども	1.6%	5. 母・子ども・祖父母等	0.9%	無回答	0.5%
3. 父・子ども	0.0%	6. 父・子ども・祖父母等	0.1%		

※「祖父母等」とは、「祖父と祖母」「祖父のみ」「祖母のみ」「祖父母以外の親族」のことをいいます。親族以外の方はその他を選んでください。

問6 介護が必要な高齢の同居親族がいますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 1. 同居している高齢親族はいない | 86.9% |
| 2. 同居はしていないが、介護が必要な高齢親族がいる | 6.9% |
| 3. 高齢親族と同居しているが、ほとんど手をかす必要がない | 2.3% |
| 4. 高齢親族と同居しているが、必要なときに手をかす程度である | 2.2% |
| 5. 高齢親族と同居しており、毎日2～3時間程度の介護が必要である | 0.3% |
| 6. 高齢親族と同居しており、毎日4～6時間程度の介護が必要である | 0.0% |
| 7. 高齢親族と同居しており、ほぼずっと介護が必要である | 0.0% |
| 8. その他() | 0.8% |
| 無回答 | 0.7% |

問7 この調査票にご回答(記入)いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-----------|------|-----|------|
| 1. 父親 | 23.0% | 2. 母親 | 75.8% | 3. その他() | 0.3% | 無回答 | 0.9% |
|-------|-------|-------|-------|-----------|------|-----|------|

問8 この調査票にご回答(記入)いただいている方の配偶関係についてお答えください。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

- | | | | | | |
|-----------|-------|------------|------|-----|------|
| 1. 配偶者がいる | 96.6% | 2. 配偶者はいない | 2.1% | 無回答 | 1.3% |
|-----------|-------|------------|------|-----|------|

問9 あて名のお子さんの子育て(教育を含む。)を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係であてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

- | | | | |
|----------|-------|-----------|------|
| 1. 父母ともに | 60.6% | 4. 主に祖父母 | 0.1% |
| 2. 主に父親 | 0.8% | 5. その他() | 0.0% |
| 3. 主に母親 | 37.8% | 無回答 | 0.7% |

■ 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問10 あて名のお子さんの子育て(教育を含む。)に日常的に関わっている方はどなたですか。
お子さんからみた関係であてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=769

- | | | | | | |
|----------|-------|-----------|-------|-------------|-------|
| 1. 父母ともに | 79.8% | 4. 祖父母 | 18.1% | 7. 習い事等の指導者 | 12.9% |
| 2. 父親 | 4.0% | 5. 幼稚園の先生 | 13.4% | 8. 療育機関の先生 | 3.0% |
| 3. 母親 | 20.7% | 6. 保育士 | 44.1% | 9. その他() | 1.4% |
| | | | | 無回答 | 0.7% |

問11 あて名のお子さんの子育て(教育を含む。)に、影響が強いと思われる環境すべてに○をつけてください。

n=769

- | | | | |
|-------------------------------|-------|-----------|-------|
| 1. 家庭 | 94.1% | 5. 習い事など | 16.1% |
| 2. 地域 | 20.7% | 6. 療育機関 | 3.3% |
| 3. 幼稚園 | 22.9% | 7. その他() | 0.8% |
| 4. 保育所(認可保育所、東京都認証保育所、認可外保育所) | 62.2% | 無回答 | 0.7% |

問12 あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=769

- | | | |
|---------------------------------|-------|-----------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | 12.1% | } → 問12-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる | 50.7% | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 0.9% | } → 問12-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には、みてもらえる友人・知人がいる | 13.8% | |
| 5. いずれもない | 32.9% | → 問13へ 無回答 0.5% |

問12-1 問12で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、気掛かりなことはあるか
お答えください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=483

- | | | |
|---|-------|----------|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である | 47.4% | |
| 2. 負担をかけていることが心苦しい | 37.7% | |
| 3. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | 9.3% | |
| 4. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、
安心して子どもをみてもらえる | 27.3% | |
| 5. その他() | 7.5% | 無回答 4.1% |

問12-2 問12で「3.」または「4.」とお答えの方にはうかがいます。

知人・友人にお子さんをみてもらっている状況について、気掛かりなことはあるか
お答えください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=113

- | | | |
|---|-------|----------|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である | 26.5% | |
| 2. 負担をかけていることが心苦しい | 42.5% | |
| 3. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | 4.4% | |
| 4. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、
安心して子どもをみてもらえる | 28.3% | |
| 5. その他() | 8.8% | 無回答 4.4% |

■ すべての方に、あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問13 保護者の現在の就労状況(自営業・家族従事者を含む。)をうかがいます。

(1) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です。】

父親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=752

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	97.1%	} → (1)-1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	1.2%	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	1.5%	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	0.0%	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	0.3%	} → (1)-3へ
6. これまで就労したことがない	0.0%	
		無回答 0.0%

(1) 父親で、「1.」~「4.」(就労している)とお答えの方にはうかがいます。

(1)-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む.)」、
「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり	<input type="text"/>	日	1日あたり(残業時間を含む。)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間			
家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	から	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	まで
※ 時間は必ず24時間制でお答えください → 記入例) 8時 から 18時 まで									

(1) 父親で、「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)とお答えの方にはうかがいます。

(1)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=11

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	27.3%	
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	27.3%	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	27.3%	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい	0.0%	無回答 18.2%

(1) 父親で、「5.」「6.」(現在就労していない・就労したことがない)とお答えの方にはうかがいます。

(1)-3 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号 それぞれ1つに○をつけ、
該当する枠内には数字をご記入ください。

n=2

1. 就労の希望はない(子育てや家事などに専念したいなど)	0.0%		
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/>	<input type="text"/>	歳になったころに就労したい	0.0%
3. すぐにではないが、1年以内に就労したい	100.0%		
4. すぐにでも就労したい	0.0%	無回答 0.0%	
希望する就労形態 ⇒			
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)		100.0%	
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)		0.0%	無回答 0.0%
n=2 1週あたり <input type="text"/>			
日 1日あたり <input type="text"/>			
時間を希望			

(2) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です。】

母親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=768

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	52.3%	} → (2)-1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	16.3%	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	10.4%	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	0.7%	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	19.9%	} → (2)-3へ
6. これまで就労したことがない	0.4%	
		無回答 0.0%

(2) 母親で、「1.」~「4.」(就労している)とお答えの方にかがいます。

(2)-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む。）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり	<input type="text"/>	日	1日あたり(残業時間を含む。)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間			
家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	から	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	まで

※ 時間は必ず24時間制でお答えください → 記入例) 8時 から18時まで

(2) 母親で、「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)とお答えの方にかがいます。

(2)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=85

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	8.2%	
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	24.7%	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	51.8%	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい	9.4%	無回答 5.9%

(2) 母親で、「5.」「6.」(現在就労していない・就労したことがない)とお答えの方にかがいます。

(2)-3 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号 それぞれ1つに○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。

n=156

1. 就労の希望はない(子育てや家事などに専念したいなど)	22.4%	
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったころに就労したい	53.2%	
3. すぐにはないが、1年以内に就労したい	19.2%	
4. すぐにでも就労したい	5.1%	無回答 0.0%

希望する就労形態 ⇒

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	14.0%	
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	86.0%	無回答 0.0%

→ 1週あたり 日 1日あたり 時間を希望

n=121

■ すべての方に、あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
 具体的には、幼稚園や保育所など、問14-1 に示した事業が含まれます。

問14 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n = 769

1. 利用している 82.2%	2. 利用していない 17.8%	→ 問14-5へ 無回答 0.0%
-----------------	------------------	-------------------

問14-1～問14-4は、問14で「1.」とお答えの方にかがいます。

問14-1 平日どのような事業を利用していますか。
 年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 n = 632

1. 区立幼稚園	通常の就園時間の利用	4.9%
2. 国立大学付属幼稚園	通常の就園時間の利用	1.1%
3. 私立幼稚園	通常の就園時間の利用	15.8%
4. 区立幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	2.5%
5. 私立幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	5.2%
6. 認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設	1.7%
7. 区立認可保育園	認可保育所	25.6%
8. 私立認可保育園	認可保育所	38.0%
9. 家庭的保育事業	保育者の家庭等で少人数(定員5人以下)の子どもを保育する事業	0.3%
10. 小規模保育事業(0～2歳)	区の認可事業。少人数(定員6～19人)を対象に、家庭的保育に近い雰囲気のもと保育を行う事業	2.8%
11. 事業所内保育事業	企業の事業所の保育施設などで、従業員の子どもと区の子どもと一緒に保育する事業	0.9%
12. 居宅訪問型保育事業	医療的ケアや個別のケアが必要な場合などに、自宅において1対1で保育を行う事業	0.0%
13. 臨時保育所	認可保育所待機児童を対象に、1年間の期間限定で保育を行う公設の保育施設	0.6%
14. 定期利用保育事業	私立認可保育所の一部スペースを活用し、認可保育所待機児童を対象に、期間限定で保育を行う事業	0.2%
15. 東京都認証保育所	認可保育所ではないが、東京都が認証した施設	1.3%
16. 企業主導型保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設で、区民が利用できる場合もある施設	1.1%
17. グループ保育室	少人数(定員12人)を対象に、区の保育士が保育を行う公設の小規模な保育室	0.2%
18. その他の認可外の保育施設		2.5%
19. ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業	0.2%
20. 療育機関	発達上の課題があり、特別な支援を必要とする子どもに対し、専門的な訓練や相談等を行う機関	3.2%
21. その他()		0.8% 無回答 1.1%

問14-2 平日に利用している事業について、現在、どのくらい利用していますか。
 また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
 「1週あたり何日」、「1日あたり何時間(何時から何時まで)」かを
数字でご記入ください。

※ 複数の事業等をご利用・ご希望の場合は、すべてを合算した内容でご記入ください。

(1) 現在の状況

1週あたり 日 1日あたり 時間 24時間制で記入(例)9時から18時まで
 時から 時まで

(2) 現在の希望

1週あたり 日 1日あたり 時間 24時間制で記入(例)9時から18時まで
 時から 時まで

問14-3 現在、主に利用している事業の実施場所について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=632

1. 文京区内	91.6%	2. 文京区外	6.2%	無回答	2.0%
---------	-------	---------	------	-----	------

問14-4 平日に利用している理由として、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=632

1. 子どもの教育や発達のため	47.0%		
2. 保護者が現在就労している	78.6%		
3. 保護者が就労予定がある／求職中である	2.1%		
4. 保護者が家族・親族などを介護している	0.5%		
5. 保護者に病気や障害がある	2.1%		
6. 保護者が学生である	0.0%		
7. その他()	1.4%	無回答	1.9%

→ 問15へ

問14-5は、問14で「2.利用していない」とお答えの方にかがいます。

問14-5 平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由についてうかがいます。
 理由としてあてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=137

1. 利用する必要がない	29.2%		
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている	5.8%		
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている	0.0%		
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	19.7%		
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	5.1%		
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	1.5%		
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	8.0%		
8. 子どもがまだ小さいため ⇒ (<input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている)	40.9%		
9. その他()	12.4%	無回答	2.9%

すべての方にうかがいます。

問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

n=769

1. 区立幼稚園	通常の就園時間の利用	23.0%
2. 国立大学付属幼稚園	通常の就園時間の利用	21.6%
3. 私立幼稚園	通常の就園時間の利用	25.4%
4. 区立幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	20.5%
5. 私立幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	23.3%
6. 認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設	20.7%
7. 区立認可保育園	認可保育所	34.7%
8. 私立認可保育園	認可保育所	30.8%
9. 家庭的保育事業	保育者の家庭等で少人数(定員5人以下)の子どもを保育する事業	4.3%
10. 小規模保育事業(0~2歳)	区の認可事業。少人数(定員6~19人)を対象に、家庭的保育に近い雰囲気のもと保育を行う事業	6.0%
11. 事業所内保育事業	企業の事業所の保育施設などで、従業員の子ともと区の子ともを一緒に保育する事業	5.6%
12. 居宅訪問型保育事業	医療的ケアや個別のケアが必要な場合などに、自宅において1対1で保育を行う事業	3.8%
13. 臨時保育所	認可保育所待機児童を対象に、1年間の期間限定で保育を行う公設の併	4.6%
14. 定期利用保育事業	私立認可保育所の一部スペースを活用し、認可保育所待機児童を対象に、期間限定で保育を行う事業	4.3%
15. 東京都認証保育所	認可保育所ではないが、東京都が認証した施設	3.9%
16. 企業主導型保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設で、区民が利用できる場合もある施設	4.9%
17. グループ保育室	少人数(定員12人)を対象に、区の保育士が保育を行う公設の小規模な	3.3%
18. その他の認可外の保育施設		2.7%
19. ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業	16.3%
20. 療育機関	発達上の課題があり、特別な支援を必要とする子どもに対し、専門的な訓練や相談等を行う機関	4.9%
21. その他()		1.8%
22. 特にない	20.8% → 問16へ	無回答 1.3%

問15-1 問15で、「1.」～「21.」のいずれかに○をつけた方へうかがいます。
教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。いずれか1つに○をつけてください。

n=599

1. 文京区内	96.3%	2. 文京区外	1.8%	無回答	1.8%
---------	-------	---------	------	-----	------

問15-2 問15で、「1.」～「21.」のいずれかに○をつけた方へうかがいます。
教育・保育事業を選ぶ際に、重視するものを3つ以内で○をつけてください。

n=599

1. 通園しやすい立地	88.8%	6. 施設的环境・面積	24.7%
2. 教育・保育の方針	43.9%	7. 園庭の有無	15.2%
3. 英語教育・運動など教育・保育の活動内容	16.9%	8. 利用時間(登園時間・降園時間)	28.4%
4. 施設職員の資質	49.4%	9. 保育料等の費用面	9.0%
5. 施設の人数規模	5.8%	10. その他()	2.3%
		無回答	1.2%

問15-3 問15で、「1.」～「5.」のいずれかに○をつけ、かつ、「6.」～「21.」にも○をつけた方へうかがいます。

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む。)の利用を強く希望しますか。いずれか1つに○をつけてください。

n=288

1. はい	71.5%	2. いいえ	25.7%	無回答	2.8%
-------	-------	--------	-------	-----	------

■ すべての方に、あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問16 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます。)。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

n=769

1. 定期的にご利用する希望はない	63.2%	→	利用したい時間帯(24時間制で記入)			
2. ほぼ毎週定期的にご利用したい	9.0%		□ □	時から	□ □	時まで
3. 月に1～2回は定期的にご利用したい	27.8%		(例)9時から18時まで			
無回答	0.0%					

(2) 日曜日・祝日

n=769

1. 定期的にご利用する希望はない	77.6%	→	利用したい時間帯(24時間制で記入)			
2. ほぼ毎週定期的にご利用したい	2.5%		□ □	時から	□ □	時まで
3. 月に1～2回は定期的にご利用したい	19.9%		(例)9時から18時まで			
無回答	0.0%					

問16-1 問16の(1)または(2)で、「3.」とお答えの方へうかがいます。

毎週でなく、「月に1～2回」利用したい理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=246

1. 毎週仕事が入っているため	9.8%
2. 月に数回仕事が入るため	41.1%
3. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	56.9%
4. 親等の親族の介護や手伝いが必要なため	2.0%
5. リフレッシュのため	55.3%
6. その他()	4.5%
無回答	2.4%

「幼稚園」を利用されている方(問14-1で「1.」～「3.」とお答えの方)にうかがいます。

(該当しない方は、問18へお進みください)

問17 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

n=138

1. 利用する希望はない	21.0%	→	利用したい時間帯(24時間制で記入)	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	20.3%		<input type="text"/>	時から
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	44.2%		<input type="text"/>	時まで
無回答	14.5%		(例)9時から18時まで	

問17-1 問17で、「3.」とお答えの方にうかがいます。

毎日ではない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=61

1. 週に数回仕事が入るため	18.0%
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	49.2%
3. 親等の親族の介護や手伝いが必要なため	1.6%
4. リフレッシュのため	63.9%
5. その他()	19.7%
無回答	1.6%

■ あて名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。
 平日の教育・保育の事業を利用している方(問14で「1.利用している」とお答えの方)にうかがいます。

→ 該当しない方は問19へお進みください。

問18 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで平日の教育・保育の事業を利用しなかったことはありますか。いずれか1つに○をつけてください。

n=632

1. ある	60.1%	2. ない	4.3%	→ 問19へ	無回答	35.6%
-------	-------	-------	------	--------	-----	-------

問18-1 問18で、「1.」とお答えの方にうかがいます。

病気やケガで平日の教育・保育の事業を利用しなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ日数も数字でご記入ください。

※ 半日程度の対応の場合も1日としてカウントしてください。

n=380

		1年間の対処方法 (○はいくつでも)		
問18-2へ ←	1. 父親が仕事を休んで子どもを見た	60.3%	<input type="text"/>	日
	2. 母親が仕事を休んで子どもを見た	78.9%	<input type="text"/>	日
問18-5へ ←	3. 区の病児・病後児保育施設を利用した	9.7%	<input type="text"/>	日
問18-6へ ←	4. 父親または母親のうち就労してない方が子どもを見た	26.3%	<input type="text"/>	日
	5. 親族・知人に子どもを見てもらった	22.1%	<input type="text"/>	日
	6. 民間の病児・病後児の保育施設を利用した	2.1%	<input type="text"/>	日
	7. ベビーシッターによる病児・病後児の保育を利用した	8.2%	<input type="text"/>	日
	8. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)を利用した	0.3%	<input type="text"/>	日
	9. 子どもだけで留守番させた	1.1%	<input type="text"/>	日
	10. その他()	2.4%	無回答	7.4%

問18-1で、「1.」または「2.」とお答えの方にかがいます。

問18-2 父親または母親が仕事を休んだ際、「病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われ
 れましたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。
 なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前には
 かかりつけ医等の受診が必要となります。

n=320

- | | | | |
|-----------------------------|--------|----------------------|----------|
| 1. 病児・病後児保育施設を利用したかった 53.8% | ⇒ 1年間に | <input type="text"/> | 日くらい |
| 2. 利用したいと思わなかった 46.3% | → | 問18-4へ | 無回答 0.0% |

問18-3 問18-2で、「1.」とお答えの方にかがいます。

子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=172

- | | |
|--|----------|
| 1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業 | 62.8% |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 | 85.5% |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) | 19.2% |
| 4. その他() 5.2% | 無回答 0.0% |

問18-4 問18-2で、「2.」とお答えの方にかがいます。

そう思われる理由について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=148

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 55.4% | 5. 利用料の負担 17.6% |
| 2. 事業の質に不安がある 8.1% | 6. 親が仕事を休んで対応する 50.0% |
| 3. 近くに病児・病後児のための保育施設がない 1.7% | 7. 事業の内容や施設の様子がわからず不安 25.7% |
| 4. 事業の利用可能時間・曜日がよくない 5.4% | 8. その他() 25.7% 無回答 0.0% |

問18-1で、「3.」とお答えの方にかがいます。

問18-5 区の病児・病後児保育施設を利用して、感じたことについて、あてはまる番号すべてに
 ○をつけてください。

n=37

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. 事業の質に不安がある 5.4% | 5. 予約手続きが煩雑である 40.5% |
| 2. 近くに病児・病後児のための保育施設がない 13.5% | 6. 利用料の負担 21.6% |
| 3. 事業の利用可能時間・曜日がよくない 13.5% | 7. その他() 5.4% |
| 4. 空きがないなど利用したい時に利用しにくい 83.8% | 8. あてはまるものがない 2.7% 無回答 0.0% |

問18-1で、「3.」～「10.」のいずれかにお答えの方にかがいます。

(該当しない方は、問19へお進みください)

問18-6 その際、「父親または母親のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけ、問18-1の「3.」～「10.」の日数のうち、仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

n=194

- | | | | | | | |
|-------------------------|-------|--------|----------------------|----------------------|------|----------|
| 1. 仕事を休んで見たかった | 50.0% | ⇒ 1年間に | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日くらい | } → 問19 |
| 2. 仕事を休みたいとは思わなかった | 20.1% | | | | | |
| 3. 仕事を休んで看することは非常に難しかった | 29.9% | | | | | 無回答 0.0% |

問18-7 問18-6で、「3.」とお答えの方にかがいます。

そう思われる理由についてあてはまる答えの番号をすべてに○をつけてください。

n=58

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 44.8% |
| 2. 自営業なので休めない | 12.1% |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 13.8% |
| 4. その他() | 39.7% |
| | 無回答 1.7% |

■ すべての方に、あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問19 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している一時預かり事業はありますか。ある場合は、あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も数字でご記入ください。

n=769

1年間で利用している事業 (○はいくつでも)		1年間の利用日数
1. 一時保育事業(キッズルーム)での一時預かり	8.6%	<input type="text"/> 日
2. 区立保育園での一時預かり(緊急一時保育事業・リフレッシュ保育事業)	2.2%	<input type="text"/> 日
3. 私立保育園・認証保育所等での一時預かり	1.4%	<input type="text"/> 日
4. 未就園児の定期的な預かり事業	0.1%	<input type="text"/> 日
5. 区立幼稚園の預かり保育	1.0%	<input type="text"/> 日
6. 私立幼稚園の預かり保育	1.2%	<input type="text"/> 日
7. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	0.1%	<input type="text"/> 日
8. ショートステイ(児童福祉施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	0.0%	<input type="text"/> 日
9. トワイライトステイ(児童福祉施設等で夜間、子どもを保護する事業)	0.1%	<input type="text"/> 日
10. 区が助成等を行っているベビーシッター(「ベビーシッター利用料助成制度」など)	5.9%	<input type="text"/> 日
11. 区が助成等を行っていないベビーシッター	1.8%	<input type="text"/> 日
12. その他の事業()	0.5%	<input type="text"/> 日
13. 利用していない	81.7%	→ 問19-1へ
	無回答 1.2%	

問19-1 問19で、「13.」とお答えの方にかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

n=628

1. 特に利用する必要がない	58.6%	5. 空きがないなど利用したい時に利用しにくい	20.9%
2. 利用したい事業が地域にない	6.5%	6. 利用料の負担	14.2%
3. 事業の質に不安がある	9.7%	7. 自分が事業の対象者になるかわからない	10.8%
4. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	11.9%	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない	15.9%
		9. その他()	8.3% 無回答 2.4%

すべての方にかがいます。

問20 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。

利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。

なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

n=769

1. 利用したい	54.5%	n=419	計	<input type="text"/>	日
ア. 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む。)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	76.1%			<input type="text"/>	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む。)や親の通院等	58.2%			<input type="text"/>	日
ウ. 不定期の就労	29.8%			<input type="text"/>	日
エ. その他()	3.3%	無回答 7.9%		<input type="text"/>	日
2. 利用する必要はない	45.5%	問21へ			
		無回答 0.0%			

問20-1へ

問20-1 問20で、「1. 利用したい」とお答えの方にかがいます。

私用等の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=419

1. 一時保育事業(キッズルーム)での一時預かり	63.7%
2. 保育園での一時預かり	62.5%
3. 幼稚園の預かり保育	37.0%
4. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	15.0%
5. ショートステイ	7.2%
6. トワイライトステイ	6.4%
7. ベビーシッター	30.3%
8. その他の事業()	1.2% 無回答 4.5%

すべての方にかがいます。

問21 あて名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む。))の育児疲れや育児不安、病気などにより、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。ショートステイ(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を数字でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

n=769

1. 利用したい	22.9%	n=176	計	<input type="text"/>	泊
└─┬─┘					
└─┬─┘					
└─┬─┘					
└─┬─┘					
└─┬─┘					
2. 利用希望はない	77.1%	→問22へ	無回答	0.0%	

すべての方にかがいます。

問22 認可保育所、小規模保育事業所等での週1~2回の定期的な預かり事業の利用を希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけ、希望する日数と1回の時間を数字でご記入ください。

※ なお、本年度は受付を終了しました。本年度の本モデル事業の検証を踏まえ、来年度以降の実施内容等の検討を進めてまいります。

n=769

1. 定期的な預かり事業を利用したい	26.9%	⇒ 1週間に	<input type="text"/>	日くらい
			利用したい時間帯(24時間制で記入)	
			<input type="text"/>	時から
			<input type="text"/>	時まで
			(例)9時から18時まで	
2. 利用したいと思わない	73.1%	→ 問23へ	無回答	0.0%

問22-1 問22で、「1.」とお答えの方にかがいます。

利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

n=207

1. 毎週特定の曜日に仕事が入っているため	18.8%
2. 保育園・幼稚園に入園する前の準備として体験利用したいため	41.1%
3. 利用日に用事をまとめて済ませるため	58.5%
4. 親等の親族の介護や手伝いが必要なため	4.3%
5. リフレッシュのため	62.3%
6. 兄弟姉妹の習い事に付き添うため	24.2%
7. 毎週同じ施設・職員に預けられることに安心感があるため	40.6%
8. その他()	8.7%
	無回答 6.3%

■ すべての方に、あて名のお子さんの地域子育て支援拠点事業等の利用状況について
うかがいます。

問23 あて名のお子さんは、次の施設・事業を利用していますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけて、利用している場合はおおよその利用回数(頻度)を数字で
ご記入ください。

n=769

1.	子育てひろば、こまびよのおうち、 こそだて応援まちぶら、 さきちゃんちpetit、おひさま	18.2% ⇒	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは、1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
2.	ぴよぴよひろば	8.5% ⇒	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは、1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
3.	保健サービスセンター (相談や交流の場)	3.3% ⇒	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは、1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
4.	児童館の館内開放や 乳幼児プログラム等	22.1% ⇒	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは、1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
5.	保育園の乳幼児子育て相談・ 地域子育てステーション等	1.2% ⇒	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは、1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
6.	利用していない	61.8%	無回答 3.6%

問24 問23にある施設・事業を、今後利用したいと思いますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけて、おおよそのその利用回数(頻度)を数字でご記入ください。

※ 複数の施設・事業の利用を希望される場合は、すべてを合算した内容でご記入ください。

n=769

1.	利用していないが、 今後利用したい	29.6% ⇒	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは、1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
2.	すでに利用しているが、 今後利用日数を増やしたい	17.0% ⇒	増やしたい分をご記入ください 1週あたり さらに <input type="text"/> 回 もしくは、1ヵ月あたり さらに <input type="text"/> 回程度
3.	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	53.3%	無回答 0.0%

■ あて名のお子さんが、令和6年4月に小学校へ入学される方に小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

→ 該当しない方は問29へお進みください。

問25 小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

また、「5. 区立の育成室〔学童保育〕」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

時間は必ず「(例)18時」のように24時間制でご記入ください。

なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

n=102

1. 自宅	31.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	2.0%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	33.3%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館(育成室を除く。)	6.9%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 区立の育成室〔学童保育〕 〔現在は、小学校低学年(1～3年生)を対象としています。 なお、要配慮児は6年生までを対象としています。〕	39.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
6. 都型学童クラブ (ベネッセ学童クラブ・テンダーラビング学童クラブ・After Schoolミライン)	17.6%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. 民間の学童保育サービス	13.7%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. 放課後全児童向け事業(アクティなど)	26.5%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	0.0%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
10. 療育機関(児童発達支援、放課後デイサービスなど)	4.9%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
11. その他(図書館、公園など)	6.9%	無回答 27.5%

問26 小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

また、「5. 区立の育成室〔学童保育〕」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

時間は、必ず「(例)18時」のように24時間制でご記入ください。

なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ だいぶ先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

n=102

1. 自宅	39.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	2.0%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	53.9%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館(育成室を除く。)	8.8%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 区立の育成室〔学童保育〕 〔現在は、小学校低学年(1～3年生)を対象としています。 なお、要配慮児は6年生までを対象としています。〕	32.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
6. 都型学童クラブ (ベネッセ学童クラブ・テンダーラビング学童クラブ・After Schoolミライン)	10.8%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. 民間の学童保育サービス	5.9%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. 放課後全児童向け事業(アクティなど)	13.7%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	0.0%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
10. 療育機関(児童発達支援、放課後デイサービスなど)	3.9%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
11. その他(図書館、公園など)	6.9%	無回答 28.4%

問25 または 問26で、「5. 区立の育成室〔学童保育〕」とお答えの方にうかがいます。

(該当しない方は、問29へお進みください)

問27 土曜日と日曜日・祝日に、定期的な「区立の育成室(学童保育)」の利用希望はありますか。

(1)(2)それぞれについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

※ 現在は、小学校低学年(1～3年生)を対象(要配慮児は6年生まで対象)としており、

土曜日は8時30分から17時までの時間帯で利用できます。また、日曜日・祝日の利用はできません。

(1) 土曜日

n=40

- | | | | |
|-------------------------|-------|-----|------|
| 1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい | 17.5% | } | → |
| 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい | 7.5% | | |
| 3. 利用希望はない | 75.0% | 無回答 | 0.0% |

利用したい時間帯(24時間制で記入)

時から 時まで

(例)9時から18時まで

(2) 日曜日・祝日

n=40

- | | | | |
|-------------------------|-------|-----|------|
| 1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい | 20.0% | } | → |
| 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい | 7.5% | | |
| 3. 利用希望はない | 72.5% | 無回答 | 0.0% |

利用したい時間帯(24時間制で記入)

時から 時まで

(例)9時から18時まで

問28 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、「区立の育成室(学童保育)」の利用希望はありますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

※ 現在、育成室の夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用は、

小学校低学年(1～3年生)を対象(要配慮児は6年生まで対象)としており、

8時15分から18時30分まで(土曜日は8時30分から17時まで)の時間帯で利用できます。

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

n=40

- | | | | |
|-------------------------|-------|-----|------|
| 1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい | 40.0% | } | → |
| 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい | 52.5% | | |
| 3. 利用希望はない | 7.5% | 無回答 | 0.0% |

利用したい時間帯(24時間制で記入)

時から 時まで

(例)9時から18時まで

■ すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問29 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由の番号をご記入ください。

(1) 父親 (○は1つ) n=753	(2) 母親 (○は1つ) n=767
1. 働いていなかった 2.3%	1. 働いていなかった 21.6%
2. 取得した(取得中である) 20.5%	2. 取得した(取得中である) 68.7%
3. 取得していない 77.3% 無回答 0.0%	3. 取得していない 9.6% 無回答 0.0%
<p>取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでもご記入ください)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	<p>取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでもご記入ください)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>

取得していない理由 (あてはまる答えの番号を上の方の枠の中にご記入ください)		
	(父親)n=582	(母親)n=74
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	34.4%	10.8%
2. 仕事が忙しかった	53.4%	16.2%
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	1.0%	14.9%
4. 仕事に戻るのが難しそうだった(自身のスキル低下、休業に伴う退職勧告等)	4.3%	8.1%
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	9.6%	4.1%
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	22.7%	6.8%
7. 保育所(園)などに預けることができた	5.0%	12.2%
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	29.7%	1.4%
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	13.1%	4.1%
10. 子育てや家事に専念するため退職した	0.0%	13.5%
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	6.9%	13.5%
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	0.9%	8.1%
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	1.2%	4.1%
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	0.0%	2.7%
15. その他()	13.2%	28.4%
無回答	2.7%	6.8%

すべての方にかがいます。

■ 以下の仕組みをお読みください。

- 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み
- 子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

問29-1 この仕組みをご存じでしたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	52.7%
2. 育児休業給付のみ知っていた	24.7%
3. 保険料免除のみ知っていた	1.3%
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	18.9%
無回答	2.5%

問29-2～問29-9は、問29で父親もしくは母親が、育児休業を「2. 取得した(取得中である)」とお答えの方にかがいます。

(父親も母親も該当しない方は、問30へお進みください)

問29-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(1) 父親 (○は1つ)	n=154	(2) 母親 (○は1つ)	n=527
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	97.4%	1. 育児休業取得後、職場に復帰した	78.0%
2. 現在も育児休業中である	1.9% → 問29-9へ	2. 現在も育児休業中である	17.6% → 問29-9へ
3. 育児休業中に離職した	0.6% → 問30へ	3. 育児休業中に離職した	4.4% → 問30へ
無回答	0.0%	無回答	0.0%

問29-3 問29-2で、「1.」とお答えの方にかがいます。

(父親も母親も該当しない方は、問29-9へお進みください)

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※ 年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 父親 (○は1つ)	n=150	(2) 母親 (○は1つ)	n=411
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	4.0%	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	69.6%
2. それ以外だった	93.3% 無回答 2.7%	2. それ以外だった	26.8% 無回答 3.6%

問29-4 「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
数字でご記入ください。

(1) 父親		(2) 母親	
■ 実際	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	■ 実際	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月
■ 希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	■ 希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月

問29-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

(1) 父親		(2) 母親	
■ 3歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	■ 3歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月

問29-6 問29-4で、実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

(父親も母親も該当しない方は、問29-7へお進みください)

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 「希望」より早く復帰した方

(1) 父親 (○はいくつでも) n=74	(2) 母親 (○はいくつでも) n=176
1. 希望する保育所に入るため 6.8%	1. 希望する保育所に入るため 78.4%
2. 配偶者や家族の希望があったため 2.7%	2. 配偶者や家族の希望があったため 0.6%
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 39.2%	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 26.1%
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 24.3%	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 14.2%
5. 職場からの要請や自らの仕事や地位を失わないため 73.0%	5. 職場からの要請や自らの仕事や地位を失わないため 38.6%
6. その他() 13.5% 無回答 2.7%	6. その他() 8.5% 無回答 1.7%

2. 「希望」より遅く復帰した方

(1) 父親 (○はいくつでも) n=1	(2) 母親 (○はいくつでも) n=29
1. 希望する保育所に入れなかったため 0.0%	1. 希望する保育所に入れなかったため 48.3%
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 0.0%	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 0.0%
3. 配偶者や家族の希望があったため 100.0%	3. 配偶者や家族の希望があったため 6.9%
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 0.0%	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 10.3%
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 0.0%	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 3.4%
6. その他() 100.0% 無回答 0.0%	6. その他() 13.8% 無回答 27.6%

問29-7 問29-2で、「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方にかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(1) 父親 (○は1つ) n=150	(2) 母親 (○は1つ) n=411
1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった など) 75.3%	1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった など) 26.3%
2. 利用した 2.7%	2. 利用した 59.1%
3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった) 22.0%	3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった) 14.6%
無回答 0.0%	無回答 0.0%
↳ 問29-8へ	↳ 問29-8へ

問29-8 問29-7で、「3.利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」とお答えの方にかがいます。

(父親も母親も該当しない方は、問29-9へお進みください)

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。
 あてはまる答えの理由すべてに○をつけてください。

(1) 父親 n=769

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	54.5%
2. 仕事が忙しく、短時間勤務ではこなせなかった	78.8%
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	42.4%
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	18.2%
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	21.2%
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた	15.2%
7. 子育てや家事に専念するため退職した	0.0%
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった。)	3.0%
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	3.0%
10. 短時間勤務を利用しなくても支障がなかった	3.0%
11. その他()	3.0% 無回答 0.0%

(2) 母親 n=769

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	33.3%
2. 仕事が忙しく、短時間勤務ではこなせなかった	51.7%
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	55.0%
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	38.3%
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0.0%
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた	1.7%
7. 子育てや家事に専念するため退職した	0.0%
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった。)	5.0%
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	3.3%
10. 短時間勤務を利用しなくても支障がなかった	1.7%
11. その他()	8.3% 無回答 5.0%

問29-9 問29-2で、「2. 現在も育児休業中である」とお答えの方にうかがいます。

(父親も母親も該当しない方は、問30へお進みください)

あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業(保育園など)があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(1) 父親 (○は1つ)	n=3	(2) 母親 (○は1つ)	n=93
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	66.7%	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	92.5%
2. 1歳になる前に復帰したい	33.3%	2. 1歳になる前に復帰したい	5.4%
無回答	0.0%	無回答	2.2%

■ すべての方に、子育てのイメージや子育ての不安や悩みなどについてうかがいます。

問30 あなたは子育てでどのようなときに楽しいと感じますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=769

1. 子育て全般が楽しい	34.3%
2. 子どもといると楽しく幸せな気分になる	72.3%
3. 子どもと一緒に遊んだり何かしたりできることがうれしい	67.1%
4. 子どもが自分を頼ったり甘えたりしてくれることがうれしい	66.2%
5. 子育てにより自分も成長していると感じる	49.4%
6. 子どもがいると家庭が明るくなる	71.1%
7. その他()	3.6%
8. 特に楽しいことはない	0.9%
無回答	2.9%

問31 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=769

1. 自分の時間がとれず、自由がない	64.4%
2. 子育てにおわれ、社会から孤立するようになる	17.0%
3. 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい	53.1%
4. 子育てと親等の介護が同時に発生している	3.4%
5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違う	15.9%
6. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない	16.6%
7. 子どもの健康、性格や癖などについて心配である	28.7%
8. 子どもの成長や発達のことについて心配である	29.6%
9. 子どもの進路や進学のことについて心配である	35.1%
10. 子育てに伴う経済的な負担が大きい	31.3%
11. 子どもにかまっていられないことが多い	24.4%
12. その他()	4.3%
13. 特に不安や悩みはない	3.6%
無回答	3.0%

問32 あなたは、児童虐待や不適切な子育てを防止するために、どうすれば効果的と思いますか。
 もっとも効果的だと思う答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 相談窓口の充実(子ども家庭支援センターなど)	5.5%
2. 子育てを支援する施策の充実(一時預かりやホームヘルプサービスなど)	29.6%
3. 関係機関のネットワークの強化(区・児童相談所・学校・警察・医療機関など)	13.0%
4. 訪問相談や指導の強化(乳児家庭全戸訪問事業など)	8.2%
5. 虐待や不適切な子育てを防止する親力向上講座の開催	1.0%
6. 親同士の集まりでの経験談や意見交換などの自立的な活動の充実	5.5%
7. 児童虐待防止啓発活動	0.3%
8. 子育てしやすい地域社会の形成	24.2%
9. その他()	7.4%
無回答	5.3%

問33 子育て(教育を含む。)で、気軽に相談できる人はいますか。
 また、相談できる場所がありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. いる/ある	84.7%	2. いない/ない	15.3%	→ 問34へ	無回答	0.0%
----------	-------	-----------	-------	--------	-----	------

問33-1 問33で、「1.」とお答えの方にはうかがいます。

気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=651

1. 配偶者・パートナー	83.6%	9. 幼稚園の先生	11.1%
2. 祖父母等の親族	69.3%	10. 民生委員・児童委員	0.0%
3. 友人や知人	60.5%	11. 療育機関の先生	4.0%
4. 近所の人	6.9%	12. かかりつけの医師	13.5%
5. 職場の人	21.5%	13. 文京区の子育て関連担当窓口 (子ども家庭支援センター・子育てひろばなど)	4.3%
6. 子育て支援施設(児童館等)	4.5%	14. 文京区男女平等センター相談室	0.0%
7. 保健所・保健サービスセンター	2.0%	15. その他()	2.5%
8. 保育士	35.8%	無回答	2.8%

すべての方にはうかがいます。

問34 周囲の身近な人、行政担当者などからどのようなサポートがあればよいと思いますか。
 あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=769

○は3つまで

1. 近所の人にちょっとした頼みごとをお願いできるとよい	20.9%
2. 子どもの問題行動や子どもが迷惑行為をした場合は、遠慮せず教えてほしい	22.6%
3. 屋外で子どもがひとりの(そばに保護者がいない)ときに、危なくないか気にかけてほしい	28.3%
4. 行政の相談に応じる人の専門性を高めてほしい	12.5%
5. 育児休業を取得しやすい雰囲気づくり	16.0%
6. 職場の人に、子どもの病気など緊急時に仕事を休むことを理解してほしい	26.7%
7. 一時的に子どもを遊ばせる場所(親のリフレッシュや買い物など)	50.1%
8. 自転車の運転など交通ルールを守ってほしい	15.5%
9. 授乳やオムツ替えをする場所や設備	15.1%
10. ベビーカーでの移動への配慮(歩道の段差、信号がない、駅にエレベーターがないなど)	32.0%
11. その他()	6.1%
12. 特になし	1.7%
無回答	4.8%

問35 「希望する子どもの人数」と「実際に持つことができると思う子どもの人数」について、それぞれあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(1) 希望する子どもの人数						n=769
1. 1人	7.4%	3. 3人	36.2%	5. 5人	1.0%	
2. 2人	46.7%	4. 4人	4.2%	6. その他	1.3%	無回答 3.3%

(2) 実際に持つことができると思う子どもの人数						n=769
1. 1人	21.2%	3. 3人	12.5%	5. 5人	0.5%	
2. 2人	59.8%	4. 4人	1.8%	6. その他	0.7%	無回答 3.5%

問35-1 問35で、「(2)実際に持つことができると思う子どもの人数」が「(1)希望する子どもの人数」より少なかった方にうかがいます。
(該当しない方は、問36へお進みください)

少なかったのはどうしてですか。

次のうち、少なかった理由にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

また、最大の理由の番号1つに○をつけてください。

	(1) あてはまる理由 (○はいくつでも)	(2) 最大の理由 (○は1つ)
1. 育児の体力的な問題	59.0%	9.6%
2. 育児の経済的負担が大きい	65.1%	27.0%
3. 育児の心理的負担が大きい	39.5%	6.7%
4. 年齢的な理由で難しい	43.0%	16.9%
5. やりたいことができなくなる	18.3%	1.2%
6. 仕事と家庭の両立が難しい	52.3%	11.9%
7. 教育をめぐる状況に対して不安	19.8%	1.2%
8. 将来の教育費の負担が不安	56.7%	11.3%
9. 家が狭い	48.0%	4.4%
10. その他()	11.3%	8.1%
無回答	0.3%	1.7%

■ すべての方に、子育て支援サービスについてうかがいます。

問36 次のサービスで、知っているもの、利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。
①～⑰の事業ごとに、【A】【B】【C】のそれぞれについて、「1.はい」「2.いいえ」のいずれかに○をつけてください。

n=769

		【A】	【B】	【C】	
		知っている	利用したことがある	今後利用したい	
①	母親学級、両親学級	1. はい 84.3% 2. いいえ 8.8% 無回答 6.9%	1. はい 48.4% 2. いいえ 37.6% 無回答 14.0%	1. はい 27.4% 2. いいえ 44.9% 無回答 27.7%	
②	保健サービスセンターの親子交流の場や相談サービス	1. はい 66.1% 2. いいえ 23.1% 無回答 10.8%	1. はい 24.7% 2. いいえ 58.5% 無回答 16.8%	1. はい 31.9% 2. いいえ 41.1% 無回答 27.0%	
③	子どもの発達と教育の相談をする総合相談室(教育センター)	1. はい 50.7% 2. いいえ 37.2% 無回答 12.1%	1. はい 14.3% 2. いいえ 66.3% 無回答 19.4%	1. はい 38.5% 2. いいえ 34.5% 無回答 27.0%	
④	保育園や幼稚園の園庭等の開放	1. はい 65.3% 2. いいえ 24.4% 無回答 10.3%	1. はい 27.6% 2. いいえ 57.5% 無回答 15.0%	1. はい 53.4% 2. いいえ 20.9% 無回答 25.6%	
⑤	身近な地域における親子の交流の場	A. 児童館(乳幼児と保護者の居場所)	1. はい 77.2% 2. いいえ 12.5% 無回答 10.3%	1. はい 50.6% 2. いいえ 35.0% 無回答 14.4%	1. はい 51.4% 2. いいえ 22.5% 無回答 26.1%
	B. 子育てひろば	1. はい 71.1% 2. いいえ 15.2% 無回答 13.7%	1. はい 44.6% 2. いいえ 41.9% 無回答 13.5%	1. はい 48.0% 2. いいえ 25.6% 無回答 26.4%	
	C. ぴよぴよひろば(子ども家庭支援センター内)	1. はい 63.3% 2. いいえ 22.1% 無回答 14.6%	1. はい 33.8% 2. いいえ 51.0% 無回答 15.2%	1. はい 37.5% 2. いいえ 34.7% 無回答 27.8%	
⑥	子ども家庭支援センターの相談事業	1. はい 39.3% 2. いいえ 46.6% 無回答 14.2%	1. はい 5.2% 2. いいえ 76.1% 無回答 18.7%	1. はい 29.9% 2. いいえ 42.1% 無回答 28.0%	
⑦	子育て応援メールマガジン(きずなメール)	1. はい 47.1% 2. いいえ 40.6% 無回答 12.4%	1. はい 34.2% 2. いいえ 50.2% 無回答 15.6%	1. はい 33.9% 2. いいえ 38.1% 無回答 28.0%	
⑧	子育てガイド(区が発行する子育て支援情報誌)	1. はい 54.6% 2. いいえ 30.7% 無回答 14.7%	1. はい 33.7% 2. いいえ 50.1% 無回答 16.3%	1. はい 42.5% 2. いいえ 29.0% 無回答 28.5%	
⑨	ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	1. はい 63.2% 2. いいえ 23.7% 無回答 13.1%	1. はい 7.4% 2. いいえ 73.9% 無回答 18.7%	1. はい 36.4% 2. いいえ 37.5% 無回答 26.1%	
⑩	ベビーシッター利用料助成制度	1. はい 79.1% 2. いいえ 10.1% 無回答 10.8%	1. はい 23.9% 2. いいえ 60.7% 無回答 15.3%	1. はい 47.3% 2. いいえ 29.1% 無回答 23.5%	
⑪	ひとり親家庭子育て訪問支援券(ベビーシッター)	1. はい 40.4% 2. いいえ 45.6% 無回答 13.9%	1. はい 0.9% 2. いいえ 80.4% 無回答 18.7%	1. はい 11.3% 2. いいえ 60.6% 無回答 28.1%	
⑫	おうち家事・育児サポート事業	1. はい 53.6% 2. いいえ 33.6% 無回答 12.9%	1. はい 9.5% 2. いいえ 71.4% 無回答 19.1%	1. はい 44.7% 2. いいえ 30.2% 無回答 25.1%	
⑬	一時保育事業(キッズルーム)	1. はい 71.3% 2. いいえ 16.9% 無回答 11.8%	1. はい 18.1% 2. いいえ 65.3% 無回答 16.6%	1. はい 48.0% 2. いいえ 27.6% 無回答 24.4%	
⑭	緊急一時・リフレッシュ一時保育事業(保育園)	1. はい 63.2% 2. いいえ 25.9% 無回答 10.9%	1. はい 11.8% 2. いいえ 71.1% 無回答 17.0%	1. はい 44.1% 2. いいえ 30.9% 無回答 25.0%	
⑮	病児・病後児保育事業	1. はい 66.4% 2. いいえ 21.3% 無回答 12.2%	1. はい 10.8% 2. いいえ 72.8% 無回答 16.4%	1. はい 40.1% 2. いいえ 34.6% 無回答 25.4%	
⑯	ショートステイ・トワイライトステイ事業	1. はい 43.4% 2. いいえ 43.3% 無回答 13.3%	1. はい 2.2% 2. いいえ 80.2% 無回答 17.6%	1. はい 23.0% 2. いいえ 49.8% 無回答 27.2%	
⑰	民生委員・児童委員への子育てや児童問題の相談・援助	1. はい 33.2% 2. いいえ 52.4% 無回答 14.4%	1. はい 0.7% 2. いいえ 80.6% 無回答 18.7%	1. はい 17.6% 2. いいえ 53.8% 無回答 28.6%	

問37 子ども食堂(地域の子どもたちに食事の提供を通じた居場所づくり)について、知っていますか。また、利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 子ども食堂を利用している		3.5%
2. 子ども食堂を知っているし、利用したい		8.1%
3. 子ども食堂を知っていたが、利用の予定はない		60.9%
4. 子ども食堂を知らなかったが、利用したい		10.4%
5. 子ども食堂を知らなかったが、利用の予定もない	12.5%	無回答 4.7%

問38 区の子育て支援サービスについての情報を何によって入手(収集)していますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=769

1. 区報「ぶんきょう」	64.8%	9. キッズルーム・児童館などの区の施設	10.3%
2. 区のホームページ	36.8%	10. 子ども家庭支援センター	1.3%
3. 区のLINE、Facebook、X(旧Twitter)	24.1%	11. 保健サービスセンター	3.0%
4. 子育てガイド(情報誌)	7.5%	12. 教育センター	4.0%
5. 子育て応援メールマガジン	20.3%	13. 担当部署に問い合わせまたは直接来所	3.3%
6. 母と子の保健バッグ(妊娠届のとき配付)	14.2%	14. 友人・知人	17.0%
7. 保育園・幼稚園・学校	48.2%	15. その他()	4.0% 無回答 8.5%
8. 子育てひろば・地域子育て支援拠点	12.2%		

問38-1 問38で選んだもののうち、入手(収集)しやすい方法について、あてはまる答えの番号3つまでに○をつけてください。

n=704

1. 区報「ぶんきょう」	55.7%	9. キッズルーム・児童館などの区の施設	2.7%
2. 区のホームページ	23.0%	10. 子ども家庭支援センター	0.1%
3. 区のLINE、Facebook、X(旧Twitter)	18.8%	11. 保健サービスセンター	0.3%
4. 子育てガイド(情報誌)	1.4%	12. 教育センター	1.4%
5. 子育て応援メールマガジン	13.9%	13. 担当部署に問い合わせまたは直接来所	1.4%
6. 母と子の保健バッグ(妊娠届のとき配付)	3.6%	14. 友人・知人	8.5%
7. 保育園・幼稚園・学校	33.4%	15. その他()	2.0% 無回答 6.5%
8. 子育てひろば・地域子育て支援拠点	4.7%		

問39 子育て支援に関する施設・サービスについて、有効だと思うものは何ですか。あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=769

○をつけてください	1. 子育て支援に関する情報提供(区報、子育てガイド、子育て応援メールマガジンなど)	34.5%
	2. 妊娠・出産、乳幼児健診などを支える保健医療体制の整備	25.4%
	3. 相談支援体制の整備(子育ての不安や悩み・いじめや虐待防止など)	9.0%
	4. 地域での相互扶助体制の整備(親同士の助け合い活動など)	6.0%
	5. 定期的に利用できる保育サービスの充実	24.7%
	6. リフレッシュ等のために利用できる一時預かりサービスの充実	36.2%
	7. 男性も女性も仕事と子育てが両立しやすい環境の整備	25.7%
	8. 確かな学力、豊かな人間性、体力を育成する教育環境の整備	14.6%
	9. 非行防止等、子どもが健全に育つための対策の充実	2.2%
	10. 乳幼児連れでも活動しやすいまちづくり	24.2%
	11. 子育て家庭のための住宅施策の推進	11.4%
	12. 障害のある子どもに対する支援の充実	3.9%
	13. 経済的援助(児童手当の給付や利用料減免など)	30.7%
	14. その他()	2.2%
	15. 特にない	0.8% 無回答 8.3%

問40 出産から4カ月健診を受けるまでにどのような保健サービスを利用したいですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

n=769

1. 保健師の家庭訪問	42.9%	6. 赤ちゃん健診や健康相談	40.3%
2. 助産師の家庭訪問	44.9%	7. お父さん・お母さんと赤ちゃんの集まり	21.3%
3. 母乳相談・乳房ケア	49.0%	8. ショートステイ(産後ケア事業)	25.9%
4. 沐浴(もくよく)相談・指導	15.7%	9. 離乳食講習会	18.2%
5. 電話相談	15.9%	10. その他()	2.2%
		無回答	15.0%

■ すべての方に、生活の安全・安心についてうかがいます。

問41 あなたの子どもが、何らかの事故や事件に巻き込まれるかもしれないという不安を感じますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけください。

n=769

1. 強く感じる	26.1%	} → 問41-1へ	} → 問42へ	無回答 0.0%
2. 少し感じる	57.0%			
3. あまり感じない	15.7%			
4. まったく感じない	1.2%			

問41-1 問41で、「1.」または「2.」とお答えの方にうかがいます。

そう感じる理由は何ですか。

あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=639

○は3つまで

1. 近所に暗く人気のない道や場所があるから	10.6%
2. 近所の住民の顔をほとんど知らないから	14.2%
3. 子どもが一人で外出する際に、事故や事件にあうかもしれないから	45.9%
4. テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから	61.2%
5. 近所で子どもが巻き込まれた事故や事件が発生したから	2.0%
6. 近所に交通量の多い道路があるから	53.5%
7. 近所に見通しの悪い道が多いから	13.9%
8. 近所に歩道や信号がない道路があるから	11.4%
9. 通園が遠いから	4.4%
10. その他()	5.8%
	無回答 2.8%

すべての方にうかがいます。

問42 子どもの安全や犯罪防止についての情報を何によって入手(収集)していますか。(1)(2)について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

(1)	(2)
不審者情報	日常的な予防情報
n=769	n=769

1. 新聞	4.9%	10.4%
2. チラシ・パンフレット・小冊子など	2.3%	10.4%
3. テレビ	19.6%	31.2%
4. ラジオ	1.4%	3.8%
5. ホームページ、ブログなど	9.5%	15.0%
6. フェイスブックなどのSNS	13.5%	15.7%
7. 区からのメール配信(「文の京」安心・防災メール)	26.1%	18.3%
8. 保育所等からのメール配信(フェアキャスト等)	39.0%	19.9%
9. 警視庁からのメール配信(メールけいしちょう)	12.7%	6.1%
10. その他()	2.1%	2.1%
11. 特に活用している情報ツールはない	12.9%	11.6%
無回答	19.9%	29.8%

問43 万一、災害が起こり、避難所生活を余儀なくされてしまった場合に、粉ミルクや調整用飲料水、離乳食などの乳幼児用の食料、ほ乳瓶や離乳食などの乳幼児用の食器、紙おむつ、ウェットティッシュ以外に、子育てをするにあたって、どういった物資が必要ですか。自由にご記入ください。

■ すべての方に、住環境についてうかがいます。

問44 現在のお住まいはどちらになりますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけください。

n=769

1. 賃貸住宅(一戸建)	6.6%	3. 持家(一戸建)	16.5%	5. その他()	0.3%
2. 賃貸住宅(集合住宅)	42.8%	4. 持家(集合住宅)	30.2%	無回答	3.6%

問45 子育てをする上で住宅や住宅の周りの環境について、どのような点が重要だと思えますか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=769

○は つ ま で	1. 住宅の広さ・間取り	61.2%	7. 幼稚園・小学校などの通園・通学の利便性	22.4%
	2. 安全性や遮音性などの住宅の居住性能	34.9%	8. 通勤の利便性	19.8%
	3. 子どもの遊び場・公園などの利便性	37.1%	9. 小児科などの医療機関への利便性	13.0%
	4. 周辺の道路の歩行時の安全性	18.1%	10. 親戚や近隣の人たちとのつながり	5.5%
	5. 静かな環境や治安のよさ	46.6%	11. その他()	1.4%
	6. 子どもを預かってくれる託児・保育所などの利便性	17.6%	12. 特にない	0.0%
			無回答	4.6%

問46 子どもの遊び場として、どのような場所を利用していますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

n=769

1. 公園・児童遊園	95.4%	} 問46-2へ 無回答 2.8%
2. 保育園・幼稚園等の園庭開放	19.9%	
3. 子育てひろば、児童館等、身近な地域における親子ひろば・交流の場	34.3%	
4. 自宅内	71.0%	
5. 友人宅内	15.9%	
6. その他()	10.9%	

問46-1 問46で、「1.」とお答えの方にうかがいます。
公園・児童遊園について、どの程度利用していますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけください。

n=734

1. ほぼ毎日	13.6%	2. 週に2~3回程度	32.8%	3. 週に1回程度	34.7%	4. 月に1~2回程度	15.0%
						無回答	3.8%

→ 問46-3へ

問46-2 問46で、「1.」に○をつけなかった方にうかがいます。

公園・児童遊園を利用していない理由は何ですか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

n=35

1. 近隣に公園・児童遊園がない	22.9%
2. 近隣の公園・児童遊園が狭い	20.0%
3. 公園・児童遊園に魅力ある施設がない	17.1%
4. 公園・児童遊園に緑や花が少ない	5.7%
5. 公園のトイレが利用しづらい	2.9%
6. 他の公園利用者のマナーが悪く遊びづらい	2.9%
7. その他()	37.1%
無回答	17.1%

すべての方にうかがいます。

問46-3 公園・児童遊園にどのような施設があればよいと思いますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

n=769

1. 広場	63.7%	5. トイレ	53.4%
2. 遊具	82.6%	6. 植栽等のみどり	29.9%
3. ベンチ	50.6%	7. その他()	12.2%
4. 水飲み	19.1%	無回答	4.7%

すべての方に、子育ての環境や支援への満足度についてうかがいます。

問47 区の子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

n=769

満足度が低い	←—————→					満足度が高い
1	2	3	4	5	無回答	
2.7%	9.2%	29.3%	45.9%	7.4%	5.5%	

すべての方に、お子さんとの体験や、経済的なことについてうかがいます。

問48 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

n=769

A~Eそれぞれについて、ある場合は「1」を、
ない場合はあてはまる理由を「2」~「4」か
らそれぞれ1つに○をつけてください。

	ある	ない			無回答
		金銭的な理由	時間の制約	その他の理由	
A. アウトドア(海水浴やキャンプ等)に行く	54.2%	2.7%	15.7%	20.8%	6.5%
B. 博物館・科学館・美術館等に行く	62.3%	0.4%	9.0%	21.6%	6.8%
C. スポーツ観戦・劇場・映画館に行く	52.3%	1.0%	9.5%	30.8%	6.4%
D. 遊園地やテーマパークに行く	77.9%	2.2%	4.2%	9.6%	6.1%
E. ファミリーレストラン等で外食する	87.9%	0.8%	0.8%	4.0%	6.5%

問49 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

n=769

A~Iそれぞれについて、している場合は「1」を、していない場合はあてはまる理由を「2」~「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

	している	していない			無回答
		したくない	経済的にできない	その他の理由ではない	
A. 毎月お小遣いを渡す	6.5%	21.3%	0.7%	60.6%	10.9%
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	84.0%	1.8%	1.0%	4.8%	8.3%
C. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	55.5%	1.4%	2.2%	32.2%	8.6%
D. 学習塾(オンラインのものを含む。)に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	29.4%	7.4%	2.5%	51.6%	9.1%
E. 誕生日のお祝いをする	89.3%	0.0%	0.0%	2.5%	8.2%
F. 1年に1回程度家族旅行に行く	80.8%	0.7%	2.3%	7.8%	8.5%
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	84.3%	0.5%	0.0%	4.2%	11.1%
H. 子どもの園行事などに親が参加する	81.5%	0.3%	0.3%	8.1%	9.9%
I. 本や電子機器(スマートフォン、ゲーム機等)を買う	71.4%	4.6%	0.0%	16.1%	7.9%

問50 あなたのご家庭の家計について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 赤字であり、借金をしている	1.6%	4. 黒字であるが、貯金はしていない	7.7%
2. 赤字であり、貯金を切り崩している	4.2%	5. 黒字であり、定期的に貯金している	62.8%
3. 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	15.7%	6. その他()	1.8% 無回答 6.2%

問51 次のもののうち、**金銭的理由のために**あなたの世帯にないものはありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1. 子どもの年齢に合った本	0.7%	9. 電子レンジ	0.1%
2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	1.6%	10. 電話(固定電話・携帯電話を含む。)	0.4%
3. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	8.5%	11. インターネットにつながるパソコン	1.3%
4. 洗濯機	0.1%	12. 新聞の定期購読(ネット含む。)	7.5%
5. 炊飯器	0.3%	13. 世帯専用のおふろ	0.1%
6. 掃除機	0.3%	14. 世帯人数分のベッドまたは布団	2.1%
7. 暖房機器	0.3%	15. 急な出費のための貯金(5万円以上)	2.7%
8. 冷房機器	0.3%	16. あてはまるものはない	61.8% 無回答 21.1%

問52 あなたのご家庭で経済的な理由で以下のことができなかったことがありますか。

A~Iそれぞれについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

	1 まったく なかった	2 まれに あった	3 ときどき あった	4 よくあった	無回答
A. 衣類の購入	79.3%	4.9%	1.2%	0.5%	14.0%
B. 食料の購入	82.7%	2.6%	0.7%	0.7%	13.4%
C. 家賃の支払い	85.0%	0.4%	0.3%	0.4%	13.9%
D. 住宅ローンの支払い	84.0%	0.3%	0.1%	0.4%	15.2%
E. 電気料金の支払い	84.7%	0.4%	0.1%	0.5%	14.3%
F. ガス料金の支払い	84.7%	0.4%	0.1%	0.5%	14.3%
G. 水道料金の支払い	84.7%	0.4%	0.1%	0.5%	14.3%
H. 電話料金の支払い	84.1%	0.3%	0.1%	0.7%	14.8%
I. その他経費の支払い	81.5%	2.9%	0.8%	0.4%	14.4%

■ 最後にうかがいます。

問53 最後に、区の子育て支援施策に関するご意見、ご要望やご提案がありましたら、自由にご記入ください。

数多くの質問にご回答いただき、誠にありがとうございました。いただいた回答は、施策の方向性、事業の量や内容を検討する基礎とし、今後の区の子育て支援施策の充実に生かしてまいります。
 なお、調査結果は、令和6年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**令和5年11月17日（金）**までにご投函ください。

（切手を貼る必要はございません）

「子ども・子育て支援に関する実態調査」のご案内

～調査へのご協力をお願いします～

我が国では、少子高齢化が進行し続ける中、人口減少社会に移行しており、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。女性の社会進出を後押しする施策も増え、多様な働き方を選択できる社会を実現していく働き方改革も進められていますが、子育て世帯においてワーク・ライフ・バランスを実現することは容易ではありません。このような中、子どもの視点を忘れずに、子どもの人権を守り、子どもを第一に考えた子育て支援が大切です。

そうした中、文京区では、「文京区次世代育成支援行動計画」、「文京区子ども・子育て支援事業計画」、「文京区子どもの貧困対策計画」を一体のものとした「文京区子育て支援計画」（令和2年度～6年度）に基づき、安心して子育てができ、社会全体で子育てが支援され、子どもの健全な育成や貧困からの脱却等を図る文京区の実情を反映した子育て支援施策を推進しています。

このたび、区内に居住する子どもを養育する家庭の生活実態、ニーズ量、子育ての状況等を把握し、令和6年度に改定を予定する「文京区子育て支援計画」のための基礎資料等を得ることを目的として、「子ども・子育て支援に関する実態調査」を実施します。

今回ご回答いただきました内容は、子育てをしている当事者等が参加する「文京区子ども・子育て会議」等において審議し、計画に反映するとともに、今後の区の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくもので、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

質問数が多く、答えにくい質問には無理にお答えいただく必要はございませんが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年10月

文京区長 成澤廣修

にほんごが わからないときは こちらへ

この二次元コードに、アクセスしてください。

Please access this two-dimensional code.

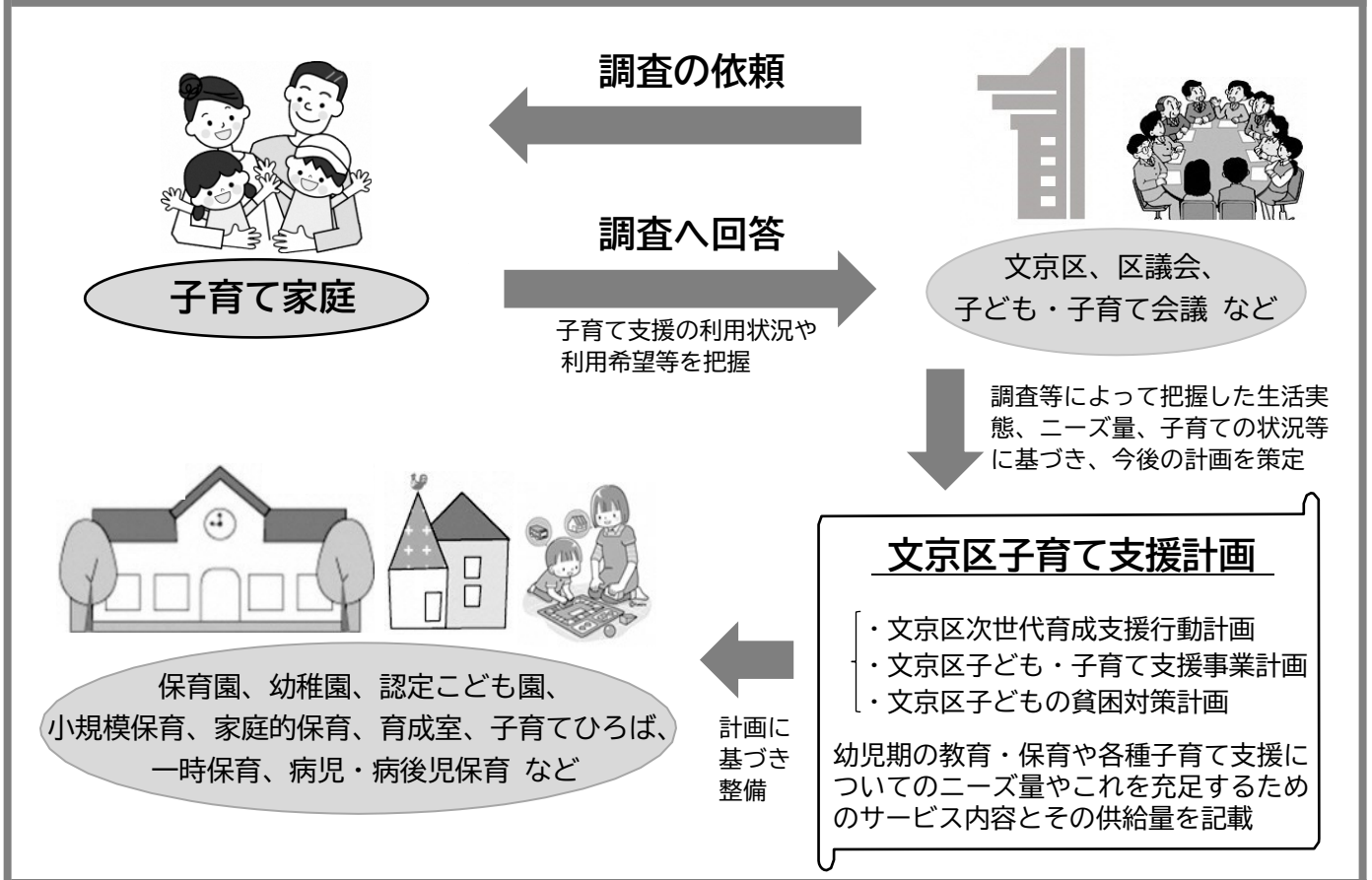
请访问此二维码。

請存取這個二維碼。





이 2차원 코드에 접속해주세요.



いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます。



次のような事項について、調査します。(例)

<p>【お子さんご家族について】 家族の状況、親子のコミュニケーション など</p> 	<p>【生活の状況について】 子育ての環境、保護者の就労状況、家計状況 など</p> 
<p>【施設等の利用状況について】 幼稚園・保育園等の利用、一時預かり等の利用、子ども食堂の利用 など</p> 	<p>【不安・悩みについて】 子育てのイメージ／不安・悩み、生活の安心・安全 など</p> 

■ お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=598)

1. 後楽 1.0%	6. 水道 2.0%	11. 音羽 1.7%	16. 弥生 0.8%
2. 春日 2.5%	7. 小日向 6.0%	12. 本郷 9.2%	17. 根津 3.3%
3. 小石川 11.4%	8. 大塚 6.5%	13. 湯島 2.0%	18. 千駄木 8.9%
4. 白山 8.5%	9. 関口 2.7%	14. 西片 4.2%	19. 本駒込 12.9%
5. 千石 10.2%	10. 目白台 3.2%	15. 向丘 2.7%	無回答 0.3%

問1-1 お住まいの丁目をご記入ください。

丁目

■ 封筒のあて名のお子さんご家族についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月と現在の学年等をご記入ください。

平成 年 月 生まれ

小学 年生 → 1. 区立 2. 私立 3. 国立 無回答
1つに○をつけてください。 89.3% 4.3% 4.7% 1.7%

(1年生 17.2% ・ 2年生 15.6% ・ 3年生 14.4% ・ 4年生 16.7% ・ 5年生 16.7% ・ 6年生 16.2% ・ 無回答 3.2%)

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。

また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

(あて名のお子さんを含めて)

きょうだい数 人 (1人 24.1% 2人 52.2% 3人 17.1% 4人 2.7% 5人 0.3% 6人以上 0.0% 無回答 3.7%)

(2人以上の方)

末子の生年月 平成・令和 年 月 生まれ

問4 あて名のお子さんについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=598)

1. 障害者手帳をもっている	2.0%
2. 障害者手帳はもっていないが、放課後等デイサービス等の障害福祉に関するサービスを利用している	2.2%
3. 障害者手帳はもっていないが、医療機関・専門機関等で療育の相談・治療等を受けている	3.5%
4. 当てはまるものがない	91.3% 無回答 1.0%

問5 あて名のお子さんを「子ども」としたとき、家族構成について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=598)

1. 父・母・子ども 89.5%	4. 父・母・子ども・祖父母等 4.5%	7. その他 0.5%
2. 母・子ども 3.7%	5. 母・子ども・祖父母等 0.7%	無回答 0.7%
3. 父・子ども 0.2%	6. 父・子ども・祖父母等 0.3%	

※「祖父母等」とは、「祖父と祖母」「祖父のみ」「祖母のみ」「祖父母以外の親族」のことをいいます。
 親族以外の方はその他を選んでください。

問6 介護が必要な高齢の同居親族がいますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=598)

1. 同居している高齢親族はいない	87.2%
2. 同居はしていないが、介護が必要な高齢親族がいる	6.9%
3. 高齢親族と同居しているが、ほとんど手をかす必要がない	3.2%
4. 高齢親族と同居しているが、必要なときに手をかす程度である	1.7%
5. 高齢親族と同居しており、毎日2～3時間程度の介護が必要である	0.2%
6. 高齢親族と同居しており、毎日4～6時間程度の介護が必要である	0.0%
7. 高齢親族と同居しており、ほぼずっと介護が必要である	0.0%
8. その他()	0.8%
	無回答 0.0%

問7 この調査票にご回答(記入)いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=598)

1. 父親	23.6%	2. 母親	74.7%	3. その他()	0.5%	無回答	1.2%
-------	-------	-------	-------	-----------	------	-----	------

問8 この調査票にご回答(記入)いただいている方の配偶関係についてお答えください。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=598)

1. 配偶者がいる	94.6%	2. 配偶者はいない	4.0%	無回答	1.3%
-----------	-------	------------	------	-----	------

問9 あて名のお子さんの子育て(教育を含む。)を主に 行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係であてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=598)

1. 父母ともに	60.9%	3. 主に母親	36.1%	5. その他()	0.5%
2. 主に父親	1.5%	4. 主に祖父母	0.0%	無回答	1.0%

■ 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問10 小学校以外で、あて名のお子さんの子育て(教育を含む。)に日常的に関わっている方はどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(n=598)

1. 父母ともに	72.4%	4. 祖父母	14.4%	7. 習い事・塾の指導者	35.8%
2. 父親	4.3%	5. 育成室(学童保育)の指導員	21.9%	8. 療育機関の先生	3.5%
3. 母親	20.9%	6. 児童館の職員	4.2%	9. その他()	4.0%
				無回答	1.0%

問11 あて名のお子さんの子育て(教育を含む。)に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。(n=598)

1. 家庭	93.1%	3. 小学校	82.3%	5. 児童館	2.2%	7. 療育機関	3.0%
2. 地域	24.9%	4. 育成室(学童保育)	18.9%	6. 習い事・塾	37.1%	8. その他()	1.5%
						無回答	0.8%

問12 あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(n=598)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	9.9%	} → 問12-1へ	
2. 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる	46.8%		
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	1.5%	} → 問12-2へ	
4. 緊急時もしくは用事の際には、みてもらえる友人・知人がいる	27.4%		
5. いずれもない	34.4%	→ 問13へ	
		無回答	0.8%

問12-1 問12で、「1.」または「2.」とお答えの方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、気掛かりなことはあるかお答えください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=339)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	42.8%	
2. 負担をかけていることが心苦しい	26.5%	
3. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	11.8%	
4. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	31.6%	
5. その他()	10.6%	
	無回答	3.8%

問12-2 問12で「3.」または「4.」とお答えの方にうかがいます。

知人・友人にお子さんをみてもらっている状況について、気掛かりなことはあるかお答えください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=173)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	27.7%	
2. 負担をかけていることが心苦しい	43.9%	
3. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	1.2%	
4. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	31.2%	
5. その他()	7.5%	
	無回答	7.5%

■ すべての方に、あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問13 保護者の現在の就労状況(自営業・家族従事者を含む。)をうかがいます。

(1) **父親** 【母子家庭の場合は記入は不要です。】

父親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=576)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	98.1%	} → (1)-1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	0.7%	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	0.3%	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	0.0%	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	0.9%	} → (1)-3へ
6. これまで就労したことがない	0.0%	

(1)父親で、「1.」~「4.」(就労している)とお答えの方にはうかがいます。

(1)-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む.)」、
「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり	<input type="text"/> 日	1日あたり(残業時間を含む.)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間		
家を出る時間	<input type="text"/>	時	から	帰宅時間	<input type="text"/>	時	まで

※ 時間は必ず24時間制でお答えください → 記入例) 8時 から 18時 まで

(1)父親で、「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)とお答えの方にはうかがいます。

(1)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=2)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	0.0%	
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	0.0%	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	100.0%	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい	0.0%	無回答 0.0%

(1)父親で、「5.」「6.」(現在就労していない・就労したことがない)とお答えの方にはうかがいます。

(1)-3 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、
該当する枠内には数字をご記入ください。

(n=5)

1. 就労の希望はない(子育てや家事などに専念したいなど)	40.0%	
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったところに就労したい	20.0%	
3. すぐにではないが、1年以内に就労したい	40.0%	
4. すぐにでも就労したい	0.0%	無回答 0.0%

希望する就労形態 →

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	33.3%	
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	66.7%	無回答 0.0%

→ 1週あたり 日 1日あたり 時間を希望

(2) **母親** 【父子家庭の場合は記入は不要です。】

母親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=593)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	49.1%	} → (2)-1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1.9%	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	24.1%	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0.2%	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	22.6%	} → (2)-3へ
6. これまで就労したことがない	2.2%	
		無回答 0.0%

(2)母親で、「1.」~「4.」(就労している)とお答えの方にはうかがいます。

(2)-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む.)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり	<input type="text"/>	日	1日あたり(残業時間を含む.)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間			
家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	から	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	まで

※ 時間は必ず24時間制でお答えください → 記入例) 8時 から 18時 まで

(2) 母親で、「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)とお答えの方にはうかがいます。

(2)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=144)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	13.2%	
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	22.9%	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	61.1%	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい	2.1%	無回答 0.7%

(2) 母親で、「5.」「6.」(現在就労していない・就労したことがない)とお答えの方にはうかがいます。

(2)-3 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号 それぞれ1つに○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。

(n=147)

1. 就労の希望はない(子育てや家事などに専念したいなど)	37.4%	
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったときに就労したい	36.1%	
3. すぐにではないが、1年以内に就労したい	18.4%	
4. すぐにでも就労したい	8.2%	無回答 0.0%

希望する就労形態 ⇒

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	14.1%	
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	85.9%	無回答 0.0%

↳ 1週あたり 日 1日あたり 時間を希望

■ すべての方に、子育てのイメージや不安・悩みなどについてうかがいます。

問14 あなたは子育てでどのようなときに楽しいと感じますか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=598)

1. 子育て全般が楽しい		33.4%
2. 子どもといると楽しく幸せな気分になる		64.9%
3. 子どもと一緒に遊んだり何かしたりできることがうれしい		66.2%
4. 子どもが自分を頼ったり甘えたりしてくれることがうれしい		55.2%
5. 子育てにより自分も成長していると感じる		57.0%
6. 子どもがいると家庭が明るくなる		73.2%
7. その他()		3.3%
8. 特に楽しいことはない	1.8%	無回答 1.0%

問15 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=598)

1. 自分の時間がとれず、自由がない		40.6%
2. 子育てにおわれ、社会から孤立するようになる		9.9%
3. 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい		43.5%
4. 子育てと親等の介護が同時に発生している		5.4%
5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違う		13.9%
6. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない		14.4%
7. 子どもの学習・授業の進度のことについて心配である		31.6%
8. 子どもの進路や進学のことについて心配である		57.9%
9. 子どもの友人関係のことについて心配である		28.9%
10. 子どもの健康、性格や癖などについて心配である		33.4%
11. 子どもの性別に関することについて心配である		2.0%
12. 子育て(教育を含む。)に伴う経済的な負担が大きいと感じる		38.0%
13. 子どもにかまっていられないことが多い		26.1%
14. 子どもの成長や発達のことについて心配である		20.4%
15. 子どもが学校等、家の外に出たがらない		3.7%
16. その他()		3.2%
17. 特に不安や悩みはない	8.0%	無回答 1.2%

問16 子育て(教育を含む。)で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=598)

1. いる/ある	69.2%	2. いない/ない	30.8%	→ 問17へ	無回答	0.0%
----------	-------	-----------	-------	--------	-----	------

問16-1 問16で、「1.」とお答えの方にうかがいます。

気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=414)

1. 配偶者・パートナー	78.0%	10. 塾・習い事の先生	15.0%
2. 祖父母等の親族	54.1%	11. 民生委員・児童委員	0.2%
3. 友人や知人	65.7%	12. 療育機関の先生	4.6%
4. 近所の人	7.0%	13. かかりつけの医師	7.7%
5. 職場の人	15.7%	14. 文京区の子育て関連担当窓口 (子ども家庭支援センター、教育センターなど)	7.2%
6. 子育て支援施設(児童館等)	1.7%	15. 文京区男女平等センター相談室	0.0%
7. 育成室(学童保育)職員・指導員	9.4%	16. その他()	1.9%
8. 小学校の先生	18.4%	無回答	1.0%
9. スクールカウンセラー	5.8%		

すべての方にうかがいます。

問17 周囲の身近な人、行政担当者などからどのようなサポートがあればよいと思いますか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

(○は3つまで)

○は 3つ まで	1. 近所の人にちょっとした頼みごとをお願いできるとよい	16.6%
	2. 子どもの問題行動や子どもが迷惑行為をした場合は、遠慮せず教えてほしい	29.1%
	3. 屋外で子どもがひとりの(そばに保護者がいない)ときに、危なくないか気にかけてほしい	44.5%
	4. 行政の相談に応じる人の専門性を高めてほしい	14.2%
	5. 子育ての悩みや不安を気軽に相談できる育児の経験者を紹介してほしい	7.5%
	6. 職場の人に、子どもの病気など緊急時に仕事を休むことを理解してほしい	16.7%
	7. 一時的に子どもを遊ばせる場所(親のリフレッシュや買い物など)	33.1%
	8. 自転車の運転など交通ルールを守ってほしい	21.6%
	9. その他()	6.7%
	10. 特になし	9.5%
	無回答	2.2%

問18 あなたは、児童虐待や不適切な子育てを防止するために、どうすれば効果的だと思いますか。
もっとも効果的だと思う答えの番号1つに○をつけてください。

(n=598)

1. 相談窓口の充実(子ども家庭支援センターなど)	4.5%	
2. 子育てを支援する施策の充実(一時預かりやホームヘルプサービスなど)	25.9%	
3. 関係機関のネットワークの強化(区・児童相談所・学校・警察・医療機関など)	27.1%	
4. 虐待や不適切な子育てを防止する親力向上講座の開催	1.3%	
5. 親同士の集まりでの経験談や意見交換などの自立的な活動の充実	5.7%	
6. 児童虐待防止啓発活動	0.7%	
7. 子育てしやすい地域社会の形成	26.3%	
8. その他()	6.7%	
	無回答	1.8%

■ すべての方に、子育て支援サービスについてうかがいます。

問19 次のサービスで、知っているもの、利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。

(n=598)

①～⑳の事業ごとに、【A】【B】【C】のそれぞれについて、「1.はい」「2.いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A】	【B】	【C】
知っている	利用したことがある	今後利用したい

No.	サービス名	【A】 知っている			【B】 利用したことがある			【C】 今後利用したい			
		1. はい	2. いいえ	無回答	1. はい	2. いいえ	無回答	1. はい	2. いいえ	無回答	
①	母親学級、両親学級	82.6%	14.2%	3.2%	49.5%	43.8%	6.7%				
②	保健サービスセンターの親子交流の場や相談サービス	65.6%	31.3%	3.2%	26.1%	66.6%	7.4%	23.6%	63.4%	13.0%	
③	子どもの発達と教育の相談をする総合相談室(教育センター)	63.9%	30.8%	5.4%	29.1%	69.7%	8.4%	41.0%	48.7%	10.4%	
④	保育園や幼稚園の園庭等の開放	72.1%	23.2%	4.7%	44.0%	49.5%	6.5%				
⑤	身近な地域における親子の交流の場	A. 児童館(乳幼児と保護者の居場所)			83.1%	10.7%	6.2%	58.9%	34.3%	6.9%	
		B. 子育てひろば			74.9%	18.2%	6.9%	48.3%	44.8%	6.9%	
		C. ぴよぴよひろば(子ども家庭支援センター内)			68.1%	27.6%	4.3%	38.0%	55.9%	6.2%	
⑥	子ども家庭支援センターの相談事業	47.2%	46.7%	6.2%	8.5%	83.3%	8.2%	29.4%	57.4%	13.2%	
⑦	子育て応援メールマガジン(きずなメール)	29.8%	63.2%	7.0%	14.9%	76.8%	8.4%				
⑧	子育てガイド(区が発行する子育て支援情報誌)	51.2%	42.5%	6.4%	28.9%	64.2%	6.9%	40.8%	48.0%	11.2%	
⑨	ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	70.9%	21.4%	7.7%	16.4%	74.9%	8.7%	32.1%	57.2%	10.7%	
⑩	ベビーシッター利用料助成制度	62.5%	31.4%	6.0%	15.9%	76.4%	7.7%	28.8%	60.9%	10.4%	
⑪	ひとり親家庭子育て訪問支援券(ベビーシッター)	34.6%	58.4%	7.0%	1.5%	89.8%	8.7%	11.0%	76.9%	12.0%	
⑫	おうち家事・育児サポート事業	34.6%	59.7%	5.7%	3.8%	87.6%	8.5%				
⑬	病児・病後児保育事業	66.2%	28.3%	5.5%	15.2%	77.4%	7.4%	28.3%	61.5%	10.2%	
⑭	一時保育事業(キッズルーム)	75.4%	19.4%	5.2%	28.8%	63.4%	7.9%				
⑮	緊急一時・リフレッシュ一時保育事業(保育園)	62.0%	31.4%	6.5%	19.1%	73.6%	7.4%				
⑯	ショートステイ・トワイライトステイ事業	33.6%	58.2%	8.2%	1.5%	87.6%	10.9%	19.1%	69.2%	11.7%	
⑰	児童館(放課後の居場所)	91.5%	3.7%	4.8%	59.4%	34.8%	5.9%	61.4%	29.6%	9.0%	
⑱	区立の育成室(学童保育)	88.0%	6.0%	6.0%	38.3%	54.2%	7.5%	39.5%	50.3%	10.2%	
⑲	都型学童クラブ(ベネッセ学童クラブ・テンダーラビング学童クラブ・After Schoolミライン)	69.7%	24.1%	6.2%	9.5%	81.8%	8.7%	27.6%	60.5%	11.9%	
⑳	民間の学童保育サービス	79.8%	14.0%	6.2%	16.7%	76.1%	7.2%	29.8%	58.5%	11.7%	
㉑	放課後全児童向け事業(アクティなど)	84.9%	7.7%	7.4%	56.5%	38.8%	4.7%	62.4%	28.9%	8.7%	
㉒	民生委員・児童委員への子育てや児童問題の相談・援助	45.0%	47.8%	7.2%	1.3%	90.0%	8.7%	20.2%	68.4%	11.4%	

問20 子ども食堂(地域の子どもたちに食事の提供を通じた居場所づくり)について、知っていますか。また、利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=598)

1. 子ども食堂を利用している		6.0%
2. 子ども食堂を知っているし、利用したい		7.5%
3. 子ども食堂を知っていたが、利用の予定はない		69.2%
4. 子ども食堂を知らなかったが、利用したい		5.4%
5. 子ども食堂を知らなかったが、利用の予定もない	10.2%	無回答 1.7%

問21 子育て支援に関する施設・サービスについて、有効だと思うものは何ですか。あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

(n=598)

○を3つまで

1. 子育て支援に関する情報提供(区報、子育てガイド、子育て応援メールマガジンなど)	18.6%
2. 子どもの健康や成長を支える保健医療体制の整備	21.1%
3. 相談支援体制の整備(子育ての不安や悩み・いじめや虐待防止など)	17.9%
4. 地域での相互扶助体制の整備(親同士の助け合い活動など)	6.5%
5. 育成室(学童保育)・児童館などの放課後・休日に児童が利用できる施設の充実	37.5%
6. 土日や夜間など定期的に利用できる保育サービスの充実	15.9%
7. 男性も女性も仕事と子育てが両立しやすい環境の整備	26.6%
8. 確かな学力、豊かな人間性、体力を育成する教育環境の整備	22.9%
9. 子どもたちだけで安心して遊ぶことができる公園や児童遊園の整備	43.8%
10. 非行防止等、子どもが健全に育つための対策の充実	2.8%
11. 子ども連れでも活動しやすいまちづくり	11.4%
12. 子育て家庭のための住宅施策の推進	7.5%
13. 障害のある子どもに対する支援の充実	7.0%
14. 経済的援助(児童手当の給付や利用料減免など)	30.1%
15. その他()	4.2%
16. 特にない	0.8% 無回答 2.3%

問22 区の子育て支援サービスについての情報を何によって入手(収集)していますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=598)

1. 区報「ぶんきょう」	74.1%	7. 子ども家庭支援センター	1.2%
2. 区のホームページ	41.3%	8. 保健サービスセンター	0.5%
3. 区のLINE、Facebook、X(旧Twitter)	23.7%	9. 教育センター	5.2%
4. 小学校	64.5%	10. 担当部署に問い合わせまたは直接来所	2.2%
5. 児童館	12.4%	11. 友人・知人	21.2%
6. 育成室(学童保育)	15.2%	12. その他()	2.5% 無回答 3.2%

問22-1 問22で選んだもののうち、入手(収集)しやすい方法について、あてはまる答えの番号3つまでに○をつけてください。

(n=579)

1. 区報「ぶんきょう」	63.9%	7. 子ども家庭支援センター	0.0%
2. 区のホームページ	26.1%	8. 保健サービスセンター	0.2%
3. 区のLINE、Facebook、X(旧Twitter)	22.5%	9. 教育センター	2.1%
4. 小学校	53.2%	10. 担当部署に問い合わせまたは直接来所	1.0%
5. 児童館	4.5%	11. 友人・知人	13.0%
6. 育成室(学童保育)	8.3%	12. その他()	0.9% 無回答 2.2%

■ すべての方に、希望する子どもの人数についてうかがいます。

問23 「希望する子どもの人数」と「実際に持つことができると思う子どもの人数」について、それぞれあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(1) 希望する子どもの人数						(n=598)
1. 1人	7.2%	3. 3人	42.1%	5. 5人	1.2%	
2. 2人	39.0%	4. 4人	7.2%	6. その他()人	0.8%	無回答 2.5%

(2) 実際に持つことができると思う子どもの人数						(n=598)
1. 1人	20.7%	3. 3人	18.9%	5. 5人	0.7%	
2. 2人	54.7%	4. 4人	2.0%	6. その他()人	0.7%	無回答 2.3%

問23-1 問23で、「(2)実際に持つことができると思う子どもの人数」が「(1)希望する子どもの人数」より少なかった方にうかがいます。

(該当しない方は、問24へお進みください)

少なかったのはどうしてですか。

次のうち、少なかった理由にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

また、最大の理由の番号1つに○をつけてください。

(1)	(2)
あてはまる理由	最大の理由
(n=277)	(n=277)

	(1) あてはまる理由 (n=277)	(2) 最大の理由 (n=277)
1. 育児の体力的な問題	49.8%	6.9%
2. 育児の経済的負担が大きい	67.1%	28.5%
3. 育児の心理的負担が大きい	28.2%	5.1%
4. 年齢的な理由で難しい	57.0%	26.7%
5. やりたいことができなくなる	15.2%	0.4%
6. 仕事と家庭の両立が難しい	44.4%	9.7%
7. 教育をめぐる状況に対して不安	17.0%	0.0%
8. 将来の教育費の負担が不安	52.3%	15.5%
9. 家が狭い	37.2%	3.2%
10. その他()	5.8%	3.2%
無回答	0.4%	0.7%

■ すべての方に、あて名のお子さんの生活の安全・安心についてうかがいます。

問24 あなたの子どもが、何らかの事故や事件に巻き込まれるかもしれないという不安を感じますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけください。 (n=598)

1. 強く感じる	28.1%	} → 問24-1へ	} → 問25へ	無回答 0.0%
2. 少し感じる	53.7%			
3. あまり感じない	16.6%			
4. まったく感じない	1.7%			

問24-1 問24で、「1.」または「2.」とお答えの方にうかがいます。

そう感じる理由は何ですか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。 (n=489)

○は3つまで

1. 近所に暗く人気のない道や場所があるから	17.2%	} → 問25へ	無回答 1.2%
2. 子どもが塾や習い事などで遅く帰ることがあるから	46.0%		
3. 子どもが一人で外出する際に、事故や事件にあうかもしれないから	62.6%		
4. 近所の住民の顔をほとんど知らないから	6.1%		
5. テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから	50.1%		
6. 近所で子どもが巻き込まれた事故や事件が発生したから	3.5%		
7. 近所に交通量の多い道路があるから	33.1%		
8. 近所に見通しの悪い道が多いから	11.2%		
9. 近所に歩道や信号がない道路があるから	4.3%		
10. 通学が遠いから	2.2%		
11. その他()	7.6%		

すべての方にうかがいます。

問25 子どもの安全や犯罪防止についての情報を何によって入手(収集)していますか。(1)(2)について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

	(1) 不審者情報 (n=598)	(2) 日常的な予防情報 (n=598)
1. 新聞	8.9%	20.2%
2. チラシ・パンフレット・小冊子など	4.0%	13.5%
3. テレビ	16.9%	31.1%
4. ラジオ	2.3%	7.2%
5. ホームページ、ブログなど	10.4%	16.6%
6. フェイスブックなどのSNS	13.9%	15.6%
7. 区からのメール配信(「文の京」安心・防災メール)	40.1%	25.3%
8. 小学校・育成室等からのメール配信(フェアキャスト等)	73.9%	37.8%
9. 警視庁からのメール配信(メールけいしちょう)	29.1%	17.9%
10. その他()	3.7%	4.5%
11. 特に活用している情報ツールはない	3.0%	6.7%
無回答	8.0%	20.7%

■ すべての方に、あて名のお子さんの放課後を過ごす場所についてうかがいます。

問26 放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数を数字でご記入ください。
 また、「5.」～「7.」の場合には、利用時間も数字でご記入ください。
 時間は、必ず「(例)18時」のように24時間制でご記入ください。

(n=598)

1. 自宅	67.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	6.9%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	70.1%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館(育成室を除く。)	10.9%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 区立の育成室〔学童保育〕 〔現在は、小学校低学年(1～3年生)を対象としています。 なお、要配慮児は6年生までを対象としています。〕	18.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
6. 都型学童クラブ (ベネッセ学童クラブ・テンダーラビング学童クラブ・ After Schoolミライ)	3.8%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
7. 民間の学童保育サービス	7.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
8. 放課後全児童向け事業(アクティなど)	21.1%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	0.0%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
10. 療育機関(児童発達支援、放課後デイサービスなど)	3.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
11. その他(図書館、公園など)	16.7%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
無回答	3.3%	

問26で、「5.」～「7.」とお答えの方にうかがいます。

(該当しない方は、問26-2へお進みください)

問26-1 今後、区立の育成室や学童保育サービスの利用を希望する時間について、
 数字でご記入ください。時間は、必ず「(例)18時」のように24時間制でご記入ください。

⇒ 下校時から 時まで

問26で、「5.」～「7.」を「利用していない」とお答えの方(○をつけていない方)のうち、
 小学校低学年(1～3年生)のお子さんの保護者の方にうかがいます。

(該当しない方は、問27へお進みください)

問26-2 区立の育成室や学童保育サービスを利用していない理由について、
 もっともあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=138)

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、

- | | |
|--|----------|
| 1. 現在就労していないから | 51.4% |
| 2. 就労しているが、子どもの祖父母や親戚の人がみているから | 5.1% |
| 3. 就労しているが、近所の人や父母の友人・知人がみているから | 0.0% |
| 4. 就労しているが、育成室(学童保育)を知らなかったから | 0.7% |
| 5. 就労しており、利用を希望しているが、近くに育成室(学童保育)がないから | 0.0% |
| 6. 就労しており、利用を希望しているが、育成室(学童保育)に空きがないから | 2.9% |
| 7. 就労しており、利用を希望しているが、育成室(学童保育)の開所時間が短いから | 0.0% |
| 8. 就労しており、利用を希望しているが、利用料がかかるから | 2.2% |
| 9. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから | 6.5% |
| 10. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから | 8.0% |
| 11. 就労しているが、他の施設に預けているから | 2.2% |
| 12. その他() | 16.7% |
| | 無回答 4.3% |

■ すべての方に、あて名のお子さんの放課後を過ごす場所の希望についてうかがいます。

問27 小学校高学年(4～6年生)のとき、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ご
 させたいと思いますか。

- 現在、あて名のお子さんが小学校低学年(1～3年生)の場合は、将来についてお聞かせください。
- 現在、あて名のお子さんが小学校高学年(4～6年生)の場合は、希望についてお聞かせください。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。
 また、「5.」～「7.」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

時間は、必ず「(例)18時」のように24時間制でご記入ください。

なお、事業によって、利用には一定の利用者負担が発生します。

(n=598)

1. 自宅	61.5%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	6.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	74.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館(育成室を除く。)	16.7%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 区立の育成室〔学童保育〕 〔現在は、小学校低学年(1～3年生)を対象としています。 なお、要配慮児は6年生までを対象としています。〕	22.6%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
6. 都型学童クラブ (ベネッセ学童クラブ・テンダーラビング学童クラブ・ After Schoolミライン)	6.0%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
7. 民間の学童保育サービス	8.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
8. 放課後全児童向け事業(アクティなど)	24.9%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	0.3%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
10. 療育機関(児童発達支援、放課後デイサービスなど)	2.5%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
11. その他(図書館、公園など)	26.9%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
無回答	7.0%	

問27-1 問27で、「5.」～「7.」とお答えの方（○をつけた方）にうかがいます。

（該当しない方は、問27-2へお進みください）

今後、区立の育成室や学童保育サービスを利用したい理由について、
もっともあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=181)

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1. 就労しているから | 86.7% |
| 2. 就労予定がある／求職中であるから | 2.8% |
| 3. そのうち就労したいと考えているから | 2.8% |
| 4. 家族・親族などを介護しなければならないから | 0.6% |
| 5. 病気や障害があるから | 0.6% |
| 6. 学生である／就学したいから | 0.0% |
| 7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたいから | 2.8% |
| 8. その他() | 3.3% |
| | 無回答 0.6% |

すべての方にうかがいます。

問27-2 土曜日と日曜日・祝日に、定期的な「区立の育成室(学童保育)」の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を**数字でご記入**ください。

なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※現在は、小学校低学年(1～3年生)を対象(要配慮児は6年生まで対象)としており、
 土曜日は8時30分から17時までの時間帯で利用できます。また、日曜日・祝日の利用はできません。

(1) 土曜日

(n=598)

- | | | | | |
|-------------------------|-------|-----|------|---|
| 1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい | 10.2% | } | → | 利用したい時間帯(24時間制で記入) |
| 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい | 9.7% | | | <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで |
| 3. 利用希望はない | 80.1% | 無回答 | 0.0% | (例)9時から18時まで |

(2) 日曜日・祝日

(n=598)

- | | | | | |
|-------------------------|-------|-----|------|---|
| 1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい | 7.7% | } | → | 利用したい時間帯(24時間制で記入) |
| 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい | 8.0% | | | <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで |
| 3. 利用希望はない | 84.3% | 無回答 | 0.0% | (例)9時から18時まで |

問27-3 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、「区立の育成室(学童保育)」の利用希望はありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。
また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。
なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 現在、育成室の夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用は、
小学校低学年(1～3年生)を対象(要配慮児は6年生まで対象)としており、
8時15分から18時30分まで(土曜日は8時30分から17時まで)の時間帯で利用できます。

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中		(n=598)
1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	16.1%	利用したい時間帯(24時間制で記入) <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで (例)9時から18時まで
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	37.3%	
3. 利用希望はない	46.7%	
	無回答	0.0%

■ すべての方に、あて名のお子さんの児童館の利用についてうかがいます。

問28 児童館(育成室としての利用は除く。)を利用していますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=598)

1. ほぼ毎日利用している	2.8%	→ 問28-1へ	無回答 0.0%
2. 週に2、3回程度利用している	4.3%		
3. 週に1回程度利用している	4.7%		
4. 月に1、2回程度利用している	9.5%		
5. 以前利用していたが、現在は利用していない	19.1%	→ 問28-2へ	
6. ほとんど利用していない	59.5%		

問28-1 問28で、「1.」～「4.」とお答えの方にうかがいます。
児童館として充実したらよいと考える活動にどのようなものがありますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=128)

1. 小学生向けの体を動かす遊び(ダンス・スポーツ活動)や行事	87.5%	
2. 小学生向けの文化的活動(音楽、工作など)や行事	63.3%	
3. 中高生の居場所づくり	25.8%	
4. 幼児クラブ活動、子育てサロンなど	7.0%	
5. 子育て相談	8.6%	
6. 児童・生徒と乳幼児や高齢者との交流	12.5%	
7. その他()	2.3%	無回答 3.1%

→ 問29へ

問28-2 問28で、「5.」または「6.」とお答えの方にうかがいます。
児童館を利用していない理由について、次の中からあてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=470)

1. 習い事等で、子どもが利用する時間がないから	47.2%	
2. 他に遊んでいる場所があり、児童館を利用する必要がないから	29.1%	
3. 近くに児童館がなく、利用するのが困難だから	7.9%	
4. 児童館の行っている活動に魅力を感じないから	12.1%	
5. その他()	22.3%	無回答 3.6%

すべての方にかがいます。

問29 今後、児童館を利用させたいと思いますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。

(n=598)

- | | | | |
|--|-------|-----|------|
| 1. 今後、子どもに利用させたい ⇒ 1週あたり <input type="text"/> 日くらい | 40.8% | | |
| 2. 今後、子どもに利用させたいとは思わない | 54.8% | 無回答 | 4.3% |

■ あて名のお子さんが小学1年生から3年生の方に、病児・病後児の対応についてうかがいます。

→ 該当しない方は問31へお進みください。

問30 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=282)

- | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|-----|------|
| 1. ある | 86.5% | 2. ない | 13.5% | → 問31へ | 無回答 | 0.0% |
|-------|-------|-------|-------|--------|-----|------|

問30-1 問30で、「1.」とお答えの方にかがいます。

この1年間にお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法としてあてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ日数も数字でご記入ください。

※ 半日程度の対応の場合も1日としてカウントしてください。

	1年間の対処方法 (n=245)	1年間の日数
問30-2へ ←	1. 父親が仕事を休んで子どもを見た	42.4% <input type="text"/> 日
	2. 母親が仕事を休んで子どもを見た	59.6% <input type="text"/> 日
問30-5へ ←	3. 区の病児・病後児の保育施設を利用した	1.6% <input type="text"/> 日
	4. 父親または母親のうち就労してない方が子どもを見た	26.9% <input type="text"/> 日
	5. 親族・知人に子どもを看てもらった	12.7% <input type="text"/> 日
問30-6へ ←	6. 民間の病児・病後児の保育施設を利用した	1.6% <input type="text"/> 日
	7. ベビーシッターによる病児・病後児の保育を利用した	2.4% <input type="text"/> 日
	8. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)を利用した	0.0% <input type="text"/> 日
	9. 子どもだけで留守番させた	7.3% <input type="text"/> 日
	10. その他()	2.9% <input type="text"/> 日
	無回答	14.7%

問30-1で、「1.」または「2.」とお答えの方にかがいます。

問30-2 父親または母親が仕事を休んだ際、「病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医等の受診が必要となります。

(n=168)

- | | | | |
|-----------------------|-------|----------------------------------|----------|
| 1. 病児・病後児保育施設を利用したかった | 31.5% | ⇒ 1年間に <input type="text"/> 日くらい | → 問30-3へ |
| 2. 利用したいと思わなかった | 68.5% | → 問30-4へ | 無回答 0.0% |

問30-3 問30-2で、「1.」とお答えの方にはうかがいます。

子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=53)

1. 他の施設(例:育成室・児童館等)に併設した施設で子どもを保育する事業	54.7%
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	73.6%
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)	18.9%
4. その他()	3.8% 無回答 3.8%

問30-4 問30-2で、「2.」とお答えの方にはうかがいます。

そう思われる理由について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=115)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	28.7%	5. 利用料の負担	12.2%
2. 事業の質に不安がある	8.7%	6. 親が仕事を休んで対応する	41.7%
3. 近くに病児・病後児のための保育施設がない	19.1%	7. 事業の内容や施設の様子がわからず不安	14.8%
4. 事業の利用可能時間・曜日がよくない	8.7%	8. その他()	33.0% 無回答 1.7%

問30-1で、「3.」とお答えの方にはうかがいます。

問30-5 区の病児・病後児保育施設を利用して、感じたことについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(n=4)

1. 事業の質に不安がある	0.0%	5. 予約手続きが煩雑である	25.0%
2. 近くに病児・病後児のための保育施設がない	25.0%	6. 利用料の負担	0.0%
3. 事業の利用可能時間・曜日がよくない	0.0%	7. あてはまるものがない	0.0%
4. 空きがないなど利用したい時に利用しにくい	100.0%	8. その他()	0.0% 無回答 0.0%

問30-1で、「3.」～「10.」のいずれかにお答えの方にはうかがいます。

(該当しない方は、問31へお進みください)

問30-6 その際、「父親あるいは母親のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけ、問30-1の「3.」～「10.」の日数のうち、
 仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

(○は1つ)

1. 仕事を休んで見たかった	48.1%	⇒ 1年間に	<input type="text"/> 日くらい	} 問31へ
2. 仕事を休みたいとは思わなかった	24.5%			
3. 仕事を休んで看ることは非常に難しかった	27.4%			

問30-7 問30-6で、「3.」とお答えの方にはうかがいます。

そう思われる理由についてあてはまる答えの番号をすべてに○をつけてください。

(n=106)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	65.5%
2. 自営業なので休めない	13.8%
3. 休暇日数が足りないので休めない	0.0%
4. その他()	34.5% 無回答 0.0%

■ すべての方に、あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてうかがいます。

問31 あて名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む。))の育児疲れや育児不安、病気などにより、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。ショートステイ(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を数字でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

n=598

1. 利用したい 18.2% ↓ ア. 冠婚葬祭 ↓ イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安 ↓ ウ. 保護者や家族の病気 ↓ エ. その他()	計		泊	
	ア. 冠婚葬祭	37.6%		泊
	イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	51.4%		泊
	ウ. 保護者や家族の病気	60.6%		泊
	エ. その他()	10.1%	無回答 10.1%	
2. 利用希望はない 81.8%	→ 問32へ	無回答 0.0%		

■ すべての方に、住環境についてうかがいます。

問32 現在のお住まいはどちらになりますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=326)

1. 賃貸住宅(一戸建)	7.9%	3. 持家(一戸建)	24.1%	5. その他()	1.0%
2. 賃貸住宅(集合住宅)	33.1%	4. 持家(集合住宅)	32.6%	無回答	1.3%

問33 子育てをする上で住宅や住宅の周りの環境について、どのような点が重要だと思いますか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

(n=598)

○は3つまで	1. 住宅の広さ・間取り	54.5%	7. 幼稚園・小学校などの通園・通学の利便性	46.2%
	2. 安全性や遮音性などの住宅の居住性能	35.6%	8. 通勤の利便性	17.4%
	3. 子どもの遊び場・公園などの利便性	29.3%	9. 小児科などの医療機関への利便性	9.2%
	4. 周辺の道路の歩行時の安全性	22.6%	10. 親戚や近隣の人たちとのつながり	6.5%
	5. 静かな環境や治安のよさ	55.0%	11. その他()	2.2%
	6. 子どもを預かってくれる託児・保育所などの利便性	4.3%	12. 特にない	0.2%
			無回答	2.3%

すべての方にかがいます。

問34 子どもの遊び場として、主にどのような場所を利用していますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

(n=598)

1. 公園・児童遊園	82.1%	} 問34-2へ	無回答 2.2%
2. 小学校の校庭開放等	25.9%		
3. 児童館、育成室など身近な地域における施設	26.9%		
4. 自宅内	71.4%		
5. 子どもの友人宅内	23.2%		
6. 自宅や子どもの友人宅の近所(屋外)	18.4%		
7. その他()	6.5%		

問34-1 問34で、「1.」とお答えの方にかがいます。

公園・児童遊園について、どの程度利用していますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけください。

(n=598)

1. ほぼ毎日	5.5%	無回答 2.4%
2. 週に2~3回程度	32.0%	
3. 週に1回程度	34.4%	
4. 月に1~2回程度	25.7%	

→ 問35へ

問34-2 問34で、「1.」に○をつけなかった方にかがいます。

公園・児童遊園を利用していない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

(n=598)

1. 近隣に公園・児童遊園がない	15.9%	無回答 11.2%
2. 近隣の公園・児童遊園が狭い	30.8%	
3. 公園・児童遊園に魅力ある施設がない	31.8%	
4. 公園・児童遊園に緑や花が少ない	0.9%	
5. 公園のトイレが利用しづらい	5.6%	
6. 他の公園利用者のマナーが悪く遊びづらい	6.5%	
7. その他()	27.1%	

■ すべての方に、あて名のお子さんの運動の状況についてうかがいます。

問35 あて名のお子さんは、学校の授業以外で、日頃の程度運動で身体を動かしていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけください。

(n=598)

- | | | | | |
|--------------|-------|----------|-----|------|
| 1. ほぼ毎日 | 12.2% | | | |
| 2. 週に2~3回程度 | 39.5% | | | |
| 3. 週に1回程度 | 22.6% | | | |
| 4. 月に1~2回程度 | 5.9% | | | |
| 5. ほとんどしていない | 19.9% | → 問35-2へ | 無回答 | 0.0% |

問35-1 問35で、「1.」~「4.」とお答えの方にうかがいます。

運動をする理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

(n=479)

- | | | | |
|--------------------------|-------|-----|------|
| 1. 健康や体力づくりのため | 63.9% | | |
| 2. 運動能力の向上のため | 44.7% | | |
| 3. 運動不足解消のため | 33.2% | | |
| 4. 気持ちを落ち着かせたり、ストレス発散のため | 27.6% | | |
| 5. 精神面を鍛えたいから | 15.0% | | |
| 6. 人間関係を学んでもらいたいから | 16.5% | | |
| 7. 本人が自発的にやりたいと言ったため | 40.3% | | |
| 8. その他() | 2.5% | 無回答 | 2.7% |

→ 問36へ

問35-2は、問35で「5. ほとんどしていない」とお答えの方にうかがいます。

問35-2 運動をしていない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

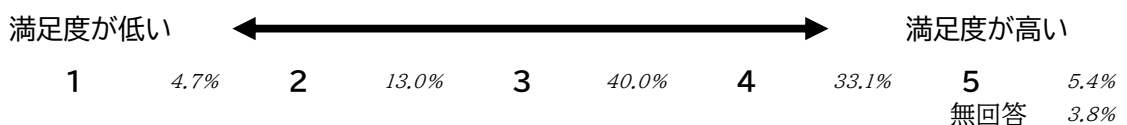
(n=119)

- | | | | |
|-------------------------|-------|-----|------|
| 1. 本人が運動に興味がないから | 38.7% | | |
| 2. 近隣に施設や場所がないから | 16.8% | | |
| 3. 指導者がいないから | 1.7% | | |
| 4. 魅力的なスポーツ事業がないから | 7.6% | | |
| 5. 運動に関する情報がないから | 3.4% | | |
| 6. 勉強との両立が難しいから・時間がないから | 47.1% | | |
| 7. お金がかかるから | 7.6% | | |
| 8. 特に理由はない | 6.7% | | |
| 9. その他() | 10.1% | 無回答 | 0.8% |

■ すべての方に、子育ての環境や支援への満足度についてうかがいます。

問36 区の子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

(n=598)



■ すべての方に、お子さんとの体験や、経済的なことについてうかがいます。

問37 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

(n=598)

A~Eそれぞれについて、ある場合は「1」を、ない場合はあてはまる理由を「2」~「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

ある	ない			無回答
	金銭的な理由	時間の制約	その他の理由	

	ある	金銭的な理由	時間の制約	その他の理由	無回答
A. アウトドア(海水浴やキャンプ等)に行く	64.7%	3.2%	15.7%	12.4%	4.0%
B. 博物館・科学館・美術館等に行く	73.7%	1.5%	9.9%	10.4%	4.5%
C. スポーツ観戦・劇場・映画館に行く	78.1%	2.7%	8.2%	6.0%	5.0%
D. 遊園地やテーマパークに行く	78.8%	5.0%	6.7%	4.8%	4.7%
E. ファミリーレストラン等で外食する	91.3%	1.5%	0.7%	1.3%	5.2%

問38 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

(n=598)

A~Iそれぞれについて、している場合は「1」を、していない場合はあてはまる理由を「2」~「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

している	していない			無回答
	したくない	経済的にできない	その他の理由でしていない	

	している	したくない	経済的にできない	その他の理由でしていない	無回答
A. 毎月お小遣いを渡す	31.1%	20.2%	1.0%	42.3%	5.4%
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	88.1%	2.3%	2.3%	2.7%	4.5%
C. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	82.6%	0.3%	2.0%	9.0%	6.0%
D. 学習塾(オンラインのものを含む。)に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	68.9%	6.0%	4.3%	14.2%	6.5%
E. 誕生日のお祝いをする	93.5%	0.0%	0.2%	0.0%	6.4%
F. 1年に1回程度家族旅行に行く	86.0%	0.3%	3.7%	4.8%	5.2%
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	91.8%	0.3%	0.3%	0.5%	7.0%
H. 子どもの学校行事などに親が参加する	92.6%	0.5%	0.0%	1.5%	5.4%
I. 本や電子機器(スマートフォン、ゲーム機等)を買う	88.0%	3.7%	0.8%	2.7%	4.8%

問39 あなたのご家庭の家計について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=598)

1. 赤字であり、借金をしている	2.5%	4. 黒字であるが、貯金はしていない	9.0%
2. 赤字であり、貯金を切り崩している	5.9%	5. 黒字であり、定期的に貯金している	55.0%
3. 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	22.2%	6. その他()	1.7%
		無回答	3.7%

問40 次のもののうち、**金銭的理由のためにあなたの世帯にないもの**はありますか。

あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

(n=598)

1. 子どもの年齢に合った本	0.8%	9. 電子レンジ	0.0%
2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	1.7%	10. 電話(固定電話・携帯電話を含む。)	0.3%
3. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	7.2%	11. インターネットにつながるパソコン	0.8%
4. 洗濯機	0.0%	12. 新聞の定期購読(ネット含む。)	8.7%
5. 炊飯器	0.7%	13. 世帯専用のおふろ	0.0%
6. 掃除機	0.0%	14. 世帯人数分のベッドまたは布団	2.3%
7. 暖房機器	0.5%	15. 急な出費のための貯金(5万円以上)	4.5%
8. 冷房機器	0.0%	16. あてはまるものはない	67.1% 無回答 15.2%

問41 あなたのご家庭で経済的な理由で以下の**ことができなかつた**ことがありますか。

A~Iそれぞれについて、あてはまる答えの番号**1つ**に○をつけてください。

(n=598)

	1 まったく なかつた	2 まれに あつた	3 ときどき あつた	4 よくあつた	無回答
A. 衣類の購入	81.3%	6.7%	3.0%	0.7%	8.4%
B. 食料の購入	86.8%	2.3%	1.7%	0.8%	8.4%
C. 家賃の支払い	89.3%	0.7%	0.7%	0.5%	8.9%
D. 住宅ローンの支払い	87.5%	0.7%	0.7%	0.5%	10.7%
E. 電気料金の支払い	88.3%	1.3%	0.8%	0.5%	9.0%
F. ガス料金の支払い	88.5%	1.3%	0.7%	0.5%	9.0%
G. 水道料金の支払い	88.1%	1.2%	0.7%	0.5%	9.5%
H. 電話料金の支払い	88.5%	1.0%	0.7%	0.5%	9.4%
I. その他経費の支払い	83.1%	5.0%	1.8%	0.7%	9.4%

■ 最後にかがいます。

問42 最後に、区の子育て支援施策に関するご意見、ご要望やご提案がありましたら、自由にご記入ください。

数多くの質問にご回答いただき、誠にありがとうございました。いただいた回答は、施策の方向性、事業の量や内容を検討する基礎とし、今後の区の子育て支援施策の充実に生かしてまいります。

なお、調査結果は、令和6年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和5年11月17日（金）までにご投函ください。

（切手を貼る必要はありません）

「子ども・子育て支援に関する実態調査」のご案内

～調査へのご協力をお願いします～

我が国では、少子高齢化が進行し続ける中、人口減少社会に移行しており、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。女性の社会進出を後押しする施策も増え、多様な働き方を選択できる社会を実現していく働き方改革も進められていますが、子育て世帯においてワーク・ライフ・バランスを実現することは容易ではありません。このような中、子どもの視点を忘れずに、子どもの人権を守り、子どもを第一に考えた子育て支援が大切です。

そうした中、文京区では、「文京区次世代育成支援行動計画」、「文京区子ども・子育て支援事業計画」、「文京区子どもの貧困対策計画」を一体のものとした「文京区子育て支援計画」（令和2年度～6年度）に基づき、安心して子育てができ、社会全体で子育てが支援され、子どもの健全な育成や貧困からの脱却等を図る文京区の実情を反映した子育て支援施策を推進しています。

このたび、区内に居住する子どもを養育する家庭の生活実態、ニーズ量、子育ての状況等を把握し、令和6年度に改定を予定する「文京区子育て支援計画」のための基礎資料等を得ることを目的として、「子ども・子育て支援に関する実態調査」を実施します。

今回ご回答いただきました内容は、子育てをしている当事者等が参加する「文京区子ども・子育て会議」等において審議し、計画に反映するとともに、今後の区の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくもので、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

質問数が多く、答えにくい質問には無理にお答えいただく必要はございませんが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年10月

文京区長 成澤廣修

にほんごが わからないときは こちらへ

この二次元コードに、アクセスしてください。

Please access this two-dimensional code.

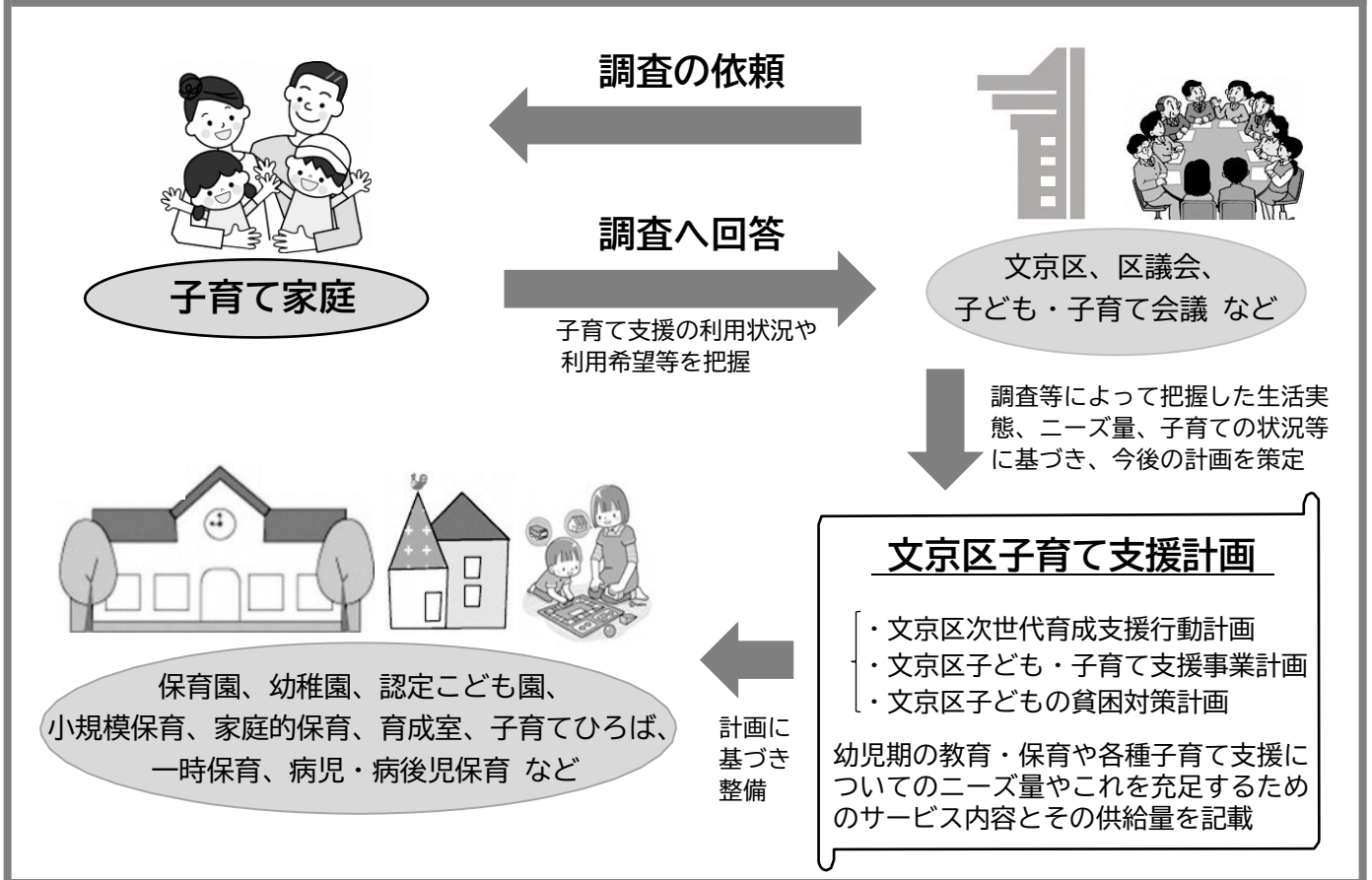
请访问此二维码。

請存取這個二維碼。





이 2차원 코드에 접속해주세요.



いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます。



次のような事項について、調査します。(例)

<p>【お子さんご家族について】 家族の状況、親子のコミュニケーション など</p> 	<p>【生活の状況について】 子育ての環境、保護者の就労状況、家計状況 など</p> 
<p>【施設等の利用状況について】 幼稚園・保育園等の利用、一時預かり等の利用、子ども食堂の利用 など</p> 	<p>【不安・悩みについて】 子育てのイメージ／不安・悩み、生活の安心・安全 など</p> 

■ お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=352

1. 後楽	1.4%	6. 水道	2.3%	11. 音羽	1.1%	16. 弥生	0.6%
2. 春日	4.0%	7. 小日向	4.8%	12. 本郷	6.5%	17. 根津	2.6%
3. 小石川	9.7%	8. 大塚	9.9%	13. 湯島	0.0%	18. 千駄木	9.7%
4. 白山	9.4%	9. 関口	3.1%	14. 西片	2.3%	19. 本駒込	13.9%
5. 千石	11.4%	10. 目白台	3.7%	15. 向丘	3.7%	無回答	0.0%

問1-1 お住まいの丁目をご記入ください。

丁目

■ 封筒のあて名のお子さんご家族についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの学年等をお答えください。
それぞれあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=352

(1)区分	1. 区立	40.9%	2. 私立	50.6%	3. 都立	1.1%	4. 国立	7.1%	無回答	0.3%
(2)学年	1. 中学1年生	32.1%	2. 中学2年生	34.4%	3. 中学3年生	33.5%	無回答	0.0%		

問3 あて名のお子さんについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=352

1. 障害者手帳をもっている	0.9%
2. 障害者手帳はもっていないが、放課後等デイサービス等の障害福祉に関するサービスを利用している	0.9%
3. 障害者手帳はもっていないが、医療機関・専門機関等で療育の相談・治療等を受けている	2.0%
4. 当てはまるものがない	95.5%
無回答	0.9%

問4 あて名のお子さんを「子ども」としたとき、家族構成について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=352

1. 父・母・子ども	88.9%	4. 父・母・子ども・祖父母等	6.3%	7. その他	0.3%
2. 母・子ども	2.6%	5. 母・子ども・祖父母等	0.6%	無回答	0.0%
3. 父・子ども	1.4%	6. 父・子ども・祖父母等	0.0%		

※「祖父母等」とは、「祖父と祖母」「祖父のみ」「祖母のみ」「祖父母以外の親族」のことをいいます。
親族以外の方はその他を選んでください。

問5 介護が必要な高齢の同居親族がいますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=352

1. 同居している高齢親族はいない	79.3%
2. 同居はしていないが、介護が必要な高齢親族がいる	12.8%
3. 高齢親族と同居しているが、ほとんど手をかす必要がない	4.8%
4. 高齢親族と同居しているが、必要なときに手をかす程度である	1.4%
5. 高齢親族と同居しており、毎日2～3時間程度の介護が必要である	0.3%
6. 高齢親族と同居しており、毎日4～6時間程度の介護が必要である	0.0%
7. 高齢親族と同居しており、ほぼずっと介護が必要である	0.3%
8. その他()	0.9%
無回答	0.3%

問6 あて名のお子さんは何人きょうだいの何番目ですか。

人 きょうだいの 番目

きょうだい数 (1人 14.5% 2人 56.3% 3人 21.6% 4人 2.0% 5人 0.3% 6人以上 0.3% 無回答 5.1%)

番目 (1番目 52.6% 2番目 33.5% 3番目 7.4% 4番目 0.3% 5番目 0.0% 6番目以上 0.3% 無回答 6.0%)

問7 この調査票にご回答(記入)いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=352

1. 父親 25.3%	2. 母親 74.1%	3. その他() 0.6%	無回答 0.0%
-------------	-------------	----------------	----------

■ すべての方に、親子のコミュニケーションについてうかがいます。

問8 あて名のお子さんご家族でよく話をしますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=352

1. よく話をする 70.2%	} →	問8-1へ	
2. 必要なこと以外もときどき話をする 22.7%			
3. 必要なこと以外はあまり話をしない 6.3%	} →	問9へ	
4. あまり話はしない 0.9%			

問8-1 問8で、「1.」または「2.」とお答えの方にうかがいます。あて名のお子さんは、主に誰と話をしますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 n=352

1. 父親 52.3%	3. 兄弟姉妹 49.2%	5. 祖父 3.1%	
2. 母親 93.6%	4. 祖母 8.3%	6. その他() 1.5%	無回答 0.3%

■ すべての方に、子育てのイメージや子育て支援についてうかがいます。

問9 あなたは子育てでどのようなときに楽しいと感じますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 n=352

1. 子育て全般が楽しい	29.0%
2. 子どもといると楽しく幸せな気分になる	57.7%
3. 子どもと一緒に遊んだり何かしたりできることがうれしい	58.5%
4. 子どもが自分を頼ったり甘えたりしてくれることがうれしい	42.0%
5. 子育てにより自分も成長していると感じる	51.7%
6. 子どもがいると家庭が明るくなる	64.2%
7. その他()	4.3%
8. 特に楽しいことはない	2.3%
	無回答 0.6%

問10 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=352

1. 自分の時間がとれず、自由がない	23.3%
2. 子育てにおわれ、社会から孤立するようになる	6.3%
3. 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい	28.1%
4. 子育てと親等の介護が同時に発生している	6.5%
5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違う	15.3%
6. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない	15.3%
7. 子どもの学習・授業の進捗のことにについて心配である	40.9%
8. 子どもの進路や進学のことについて心配である	66.8%
9. 子どもの友人関係のことについて心配である	20.7%
10. 子どもの健康、性格や癖などについて心配である	29.5%
11. 子どもの性別に関することについて心配がある	1.4%
12. 子育て(教育を含む。)に伴う経済的な負担が大きいと感じる	40.9%
13. 子どもにかまっていられないことが多い	13.6%
14. 子どもの成長や発達のことについて心配である	14.8%
15. 子どもが学校等、家の外に出たがらない	4.0%
16. その他()	1.7%
17. 特に不安や悩みはない	9.1%
無回答	0.6%

問11 子育て(教育を含む。)を気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=352

1. いる／ある	70.7%	2. いない／ない	29.3%	問12へ	無回答	0.0%
----------	-------	-----------	-------	------	-----	------

問11-1 問11で、「1.」とお答えの方にはうかがいます。

お子さんの子育て(教育を含む。)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=352

1. 配偶者・パートナー	77.1%	9. 民生委員・児童委員	0.0%
2. 祖父母等の親族	54.2%	10. 療育機関の先生	0.8%
3. 友人や知人	59.8%	11. かかりつけの医師	6.4%
4. 近所の人	4.0%	12. 文京区の子育て関連相談窓口 (子ども家庭支援センター、教育センターなど)	4.0%
5. 職場の人	14.1%	13. 文京区男女平等センター相談室	0.0%
6. 中学校の先生	19.7%	14. その他()	2.4%
7. スクールカウンセラー	5.6%	無回答	0.4%
8. 塾・習い事の先生	16.5%		

問12 子育て支援に関する施設・サービスについて、有効だと思うものはなんですか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=352

○は3つまで

1. 子育て支援に関する情報提供(区報、子育てガイド、子育て応援メールマガジンなど)	15.1%
2. 子どもの健康や成長を支える保健医療体制の整備	30.7%
3. 相談支援体制の整備(子育ての不安や悩み・いじめや虐待防止など)	17.9%
4. 地域での相互扶助体制の整備(親同士の助け合い活動など)	7.1%
5. 放課後・休日に中学生が利用できる施設の充実	26.4%
6. 男性も女性も仕事と子育てが両立しやすい環境の整備	31.3%
7. 確かな学力、豊かな人間性、体力を育成する教育環境の整備	31.3%
8. 安心して遊ぶことができる公園や児童遊園の整備	27.3%
9. 非行防止等、子どもが健全に育つための対策の充実	4.5%
10. 子ども連れでも活動しやすいまちづくり	7.7%
11. 子育て家庭のための住宅施策の推進	6.0%
12. 障害のある子どもに対する支援の充実	4.5%
13. 経済的援助(児童手当の給付や利用料減免など)	38.9%
14. その他()	4.3%
15. 特にない	3.7%
	無回答 1.7%

■ すべての方に、あて名のお子さんの放課後を過ごす場所についてうかがいます。

問13 学校と家以外で、放課後を過ごす場所としてどのような場所があればいいと思いますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=352

1. いろいろなスポーツができる体育館や運動場	59.4%	7. ひとりでも気軽に、家族や友だちには話せない悩みの相談に行ける場所	25.9%
2. ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所	44.9%	8. 気軽におしゃべりができる場所	32.1%
3. 緑がたくさんある公園や広場	29.8%	9. ゲームやパソコンができる場所	12.2%
4. 音楽鑑賞やバンド活動などができる場所	17.0%	10. 障害のある生徒が放課後を過ごす場所	6.0%
5. 静かに勉強ができる場所	59.4%	11. その他()	3.1%
6. 子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所	19.0%	12. 特にない	5.7%
		無回答	0.6%

■ すべての方に、子ども食堂についてうかがいます。

問14 子ども食堂(地域の子どもたちに食事の提供を通じた居場所づくり)について、知っていますか。また、利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=352

1. 子ども食堂を利用している	2.6%
2. 子ども食堂を知っているし、利用したい	6.5%
3. 子ども食堂を知っていたが、利用の予定はない	75.9%
4. 子ども食堂を知らなかったが、利用したい	5.1%
5. 子ども食堂を知らなかったが、利用の予定もない	9.7%
	無回答 0.3%

■ すべての方に、あて名のお子さんの生活の安全・安心についてうかがいます。

問15 あなたの子どもや身近にいる子どもたちが、何らかの事故や事件に巻き込まれるかもしれないという不安を感じますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=352

1. 強く感じる	12.2%	} →	問15-1へ	無回答	0.0%
2. 少し感じる	57.4%				
3. あまり感じない	27.8%	} →	問16へ		
4. まったく感じない	2.6%				

問15-1 問15で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

そう感じる理由は何ですか。

あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=245

○は3つまで

1. 近所に暗く人気のない道や場所があるから	17.6%
2. 子どもが塾や習い事などで遅く帰ることがあるから	50.6%
3. 子どもが一人で外出する際に、事故や事件にあうかもしれないから	58.0%
4. 近所の住民の顔をほとんど知らないから	8.6%
5. テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから	56.7%
6. 近所で子どもが巻き込まれた事故や事件が発生したから	2.0%
7. 近所に交通量の多い道路があるから	20.0%
8. 近所に見通しの悪い道が多いから	6.1%
9. 近所に歩道や信号がない道路があるから	2.4%
10. 通学が遠いから	11.4%
11. その他()	9.0%
	無回答 0.4%

すべての方にうかがいます。

問16 子どもの安全や犯罪防止についての情報を何によって入手(収集)していますか。(1)(2)について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

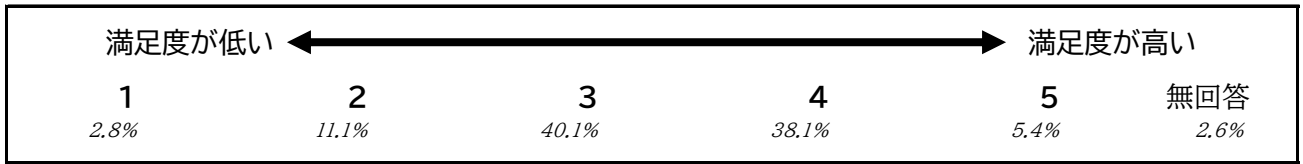
(1)	(2)
不審者情報	日常的な予防情報
n=352	n=352

	(1) 不審者情報 n=352	(2) 日常的な予防情報 n=352
1. 新聞	6.3%	17.0%
2. チラシ・パンフレット・小冊子など	2.8%	9.7%
3. テレビ	18.5%	33.5%
4. ラジオ	1.4%	4.3%
5. ホームページ、ブログなど	8.8%	14.5%
6. フェイスブックなどのSNS	12.5%	11.6%
7. 区からのメール配信(「文の京」安心・防災メール)	56.5%	26.1%
8. 中学校等からのメール配信(フェアキャスト等)	56.0%	30.1%
9. 警視庁からのメール配信(メールけいしちょう)	28.4%	13.4%
10. その他()	2.6%	2.3%
11. 特に活用している情報ツールはない	6.5%	7.7%
無回答	3.7%	20.7%

■ すべての方に、子育ての環境や支援への満足度についてうかがいます。

問17 区の子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

n=352



■ すべての方に、お子さんとの体験についてうかがいます。

問18 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

n=352

A~Eそれぞれについて、ある場合は「1」を、ない場合はあてはまる理由を「2」~「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

	ある	ない			無回答
		金銭的な理由	時間の制約	その他の理由	
A. アウトドア(海水浴やキャンプ等)に行く	56.5%	5.4%	21.3%	13.9%	2.8%
B. 博物館・科学館・美術館等に行く	57.4%	1.1%	19.0%	18.2%	4.3%
C. スポーツ観戦・劇場・映画館に行く	79.5%	1.7%	8.5%	8.2%	2.0%
D. 遊園地やテーマパークに行く	56.3%	5.1%	16.8%	17.0%	4.8%
E. ファミリーレストラン等で外食する	93.8%	1.1%	1.4%	0.6%	3.1%

問19 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

n=352

A~Iそれぞれについて、している場合は「1」を、していない場合はあてはまる理由を「2」~「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

	している	していない			無回答
		したくない	経済的にできない	その他の理由ではない	
A. 毎月お小遣いを渡す	62.2%	8.0%	1.4%	25.6%	2.8%
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	91.8%	0.6%	2.0%	3.7%	2.0%
C. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	54.3%	3.7%	5.1%	34.1%	2.8%
D. 学習塾(オンラインのものを含む。)に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	67.6%	3.4%	4.0%	21.0%	4.0%
E. 誕生日のお祝いをする	96.0%	0.9%	0.3%	0.9%	2.0%
F. 1年に1回程度家族旅行に行く	80.4%	0.3%	6.0%	11.1%	2.3%
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	94.0%	1.1%	0.9%	0.9%	3.1%
H. 子どもの学校行事などに親が参加する	95.2%	0.0%	0.0%	2.0%	2.8%
I. 本や電子機器(スマートフォン、ゲーム機等)を買う	91.5%	0.9%	1.1%	2.8%	3.7%

■ すべての方に、家計の状況についてうかがいます。

問20 保護者の現在の就労状況(自営業・家族従事者を含む。)をうかがいます。

(1) **父親** 【母子家庭の場合は記入は不要です。】

父親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 **n=341**

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労している	96.8%		
2. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している	1.2%		
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない	1.8%		
4. これまで就労したことがない	0.0%	無回答	0.3%

(2) **母親** 【父子家庭の場合は記入は不要です。】

母親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 **n=347**

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労している	45.0%		
2. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している	32.3%		
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない	20.2%		
4. これまで就労したことがない	2.0%	無回答	0.6%

すべての方にうかがいます。

問21 あなたのご家庭の家計について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 **n=352**

1. 赤字であり、借金をしている	4.5%	4. 黒字であるが、貯金はしていない	10.2%
2. 赤字であり、貯金を切り崩している	9.1%	5. 黒字であり、定期的に貯金している	49.7%
3. 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	23.6%	6. その他()	2.6% 無回答 0.3%

問22 次のもののうち、**金銭的理由のため**にあなたの世帯にないものはありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 **n=352**

1. 子どもの年齢に合った本	0.9%	9. 電子レンジ	0.0%
2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	0.6%	10. 電話(固定電話・携帯電話を含む。)	0.3%
3. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	6.3%	11. インターネットにつながるパソコン	0.6%
4. 洗濯機	0.0%	12. 新聞の定期購読(ネット含む。)	6.0%
5. 炊飯器	0.0%	13. 世帯専用のおふろ	0.3%
6. 掃除機	0.0%	14. 世帯人数分のベッドまたは布団	3.7%
7. 暖房機器	0.3%	15. 急な出費のための貯金(5万円以上)	4.0%
8. 冷房機器	0.0%	16. あてはまるものはない	72.4% 無回答 11.9%

問23 あなたのご家庭で経済的な理由で以下のことが**できなかつた**ことがありますか。

A~Iそれぞれについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 **n=352**

	1 まったく なかつた	2 まれに あつた	3 ときどき あつた	4 よくあつた	無回答
A. 衣類の購入	83.8%	8.8%	2.8%	0.9%	3.7%
B. 食料の購入	90.1%	2.8%	2.3%	0.3%	4.5%
C. 家賃の支払い	92.6%	1.1%	1.1%	0.3%	4.8%
D. 住宅ローンの支払い	92.3%	0.9%	0.6%	0.0%	6.3%
E. 電気料金の支払い	92.6%	1.1%	0.6%	0.3%	5.4%
F. ガス料金の支払い	93.2%	0.9%	0.6%	0.3%	5.1%
G. 水道料金の支払い	93.5%	1.1%	0.6%	0.3%	4.5%
H. 電話料金の支払い	93.8%	0.9%	0.6%	0.3%	4.5%
I. その他経費の支払い	85.2%	6.5%	1.7%	0.6%	6.0%

■ 最後にかがいます。

問24 最後に、区の子育て支援施策に関するご意見、ご要望やご提案がありましたら、自由にご記入ください。

数多くの質問にご回答いただき、誠にありがとうございました。いただいた回答は、施策の方向性、事業の量や内容を検討する基礎とし、今後の区の子育て支援施策の充実に生かしてまいります。なお、調査結果は、令和6年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和5年11月17日（金）までにご投函ください。

（切手を貼る必要はございません）

「子ども・子育て支援に関する実態調査」のご案内

～調査へのご協力をお願い～

我が国では、少子高齢化が進行し続ける中、人口減少社会に移行しており、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。女性の社会進出を後押しする施策も増え、多様な働き方を選択できる社会を実現していく働き方改革も進められていますが、子育て世帯においてワーク・ライフ・バランスを実現することは容易ではありません。このような中、子どもの視点を忘れずに、子どもの人権を守り、子どもを第一に考えた子育て支援が大切です。

そうした中、文京区では、「文京区次世代育成支援行動計画」、「文京区子ども・子育て支援事業計画」、「文京区子どもの貧困対策計画」を一体のものとした「文京区子育て支援計画」（令和2年度～6年度）に基づき、安心して子育てができ、社会全体で子育てが支援され、子どもの健全な育成や貧困からの脱却等を図る文京区の特徴を反映した子育て支援施策を推進しています。

このたび、区内に居住する子どもを養育する家庭の生活実態、ニーズ量、子育ての状況等を把握し、令和6年度に改定を予定する「文京区子育て支援計画」のための基礎資料等を得ることを目的として、「子ども・子育て支援に関する実態調査」を実施します。

今回ご回答いただきました内容は、子育てをしている当事者等が参加する「文京区子ども・子育て会議」等において審議し、計画に反映するとともに、今後の区の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくもので、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

質問数が多く、答えにくい質問には無理にお答えいただく必要はございませんが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年10月

文京区長 成澤廣修

にほんごが わからないときは こちらへ

この二次元コードに、アクセスしてください。

Please access this two-dimensional code.

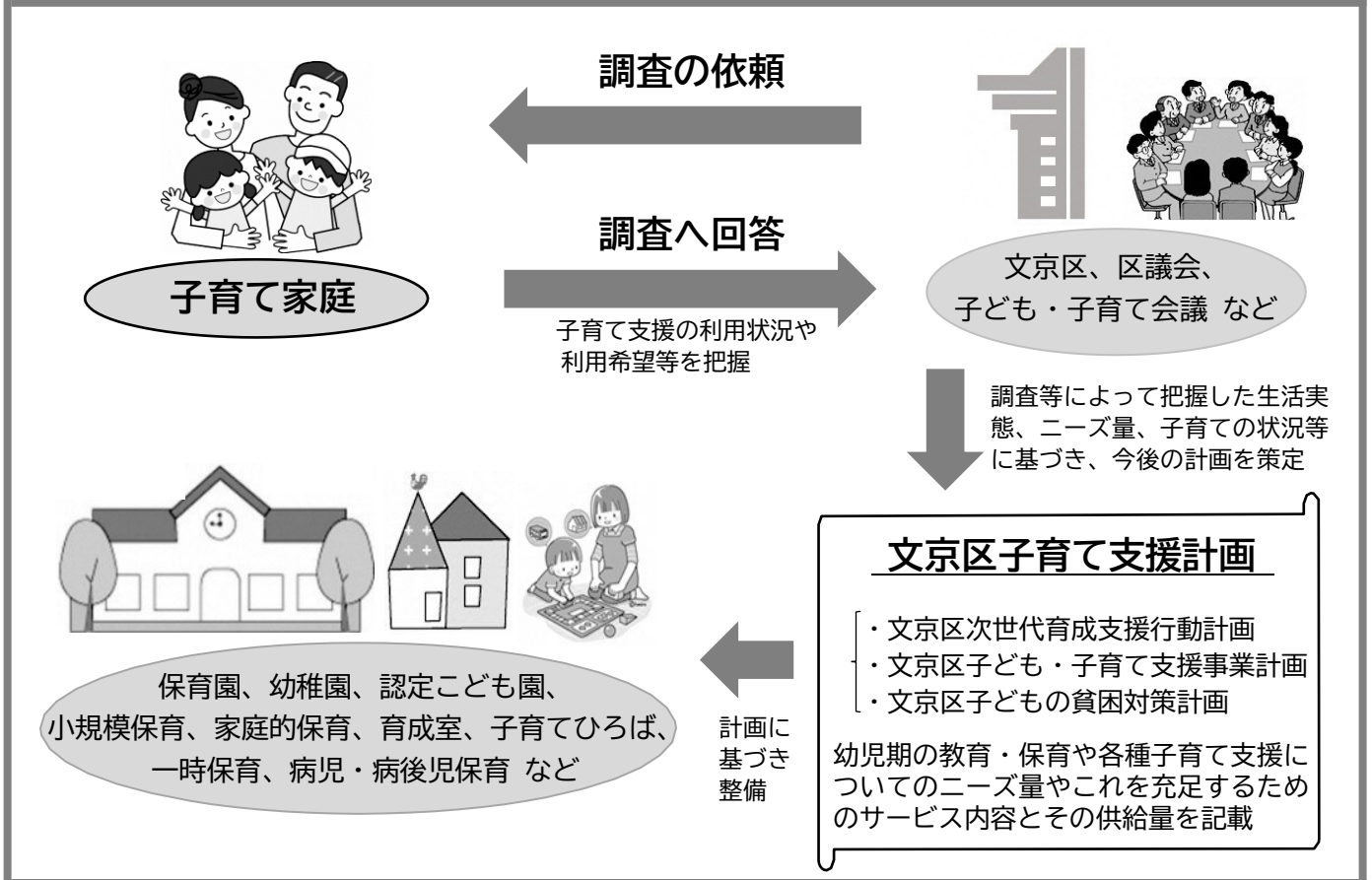
请访问此二维码。

請存取這個二維碼。





이 2차원 코드에 접속해주세요.



いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます。



次のような事項について、調査します。(例)

<p>【お子さんご家族について】 家族の状況、親子のコミュニケーション など</p> 	<p>【生活の状況について】 子育ての環境、保護者の就労状況、家計状況 など</p> 
<p>【施設等の利用状況について】 幼稚園・保育園等の利用、一時預かり等の利用、子ども食堂の利用 など</p> 	<p>【不安・悩みについて】 子育てのイメージ／不安・悩み、生活の安心・安全 など</p> 

■ お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=334

1. 後楽	0.6%	6. 水道	3.3%	11. 音羽	2.1%	16. 弥生	1.5%
2. 春日	2.7%	7. 小日向	4.2%	12. 本郷	4.2%	17. 根津	3.3%
3. 小石川	12.0%	8. 大塚	8.7%	13. 湯島	0.0%	18. 千駄木	9.9%
4. 白山	7.2%	9. 関口	4.5%	14. 西片	2.7%	19. 本駒込	14.4%
5. 千石	10.8%	10. 目白台	4.2%	15. 向丘	3.3%	無回答	0.6%

問1-1 お住まいの丁目をご記入ください。

丁目

■ 封筒のあて名のお子さんご家族についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年と現在の学年等をご記入ください。

n=334

平成 年

それぞれ1つに○をつけてください。

(都立 20.1% ・ 私立 71.9% ・ 国立 7.5% ・ 無回答 0.6%)

(高校 98.5% ・ 高専 0.6% ・ 専門学校等 0.9% ・ 無回答 0.0%)

(1年生 33.2% ・ 2年生 34.7% ・ 3年生 30.2% ・ 無回答 1.8%) 年生

問3 あて名のお子さんについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=334

1. 障害者手帳をもっている		1.2%
2. 障害者手帳はもっていないが、放課後等デイサービス等の障害福祉に関するサービスを利用している		0.3%
3. 障害者手帳はもっていないが、医療機関・専門機関等で療育の相談・治療等を受けている		4.2%
4. 当てはまるものがない	92.8%	無回答 1.5%

問4 あて名のお子さんを「子ども」としたとき、家族構成について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=334

1. 父・母・子ども	83.8%	4. 父・母・子ども・祖父母等	7.8%	7. その他	1.2%
2. 母・子ども	4.5%	5. 母・子ども・祖父母等	1.5%	無回答	0.0%
3. 父・子ども	0.9%	6. 父・子ども・祖父母等	0.3%		

※「祖父母等」とは、「祖父と祖母」「祖父のみ」「祖母のみ」「祖父母以外の親族」のことをいいます。
親族以外の方はその他を選んでください。

問5 介護が必要な高齢の同居親族がいますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=334

1. 同居している高齢親族はいない		75.1%
2. 同居はしていないが、介護が必要な高齢親族がいる		12.6%
3. 高齢親族と同居しているが、ほとんど手をかす必要がない		5.7%
4. 高齢親族と同居しているが、必要なときに手をかす程度である		2.7%
5. 高齢親族と同居しており、毎日2～3時間程度の介護が必要である		0.3%
6. 高齢親族と同居しており、毎日4～6時間程度の介護が必要である		0.6%
7. 高齢親族と同居しており、ほぼずっと介護が必要である		0.3%
8. その他()	1.8%	無回答 0.9%

問6 あて名のお子さんは何人きょうだいの何番目ですか。

人 きょうだいの 番目

きょうだい数 (1人 18.6% 2人 53.3% 3人 19.2% 4人 3.0% 5人 0.9% 6人以上 0.0% 無回答 5.1%)

番目 (1番目 56.6% 2番目 31.1% 3番目 4.8% 4番目 1.2% 5番目 0.0% 6番目以上 0.0% 無回答 6.3%)

問7 この調査票にご回答(記入)いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=334

1. 父親 23.7% 2. 母親 73.1% 3. その他() 2.4% 無回答 0.9%

■ すべての方に、子育てに関する不安や悩みについてうかがいます。

問8 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=334

- | | |
|----------------------------------|----------|
| 1. 自分の時間がとれず、自由がない | 15.9% |
| 2. 子育てにおわれ、社会から孤立するようになる | 3.6% |
| 3. 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい | 21.3% |
| 4. 子育てと親等の介護が同時に発生している | 11.4% |
| 5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違う | 14.1% |
| 6. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない | 12.0% |
| 7. 子どもの健康、性格や癖などについて心配である | 20.4% |
| 8. 子どもの成長や発達のことについて心配である | 17.1% |
| 9. 子どもの学習・授業の進捗のことについて心配である | 24.3% |
| 10. 子どもの進路や進学のことについて心配である | 57.5% |
| 11. 子どもの自立や子どもの意思尊重が難しい | 14.4% |
| 12. 子どもの友人関係のことについて心配である | 10.5% |
| 13. 子どもの性別に関することについて心配がある | 0.0% |
| 14. 子どもが学校等、家の外に出たがらない | 2.7% |
| 15. 子どものお金の使い方について心配がある | 8.7% |
| 16. 子育て(教育を含む。)に伴う経済的な負担が大きいと感じる | 38.9% |
| 17. 子どもにかまっていられないことが多い | 5.4% |
| 18. その他() | 2.7% |
| 19. 特に不安や悩みはない | 14.7% |
| | 無回答 0.6% |

問9 子育て(教育を含む。)を気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=334

1. いる/ある 73.1% 2. いない/ない 26.9% → 問10へ 無回答 0.0%

問9-1 問9で、「1.」とお答えの方にはうかがいます。

お子さんの子育て(教育を含む。)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=244

- | | | | |
|---------------|-------|------------------------|------|
| 1. 配偶者・パートナー | 72.5% | 9. 民生委員・児童委員 | 0.0% |
| 2. 祖父母等の親族 | 50.0% | 10. 療育機関の先生 | 1.6% |
| 3. 友人や知人 | 61.9% | 11. かかりつけの医師 | 6.1% |
| 4. 近所の人 | 6.6% | 12. 文京区の子育て関連相談窓口 | 4.1% |
| 5. 職場の人 | 15.6% | (子ども家庭支援センター、教育センターなど) | |
| 6. 学校の先生 | 20.5% | 13. 文京区男女平等センター相談室 | 0.4% |
| 7. スクールカウンセラー | 4.5% | 14. その他() | 2.9% |
| 8. 塾・習い事の先生 | 12.3% | 無回答 | 0.4% |

■ すべての方に、子ども食堂についてうかがいます。

問10 子ども食堂(地域の子どもたちに食事の提供を通じた居場所づくり)について、知っていましたか。また、利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=334

1. 子ども食堂を利用している	2.1%
2. 子ども食堂を知っているし、利用したい	4.2%
3. 子ども食堂を知っていたが、利用の予定はない	78.4%
4. 子ども食堂を知らなかったが、利用したい	3.9%
5. 子ども食堂を知らなかったが、利用の予定もない	10.5%
無回答	0.9%

■ すべての方に、お子さんとの体験についてうかがいます。

問11 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

n=334

A~Eそれぞれについて、ある場合は「1」を、ない場合はあてはまる理由を「2」~「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

ある	ない		
	金銭的な理由	時間の制約	その他の理由

無回答

	ある	金銭的な理由	時間の制約	その他の理由	無回答
A. アウトドア(海水浴やキャンプ等)に行く	42.2%	3.0%	24.0%	28.7%	2.1%
B. 博物館・科学館・美術館等に行く	48.8%	1.5%	19.2%	27.8%	2.7%
C. スポーツ観戦・劇場・映画館に行く	69.8%	1.5%	9.3%	16.5%	3.0%
D. 遊園地やテーマパークに行く	44.0%	3.0%	16.8%	32.3%	3.9%
E. ファミリーレストラン等で外食する	93.4%	0.9%	1.5%	3.0%	1.2%

問12 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

n=334

A~Iそれぞれについて、している場合は「1」を、していない場合はあてはまる理由を「2」~「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

している	していない		
	したくない	経済的にできない	その他の理由ではない

無回答

	している	したくない	経済的にできない	その他の理由ではない	無回答
A. 毎月お小遣いを渡す	73.4%	2.7%	1.8%	18.9%	3.3%
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	90.1%	1.5%	2.1%	3.3%	3.0%
C. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	51.5%	2.7%	3.0%	40.1%	2.7%
D. 学習塾(オンラインのものを含む。)に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	68.3%	2.1%	3.6%	22.8%	3.3%
E. 誕生日のお祝いをする	92.5%	0.3%	0.9%	3.3%	3.0%
F. 1年に1回程度家族旅行に行く	68.0%	1.2%	6.0%	21.6%	3.3%
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	91.6%	0.6%	1.2%	4.5%	2.1%
H. 子どもの学校行事などに親が参加する	88.6%	1.5%	0.0%	6.9%	3.0%
I. 本や電子機器(スマートフォン、ゲーム機等)を買う	94.9%	0.6%	0.6%	2.1%	1.8%

■ すべての方に、家計の状況についてうかがいます。

問13 保護者の現在の就労状況(自営業・家族従事者を含む。)をうかがいます。

(1) **父親** 【母子家庭の場合は記入は不要です。】

父親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=314

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労している	94.9%
2. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している	1.9%
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない	1.9%
4. これまで就労したことがない	0.0% 無回答 1.3%

(2) **母親** 【父子家庭の場合は記入は不要です。】

母親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=330

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労している	41.2%
2. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している	37.9%
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない	16.4%
4. これまで就労したことがない	3.6% 無回答 3.6%

すべての方にうかがいます。

問14 あなたのご家庭の家計について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=334

1. 赤字であり、借金をしている	6.0%	4. 黒字であるが、貯金はしていない	7.2%
2. 赤字であり、貯金を切り崩している	8.1%	5. 黒字であり、定期的に貯金している	50.6%
3. 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	23.4%	6. その他()	3.3% 無回答 1.5%

問15 次のもののうち、金銭的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=334

1. 子どもの年齢に合った本	1.2%	9. 電子レンジ	0.3%
2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	0.9%	10. 電話(固定電話・携帯電話を含む。)	0.6%
3. 子どもが自宅で学習をすることができる場所	5.1%	11. インターネットにつながるパソコン	0.9%
4. 洗濯機	0.6%	12. 新聞の定期購読(ネット含む。)	6.6%
5. 炊飯器	1.2%	13. 世帯専用のおふろ	0.6%
6. 掃除機	0.9%	14. 世帯人数分のベッドまたは布団	1.5%
7. 暖房機器	0.6%	15. 急な出費のための貯金(5万円以上)	4.8%
8. 冷房機器	0.3%	16. あてはまるものはない	77.2% 無回答 7.5%

問16 あなたのご家庭で経済的な理由で以下のことができなかったことがありますか。

A～Iそれぞれについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=334

	1	2	3	4	無回答
	まったく なかった	まれに あった	ときどき あった	よくあった	
A. 衣類の購入	84.1%	8.1%	4.2%	0.6%	3.0%
B. 食料の購入	88.3%	4.2%	2.7%	0.3%	4.5%
C. 家賃の支払い	92.2%	1.8%	0.9%	0.3%	4.8%
D. 住宅ローンの支払い	89.2%	2.7%	0.9%	0.3%	6.9%
E. 電気料金の支払い	91.9%	2.1%	0.6%	0.6%	4.8%
F. ガス料金の支払い	91.6%	1.5%	0.6%	0.3%	6.0%
G. 水道料金の支払い	91.6%	1.2%	0.3%	0.6%	6.3%
H. 電話料金の支払い	89.5%	2.4%	0.3%	0.6%	7.2%
I. その他経費の支払い	84.4%	7.2%	2.7%	0.6%	5.1%

■ 最後にうかがいます。

問17 最後に、区の子育て支援施策に関するご意見、ご要望やご提案がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力、誠にありがとうございました。いただいた回答は、施策の方向性、事業の量や内容を検討する基礎とし、今後の区の子育て支援施策の充実に生かしてまいります。
 なお、調査結果は、令和6年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**令和5年11月17日（金）**までにご投函ください。
 （切手を貼る必要はございません）



こ ども ・ こそだ し えん かん じつたいちようさ 子ども・子育て支援に関する実態調査



ちようさ きようりよく
～調査に協力してください（おねがい）～

みなさんが住んでいる文京区では、安心して子どもを育てられるよう、
ほいくえん いくせいしつ こ つか あそ ばしよ つく
保育園や育成室など、子どもが使ったり遊んだりできる場所を作ってい
ます。また、いろいろな人が協力し合い、みなさんが楽しく元気にすご
せるお手伝いなどもしています。

こうした行動をもっと良くするために、みなさんがふだんお家や学校、
ちいき かんが おし
地域でどのようなことを考え、すごしているのかを教えてください。

文京区は、みなさんから教えてもらったことについて、みんなで話しあ
い、子どもとその家族がこれからも楽しくすごせるまちをつくることに役立
てたいと考えています。

わからないところは答えなくてもよいです。みなさんがふだん思っている
ことについて教えてください。

れいわ ねん がつ
令和5年10月

ぶん きょう く ちょう なり さわ ひろ のが
文京区長 成澤廣修

にほんごが わからないときは こちらへ

この二次元コードに、アクセスしてください。

Please access this two-dimensional code.

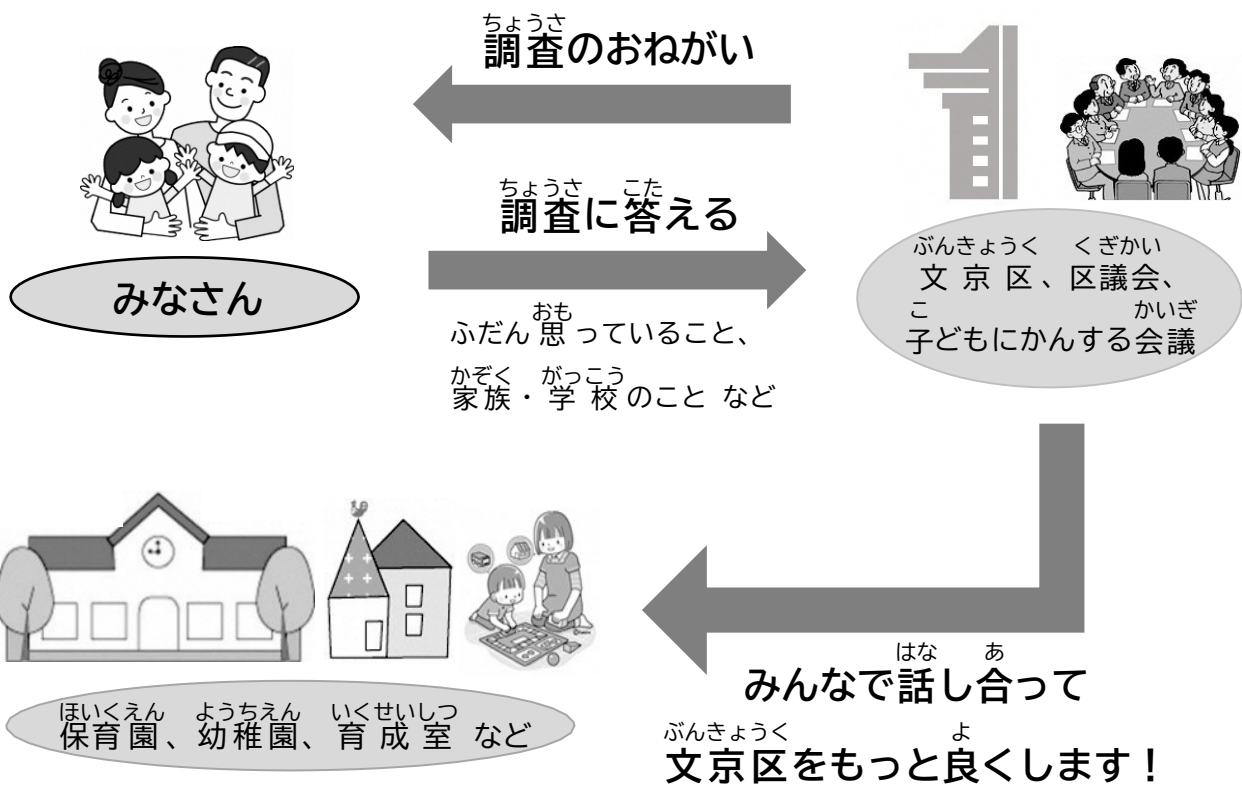
请访问此二维码。

請存取這個二維碼。



이 2 차원 코드에 접속해주세요.



みなさんの回答は、^{かいとう} ^{ぶんきょうく} ^こ ^{かぞく} 文京区の子どもやその家族のためになります。



つぎ ^{おし} ^{れい} 次のようなことについて、教えてください。(例)

<p>^{かぞく} 【家族について】</p> <p>かぞく おやこ 家族のこと、親子のコミュニケーション など</p> 	<p>^{せいかつ} 【生活のことについて】</p> <p>ほうかご かた うんどう 放課後の過ごし方、運動のこと など</p> 
<p>^{しせつ} ^{りよう} 【施設などの利用について】</p> <p>こども しょくどう そうだん ばしょ 子ども 食堂、相談する場所 など</p> 	<p>^{ふあん} ^{なや} 【不安・悩みについて】</p> <p>ふあん なや せいかつ あんしん あんぜん 不安・悩み、生活の安心・安全 など</p> 

■ お住まいの地域についてうかがいます。

問1 あなたはどの地区に住んでいますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(n=274)

1. 後楽 0.4%	6. 水道 1.1%	11. 音羽 1.1%	16. 弥生 0.4%
2. 春日 3.3%	7. 小日向 5.1%	12. 本郷 5.1%	17. 根津 2.2%
3. 小石川 8.8%	8. 大塚 12.8%	13. 湯島 0.0%	18. 千駄木 12.4%
4. 白山 9.5%	9. 関口 1.8%	14. 西片 1.8%	19. 本駒込 16.1%
5. 千石 1.1%	10. 目白台 1.5%	15. 向丘 3.6%	無回答 0.4%

問1-1 何丁目にすんでいますか。

丁目

■ あなたとあなたの家族についてうかがいます。

問2 あなたの学年と学校の種類をお答えください。あてはまる答えの番号1つにそれぞれ○をつけてください。

(n=274)

(1) あなたの学年		(2) あなたの学校	
1. 小学 4 年生 33.9%		1. 区立 86.1%	
2. 小学 5 年生 37.6%		2. 私立 4.7%	
3. 小学 6 年生 28.5%	無回答 0.0%	3. 国立 8.4%	無回答 0.0%

問3 あなたといっしょに住んでいる人について教えてください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(n=274)

1. お父さん 90.9%	4. おじいちゃん 2.9%
2. お母さん 99.3%	5. おばあちゃん 5.8%
3. きょうだい 72.6%	6. そのほか親せきなど 1.5%
	無回答 0.0%

問4 あなたは何人きょうだいの何番目ですか。

人 きょうだいの 番目

きょうだい数 (1人 25.9% 2人 52.2% 3人 15.7% 4人 4.0% 5人 0.7% 6人以上 0.4% 無回答 1.1%)

番目 (1番目 56.6% 2番目 30.7% 3番目 8.0% 4番目 0.4% 5番目 0.0% 6番目以上 0.0% 無回答 4.4%)

■ ^{おやこ}親子のコミュニケーションについてうかがいます。

と
問5 あなたは、^{かぞく}家族とよく^{はなし}話をしますか。

あてはまる^{こた}答えの^{ばんごう}番号1つに○をつけてください。

(n=274)

- | | | | |
|----|--|-------|-------------------|
| 1. | よく ^{はなし} 話を ^{する} | 86.9% | |
| 2. | ^{ひつよう} 必要なこと以外もときどき ^{はなし} 話を ^{する} | 12.0% | |
| 3. | ^{ひつよう} 必要なこと以外はあまり ^{はなし} 話を ^{しない} | 0.7% | } → と
問6へ |
| 4. | あまり ^{はなし} 話は ^{しない} | 0.4% | |
| | | | むかいとう
無回答 0.0% |

と
問5-1 問5で、「1.」または「2.」とお^{こた}答えの方^{かた}にうかがいます。

あなたは、特に^{とく}誰^{だれ}と^{はなし}話を^{しますか}。

あてはまる^{こた}答えの^{ばんごう}番号すべてに○をつけてください。

(n=271)

- | | | | | | | |
|----|--------------------|-------|----|------------|-------|-------------------|
| 1. | ^{とう} お父さん | 55.4% | 4. | おじいちゃん | 5.9% | |
| 2. | ^{かあ} お母さん | 89.7% | 5. | おばあちゃん | 11.4% | |
| 3. | きょうだい | 49.8% | 6. | そのほかの人 () | 7.0% | むかいとう
無回答 0.7% |

■ 不安や悩みごとについてうかがいます。

問6 あなたは今、気になっていることや心配になっていることがありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=274)

1.	学校の勉強や宿題がむずかしい	6.9%
2.	周りの子とくらべて、勉強ができない気がする	14.6%
3.	休み時間や放課後に遊ぶ友だちがいない	3.6%
4.	遊ぶ場所がすくない	16.8%
5.	友だちとうまくいかない	3.6%
6.	自分の性格が気になる	12.8%
7.	自分の顔や体型などの見た目が気になる	13.1%
8.	自分の性別が気になる	1.1%
9.	異性の友だちがいない	2.9%
10.	先生がこわい、話しかけにくい	8.0%
11.	中学生になるのが不安	12.8%
12.	家がせまい	10.6%
13.	家がまずしい	1.1%
14.	家族の仲があまりよくない	2.2%
15.	家に帰ってもだれもいないのでさびしい	3.3%
16.	おこづかいが、ない・すくない	9.1%
17.	自分は元気じゃない・病気になりやすいような気がする	1.5%
18.	家族の健康や病気が気になる	9.5%
19.	自分のしたいことをする時間がすくない	13.9%
20.	きょうだいのめんどろをみななければならない	4.0%
21.	お父さん、お母さんなどの家族のめんどろをみななければならない	0.4%
22.	家のお手伝いをしなければならない	2.9%
23.	その他()	4.0%
24.	特に不安や悩みはない	32.8%
25.	わからない	4.0%
	無回答	2.9%

問7 あなたが悩みごとや心配ごとを相談するとしたら、誰に相談しますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=274)

1. お父さん	46.0%	7. スクールカウンセラー	12.4%
2. お母さん	78.5%	8. 習い事・塾の先生	4.7%
3. きょうだい	19.3%	9. 療育機関の先生	1.5%
4. おじいちゃん・おばあちゃん	13.9%	10. 文京区や東京都などの相談できる場所などにいる専門家	1.1%
5. 友だち	40.5%	11. それ以外の人()	1.5%
6. 学校の先生	23.0%	12. 相談する人はいない	2.0%
			むかいとう 無回答 0.7%

問8 あなたは、学校に行きたくないと思ったことがありますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=274)

1. よくある	9.9%	}	→	とい 問8-1へ	
2. ときどきある	21.2%				
3. ほとんどない	38.3%	}	→	とい 問9へ	
4. まったくない	30.7%				
					むかいとう 無回答 0.0%

問8-1 問8で、「1.」または「2.」とお答えの方にかがいます。

学校に行きたくないと思った理由はどのようなことですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=85)

1. 友だちづきあいがうまくいかないか	9.4%	6. 自分の見た目や性格のため	5.9%
2. クラスになじめないから	2.4%	7. 家族や家庭の事情のため	1.2%
3. 先生とうまくいかないことがあるか	12.9%	8. 眠いなど体の具合が良くないため	25.9%
4. 授業についていけないから	5.9%	9. その他()	22.4%
5. いじめにあっているから	2.4%	10. 特に理由はない	29.4%
			むかいとう 無回答 1.2%

■ 放課後を過ごす場所についてうかがいます。

問9 あなたは、普段、どこで過ごすことが多いですか。

①平日の放課後、②土曜日・休日・祝日(学校の無い日)の昼間について、それぞれあてはまる答えの番号に3つまで○をつけてください。

①	②
平日の放課後	土曜日・休日・祝日 (学校の無い日) の昼間
(n=274)	(n=274)

○は3つまで

	①	②
1. 自宅でひとりで過ごす	31.0%	10.6%
2. 自宅で家族と過ごす	60.9%	84.7%
3. 友だちの家で過ごす	10.9%	7.3%
4. 学校で過ごす	6.2%	1.8%
5. 学習塾や習い事に行く	67.2%	47.1%
6. 児童館で過ごす	5.1%	3.3%
7. 図書館で過ごす	2.2%	5.5%
8. 放課後等デイサービスで過ごす	4.7%	0.7%
9. 近所の公園、児童遊園で過ごす	24.8%	23.0%
10. 買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	1.5%	20.8%
11. その他()	2.2%	12.0%
無回答	0.0%	0.4%

問10 あなたは、普段、何をして過ごすことが多いですか。

①平日の放課後、②土曜日・休日・祝日(学校の無い日)の昼間について、それぞれあてはまる答えの番号に3つまで○をつけてください。

①	②
平日の放課後	土曜日・休日・祝日 (学校の無い日) の昼間
(n=274)	(n=274)

○は3つまで

1. おしゃべりをする	21.2%	21.2%
2. 勉強や宿題をする	75.5%	66.8%
3. テレビやDVDをみる	27.7%	29.6%
4. 友だちと電話する	0.4%	1.5%
5. 友だちとメールやラインなどをする	5.5%	5.8%
6. パソコンやインターネットをする	20.4%	15.0%
7. スポーツなど体を動かす	26.3%	24.5%
8. 本、雑誌、マンガなどを読む	29.9%	25.2%
9. ゲームをする	30.3%	33.9%
10. 買い物をする	1.8%	12.0%
11. 家族の手伝いをする	4.7%	4.7%
12. 何もしないで休む	3.3%	5.5%
13. その他()	6.9%	13.1%
無回答	0.7%	1.5%

問11 あなたは、学校と家以外で、放課後を過ごす場所としてどのような場所があればいいと思いますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=274)

1. 気軽におしゃべりができる場所		35.8%
2. 子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所		7.7%
3. 静かに勉強できる場所		29.9%
4. ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所		34.7%
5. いろいろなスポーツができる体育館や運動場		45.6%
6. 緑がたくさんある公園や広場		46.4%
7. ゲームやパソコンができる場所		31.4%
8. 音楽鑑賞やバンド活動などができる場所		7.7%
9. 文化活動(囲碁・将棋・料理など)ができる場所		14.2%
10. ひとりでも安心して、家族や友だちには話せない悩みの相談に行ける場所		5.8%
11. その他()		4.7%
12. 特にない	9.9%	無回答 0.7%

■ **子ども食堂**についてうかがいます。

問12 ごはんを無料または安く食べられる「子ども食堂」についてどのくらい知っていますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=274)

1. 知っている	30.3%	}	→	問12-1へ		
2. 聞いたことがある	32.1%					
3. 知らない	37.6%		→	問12-2へ	無回答	0.0%

問12-1 問12で、「1.」または「2.」とお答えの方についてうかがいます。

しったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=171)

1. 学校で聞いた	21.1%	5. 地域の人に教えてもらった	5.8%
2. チラシをみた	30.4%	6. 自分で調べた	4.7%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	4.7%	7. その他	53.8%
4. 友だちに教えてもらった	9.4%	無回答	0.6%

すべての方についてうかがいます。

問12-2 子ども食堂を今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=274)

1. 利用している	4.7%	3. わからない	52.2%		
2. 利用してみたい	25.5%	4. 利用したくない	15.7%	無回答	1.8%

■ すべての方に、近所の人や地域との関わり方についてうかがいます。

問13 あなたは、近所の人とあいさつや話をすることがありますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=274)

- | | | | | | | | | |
|---------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|------|------|
| 1. よくある | 28.8% | 2. ときどきある | 47.1% | 3. ほとんどない | 19.3% | 4. まったくない | 4.0% | |
| | | | | | | | 無回答 | 0.7% |

問14 あなたは、小学生になってから学校以外で行われる区や地域の活動、またはボランティア活動に参加

したことがありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=274)

- | | | | | | | | |
|----------------|-------|---|---|--------|--|-----|------|
| 1. 参加している | 10.6% | } | → | 問14-1へ | | 無回答 | 0.0% |
| 2. ときどき参加している | 23.7% | | | | | | |
| 3. ほとんど参加していない | 30.3% | } | → | 問14-2へ | | | |
| 4. まったく参加していない | 35.4% | | | | | | |

問14-1 問14で、「1.」または「2.」とお答えの方にうかがいます。

どのような地域の活動やボランティア活動に参加していますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=94)

- | | |
|--|----------|
| 1. 地域のイベントやお祭りの手伝い | 60.6% |
| 2. 環境を守る活動(ゴミ拾い、リサイクル活動など) | 19.1% |
| 3. 緑を守る活動(花を植えるなど) | 8.5% |
| 4. スポーツ・文化に関する活動(年下の子どもにスポーツを教えるなど) | 18.1% |
| 5. 子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、年下の子どもとの遊び相手をするなど) | 3.2% |
| 6. 高齢者・障害者に関する活動(お年寄りや障害者への介護、食事の提供など) | 2.1% |
| 7. 学習に関する活動(年下の子どもに勉強を教えるなど) | 7.4% |
| 8. 外国人との交流に関する活動(外国人にやさしい日本語を教えるなど) | 2.1% |
| 9. その他() | 17.0% |
| | 無回答 2.1% |

→ 問15へ

問14-2 問14で、「3.」または「4.」とお答えの方にうかがいます。

参加しない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=180)

- | | | | |
|------------------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 時間が合わないから | 32.8% | 5. 参加するきっかけがないから | 43.9% |
| 2. 忙しいから | 41.7% | 6. 地域の活動などに興味がないから | 18.3% |
| 3. 友だちが参加しないから | 15.0% | 7. その他() | 6.1% |
| 4. 地域の活動などがあることを知らないから | 35.0% | 無回答 | 1.7% |

■ 生活の安全・安心についてうかがいます。

問15 あなたは、事故や事件にあうかもしれないという不安を感じますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=274)

1. 強く感じる	11.3%	}	→	問15-1へ		むかいとう 無回答 0.0%
2. 少し感じる	32.8%					
3. あまり感じない	35.8%	}	→	問16へ		
4. まったく感じない	20.1%					

問15-1 問15で、「1.」または「2.」とお答えの方についてうかがいます。

そう感じる理由は何ですか。

あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

(n=121)

○は3つまで

1. 近所に暗く人気のない道や場所があるから	26.4%				むかいとう 無回答 0.0%
2. 塾や習い事などで遅く帰ることがあるから	51.2%				
3. 一人で出かけるときに、事故や事件にあうかもしれないから	45.5%				
4. 近所の人の顔をほとんど知らないから	4.1%				
5. テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから	45.5%				
6. 近所で子どもが巻き込まれた事故や事件が発生したから	3.3%				
7. 近所に交通量の多い道路があるから	19.8%				
8. 近所に見通しの悪い道が多いから	8.3%				
9. 近所に歩道や信号がない道路があるから	6.6%				
10. 学校が遠いから	1.7%				
11. その他()	9.9%				

■ すべての方に、運動の状況についてうかがいます。

問16 あなたは、学校の授業以外で、どれくらい運動をしていますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=274)

1. ほぼ毎日	23.4%	}	→	問16-1へ		むかいとう 無回答 0.0%
2. 週に2~3回程度	30.3%					
3. 週に1回程度	22.6%					
4. 月に1~2回程度	6.2%					
5. ほとんどしていない	17.5%	→	問16-2へ			

問16-1 問16で、「1.」～「4.」とお答えの方にはうかがいます。

運動したいと思う理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=226)

1.	運動が好きだから・楽しいから	70.4%
2.	上手になりたいから・運動能力を向上させたいから	51.8%
3.	健康や体力づくりのため	50.9%
4.	運動不足解消のため	34.1%
5.	気持ちを落ち着かせたり、ストレス発散のため	27.9%
6.	精神面を鍛えたいから	12.4%
7.	友だちができるから・友だちと一緒に頑張りたいから	29.6%
8.	その他()	3.5%
		無回答 0.9%

→ 問17へ

問16-2 問16で「5. ほとんどしていない」とお答えの方にはうかがいます。

運動をしていない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=48)

1.	運動に興味が無いから	43.8%
2.	近くに運動をできる場所がないから	20.8%
3.	教えてくれる人がいないから	4.2%
4.	参加したいと思う行事・イベントがないから	16.7%
5.	運動についての情報が無いから	4.2%
6.	勉強との両立が難しいから・時間が無いから	54.2%
7.	お金がかかるから	4.2%
8.	特に理由はない	4.2%
9.	その他()	4.2%
		無回答 2.1%

■ 相談窓口の利用についてうかがいます。

問17 困ったときに相談できる場所で、知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。

A～Dの事業ごとに、(1) (2) (3)のそれぞれについて、「1.はい」「2.いいえ」のいずれかに

○をつけてください。

(n=274)

	(1)	(2)	(3)
	知っている	利用したことがある	今後利用したい
A 教育センターの「総合相談室」	1. はい 26.3% 2. いいえ 72.3% 無回答 1.5%	1. はい 4.7% 2. いいえ 92.0% 無回答 3.3%	1. はい 23.4% 2. いいえ 71.2% 無回答 5.5%
B 保健サービスセンターの相談サービス	1. はい 12.4% 2. いいえ 85.4% 無回答 2.2%	1. はい 1.1% 2. いいえ 95.6% 無回答 3.3%	1. はい 13.5% 2. いいえ 80.7% 無回答 5.8%
C 子ども家庭支援センターの相談事業	1. はい 16.1% 2. いいえ 81.0% 無回答 2.9%	1. はい 0.7% 2. いいえ 96.0% 無回答 3.3%	1. はい 17.5% 2. いいえ 77.0% 無回答 5.5%
D 東京都児童相談センター	1. はい 25.5% 2. いいえ 69.7% 無回答 4.7%	1. はい 0.7% 2. いいえ 93.8% 無回答 5.5%	1. はい 18.2% 2. いいえ 73.7% 無回答 8.0%

■ 最後にうかがいます。

問18 最後に、文京区へのご意見やご要望またはご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

質問はこれで終わりです。ご協力、誠にありがとうございました。

いただいた回答は、今後の区政に生かしてまいります。

なお、調査結果は、令和6年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和5年11月17日(金)までに
ポストに入れてください。

(切手を貼る必要はありません)

「子ども・子育て支援に関する実態調査」のご案内

～調査へのご協力をお願い～

現在、文京区では、中高生世代であるみなさんが健やかに成長していくための具体的な計画（文京区子育て支援計画）をつくっています。

このたび、中高生世代であるみなさんの声を直接聞き、計画に生かしていくため、「実態調査」を行うこととなりました。みなさんの声が、文京区の子どもに対する計画に生かされます。

この封筒を受け取られたみなさんは、「ありのままの気持ちを、正直に」答えてください。

みなさんの回答は、子育てにかかわる人たちの会議などで話し合い、計画に反映するとともに、今後の区の実施に生かされます。

個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。安心して答えてください。

答えにくい質問には、無理に答える必要はありません。みなさんが普段思っていることや、日常の様子についてお聞かせください。

令和5年10月

文京区長 なり さわ ひろ のぶ
成澤 廣修

にほんごが わからないときは こちらへ

この二次元コードに、アクセスしてください。

Please access this two-dimensional code.

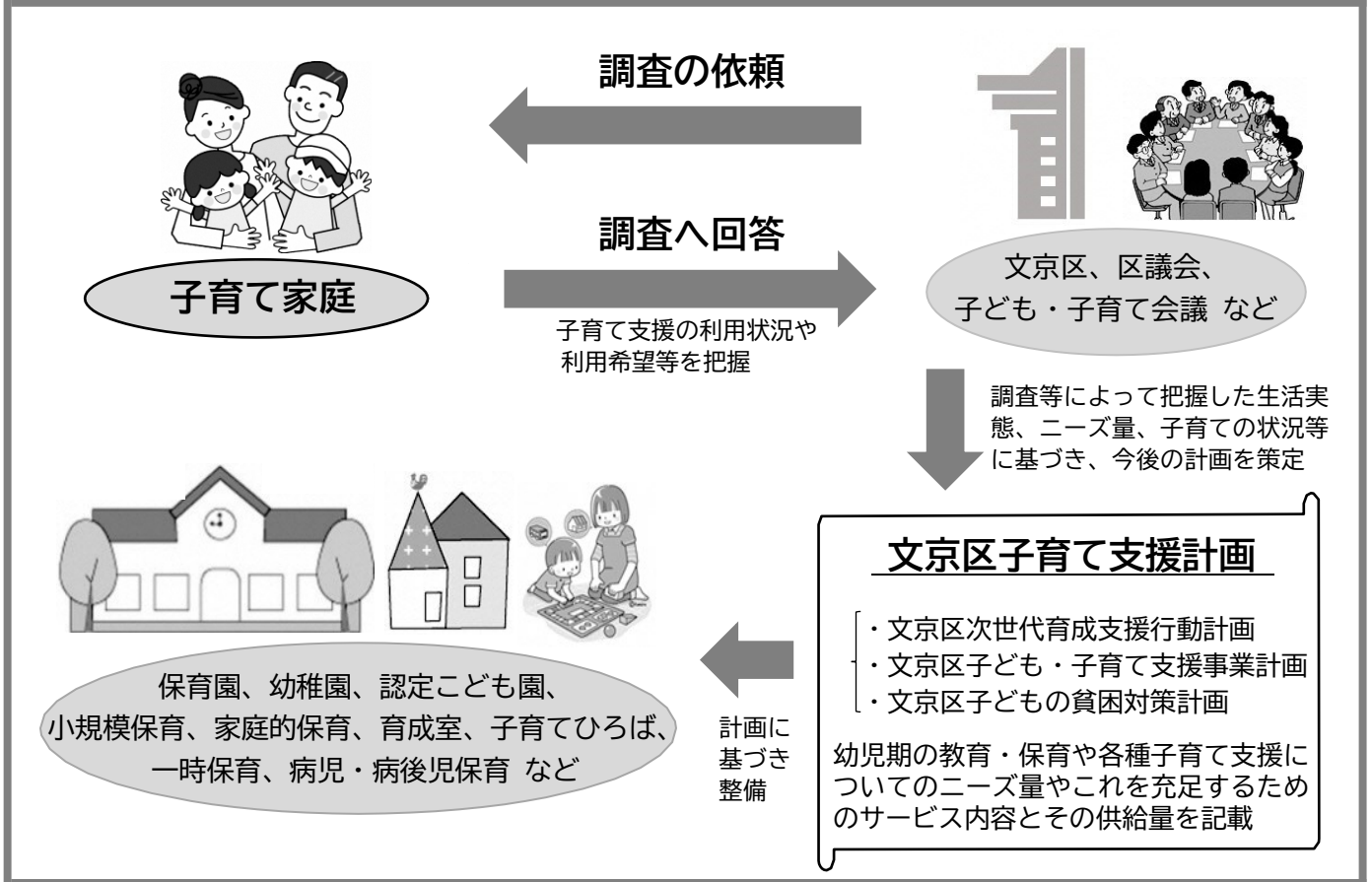
请访问此二维码。

請存取這個二維碼。




이 2 차원 코드에 접속해주세요.



いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます。



次のような事項について、調査します。(例)

<p>【ご家族について】 家族の状況、親子のコミュニケーション など</p> 	<p>【生活の状況について】 放課後の過ごし方、運動の状況、生活の安心・安全 など</p> 
<p>【施設等の利用状況について】 子ども食堂、相談窓口の利用 など</p> 	<p>【不安・悩みについて】 不安・悩み、生活の安心・安全 など</p> 

■ お住まいの地域についてうかがいます。

問1 あなたはどの地区に住んでいますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=254)

1. 後楽 0.0%	6. 水道 4.7%	11. 音羽 1.6%	16. 弥生 1.2%
2. 春日 3.1%	7. 小日向 5.9%	12. 本郷 8.3%	17. 根津 2.4%
3. 小石川 13.0%	8. 大塚 6.7%	13. 湯島 2.0%	18. 千駄木 7.9%
4. 白山 7.9%	9. 関口 2.8%	14. 西片 3.1%	19. 本駒込 12.2%
5. 千石 11.8%	10. 目白台 2.8%	15. 向丘 2.8%	無回答 0.0%

問1-1 何丁目に住んでいますか。

丁目

■ あなたとあなたの家族についてうかがいます。

問2 あなたは何年生ですか。それぞれあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=254)

(1)区分	1. 区立 37.0%	2. 私立 56.7%	3. 都立 1.6%	4. 国立 4.7%	無回答 0.0%
(2)学年	1. 中学1年生 34.6%	2. 中学2年生 34.3%	3. 中学3年生 30.7%	無回答 0.4%	

問3 あなたと一緒に住んでいる人について教えてください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=254)

1. 父親 92.5%	4. 祖父 5.1%	
2. 母親 99.2%	5. 祖母 7.5%	
3. 兄弟姉妹 74.4%	6. その他親戚など 0.4%	無回答 0.0%

問4 あなたは何人きょうだいの何番目ですか。

人 きょうだいの 番目

きょうだい数 (1人 14.6% 2人 54.3% 3人 20.5% 4人 2.0% 5人 0.4% 6人以上 0.4% 無回答 7.9%)

番目 (1番目 53.9% 2番目 31.9% 3番目 7.9% 4番目 0.4% 5番目 0.0% 6番目以上 0.4% 無回答 5.5%)

■ 親子のコミュニケーションについてうかがいます。

問5 あなたは、家族とよく話をしますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=254)

1. よく話をする 77.2%	} → 問5-1へ	
2. 必要なこと以外もときどき話をする 16.9%		
3. 必要なこと以外はあまり話をしない 4.7%	} → 問6へ	
4. あまり話はしない 1.2%		
		無回答 0.0%

問5-1 問5で、「1.」または「2.」とお答えの方についてうかがいます。

あなたは、特に誰と話をしますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=239)

1. 父親 48.5%	4. 祖父 2.1%
2. 母親 93.3%	5. 祖母 5.9%
3. 兄弟姉妹 48.1%	6. その他の人() 3.8%
	無回答 0.0%

■ すべての方に、不安や悩みごとについてうかがいます。

問6 あなたは今、不安や悩みはありますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=254)

1. 成績・受験のこと	53.5%	11. 家族の健康や病気	5.1%
2. 部活動のこと	18.9%	12. 外見に関すること	15.4%
3. 将来のこと	36.2%	13. 自分の性別に関すること	3.1%
4. 先生との関係	8.7%	14. 好きなことをする時間がない	8.7%
5. 友だちとの関係	23.2%	15. 日常的にきょうだいの面倒を見なければならない	0.8%
6. 先輩・後輩との関係	4.3%	16. 日常的に家族の介護をしなければならない	0.0%
7. 異性との関係	6.7%	17. 日常的に食事や洗濯など家事をしなければならない	0.0%
8. 家族との関係	8.3%	18. その他()	3.1%
9. 家の経済状況	3.5%	19. 特に不安や悩みはない	26.4%
10. 自分の健康や病気	9.1%	20. わからない	5.1%
		無回答	2.0%

問7 あなたが悩みごとや心配ごとを相談するとしたら、誰に相談しますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=254)

1. 父親	31.9%	8. スクールカウンセラー	5.9%
2. 母親	69.7%	9. 青少年プラザ(b-lab)の職員	0.0%
3. 兄弟姉妹	16.9%	10. 習い事・塾の先生	5.1%
4. 祖父母	4.7%	11. 療育機関の先生	0.0%
5. 友達	53.9%	12. 区や都の行政の相談窓口	0.8%
6. 先輩	7.1%	13. それ以外の人()	1.2%
7. 学校の先生	15.7%	14. 相談する人はいない	7.9%
		無回答	2.0%

問8 あなたは、学校に行きたくないと思ったことがありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=254)

1. よくある	12.6%	} → 問8-1へ	
2. ときどきある	31.1%		
3. ほとんどない	32.7%	} → 問9へ	
4. まったくない	23.6%		
			無回答 0.0%

問8-1 問8で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

学校に行きたくないと思った理由はどのようなことですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=111)

1. 友だちづきあいがうまくいかないから	18.0%	7. 自分の外見や性格のため	3.6%
2. クラスになじめないから	10.8%	8. 家族や家庭の事情のため	0.0%
3. 部活動でうまくいかないことがあるから	7.2%	9. 眠いなど体の具合が良くないため	39.6%
4. 先生とうまくいかないことがあるから	10.8%	10. その他()	21.6%
5. 授業についていけないから	13.5%	11. 特に理由はない	23.4%
6. いじめにあっているから	0.9%	無回答	0.0%

■ すべての方に、放課後を過ごす場所についてうかがいます。

問9 あなたは、普段、どこで過ごすことが多いですか。
 ①平日の放課後、②土曜日・休日・祝日(学校のない日)の昼間について、それぞれあてはまる答えの番号に3つまで○をつけてください。

①	②
平日の放課後	土曜日・休日・祝日 (学校のない日) の昼間
(n=254)	(n=254)

○は3つまで

	① 平日の放課後 (n=254)	② 土曜日・休日・祝日 (学校のない日) の昼間 (n=254)
1. 自宅でひとりで過ごす	40.6%	32.3%
2. 自宅で家族と過ごす	61.4%	78.7%
3. 友だちの家で過ごす	2.4%	7.1%
4. 学校で過ごす(部活動を除く。)	16.5%	3.9%
5. 部活動に行く	61.4%	29.9%
6. 学習塾や習い事に行く	49.6%	23.6%
7. 児童館で過ごす	0.4%	0.8%
8. 青少年プラザ(b-lab)で過ごす	2.4%	2.4%
9. 図書館で過ごす	2.8%	5.5%
10. 放課後等デイサービスで過ごす	0.0%	0.0%
11. 近所の公園、児童遊園で過ごす	3.1%	4.3%
12. 買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	3.1%	25.6%
13. その他()	5.9%	7.9%
無回答	0.4%	0.4%

問10 あなたは、普段、何をして過ごすことが多いですか。
 ①平日の放課後、②土曜日・休日・祝日(学校のない日)の昼間について、それぞれあてはまる答えの番号に3つまで○をつけてください。

①	②
平日の放課後	土曜日・休日・祝日 (学校のない日) の昼間
(n=254)	(n=254)

○は3つまで

	① 平日の放課後 (n=254)	② 土曜日・休日・祝日 (学校のない日) の昼間 (n=254)
1. おしゃべりをする	28.0%	17.7%
2. 勉強や宿題をする	62.2%	53.1%
3. テレビやDVDをみる	26.0%	28.7%
4. 友だちと電話する	6.3%	3.5%
5. 友だちとメールやラインなどをする	34.6%	33.1%
6. パソコンやインターネットをする	34.3%	33.1%
7. スポーツなど体を動かす	20.5%	20.1%
8. 本、雑誌、マンガなどを読む	14.6%	16.1%
9. ゲームをする	32.3%	33.9%
10. 買い物をする	1.6%	11.4%
11. 家族の手伝いをする	4.7%	3.9%
12. 何もしないで休む	7.9%	11.8%
13. その他()	4.7%	6.7%
無回答	0.8%	0.8%

問11 あなたは、学校と家以外で、放課後を過ごす場所としてどのような場所があればいいと思いますか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=254)

1. 気軽におしゃべりができる場所	37.4%
2. 子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所	3.5%
3. 静かに勉強できる場所	33.9%
4. ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所	35.8%
5. いろいろなスポーツができる体育館や運動場	33.1%
6. 緑がたくさんある公園や広場	24.8%
7. ゲームやパソコンができる場所	28.3%
8. 音楽鑑賞やバンド活動などができる場所	13.0%
9. 文化活動(囲碁・将棋・料理など)ができる場所	7.5%
10. ひとりでも安心して、家族や友だちには話せない悩みの相談に行ける場所	7.5%
11. その他()	2.4%
12. 特にない	13.8%
	無回答 1.6%

■ 青少年プラザ(b-lab)の利用状況についてうかがいます。

問12 文京区では、中高生の自主的な活動を支援することを目的として、中高生向け施設「青少年プラザ(b-lab)」を開設しています。
 あなたは、b-labを知っていますか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=254)

1. 知っている	43.3%	2. 知らない	56.7%	→ 問13へ	無回答	0.0%
----------	-------	---------	-------	--------	-----	------

問12-1 問12で、「1.」とお答えの方にはうかがいます。
 あなたはb-labを利用したことがありますか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=110)

1. よく利用する	5.5%	} → 問12-3へ
2. ときどき利用する	21.8%	
3. ほとんど利用したことがない	19.1%	} → 問12-2へ
4. 利用したことがない	53.6%	
		無回答 0.0%

問12-2 問12-1で、「3.」または「4.」とお答えの方にはうかがいます。
 b-labを利用しない理由は何ですか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=80)

1. 部活や塾・習い事で忙しいから	40.0%
2. 興味・関心がないから	31.3%
3. 利用の方法がわからないから	13.8%
4. どのような施設かわからないから	15.0%
5. 自分ひとりでは行きにくいから	38.8%
6. 自宅または学校から遠いから	36.3%
7. その他()	6.3%
	無回答 0.0%

→ 問13へ

問12で「1.」とお答えの方で、問12-1で、「1.」または「2.」とお答えの方にうかがいます。

問12-3 b-labがどのような施設になれば、(さらに)利用したいと思いませんか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=30)

1. 事業(催しや企画)を充実する 〔具体的な内容〕	6.7%		
2. 音響機材等の設備や機器を充実する 〔具体的な設備・機器名称〕	3.3%		
3. ひとりでも気軽に利用できる施設や参加できる事業がある	43.3%		
4. 自習ができるスペースや学習に関する事業がある	30.0%		
5. 自宅または学校の近くにある	63.3%		
6. 悩みごとや心配ごとを相談できる	16.7%		
7. 特にない	13.3%		
8. その他()	3.3%	無回答	0.0%

■ 子ども食堂についてうかがいます。

問13 ごはんを無料でまたは安く食べられる「子ども食堂」についてどのくらい知っていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=254)

1. 知っている	34.3%	}	→	問13-1へ		
2. 聞いたことがある	43.7%					
3. 知らない	22.0%		→	問13-2へ	無回答	0.0%

問13-1 問12で、「1.」または「2.」とお答えの方にうかがいます。

知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=198)

1. 学校で聞いた	24.7%		
2. チラシをみた	22.7%		
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	6.1%		
4. 友だちに教えてもらった	6.6%		
5. 地域の人に教えてもらった	3.0%		
6. 自分で調べた	6.1%		
7. その他	45.5%	無回答	0.0%

すべての方にかがいます。

問13-2 子ども食堂を今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=254)

1. 利用している	3.5%	3. わからない	62.2%		
2. 利用してみたい	17.7%	4. 利用したくない	16.1%	無回答	0.4%

■ 近所の人や地域との関わり方についてうかがいます。

問14 あなたは、近所の人とあいさつや話をすることがありますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=254)

1. よくある	25.6%	2. ときどきある	53.9%	3. ほとんどない	13.4%	4. まったくない	6.7%		
								無回答	0.4%

問15 あなたは、中学生になってから学校以外で行われる区や地域の活動、またはボランティア活動に参加したことがありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=254)

1. 参加している	5.9%	}	→	問15-1へ	}	→	問15-2へ	無回答	0.0%
2. ときどき参加している	14.2%								
3. ほとんど参加していない	31.1%								
4. まったく参加していない	48.8%								

問15-1 問15で、「1.」または「2.」とお答えの方にかがいます。

どのような地域の活動やボランティア活動に参加していますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=51)

1. 地域のイベントやお祭りの手伝い		70.6%	
2. 環境を守る活動(ゴミ拾い、リサイクル活動など)		29.4%	
3. 緑を守る活動(花を植えるなど)		3.9%	
4. スポーツ・文化に関する活動(年下の子どもにスポーツを教えるなど)		19.6%	
5. 子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、年下の子どもの遊び相手をするなど)		5.9%	
6. 高齢者・障害者に関する活動(お年寄りや障害者への介護、食事の提供など)		0.0%	
7. 学習に関する活動(年下の子どもに勉強を教えるなど)		5.9%	
8. 外国人との交流に関する活動(外国人にやさしい日本語を教えるなど)		5.9%	
9. その他()	7.8%		無回答 2.0%

→ 問16へ

問15-2 問15で、「3.」または「4.」とお答えの方にはうかがいます。

参加しない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=203)

1. 時間が合わないから	33.0%	5. 参加するきっかけがないから	47.8%
2. 忙しいから	43.3%	6. 地域の活動等に興味がないから	24.1%
3. 友だちが参加しないから	11.8%	7. その他()	5.4%
4. 地域の活動等があることを知らないから	33.0%	無回答	1.5%

■ 生活の安全・安心についてうかがいます。

問16 あなたは、何らかの事故や事件に巻き込まれるかもしれないという不安を感じますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=254)

1. 強く感じる	7.9%	}	→	問16-1へ	
2. 少し感じる	33.5%				
3. あまり感じない	35.0%	}	→	問17へ	
4. まったく感じない	23.6%				
					無回答 0.0%

問16-1 問16で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

そう感じる理由は何ですか。

あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

(n=105)

○は3つまで

1. 近所に暗く人気のない道や場所があるから	21.0%
2. 塾や習い事などで遅く帰ることがあるから	41.9%
3. 一人で出かけるときに、事故や事件にあうかもしれないから	50.5%
4. 近所の人の顔をほとんど知らないから	3.8%
5. テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから	42.9%
6. 近所で子どもが巻き込まれた事故や事件が発生したから	1.0%
7. 近所に交通量の多い道路があるから	10.5%
8. 近所に見通しの悪い道が多いから	6.7%
9. 近所に歩道や信号がない道路があるから	0.0%
10. 学校が遠いから	10.5%
11. その他()	12.4%
	無回答 1.0%

■ すべての方に、運動の状況についてうかがいます。

問17 あなたは、学校の授業以外で、日頃どの程度運動で身体を動かしていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=254)

1. ほぼ毎日	29.1%	}	→	問17-1へ	
2. 週に2~3回程度	28.0%				
3. 週に1回程度	11.8%				
4. 月に1~2回程度	5.9%				
5. ほとんどしていない	25.2%		→	問17-2へ	無回答 0.0%

問17-1 問17で、「1.」~「4.」とお答えの方にはうかがいます。

運動したいと思う理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=190)

1. 運動が好きだから・楽しいから	55.8%	
2. 上手になりたいから・運動能力を向上させたいから	49.5%	
3. 健康や体力づくりのため	47.4%	
4. 運動不足解消のため	31.6%	
5. 気持ちを落ち着かせたり、ストレス発散のため	26.3%	
6. 精神面を鍛えたいから	10.0%	
7. 友だちができるから・友だちと一緒に頑張りたいから	22.1%	
8. その他()	5.8%	無回答 1.1%

→ 問18へ

問17で「5. ほとんどしていない」とお答えの方にはうかがいます。

問17-2 運動をしていない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=64)

1. 運動に興味が無いから	48.4%	
2. 近くに運動をできる施設や場所がないから	15.6%	
3. 指導者がいないから	4.7%	
4. 参加したいと思う行事・イベントがないから	23.4%	
5. 運動に関する情報がないから	4.7%	
6. 勉強との両立が難しいから・時間がないから	37.5%	
7. お金がかかるから	3.1%	
8. 特に理由はない	25.0%	
9. その他()	9.4%	無回答 0.0%

■ すべての方に、相談窓口の利用についてうかがいます。

問18 困ったときの相談窓口で、知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。
A～Dの事業ごとに、(1) (2) (3)のそれぞれについて、「1.はい」「2.いいえ」のいずれかに○をつけてください。

(n=254)

	(1)		(2)		(3)	
	知っている		利用したことがある		今後利用したい	
A 教育センターの「総合相談室」	1. はい 2. いいえ 無回答	18.5% 79.9% 1.6%	1. はい 2. いいえ 無回答	2.8% 94.5% 2.8%	1. はい 2. いいえ 無回答	27.2% 68.5% 4.3%
B 保健サービスセンターの相談サービス	1. はい 2. いいえ 無回答	10.6% 85.8% 3.5%	1. はい 2. いいえ 無回答	0.4% 96.5% 3.1%	1. はい 2. いいえ 無回答	25.2% 69.7% 5.1%
C 子ども家庭支援センターの相談事業	1. はい 2. いいえ 無回答	17.7% 78.7% 3.5%	1. はい 2. いいえ 無回答	1.2% 95.3% 3.5%	1. はい 2. いいえ 無回答	24.0% 70.5% 5.5%
D 東京都児童相談センター	1. はい 2. いいえ 無回答	33.1% 61.4% 5.5%	1. はい 2. いいえ 無回答	0.8% 93.3% 5.9%	1. はい 2. いいえ 無回答	24.8% 67.7% 7.5%

■ 最後にうかがいます。

問19 最後に、区へのご意見やご要望またはご提案等がありましたら、自由にご記入ください。

質問はこれで終わりです。ご協力、誠にありがとうございました。
いただいた回答は、今後の区政に生かしてまいります。
なお、調査結果は、令和6年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、
興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和5年11月17日（金）までにご投函ください。
(切手を貼る必要はございません)

「子ども・子育て支援に関する実態調査」のご案内

～調査へのご協力をお願い～

現在、文京区では、中高生世代であるみなさんが健やかに成長していくための具体的な計画（文京区子育て支援計画）をつくっています。

このたび、中高生世代であるみなさんの声を直接聞き、計画に生かしていくため、「実態調査」を行うこととなりました。みなさんの声が、文京区の子どもに対する計画に生かされます。

この封筒を受け取られたみなさんは、「ありのままの気持ちを、正直に」答えてください。

みなさんの回答は、子育てにかかわる人たちの会議などで話し合い、計画に反映するとともに、今後の区の実施に生かされます。

個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。安心して答えてください。

答えにくい質問には、無理に答える必要はありません。みなさんが普段思っていることや、日常の様子についてお聞かせください。

令和5年10月

文京区長 なり さわ ひろ のぶ
成澤 廣修

にほんごが わからないときは こちらへ

この二次元コードに、アクセスしてください。

Please access this two-dimensional code.

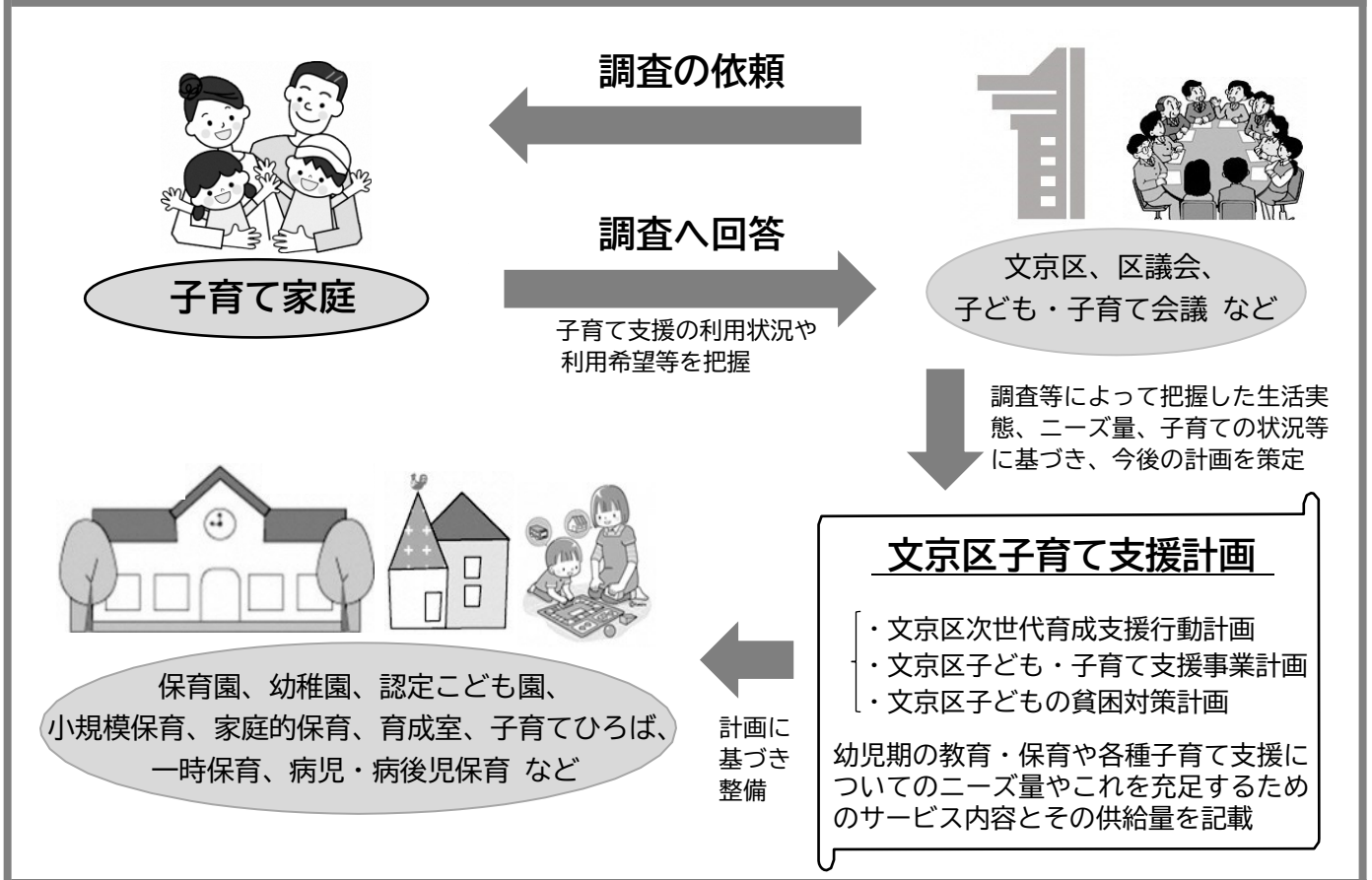
请访问此二维码。

請存取這個二維碼。


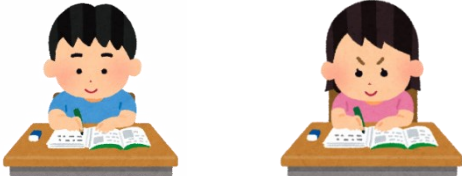


이 2 차원 코드에 접속해주세요.



いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます。



次のような事項について、調査します。(例)

<p>【ご家族について】 家族の状況、親子のコミュニケーション など</p> 	<p>【生活の状況について】 放課後の過ごし方、運動の状況、 生活の安心・安全 など</p> 
<p>【施設等の利用状況について】 子ども食堂、相談窓口の利用 など</p> 	<p>【不安・悩みについて】 不安・悩み、生活の安心・安全 など</p> 

■ お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=226)

1. 後楽	2.2%	6. 水道	3.1%	11. 音羽	1.3%	16. 弥生	0.4%
2. 春日	3.1%	7. 小日向	7.1%	12. 本郷	0.4%	17. 根津	2.7%
3. 小石川	9.3%	8. 大塚	8.8%	13. 湯島	0.0%	18. 千駄木	10.6%
4. 白山	9.3%	9. 関口	2.2%	14. 西片	3.5%	19. 本駒込	13.3%
5. 千石	9.3%	10. 目白台	4.0%	15. 向丘	3.1%	無回答	0.9%

問1-1 お住まいの丁目をご記入ください。

丁目

■ あなた自身のことやご家族についてうかがいます。

問2 あなたの生年と学校に通っている場合は学年をご記入ください。

平成 年

それぞれ1つに○をつけてください。

(都立 19.9% ・ 私立 74.3% ・ 国立 4.4% ・ 無回答 1.3%)

(高校 99.1% ・ 高専 0.0% ・ 専門学校等 0.0% ・ 無回答 0.9%)

(1年生 31.0% ・ 2年生 34.1% ・ 3年生 33.6% ・ 無回答 1.3%)

年生

問3 あなたと一緒に住んでいる人について教えてください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=226)

1. 父	87.2%	4. 祖父	4.4%		
2. 母	94.2%	5. 祖母	7.5%		
3. 兄弟姉妹	68.1%	6. その他の親戚など	1.3%	無回答	1.8%

問4 あなたは何人きょうだいの何番目ですか。

人 きょうだいの 番目

きょうだい数 (1人 13.7% 2人 54.0% 3人 19.0% 4人 3.5% 5人 0.0% 6人以上 0.4% 無回答 9.3%)

番目 (1番目 50.9% 2番目 33.2% 3番目 7.1% 4番目 1.8% 5番目 0.0% 6番目以上 0.4% 無回答 6.6%)

■ 親子のコミュニケーションについてうかがいます。

問5 あなたは、家族とよく話をしますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=226)

1. よく話をする	73.0%	} → 問5-1へ	
2. 必要なこと以外もときどき話をする	22.6%		
3. 必要なこと以外はあまり話をしない	3.5%	} → 問6へ	
4. あまり話はしない	0.9%		
			無回答 0.0%

問5-1 問5で、「1.」または「2.」とお答えの方についてうかがいます。

あなたは、特に誰と話をしますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=216)

1. 父親	47.2%	4. 祖父	1.4%
2. 母親	90.3%	5. 祖母	6.0%
3. 兄弟姉妹	47.7%	6. その他の人()	2.3%
			無回答 1.4%

■ すべての方に、不安や悩みごとについてうかがいます。

問6 あなたは今、不安や悩みはありますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=226)

1. 成績・受験のこと	71.7%	11. 家族の健康や病気	8.0%
2. 部活動のこと	11.1%	12. 外見に関すること	14.6%
3. 将来のこと	54.0%	13. 自分の性別に関すること	1.3%
4. 先生との関係	2.7%	14.好きなことをする時間がない	8.4%
5. 友だちとの関係	16.8%	15. 日常的にきょうだいの面倒を見なければならない	0.4%
6. 先輩・後輩との関係	3.5%	16. 日常的に家族の介護をしなければならない	0.0%
7. 異性との関係	8.4%	17. 日常的に食事や洗濯など家事をしなければならない	0.9%
8. 家族との関係	4.0%	18. その他()	1.3%
9. 家の経済状況	8.8%	19. 特に不安や悩みはない	13.3%
10. 自分の健康や病気	10.2%	20. わからない	0.4%
			無回答 0.4%

問7 あなたが悩みごとや心配ごとを相談するとしたら、誰に相談しますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=226)

1. 父親	32.7%	9. 青少年プラザ(b-lab)の職員	0.9%
2. 母親	69.5%	10. 習い事・塾の先生	7.1%
3. 兄弟姉妹	18.1%	11. 療育機関の先生	1.3%
4. 祖父母	4.0%	12. 区や都の行政の窓口	0.9%
5. 友達	55.8%	13. ハローワーク等の相談窓口	0.0%
6. 先輩	8.8%	14. それ以外の人	2.7%
7. 学校の先生	17.3%	15. 相談する人はいない	4.0%
8. スクールカウンセラー	1.8%		無回答 0.9%

■ すべての方に、普段の過ごし方や過ごす場所についてうかがいます。

問8 あなたは、普段、どこで過ごすことが多いですか。
①平日の放課後(就業後)、
②土曜日・休日・祝日(学校・就労のない日)
の昼間について、それぞれあてはまる答えの番号に3つ
まで○をつけてください。

①	②
平日の放課後 (就業後)	土曜日・休日・祝日 (学校・就労のない日) の昼間
(n=226)	(n=226)

1. 自宅でひとりで過ごす	39.8%	40.7%
2. 自宅で家族と過ごす	58.4%	68.1%
3. 友だちの家で過ごす	0.0%	2.7%
4. 学校で過ごす(部活動を除く。)	27.4%	3.1%
5. 部活動に行く	35.4%	20.4%
6. 学習塾や習い事に行く	37.6%	20.8%
7. アルバイトに行く	4.9%	3.1%
8. 児童館で過ごす	0.0%	0.0%
9. 青少年プラザ(b-lab)で過ごす	0.9%	1.3%
10. 図書館で過ごす	3.5%	3.5%
11. 放課後等デイサービスで過ごす	0.4%	0.4%
12. 買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	8.8%	26.1%
13. その他()	3.1%	7.1%
無回答	0.9%	0.9%

○は3つまで

→ 問8-1へ

問8で、「5.」～「7.」とお答えの方にはうかがいます。

(該当しない方は、問9へお進みください)

問8-1 その頻度はどのくらいですか。
回数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

5. 部活動	週 <input type="text"/> 回くらい	1回あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間くらい
6. 学習塾・習い事	週 <input type="text"/> 回くらい	1回あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間くらい
7. アルバイト	週 <input type="text"/> 回くらい	1回あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間くらい

すべての方にはうかがいます。

問9 あなたは、普段、何をして過ごすことが多いですか。
①平日の放課後(就業後)、
②土曜日・休日・祝日(学校・就労のない日)
の昼間について、それぞれあてはまる答えの番号に3つ
まで○をつけてください。

①	②
平日の放課後 (就業後)	土曜日・休日・祝日 (学校・就労のない日) の昼間
(n=226)	(n=226)

	①	②
1. 友だちまたは家族とおしゃべりする	50.4%	37.6%
2. 勉強や宿題をする	58.0%	52.7%
3. 友だちとメールやラインなどをする	31.9%	29.2%
4. パソコンやインターネットをする	37.2%	41.2%
5. 友だちと電話する	6.2%	6.6%
6. テレビやDVDを見る	13.7%	16.4%
7. 本、雑誌、マンガなどを読む	11.1%	11.1%
8. ゲームをする	24.3%	24.8%
9. スポーツなどで体を動かす	6.2%	6.6%
10. 買い物をする	1.3%	8.8%
11. 家族の手伝いをする	2.2%	4.9%
12. アルバイトをする	3.5%	4.0%
13. 何もしないで休む	9.7%	10.6%
14. その他()	3.5%	5.3%
無回答	1.8%	1.8%

○は3つまで

問10 あなたは、学校等と家以外で、放課後や就業後に過ごす場所としてどのような場所があればいいと思いますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=226)

1. 気軽におしゃべりができる場所	34.1%
2. 子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所	6.2%
3. 静かに勉強できる場所	46.0%
4. ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所	35.8%
5. いろいろなスポーツができる体育館や運動場	23.5%
6. 緑がたくさんある公園や広場	26.5%
7. ゲームやパソコンができる場所	18.6%
8. 音楽鑑賞やバンド活動などができる場所	15.0%
9. 文化活動(囲碁・将棋・料理など)ができる場所	7.1%
10. ひとりでも安心して、家族や友だちには話せない悩みの相談に行ける場所	7.1%
11. その他()	4.0%
12. 特にない	10.2%
無回答	1.8%

■ すべての方に、青少年プラザ(b-lab)の利用状況についてうかがいます。

問11 文京区では、中高生の自主的な活動を支援することを目的として、中高生向け施設「青少年プラザ(b-lab)」を開設しています。
あなたは、b-labを知っていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=226)

1. 知っている	44.2%	→	問11-1へ		
2. 知らない	55.8%	→	問12へ	無回答	0.0%

問11-1 問11で、「1.」とお答えの方にはうかがいます。
あなたはb-labを利用したことがありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=100)

1. よく利用する	6.0%	}	→	問11-3へ	無回答	0.0%
2. ときどき利用する	27.0%					
3. ほとんど利用したことがない	33.0%	}	→	問11-2へ		
4. 利用したことがない	34.0%					

問11-2 問11-1で、「3.」または「4.」とお答えの方にはうかがいます。
b-labを利用しない理由は何ですか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=67)

1. 部活や塾・習い事で忙しいから	22.4%	
2. 興味・関心がないから	43.3%	
3. 利用の方法がわからないから	10.4%	
4. どのような施設かわからないから	6.0%	
5. 自分ひとりでは行きにくいから	23.9%	
6. 自宅または学校から遠いから	44.8%	
7. その他()	4.5%	無回答 1.5%

→ 問12へ

問11で「1.」とお答えの方で、問11-1で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

問11-3 b-labがどのような施設になれば、(さらに)利用したいと思いますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=33)

1. 事業(催しや企画)を充実する 〔具体的な内容〕	9.1%	
2. 音響機材等の設備や機器を充実する 〔具体的な設備・機器名称〕	18.2%	
3. ひとりでも気軽に利用できる施設や参加できる事業がある	30.3%	
4. 自習が出来るスペースや学習に関する事業がある	30.3%	
5. 自宅または学校の近くにある	51.5%	
6. 悩みごとや心配ごとを相談できる	3.0%	
7. 特にない	9.1%	
8. その他()	6.1%	無回答 0.0%

■ 子ども食堂についてうかがいます。

問12 ごはんを無料でまたは安く食べられる「子ども食堂」についてどのくらい知っていますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=226)

1. 知っている	36.3%	}	→	問12-1へ		無回答	0.0%
2. 聞いたことがある	39.8%						
3. 知らない	23.9%	→	問12-2へ				

問12-1 問12で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=172)

1. 学校で聞いた	27.3%	5. 地域の人に教えてもらった	2.9%
2. チラシをみた	16.9%	6. 自分で調べた	7.0%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	8.7%	7. その他	48.3%
4. 友だちに教えてもらった	5.2%	無回答	1.2%

すべての方にはうかがいます。

問12-2 子ども食堂を今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=226)

1. 利用している	1.8%	3. わからない	58.0%		無回答	0.4%
2. 利用してみたい	12.4%	4. 利用したくない	27.4%			

■ 近所の人や地域との関わり方についてうかがいます。

問13 あなたは、近所の人とあいさつや話をすることがありますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=226)

1. よくある	21.7%	2. ときどきある	42.5%	3. ほとんどない	26.1%	4. まったくない	8.0%	
							無回答	1.8%

問14 あなたは、中学校を卒業してから、学校または職場以外で行われる区や地域の活動、またはボランティア活動について、(A)参加したことがありますか。
 また、(B)今後参加してみたいと思いますか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(A)	(B)
参加したことがある	今後参加してみたい
(n=226)	(n=226)

	↓	↓
1. 環境を守る活動 (清掃美化活動、リサイクル活動など)	8.8%	24.3%
2. 身近な緑を守る活動 (花壇づくりなど)	3.1%	19.9%
3. 子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、年下の子どもの遊び相手をするなど)	3.5%	26.1%
4. 高齢者・障害者福祉に関する活動 (お年寄りや障害者への介護、食事の提供など)	2.7%	17.7%
5. スポーツに関する活動 (小学生にスポーツを教えるなど)	1.8%	22.6%
6. 学習・文化に関する指導、助言、運営の協力 などの活動(料理、英語、書道など)	2.7%	24.3%
7. 国際交流、国際協力に関する活動 (通訳、外国人を助けるなど)	3.5%	31.4%
8. 地域のイベントやお祭りの手伝い	12.8%	19.9%
9. 特にない	16.4%	12.4%
10. その他()	1.3%	2.2%
無回答	59.7%	31.0%

■ すべての方に、生活の安全・安心についてうかがいます。

問15 あなたは、何らかの事故や事件に巻き込まれるかもしれないという不安を感じますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=226)

1. 強く感じる	7.5%	}	→	問15-1へ	
2. 少し感じる	26.5%				
3. あまり感じない	49.6%	}	→	問16へ	
4. まったく感じない	16.4%				
					無回答 0.0%

問15-1 問15で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

そう感じる理由は何ですか。

あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

(n=77)

○は3つまで	1. 近所に暗く人気のない道や場所があるから	23.4%	
	2. 塾や習い事などで遅く帰ることがあるから	41.6%	
	3. 一人で外出する際に、事故や事件にあうかもしれないから	35.1%	
	4. 近所の人顔をほとんど知らないから	3.9%	
	5. テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから	41.6%	
	6. 近所で子どもが巻き込まれた事故や事件が発生したから	0.0%	
	7. 近所に交通量の多い道路があるから	6.5%	
	8. 近所に見通しの悪い道が多いから	5.2%	
	9. 近所に歩道や信号がない道路があるから	1.3%	
	10. 学校または職場が遠いから	11.7%	
	11. その他()	6.5%	無回答 3.9%

■ すべての方に、現在の状況についてうかがいます。

問16 あなたの現在の状況についてうかがいます。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。
「1. 就学している」「2. 就労している」とお答えの方は学校の区分や就労形態についてもお答えください。
(n=226)

1. 就学している	94.7%	【就学している学校の区分】				問 16-1へ
ア. 都立高校	21.0%	エ. 専門学校	0.0%			
イ. 私立高校	71.0%	オ. フリースクール	0.0%			
ウ. 国立高校	4.7%	カ. その他()	1.4%	無回答 1.9%		
2. 就労している	0.4%	【現在の就労形態】				問 16-4へ
ア. 正規職員	100.0%	オ. 自営業・自由業	0.0%			
イ. 非常勤職員	0.0%	カ. 家業を手伝っている	0.0%			
ウ. 派遣社員・契約社員	0.0%	キ. その他()	0.0%			
エ. パート・アルバイト	0.0%	無回答	0.0%			
3. 働いていないが、求職活動をしている	0.0%					
4. 働いていないが、自分の趣味や用事などで外出している	2.7%					
5. 外出はほとんどせずに自宅で過ごしている	1.3%					
6. 自室からはほとんど出ずに過ごしている	0.0%					
7. その他()	0.9%					
無回答	0.0%					

問16で「1. 就学している」とお答えの方についてうかがいます。

問16-1 あなたは、学校に行きたくないと思ったことがありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=214)

1. よくある	16.8%	}	→	問16-2へ
2. ときどきある	27.1%			
3. ほとんどない	31.8%	}	→	問16-3へ
4. まったくない	24.3%			
				無回答 0.0%

問16-2 問16-1で、「1.」または「2.」とお答えの方についてうかがいます。

学校に行きたくないと思った理由はどのようなことですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=94)

1. 友だちづきあいがうまくいかないから	19.1%	7. 自分の外見や性格のため	8.5%
2. クラスになじめないから	10.6%	8. 家族や家庭の事情のため	2.1%
3. 部活動でうまくいかないことがあるから	4.3%	9. 眠いなど体の具合が良くないから	47.9%
4. 先生とうまくいかないことがあるから	6.4%	10. その他()	24.5%
5. 授業についていけないから	5.3%	11. 特に理由はない	14.9%
6. いじめにあっているから	0.0%	無回答	2.1%

→ 問16-3へ

問16-3 あなたは、卒業後の進路についてどのように考えていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=214)

1. 大学または専門学校に進学したい	95.3%	→	問16-5へ	
2. 就職したい	0.9%	→	問16-6へ	
3. わからない	3.7%	}	問17へ	無回答 0.0%
4. その他()	0.0%			

問16で「2.」～「7.」とお答えの方にかがいます。

問16-4 あなたは、今後の進路についてどのように考えていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

「1. 就学を希望」とお答えの方は希望する学校の区分についてもお答えください。

(n=12)

1. 就学を希望	75.0%	}	問 16-5へ		
【希望する学校の区分】					
ア. 都立高校	0.0%			エ. 専門学校	22.2%
イ. 私立高校	11.1%			オ. フリースクール	0.0%
ウ. 国立高校	11.1%			カ. その他()	33.3%
				無回答	22.2%
2. 就労を希望	→	問16-6へ	0.0%		
3. 決まっていない			25.0%		
4. その他()			0.0%		
無回答			0.0%		
		}	問 17へ		

問16-3で「1. 大学または専門学校に進学したい」、問16-4で「1. 就学を希望」とお答えの方にかがいます。

問16-5 就学にあたっての困りごとはありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=213)

1. 学力に課題がある	56.8%	6. 勉強に集中できる場所がない	9.4%
2. 家族から反対されている	1.4%	7. 家族の介護や育児がある	0.0%
3. 健康面での問題がある	6.1%	8. その他()	1.4%
4. 経済的な問題がある	10.8%	9. 特に困りごとはない	25.4%
5. 自分に合う進学先がわからない	27.2%	無回答	4.2%

→ 問17へ

問16-3で「2. 就職したい」、問16-4で「2. 就労を希望」とお答えの方にかがいます。

問16-6 就労にあたっての困りごとはありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=2)

1. 就職先が見つかるか不安である	50.0%	7. 職場の人間関係が不安である	50.0%
2. 希望する会社に採用されるか不安である	50.0%	8. 長時間労働の不安がある	0.0%
3. 給料や待遇面が不安である	0.0%	9. 家族の介護や育児がある	0.0%
4. 通勤に時間がかかることが不安である	50.0%	10. その他()	0.0%
5. 自分に合う仕事がわからない	0.0%	11. 特に困りごとはない	0.0%
6. 仕事を続けていけるか不安である	50.0%	無回答	50.0%

→ 問17へ

■ すべての方に、充実した生活を送るために必要な取組(支援)についてうかがいます。

問17 あなたが充実した生活を送れるようになるために必要と考える区取組(支援)はありますか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=226)

1. 家庭や学校以外で放課後や休日に過ごせる居場所の提供	31.9%
2. 不安や悩みを気軽に相談できる窓口の整備	11.5%
3. 学校の授業についていくための学習支援	15.5%
4. 就職に向けた相談対応やスキルアップに向けた支援	11.5%
5. 経済的自立に向けた支援	15.0%
6. その他()	4.0%
7. 特にな	41.2%
無回答	5.3%

■ すべての方に、相談窓口の利用についてうかがいます。

問18 困ったときの相談窓口で、知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。
 A~Eの事業ごとに、(1) (2) (3)のそれぞれについて、「1.はい」「2.いいえ」のいずれかに○をつけてください。

(n=226)

	(1)		(2)		(3)	
	知っている		利用したことがある		今後利用したい	
A 教育センターの「総合相談室」	1. はい 2. いいえ 無回答	11.5% 80.5% 8.0%	1. はい 2. いいえ 無回答	4.0% 87.2% 8.8%	1. はい 2. いいえ 無回答	19.5% 63.3% 17.3%
B 保健サービスセンターの相談サービス	1. はい 2. いいえ 無回答	7.5% 82.3% 10.2%	1. はい 2. いいえ 無回答	0.0% 89.8% 10.2%	1. はい 2. いいえ 無回答	14.6% 66.4% 19.0%
C 子ども家庭支援センターの相談事業	1. はい 2. いいえ 無回答	15.0% 74.3% 10.6%	1. はい 2. いいえ 無回答	1.3% 88.5% 10.2%	1. はい 2. いいえ 無回答	13.3% 67.7% 19.0%
D 文京区自立相談支援窓口	1. はい 2. いいえ 無回答	8.4% 80.1% 11.5%	1. はい 2. いいえ 無回答	0.0% 88.1% 11.9%	1. はい 2. いいえ 無回答	15.5% 64.6% 19.9%
E 東京都児童相談センター	1. はい 2. いいえ 無回答	31.9% 59.7% 8.4%	1. はい 2. いいえ 無回答	1.3% 86.7% 11.9%	1. はい 2. いいえ 無回答	12.4% 67.7% 19.9%

■ 最後にうかがいます。

問19 最後に、区へのご意見やご要望またはご提案等がありましたら、自由にご記入ください。

質問はこれで終わりです。ご協力、誠にありがとうございました。
いただいた回答は、今後の区政に活かしてまいります。
なお、調査結果は、令和6年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和5年11月17日（金）までにご投函ください。
(切手を貼る必要はございません)

「子ども・子育て支援に関する実態調査」のご案内

～調査へのご協力をお願いします～

我が国では、少子高齢化が進行し続ける中、人口減少社会に移行しており、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。女性の社会進出を後押しする施策も増え、多様な働き方を選択できる社会を実現していく働き方改革も進められていますが、子育て世帯においてワーク・ライフ・バランスを実現することは容易ではありません。このような中、子どもの視点を忘れずに、子どもの人権を守り、子どもを第一に考えた子育て支援が大切です。

そうした中、文京区では、「文京区次世代育成支援行動計画」、「文京区子ども・子育て支援事業計画」、「文京区子どもの貧困対策計画」を一体のものとした「文京区子育て支援計画」（令和2年度～6年度）に基づき、安心して子育てができ、社会全体で子育てが支援され、子どもの健全な育成や貧困からの脱却等を図る文京区の特徴を反映した子育て支援施策を推進しています。

このたび、区内に居住する子どもを養育する家庭の生活実態、ニーズ量、子育ての状況等を把握し、令和6年度に改定を予定する「文京区子育て支援計画」のための基礎資料等を得ることを目的として、「子ども・子育て支援に関する実態調査」を実施します。

今回ご回答いただきました内容は、子育てをしている当事者等が参加する「文京区子ども・子育て会議」等において審議し、計画に反映するとともに、今後の区の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくもので、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

質問数が多く、答えにくい質問には無理にお答えいただく必要はございませんが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年10月

文京区長 成澤廣修

にほんごが わからないときは こちらへ

この二次元コードに、アクセスしてください。

Please access this two-dimensional code.

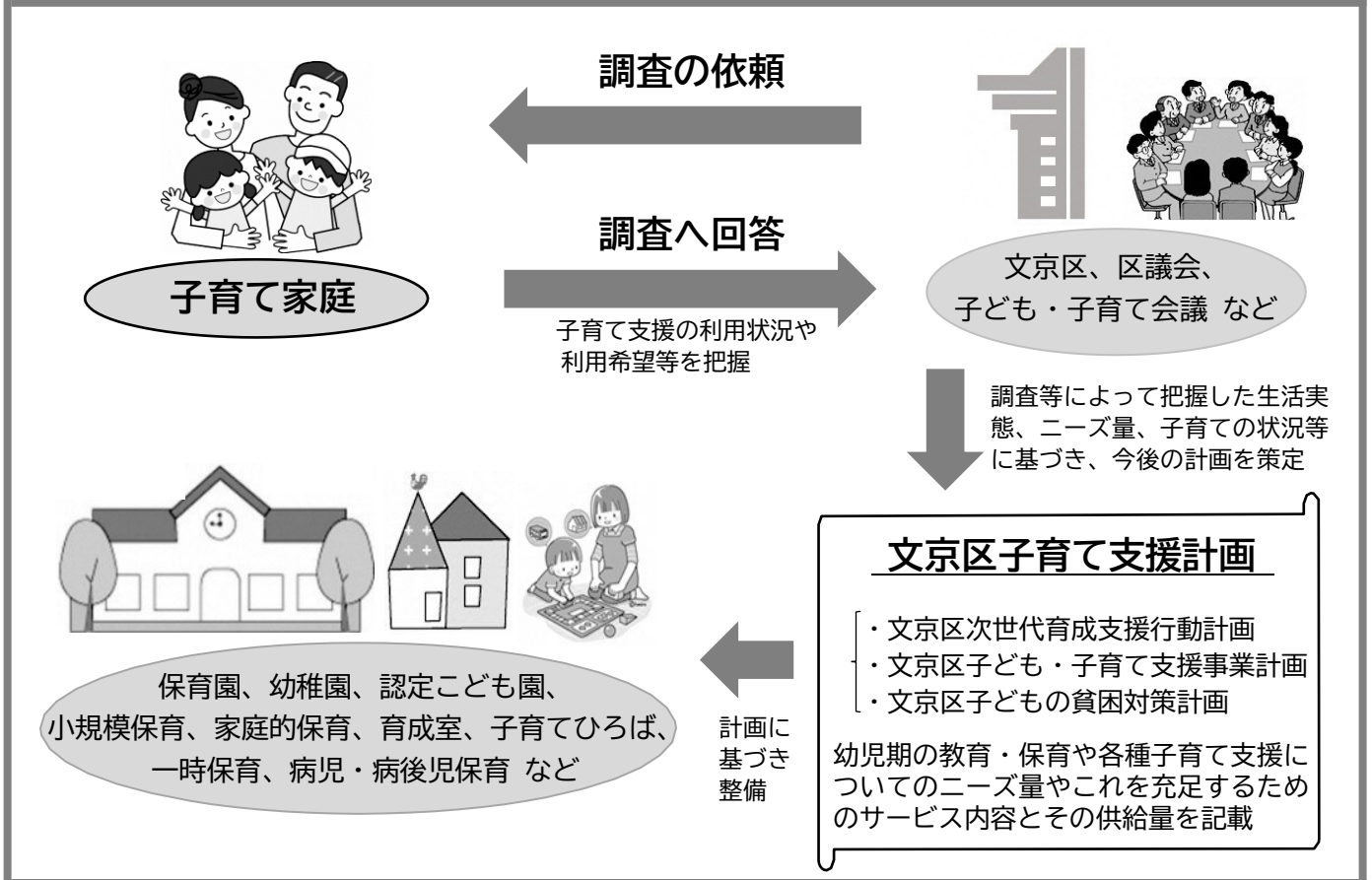
请访问此二维码。

請存取這個二維碼。





이 2차원 코드에 접속해주세요.



いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます。



次のような事項について、調査します。(例)

<p>【お子さんご家族について】 家族の状況、親子のコミュニケーション など</p> 	<p>【生活の状況について】 子育ての環境、保護者の就労状況、家計状況 など</p> 
<p>【施設等の利用状況について】 幼稚園・保育園等の利用、一時預かり等の利用、 子ども食堂の利用 など</p> 	<p>【不安・悩みについて】 子育てのイメージ／不安・悩み、 生活の安心・安全 など</p> 

■ お子さんご家族についてうかがいます。

問1 子育て(教育を含む。)を **主に** 行っているのはどなたですか。

あて名のお子さんからみた関係であてはまる答えの番号**1つ**に○をつけてください。

n=192

1. 主に父親	3.6%	3. 主に祖父母等	0.5%	無回答	0.0%
2. 主に母親	95.3%	4. その他()	0.5%		

※「祖父母等」とは、「祖父と祖母」「祖父のみ」「祖母のみ」「祖父母以外の親族」のことをいいます。
親族以外の方はその他を選んでください。

問2 この調査票にご回答(記入)いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係であてはまる答えの番号**1つ**に○をつけてください。

無回答 0.0%

n=192

1. 父親	3.1%	2. 母親	95.8%	3. 祖父母等	0.0%	4. その他()	1.0%	無回答	0.0%
-------	------	-------	-------	---------	------	-----------	------	-----	------

※「祖父母等」とは、「祖父と祖母」「祖父のみ」「祖母のみ」「祖父母以外の親族」のことをいいます。
親族以外の方はその他を選んでください。

問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。**数字**でご記入ください。

人 1人 58.3% 2人 29.2% 3人 10.9% 4人 1.6% 5人 0.0% 6人以上 0.0% 無回答 0.0%

問4 お子さんの年代について、該当する番号を下から選んで、**該当する番号**をご記入ください。
令和5年4月1日現在の年代をご回答ください。

n=192

第1子		第3子		第5子	
第2子		第4子		第6子	

1. 3歳未満 第1子 3.6% 第2子 0.0% 第3子 0.0% 第4子 0.0% 第5子 0.0% 第6子 0.0%			5. 中学生 第1子 21.4% 第2子 8.3% 第3子 2.1% 第4子 0.0% 第5子 0.0% 第6子 0.0%		
2. 3～5歳 第1子 6.8% 第2子 3.1% 第3子 0.5% 第4子 0.0% 第5子 0.0% 第6子 0.0%			6. 高校生世代(高校生に該当する年齢) 第1子 16.1% 第2子 12.5% 第3子 4.2% 第4子 1.0% 第5子 0.0% 第6子 0.0%		
3. 小学校低学年(1～3年生) 第1子 15.6% 第2子 2.6% 第3子 1.0% 第4子 0.5% 第5子 0.0% 第6子 0.0%			7. 大学生・専門学生等 第1子 15.6% 第2子 3.1% 第3子 0.0% 第4子 0.0% 第5子 0.0% 第6子 0.0%		
4. 小学校高学年(4～6年生) 第1子 14.1% 第2子 8.9% 第3子 4.2% 第4子 0.0% 第5子 0.0% 第6子 0.0%			8. 社会人(高校卒業に該当する年齢) 第1子 6.8% 第2子 3.1% 第3子 0.5% 第4子 0.0% 第5子 0.0% 第6子 0.0% 無回答 0.0%		

問5 お子さんについて、あてはまる答えの番号**1つ**に○をつけてください。

n=192

1. 障害者手帳をもっている	5.2%
2. 障害者手帳はもっていないが、児童発達支援等の障害福祉に関するサービスを利用している	2.6%
3. 障害者手帳はもっていないが、放課後等デイサービス等の障害福祉に関するサービスを利用している	0.0%
4. 障害者手帳はもっていないが、医療機関・専門機関等で療育の相談・治療等を受けている	5.7%
5. 当てはまるものがない	84.4%
無回答	2.1%

問6 あて名のお子さんを「子ども」としたとき、家族構成について、あてはまる答えの番号**1つ**に○をつけてください。

n=192

1. 母・子ども	84.9%	3. 母・子ども・祖父母等	10.9%	5. その他	1.0%
2. 父・子ども	2.6%	4. 父・子ども・祖父母等	0.5%	無回答	0.0%

※「祖父母等」とは、「祖父と祖母」「祖父のみ」「祖母のみ」「祖父母以外の親族」のことをいいます。
親族以外の方はその他を選んでください。

■ 利用している制度についてうかがいます。

問7 児童扶養手当または就学援助の利用状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。また、利用のきっかけ等について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=191
1. 児童扶養手当を利用して いる(していた)	47.9%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 23.0% 2. 区のチラシや冊子をみた 9.9% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)をみた 13.1% 4. 区報をみた 3.7% 5. 区役所の人から案内された 44.5% 6. 友人・知人に教えてもらった 4.2% 7. 自分で調べた 29.8% 8. 覚えていない 4.7% 9. その他() 2.1% 無回答 0.0%	
2. 就学援助を利用している (していた)	1.0%		
3. 児童扶養手当と就学援助 のどちらも利用している (していた)	50.5%		
4. 該当しない(該当しなかった)	0.5%	該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=1) 1. 子どもの年齢条件 0.0% 2. 所得条件 100.0% 3. 家族構成 0.0% 4. その他() 0.0% 無回答 0.0%	
無回答	0.0%		

問7で、「1.」～「3.」とお答えの方にはうかがいます。

問8 ご利用いただいている(いた)児童扶養手当、就学援助それぞれの満足度について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

【児童扶養手当】 n=189

1. とても満足している	2. やや満足している	3. やや不満である	4. 不満である
35.4%	42.9%	13.2%	4.2%
			無回答 4.2%

【就学援助】 n=99

1. とても満足している	2. やや満足している	3. やや不満である	4. 不満である
35.4%	44.4%	10.1%	4.0%
			無回答 6.1%

問8-1 満足度の理由について、自由にお書きください。

児童扶養手当
就学援助

■ 区の事業の利用状況についてうかがいます。

問9 以下の取組について、「利用状況」はそれぞれ1つずつ、「利用のきっかけや利用意向」はそれぞれあてはまるものすべてに○をつけてください。

問9-1 児童育成手当(ひとり親家庭及び障害のある子どもを養育している家庭に対する手当)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=185
1. 利用している	93.2%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 6.5% 2. 区のチラシや冊子をみた 10.3% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)をみた 12.4% 4. 区報をみた 2.2% 5. 区役所の人から案内された 51.4% 6. 友人・知人に教えてもらった 4.3% 7. 自分で調べた 28.6% 8. 覚えていない 5.4% 9. その他() 2.2% 無回答 0.0%	
2. 利用していた	3.1%		
3. 該当しない(該当しなかった)	2.1%	該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=4) 1. 子どもの年齢条件 50.0% 2. 家族構成 0.0% 3. 収入(所得)基準 25.0% 4. その他() 25.0% 無回答 0.0%	
4. 利用したくない	0.0%	利用したくない理由を教えてください(自由記入) 	
5. 制度・取組を知らない	1.6%		
無回答	0.0%		

問9-2 入学支度資金融資あっせん制度(入学に必要な支度資金の金融機関による融資あっせん、利子補給)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=8		
1. 利用している	3.6%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 50.0% 2. 区のチラシや冊子をみた 50.0% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)をみた 12.5% 4. 区報をみた 0.0% 5. 区役所の人から案内された 0.0% 6. 友人・知人に教えてもらった 0.0% 7. 自分で調べた 37.5% 8. 覚えていない 0.0% 9. その他() 0.0% 無回答 0.0%			
2. 利用していた	0.5%				
3. 該当しない(該当しなかった)	33.9%		該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=65) 1. 子どもの年齢条件 44.6% 2. 家族構成 6.2% 3. 収入(所得)基準 12.3% 4. その他() 32.3% 無回答 7.7%		
4. 利用したくない	13.5%				
5. 制度・取組を知らない	48.4%			利用したくない理由を教えてください(自由記入)	
無回答	0.0%				

問9-3 奨学資金の給付(高校入学時の給付型奨学金)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=44		
1. 利用している	13.0%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 45.5% 2. 区のチラシや冊子をみた 18.2% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)をみた 11.4% 4. 区報をみた 2.3% 5. 区役所の人から案内された 9.1% 6. 友人・知人に教えてもらった 4.5% 7. 自分で調べた 18.2% 8. 覚えていない 2.3% 9. その他() 6.8% 無回答 0.0%			
2. 利用していた	9.9%				
3. 該当しない(該当しなかった)	39.1%		該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=75) 1. 子どもの年齢条件 74.7% 2. 家族構成 1.3% 3. 収入(所得)基準 2.7% 4. その他() 16.0% 無回答 6.7%		
4. 利用したくない	4.2%				
5. 制度・取組を知らない	33.9%			利用したくない理由を教えてください(自由記入)	
無回答	0.0%				

問9-4 受験生チャレンジ支援貸付事業(中学3年生、高校3年生の学習塾の受講費用、受験費用の貸付)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=36		
1. 利用している	5.7%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 11.1% 2. 区のチラシや冊子をみた 36.1% 3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた 16.7% 4. 区報をみた 2.8% 5. 区役所の人から案内された 19.4% 6. 友人・知人に教えてもらった 8.3% 7. 自分で調べた 19.4% 8. 覚えていない 5.6% 9. その他() 5.6% 無回答 0.0%			
2. 利用していた	13.0%				
3. 該当しない(該当しなかった)	46.4%			該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=89) 1. 子どもの年齢条件 66.3% 2. 家族構成 1.1% 3. 収入(所得)基準 3.4% 4. その他() 24.7% 無回答 5.6%	
4. 利用したくない	4.7%				
5. 制度・取組を知らない	30.2%				
無回答	0.0%				
				利用したくない理由を教えてください(自由記入)	

問9-5 中学生学校外学習費用の助成(中学2年生、中学3年生の保護者への学習塾等の費用助成)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=41		
1. 利用している	5.7%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 19.5% 2. 区のチラシや冊子をみた 24.4% 3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた 7.3% 4. 区報をみた 4.9% 5. 区役所の人から案内された 17.1% 6. 友人・知人に教えてもらった 4.9% 7. 自分で調べた 7.3% 8. 覚えていない 19.5% 9. その他() 7.3% 無回答 0.0%			
2. 利用していた	15.6%				
3. 該当しない(該当しなかった)	45.3%			該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=87) 1. 子どもの年齢条件 63.2% 2. 家族構成 2.3% 3. 収入(所得)基準 3.4% 4. その他() 23.0% 無回答 10.3%	
4. 利用したくない	1.6%				
5. 制度・取組を知らない	31.8%				
無回答	0.0%				
				利用したくない理由を教えてください(自由記入)	

問9-6 学習支援(小学4年生から中学3年生までの、学校や学習塾以外の学びの場)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=26		
1. 利用している	6.3%	<p>学習支援の満足度を教えてください</p> <p>1. とても満足している 38.5%</p> <p>2. やや満足している 50.0%</p> <p>3. やや不満である 11.5%</p> <p>4. 不満である 0.0%</p> <p>無回答 0.0%</p> <p>学習支援の満足度の理由を教えてください (自由記入)</p> <p>[]</p> <p>学習支援についてご意見等を自由にご記入ください</p> <p>[]</p> <p>利用のきっかけを教えてください</p> <p>1. 児童扶養手当の認定通知書に同封の事業チラシをみた 65.4%</p> <p>2. 就学援助の認定通知書に同封の事業チラシをみた 34.6%</p> <p>3. 子ども宅食のLINEでの周知をみた 42.3%</p> <p>4. 区役所の人から案内された 3.8%</p> <p>5. 覚えていない 0.0%</p> <p>6. その他() 15.4%</p> <p>無回答 0.0%</p>			
2. 利用していた	7.3%				
3. 該当しない(該当しなかった)	36.5%			<p>該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=70)</p> <p>1. 子どもの年齢条件 54.3%</p> <p>2. 家族構成 0.0%</p> <p>3. 収入(所得)基準 4.3%</p> <p>4. その他() 32.9%</p> <p>無回答 10.0%</p>	
4. 利用したくない	15.1%				
5. 制度・取組を知らない	34.9%			<p>利用したくない理由を教えてください(自由記入)</p> <p>[]</p>	
無回答	0.0%				

問9-7 子育て支援サービスの利用料等助成(キッズルーム、おうち家事・育児サポート事業、ファミリー・サポート・センター事業、病児・病後児保育、ベビーシッター利用料助成制度の利用時の利用料等助成)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=46																				
1. 利用している 9.4%	}	利用のきっかけを教えてください	<table border="1"> <tr><td>1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった</td><td>8.7%</td></tr> <tr><td>2. 区のチラシや冊子をみた</td><td>30.4%</td></tr> <tr><td>3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた</td><td>15.2%</td></tr> <tr><td>4. 区報をみた</td><td>6.5%</td></tr> <tr><td>5. 区役所の人から案内された</td><td>32.6%</td></tr> <tr><td>6. 友人・知人に教えてもらった</td><td>8.7%</td></tr> <tr><td>7. 自分で調べた</td><td>28.3%</td></tr> <tr><td>8. 覚えていない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>9. その他()</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0.0%</td></tr> </table>	1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった	8.7%	2. 区のチラシや冊子をみた	30.4%	3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた	15.2%	4. 区報をみた	6.5%	5. 区役所の人から案内された	32.6%	6. 友人・知人に教えてもらった	8.7%	7. 自分で調べた	28.3%	8. 覚えていない	0.0%	9. その他()	0.0%	無回答	0.0%
1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった				8.7%																			
2. 区のチラシや冊子をみた	30.4%																						
3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた	15.2%																						
4. 区報をみた	6.5%																						
5. 区役所の人から案内された	32.6%																						
6. 友人・知人に教えてもらった	8.7%																						
7. 自分で調べた	28.3%																						
8. 覚えていない	0.0%																						
9. その他()	0.0%																						
無回答	0.0%																						
2. 利用していた14.6%																							
3. 該当しない(該当しなかった) 34.9%	→	該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=67)	<table border="1"> <tr><td>1. 子どもの年齢条件</td><td>40.3%</td></tr> <tr><td>2. 家族構成</td><td>6.0%</td></tr> <tr><td>3. 収入(所得)基準</td><td>4.5%</td></tr> <tr><td>4. その他()</td><td>47.8%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>4.5%</td></tr> </table>	1. 子どもの年齢条件	40.3%	2. 家族構成	6.0%	3. 収入(所得)基準	4.5%	4. その他()	47.8%	無回答	4.5%										
1. 子どもの年齢条件	40.3%																						
2. 家族構成	6.0%																						
3. 収入(所得)基準	4.5%																						
4. その他()	47.8%																						
無回答	4.5%																						
4. 利用したくない 7.8%	→	利用したくない理由を教えてください(自由記入)																					
5. 制度・取組を知らない 33.3%																							
無回答 0.0%																							

問9-8 母子家庭及び父子家庭自立支援事業(20歳未満のお子さんを扶養しているひとり親家庭の親に、就労を目的とした給付金を支給)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=19																				
1. 利用している 6.8%	}	利用のきっかけを教えてください	<table border="1"> <tr><td>1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった</td><td>10.5%</td></tr> <tr><td>2. 区のチラシや冊子をみた</td><td>36.8%</td></tr> <tr><td>3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた</td><td>10.5%</td></tr> <tr><td>4. 区報をみた</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>5. 区役所の人から案内された</td><td>31.6%</td></tr> <tr><td>6. 友人・知人に教えてもらった</td><td>15.8%</td></tr> <tr><td>7. 自分で調べた</td><td>15.8%</td></tr> <tr><td>8. 覚えていない</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>9. その他()</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0.0%</td></tr> </table>	1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった	10.5%	2. 区のチラシや冊子をみた	36.8%	3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた	10.5%	4. 区報をみた	0.0%	5. 区役所の人から案内された	31.6%	6. 友人・知人に教えてもらった	15.8%	7. 自分で調べた	15.8%	8. 覚えていない	5.3%	9. その他()	5.3%	無回答	0.0%
1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった				10.5%																			
2. 区のチラシや冊子をみた	36.8%																						
3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた	10.5%																						
4. 区報をみた	0.0%																						
5. 区役所の人から案内された	31.6%																						
6. 友人・知人に教えてもらった	15.8%																						
7. 自分で調べた	15.8%																						
8. 覚えていない	5.3%																						
9. その他()	5.3%																						
無回答	0.0%																						
2. 利用していた 3.1%																							
3. 該当しない(該当しなかった) 40.1%	→	該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=77)	<table border="1"> <tr><td>1. 子どもの年齢条件</td><td>6.5%</td></tr> <tr><td>2. 家族構成</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>3. 収入(所得)基準</td><td>14.3%</td></tr> <tr><td>4. その他()</td><td>71.4%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>9.1%</td></tr> </table>	1. 子どもの年齢条件	6.5%	2. 家族構成	0.0%	3. 収入(所得)基準	14.3%	4. その他()	71.4%	無回答	9.1%										
1. 子どもの年齢条件	6.5%																						
2. 家族構成	0.0%																						
3. 収入(所得)基準	14.3%																						
4. その他()	71.4%																						
無回答	9.1%																						
4. 利用したくない 7.8%	→	利用したくない理由を教えてください(自由記入)																					
5. 制度・取組を知らない 42.2%																							
無回答 0.0%																							

問9-9 母子および父子福祉資金(ひとり親家庭の方々が経済的に自立し、安定した生活を送るための資金を貸付)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=4		
1. 利用している	1.6%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 0.0% 2. 区のチラシや冊子をみた 0.0% 3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた 0.0% 4. 区報をみた 0.0% 5. 区役所の人から案内された 25.0% 6. 友人・知人に教えてもらった 0.0% 7. 自分で調べた 50.0% 8. 覚えていない 25.0% 9. その他() 0.0% 無回答 0.0%			
2. 利用していた	0.5%				
3. 該当しない(該当しなかった)	23.4%			該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=45) 1. 子どもの年齢条件 4.4% 2. 家族構成 2.2% 3. 収入(所得)基準 28.9% 4. その他() 53.3% 無回答 11.1%	
4. 利用したくない	15.6%				
5. 制度・取組を知らない	58.9%				
無回答	0.0%				
				利用したくない理由を教えてください(自由記入)	

問9-10 子ども宅食(経済状況が厳しい家庭の子どもに対して食品等を配送)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=151		
1. 利用している	70.8%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 6.0% 2. 区のチラシや冊子をみた 57.0% 3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた 6.6% 4. 区報をみた 1.3% 5. 区役所の人から案内された 27.2% 6. 友人・知人に教えてもらった 4.6% 7. 自分で調べた 5.3% 8. 覚えていない 4.6% 9. その他() 3.3% 無回答 0.0%			
2. 利用していた	7.8%				
3. 該当しない(該当しなかった)	3.1%			該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=6) 1. 子どもの年齢条件 0.0% 2. 家族構成 0.0% 3. 収入(所得)基準 0.0% 4. その他() 83.3% 無回答 16.7%	
4. 利用したくない	10.4%				
5. 制度・取組を知らない	7.8%				
無回答	0.0%				
				利用したくない理由を教えてください(自由記入)	

問9-11 子ども食堂(地域の子どもたちに食事の提供を通じた居場所づくり)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=22	
1. 利用している	5.7%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 13.6% 2. 区のチラシや冊子をみた 4.5% 3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた 0.0% 4. 区報をみた 4.5% 5. 区役所の人から案内された 31.8% 6. 友人・知人に教えてもらった 31.8% 7. 自分で調べた 4.5% 8. 覚えていない 0.0% 9. その他() 22.7% 無回答 0.0%		
2. 利用していた	5.7%			
3. 利用したくない	30.7%		利用したくない理由を教えてください(自由記入)	
4. 制度・取組を知らない	57.8%			
無回答	0.0%			

問9-12 自立相談支援事業(家計・仕事・住居のことなどを一緒に考え、解決するお手伝い)

利用状況	n=192	利用のきっかけや利用意向	n=7	
1. 利用している	1.0%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 14.3% 2. 区のチラシや冊子をみた 14.3% 3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた 42.9% 4. 区報をみた 14.3% 5. 区役所の人から案内された 71.4% 6. 友人・知人に教えてもらった 0.0% 7. 自分で調べた 14.3% 8. 覚えていない 0.0% 9. その他() 0.0% 無回答 0.0%		
2. 利用していた	2.6%			
3. 利用したくない	13.0%		利用したくない理由を教えてください(自由記入)	
4. 制度・取組を知らない	83.3%			
無回答	0.0%			

■ すべての方に、お子さんとの体験についてうかがいます。

問10 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

n=192

A～Eそれぞれについて、ある場合は「1」を、ない場合はあてはまる理由を「2」～「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

	ある	ない			無回答
		金銭的な理由	時間の制約	その他の理由	
A. アウトドア(海水浴やキャンプ等)に行く	33.3%	24.0%	19.8%	21.4%	1.6%
B. 博物館・科学館・美術館等に行く	43.2%	14.1%	18.8%	21.4%	2.6%
C. スポーツ観戦・劇場・映画館に行く	57.8%	12.5%	10.9%	16.1%	2.6%
D. 遊園地やテーマパークに行く	49.0%	26.6%	8.9%	14.1%	1.6%
E. ファミリーレストラン等で外食する	85.4%	7.3%	1.0%	3.1%	3.1%

問11 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

n=192

A～Iそれぞれについて、している場合は「1」を、していない場合はあてはまる理由を「2」～「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

	している	していない			無回答
		したくない	経済的にできない	その他の理由 でしていない	
A. 毎月お小遣いを渡す	40.6%	7.8%	22.4%	27.1%	2.1%
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	76.6%	0.5%	16.1%	3.6%	3.1%
C. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	37.0%	2.1%	32.3%	26.6%	2.1%
D. 学習塾(オンラインのものを含む。)に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	34.4%	3.6%	32.3%	26.0%	3.6%
E. 誕生日のお祝いをする	89.1%	0.5%	6.8%	0.5%	3.1%
F. 1年に1回程度家族旅行に行く	42.7%	1.0%	42.7%	11.5%	2.1%
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	77.1%	0.5%	16.7%	3.1%	2.6%
H. 子どもの学校行事などに親が参加する	87.0%	1.6%	2.1%	7.8%	1.6%
I. 本や電子機器(スマートフォン、ゲーム機等)を買う	68.8%	5.2%	15.6%	8.9%	1.6%

■ すべての方に、家計の状況についてうかがいます。

問12 保護者の現在の就労状況(自営業・家族従事者を含む。)をうかがいます。

(1) **父親** 【母子家庭の場合は記入は不要です。】

父親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=8

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労している | 62.5% |
| 2. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している | 12.5% |
| 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない | 12.5% |
| 4. これまで就労したことがない | 0.0% |
| 無回答 | 12.5% |

(2) **母親** 【父子家庭の場合は記入は不要です。】

母親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=186

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労している | 53.8% |
| 2. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している | 34.9% |
| 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない | 9.1% |
| 4. これまで就労したことがない | 1.1% |
| 無回答 | 1.1% |

問13 あなたのご家庭の家計について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=192

- | | | | |
|-----------------------|-------|---------------------|------|
| 1. 赤字であり、借金をしている | 17.2% | 4. 黒字であるが、貯金はしていない | 6.8% |
| 2. 赤字であり、貯金を切り崩している | 37.0% | 5. 黒字であり、定期的に貯金している | 7.3% |
| 3. 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである | 28.1% | 6. その他() | 3.1% |
| | | 無回答 | 0.5% |

問14 次のもののうち、金銭的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=192

- | | | | |
|-------------------------|-------|-----------------------|-------|
| 1. 子どもの年齢に合った本 | 15.1% | 9. 電子レンジ | 3.6% |
| 2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ | 15.1% | 10. 電話(固定電話・携帯電話を含む。) | 4.2% |
| 3. 子どもが自宅で学習をすることができる場所 | 28.1% | 11. インターネットにつながるパソコン | 16.1% |
| 4. 洗濯機 | 1.0% | 12. 新聞の定期購読(ネット含む。) | 37.0% |
| 5. 炊飯器 | 4.7% | 13. 世帯専用のおふろ | 0.5% |
| 6. 掃除機 | 3.1% | 14. 世帯人数分のベッドまたは布団 | 15.1% |
| 7. 暖房機器 | 2.6% | 15. 急な出費のための貯金(5万円以上) | 28.1% |
| 8. 冷房機器 | 2.1% | 16. あてはまるものはない | 34.4% |
| | | 無回答 | 2.6% |

問15 あなたのご家庭で経済的な理由で以下のことができなかつたことがありますか。

A～Iそれぞれについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=192

	1	2	3	4	無回答
	まったく なかつた	まれに あつた	ときどき あつた	よくあつた	
A. 衣類の購入	42.2%	24.5%	16.7%	10.4%	6.3%
B. 食料の購入	58.3%	19.3%	11.5%	4.7%	6.3%
C. 家賃の支払い	72.4%	7.8%	6.8%	3.6%	9.4%
D. 住宅ローンの支払い	78.1%	3.1%	2.1%	2.1%	14.6%
E. 電気料金の支払い	71.4%	12.5%	6.3%	3.6%	6.3%
F. ガス料金の支払い	71.4%	10.9%	6.3%	3.6%	7.8%
G. 水道料金の支払い	72.9%	10.9%	5.2%	3.1%	7.8%
H. 電話料金の支払い	72.9%	10.4%	6.8%	2.6%	7.3%
I. その他経費の支払い	50.5%	21.4%	12.5%	8.9%	6.8%

■ すべての方に、子育てに関する不安や悩みについてうかがいます。

問16 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=192

1. 自分の時間がとれず、自由がない	32.3%
2. 子育てにおわれ、社会から孤立するようになる	9.9%
3. 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい	38.0%
4. 子育てと親等の介護が同時に発生している	14.6%
5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違う	4.7%
6. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない	5.7%
7. 子どもの学習・授業の進捗のことについて心配である	40.1%
8. 子どもの進路や進学のことについて心配である	62.5%
9. 子どもの友人関係のことについて心配である	29.7%
10. 子どもの健康、性格や癖などについて心配である	38.0%
11. 子どもの性別に関することについて心配がある	3.1%
12. 子育て(教育を含む。)に伴う経済的な負担が大きいと感じる	62.0%
13. 子どもにかまっていられないことが多い	32.3%
14. 子どもの成長や発達のことについて心配である	21.9%
15. 子どもが学校等、家の外に出たがらない	12.5%
16. 朝食や夕食を子どもと一緒に食べることができない	11.5%
17. 子どもの話を聞いてあげる時間を作れない	15.1%
18. 子どもと遊んであげる時間を作れない	21.9%
19. 子どもが望む学校に進学させてあげられるか心配である	47.4%
20. 子どもに習い事や学外活動をさせてあげられない	31.8%
21. 子どもが成人した後の家庭の経済状況が心配である	43.8%
22. その他()	6.8%
23. 特に不安や悩みはない	5.7%
無回答	0.5%

問17 子育て(教育を含む。)を気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=192

1. 相談できる相手がいる(場所がある)	66.1%	} → 問17-1へ
2. 相談相手(場所)がなく、ほしい	12.5%	
3. 相談相手(場所)は、必要としない	10.4%	} → 問18へ
4. その他()	10.9%	
無回答	0.0%	

問17-1 問17で、「1.」または「2.」とお答えの方にかがいます。

お子さんの子育て(教育を含む。)に関して、気軽に相談できる(したい)先は誰(どこ)ですか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=151

1. 配偶者・パートナー	6.0%	11. 塾・習い事の先生	7.3%
2. 自分の父母等の親族	55.6%	12. 民生委員・児童委員	1.3%
3. 自分の子ども	14.6%	13. 療育機関の先生	4.0%
4. 友人や知人	55.6%	14. かかりつけの医師	9.9%
5. 近所の人	4.0%	15. 文京区の子育て関連相談窓口 (子ども家庭支援センター、教育センターなど)	11.3%
6. 職場の人	21.2%	16. 文京区男女平等センター相談室	0.7%
7. 子育て支援施設(児童館等)	6.0%	17. 保健所・保健サービスセンター	1.3%
8. 育成室(学童保育)職員・指導員	3.3%	18. 民間団体やボランティア	3.3%
9. 学校・幼稚園・保育園の先生	20.5%	19. その他()	5.3%
10. スクールソーシャルワーカー (スクールカウンセラー)	7.9%	無回答	1.3%

■ 最後にかがいます。

問18 最後に、区の子育て支援施策に関するご意見、ご要望やご提案がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力、誠にありがとうございました。いただいた回答は、施策の方向性、事業の量や内容を検討する基礎とし、今後の区の子育て支援施策の充実に生かしてまいります。
なお、調査結果は、令和6年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和5年11月17日（金）までにご投函ください。
(切手を貼る必要はありません)

「子ども・子育て支援に関する実態調査」のご案内

～調査へのご協力をお願い～

我が国では、少子高齢化が進行し続ける中、人口減少社会に移行しており、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。女性の社会進出を後押しする施策も増え、多様な働き方を選択できる社会を実現していく働き方改革も進められていますが、子育て世帯においてワーク・ライフ・バランスを実現することは容易ではありません。このような中、子どもの視点を忘れずに、子どもの人権を守り、子どもを第一に考えた子育て支援が大切です。

そうした中、文京区では、「文京区次世代育成支援行動計画」、「文京区子ども・子育て支援事業計画」、「文京区子どもの貧困対策計画」を一体のものとした「文京区子育て支援計画」（令和2年度～6年度）に基づき、安心して子育てができ、社会全体で子育てが支援され、子どもの健全な育成や貧困からの脱却等を図る文京区の特性を反映した子育て支援施策を推進しています。

このたび、区内に居住する子どもを養育する家庭の生活実態、ニーズ量、子育ての状況等を把握し、令和6年度に改定を予定する「文京区子育て支援計画」のための基礎資料等を得ることを目的として、「子ども・子育て支援に関する実態調査」を実施します。

今回ご回答いただきました内容は、子育てをしている当事者等が参加する「文京区子ども・子育て会議」等において審議し、計画に反映するとともに、今後の区の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくもので、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

質問数が多く、答えにくい質問には無理にお答えいただく必要はございませんが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年10月

文京区長 成澤廣修

にほんごが わからないときは こちらへ

この二次元コードに、アクセスしてください。

Please access this two-dimensional code.

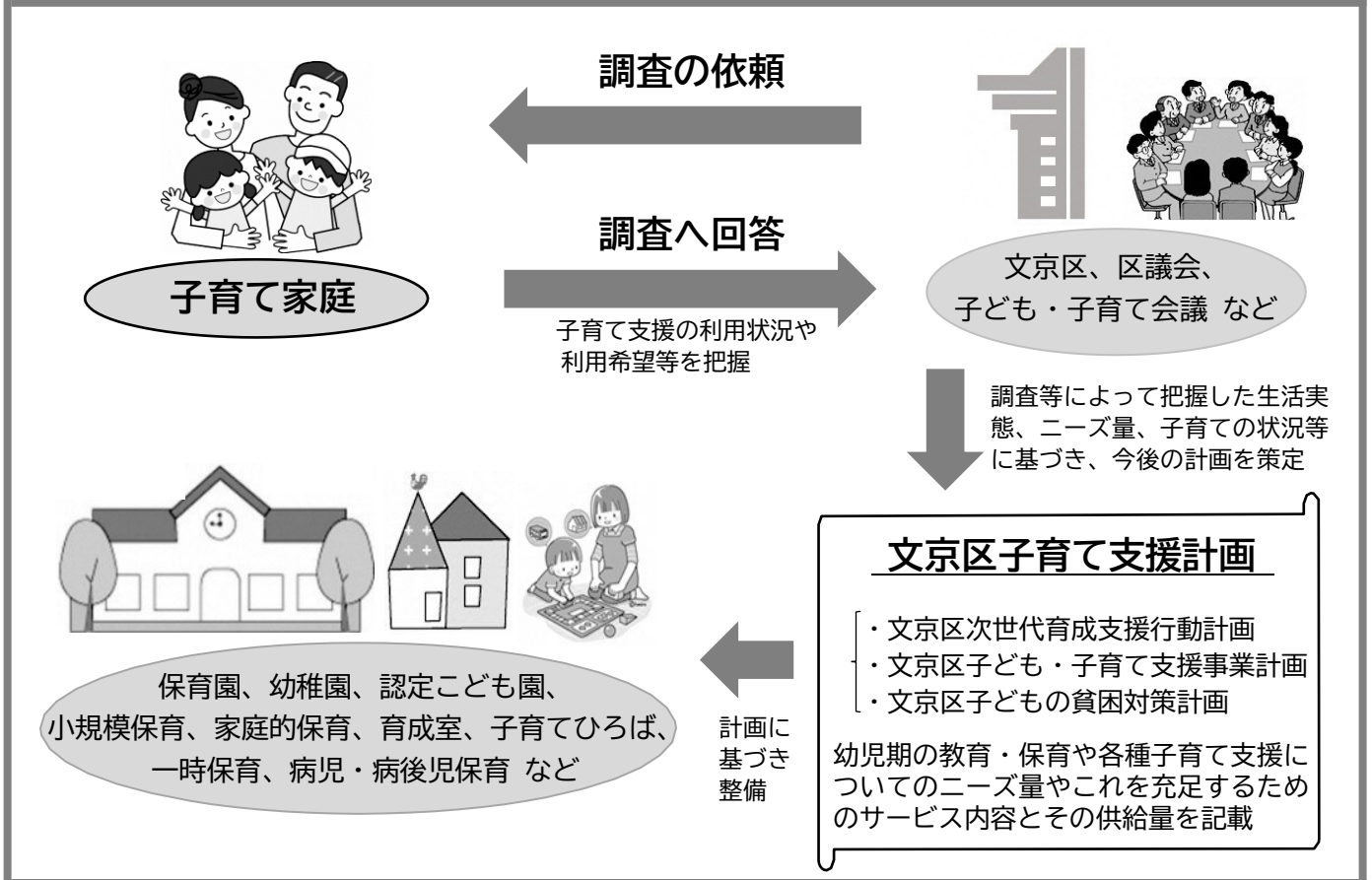
请访问此二维码。

請存取這個二維碼。





이 2차원 코드에 접속해주세요.



いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます。



次のような事項について、調査します。(例)

<p>【お子さんご家族について】 家族の状況、親子のコミュニケーション など</p> 	<p>【生活の状況について】 子育ての環境、保護者の就労状況、家計状況 など</p> 
<p>【施設等の利用状況について】 幼稚園・保育園等の利用、一時預かり等の利用、子ども食堂の利用 など</p> 	<p>【不安・悩みについて】 子育てのイメージ／不安・悩み、生活の安心・安全 など</p> 

■お子さんとご家族についてうかがいます。

問1 子育て(教育を含む。)を主にやっているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係であてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(n=251)

1. 主に父親	8.8%	3. 主に祖父母等	0.8%	無回答	0.8%
2. 主に母親	87.6%	4. その他()	2.0%		

※「祖父母等」とは、「祖父と祖母」「祖父のみ」「祖母のみ」「祖父母以外の親族」のことをいいます。親族以外の方はその他を選んでください。

問2 この調査票にご回答(記入)いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係であてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(n=251)

1. 父親	17.9%	2. 母親	80.5%	3. 祖父母等	0.4%	4. その他()	0.4%	無回答	0.8%
-------	-------	-------	-------	---------	------	-----------	------	-----	------

※「祖父母等」とは、「祖父と祖母」「祖父のみ」「祖母のみ」「祖父母以外の親族」のことをいいます。親族以外の方はその他を選んでください。

問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。数字でご記入ください。

<input type="text"/>	人	1人	30.3%	2人	48.6%	3人	15.9%	4人	3.6%	5人	0.8%	6人以上	0.4%	無回答	0.4%
----------------------	---	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	------	------	------	-----	------

問4 お子さんの年代について、該当する番号を下から選んで、該当する番号をご記入ください。令和5年4月1日現在の年代をご回答ください。

第1子		第3子		第5子	
第2子		第4子		第6子	

(n=251)

<p>1. 3歳未満</p> <p>第1子 0.0% 第2子 3.6% 第3子 2.8% 第4子 0.0% 第5子 0.4% 第6子 0.4%</p> <p>2. 3～5歳</p> <p>第1子 0.0% 第2子 13.9% 第3子 5.6% 第4子 0.8% 第5子 0.8% 第6子 0.0%</p> <p>3. 小学校低学年(1～3年生)</p> <p>第1子 29.1% 第2子 14.7% 第3子 3.6% 第4子 2.0% 第5子 0.0% 第6子 0.0%</p> <p>4. 小学校高学年(4～6年生)</p> <p>第1子 23.5% 第2子 17.9% 第3子 3.6% 第4子 0.8% 第5子 0.0% 第6子 0.0%</p>	<p>5. 中学生</p> <p>第1子 25.5% 第2子 14.7% 第3子 3.6% 第4子 1.2% 第5子 0.0% 第6子 0.0%</p> <p>6. 高校生世代(高校生に該当する年齢)</p> <p>第1子 12.7% 第2子 1.6% 第3子 1.6% 第4子 0.0% 第5子 0.0% 第6子 0.0%</p> <p>7. 大学生・専門学生等</p> <p>第1子 5.6% 第2子 2.0% 第3子 0.0% 第4子 0.0% 第5子 0.0% 第6子 0.0%</p> <p>8. 社会人(高校卒業に該当する年齢)</p> <p>第1子 2.8% 第2子 1.2% 第3子 0.0% 第4子 0.0% 第5子 0.0% 第6子 0.0%</p> <p>無回答 0.8%</p>
--	---

問5 お子さんについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(n=251)

1. 障害者手帳をもっている	4.0%
2. 障害者手帳はもっていないが、児童発達支援等の障害福祉に関するサービスを利用している	2.0%
3. 障害者手帳はもっていないが、放課後等デイサービス等の障害福祉に関するサービスを利用している	2.0%
4. 障害者手帳はもっていないが、医療機関・専門機関等で療育の相談・治療等を受けている	8.4%
5. 当てはまるものがない	83.3%
無回答	0.4%

問6 あて名のお子さんを「子ども」としたとき、家族構成について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(n=251)

1. 父・母・子ども	64.1%	4. 父・母・子ども・祖父母等	7.6%	7. その他	0.0%
2. 母・子ども	18.7%	5. 母・子ども・祖父母等	6.8%	無回答	0.0%
3. 父・子ども	2.4%	6. 父・子ども・祖父母等	0.4%		

※「祖父母等」とは、「祖父と祖母」「祖父のみ」「祖母のみ」「祖父母以外の親族」のことをいいます。親族以外の方はその他を選んでください。

■ 利用している制度についてうかがいます。

問7 児童扶養手当または就学援助の利用状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。また、利用のきっかけ等について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

利用状況 (n=251)	利用のきっかけや利用意向 (n=234)
1. 児童扶養手当を利用している(していた) 7.2% 2. 就学援助を利用している(していた) 60.2% 3. 児童扶養手当と就学援助のどちらも利用している(していた) 25.9%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 65.4% 2. 区のチラシや冊子をみた 14.1% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)をみた 7.7% 4. 区報をみた 4.7% 5. 区役所の人から案内された 12% 6. 友人・知人に教えてもらった 3.4% 7. 自分で調べた 12.8% 8. 覚えていない 3.8% 9. その他() 0.4% 無回答 1.3%
4. 該当しない(該当しなかった) 6.8% 無回答 0.0%	該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=17) 1. 子どもの年齢条件 5.9% 2. 所得条件 29.4% 3. 家族構成 23.5% 4. その他() 41.2% 無回答 5.9%

問7で、「1.」～「3.」とお答えの方にはうかがいます。

問8 ご利用いただいている(いた)児童扶養手当、就学援助それぞれの満足度について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

【児童扶養手当】 (n=83)

1. とても満足している 28.9% 2. やや満足している 43.4% 3. やや不満である 7.2% 4. 不満である 6.0%
 無回答 14.5%

【就学援助】 (n=216)

1. とても満足している 38.0% 2. やや満足している 41.7% 3. やや不満である 8.3% 4. 不満である 0.9%
 無回答 11.1%

問8-1 満足度の理由について、自由にお書きください。

児童扶養手当

就学援助

■ 区の事業の利用状況についてうかがいます。

問9 以下の取組について、「利用状況」はそれぞれ1つずつ、「利用のきっかけや利用意向」はそれぞれあてはまるものすべてに○を付けてください。

問9-1 児童育成手当(ひとり親家庭及び障害のある子どもを養育している家庭に対する手当)

利用状況 (n=251)		利用のきっかけや利用意向 (n=64)					
1. 利用している	21.9%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 9.4% 2. 区のチラシや冊子を見た 12.5% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)を見た 10.9% 4. 区報を見た 4.7% 5. 区役所の人から案内された 59.4% 6. 友人・知人に教えてもらった 7.8% 7. 自分で調べた 21.9% 8. 覚えていない 1.6% 9. その他() 1.6% 無回答 1.6%					
2. 利用していた	3.6%						
3. 該当しない(該当しなかった)	61.0%			該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=153) 1. 子どもの年齢条件 3.3% 2. 家族構成 39.9% 3. 収入(所得)基準 13.1% 4. その他() 25.5% 無回答 21.6%			
4. 利用したくない	1.6%						
5. 制度・取組を知らない	12.0%					利用したくない理由を教えてください(自由記入) 無回答 0.0%	

問9-2 入学支度資金融資あっせん制度(入学に必要な支度資金の金融機関による融資あっせん、利子補給)

利用状況 (n=251)		利用のきっかけや利用意向 (n=15)		
1. 利用している	3.2%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 46.7% 2. 区のチラシや冊子をみた 20.0% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)をみた 6.7% 4. 区報をみた 0.0% 5. 区役所の人から案内された 13.3% 6. 友人・知人に教えてもらった 20.0% 7. 自分で調べた 6.7% 8. 覚えていない 0.0% 9. その他() 0.0% 無回答 0.0%		
2. 利用していた	2.8%			
3. 該当しない(該当しなかった)	32.7%		該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=82) 1. 子どもの年齢条件 30.5% 2. 家族構成 9.8% 3. 収入(所得)基準 20.7% 4. その他() 25.6% 無回答 17.1%	
4. 利用したくない	6.0%			
5. 制度・取組を知らない	55.4%			利用したくない理由を教えてください(自由記入) 無回答 0.0%

問9-3 奨学資金の給付(高校入学時の給付型奨学金)

利用状況 (n=251)		利用のきっかけや利用意向 (n=26)		
1. 利用している	6.4%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 50.0% 2. 区のチラシや冊子をみた 30.8% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)をみた 7.7% 4. 区報をみた 0.0% 5. 区役所の人から案内された 11.5% 6. 友人・知人に教えてもらった 3.8% 7. 自分で調べた 11.5% 8. 覚えていない 3.8% 9. その他() 0.0% 無回答 3.8%		
2. 利用していた	4.0%			
3. 該当しない(該当しなかった)	44.6%		該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=112) 1. 子どもの年齢条件 71.4% 2. 家族構成 2.7% 3. 収入(所得)基準 11.6% 4. その他() 8.0% 無回答 8.9%	
4. 利用したくない	1.6%			
5. 制度・取組を知らない	43.4%			利用したくない理由を教えてください(自由記入) 無回答 0.0%

問9-4 受験生チャレンジ支援貸付事業(中学3年生、高校3年生の学習塾の受講費用、受験費用の貸付)

利用状況 (n=251)		利用のきっかけや利用意向 (n=28)	
1. 利用している	5.6%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 25.0% 2. 区のチラシや冊子をみた 39.3% 3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた 10.7% 4. 区報をみた 7.1% 5. 区役所の人から案内された 10.7% 6. 友人・知人に教えてもらった 7.1% 7. 自分で調べた 7.1% 8. 覚えていない 0.0% 9. その他() 3.6% 無回答 0.0%	
2. 利用していた	5.6%		
3. 該当しない(該当しなかった)	48.2%		該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=121) 1. 子どもの年齢条件 73.6% 2. 家族構成 1.7% 3. 収入(所得)基準 7.4% 4. その他() 11.6% 無回答 8.3%
4. 利用したくない	4.0%		
5. 制度・取組を知らない	36.7%		

問9-5 中学生学校外学習費用の助成 (中学2年生、中学3年生の保護者への学習塾等の費用助成)

利用状況 (n=251)		利用のきっかけや利用意向 (n=58)	
1. 利用している	15.5%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 29.3% 2. 区のチラシや冊子をみた 41.4% 3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた 8.6% 4. 区報をみた 5.2% 5. 区役所の人から案内された 10.3% 6. 友人・知人に教えてもらった 0.0% 7. 自分で調べた 5.2% 8. 覚えていない 5.2% 9. その他() 6.9% 無回答 1.7%	
2. 利用していた	7.6%		
3. 該当しない(該当しなかった)	41.0%		該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=103) 1. 子どもの年齢条件 76.7% 2. 家族構成 0.0% 3. 収入(所得)基準 3.9% 4. その他() 10.7% 無回答 10.7%
4. 利用したくない	0.8%		
5. 制度・取組を知らない	35.1%		

問9-6 学習支援(小学4年生から中学3年生までの、学校や学習塾以外の学びの場)

利用状況 (n=251)		利用のきっかけや利用意向 (n=32)	
1. 利用している	10.0%	学習支援の満足度を教えてください 1. とても満足している 40.6% 2. やや満足している 34.4% 3. やや不満である 21.9% 4. 不満である 3.1% 無回答 0.0% 学習支援の満足度の理由を教えてください (自由記入) [] 学習支援についてご意見等を自由にご記入ください [] 利用のきっかけを教えてください 1. 児童扶養手当の認定通知書に同封の事業チラシをみた 31.3% 2. 就学援助の認定通知書に同封の事業チラシをみた 37.5% 3. 子ども宅食のLINEでの周知をみた 34.4% 4. 区役所の人から案内された 12.5% 5. 覚えていない 9.4% 6. その他() 9.4% 無回答 3.1%	
2. 利用していた	2.8%		
3. 該当しない(該当しなかった)	32.7%	該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=82) 1. 子どもの年齢条件 53.7% 2. 家族構成 1.2% 3. 収入(所得)基準 4.9% 4. その他() 32.9% 無回答 11.0%	
4. 利用したくない	14.3%	利用したくない理由を教えてください(自由記入) []	
5. 制度・取組を知らない	40.2%	無回答	0.0%

問9-7 子育て支援サービスの利用料等助成(キッズルーム、おうち家事・育児サポート事業、ファミリー・サポート・センター事業、病児・病後児保育、ベビーシッター利用料助成制度の利用時の利用料等助成)

利用状況	(n=251)	利用のきっかけや利用意向	(n=47)		
1. 利用している	2.0%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 12.8% 2. 区のチラシや冊子をみた 40.4% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)をみた 21.3% 4. 区報をみた 10.6% 5. 区役所の人から案内された 27.7% 6. 友人・知人に教えてもらった 17.0% 7. 自分で調べた 19.1% 8. 覚えていない 4.3% 9. その他() 2.1% 無回答 0.0%			
2. 利用していた	16.7%				
3. 該当しない(該当しなかった)	36.3%			該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=91) 1. 子どもの年齢条件 35.2% 2. 家族構成 13.2% 3. 収入(所得)基準 4.4% 4. その他() 42.9% 無回答 8.8%	
4. 利用したくない	12.4%				
5. 制度・取組を知らない	32.7%				

問9-8 母子家庭及び父子家庭自立支援事業(20歳未満のお子さんを扶養しているひとり親家庭の親に、就労を目的とした給付金を支給)

利用状況	(n=251)	利用のきっかけや利用意向	(n=4)		
1. 利用している	1.2%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 0.0% 2. 区のチラシや冊子をみた 50.0% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)をみた 25.0% 4. 区報をみた 0.0% 5. 区役所の人から案内された 0.0% 6. 友人・知人に教えてもらった 25.0% 7. 自分で調べた 25.0% 8. 覚えていない 0.0% 9. その他() 0.0% 無回答 0.0%			
2. 利用していた	0.4%				
3. 該当しない(該当しなかった)	68.5%			該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=172) 1. 子どもの年齢条件 2.9% 2. 家族構成 65.1% 3. 収入(所得)基準 7.0% 4. その他() 17.4% 無回答 11.6%	
4. 利用したくない	1.6%				
5. 制度・取組を知らない	28.3%				

問9-9 母子および父子福祉資金(ひとり親家庭の方々が経済的に自立し、安定した生活を送るための資金を貸付)

利用状況	(n=251)	利用のきっかけや利用意向	(n=0)		
1. 利用している	0.0%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 0.0% 2. 区のチラシや冊子をみた 0.0% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)をみた 0.0% 4. 区報をみた 0.0% 5. 区役所の人から案内された 0.0% 6. 友人・知人に教えてもらった 0.0% 7. 自分で調べた 0.0% 8. 覚えていない 0.0% 9. その他() 0.0% 無回答 0.0%			
2. 利用していた	0.0%				
3. 該当しない(該当しなかった)	59.8%		該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=150) 1. 子どもの年齢条件 0.0% 2. 家族構成 70.0% 3. 収入(所得)基準 6.0% 4. その他() 12.7% 無回答 13.3%		
4. 利用したくない	4.4%			利用したくない理由を教えてください(自由記入) 無回答 0.0%	
5. 制度・取組を知らない	35.9%				

問9-10 子ども宅食(経済状況が厳しい家庭の子どもに対して食品等を配送)

利用状況	(n=251)	利用のきっかけや利用意向	(n=178)		
1. 利用している	66.1%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 23.6% 2. 区のチラシや冊子をみた 43.8% 3. 区のホームページやSNS(フェイスブック等)をみた 6.7% 4. 区報をみた 4.5% 5. 区役所の人から案内された 21.9% 6. 友人・知人に教えてもらった 2.8% 7. 自分で調べた 2.2% 8. 覚えていない 3.9% 9. その他() 5.1% 無回答 1.1%			
2. 利用していた	4.8%				
3. 該当しない(該当しなかった)	10.0%		該当しない(しなかった)理由を教えてください (n=25) 1. 子どもの年齢条件 4.0% 2. 家族構成 12.0% 3. 収入(所得)基準 20.0% 4. その他() 52.0% 無回答 16.0%		
4. 利用したくない	7.2%			利用したくない理由を教えてください(自由記入) 無回答 0.0%	
5. 制度・取組を知らない	12.0%				

問9-11 子ども食堂(地域の子どもたちに食事の提供を通じた居場所づくり)

利用状況 (n=251)		利用のきっかけや利用意向 (n=34)		
1. 利用している	6.8%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 35.3% 2. 区のチラシや冊子を見た 11.8% 3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた 14.7% 4. 区報をみた 2.9% 5. 区役所の人から案内された 5.9% 6. 友人・知人に教えてもらった 41.2% 7. 自分で調べた 11.8% 8. 覚えていない 0.0% 9. その他() 11.8% 無回答 0.0%		
2. 利用していた	6.8%			
3. 利用したくない	24.7%		利用したくない理由を教えてください(自由記入) 無回答 0.0%	
4. 制度・取組を知らない	61.8%			

問9-12 自立相談支援事業(家計・仕事・住居のことなどを一緒に考え、解決するお手伝い)

利用状況 (n=251)		利用のきっかけや利用意向 (n=2)		
1. 利用している	0.4%	利用のきっかけを教えてください 1. 学校・幼稚園・保育園職員から案内があった 50.0% 2. 区のチラシや冊子を見た 50.0% 3. 区のホームページやSNS (フェイスブック等)をみた 50.0% 4. 区報をみた 0.0% 5. 区役所の人から案内された 0.0% 6. 友人・知人に教えてもらった 50.0% 7. 自分で調べた 0.0% 8. 覚えていない 0.0% 9. その他() 0.0% 無回答 0.0%		
2. 利用していた	0.4%			
3. 利用したくない	9.6%		利用したくない理由を教えてください(自由記入) 無回答 0.0%	
4. 制度・取組を知らない	89.6%			

■ すべての方に、お子さんとの体験についてうかがいます。

問10 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

(n=251)

A~Eそれぞれについて、ある場合は「1」を、
ない場合はあてはまる理由を「2」~「4」か
らそれぞれ1つに○をつけてください。

	ある	ない			無回答
		金銭的な理由	時間の制約	その他の理由	
A. アウトドア(海水浴やキャンプ等)に行く	52.2%	14.7%	13.1%	17.5%	2.4%
B. 博物館・科学館・美術館等に行く	57.8%	10.0%	12.4%	15.5%	4.4%
C. スポーツ観戦・劇場・映画館に行く	67.3%	11.6%	8.0%	9.2%	4.0%
D. 遊園地やテーマパークに行く	61.4%	18.7%	5.2%	9.2%	5.6%
E. ファミリーレストラン等で外食する	87.3%	4.8%	0.8%	1.6%	5.6%

問11 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

(n=251)

A~Iそれぞれについて、している場合は「1」を、
していない場合はあてはまる理由を「2」~「4」
からそれぞれ1つに○をつけてください。

	している	していない			無回答
		したくない	経済的に できない	その他の理由 でしていない	
A. 毎月お小遣いを渡す	38.6%	9.6%	12.0%	34.3%	5.6%
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	78.1%	0.4%	10.8%	5.2%	5.6%
C. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	64.9%	1.2%	13.5%	15.5%	4.8%
D. 学習塾(オンラインのものを含む。)に通 わせる(または家庭教師に来てもらう)	49.4%	4.0%	19.5%	21.5%	5.6%
E. 誕生日のお祝いをする	92.0%	0.8%	0.4%	0.4%	6.4%
F. 1年に1回程度家族旅行に行く	55.4%	1.6%	26.7%	9.6%	6.8%
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあ げる	84.9%	0.4%	4.8%	3.6%	6.4%
H. 子どもの学校行事などに親が参加する	91.2%	0.0%	0.4%	3.2%	5.2%
I. 本や電子機器(スマートフォン、ゲーム機等) を買う	78.9%	3.2%	8.0%	5.2%	4.8%

■ すべての方に、家計の状況についてうかがいます。

問12 保護者の現在の就労状況(自営業・家族従事者を含む。)をうかがいます。

(1) **父親** 【母子家庭の場合は記入は不要です。】

父親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=187)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労している	82.4%
2. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している	8.0%
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない	8.0%
4. これまで就労したことがない	0.5%
	無回答 1.1%

(2) **母親** 【父子家庭の場合は記入は不要です。】

母親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=244)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労している	41.0%
2. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労している	38.5%
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない	16.4%
4. これまで就労したことがない	1.6%
	無回答 2.5%

問13 あなたのご家庭の家計について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=251)

1. 赤字であり、借金をしている	8.8%	4. 黒字であるが、貯金はしていない	7.6%
2. 赤字であり、貯金を切り崩している	28.7%	5. 黒字であり、定期的に貯金している	8.8%
3. 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	39.8%	6. その他()	3.2%
		無回答	3.2%

問14 次のもののうち、**金銭的理由のために**あなたの世帯にないものはありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=251)

1. 子どもの年齢に合った本	8.0%	9. 電子レンジ	1.6%
2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	9.6%	10. 電話(固定電話・携帯電話を含む。)	2.0%
3. 子どもが自宅で学習をすることができる場所	27.5%	11. インターネットにつながるパソコン	7.2%
4. 洗濯機	0.8%	12. 新聞の定期購読(ネット含む。)	26.7%
5. 炊飯器	3.6%	13. 世帯専用のおふろ	2.0%
6. 掃除機	2.0%	14. 世帯人数分のベッドまたは布団	10.0%
7. 暖房機器	1.2%	15. 急な出費のための貯金(5万円以上)	22.3%
8. 冷房機器	1.2%	16. あてはまるものはない	41.0%
		無回答	0.4%

問15 あなたのご家庭で経済的な理由で以下のことができなかったことがありますか。

A~Iそれぞれについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=251)

	1 まったく なかった	2 まれに あった	3 ときどき あった	4 よくあった	無回答
A. 衣類の購入	51.8%	21.1%	14.7%	4.4%	8.0%
B. 食料の購入	65.3%	15.1%	6.8%	4.0%	8.8%
C. 家賃の支払い	79.3%	5.6%	2.4%	4.0%	8.8%
D. 住宅ローンの支払い	81.3%	2.8%	1.2%	1.6%	13.1%
E. 電気料金の支払い	76.9%	7.2%	2.0%	4.0%	10.0%
F. ガス料金の支払い	78.1%	6.0%	2.0%	4.0%	10.0%
G. 水道料金の支払い	78.5%	6.0%	2.0%	4.0%	9.6%
H. 電話料金の支払い	76.9%	6.4%	1.6%	4.0%	11.2%
I. その他経費の支払い	56.2%	19.1%	7.6%	5.6%	11.6%

■ すべての方に、子育てに関する不安や悩みについてうかがいます。

問16 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=251)

1. 自分の時間がとれず、自由がない	31.9%
2. 子育てにおわれ、社会から孤立するようになる	5.6%
3. 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい	32.3%
4. 子育てと親等の介護が同時に発生している	11.6%
5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違う	15.1%
6. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない	12.0%
7. 子どもの学習・授業の進捗のことについて心配である	45.8%
8. 子どもの進路や進学のことについて心配である	57.4%
9. 子どもの友人関係のことについて心配である	23.9%
10. 子どもの健康、性格や癖などについて心配である	32.7%
11. 子どもの性別に関することについて心配がある	2.0%
12. 子育て(教育を含む。)に伴う経済的な負担が大きいと感じる	53.0%
13. 子どもにかまっていられないことが多い	20.7%
14. 子どもの成長や発達のことについて心配である	23.1%
15. 子どもが学校等、家の外に出たがらない	7.2%
16. 朝食や夕食を子どもと一緒に食べることができない	6.0%
17. 子どもの話を聞いてあげる時間を作れない	14.7%
18. 子どもと遊んであげる時間を作れない	15.5%
19. 子どもが望む学校に進学させてあげられるか心配である	49.4%
20. 子どもに習い事や学外活動をさせてあげられない	22.7%
21. 子どもが成人した後の家庭の経済状況が心配である	32.3%
22. その他()	5.2%
23. 特に不安や悩みはない	7.2%
	無回答 3.2%

問17 子育て(教育を含む。)を気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=251)

1. 相談できる相手がいる(場所がある)	70.5%	} → 問17-1へ	} → 問18へ	無回答 0.0%
2. 相談相手(場所)がなく、ほしい	12.7%			
3. 相談相手(場所)は、必要としない	10.0%			
4. その他()	6.8%			

問17-1 問17で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

お子さんの子育て(教育を含む。)に関して、気軽に相談できる(したい)先は誰(どこ)ですか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=209)

1. 配偶者・パートナー	57.9%	11. 塾・習い事の先生	9.6%
2. 自分の父母等の親族	58.4%	12. 民生委員・児童委員	1.9%
3. 自分の子ども	20.6%	13. 療育機関の先生	3.8%
4. 友人や知人	57.9%	14. かかりつけの医師	7.7%
5. 近所の人	3.3%	15. 文京区の子育て関連相談窓口 (子ども家庭支援センター、教育センターなど)	10.0%
6. 職場の人	15.8%	16. 文京区男女平等センター相談室	1.0%
7. 子育て支援施設(児童館等)	4.8%	17. 保健所・保健サービスセンター	1.0%
8. 育成室(学童保育)職員・指導員	5.3%	18. 民間団体やボランティア	1.9%
9. 学校・幼稚園・保育園の先生	26.3%	19. その他()	2.4%
10. スクールソーシャルワーカー (スクールカウンセラー)	9.6%	無回答	3.3%

■ 最後にはうかがいます。

問18 最後に、区の子育て支援施策に関するご意見、ご要望やご提案がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力、誠にありがとうございました。いただいた回答は、施策の方向性、事業の量や内容を検討する基礎とし、今後の区の子育て支援施策の充実に生かしてまいります。
なお、調査結果は、令和6年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和5年11月17日（金）までにご投函ください。
(切手を貼る必要はございません)



こ ども ・ 子 育 て 支 援 に 関 す る 実 態 調 査



ち ょう さ き ょう り ゃ く
～ 調 査 に 協 力 し て く だ さ い (お ね が い) ～

みなさんが住んでいる文京区では、安心して子どもを育てられるよう、
ほいくえん いくせいしつ こ つか あそ ばしよ つく
保育園や育成室など、子どもが使ったり遊んだりできる場所を作ってい
ます。また、いろいろな人が協力し合い、みなさんが楽しく元気にすご
せるお手伝いなどもしています。

こうした行動をもっと良くするために、みなさんがふだんお家や学校、
ちいき かんが おし
地域でどのようなことを考え、すごしているのかを教えてください。

文京区は、みなさんから教えてもらったことについて、みんなで話しあ
い、子どもとその家族がこれからも楽しくすごせるまちをつくることに役立
てたいと考えています。

わからないところは答えなくてもよいです。みなさんがふだん思っている
ことについて教えてください。

れいわ ねん がつ
令和5年10月

ぶん きょう く ちょう なり さわ ひろ のぶ
文 京 区 長 成 澤 廣 修

にほんごが わからないときは こちらへ

この二次元コードに、アクセスしてください。

Please access this two-dimensional code.

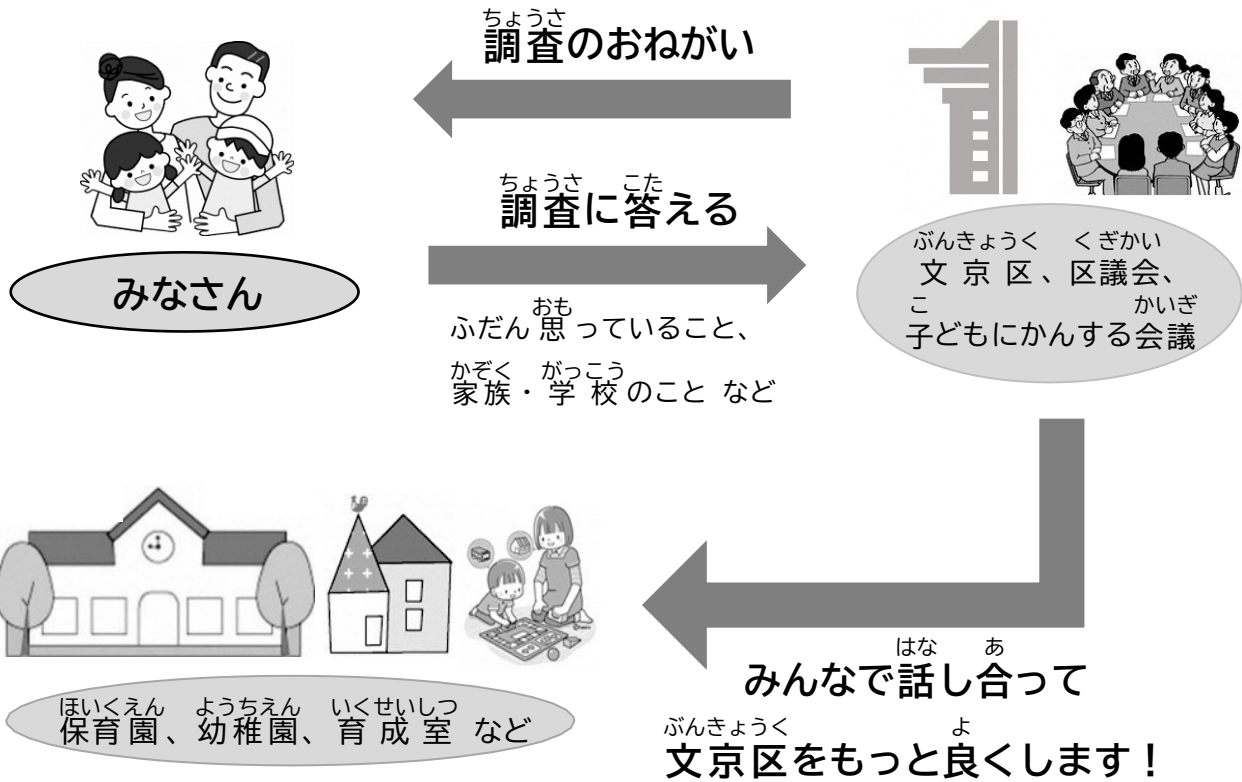
请访问此二维码。

請存取這個二維碼。





이 2 차원 코드에 접속해주세요.



みなさんの回答は、^{かいとう} ^{ぶんきょうく} ^こ ^{かぞく} 文京区の子どもやその家族のためになります。



つぎ ^{おし} ^{れい} 次のようなことについて、教えてください。(例)

<p>^{かぞく} 【家族について】</p> <p>かぞく おやこ 家族のこと、親子のコミュニケーション など</p> 	<p>^{せいかつ} 【生活のことについて】</p> <p>ほうかご かた うんどう 放課後の過ごし方、運動のこと など</p> 
<p>^{しせつ} ^{りよう} 【施設などの利用について】</p> <p>こども しょくどう そうだん ばしょ 子ども 食堂、相談する場所 など</p> 	<p>^{ふあん} ^{なや} 【不安・悩みについて】</p> <p>ふあん なや せいかつ あんしん あんぜん 不安・悩み、生活の安心・安全 など</p> 

■ あなたとあなたのご家族^{かぞく}についてうかがいます。

問1 あなたは何年生^{なんねんせい}ですか。あてはまる^{こた}答えの^{ばんごう}番号1つに○をつけてください。 n=112

1. 小学 ^{しょうがく} 4 ^{ねんせい} 年生 35.7%	2. 小学 ^{しょうがく} 5 ^{ねんせい} 年生 24.1%	3. 小学 ^{しょうがく} 6 ^{ねんせい} 年生 39.3%	むかいとう 無回答 0.9%
---	---	---	----------------

問2 あなたといっしょに住^すんでいる人^{ひと}について教^{おし}えてください。
あてはまる^{こた}答えの^{ばんごう}番号すべてに○をつけてください。 n=112

1. お父 ^{とう} さん 52.7%	4. おじいちゃん 11.6%		
2. お母 ^{かあ} さん 96.4%	5. おばあちゃん 19.6%		
3. きょうだい 62.5%	6. そのほか ^{しん} 親せきなど 1.8%	むかいとう 無回答	0.9%

■ 区^くの事業^{じぎょう}の利用^{りよう}状況^{じょうきょう}についてうかがいます。

問3 学習支援^{がくしゅうしえん}(小学^{しょうがく}4年生^{ねんせい}から中学^{ちゅうがく}3年生^{ねんせい}までの子どもに、学校^{がっこう}や塾^{じゅく}以外^{いがい}のところで勉強^{べんきょう}を教^{おし}えます。)を
利用^{りよう}していますか。あてはまる^{こた}答えの^{ばんごう}番号1つに○をつけてください。 n=112

1. 利用 ^{りよう} している 17.0%	}	→	問3-1へ		
2. 利用 ^{りよう} していた 0.9%					
3. 利用 ^{りよう} していない 62.5%	}	→	問3-4へ		
4. 知 ^し らない 19.6%					

問3-1 問3で、「1.」または「2.」とお答^{こた}えの方^{かた}にうかがいます。

学習支援^{がくしゅうしえん}を知^しったきっかけについて、あてはまる^{こた}答えの^{ばんごう}番号すべてに○をつけてください。 n=20

1. 親 ^{おや} から聞 ^き いた 80.0%			
2. 事業 ^{じぎょう} のチラシをみた 10.0%			
3. その他 ^た () 10.0%	むかいとう 無回答	5.0%	

問3-2 問3で、「1.」または「2.」とお答^{こた}えの方^{かた}にうかがいます。

学習支援^{がくしゅうしえん}の満足^{まんぞく}度^どについて、あてはまる^{こた}答えの^{ばんごう}番号1つに○をつけてください。 n=20

1. とても満足 ^{まんぞく} している 70.0%	2. やや満足 ^{まんぞく} している 30.0%	3. やや不満 ^{ふまん} である 0.0%	4. 不満 ^{ふまん} である 0.0%	むかいとう 無回答 0.0%
-------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	-------------------------------	----------------

問3-3 問3で、「1.」または「2.」とお答えの方にかがいます。

学習支援の満足度の理由について、ご意見を自由に書いてください。

すべての方にかがいます。

問3-4 学習支援を今後利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=112

1. 利用したい 24.1% 2. わからない 55.4% 3. 利用したくない 19.6% 無回答 0.9%

問3-5 学習支援について、ご意見を自由に書いてください。

問4 ごはんを無料でまたは安く食べられる「子ども食堂」を利用していますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=112

1. 利用している	10.7%	}	→	問4-1へ	}	→	問4-2へ	むかいとう 無回答	0.0%
2. 利用していた	7.1%								
3. 利用していない	60.7%								
4. 知らない	21.4%								

問4-1 問4で、「1.」または「2.」とお答えの方にかがいます。

子ども食堂を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=20

1. 学校で聞いた	10.0%	4. 友だちに教えてもらった	35.0%	
2. 事業のチラシをみた	10.0%	5. 自分で調べた	0.0%	
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	5.0%	6. その他	50.0%	
			むかいとう 無回答	5.0%

すべての方にかがいます。

問4-2 子ども食堂を今後利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=112

1. 利用したい	33.0%	2. わからない	52.7%	3. 利用したくない	11.6%	むかいとう 無回答	2.7%
----------	-------	----------	-------	------------	-------	--------------	------

問5 子ども宅食（特定の制度を使っている子どものいる家庭に食品を送っています。）を利用していますか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=112

1. 利用している	62.5%	}	→	問5-1へ	
2. 利用していた	3.6%				
3. 利用していない	14.3%	}	→	問5-2へ	
4. 知らない	19.6%				
					無回答 0.0%

問5-1 問5で、「1.」または「2.」とお答えの方にかたがたうかがいます。

子ども宅食を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 n=74

1. 学校で聞いた	9.5%	4. 友だちに教えてもらった	1.4%
2. 事業のチラシをみた	33.8%	5. 自分で調べた	0.0%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	8.1%	6. その他	48.6%
			無回答 2.7%

すべての方にかたがたうかがいます。

問5-2 子ども宅食を今後利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=112

1. 利用したい	60.7%	2. わからない	34.8%	3. 利用したくない	1.8%	無回答	2.7%
----------	-------	----------	-------	------------	------	-----	------

■ すべての方に、不安や悩みごとについてうかがいます。

問6 あなたは今、不安や悩みはありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=112

1. 学校の勉強や宿題がむずかしい	18.8%
2. 周りの子とくらべて、勉強ができない気がする	27.7%
3. 休み時間や放課後に遊ぶ友だちがいない	8.9%
4. 遊ぶ場所がすくない	22.3%
5. 友だちとうまくいかない	9.8%
6. 自分の性格が気になる	11.6%
7. 自分の顔や体型などの見た目が気になる	13.4%
8. 自分の性別が気になる	1.8%
9. 異性の友だちがいない	2.7%
10. 先生がこわい、話しかけにくい	7.1%
11. 中学生になるのが不安	16.1%
12. 家がせまい	20.5%
13. 家がまずしい	2.7%
14. 家族の仲があまりよくない	3.6%
15. 家に帰ってもだれもいないのでさびしい	4.5%
16. おこづかいが、ない・すくない	14.3%
17. 自分は元気じゃない・病気になりやすいような気がする	7.1%
18. 家族の健康や病気が気になる	13.4%
19. 自分のしたいことをする時間がすくない	10.7%
20. きょうだいのめんどうをみななければならない	1.8%
21. お父さん、お母さんなどの家族のめんどうをみななければならない	0.0%
22. 家のお手伝いをしなければならない	4.5%
23. はやっている服や持ち物がほしい	16.1%
24. 学校で持ち物をバカにされたことがある	5.4%
25. 習い事をしたいが、親にそのことを言い出せない	3.6%
26. 中学受験をしたいが、親にそのことを言い出せない	1.8%
27. 朝食や夕食を自分で用意している	0.9%
28. 家族がいつもイライラしていて話しかけにくい	3.6%
29. その他()	5.4%
30. 特に不安や悩みはない	19.6%
31. わからない	4.5%
	むかいとう 無回答 3.6%

問7 あなたが悩みごとや心配ごとを相談するとしたら、誰に相談しますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=112

1.	お父さん	26.8%		
2.	お母さん	75.9%		
3.	きょうだい	21.4%		
4.	おじいちゃん・おばあちゃん	16.1%		
5.	友だち	35.7%		
6.	学校の先生	28.6%		
7.	スクールカウンセラー	16.1%		
8.	習い事・塾の先生	1.8%		
9.	療育機関の先生	0.9%		
10.	それ以外の文京区や東京都などの相談できる場所などにいる専門家	0.9%		
11.	それ以外の人()	0.9%		
12.	相談する人はいない	2.7%	むかいとう 無回答	3.6%

■ **困ったときの相談窓口の利用についてうかがいます。**

問8 教育センター「総合相談室」(発達や教育についての悩みや心配事を相談できる窓口です。)をどのくらい知っていますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=112

1. 知っている	17.0%	}	→	問8-1へ		
2. 聞いたことがある	34.8%					
3. 知らない	48.2%		→	問8-2へ	むかいどう	0.0%

問8-1 問8で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

教育センター「総合相談室」を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 n=58

1. 学校で聞いた	60.3%	4. 友達に教えてもらった	1.7%
2. 事業のチラシをみた	15.5%	5. 自分で調べた	1.7%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	3.4%	6. その他	29.3%
		むかいどう	0.0%

すべての方にはうかがいます。

問8-2 教育センター「総合相談室」を今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=112

1. 利用している	7.1%	2. 利用してみたい	20.5%	3. 利用したくない	15.2%	4. ひつよう 必要ない	57.1%	むかいどう	0.0%
-----------	------	------------	-------	------------	-------	--------------	-------	-------	------

問8-3 問8-2で、「3.」とお答えの方にはうかがいます。

教育センター「総合相談室」を利用したくない理由を教えてください。自由に書いてください。

問9 保健サービスセンター(心と体の健康を相談できる窓口です。)をどのくらい知っていますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=112

1. 知っている	7.1%	}	→	問9-1へ	}	→	問9-2へ	むかいとう 無回答	0.0%
2. 聞いたことがある	25.0%								
3. 知らない	67.9%								

問9-1 問9で、「1.」または「2.」とお答えの方にかたがいます。

保健サービスセンターを知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=36

1. 学校で聞いた	50.0%	4. 友だちに教えてもらった	0.0%		
2. 事業のチラシをみた	33.3%	5. 自分で調べた	0.0%		
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	8.3%	6. その他	25.0%	むかいとう 無回答	0.0%

すべての方にかたがいます。

問9-2 保健サービスセンターを今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=112

1. 利用している	0.0%	2. 利用してみたい	19.6%	3. 利用したくない	8.9%	4. 必要ない	71.4%	むかいとう 無回答	0.0%
-----------	------	------------	-------	------------	------	---------	-------	--------------	------

問9-3 問9-2で、「3.」とお答えの方にかたがいます。

保健サービスセンターを利用したくない理由を教えてください。自由に書いてください。

問10 子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」(子育て世帯の生活上的様々な相談をお受けします。)をどのくらい知っていますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=112

1. 知っている	7.1%	}	→	問10-1へ	むかいとう 無回答	0.0%
2. 聞いたことがある	22.3%			問10-2へ		
3. 知らない	70.5%					

問10-1 問10で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=33

1. 学校で聞いた	42.4%	4. 友だちに教えてもらった	3.0%
2. 事業のチラシをみた	21.2%	5. 自分で調べた	3.0%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	9.1%	6. その他	30.3%
			むかいとう 無回答 3.0%

すべての方にはうかがいます。

問10-2 子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」を今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=112

1. 利用している	2.7%	2. 利用してみたい	20.5%	3. 利用したくない	7.1%	4. 必要ない	69.6%	むかいとう 無回答	0.0%
-----------	------	------------	-------	------------	------	---------	-------	--------------	------

問10-3 問10-2で、「3.」とお答えの方にはうかがいます。

子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」を利用したくない理由を教えてください。自由に書いてください。

問11 文京区男女平等センター相談室をどのくらい知っていますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=112

1. 知っている	3.6%	}	→	問11-1へ	
2. 聞いたことがある	12.5%				
3. 知らない	83.9%				
			→	問11-2へ	むかいとう 無回答 0.0%

問11-1 問11で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

文京区男女平等センターを知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 n=18

1. 学校で聞いた	16.7%	4. 友達に教えてもらった	0.0%
2. 事業のチラシをみた	22.2%	5. 自分で調べた	5.6%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	11.1%	6. その他	61.1%
			むかいとう 無回答 0.0%

すべての方にはうかがいます。

問11-2 文京区男女平等センター相談室を今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=112

1. 利用している	0.0%	2. 利用してみたい	17.9%	3. 利用したくない	6.3%	4. 必要ない	75.9%	むかいとう 無回答	0.0%
-----------	------	------------	-------	------------	------	---------	-------	-----------	------

問11-3 問11-2で、「3.」とお答えの方にはうかがいます。

文京区男女平等センター相談室を利用したくない理由を教えてください。自由に書いてください。

問12 東京都児童相談センター(子どもたちの権利を守り、ともに考えていく相談窓口です。)を

どのくらい知っていますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=112

1. 知っている	6.3%	}	→	問12-1へ		
2. 聞いたことがある	30.4%					
3. 知らない	63.4%					
			→	問12-2へ	むかいとう	0.0%
					無回答	

問12-1 問12で、「1.」または「2.」とお答えの方にかがいます。

東京都児童相談センターを知ったきっかけについて、

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=41

1. 学校で聞いた	51.2%	4. 友達に教えてもらった	0.0%
2. 事業のチラシをみた	26.8%	5. 自分で調べた	4.9%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	9.8%	6. その他	24.4%
			むかいとう
			無回答
			0.0%

すべての方にかがいます。

問12-2 東京都児童相談センターを今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=41

1. 利用している	0.0%	2. 利用してみたい	17.9%	3. 利用したくない	4.5%	4. 必要ない	77.7%	むかいとう	0.0%
								無回答	

問12-3 問12-2で、「3.」とお答えの方にかがいます。

東京都児童相談センターを利用したくない理由を教えてください。自由に書いてください。

■ 最後にうかがいます。

問13 最後に、このアンケートでお聞きした、文京区の取組や相談窓口のことについて、ご意見やご要望がありましたら、ぜひお聞かせください。

質問はこれで終わりです。ご協力、誠にありがとうございました。

いただいた回答は、今後の区政に生かしてまいります。

なお、調査結果は、令和6年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和5年11月17日(金)までに

ご投函ください。

(切手を貼る必要はありません)

「子ども・子育て支援に関する実態調査」のご案内

～調査へのご協力をお願い～

現在、文京区では、中高生世代であるみなさんが健やかに成長していくための具体的な計画（文京区子育て支援計画）をつくっています。

このたび、中高生世代であるみなさんの声を直接聞き、計画に生かしていくため、「実態調査」を行うこととなりました。みなさんの声が、文京区の子どもに対する計画に生かされます。

この封筒を受け取られたみなさんは、「ありのままの気持ちを、正直に」答えてください。

みなさんの回答は、子育てにかかわる人たちの会議などで話し合い、計画に反映するとともに、今後の区の実施に生かされます。

個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。安心して答えてください。

答えにくい質問には、無理に答える必要はありません。みなさんが普段思っていることや、日常の様子についてお聞かせください。

令和5年10月

文京区長 なり さわ ひろ のぶ
成澤 廣 修

にほんごが わからないときは こちらへ

この二次元コードに、アクセスしてください。

Please access this two-dimensional code.

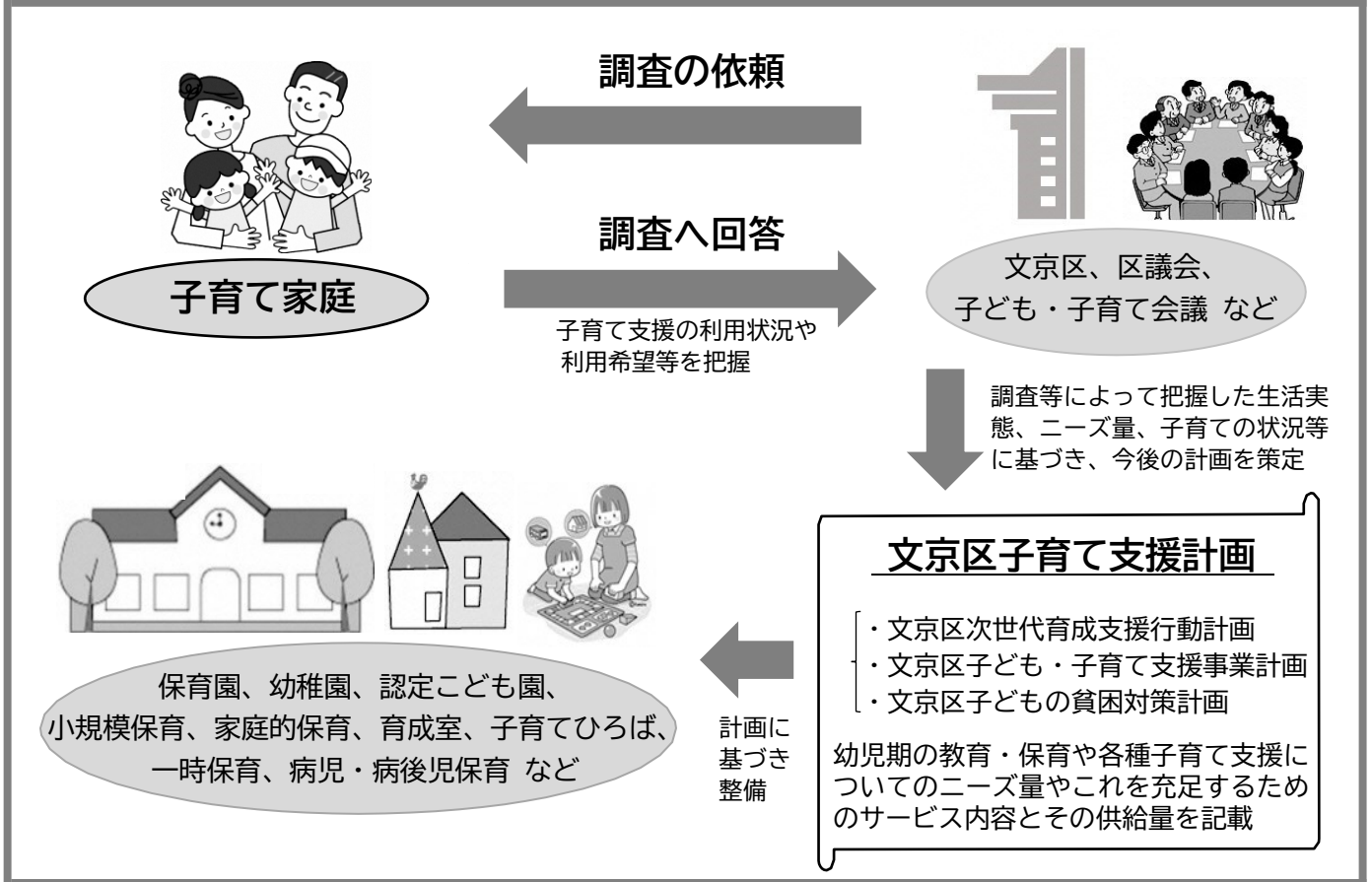
请访问此二维码。

請存取這個二維碼。




이 2 차원 코드에 접속해주세요.



いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます。



次のような事項について、調査します。(例)

<p>【ご家族について】 家族の状況、親子のコミュニケーション など</p> 	<p>【生活の状況について】 放課後の過ごし方、運動の状況、 生活の安心・安全 など</p> 
<p>【施設等の利用状況について】 子ども食堂、相談窓口の利用 など</p> 	<p>【不安・悩みについて】 不安・悩み、生活の安心・安全 など</p> 

■ あなたとあなたのご家族についてうかがいます。

問1 あなたは何年生ですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=93)

1. 中学1年生	34.4%	2. 中学2年生	36.6%	3. 中学3年生	29.0%	無回答	0.0%
----------	-------	----------	-------	----------	-------	-----	------

問2 あなたと一緒に住んでいる人について教えてください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=93)

1. 父親	55.9%	4. 祖父	3.2%		
2. 母親	97.8%	5. 祖母	11.8%		
3. 兄弟姉妹	69.9%	6. その他親戚など	3.2%	無回答	0.0%

■ 区の事業の利用状況についてうかがいます。

問3 学習支援(小学4年生から中学3年生までの子に、学校や塾以外の所で、勉強を教えます。)を利用してありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=93)

1. 利用している	12.9%	} →	問3-1へ		
2. 利用していた	4.3%				
3. 利用していない	66.7%	} →	問3-4へ		
4. 知らない	16.1%				無回答 0.0%

問3-1 問3で、「1.」または「2.」とお答えの方についてうかがいます。

学習支援を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=16)

1. 親から聞いた	56.3%		
2. 事業のチラシをみた	18.8%		
3. その他 ()	25.0%	無回答	6.3%

問3-2 問3で、「1.」または「2.」とお答えの方についてうかがいます。

学習支援の満足度について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=16)

1. とても満足している	43.8%	3. やや不満である	0.0%		
2. やや満足している	43.8%	4. 不満である	0.0%	無回答	12.5%

問3-3 問3で、「1.」または「2.」とお答えの方についてうかがいます。

学習支援の満足度の理由について、ご意見を自由に書いてください。

すべての方にかがいます。

問3-4 学習支援を今後利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用したい 29.0% 2. わからない 49.5% 3. 利用したくない 20.4% 無回答 1.1%

問3-5 学習支援について、ご意見を自由に書いてください。

問4 中学生学校外学習費用の助成(中学2、3年生が塾に通う際にかかる費用を一部支援します。)を利用してありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用している	18.3%	}	→	問4-1へ		無回答	0.0%
2. 利用していた	2.2%						
3. 利用していない	39.8%	}	→	問4-2へ			
4. 知らない	39.8%						

問4-1 問4で、「1.」または「2.」とお答えの方にかがいます。

中学生学校外学習費用の助成を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=19)

1. 学校で聞いた	26.3%	4. 友だちに教えてもらった	5.3%
2. 事業のチラシをみた	57.9%	5. 自分で調べた	0.0%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	10.5%	6. その他	15.8%
		無回答	0.0%

すべての方にかがいます。

問4-2 中学生学校外学習費用の助成を今後利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用したい 59.1% 2. わからない 35.5% 3. 利用したくない 5.4% 無回答 0.0%

問5 受験生チャレンジ支援貸付事業(中学3年生、高校3年生の学習塾や受験にかかるお金を貸します。)を利用していますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用している	3.2%	}	→	問5-1へ		無回答	0.0%
2. 利用していた	1.1%						
3. 利用していない	54.8%	}	→	問5-2へ			
4. 知らない	40.9%						

問5-1 問5で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

受験生チャレンジ支援貸付事業を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=4)

1. 学校で聞いた	0.0%	4. 友だちに教えてもらった	25.0%
2. 事業のチラシをみた	0.0%	5. 自分で調べた	0.0%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	25.0%	6. その他	50.0%
		無回答	0.0%

すべての方にうかがいます。

問5-2 受験生チャレンジ支援貸付事業を今後利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用したい	37.6%	2. わからない	51.6%	3. 利用したくない	10.8%	無回答	0.0%
----------	-------	----------	-------	------------	-------	-----	------

問6 奨学金資金(高等学校等)の給付(高校等への入学のためのお金を支援します。)を利用していますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用している	1.1%	}	→	問6-1へ		無回答	0.0%
2. 利用していた	0.0%						
3. 利用していない	58.1%	}	→	問6-2へ			
4. 知らない	40.9%						

問6-1 問6で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

奨学金資金(高等学校等)の給付を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=1)

1. 学校で聞いた	0.0%	4. 友だちに教えてもらった	100.0%
2. 事業のチラシをみた	0.0%	5. 自分で調べた	0.0%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	0.0%	6. その他	0.0%
		無回答	0.0%

すべての方にうかがいます。

問6-2 奨学金資金(高等学校等)の給付を今後利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=92)

1. 利用したい	46.7%	2. わからない	51.1%	3. 利用したくない	2.2%	無回答	0.0%
----------	-------	----------	-------	------------	------	-----	------

問7 入学支度資金融資あつせん(入学資金を貸してくれる貸し付け先を紹介します。)をご利用していますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用している	0.0%	}	→	問7-1へ		無回答	0.0%
2. 利用していた	0.0%						
3. 利用していない	55.9%	}	→	問7-2へ			
4. 知らない	44.1%						

問7-1 問7で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

入学支度資金融資あつせんを知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=0)

1. 学校で聞いた	0.0%	4. 友だちに教えてもらった	0.0%
2. 事業のチラシをみた	0.0%	5. 自分で調べた	0.0%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	0.0%	6. その他	0.0%
		無回答	0.0%

すべての方にはうかがいます。

問7-2 入学支度資金融資あつせんを今後利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=92)

1. 利用したい	18.5%	2. わからない	70.7%	3. 利用したくない	10.9%	無回答	0.0%
----------	-------	----------	-------	------------	-------	-----	------

問8 ごはんを無料でまたは安く食べられる「子ども食堂」を利用していますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用している	8.6%	}	→	問8-1へ		無回答	0.0%
2. 利用していた	4.3%						
3. 利用していない	66.7%	}	→	問8-2へ			
4. 知らない	20.4%						

問8-1 問8で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

子ども食堂を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=12)

1. 学校で聞いた	8.3%	4. 友だちに教えてもらった	8.3%
2. 事業のチラシをみた	16.7%	5. 自分で調べた	0.0%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	16.7%	6. その他	50.0%
		無回答	0.0%

すべての方にはうかがいます。

問8-2 子ども食堂を今後利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用したい	25.8%	2. わからない	48.4%	3. 利用したくない	24.7%	無回答	0.0%
----------	-------	----------	-------	------------	-------	-----	------

問9 子ども宅食(特定の制度を使っている子どものいる家庭に食品を送っています。)を利用していますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=93)

1. 利用している	59.1%	}	→	問9-1へ		無回答	0.0%
2. 利用していた	2.2%						
3. 利用していない	20.4%	}	→	問9-2へ			
4. 知らない	18.3%						

問9-1 問9で、「1.」または「2.」とお答えの方にうかがいます。
子ども宅食を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=57)

1. 学校で聞いた	8.8%	4. 友だちに教えてもらった	1.8%
2. 事業のチラシをみた	33.3%	5. 自分で調べた	1.8%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	17.5%	6. その他	40.4%
		無回答	0.0%

すべての方にうかがいます。

問9-2 子ども宅食を今後利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=93)

1. 利用したい	60.2%	2. わからない	29.0%	3. 利用したくない	10.8%	無回答	0.0%
----------	-------	----------	-------	------------	-------	-----	------

■ すべての方に、不安や悩みごとについてうかがいます。

問10 あなたは今、不安や悩みはありますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=93)

1. 成績・受験のこと	62.4%	13. 自分の性別に関すること	4.3%
2. 部活動のこと	20.4%	14.好きなことをする時間がない	8.6%
3. 将来のこと	51.6%	15. 日常的にきょうだいの面倒を見なければならない	2.2%
4. 先生との関係	11.8%	16. 日常的に家族の介護をしなければならない	0.0%
5. 友だちとの関係	26.9%	17. 日常的に食事や洗濯など家事をしなければならない	2.2%
6. 先輩・後輩との関係	6.5%	18. 家庭での居場所	4.3%
7. 異性との関係	7.5%	19. 就労(仕事)のこと	6.5%
8. 家族との関係	8.6%	20. 流行についていくこと	6.5%
9. 家の経済状況	22.6%	21. 自分の身なりや持ち物	9.7%
10. 自分の健康や病気	14.0%	22. その他()	7.5%
11. 家族の健康や病気	20.4%	23. 特に不安や悩みはない	18.3%
12. 外見に関すること	9.7%	24. わからない	3.2%
		無回答	0.0%

問11 あなたが悩みごとや心配ごとを相談するとしたら、誰に相談しますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=93)

1. 父親	28.0%	8. スクールカウンセラー	12.9%
2. 母親	77.4%	9. 青少年プラザ(b-lab)の職員	1.1%
3. 兄弟姉妹	23.7%	10. 習い事・塾の先生	14.0%
4. 祖父母	14.0%	11. 療育機関の先生	4.3%
5. 友達	61.3%	12. 区や都の行政の相談窓口	1.1%
6. 先輩	11.8%	13. それ以外の人()	2.2%
7. 学校の先生	26.9%	14. 相談する人はいない	3.2%
		無回答	1.1%

■ 困ったときの相談窓口の利用についてうかがいます。

問12 教育センター「総合相談室」(発達や教育についての悩みや心配事を相談できる窓口です。)をどのくらい知っていますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 知っている	22.6%	}	→	問12-1へ	
2. 聞いたことがある	25.8%				
3. 知らない	51.6%	→		問12-2へ	無回答 0.0%

問12-1 問12で、「1.」または「2.」とお答えの方へうかがいます。

教育センター「総合相談室」を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=45)

1. 学校で聞いた	48.9%	4. 友だちに教えてもらった	6.7%
2. 事業のチラシをみた	28.9%	5. 自分で調べた	4.4%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	4.4%	6. その他	22.2%
		無回答	0.0%

すべての方へうかがいます。

問12-2 教育センター「総合相談室」を今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用している	2.2%	2. 利用してみたい	25.8%	3. 利用したくない	15.1%	4. 必要ない	57.0%	無回答	0.0%
-----------	------	------------	-------	------------	-------	---------	-------	-----	------

問12-3 問12-2で、「3.」とお答えの方へうかがいます。

教育センター「総合相談室」を利用したくない理由を教えてください。自由に書いてください。

問13 青少年プラザ b-lab(中高生のための放課後の居場所です。)をどのくらい知っていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 知っている	44.1%	}	→	問13-1へ		
2. 聞いたことがある	16.1%					
3. 知らない	39.8%		→	問13-2へ	無回答	0.0%

問13-1 問13で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

青少年プラザ b-labを知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=56)

1. 学校で聞いた	41.1%	4. 友だちに教えてもらった	50.0%
2. 事業のチラシをみた	35.7%	5. 自分で調べた	3.6%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	3.6%	6. その他	10.7%
		無回答	0.0%

すべての方にはうかがいます。

問13-2 青少年プラザ b-labを今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用している	23.7%	2. 利用してみたい	34.4%	3. 利用したくない	7.5%	4. 必要ない	34.4%	無回答	0.0%
-----------	-------	------------	-------	------------	------	---------	-------	-----	------

問13-3 問13-2で、「3.」とお答えの方にはうかがいます。

青少年プラザ b-labを利用したくない理由を教えてください。自由に書いてください。

問14 保健サービスセンター(心と体の健康を相談できる窓口です。)をどのくらい知っていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 知っている	10.8%	}	→	問14-1へ		
2. 聞いたことがある	21.5%			問14-2へ	無回答	0.0%
3. 知らない	67.7%					

問14-1 問14で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

保健サービスセンターを知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=30)

1. 学校で聞いた	50.0%	4. 友だちに教えてもらった	3.3%		
2. 事業のチラシをみた	33.3%	5. 自分で調べた	3.3%		
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	13.3%	6. その他	16.7%	無回答	0.0%

すべての方にはうかがいます。

問14-2 保健サービスセンターを今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用している	0.0%	2. 利用してみたい	26.9%	3. 利用したくない	7.5%	4. 必要ない	65.6%	無回答	0.0%
-----------	------	------------	-------	------------	------	---------	-------	-----	------

問14-3 問14-2で、「3.」とお答えの方にはうかがいます。

保健サービスセンターを利用したくない理由を教えてください。自由に書いてください。

問15 子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」(子育て世帯の生活上の様々な相談をお受けします。)をどのくらい知っていますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=93)

1. 知っている	8.6%	}	→	問15-1へ		
2. 聞いたことがある	14.0%					
3. 知らない	77.4%		→	問15-2へ	無回答	0.0%

問15-1 問15で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。
 子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=21)

1. 学校で聞いた	33.3%	4. 友だちに教えてもらった	0.0%
2. 事業のチラシをみた	28.6%	5. 自分で調べた	0.0%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	19.0%	6. その他	23.8%
		無回答	0.0%

すべての方にはうかがいます。

問15-2 子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」を今後利用したいですか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=93)

1. 利用している	1.1%	2. 利用してみたい	22.6%	3. 利用したくない	9.7%	4. 必要ない	66.7%	無回答	0.0%
-----------	------	------------	-------	------------	------	---------	-------	-----	------

問15-3 問15-2で、「3.」とお答えの方にはうかがいます。
 子ども家庭支援センター「子ども応援サポート室」を利用したくない理由を教えてください。自由に書いてください。

問16 文京区男女平等センター相談室をどのくらい知っていますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=93)

1. 知っている	5.4%	}	→ 問16-1へ	無回答	0.0%
2. 聞いたことがある	10.8%				
3. 知らない	83.9%				

問16-1 問16で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

文京区男女平等センター相談室を知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 (n=15)

1. 学校で聞いた	13.3%	4. 友だちに教えてもらった	6.7%
2. 事業のチラシをみた	33.3%	5. 自分で調べた	6.7%
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	26.7%	6. その他	46.7%
		無回答	0.0%

すべての方にはうかがいます。

問16-2 文京区男女平等センター相談室を今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 (n=93)

1. 利用している	0.0%	2. 利用してみたい	17.2%	3. 利用したくない	7.5%	4. 必要ない	75.3%	無回答	0.0%
-----------	------	------------	-------	------------	------	---------	-------	-----	------

問16-3 問16-2で、「3.」とお答えの方にはうかがいます。

文京区男女平等センター相談室を利用したくない理由を教えてください。
自由に書いてください。

問17 東京都児童相談センター(子どもたちの権利を守り、ともに考えていく相談窓口です。)をどのくらい知っていますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 知っている	14.0%	}	→ 問17-1へ	無回答	0.0%
2. 聞いたことがある	22.6%				
3. 知らない	63.4%	→ 問17-2へ			

問17-1 問17で、「1.」または「2.」とお答えの方にはうかがいます。

東京都児童相談センターを知ったきっかけについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n=34)

1. 学校で聞いた	29.4%	4. 友だちに教えてもらった	2.9%		
2. 事業のチラシをみた	41.2%	5. 自分で調べた	29.4%		
3. 区のホームページやSNS(フェイスブックなど)をみた	8.8%	6. その他	0.0%	無回答	0.0%

すべての方にうかがいます。

問17-2 東京都児童相談センターを今後利用したいですか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(n=93)

1. 利用している	1.1%	2. 利用してみたい	19.4%	3. 利用したくない	6.5%	4. 必要ない	73.1%	無回答	0.0%
-----------	------	------------	-------	------------	------	---------	-------	-----	------

問17-3 問17-2で、「3.」とお答えの方にはうかがいます。

東京都児童相談センターを利用したくない理由を教えてください。自由に書いてください。

■ 最後にはうかがいます。

問18 最後に、このアンケートでお聞きした、文京区の取組や相談窓口のことについて、ご意見やご要望がありましたら、ぜひお聞かせください。

質問はこれで終わりです。ご協力、誠にありがとうございました。
いただいた回答は、今後の区政に活かしてまいります。
なお、調査結果は、令和6年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、
興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和5年11月17日（金）までにご投函ください。
(切手を貼る必要はございません)

文京区こども・子育て支援に関する実態調査 報告書

令和6年3月発行

発行 文京区子ども家庭部子育て支援課
文京区春日1丁目16番21号
電話 03-3812-7111(代表)

調査 株式会社 都市計画21
東京都中央区日本橋人形町1丁目6番10号 ユニコム人形町ビル6階
電話 03-5623-6371(代表)

印刷物番号 F0123016
有償頒布価格 1,300円

